

平成 25 年度

名古屋市子ども・子育て家庭意識・生活実態調査

報告書

【保護者調査】

平成 26 年 3 月

名 古 屋 市

目次

序 調査目的と調査方法

調査目的	1
調査方法	1

第1章 回答者属性（フェース項目）の概要

お住まいの区	3
お住まいの区での居住年数	4
第1子が生まれてからの転居回数	4
性別	5
お子さんから見た続柄	5
年齢	6
配偶者の年齢	6
最終学歴	7
お子さんの生年月日	8
お子さんのきょうだい	9
お子さんと同居されている方	11
保護者の年収	14
近くに住む親族	18

第2章 共通の質問（就学前、就学後）

子育てを通じて良かったと感じたことについて	19
子育ての悩みや不安について	20
悩みや不安の相談相手について	24
お子さんの育つ環境について	27
父親の方の就労状況について	28
母親の方の就労状況について	42
出産にともなう母親の退職や転職について	61
教育・保育環境と仕事の継続について	63
病児・病後児保育について	65
子育ての経済的負担について	68
地域の子育ての状況について	82
子育てに必要な情報について	84
名古屋市の子育て支援の取り組みについて	85
なごや子ども条例について	98
仕事と生活のバランスについて	99
家事・子育ての分担について	105
お子さんの人数について（子どもの数、理想より少ない理由）	109

第3章 お子さんの年齢別に行った質問（就学前、就学後）

【就学前の保護者への質問】

平日の教育・保育事業について（就学前）	113
平日の教育・保育事業の利用状況について（就学前）	114
今後の教育・保育事業の利用希望について（就学前）	127
休日の教育・保育事業の利用希望について（就学前）	152
長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望について（就学前）	155
病児・病後児保育について（就学前）	158
お子さんの一時預かりについて（就学前）	167
宿泊をとまなうお子さんの一時預かりについて（就学前）	178
保育事業別の利用について（就学前）	180
小学校就学後の過ごし方について（就学前）	185
名古屋市の子育て支援事業について（就学前）	195
地域の子育て支援事業の利用について（就学前）	208
子育ての状況について（就学前）	228
名古屋市の子ども・子育て支援の取り組みについて（就学前）	229
育児休業の取得について（就学前）	236

【就学後の保護者への質問】

お子さんの入学による就労形態の変化について（就学後）	238
塾・習いごとについて（就学後）	252
重視しているお子さんの教育について（就学後）	240
子どもの遊び場について（就学後）	247
お子さんの休日の過ごし方について（就学後）	248
トワイライトスクール・学童保育について（就学後）	256
病児・病後児保育について（就学後）	258
お子さんとの親子関係について（就学後）	261
お子さんの進路について（就学後）	265

第4章 自由意見	266
----------	-----

資料編 調査票	279
---------	-----

就学前保護者調査票

就学後保護者調査票

序 調査目的と調査方法

1 調査の目的

平成26年度に策定予定のなごや子ども条例第20条の規定による「子どもに関する総合計画」及び子ども・子育て支援法第61条の規定による「市町村子ども・子育て支援事業計画」策定の基礎資料とするため子育て家庭及び子どもの意識・生活実態・ニーズ等を調査する。

2 調査対象

名古屋市内に居住するもののうち、次のいずれかの子どもがいる世帯を対象とし、住民基本台帳から無作為に抽出した24,000世帯を対象とした。

- ① 子育て家庭 子どもの年齢が0歳～5歳の世帯 12,000世帯
子どもの年齢が6歳～17歳の世帯 12,000世帯
- ② 子ども 10歳～17歳の子ども 8,000人

3 質問項目

- ① 保護者用
 - (ア) 子どもの年齢が0歳～5歳の世帯
フェース項目11項目、設問項目22問と付問、自由記述項目1項目
 - (イ) 子どもの年齢が6歳～17歳の世帯
フェース項目11項目、設問項目19問と付問、自由記述項目1項目
- ② 子ども用 フェース項目6項目、設問項目36問と付問、自由記述項目1項目

4 調査方法

- ① 調査方法
郵送で配布し、郵送で回収した。
- ② 調査期間
平成25年10月10日～10月31日
- ③ 回収状況
発送数24,000に対して、10,075の有効回答が寄せられ、全体の回収率は31.5%である。
また、就学前保護者の回収率は35.9%、就学後保護者の回収率は30.1%、子どもの回収率は26.7%であった。

区分	発送数	回収数	回収率 (%)
就学前保護者	12,000	4,311	35.9
就学後保護者	12,000	3,616	30.1
子ども	8,000	2,148	26.9
合計	32,000	10,075	31.5

保護者調査票からみた実態

保護者の調査結果のうち、「平成20年調査との比較で特徴が見られたもの」、「フェイス項目とのクロスで特徴がみられたもの」等をまとめた。

お住まいの区 F1

■あなたのお住まいの区または支所をお答えください。

- ◇ 全体では、「緑区」が10.4%と最も多く、次いで「名東区」8.4%、「中川区」「天白区」が7.4%、「守山区」が7.3%、「千種区」が6.5%、「北区」「南区」が5.3%となっている。
- ◇ 割合が低いのは、「南陽支所（港区）」（0.6%）、「楠支所（北区）」（0.8%）である。

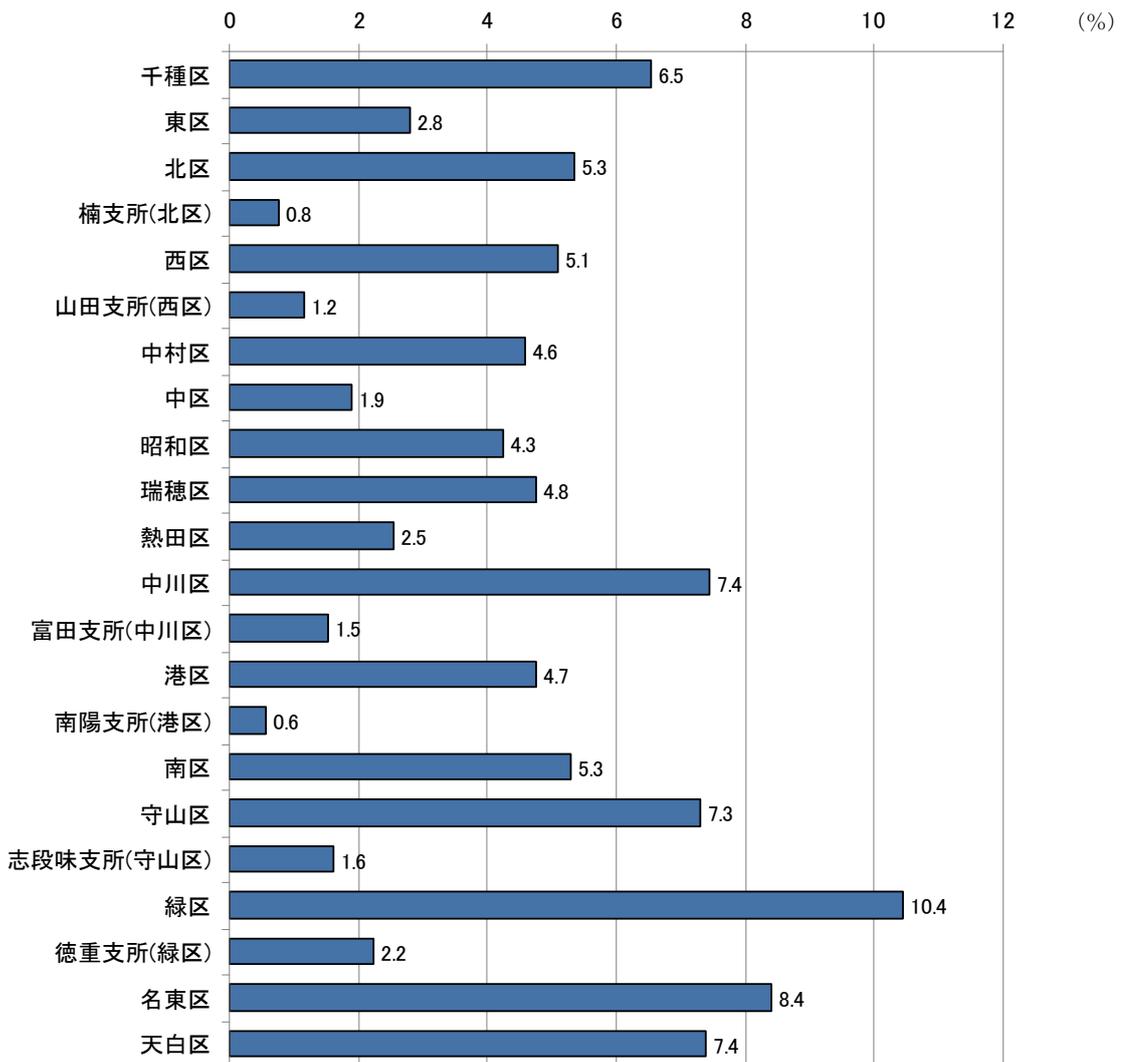


図 お住まいの区・支所
回答数 全体=7,927

お住まいの区での居住年数 F1

(1) あなたは現在お住まいの区に、何年居住していますか。(1つ)

- ◇ 全体では、「5～10年未満」が29.2%と最も多く、次いで「5年未満」が26.7%、「10～20年未満」が24.8%となっている。
- ◇ 年齢が上がるにつれて、10年未満の割合が低くなり、「10～20年」未満の割合が半分以上を占めている。

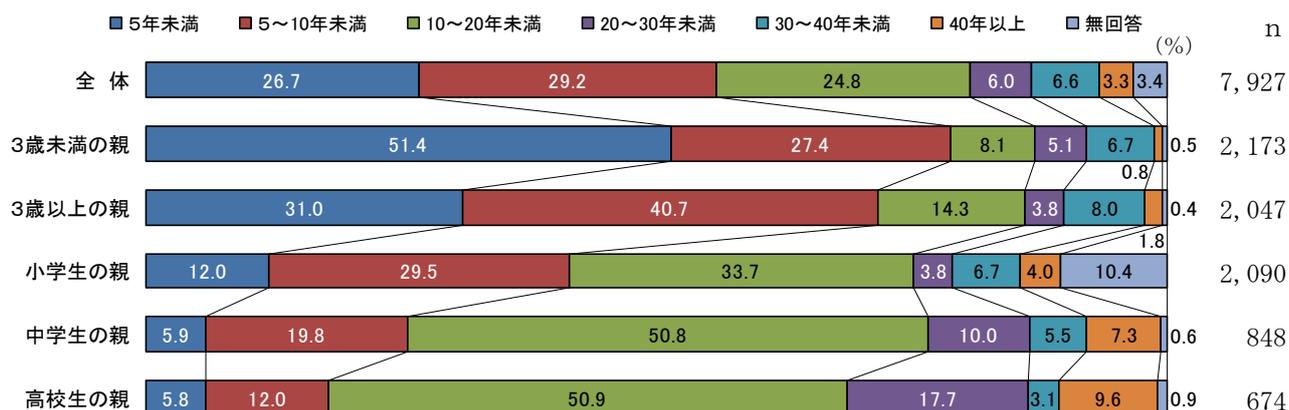


図 お住まいの区での居住年数

第1子が生まれてからの転居回数 F1

(2) あなたは第1子が生まれてから、何回転居をされましたか。(1つ)

- ◇ 全体では、「1回」が40.0%と最も多く、次いで「2回」12.9%、「3回」が5.1%、「4回以上」が3.5%となっている。「特に転居はしていない」は35.0%である。

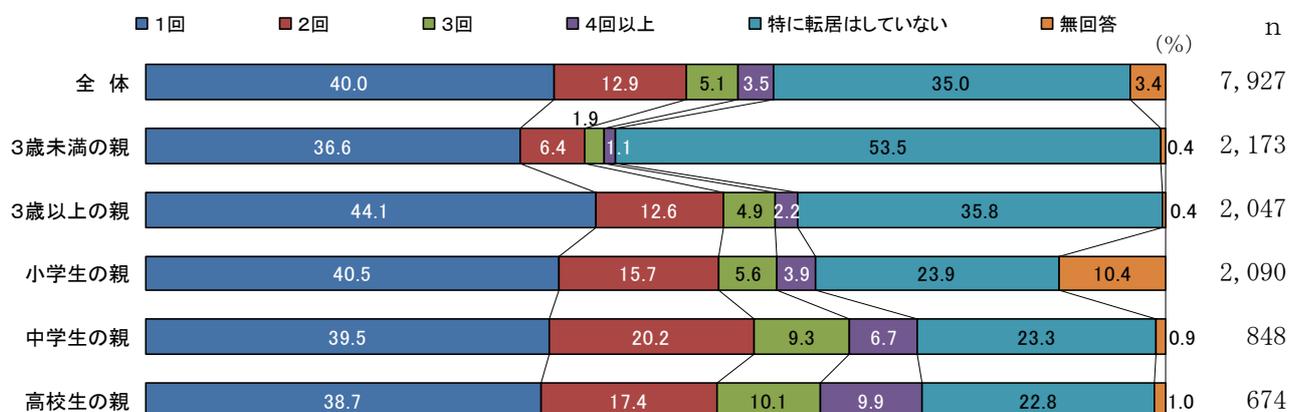


図 第1子が生まれてからの転居回数

性別 F2

■あなたの性別をお答えください。

◇ 回答者の80%以上を「女性」が占めている。



図 回答者の性別

お子さんからみた続柄 F3

■あて名のお子さんから見た続柄をお答えください。

◇ 子どもとの続柄は、回答者の性別と同様に「母親」の割合が80%以上を占めている。

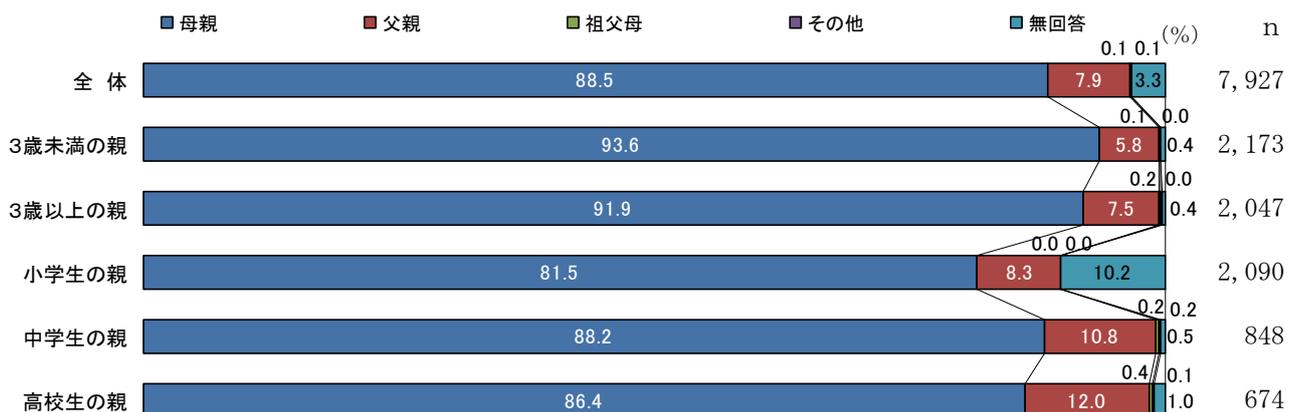


図 お子さんから見た続柄

年齢 F4

■あなたの年齢をお答えください。

◇ 全体では、「30～39歳」が47.9%と最も多く、次いで「40～49歳」が37.2%である。30代、40代の人々が80%以上を占めている。

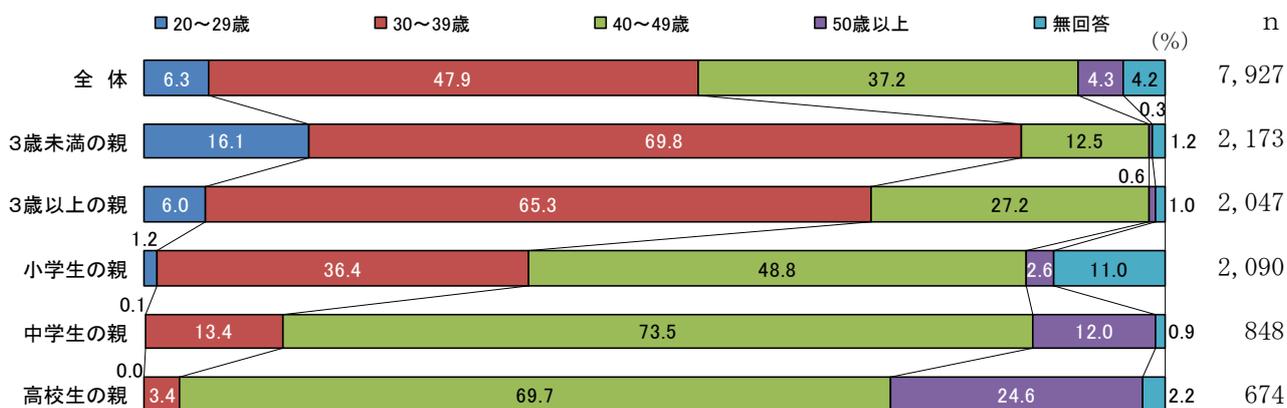


図 回答者の年齢

配偶者の年齢 F5

■あなたの配偶者の年齢をお答えください。

◇ 配偶者の年齢は、「30～39歳」が39.9%と最も多く、次いで「40～49歳」が39.1%である。30代、40代の人々が70%以上を占めている。

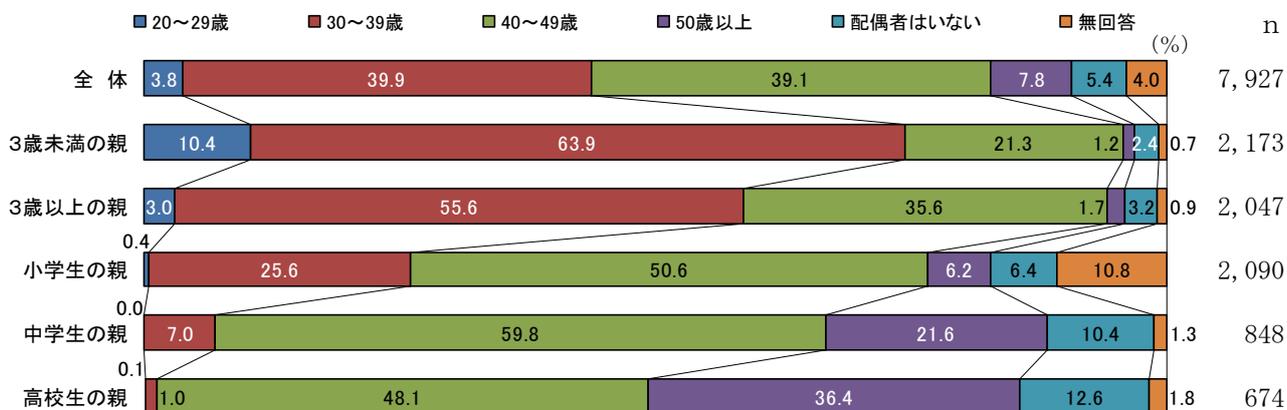


図 配偶者の年齢

最終学歴 F6

■あなたの最終学歴についてお答えください。

◇ 全体では、「大学」までが31.7%と最も多く、次いで「短期大学」24.0%、「高等学校」22.5%、「専修学校」12.0%となっている。

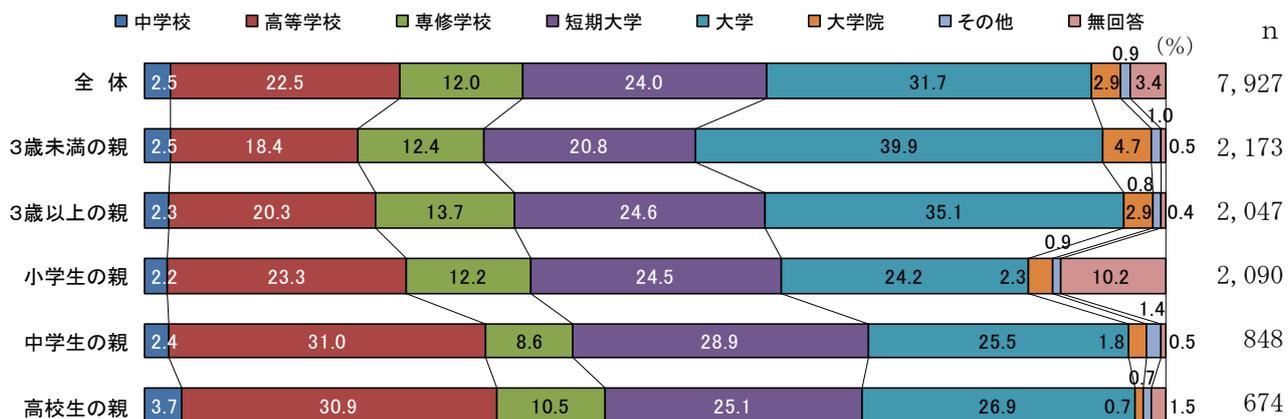


図 回答者の最終学歴

お子さんの生年月日 F7

■あて名のお子さんの生まれた年と月をお答えください。

◇ 全体では、6歳までの子どもを有する回答割合が全体の50%以上を占めている。

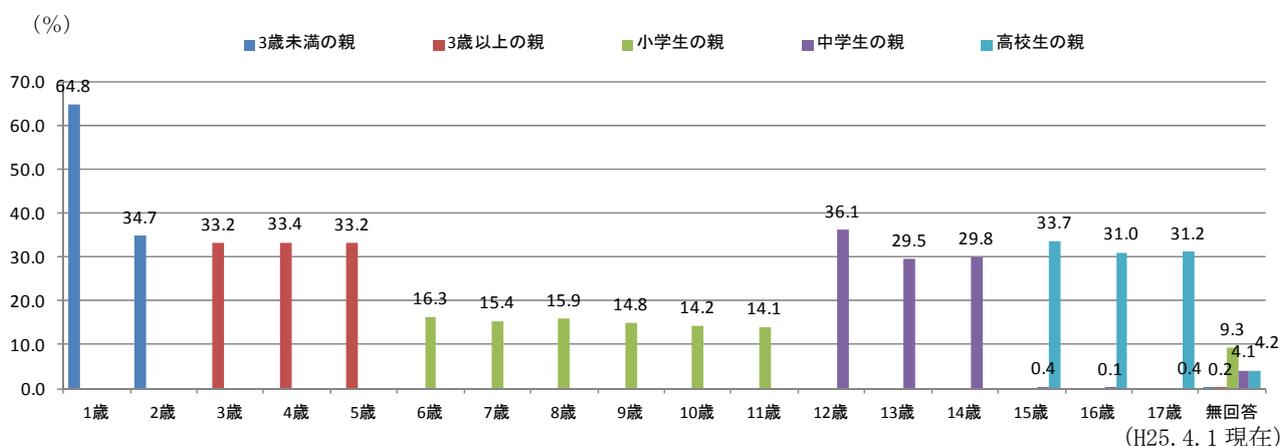


図 お子さんの生年月日 (学年別)

回答数 3歳未満の親=2,173 3歳以上の親=2,047
小学生の親=2,090 中学生の親=848 高校生の親=674

<全体>

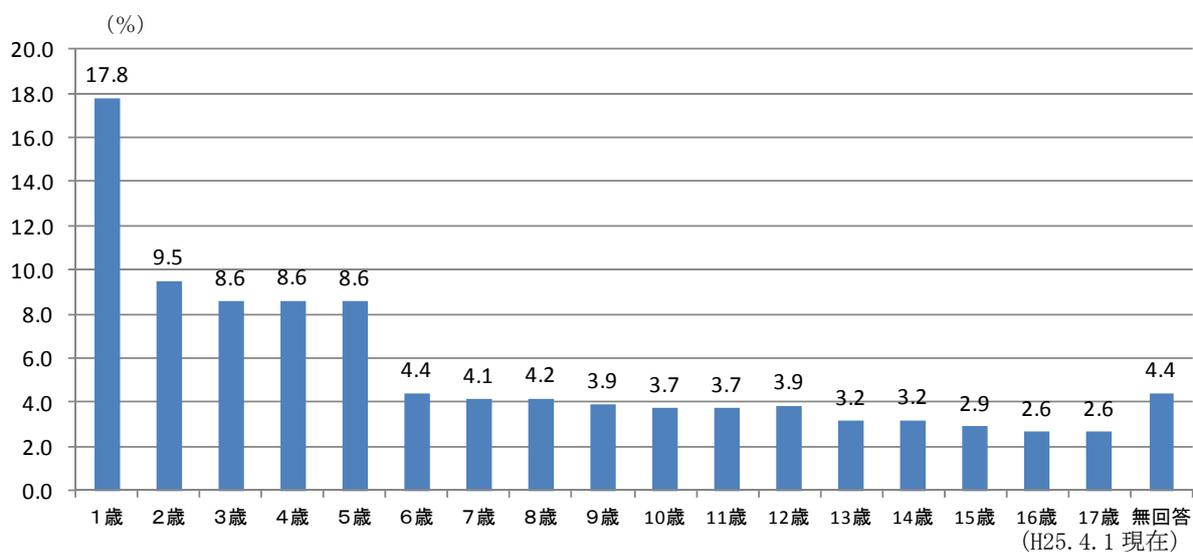


図 お子さんの生年月日 (全体)

回答数 全体=7,927

お子さんのきょうだい F8

(1) あて名のお子さんは何人きょうだいの何番目ですか。

【きょうだいの人数】

◇ 全体では、2人きょうだいが51.3%と半分以上を占めている。

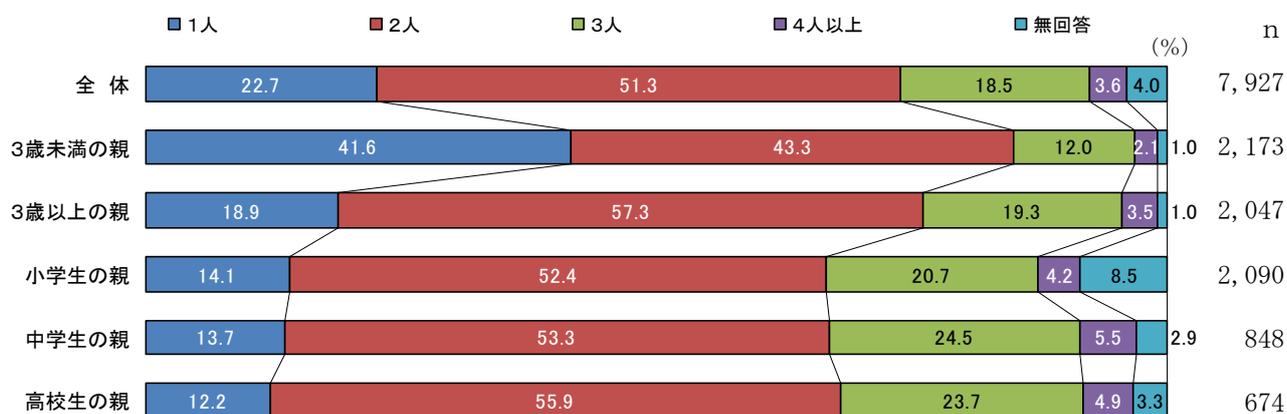


図 きょうだいの人数

【きょうだいの何番目】

◇ 全体では、「1番目」が51.0%、次いで「2番目」が34.7%となっている。

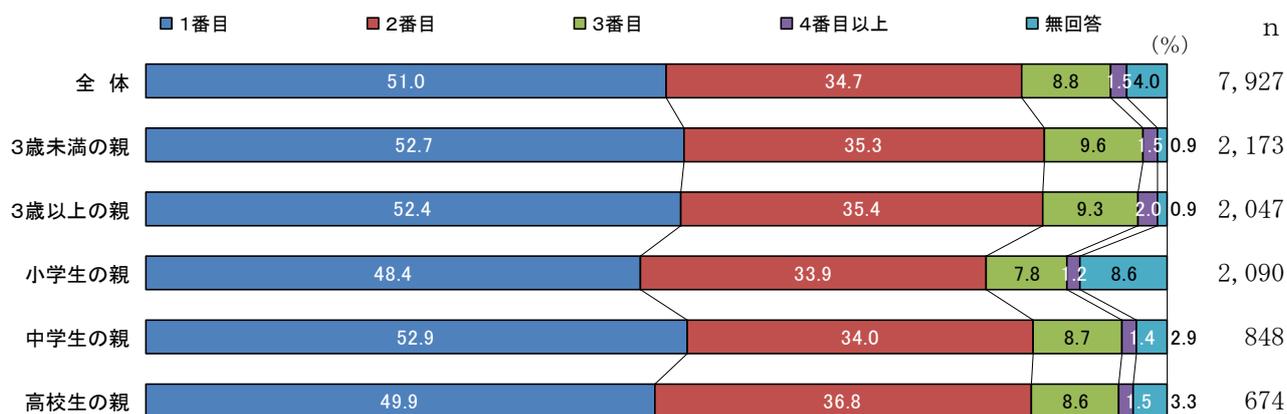


図 きょうだいの何番目

(2) あて名のお子さんも含めて一番上の子と下の子の年齢をお答えください。

【一番上のお子さん】

◇ 全体では、「10歳未満」が49.6%で最も多く、「10～14歳」が25.0%、「15～19歳」が16.9%となっている。

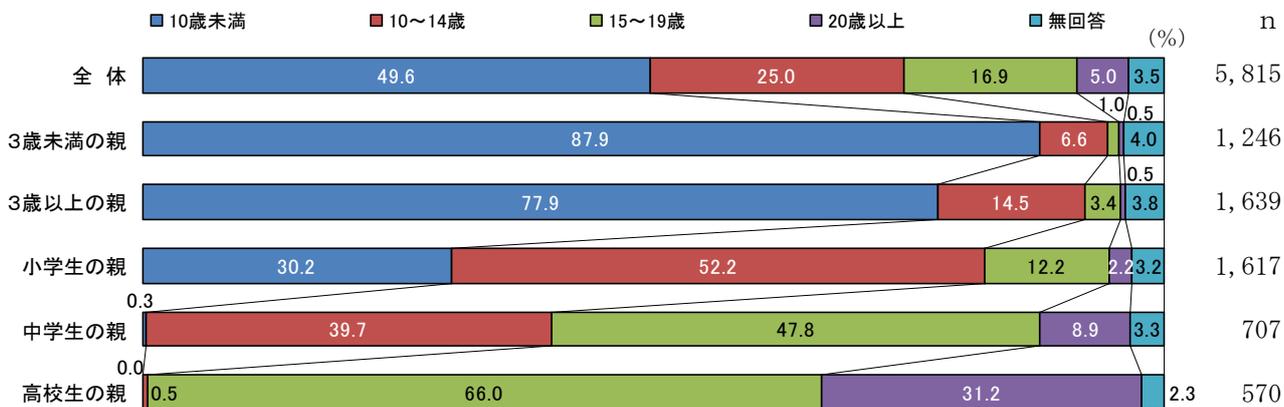


図 一番上のお子さんの年齢

【一番下のお子さん】

◇ 全体では、「0～4歳」が47.1%で最も多く、「5～9歳」が25.7%、「10～14歳」が16.8%となっている。

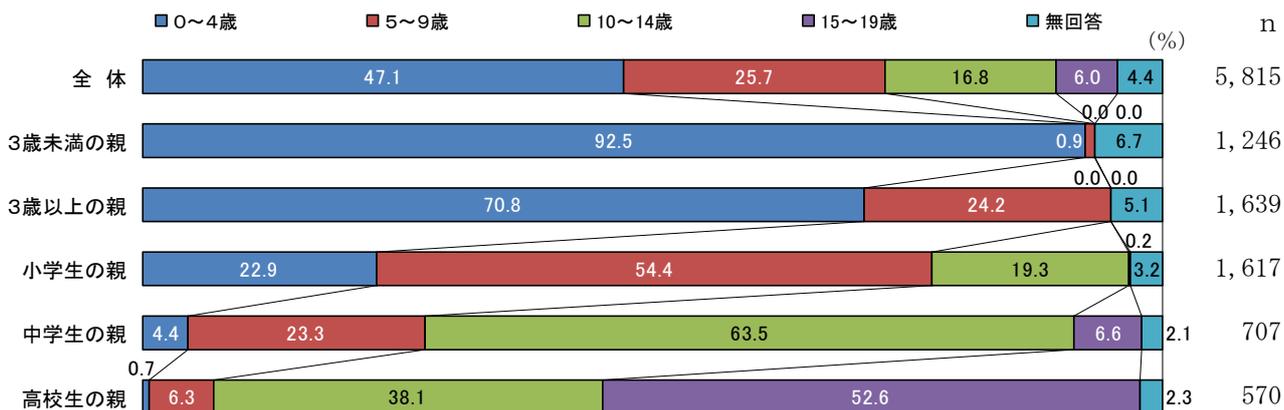


図 一番下のお子さんの年齢

お子さんと同居されている方 F9

(1) あて名のお子さんと同居されているのは、合計何人ですか。

◇ 全体では、「4人」が44.8%と最も多く、次いで「3人」が21.9%、「5人」が18.6%となっている。

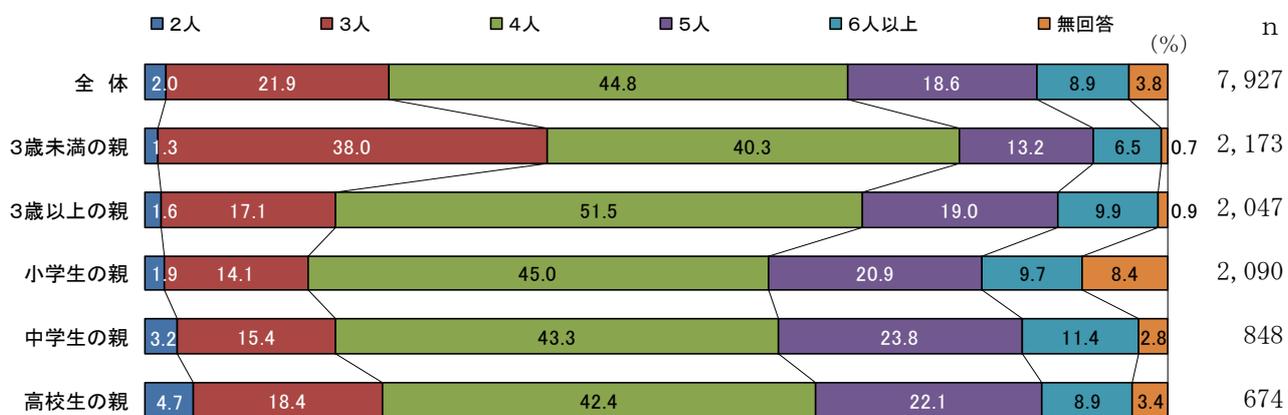


図 同居人の人数

(2) 現在、あて名のお子さんと同居されている方をお答えください。(複数回答)

- ◇ 同居の家族は、「きょうだい」96.6%、「母親」95.7%、「父親」91.3%のほか、「祖母(父方)」6.3%、「祖母(母方)」4.6%、「祖父(父方)」4.4%、「祖父(母方)」3.3%となっている。
- ◇ 「父親または母親が単身赴任」は2.7%である。

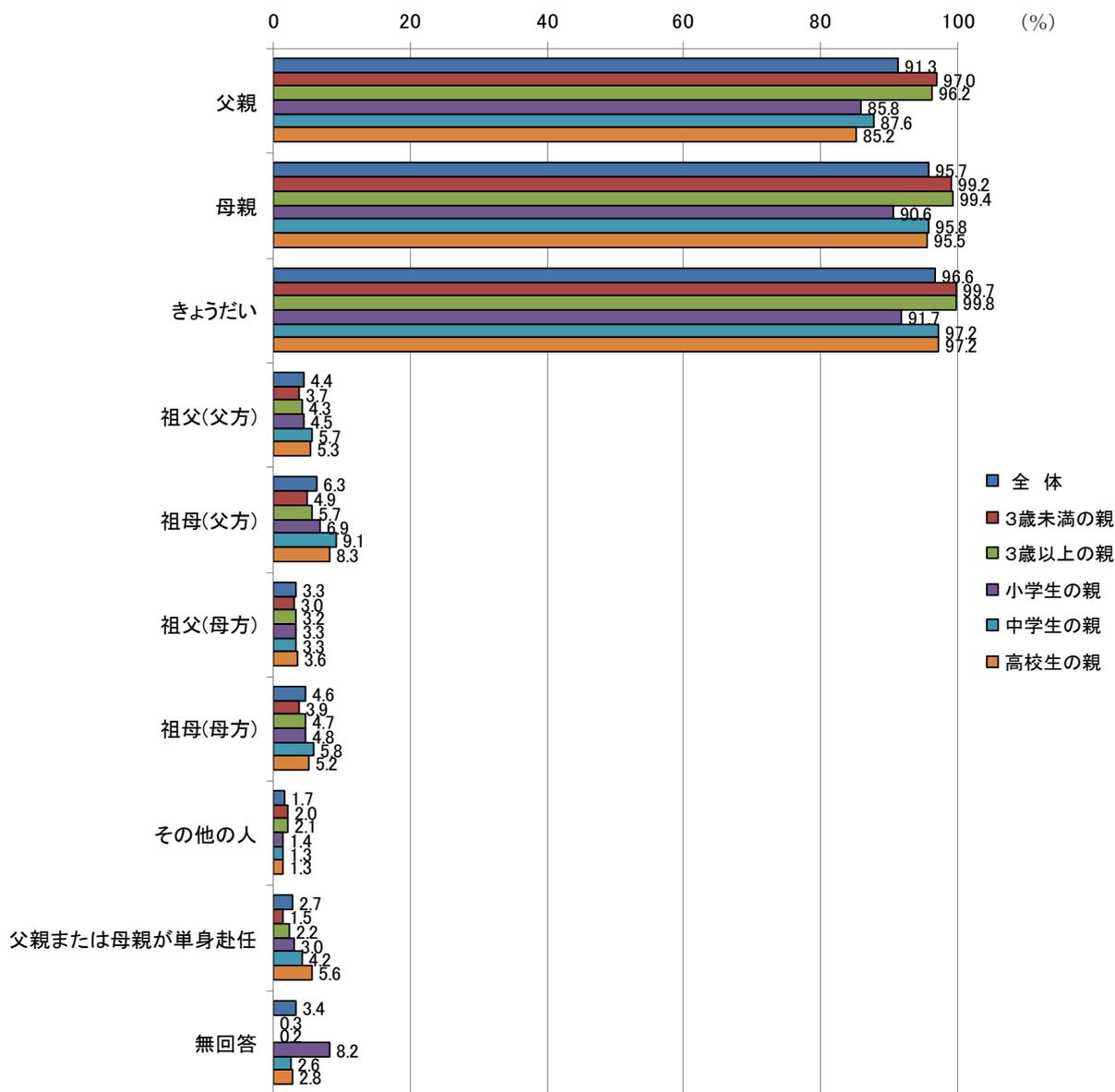


図 お子さんと同居人の続柄

回答数 全体=24,577 3歳未満の親=6,849 3歳以上の親=6,506
小学生の親=6,277 中学生の親=2,650 高校生の親=2,090

【同居しているきょうだいの人数】

◇ 同居しているきょうだいの人数は、「2人」が53.1%と最も多く、全体の半分以上を占めている。



図 同居しているきょうだいの人数

保護者の年収 F10

■あて名のお子さんの保護者のかたの年収についてお答えください。

(1) 父親

◇ 父親の年収は「400～600万円」が32.9%と最も多く、次いで「600～800万円」が19.1%、「200～400万円」が18.9%となっている。また、「1000万円以上」は7.5%である。

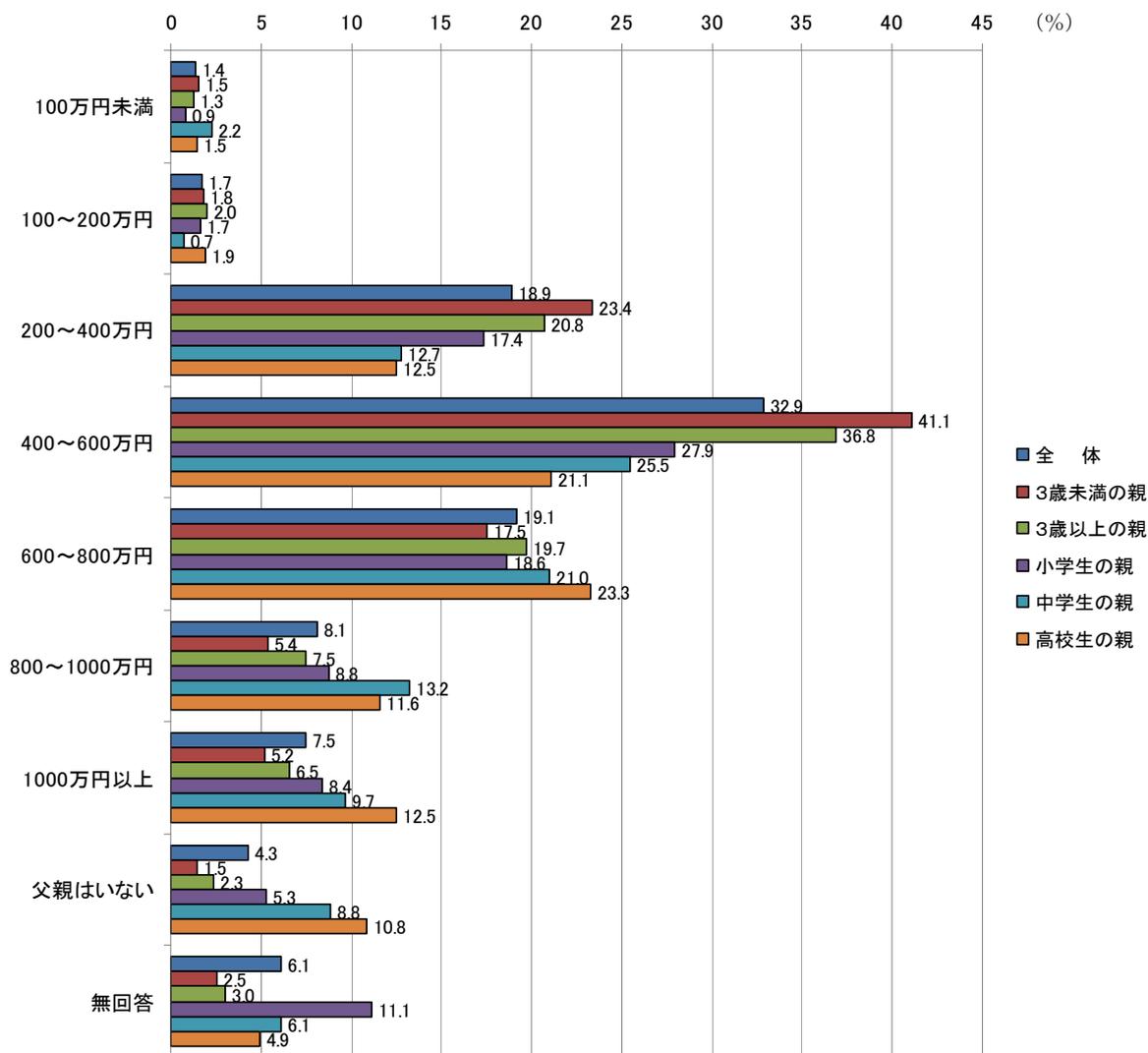


図 父親の年収

回答数 全体=7,927 3歳未満の親=2,173 3歳以上の親=2,047

小学生の親=2,090 中学生の親=848 高校生の親=674

- ◆ 父親の年収は、「200～400万円」から急激に増加していき、「600～800万円」で約70%の割合となる。

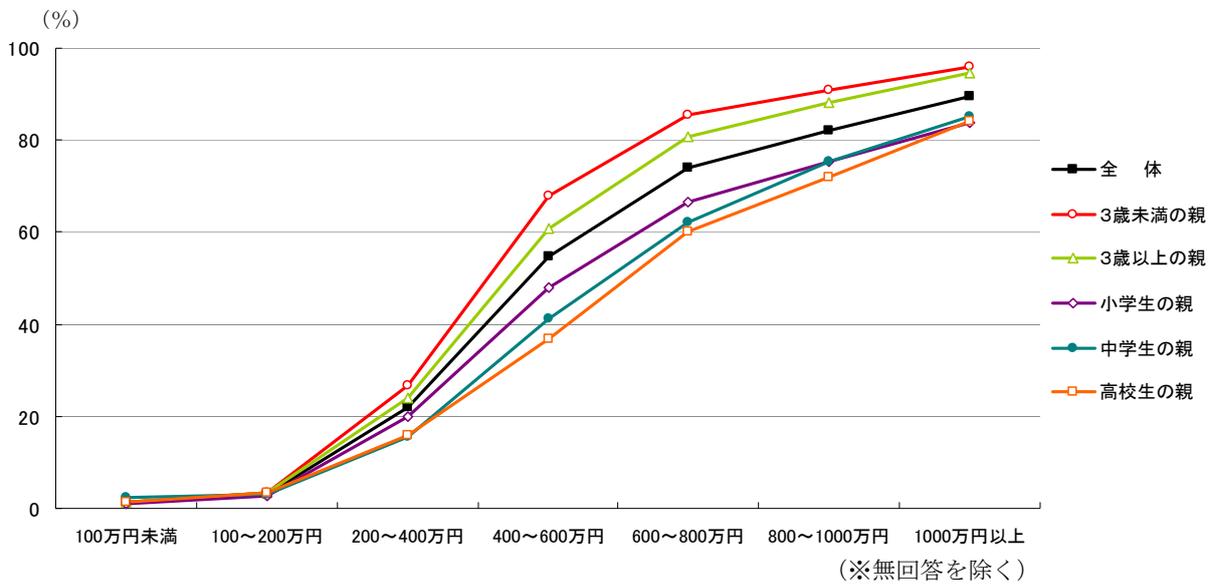


図 父親の年収（累計）

(2) 母親

◇ 母親の年収は「100万円未満」が59.0%と最も多く、全体の半分以上を占める。次いで「200～400万円」が10.8%、「100～200万円」が10.1%となっている。

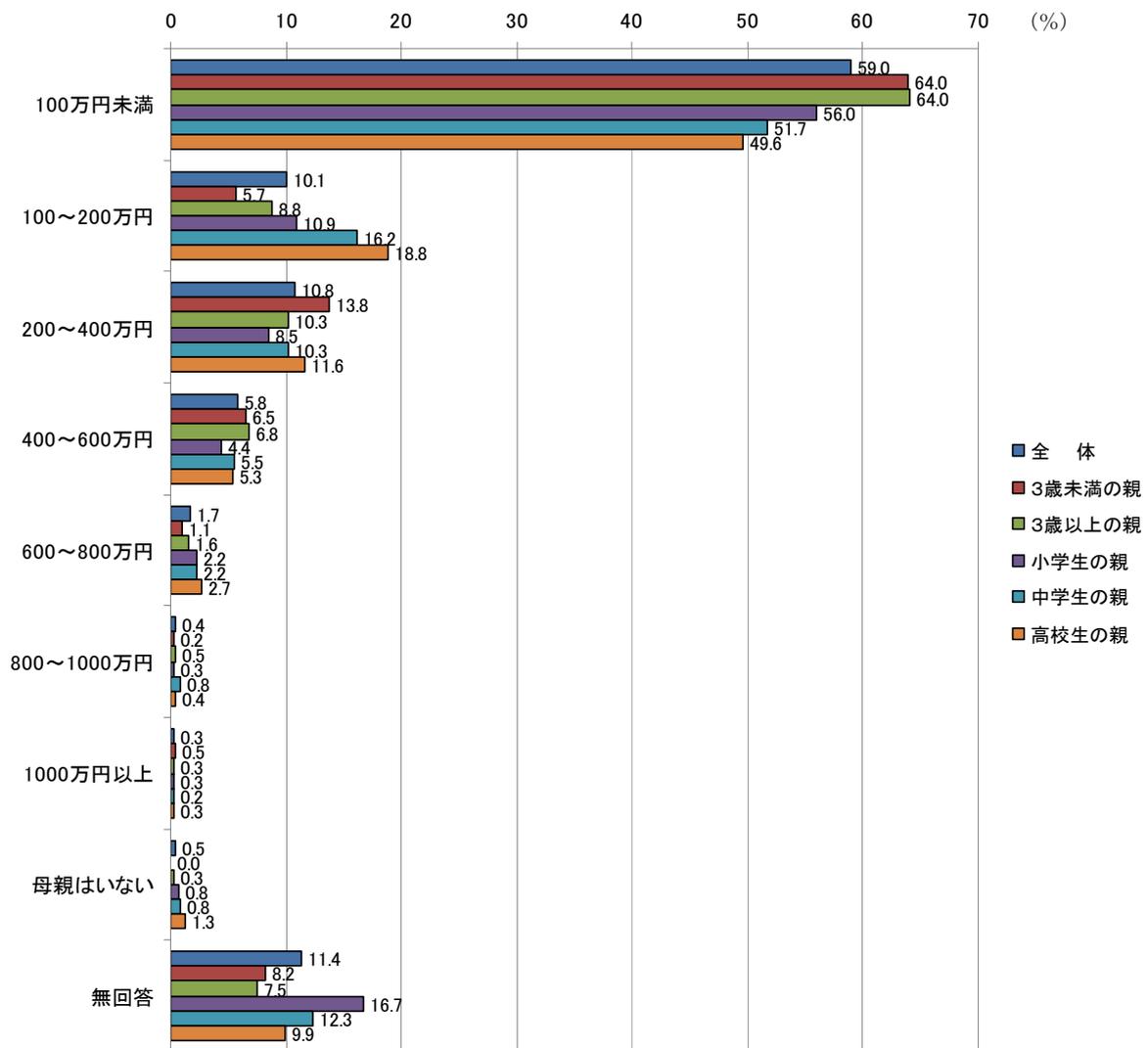


図 母親の年収

回答数 全体=7,927 3歳未満の親=2,173 3歳以上の親=2,047
小学生の親=2,090 中学生の親=848 高校生の親=674

- ◆ 母親の年収は、「100～200万円」で約70%の割合となる。
- ◆ 母親の場合、緩やかに増加していき、「400～600万円」以降はあまり変化がみられない。

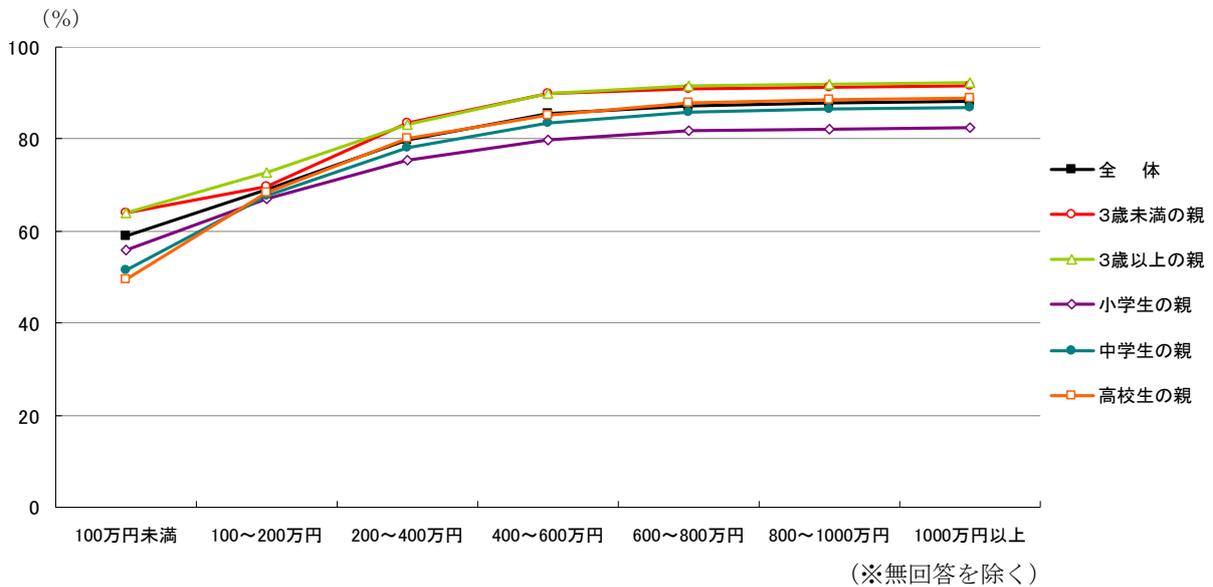


図 母親の年収（累計）

『世帯年収（就学前 F10）と世帯の暮らし向き（就学前 問13）』

- ◎ 家庭の収入別に家庭の経済状況についての回答割合を見た場合、「やや苦しい」「苦しい」と回答した割合が高いのは、「300～400万円未満」の61.3%が最も多く、次いで「100～200万円未満」の57.4%となっている。

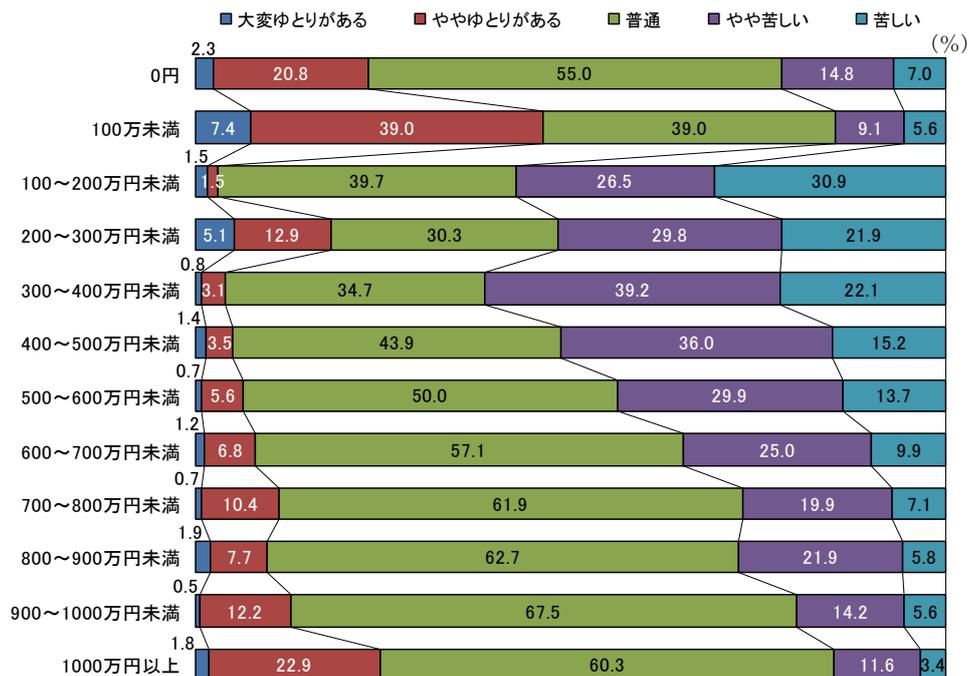


図 世帯年収と暮らし向きの意識

近くに住む親族 F11

■あなたのお住まいの近くに親族はお住まいですか。(複数回答)

◇ 親族の近居は、「自分の親」が40.4%と最も多く、次いで「配偶者の親」が34.2%、「自分のきょうだい」が22.2%、「配偶者のきょうだい」が15.6%となっている。また、近くに親族がない割合は27.7%である。

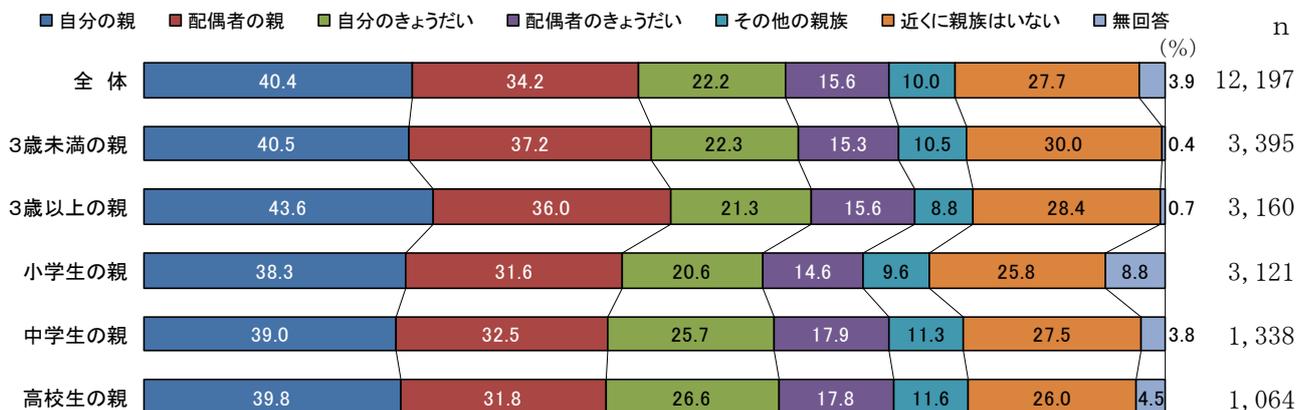


図 近くに住む親族

第2章 共通の質問（就学前、就学後）

子育てを通じて良かったと感じたことについて 【問1】

(1) 子育てを通じて良かったと感じたことについて。(3つまで)

◇ 「子どもといることで幸福感を感じる」が75.3%と最も多く、次いで「子どもとともに自分も成長できた」が48.9%、「子どもの成長をみると充実感を感じる」が44.5%、「自分が育ててもらったことを感謝できるようになった」が42.6%となっている。

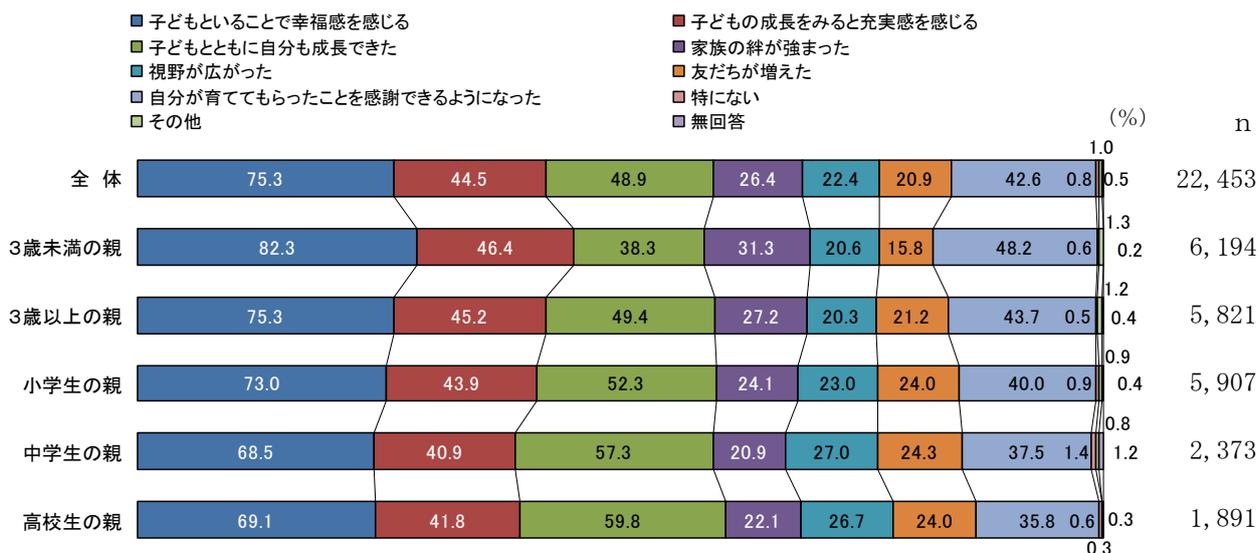


図 子育てを通じて良かったと感じたこと

【5年前からの変化】

- ・全体では、育ててもらったことを感謝できるようになった人が約6%増え、友だちが増えたと感じる人が約5%減った。

『子育てを通じて良かったと感じたこと（就学前 問1）と世帯の暮らし向き（就学前 問13）』

◎ 子育てを通じて良かったと感じたことについて、家庭の経済状況にゆとりがあると回答している人は、「子どもといることで幸福感や充実感を感じる」と回答している割合が高い。また、家庭の経済状況が「普通」「やや苦しい・苦しい」と回答している人は、「自分が育ててもらったことを感謝できるようになった」と回答している割合が「ゆとりがある」と回答した人に比べて高い。

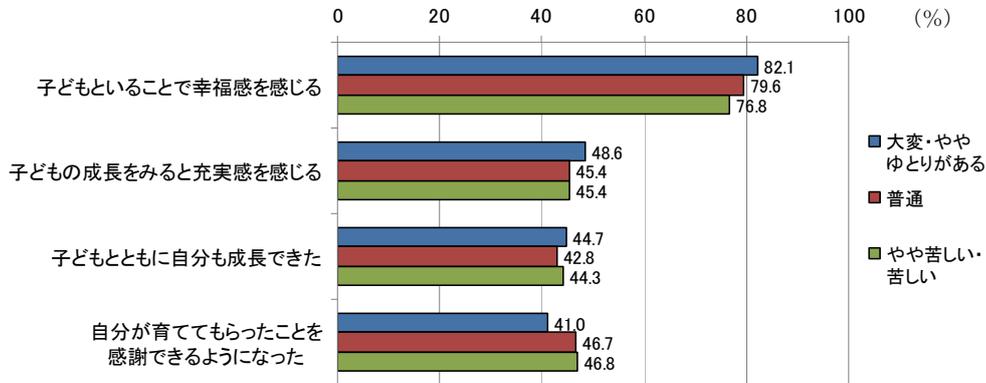


図 子育てを通じて良かったと感じたことと暮らし向きの意識

子育ての悩みや不安について 【問1】

(2) あて名のお子さんを育てている間に、どんなことに悩んだり、不安に感じたり、困ったりしましたか。(3つまで)

- ◇ 全体では、「子どものしつけ・生活習慣のこと」が 55.5%と最も多く、次いで「子どもの病気・健康のこと」が 33.8%、「子どもの発育・発達のこと」が 22.0%、「子育て中に自分のやりたいことができなくてあせるなどのストレスを感じたこと」が 21.8%となっている。
- ◇ 「子育て中に自分のやりたいことができなくなるなどのストレスを感じたこと」は、3歳未満の親が 31.2%と最も高い。
- ◇ 年齢が上がるにつれ、「子どもの成績や勉強のこと」「子どもの友人関係のこと」についての割合が高くなる。

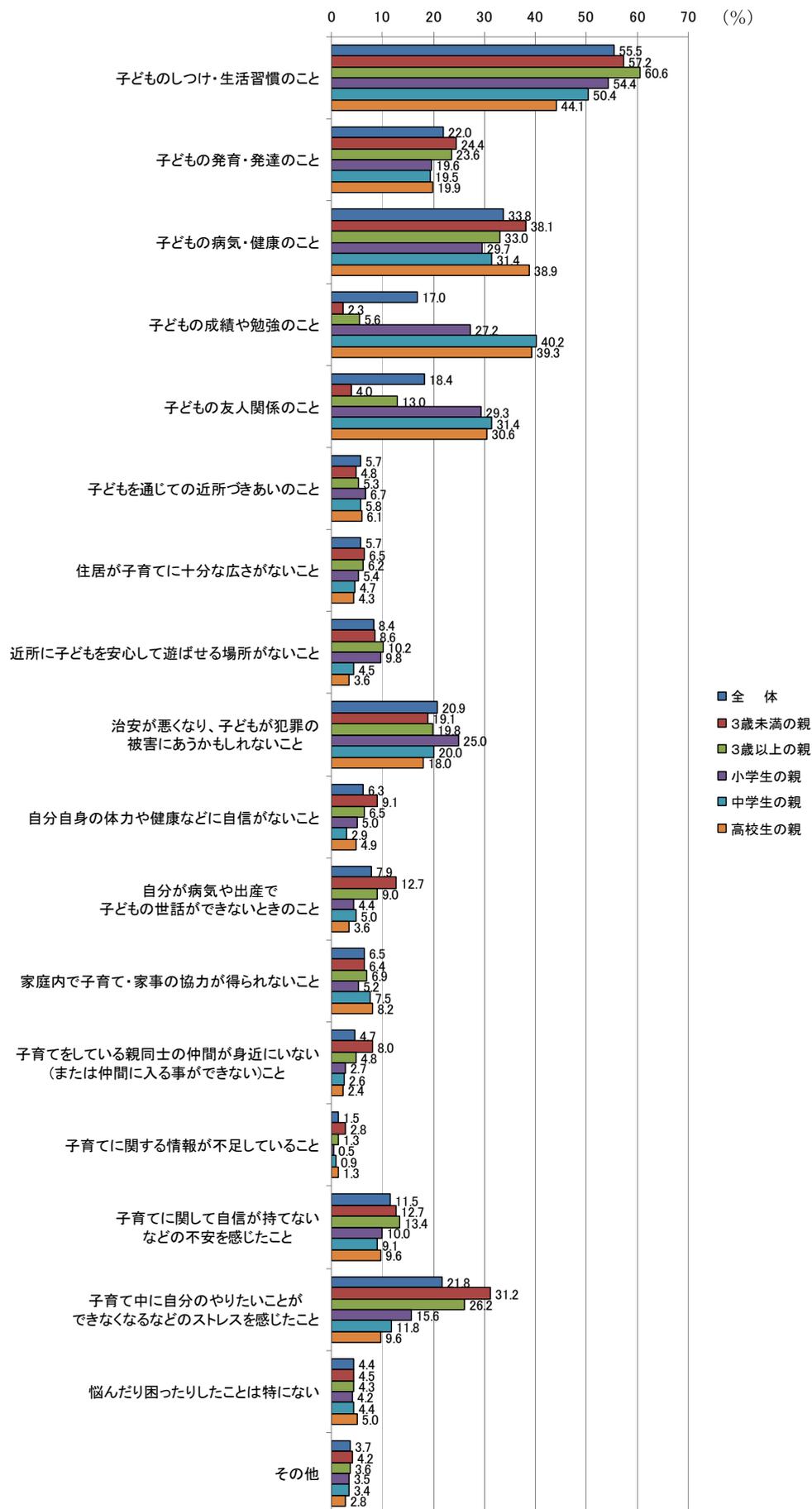


図 子育ての悩みや不安について

回答数 全体=20,298 3歳未満の親=5,575 3歳以上の親=5,204
 小学生の親=5,407 中学生の親=2,177 高校生の親=1,702

【5年前からの変化】

- ・全体では、病気、健康のことが約9%、発育、発達のことを約7%、子育てにストレスを感じたことが約4%増えた。
- ・全体では、子どもが犯罪の被害にあうことが約17%減った。
- ・病気、健康のことの増加量は10.4%と未就学児の親が、発育、発達のことを増加量は7.2%と高校生の親が、子育てにストレスを感じたことの増加量は2.1%と小学生の親がそれぞれ最も多い。
- ・子どもが被害にあうことの割合の減少量は19.0%と未就学児の親が最も多い。
- ・子育てにストレスを感じる親は全体では増えているが、中学生と高校生の親は減少している。

	病気・健康のこと		変化量	発育・発達のこと		変化量
	平成20年	平成25年		平成20年	平成25年	
未就学児の親	25.2	35.6	10.4↑	17.8	24.0	6.2↑
小学生の親	23.1	29.7	6.6↑	12.6	19.6	7.0↑
中学生の親	24.4	31.4	7.0↑	14.9	19.5	4.6↑
高校生の親	30.1	38.9	8.8↑	12.7	19.9	7.2↑

	子育てにストレスを感じる		変化量	犯罪の被害にあうこと		変化量
	平成20年	平成25年		平成20年	平成25年	
未就学児の親	28.0	28.7	0.7↑	38.5	19.5	19.0↓
小学生の親	13.5	15.6	2.1↑	41.9	25.0	16.9↓
中学生の親	12.5	11.8	0.7↓	34.8	20.0	14.8↓
高校生の親	10.7	9.6	1.1↓	28.0	18.0	10.0↓

『子育ての悩みや不安（就学前 問1）と世帯の暮らし向き（就学前 問13）』

- ◎ 子育て中の悩みについて、家庭の経済状況に関わらず回答の割合が1番高いのは「子どものしつけ・生活習慣のこと」である。次点の回答は、家庭の経済状況について「大変ゆとりがある」と回答した人は「子育て中に自分のやりたいことができなくなるなどのストレスを感じた」であり、その他の経済状況を回答した人の「子どもの病気・健康のこと」となっている。

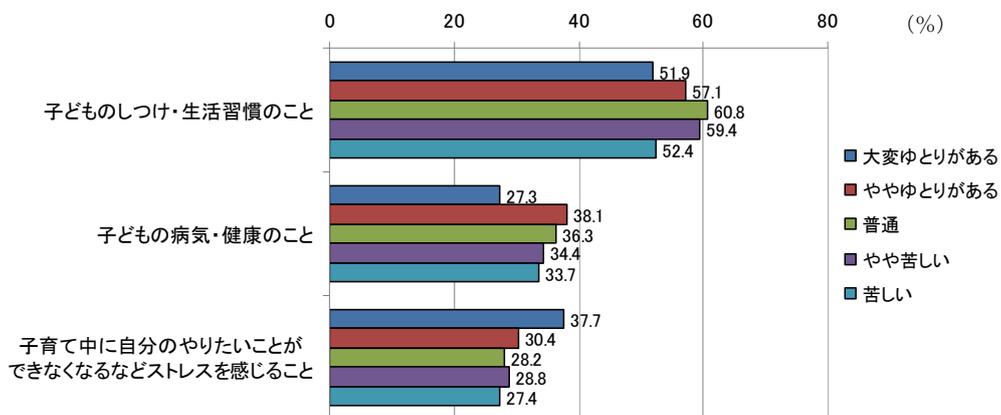


図 子育ての悩みや不安と暮らし向きの意識

『子育ての悩みや不安（就学前 問1）と名古屋市の取り組み（就学前 問17）』

◎ 「家庭内で子育て・家事の協力が得られないこと」を不安や悩みに思っている人は、「労働時間の短縮、育児休業や介護休暇制度など家庭生活と両立する職場環境の整備」や「多様な保育サービスの充実や、放課後児童に対する施策の充実」に期待している。

(%)

	家庭生活と両立する職場環境の整備	多様な保育サービスや放課後児童に対する施策の充実	医療サービスの充実	子どもとともに外出がしやすいまちの整備	子育てについて相談できる機関やサービスの充実	住宅や遊び場・公園の整備など子育てしやすいまちづくり	受験競争やいじめ解消等のゆとりある教育の充実	スポーツ・文化活動など豊かな人間性を作る学校外活動の充実	経済的な支援の充実
しつけ・生活習慣	74.9	83.0	87.6	88.3	67.2	91.5	71.0	80.4	91.1
発育・発達	76.0	84.3	89.2	88.7	74.3	92.4	73.4	80.1	92.3
病気・健康	71.3	83.6	89.9	89.1	70.5	92.3	73.4	80.8	92.1
成績や勉強	71.8	78.4	84.2	80.1	54.4	87.1	69.6	83.0	87.1
友人関係	69.8	82.6	80.2	80.2	63.0	88.6	70.9	81.3	88.0
近所づきあい	72.3	81.8	84.1	88.2	64.5	86.4	70.0	82.3	86.4
住居が狭い	73.2	78.3	88.2	85.3	61.0	90.8	69.5	77.9	91.9
遊ばせる場所がない	72.9	82.0	86.0	84.2	64.7	93.7	66.9	82.0	89.7
治安が悪いこと	75.1	82.9	88.8	88.8	67.0	93.7	73.1	80.3	92.7
自分の体力や健康	75.7	84.6	89.6	88.7	70.9	90.8	70.0	79.5	91.4
病気などで子どもの世話ができない	77.0	87.1	90.8	88.4	71.5	94.0	71.2	81.5	92.3
子育て家事の協力がいない	80.4	89.1	90.5	87.4	76.5	92.6	69.1	82.5	93.7
親同士の仲間がいない・入れない	75.1	82.3	86.6	89.9	72.9	92.4	69.3	76.5	94.2
情報不足	74.4	78.9	88.3	81.1	64.4	84.4	61.1	78.9	87.8
子育てに自信がない	78.9	84.4	90.1	90.1	76.2	92.1	72.6	80.1	91.9
ストレスを感じる	75.9	84.6	87.9	87.5	67.7	90.9	70.0	81.0	91.0
悩みはない	64.2	74.9	78.6	79.1	54.5	87.2	63.6	75.9	85.0

悩みや不安の相談相手について 【問1】

(3) これまで、子育てに関する悩みや不安などを誰に相談してきましたか。(複数回答)

- ◇ 全体では、「配偶者」が81.2%と最も多く、次いで「自分の親」が72.8%、「学校時代や職場の友人」が39.1%、「保育所・幼稚園・学校などの先生」が35.8%、「自分のきょうだい」が29.8%、「配偶者の親」が26.2%となっている。
- ◇ 「保育所・幼稚園・学校などの先生」は3歳以上の親が42.9%と最も多く、「近所の人」の割合は、小学生以上の親に多い傾向がみられる。

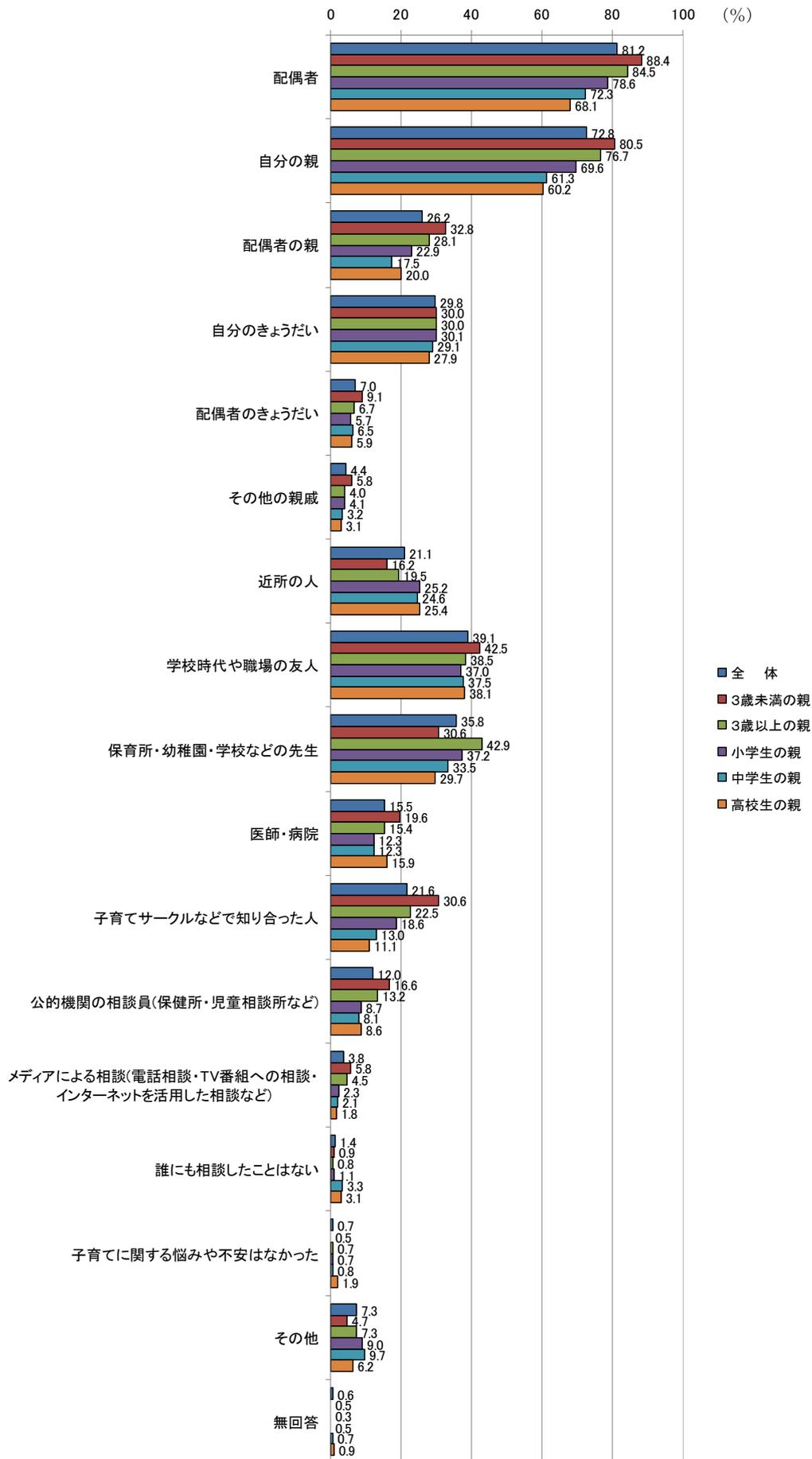


図 子育ての悩みや不安の相談相手

回答数 全体=30,130 3歳未満の親=9,019 3歳以上の親=8,101

小学生の親=7,604 中学生の親=2,845 高校生の親=2,211

【5年前からの変化】

- ・全体では、自分の親が約8%、保育所、幼稚園、学校などの先生が約7%、子育てサークルなどで知り合った人が約6%、配偶者が約5%、配偶者の親が約4%増えた。
- ・全体では、近所の人々が約6%減った。
- ・ほとんどの項目で未就学児の親の増加量が最も多い。
- ・近所の人々の割合の減少量は高校生の親が7.2%と最も多い。

	自分の親		変化量	保育所・幼稚園・学校の先生		変化量
	平成20年	平成25年		平成20年	平成25年	
未就学児の親	73.8	78.6	4.8↑	26.6	36.8	10.2↑
小学生の親	64.4	69.6	5.2↑	33.1	37.2	4.1↑
中学生の親	55.9	61.3	5.4↑	24.8	33.5	8.7↑
高校生の親	52.6	60.2	7.6↑	26.1	29.7	3.6↑

	子育てサークルで知り合った人		変化量	配偶者		変化量
	平成20年	平成25年		平成20年	平成25年	
未就学児の親	25.5	26.6	1.1↑	82.2	86.5	4.3↑
小学生の親	11.3	18.6	7.3↑	76.5	78.6	2.1↑
中学生の親	8.0	13.0	5.0↑	71.1	72.3	1.2↑
高校生の親	7.1	11.1	4.0↑	69.3	68.1	1.2↓

	配偶者の親		変化量	近所の人		変化量
	平成20年	平成25年		平成20年	平成25年	
未就学児の親	24.8	30.5	5.7↑	22.3	17.9	4.4↓
小学生の親	21.0	22.9	1.9↑	29.5	25.2	4.3↓
中学生の親	16.2	17.5	1.3↑	26.6	24.6	2.0↓
高校生の親	15.6	20.0	4.4↑	32.6	25.4	7.2↓

お子さんの育つ環境について 【問2】【問4】

■あて名のお子さんの育つ環境について。

(1) あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。（1つ）

◇ 全体では、「母親」が78.6%と最も多く、次いで「父母ともに」が17.3%、「父親」が2.3%となっている。

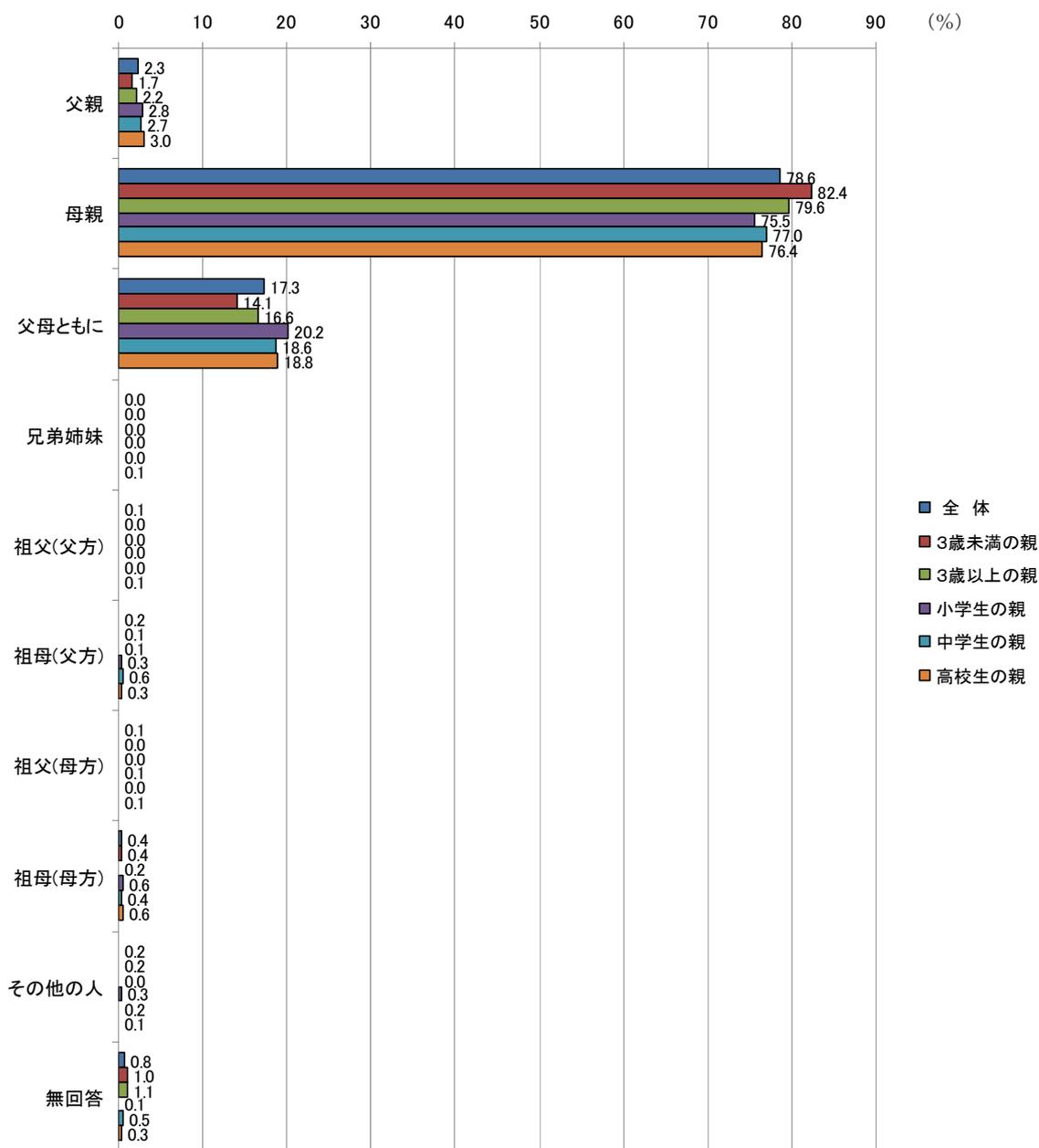


図 子育てを主に行う人

回答数 全体=7,927 3歳未満の親=2,173 3歳以上の親=2,047
小学生の親=2,090 中学生の親=848 高校生の親=674

父親の方の就労状況について 【問3】【問5】

■あて名のお子さんの保護者のかたの、現在の就労状況について。

(1) 父親

◇ 父親の就労状況では、「就労している」が97.2%である。

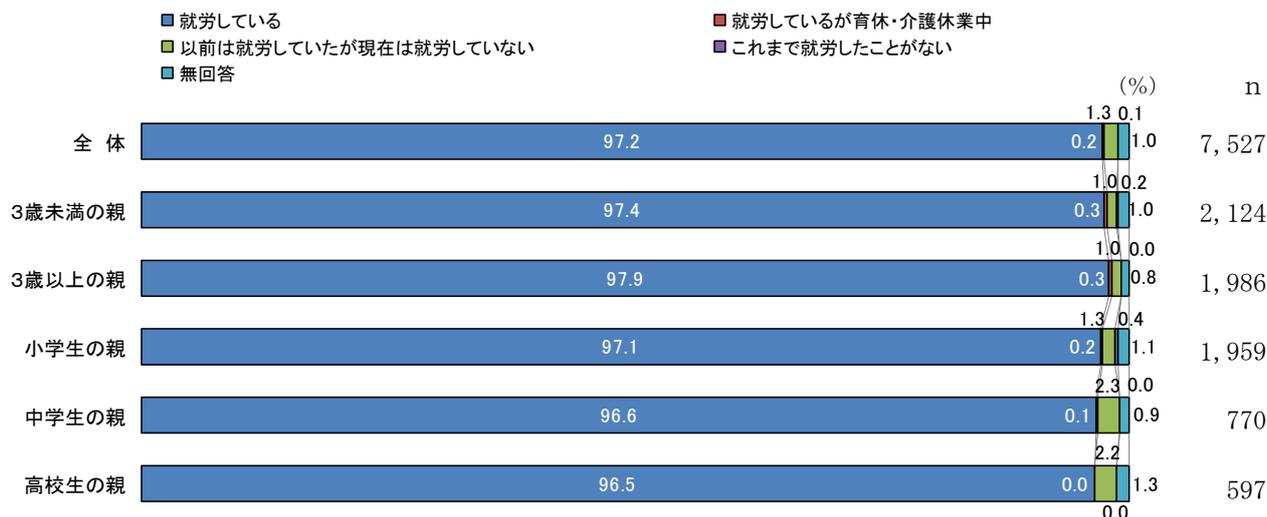


図 父親の就労状況

【5年前からの変化】

・全体では、父親の就労している割合が約8%増えた。

(1) - 1 父親のかたの就労形態にあてはまるものを選んでください。(1つ)

◇ 「正社員」が73.3%と最も多く、次いで「公務員」が8.8%、「自営業・自由業」が8.5%、「経営者・役員」が5.0%となっている。

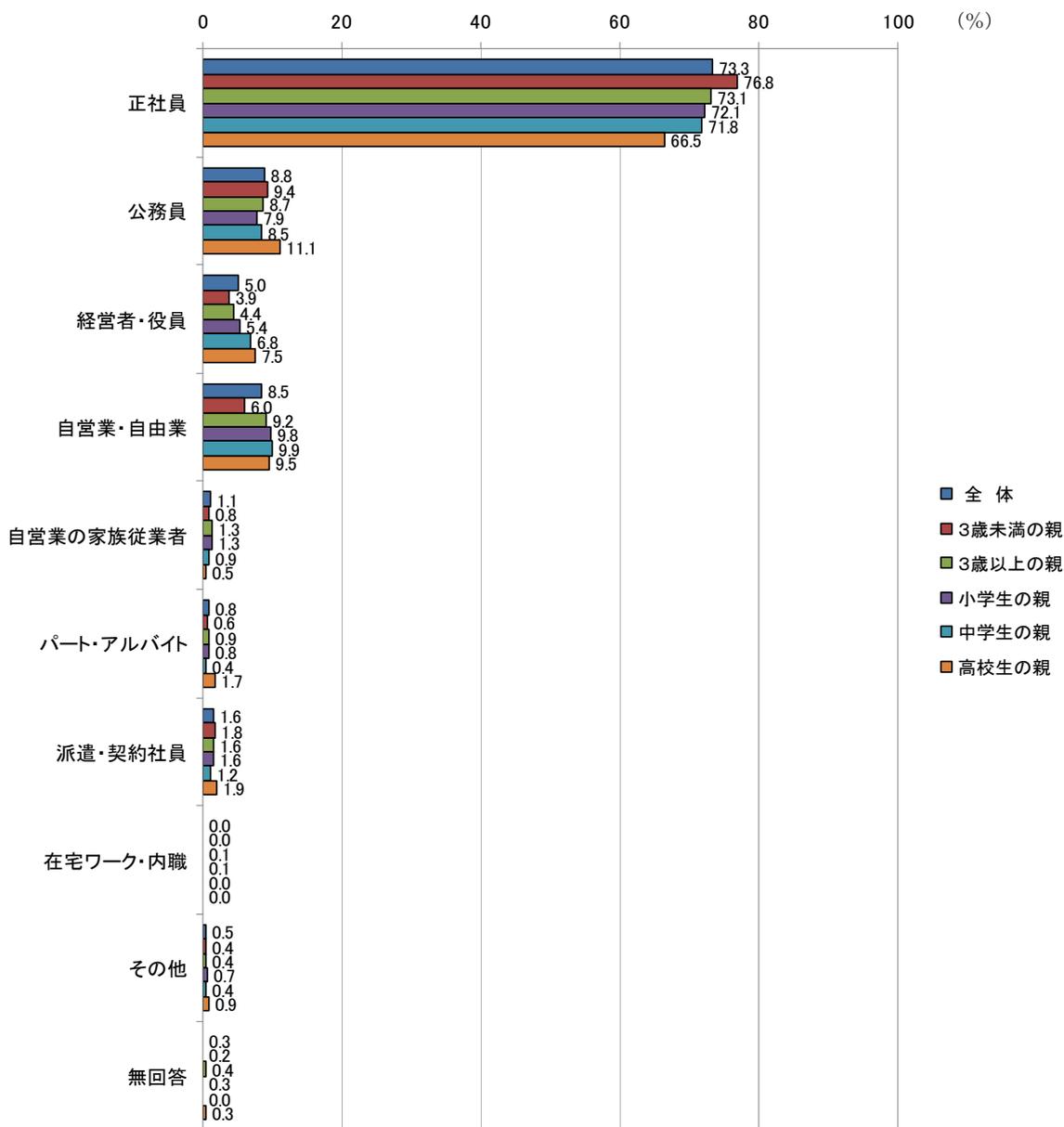


図 父親の就労形態

回答数 全体=7,337 3歳未満の親=2,076 3歳以上の親=1,950
小学生の親=1,905 中学生の親=745 高校生の親=576

【5年前からの変化】

・全体では、正社員として働いている人が約4%増えた。

『父親の就労形態（就学前 問3（1））と世帯の暮らし向き（就学前 問13）』

◎ 家庭の経済状況と父親の就労形態について、非正規雇用の約30%が「苦しい」と回答しており、「やや苦しい」と併せると50%以上となる。

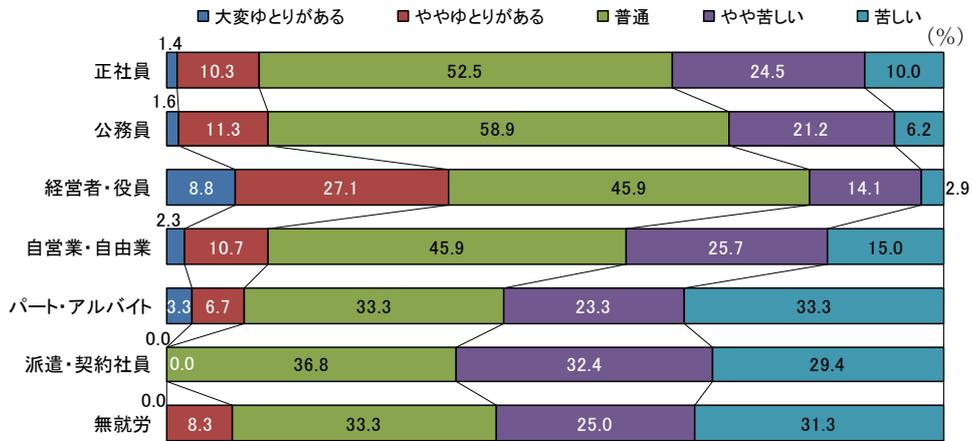


図 父親の就労形態と暮らし向きの意識

(1) - 2 父親のかたの平均的な1週間の就労日数について

◇ 週5日（週休2日）が62.0%と最も多く、週6日が31.8%、週7日が2.8%となっている。



図 父親の1週間の就労日数

【5年前からの変化】

・父親の平均的な1週間の就労日数は5年前と大きく変わっていない。

(1) - 3 父親のかたの平均的な1日の就労時間と、家を出る時間と帰宅時間について

【勤務体制】

◇ 「勤務時間が決まっている」人が91.3%、「交代勤務で決まっていない」人が7.1%である。

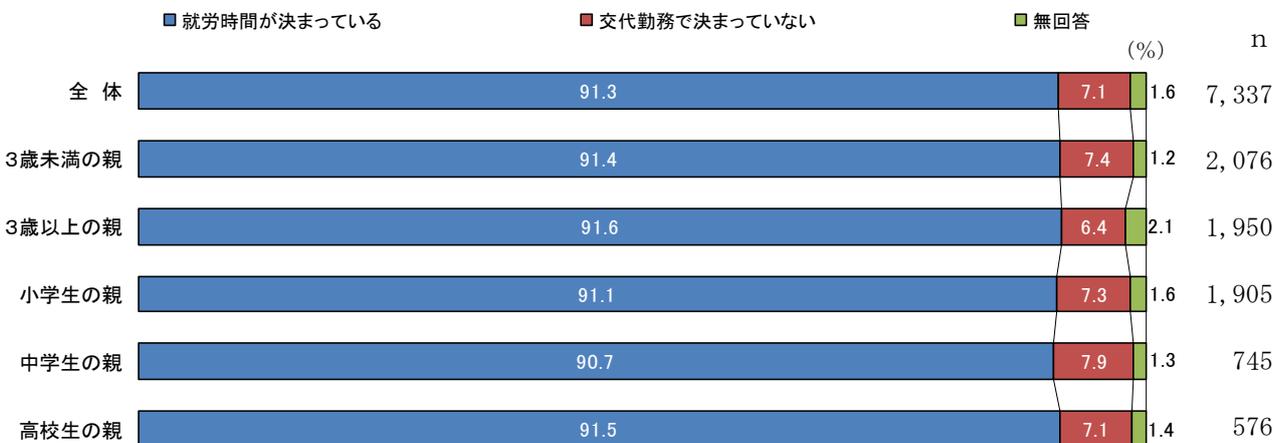


図 父親の1日の勤務体制

【就労時間】

<始業時刻>

◇ 「8時」からが51.5%と最も多く、次いで「9時」が31.5%、「7時」が6.4%となっている。



図 父親の1日の就労時間：始業

◆ 父親の始業時間は、7時以降から急激に増加していき、「8時」で約60%となる。

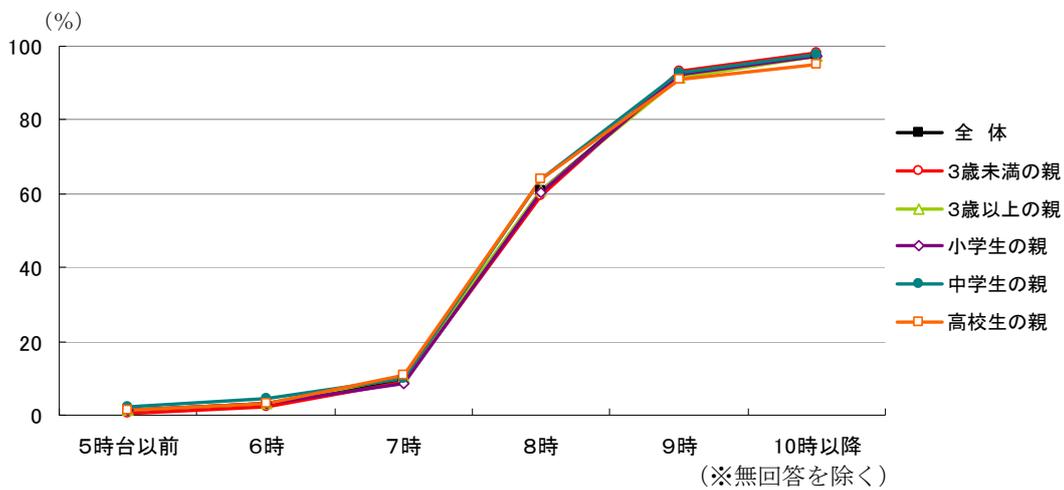


図 父親の1日の就労時間（累計）：始業

<終業時刻>

◇ 「18時以降」が49.4%と最も多く、次いで「17時」までが39.6%、「15時台以前」が4.6%となっている。



図 父親の1日の就労時間：終業

◆ 父親の就業時間は、16時から急激に増加していき、「18時」で約60%以上の割合となる。

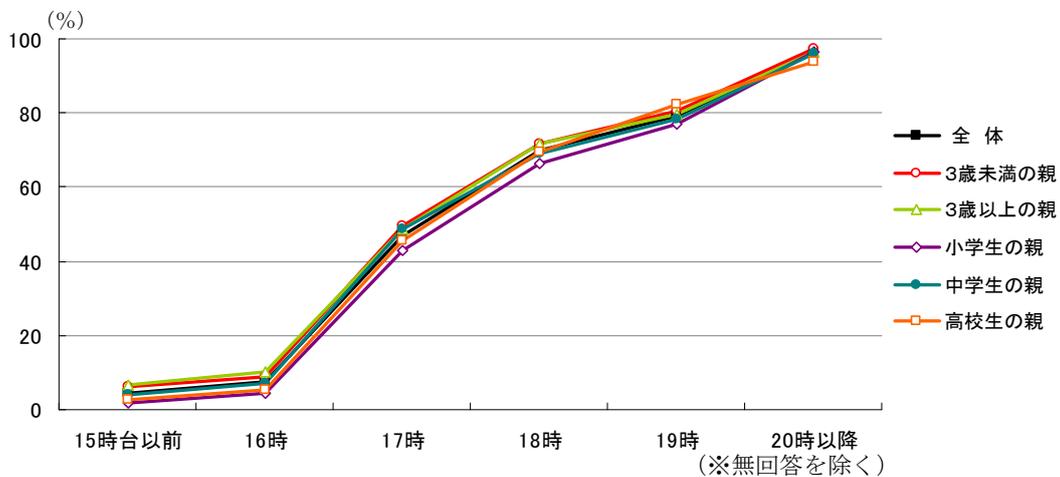


図 父親の1日の就労時間（累計）：終業

【5年前からの変化】

・父親の平均的な1日の就労時間は始業終業ともに、5年前と大きく変わっていない。

【家を出る時間】

◇ 「7時」が41.0%と最も多く、次いで「8時」が32.3%、「7時前」が16.9%、「9時」が5.2%となっている。

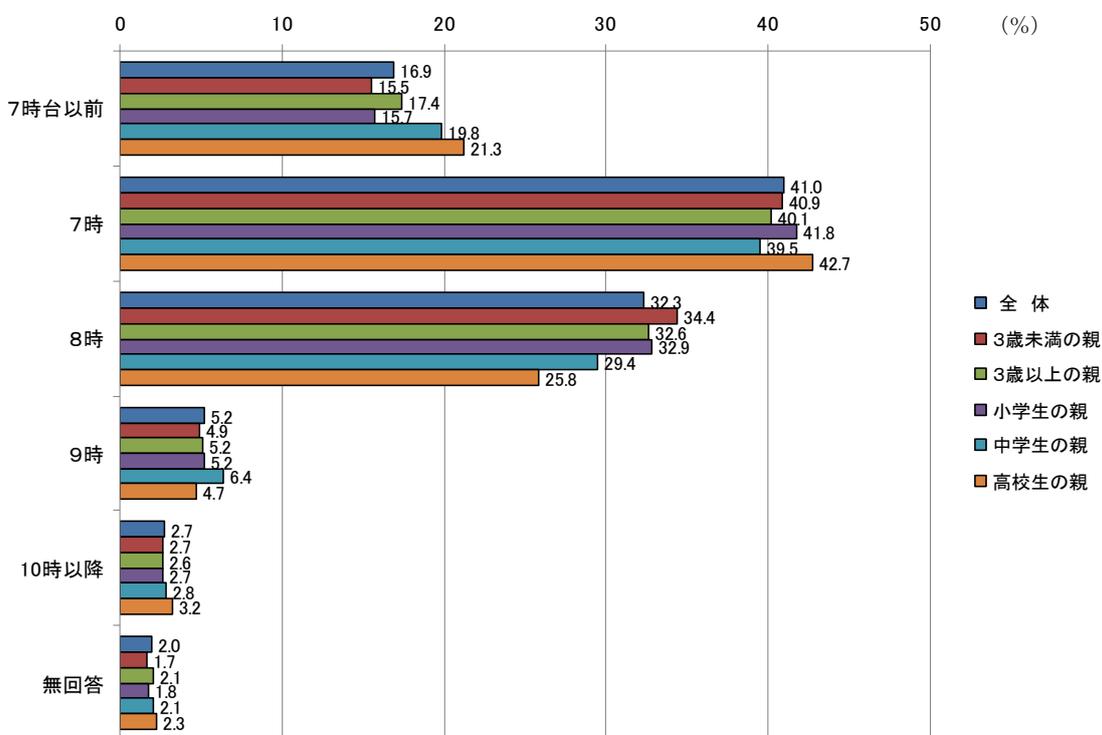


図 父親の平均的な家を出る時間

回答数 全体=6,698 3歳未満の親=1,898 3歳以上の親=1,786
小学生の親=1,735 中学生の親=676 高校生の親=527

◆ 父親の家を出る時間は、「8時」で約90%の割合となる。

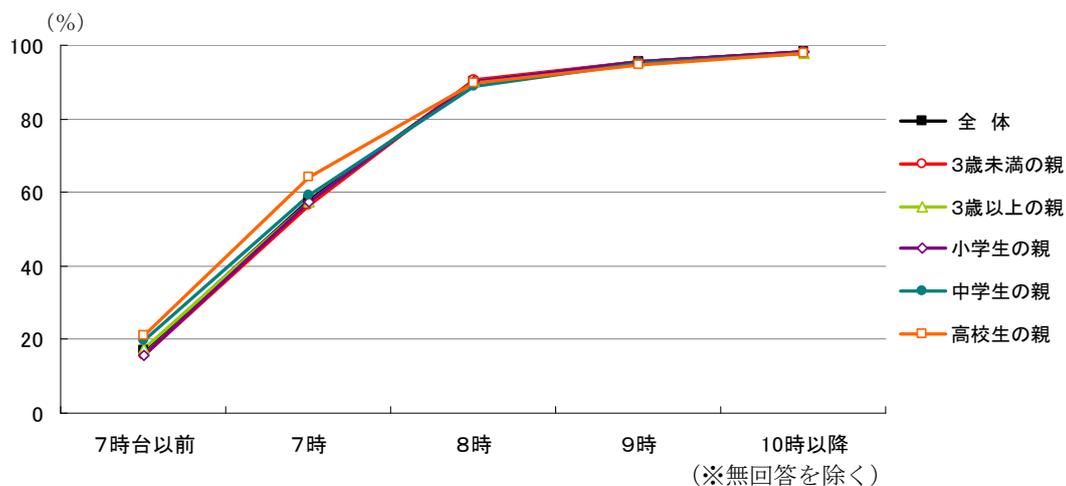


図 父親の平均的な家を出る時間 (累計)

【帰宅時間】

◇ 「19時」が19.3%と最も多く、次いで「20時」が18.9%、「21時前」が17.3%、「22時」が12.9%、「18時」が9.5%、「16時台以前」が8.3%、「23時」が6.5%となっている。

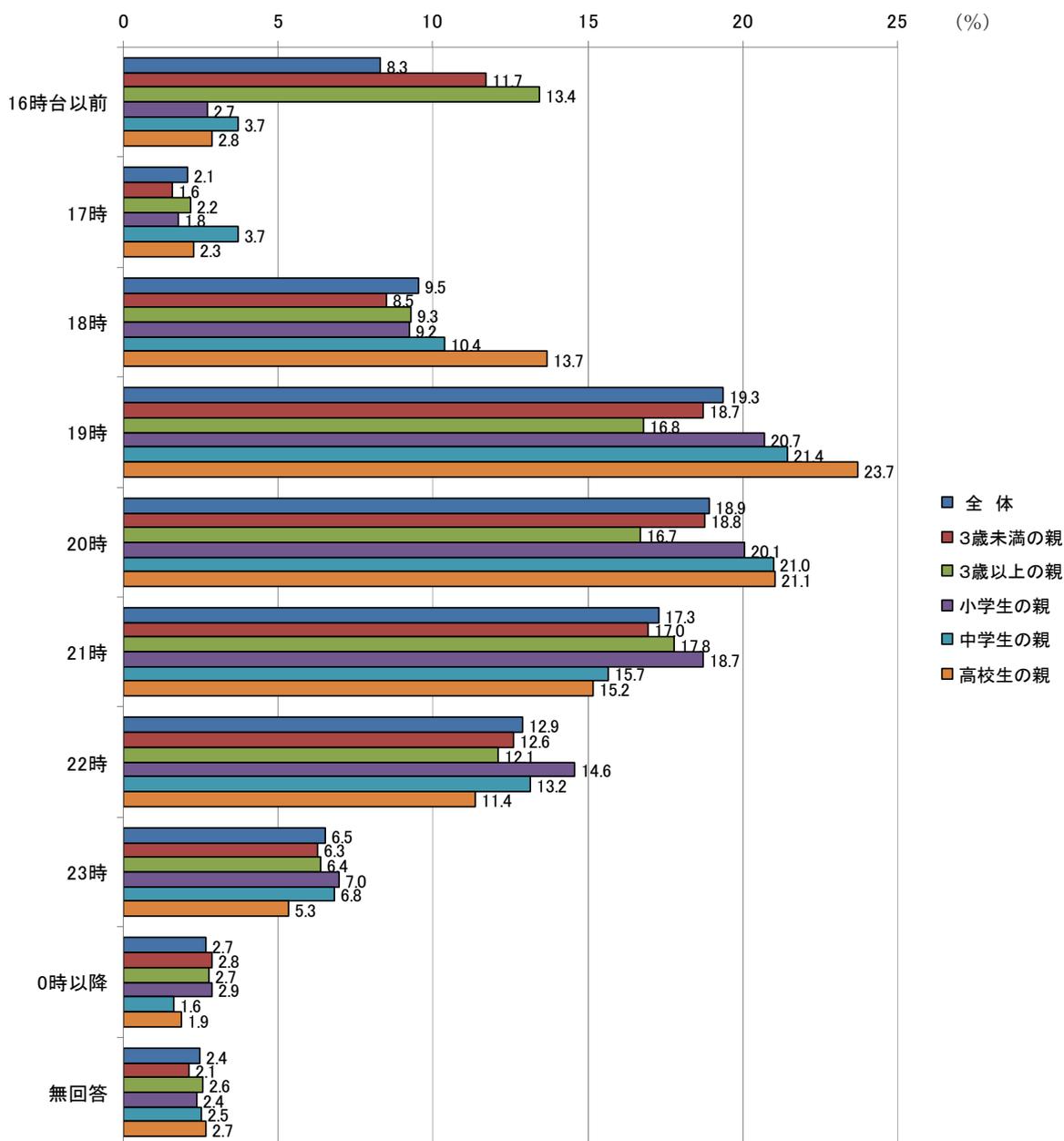


図 父親の平均的な帰宅時間

回答数 全体=6,698 3歳未満の親=1,898 3歳以上の親=1,786
小学生の親=1,735 中学生の親=676 高校生の親=527

◆ 父親の帰宅時間は、18時以降から急激に増加していき、「20時」で約60%の割合となる。

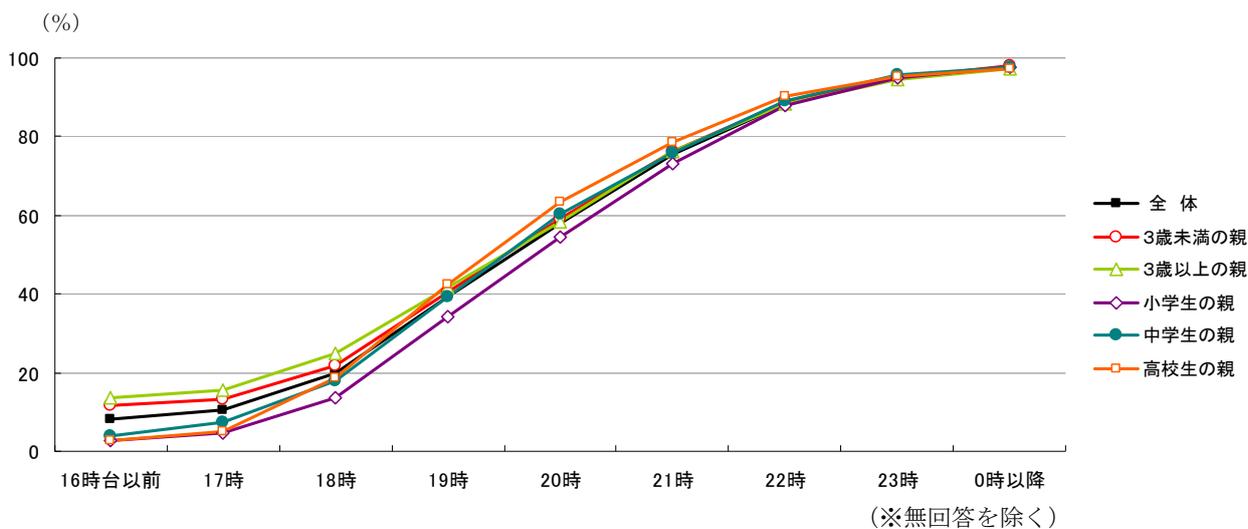


図 父親の平均的な帰宅時間（累計）

【5年前からの変化】

・全体では、16時台以前に帰宅する人が約6%増えた。

(1) - 4 父親のかたは、主な仕事以外に別の仕事（副業）をしていますか。（1つ）

◇ 「これまでに副業をしたことがない」が90%を占めている。



図 父親の副業の有無

(1) - 5 父親のかたの副業の就労形態について（1つ）

◇ 「パート・アルバイト」が58.7%と最も多く、次いで「自営業・自由業」が25.5%、「在宅ワーク・内職」が2.2%となっている。

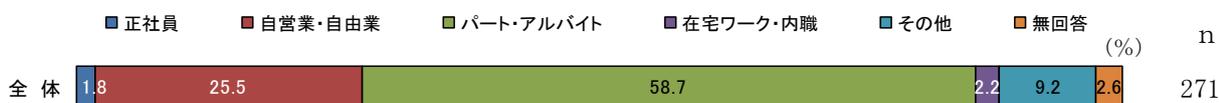


図 父親の副業の就労形態

【就労日数】

◇ 「1日以下」が29.2%と最も多く、次いで「2日」が18.8%、「5日」が10.7%、「3日」が7.0%となっている。

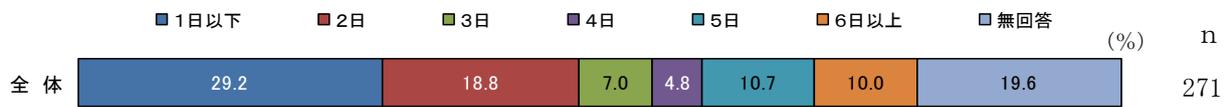


図 父親の副業の就労日数

【就労時間】

◇ 「2時間以上4時間未満」が28.0%と最も多く、次いで「4時間以上6時間未満」が19.6%、「8時間以上10時間未満」が11.1%となっている。



図 父親の副業の就労時間

(1) - 6 父親のかたは転職の希望がありますか。転職後の就業状況について（複数回答）

- ◇ 「転職の希望はない」が81.8%と最も多く半分以上を占める。
- ◇ 転職希望の内容をみると、「もっと働く時間を短くしたい」が6.7%、「違う職種にかわりたい」が4.1%、「もっと働く日数を少なくしたい」が3.9%などとなっている。

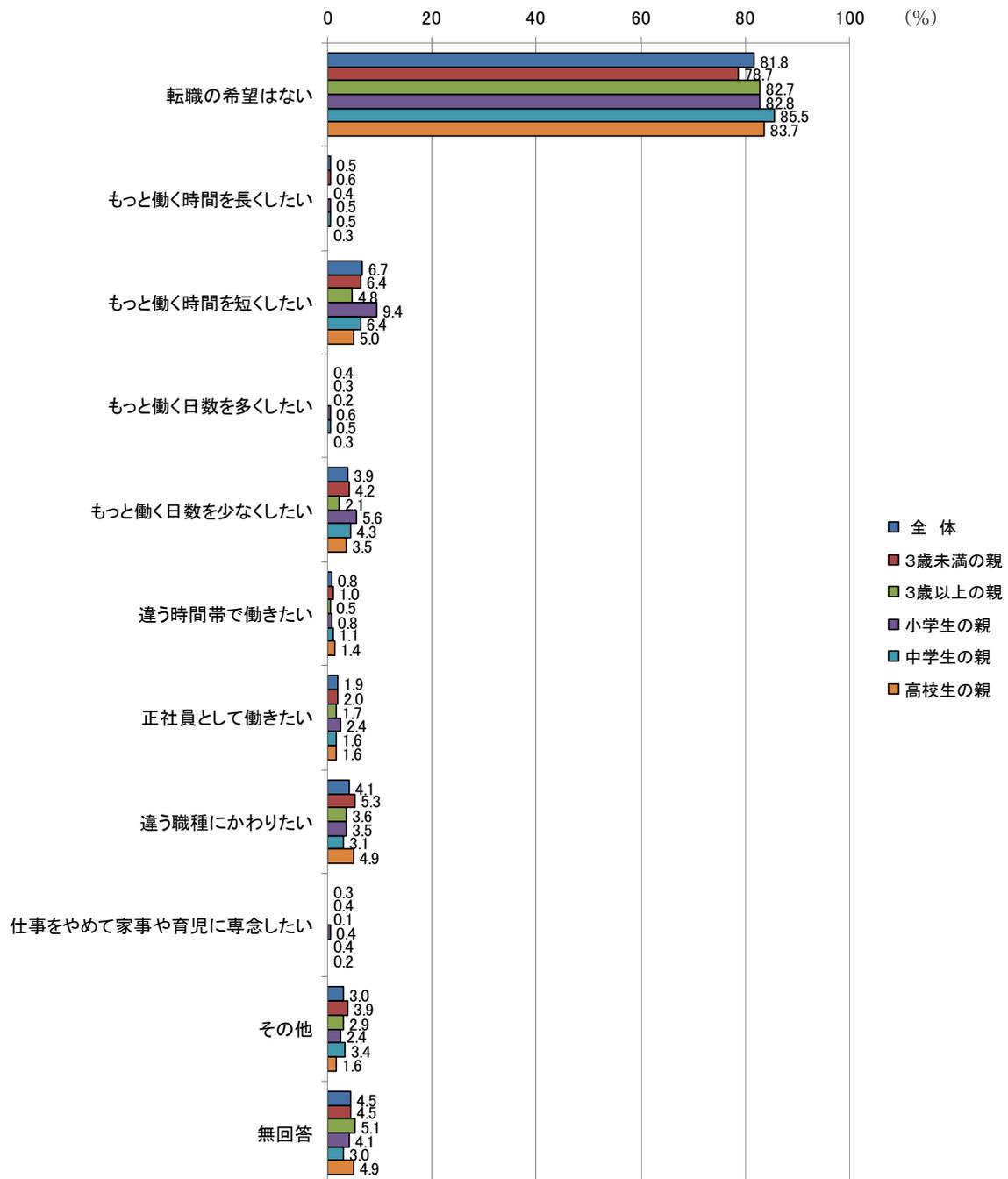


図 父親の転職希望

回答数 全体=7,927 3歳未満の親=2,228 3歳以上の親=2,031
小学生の親=2,143 中学生の親=818 高校生の親=618

(1) - 8 父親のかたは、今後、副業の希望がありますか。(1つ)

◇ 「副業の希望はない」が52.1%、「就業規定上、副業できない」が35.0%である。

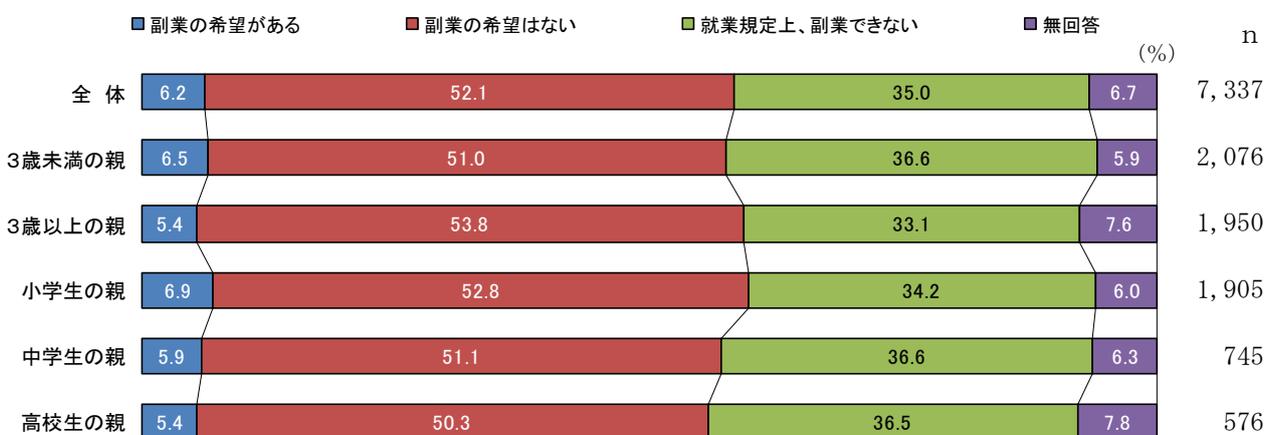


図 父親の副業希望

【収入額（月）】

◇ 「10万円以上」が43.7%と最も多く、次いで「4万円以上6万円未満」が27.7%、「2万円以上4万円未満」が9.2%となっている。

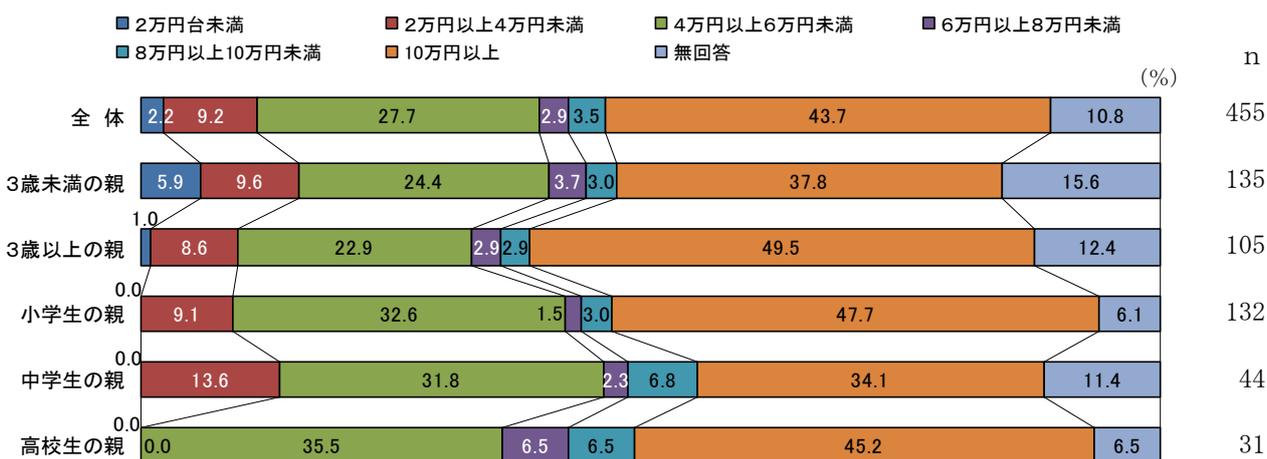


図 父親の副業の希望収入額

平均値 全体=115,419円 3歳未満の親=107,018円 3歳以上の親=118,859円
小学生の親=125,081円 中学生の親=104,359円 高校生の親=115,000円

(2) 父親のかたは、今後、就労の希望がありますか。(1つ)

◇ 「すぐにでも若しくは1年以内に就労したい」が37.5%と最も多い。また、「就労の希望はない」は17.0%である。

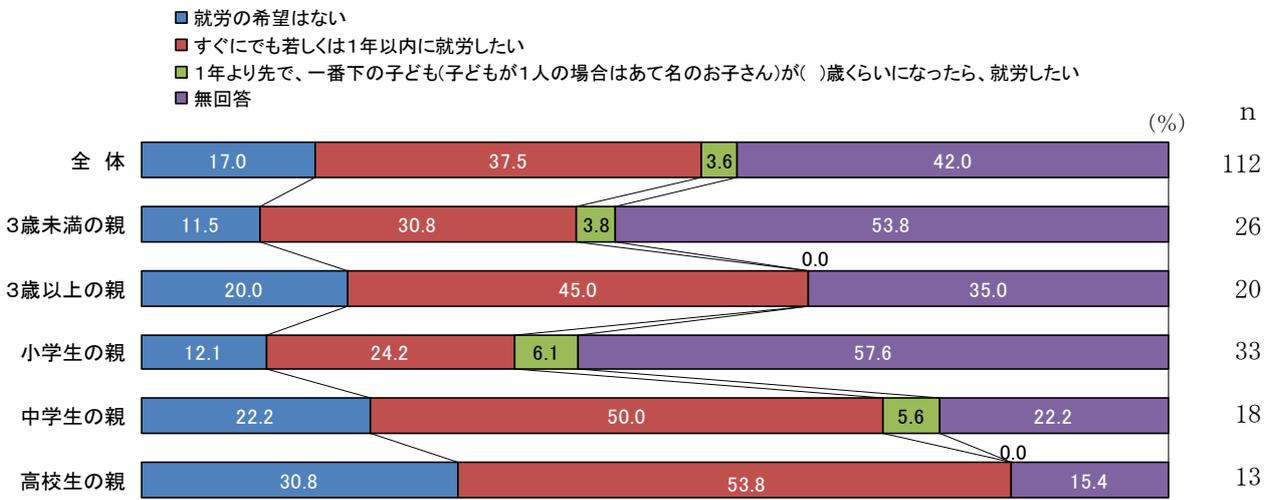


図 父親の今後の就労希望

(2) - 1 父親のかたが今後就労する場合、どのような就労を希望しますか。(1つ)

◇ 「正社員」が76.1%と最も多く、次いで「パート・アルバイト」が6.5%、「自営業・自由業」が4.3%となっている。



図 父親の今後の希望就労形態

(2) - 2 父親のかたが、就労希望があるのに、現在働いていない理由は何ですか。(1つ)

◇ 「希望する就労先がない(見つからない)から」が41.3%と最も多く、次いで「働きながら子育てできる適当な仕事がないから」「自分の知識、能力にあう仕事がないから」が8.7%となっている。

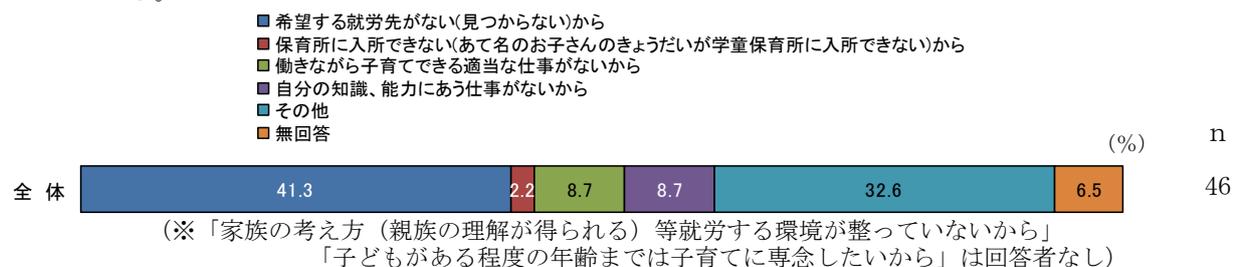


図 父親の現在、就労していない理由

『父親の現在働いていない理由(就学前 問3(1))と世帯の暮らし向き(就学前 問13)』

◎ 在宅の父親が、就労希望があるが就労していない理由について、家庭の経済状況が「苦しい」と感じるほど「希望する就労先がない」の割合が高い。

	希望する就労先がない	働きながら子育てできる適当な仕事がない	自分の知識、能力にあう仕事がないから
大変ゆとりがある	—	—	—
ややゆとりがある	—	—	—
普通	33.3	—	16.7
やや苦しい	33.3	16.7	—
苦しい	66.7	—	—

母親の方の就労状況について 【問3】【問5】

■あて名のお子さんの保護者のかたの、現在の就労状況について。

(3) 母親

- ◇ 母親の就労状況では、「就労している」が54.1%である。
- ◇ 父親の割合とは違い、「以前は就労していたが現在は就労していない」が36.6%と高めている。

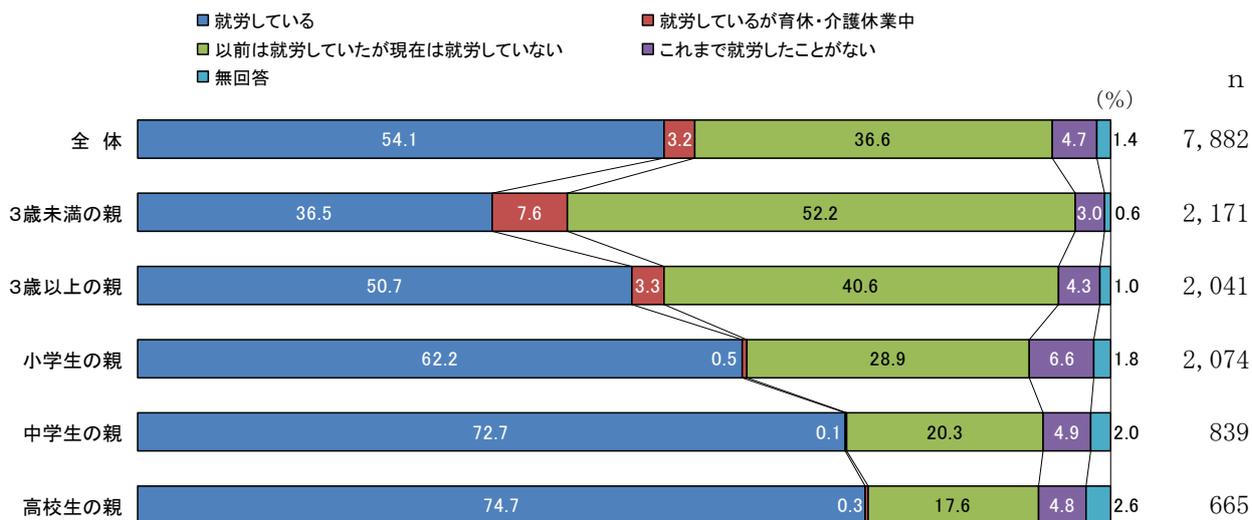


図 母親の就労状況

【5年前からの変化】

- ・母親の就労状況は5年前と大きく変わっていない。

(3) - 1 母親のかたの就労形態にあてはまるものを選んでください。(1つ)

- ◇ 「パート・アルバイト」が50.2%と最も多く、次いで「正社員」が23.7%、「公務員」が6.8%、「派遣・契約社員」が5.4%、「自営業・自由業」が4.2%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「正社員」の割合が41.0%と高く、小学生以上の親は「パート・アルバイト」の割合が高い。

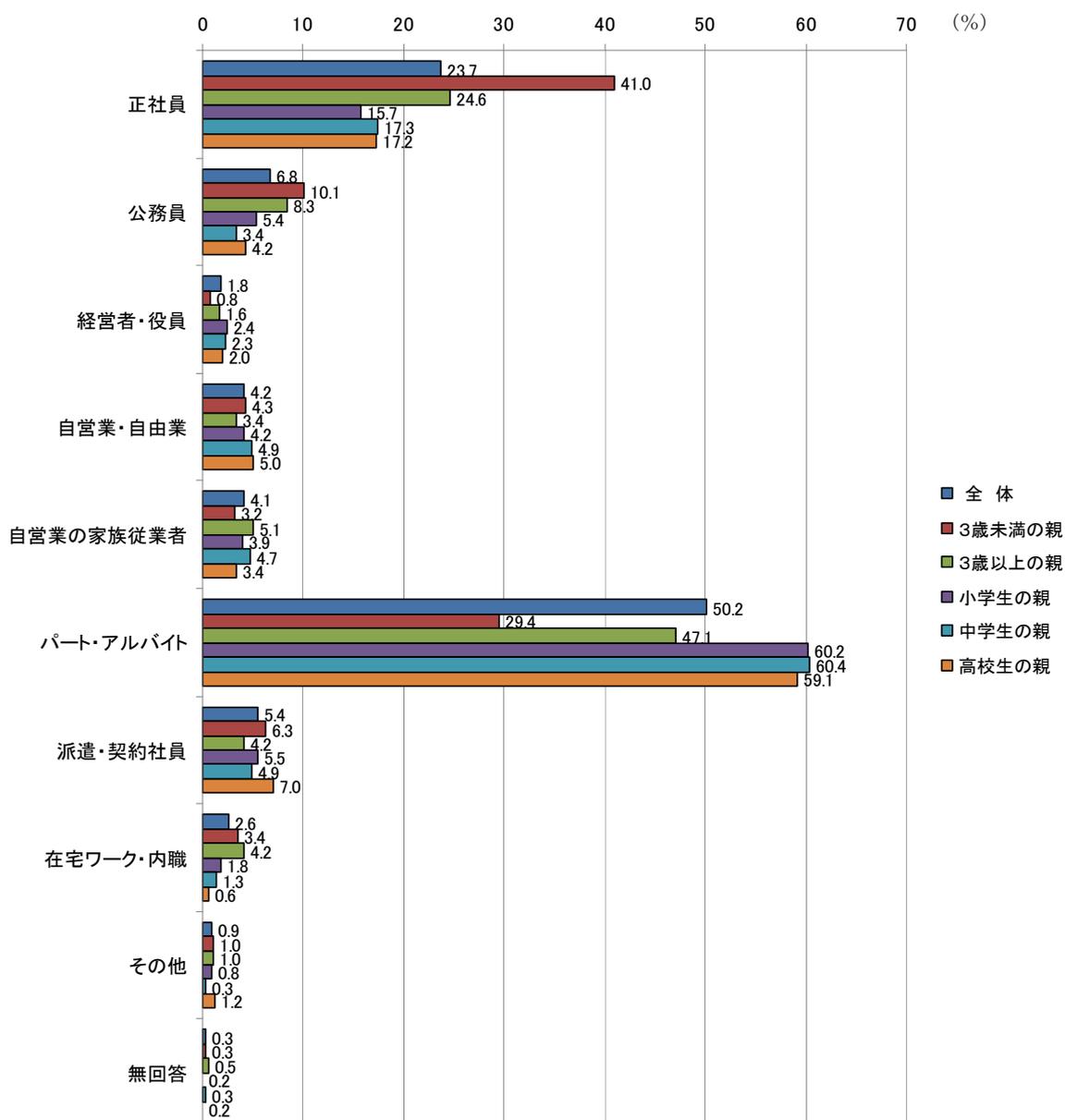


図 母親の就労形態

回答数 全体=4,519 3歳未満の親=958 3歳以上の親=1,103
 小学生の親=1,300 中学生の親=611 高校生の親=499

【5年前からの変化】

・全体では、正社員の人が約6%増え、自営業の家族従業員の人が約4%減った。

『母親の就労形態（就学前 問3（3））と世帯の暮らし向き（就学前 問13）』

◎ 家庭の経済状況と母親の就労形態について、非正規雇用の約30%が「やや苦しい」と回答しており、「苦しい」と併せると約40%以上となる。

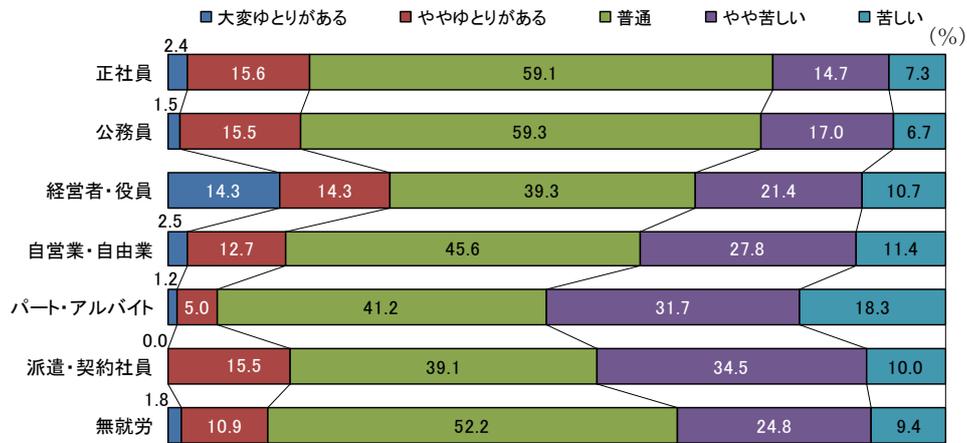


図 母親の就労形態と暮らし向きの意識

(3) - 2 母親のかたの平均的な1週間の就労日数について

◇ 週5日（週休2日）が53.6%、週4日が17.4%であり、週3日が11.0%となっている。



図 母親の1週間の就労日数

【5年前からの変化】

・全体では、6日以上働いている人が約4%減った。

(3) - 3 母親のかたの平均的な1日の就労時間と、家を出る時間と帰宅時間について

【勤務体制】

◇ 「勤務時間が決まっている」人が89.8%、「交代勤務で決まっていない」人が8.2%である。



図 母親の1日の勤務体制

【就労時間】

<始業時刻>

◇ 「9時」からが48.1%と最も多く、次いで「8時」が28.6%、「10時以降」が20.9%となっている。

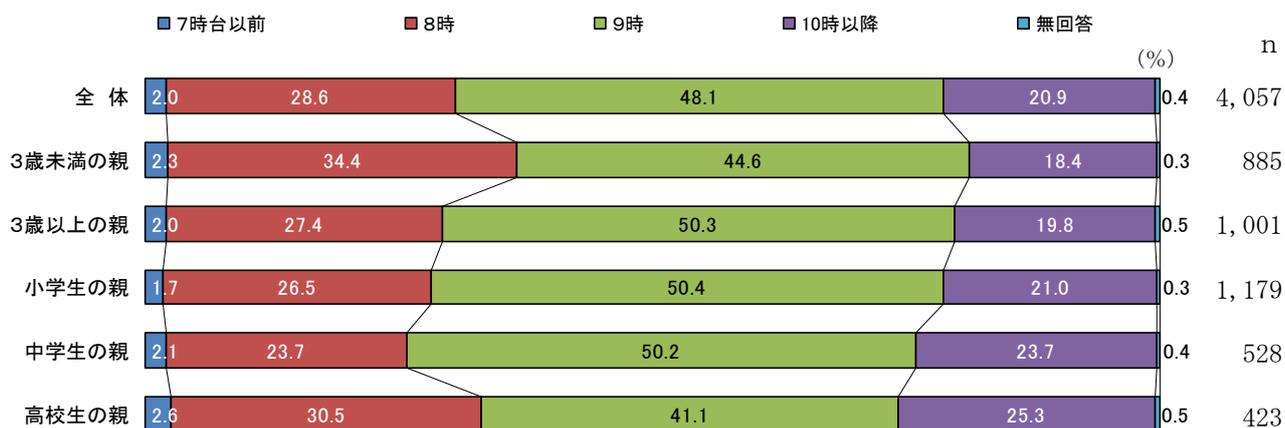


図 母親の1日の就労時間：始業

◆ 母親の始業時間は、7時以降から急激に増加していき、「9時」で約80%の割合となる。

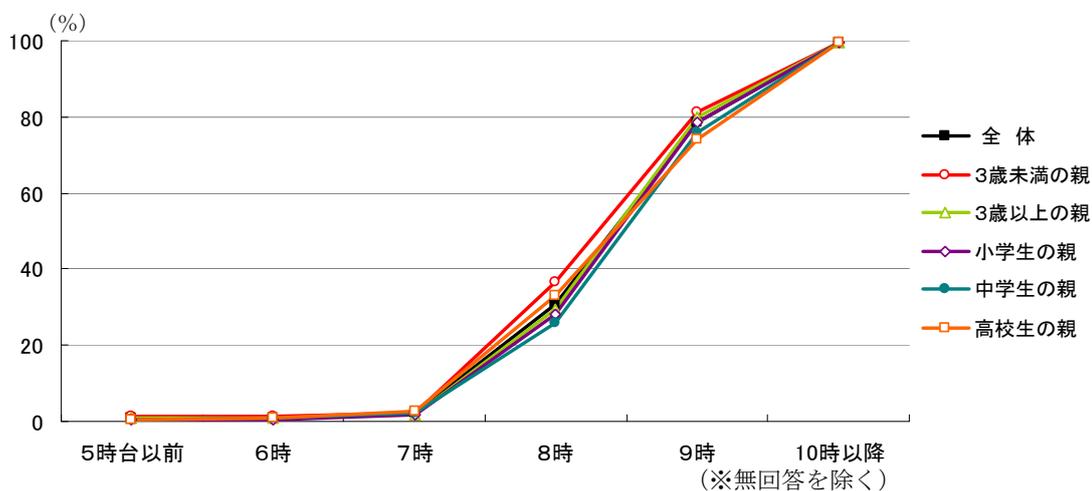


図 母親の1日の就労時間（累計）：始業

【5年前からの変化】

・全体では、8時台に仕事を始める人約4%が増えた。

<終業時刻>

◇ 「15時台以前」までが37.9%と最も多く、次いで「17時」までが29.0%、「16時」までが20.3%となっている。

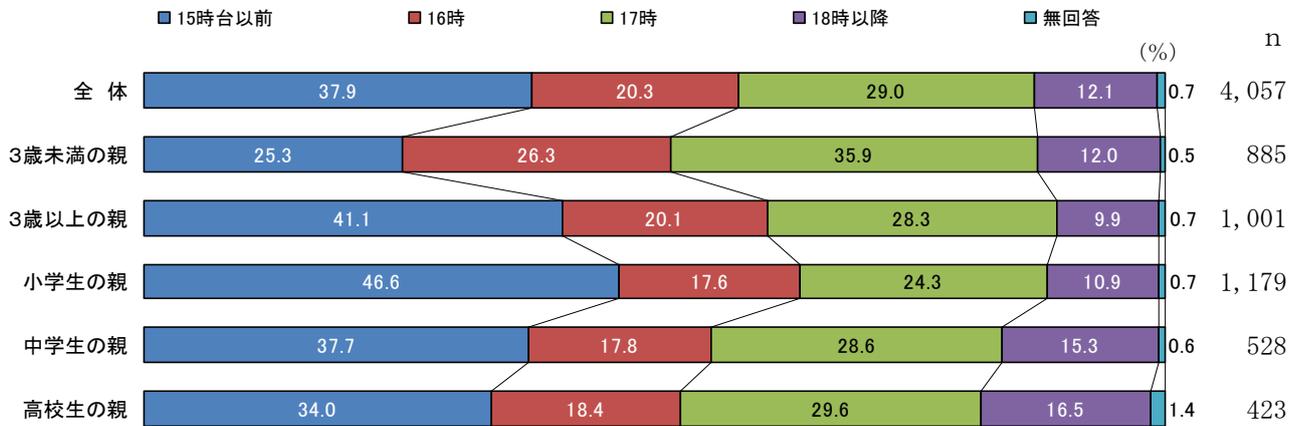


図 母親の1日の就労時間：終業

◆ 母親の就業時間は、「17時」で約80%以上の割合となる。

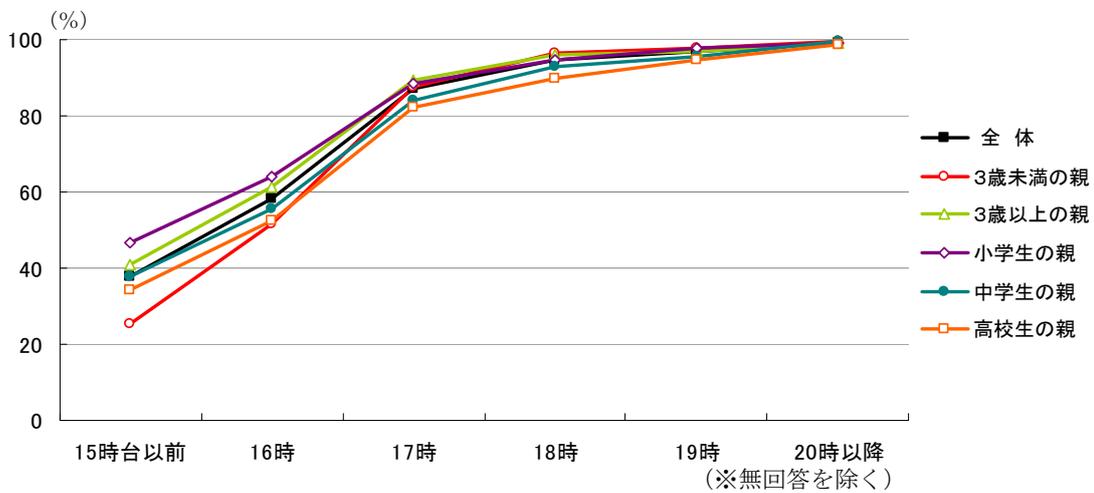


図 母親の1日の就労時間（累計）：終業

【5年前からの変化】

・全体では、16時台に仕事が終わる人が約7%増えた。

【家を出る時間】

- ◇ 「8時」が48.7%と最も多く、次いで「9時」が20.8%、「7時」が14.9%、「10時以降」が5.2%となっている。
- ◇ 全体的に父親よりも母親のほうが1時間遅く家を出ている人が多い。

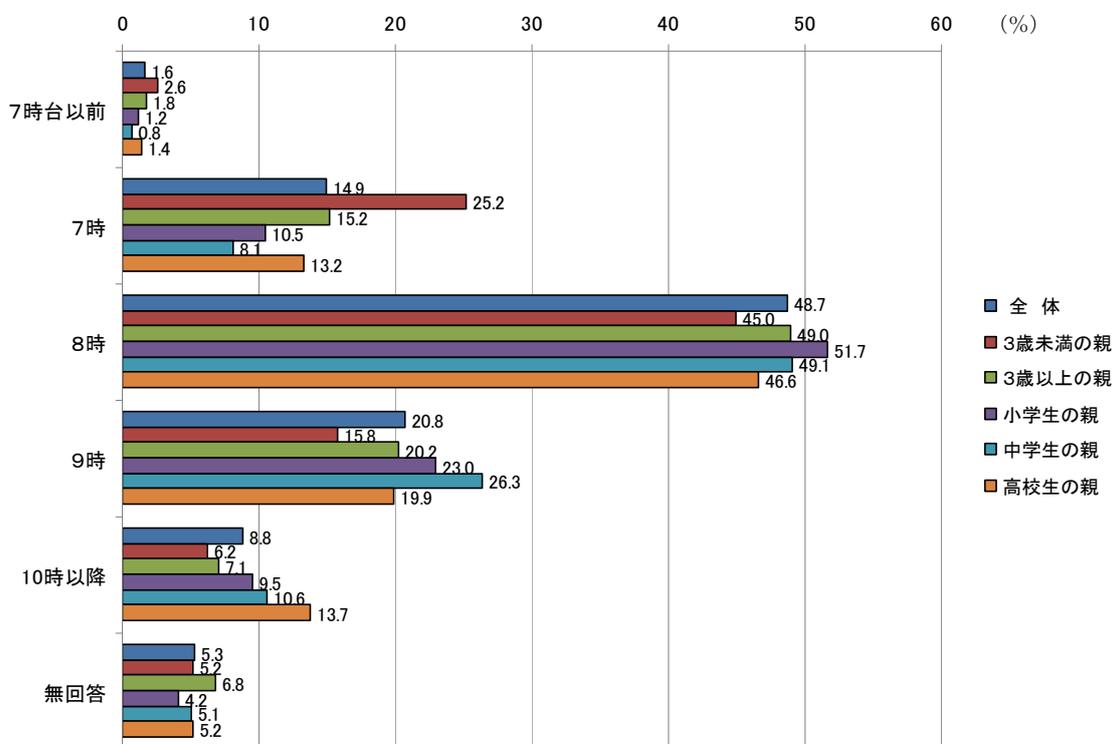


図 母親の平均的な家を出る時間

回答数 全体=4,057 3歳未満の親=885 3歳以上の親=1,001
小学生の親=1,179 中学生の親=528 高校生の親=423

- ◆ 母親の家を出る時間は、7時以降に急激に増加し、「8時」で約60%の割合となる。

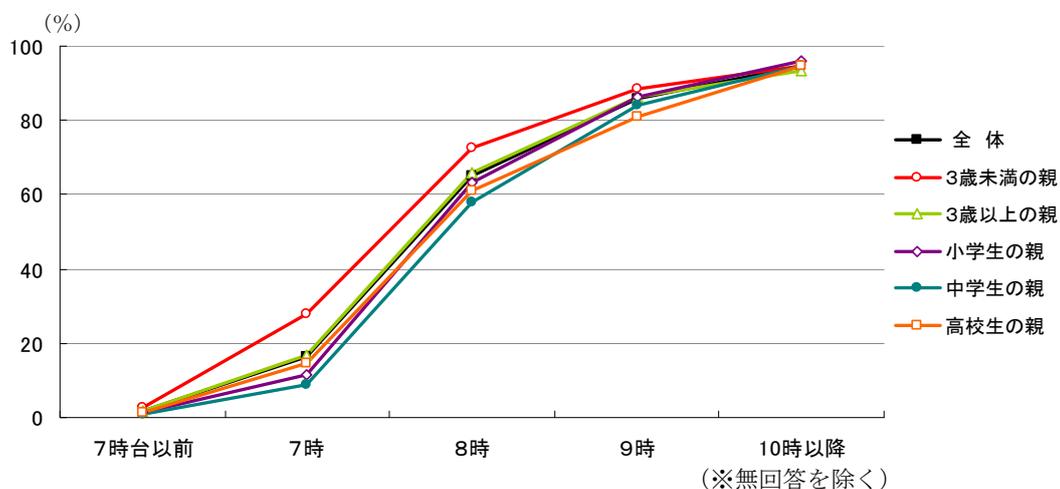


図 母親の平均的な家を出る時間 (累計)

【帰宅時間】

- ◇ 「16時台以前」が39.2%と最も多く、次いで「18時」が22.7%、「17時」が16.7%、「19時」が11.1%となっている。
- ◇ 父親の場合、「20時以降」に帰宅している割合が58.3%で全体の半分以上を占めたが、母親の場合は4.6%で割合としては一番低い。

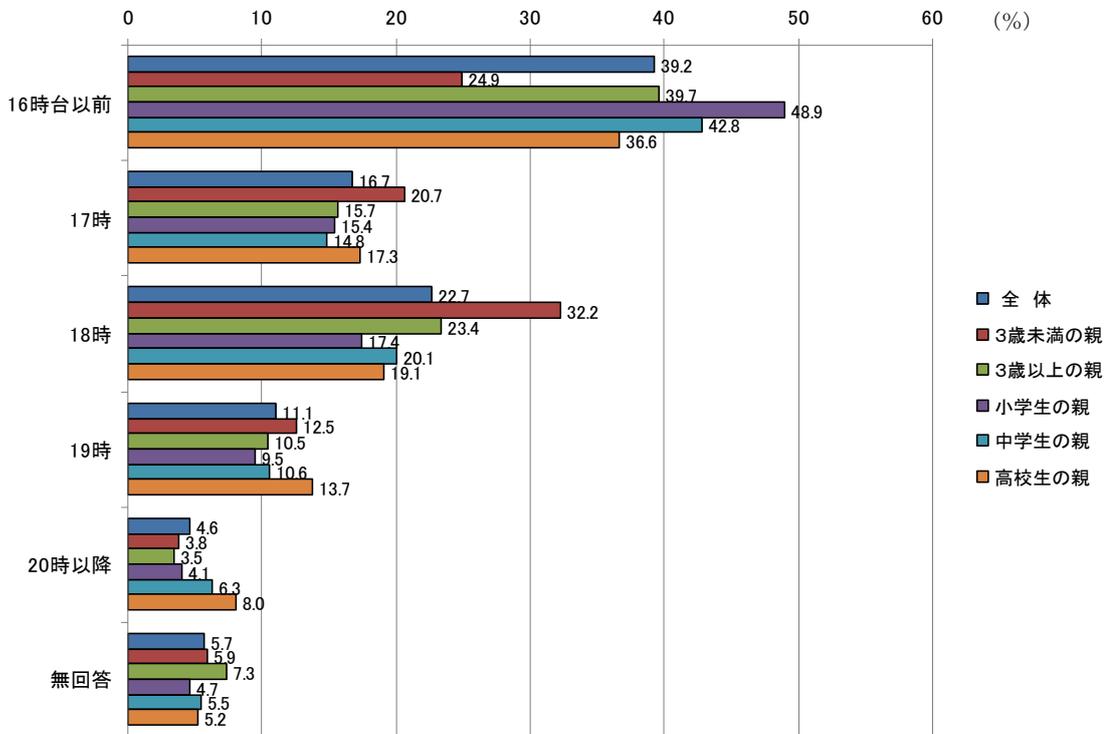


図 母親の平均的な帰宅時間

回答数 全体=4,057 3歳未満の親=885 3歳以上の親=1,001
小学生の親=1,179 中学生の親=528 高校生の親=423

- ◆ 母親の帰宅時間は「18時」で約80%の割合となる。
- ◆ 「3歳未満の親」は17～18時の間に急激に増加する傾向がみられる。

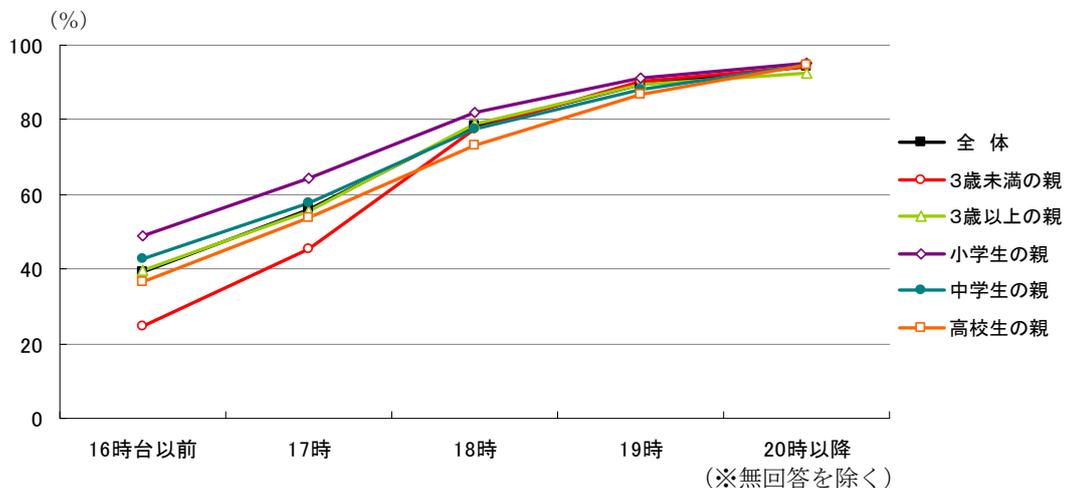


図 母親の平均的な帰宅時間（累計）

【5年前からの変化】

・母親の平均的な帰宅時間は5年前と大きく変わっていない。

(3) - 4 母親のかたは、主な仕事以外に別の仕事（副業）をしていますか。（1つ）

◇ 「これまでに副業をしたことがない」が80%を占めている。



図 母親の副業の有無

『母親の副業状況（就学前 問3（3））と世帯の暮らし向き（就学前 問13）』

◎ 母親の副業状況は「大変ゆとりがある」を除くと、家庭の経済状況を「苦しい」と感じるほど副業の割合が高くなる。

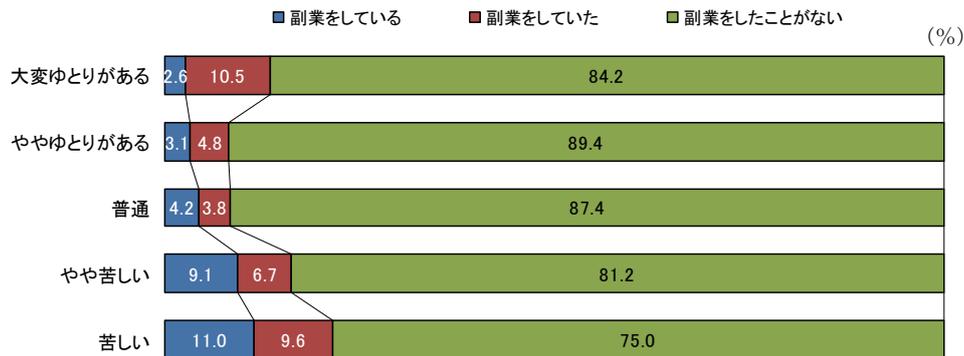


図 母親の副業状況と暮らし向きの意識

(3) - 5 母親のかたの副業の就労形態について (1つ)

◇ 「パート・アルバイト」が50.9%と最も多く、次いで「在宅ワーク・内職」が19.2%、「自営業・自由業」が16.5%となっている。



図 母親の副業の就労形態

【就労日数】

◇ 「1日」が24.3%と最も多く、次いで「2日」が19.5%、「3日」が9.9%、「5日」が7.7%となっている。

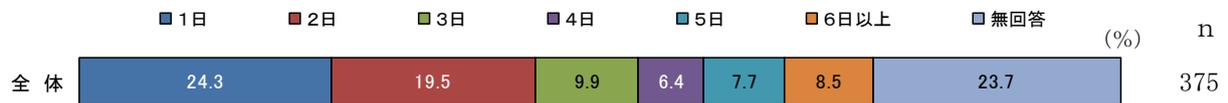


図 母親の副業の就労日数

【就労時間】

◇ 「2時間以上4時間未満」が30.4%と最も多く、次いで「4時間以上6時間未満」が18.9%、「6時間以上」が17.3%となっている。

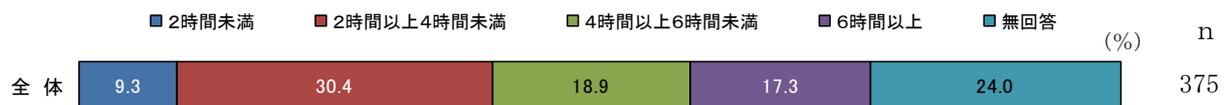


図 母親の副業の就労時間

(3) - 6 母親のかたは転職の希望がありますか。転職後の就業状況について（複数回答）

- ◇ 「転職の希望はない」が63.0%と最も多く半分以上を占める。
- ◇ 転職希望の内容をみると、「正社員として働きたい」が9.9%、「違う職種にかわりたい」が8.3%、「もっと働く時間を長くしたい」が6.7%などとなっている。

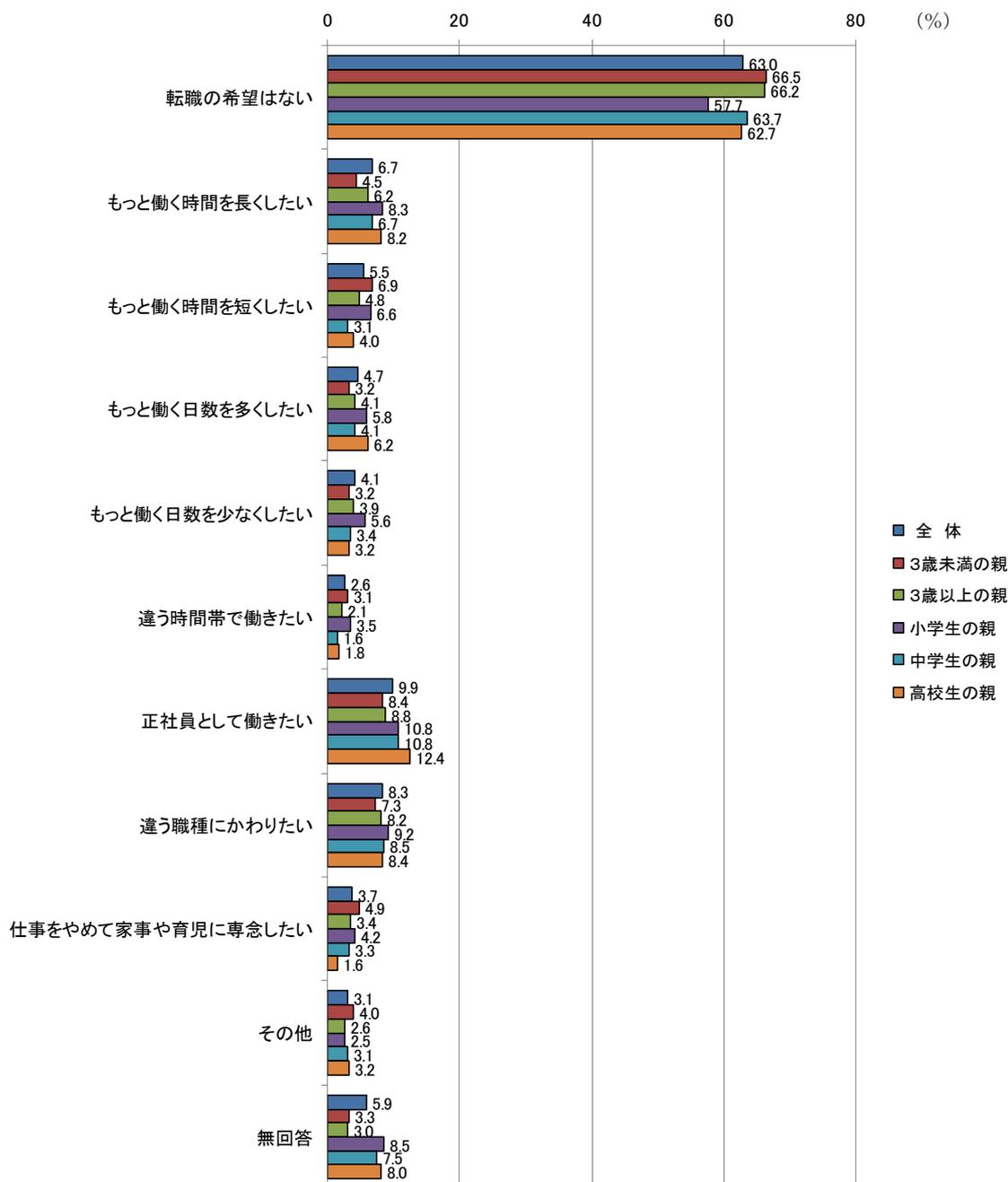


図 母親の転職希望

回答数 全体=5,313 3歳未満の親=1,105 3歳以上の親=1,249
小学生の親=1,597 中学生の親=708 高校生の親=598

【5年前からの変化】

・全体では、転職希望のない人が約3%増え、違う職種にかわりたい人が約3%減った。

(3) - 8 母親のかたは、今後、副業の希望がありますか。(1つ)

◇ 「副業の希望はない」が55.2%、「就業規定上、副業できない」が18.9%である。

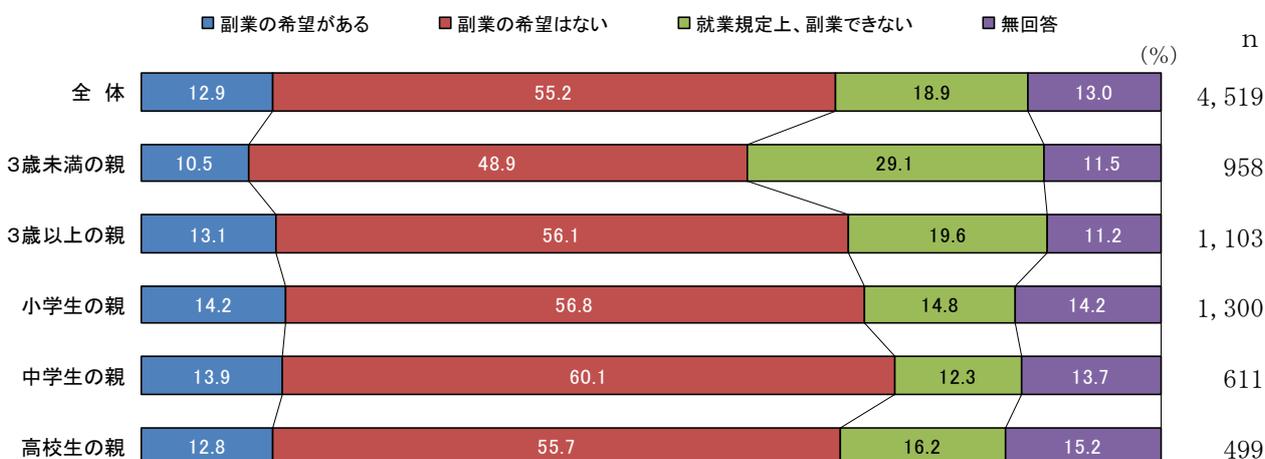


図 母親の副業希望

【収入額（月）】

◇ 「4万円以上6万円未満」が31.5%と最も多く、次いで「2万円以上4万円未満」が27.2%、「10万円以上」が23.1%となっている。

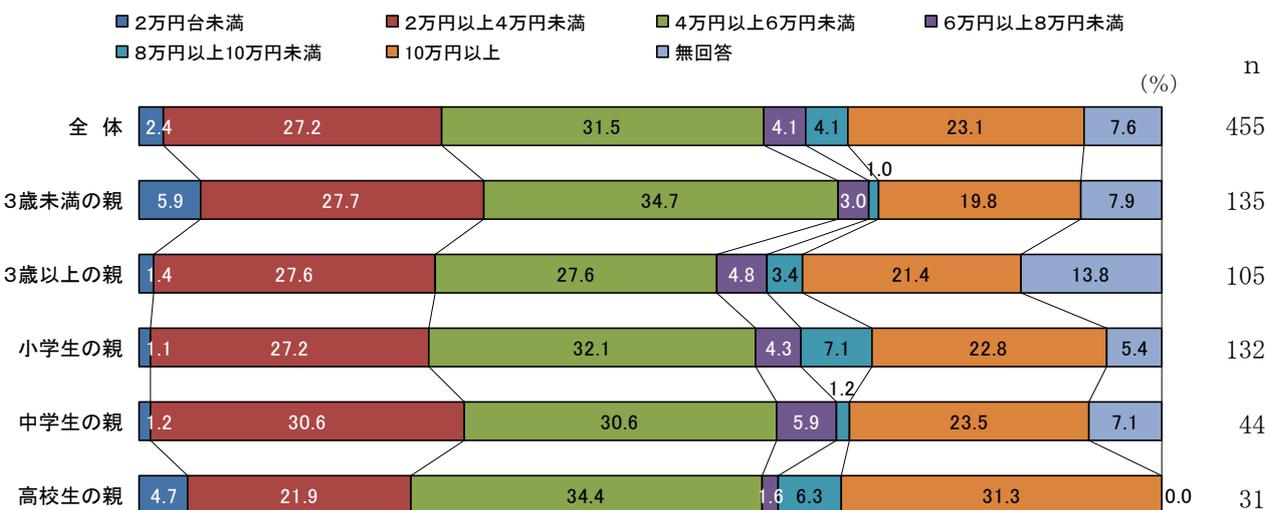


図 母親の副業の希望収入額

平均値 全体=65,104円 3歳未満の親=58,280円 3歳以上の親=60,880円
小学生の親=69,460円 中学生の親=63,418円 高校生の親=73,203円

『母親の今後の副業希望（就学前 問3（3））と世帯の暮らし向き（就学前 問13）』

◎ 母親の今後の副業希望について、家庭の経済状況に「大変ゆとりがある」と回答した人は副業の希望はないが、「苦しい」と回答した人は副業希望の割合が約30%となる。

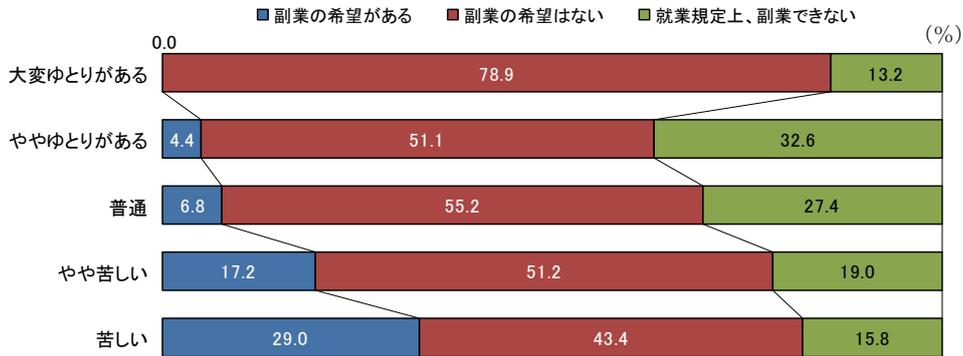


図 母親の今後の副業希望と暮らし向きの意識

(4) 母親のかたは、今後、就労の希望がありますか。(1つ)

- ◇ 就労希望は全体の70%以上であり、「1年より先で、一番下の子ども（子どもが1人の場合はあて名のお子さん）が（ ）歳くらいになったら、就労したい」が50.4%と最も多い。
- ◇ 「すぐにでも若しくは1年以内に就労したい」が22.8%「就労の希望はない」は24.0%である。

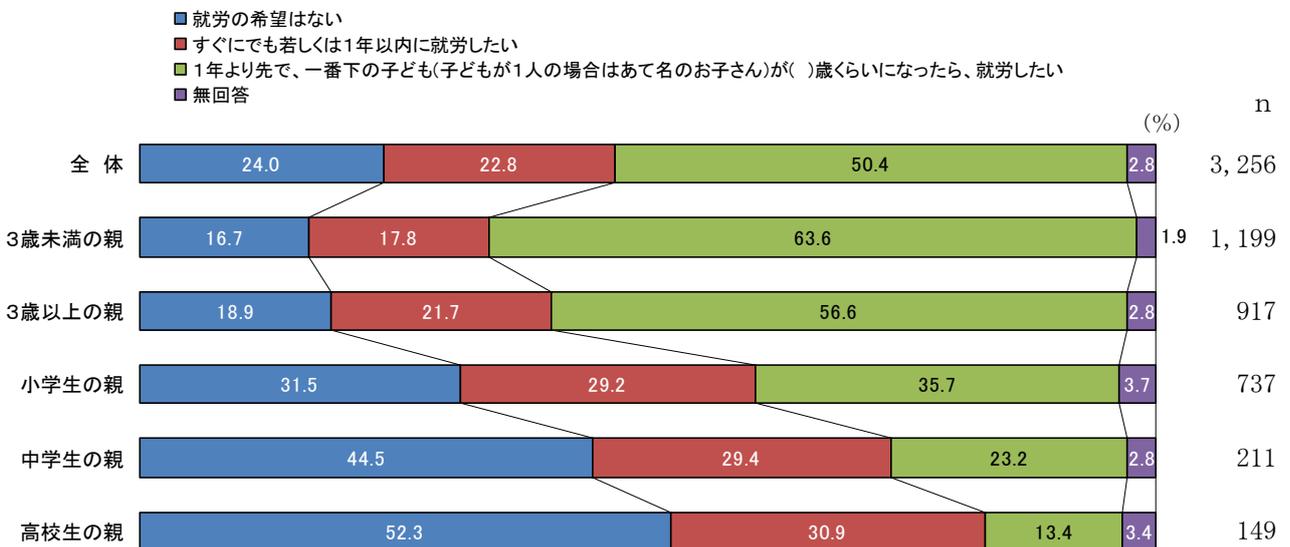


図 母親の今後の就労希望

【5年前からの変化】

- ・全体では、1年より先で、子どもがある年齢になったら就労したい人が約5%増え、就労の希望がない人が約5%減った。

【子どもの年齢】

◇ 1年より先の就労を希望する場合の子どもの年齢は、「6歳以上」の割合が51.9%と最も高く、全体の半分以上を占める。

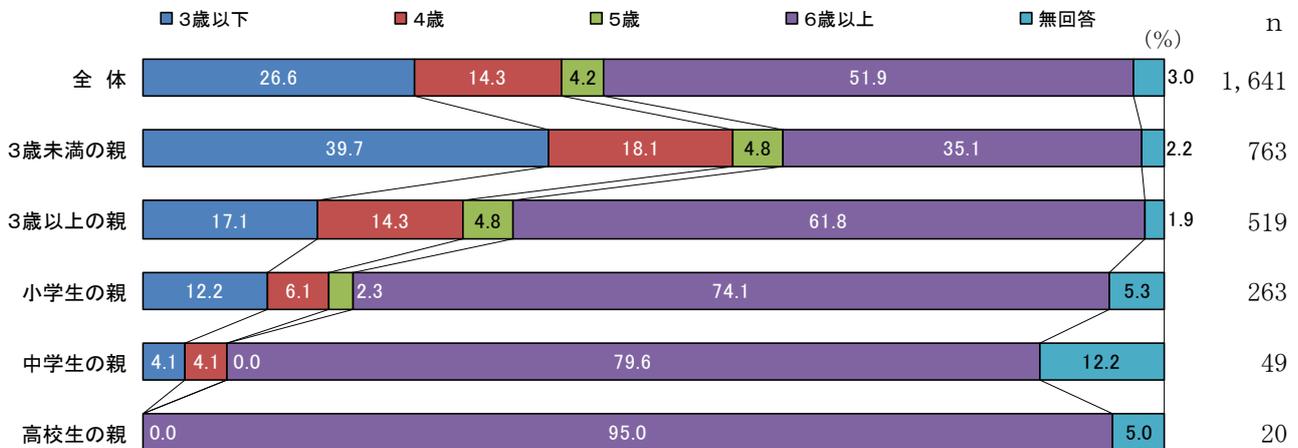


図 母親の就労を希望する子どもの年齢
 平均値 全体=6歳 3歳未満の親=5歳 3歳以上の親=6歳
 小学生の親=8歳 中学生の親=12歳 高校生の親=16歳

【5年前からの変化】

・全体では、子どもが3歳以下でも就労を希望する人が約12%増え、子どもが6歳以上になってから就労を希望する人が約11%減った。

(4) - 1 母親のかたが今後就労する場合、どのような就労を希望しますか。(1つ)

◇ 「パート・アルバイト」が全体の79.2%であり、次いで「正社員」が6.9%、「派遣・契約社員」が4.6%、「在宅ワーク、内職」が3.5%となっている。



図 母親の今後の希望就労形態

【5年前からの変化】

・母親の今後の希望就労形態は5年前と大きく変わっていない。

【就労日数】

<パート・アルバイト>

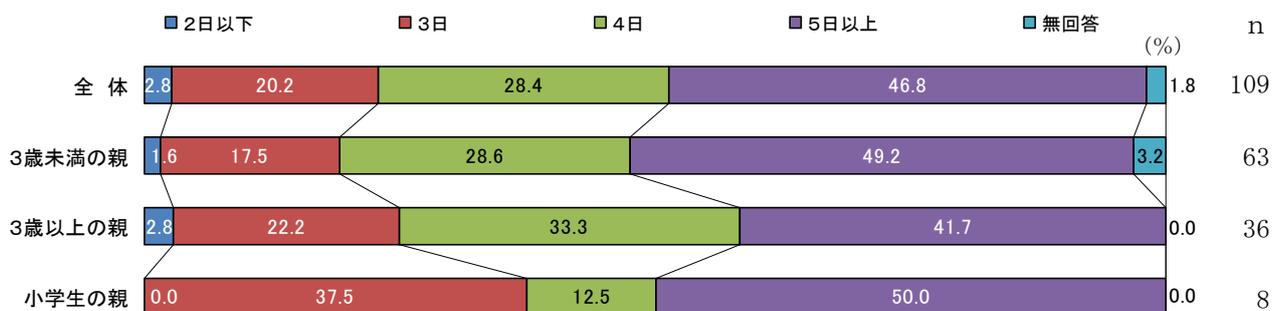
◇ 「3日」が38.5%と最も多く、次いで「4日」が32.8%、「5日以上」が23.6%となっている。



図 母親の今後の希望就労日数（週）：パート・アルバイト

<派遣・契約社員>

◇ 「5日以上」が46.8%と最も多く、次いで「4日」が28.4%、「3日」が20.2%となっている。



(※中学・高校生の親は回答者が少ないため省略)

図 母親の今後の希望就労日数（週）：派遣・契約社員

【5年前からの変化】

・母親の今後の1週間あたりの希望就労日数は5年前と大きく変わっていない。

【就労時間】

<パート・アルバイト>

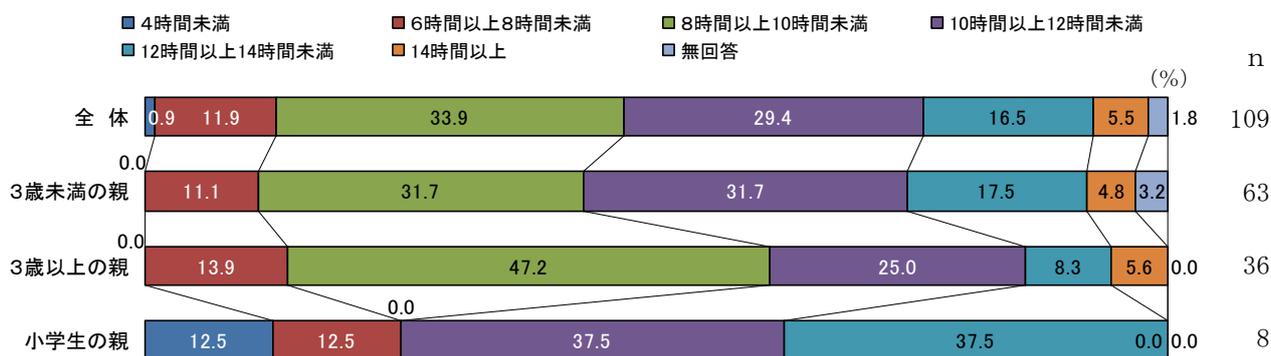
- ◇ 「4時間以上6時間未満」が75.9%と最も多く、全体の70%以上を占めている。次いで「6時間以上」が16.4%、「4時間未満」が6.7%となっている。



図 母親の今後の希望就労時間（日）：パート・アルバイト

<派遣・契約社員>

- ◇ 「8時間以上10時間未満」が33.9%と最も多く、次いで「10時間以上12時間未満」が29.4%、「12時間以上14時間未満」が16.5%となっている。
- ◇ 小学生の親は「12時間以上14時間未満」の割合が37.5%と最も高い。



(※中学・高校生の親は回答者が少ないため省略)

図 母親の今後の希望就労時間（日）：派遣・契約社員

【5年前からの変化】

- ・ 母親の今後の1日あたりの希望就労時間は5年前と大きく変わっていない。

(4) - 2 母親のかたが、就労希望があるのに、現在働いていない理由は何ですか。(1つ)

◇ 「子どもがある程度の年齢までは子育てに専念したいから」が51.0%と最も多く、次いで「働きながら子育てできる適当な仕事がないから」が19.0%、「希望する就労先がない(見つからない)から」が8.3%となっている。

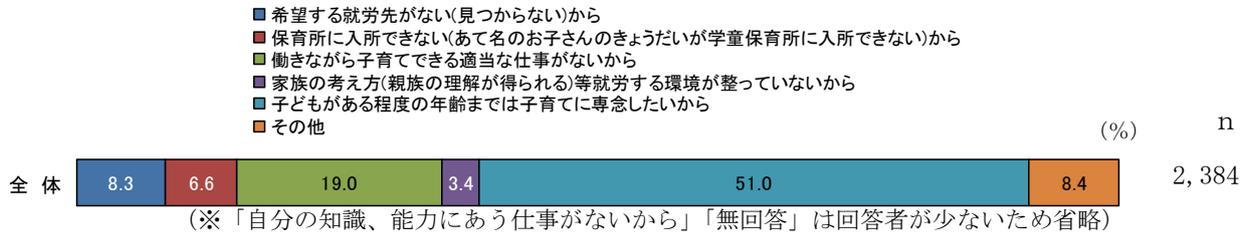


図 母親の現在、就労していない理由

【5年前からの変化】

・全体では、保育所・学童保育に入所できない人が約3%増え、働きながら子育てできる適当な仕事がない人が約3%減った。

『母親の現在働いていない理由(就学前 問3(3))と世帯の暮らし向き(就学前 問13)』

◎ 在宅の母親が、就労希望があるが就労していない理由として、「子どもが一定年齢までは子育てに専念したい」と回答する割合は、家庭の経済状況が「苦しい」と感じるほど低くなる。

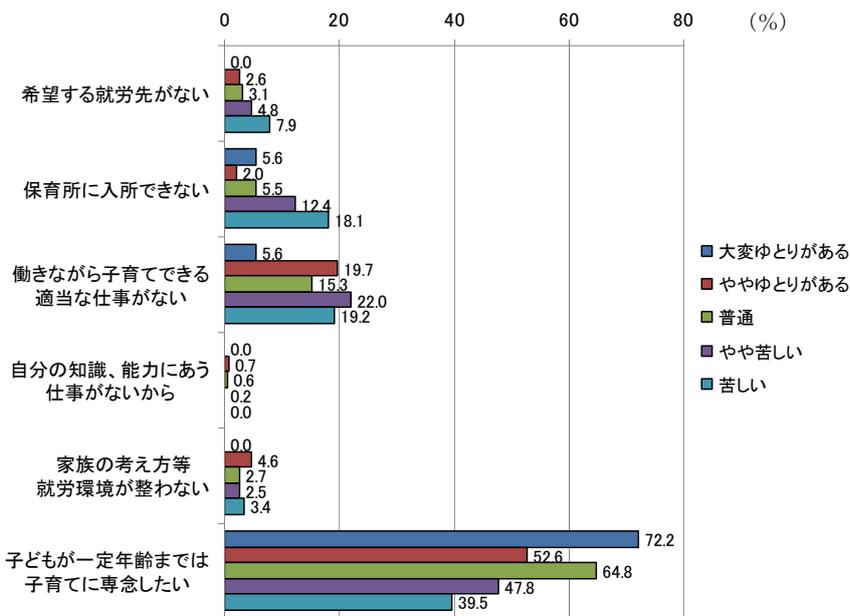


図 母親の現在働いていない理由と暮らし向きの意識

『母親の就労状況（就学前 問3（3））と父親の就労状況（就学前 問3（1））』

◎ 就労状況について、父親はほとんどが就労しており、母親は約半数が就労している。

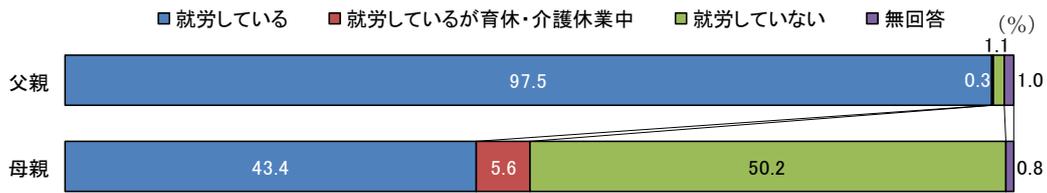


図 父親と母親の就労状況

『母親の就労日数（就学前 問3（3））と父親の就労日数（就学前 問3（1））』

◎ 就労している人の平均的な1週間の就労日数は、父母ともに「5日/週」が1番多い。



図 父親と母親の1週間の就労日数

『母親の今後の就労希望（就学前 問3（3））と父親の今後の就労希望（就学前 問3（1））』

◎ 在宅の父母で今後「就労の希望がない」と回答した人は15.0%未満である。また、母親については、80.1%が将来的に就労したいと考えている。

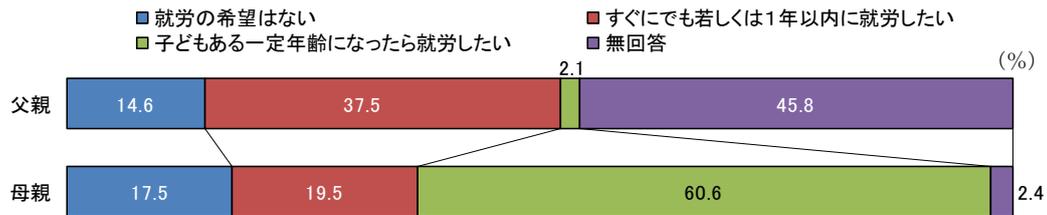


図 父親と母親の今後の就労希望

『母親の転職希望（就学前 問3（3））と父親の転職希望（就学前 問3（1））』

◎ 転職内容は、「違う職種への変更」「就労時間を短くしたい」となっている。また、父親が「労働時間を短くしたい」と希望してるのに対し、母親は「労働時間を長くしたい」という希望が多い。

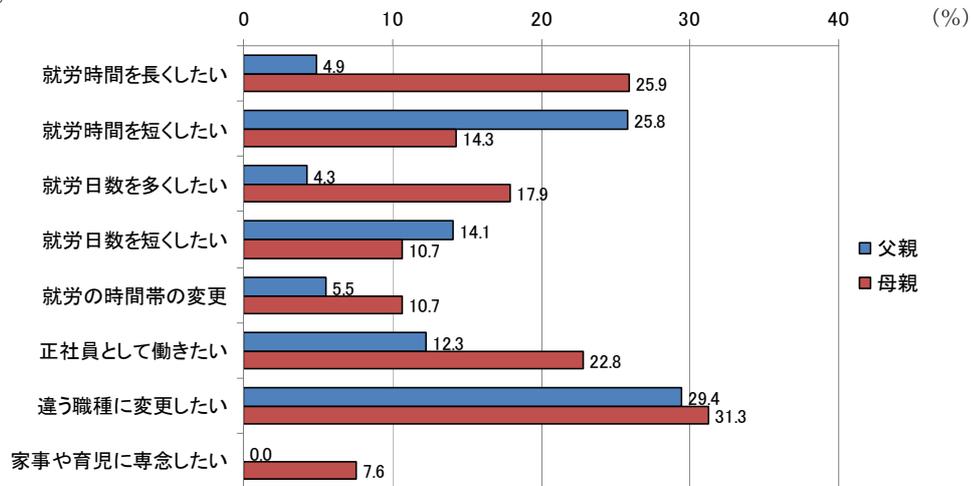


図 父親と母親の転職希望

『母親の副業状況（就学前 問3（3））と父親の副業状況（就学前 問3（1））』

◎ 父親は6.1%、母親は11.2%が副業を経験している。



図 父親と母親の副業状況

『母親の副業希望（就学前 問3（3））と父親の副業希望（就学前 問3（1））』

◎ 副業していない人で副業を希望している人の割合と希望収入額は父母で違いがある。また、母親の約10%が副業を希望している。

(%)

	副業を希望	副業時の希望収入額
父親	6.0	①10万円以上 (43.1) ②4～6万円未満 (23.4)
母親	10.9	①4～6万円未満 (30.6) ②2～4万円未満 (27.4) ③10万円以上 (21.0)

『母親の副業希望と母親の就労形態（就学前 問3（3））』

◎ 副業希望がある母親の就労形態はパート・アルバイト、派遣など非正規の割合が高く、不安定な収入の補完のために副業を希望していると考えられる。

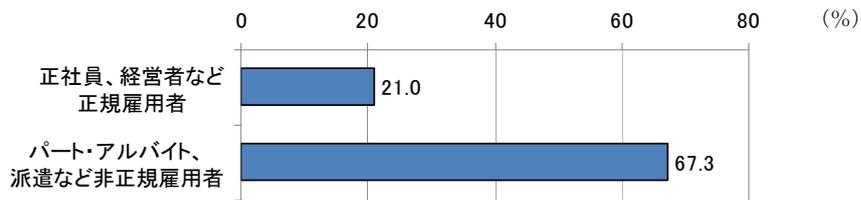


図 母親の副業希望と就労形態

出産にともなう母親の退職や転職について 【問4】【問6】

■ 母親のかたは出産前後（それぞれ1年以内）に仕事をやめたり、転職をしましたか。（1つ）

- ◇ 「仕事をやめた」が55.0%と最も多く、次いで「就職したことがないまたは出産1年前にすでに働いていなかった」が34.6%、「転職をせず継続的に働いた」が3.8%となっている。
- ◇ 高校生の親は他の年齢の親よりも、「仕事をやめた」の割合が36.9%と低い。

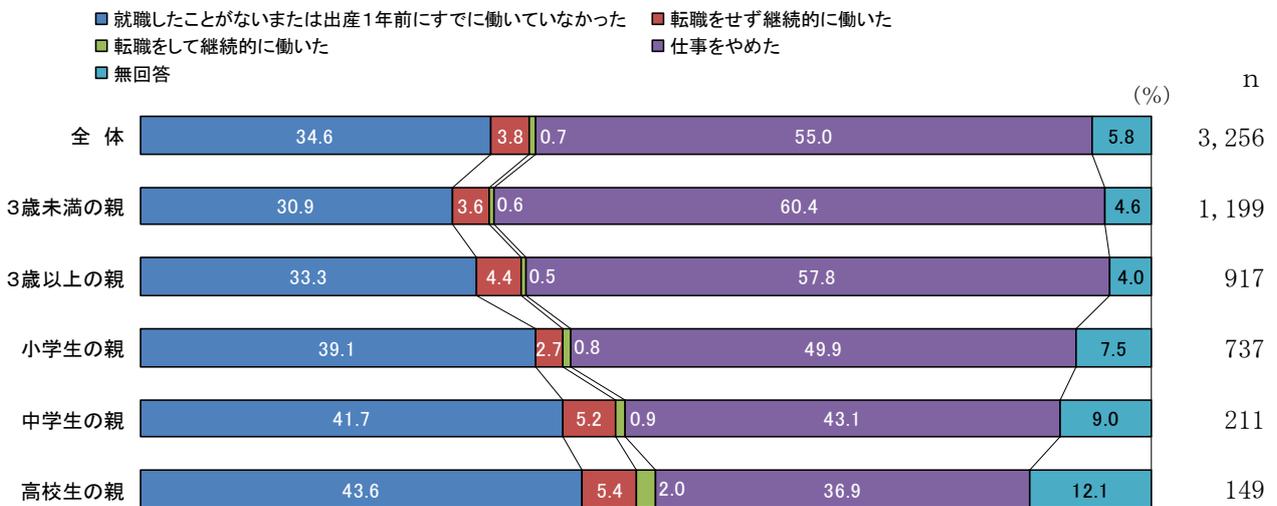


図 母親の出産前後の就労状況

【5年前からの変化】

- ・全体では、仕事をやめた人が約19%、すでに働いていなかった人が約13%増えた。
- ・全体では、転職をせず継続的に働いた人が約4%減った。
- ・仕事をやめた割合の増加量は小学校、中学校の親が15.5%と最も多く、すでに働いていなかった割合の増加量は高校生の親が25.4%と最も多い。
- ・転職せずに働いた割合の減少量は未就学児の親が4.6%と最も多い。

	仕事をやめた		変化量	すでに働いていない		変化量
	平成20年	平成25年		平成20年	平成25年	
未就学児の親	44.5	59.1	14.6↑	23.8	32.1	8.3↑
小学生の親	34.4	49.9	15.5↑	23.3	39.1	15.8↑
中学生の親	27.6	43.1	15.5↑	20.1	41.7	21.6↑
高校生の親	26.1	36.9	10.8↑	18.2	43.6	25.4↑

	転職せずに働いた		変化量
	平成20年	平成25年	
未就学児の親	8.6	4.0	4.6↓
小学生の親	6.9	2.7	4.2↓
中学生の親	8.6	5.2	3.4↓
高校生の親	5.1	5.4	0.3↑

『出産にともなう母親の離転職（就学前 問4）と世帯の暮らし向き（就学前 問13）』

- ◎ 出産前後の母親の離転職について、出産1年前に働いていた母親は現在の家庭の経済状況に関わらず90%以上が仕事を退職している。



図 出産にともなう母親の離退職と暮らし向きの意識

教育・保育環境と仕事の継続について 【問4】【問6】

(1) 母親の方は仕事と家庭の両立を支援する教育・保育事業や環境などが整っていたら、出産前後にしていた仕事を続けましたか。(1つ)

◇ 「いずれにしても続ける希望はなかった」が45.6%と最も多く、次いで「職場において育児休業制度などの仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、続けていた」が20.4%、「教育・保育事業と職場の両立支援環境がどちらも整っていれば、続けていた」が16.2%となっている。

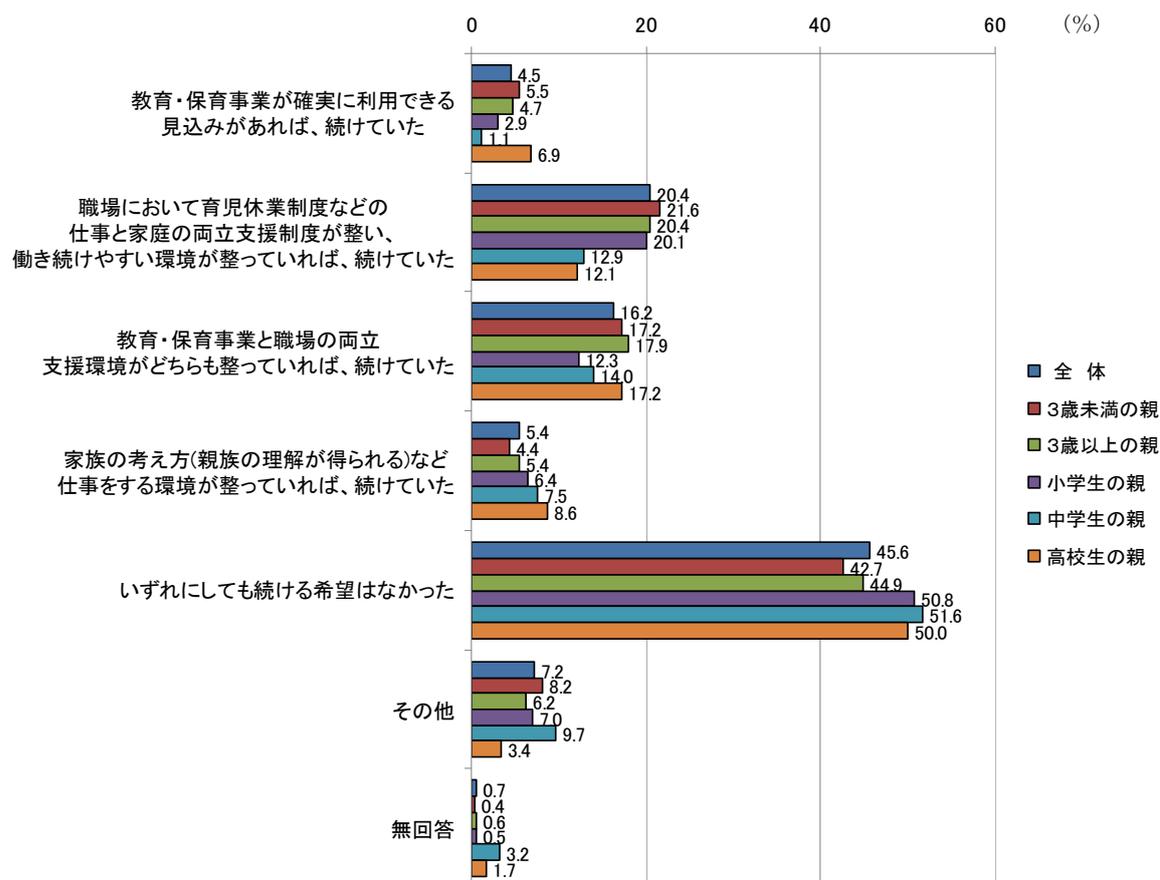


図 教育・保育環境と仕事の継続

回答数 全体=1,815 3歳未満の親=731 3歳以上の親=535
小学生の親=374 中学生の親=93 高校生の親=58

【5年前からの変化】

- ・全体では、保育と職場の環境が整っていれば続けた人が約5%、職場の環境が整っていれば続けた人が約4%増えた。
- ・全体では、いずれにしても続ける希望がなかった人が約7%減った
- ・保育と職場環境が整っていれば続けた割合の増加量は、中学生の親が8.8%と最も多く、職場環境が整っていれば続けた割合の増加量は、小学生の親が5.6%と最も多い。
- ・続ける希望はない割合の減少量は未就学児の親が8.5%と最も多い。

	保育と職場環境が整っていれば続けた		変化量
	平成20年	平成25年	
未就学児の親	11.0	17.6	6.6↑
小学生の親	13.2	12.3	0.9↓
中学生の親	5.2	14.0	8.8↑
高校生の親	11.3	17.2	5.9↑

	職場環境が整っていれば続けた		変化量
	平成20年	平成25年	
	20.7	21.0	0.3↑
	14.5	20.1	5.6↑
	13.4	12.9	0.5↑
	10.6	12.1	1.5↑

	続ける希望はない		変化量
	平成20年	平成25年	
未就学児の親	52.3	43.8	8.5↓
小学生の親	52.3	50.8	1.5↓
中学生の親	56.7	51.6	5.1↓
高校生の親	51.3	50.0	1.3↓

■この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガ等の際、最も多く利用している教育・保育の事業を利用しようとして、できなかったことはありますか。(就学後：学校を休まなければならなかったことはありますか。)(1つ)

- ◇ この1年間の中でお子さんが病気やケガで休まなければならなかったことが「あった」割合は40.1%である。
- ◇ 年齢が上がるにつれて、「あった」と回答する割合が高くなる。

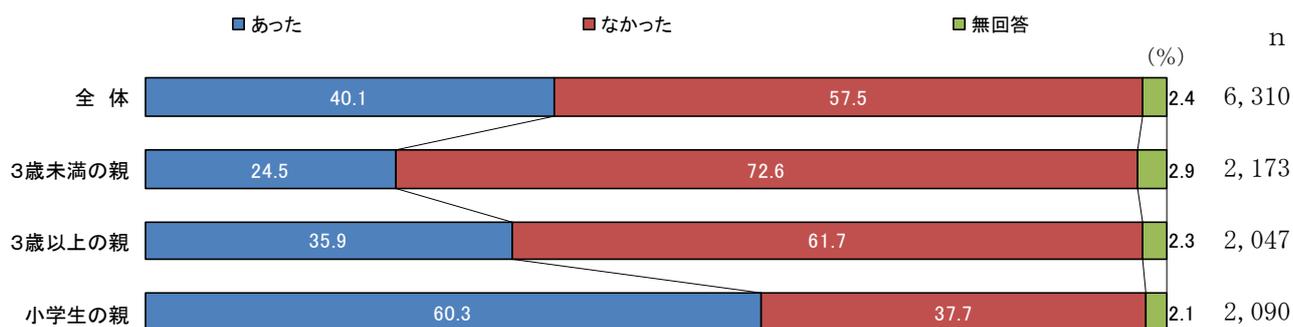


図 この1年間でお子さんが病気やケガ等で休んだことがある割合

(1) この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで、最も多く利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合どのように対応しましたか。(就学後：学校を休まなければならなかった場合の対応) (複数回答)

- ◇ 「母親が休んだ」が62.2%と最も多く、次いで「父親または母親のうち、就労していないかたが看護した」が27.0%、「(同居者を含む) 親族・知人に看護してもらった」が24.7%となっている。
- ◇ ほとんどの項目で3歳未満の親が高い割合を占めるが、「父親または母親のうち、就労していないかたが看護した」は小学生の親の割合が32.4%と高い。

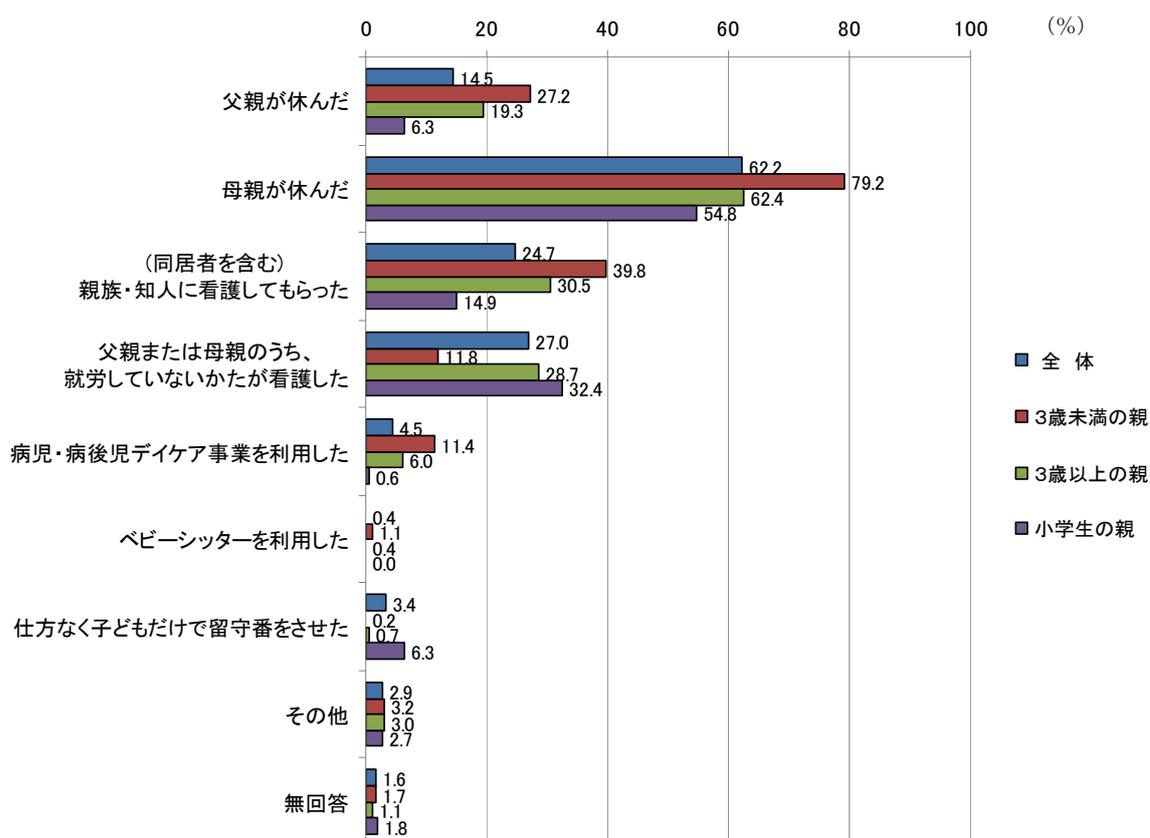


図 お子さんが病気やケガ等の際の対応

回答数 全体=3,565 3歳未満の親=936 3歳以上の親=1,118 小学生の親=1,511

(※「のびのび子育てサポート事業を利用した」は就学前のみの選択肢なので共通比較では省略)

(2) あて名のお子さんが病気やケガで、もっとも多く利用している教育・保育の事業が利用できないときに、「できれば病児・病後児のための保育施設を利用したい」と思われますか。(就学後：学校を休まなければならないときに、保育事業等を利用したいか。)(1つ)

◇ 「利用を希望しない」が58.3%と最も多く、次いで「父親、母親が休めないときは利用したい」が28.2%となっている。

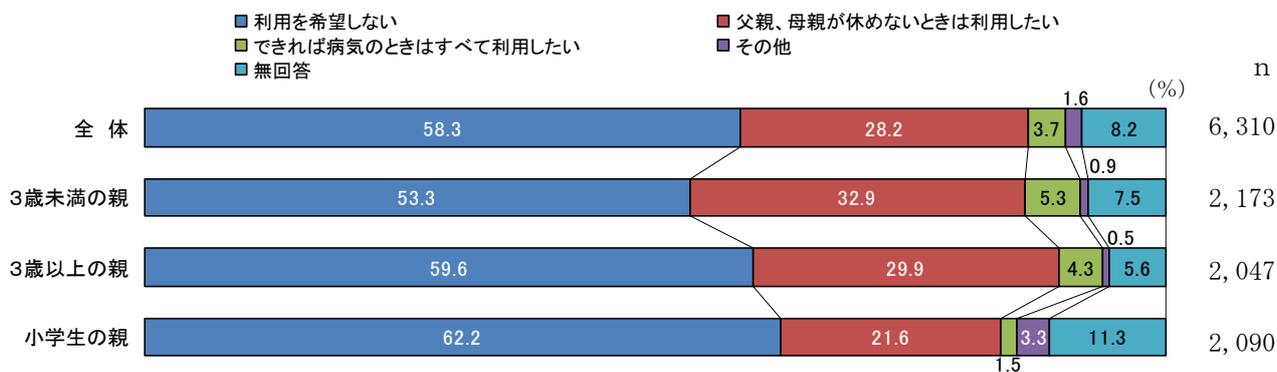


図 病児・病後児保育の利用希望

(※就学後の選択肢「病気のときは親がそばにいるべきだと思うので、利用を希望しない」と「子どもが一人で留守番できるので、利用を希望しない」は、上記の「利用を希望しない」に含む。)

子育ての経済的負担について 【問13】【問12】

■あなたの世帯の現在の暮らし向きについて（1つ）

◇ 「普通」と回答した割合が47.6%と最も多く、次いで「やや苦しい」が24.8%、「苦しい」が12.2%となっている。

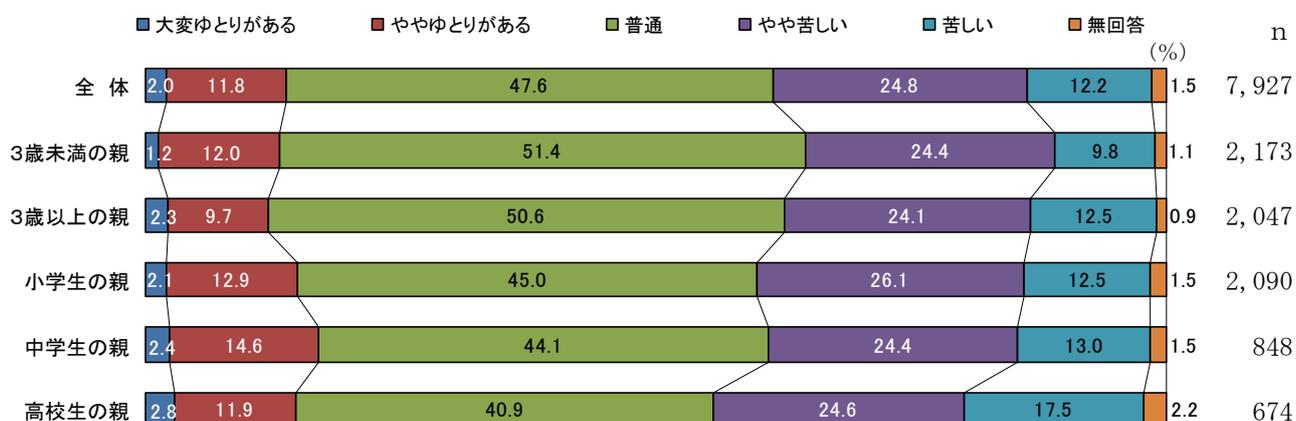


図 世帯の現在の暮らし向き

(1) あなたの世帯では、過去1年間の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。（1つ）

◇ 「まったくなかった」が82.8%と最も多く、全体の80%以上を占めている。次いで「まれにあった」が8.0%、「ときどきあった」が5.7%となっている。

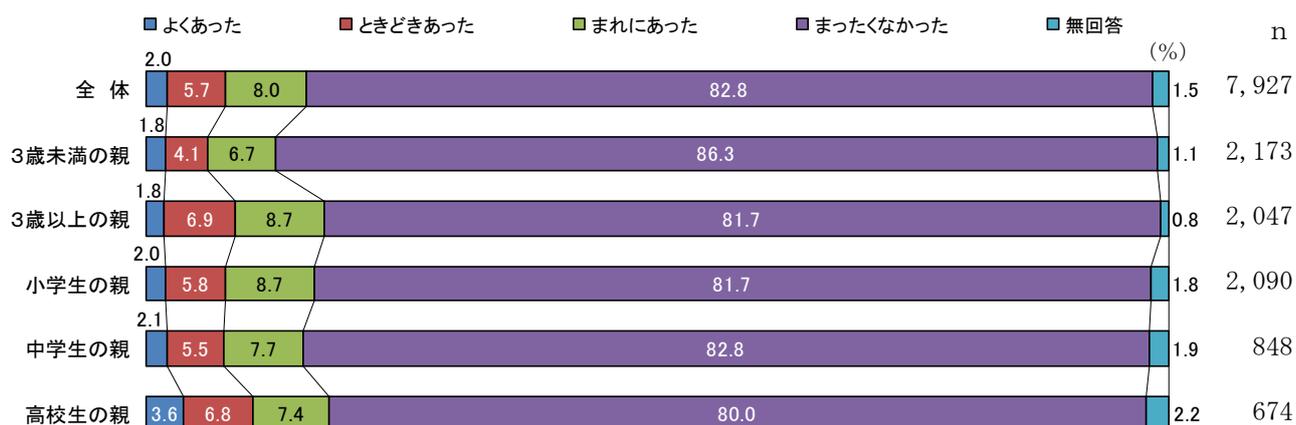


図 必要とする食材が買えないことがあった割合

(2) あなたの世帯では、過去1年間の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣料が買えないことがありましたか。(1つ)

◇ 「まったくなかった」が77.3%と最も多く、全体の70%以上を占めている。次いで「まれにあった」が11.0%、「ときどきあった」が7.0%となっている。

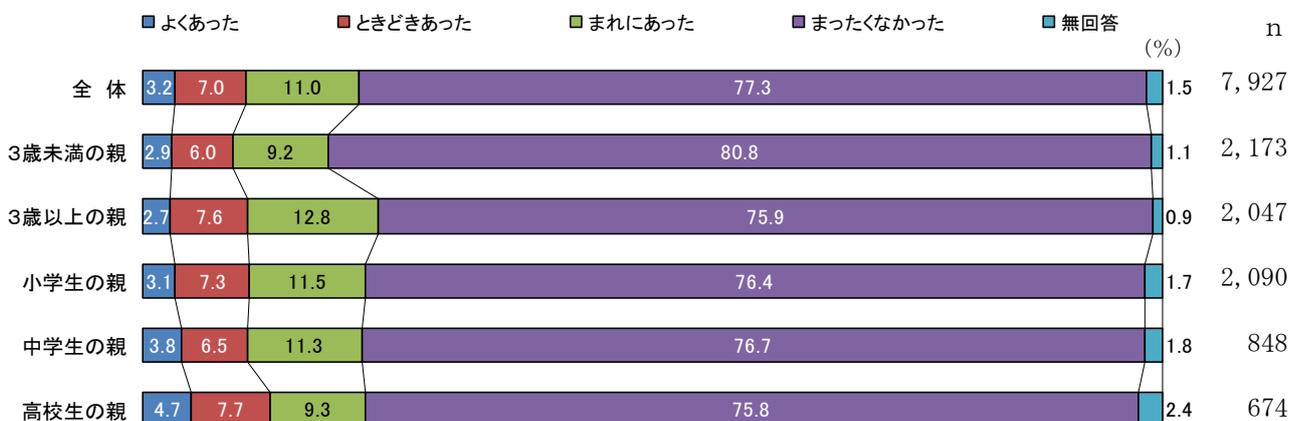


図 必要とする衣類が買えないことがあった割合

(3) これまでに、子育てに経済的な負担を感じたことがありますか。(1つ)

◇ 「感じる」が37.4%と最も多く、次いで「とても感じる」が19.1%、「どちらともいえない」が18.1%となっている。

◇ 高校生の親は「とても感じる」の割合が27.2%と高い。

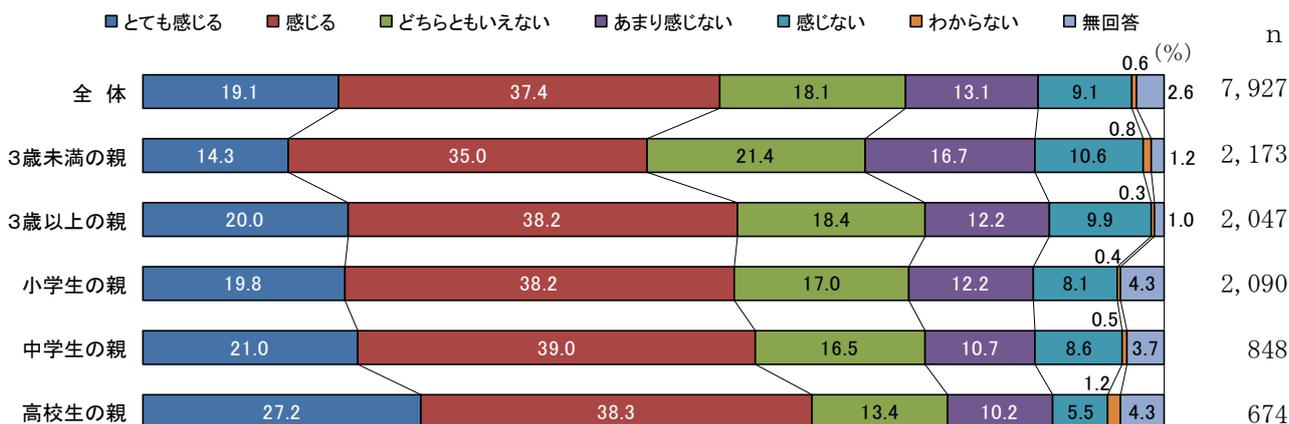


図 子育てに経済的な負担を感じる割合

【5年前からの変化】

- ・全体では、経済的負担を感じる（とても感じる＋感じる）人が約11%減った。
- ・経済的負担を感じる割合の減少量は、中学生の親が13.4%と最も多い。

	とても感じる＋感じる		変化量
	平成20年	平成25年	
未就学児の親	60.3	53.8	6.5↓
小学生の親	69.3	58.0	11.3↓
中学生の親	73.4	60.0	13.4↓
高校生の親	73.7	65.5	8.2↓

『世帯の暮らし向き（就学前 問13）と食料が買えなかった経験（就学前 問13（1））』

◎ 家庭の経済状況について「苦しい」と回答した人は、約60%がこの1年間で「家族が必要とする食料」が買えないことがあったと回答している。また、「やや苦しい」と回答した人は、約20%が買えないことがあったと回答している。家庭の経済状況が「やや苦しい」「苦しい」と回答した人は、食料が買えなかった経験が他の家庭の経済状況の人に比べてかなり高い。

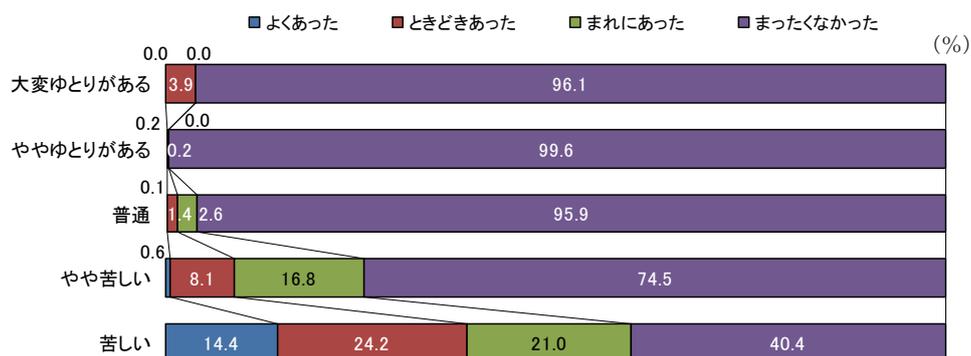


図 世帯の暮らし向きと食料が買えなかった経験

『世帯の暮らし向き（就学前 問13）と衣料が買えなかった経験（就学前 問13（2））』

◎ 家庭の経済状況について「苦しい」と回答した人は、約70%がこの1年で「家族が必要とする衣料」が買えなかったことがあったと回答している。また、「やや苦しい」と回答した人は約40%が買えなかったことがあったと回答している。食料が購入できなかった経験より、衣料が購入できなかった経験は高い。家庭の経済状況が「やや苦しい」「苦しい」と回答した人は、他の家庭の経済状況の人に比べて購入できなかった割合はかなり高く、食料よりも差がある。

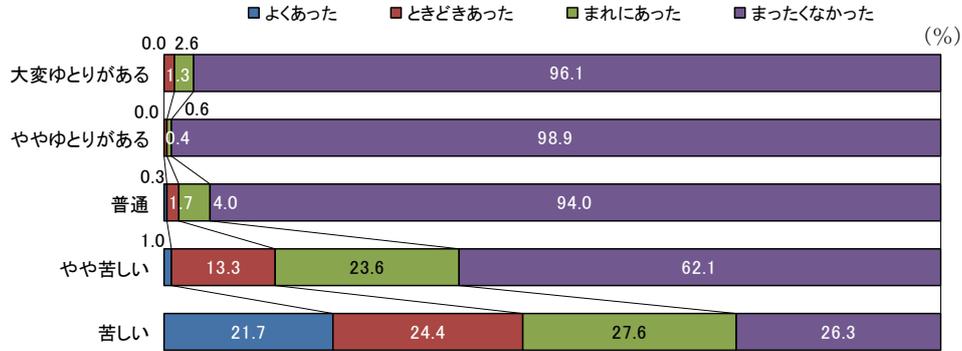


図 世帯の暮らし向きと衣料が買えなかった経験

『購入できなかった経験（就学前 問13）と両親の就労状況（就学前 問3）』

◎ この1年間で、「家族が必要とする食料」や「家族が必要とする衣料」を買えないことがあったと回答した家庭の就労状況について、父親の約90%以上、母親の約50%が就労している。

<食料購入ができない経験あり>

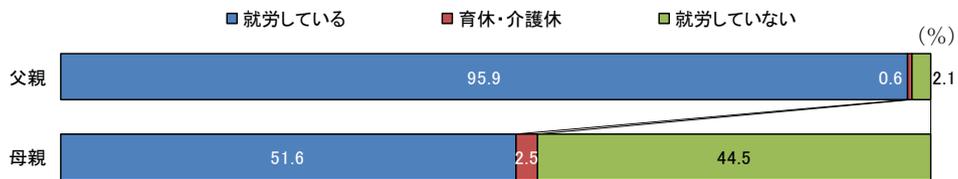


図 食料が買えなかった経験と両親の就労状況

<衣料購入ができない経験あり>

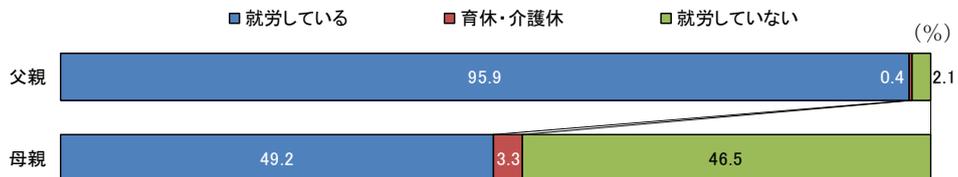


図 衣料が買えなかった経験と両親の就労状況

『子育ての経済的負担（就学前 問13）と両親の就労状況（就学前 問3）』

◎ 「子育てに経済的な負担を感じる」と回答した家庭の就労状況について、父親の約90%以上、母親の約50%が就労している。

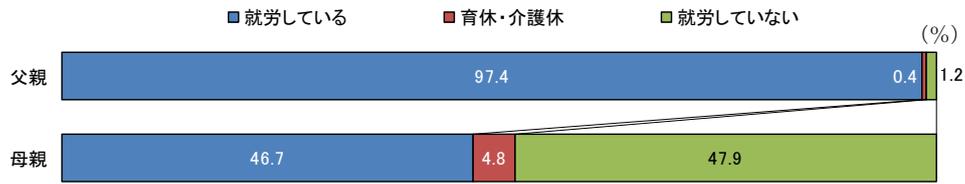


図 子育ての経済的負担と両親の就労状況

『子育ての経済的負担（就学前 問13）と
母親の今後の就労希望・就労しない理由（就学前 問3（3））』

◎ 「子育てに経済的な負担を感じる」と回答した家庭で、母親の今後の就労希望者は約80%以上である。就労希望があるのに就労していない理由について、「子どもがある程度の年齢までは子育てに専念したいから」という回答が約50%となっている。

(%)

今後の就労希望あり	就労していない理由
85.1	①子どもがある程度の年齢までは子育てに専念したいから (48.9) ②働きながら子育てできる仕事がない (21.6) ③保育所に入所できない (10.9)

(3) - 1 特に負担を感じる費用は何ですか。(3つ)

- ◇ 「住居費（家賃・ローン）」が44.6%と最も多く、次いで「幼稚園・保育所費用」が37.4%、「習いごとの費用」が35.4%、「食費」が22.9%、「学習塾の費用」が21.5%となっている。
- ◇ 就学前の場合は、「幼稚園・保育所費用」の割合が高く、高校生になるにつれて「授業料・学費」「学習塾の費用」などの割合が高くなる。

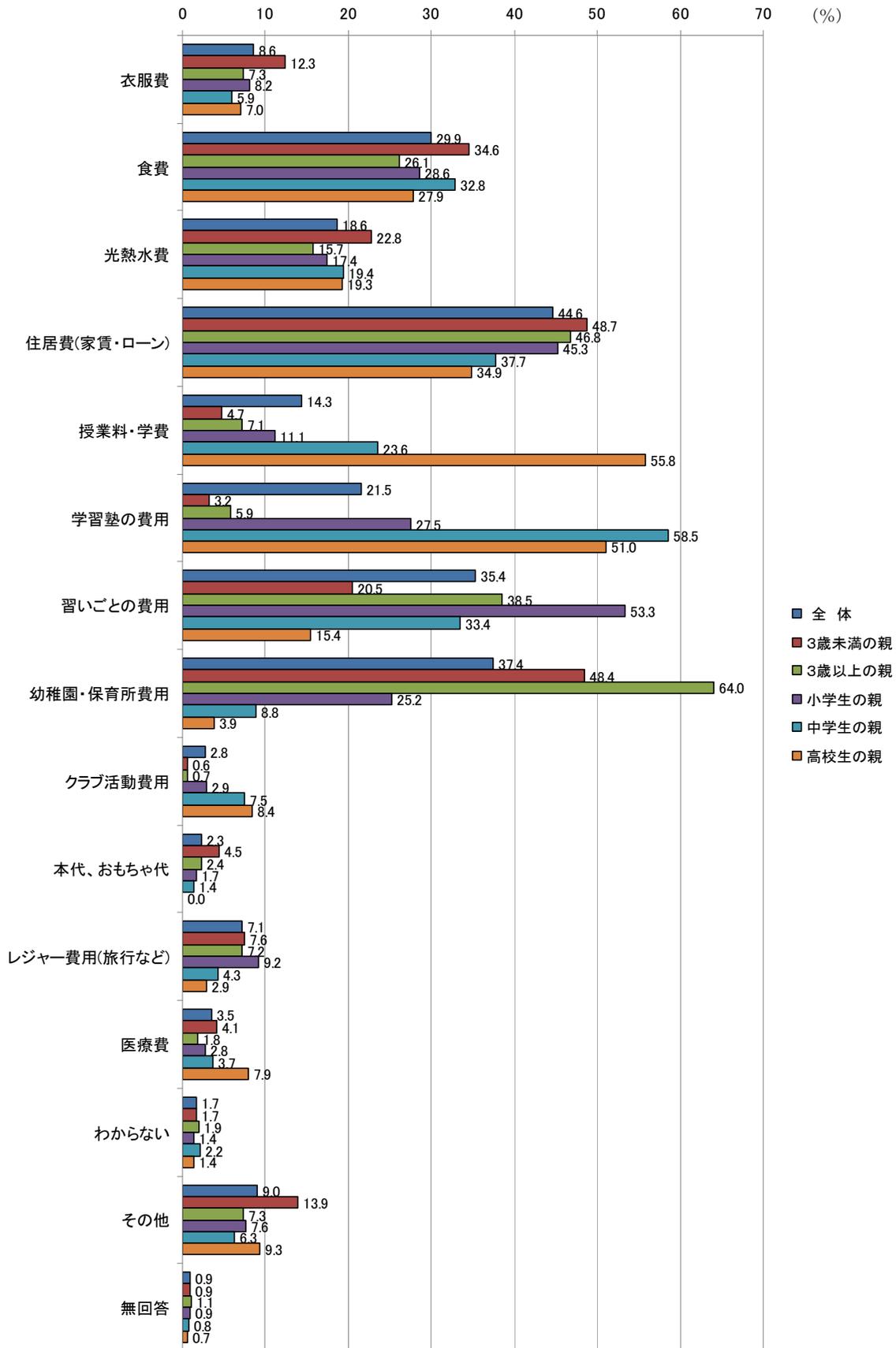


図 子育てで経済的負担を感じる費用

回答数 全体=10,644 3歳未満の親=2,448 3歳以上の親=2,783

小学生の親=2,946 中学生の親=1,254 高校生の親=1,084

【5年前からの変化】

- ・全体では、住居費（家賃、ローン）を負担に感じる人が約22%、幼稚園、保育所費用が約12%、光熱水費が約9%増えた。
- ・全体では、衣服費を負担に感じる人が約18%、学習塾の費用が約12%、授業料、学費、習いごとの費用が約9%、レジャー費用（旅行など）が約8%、医療費が約6%減った。

【かかる費用（月額）】

＜衣服費＞

◇ 「1万円以上2万円未満」が31.2%で最も多く、次いで「1万円未満」が29.6%、「2万円以上3万円未満」が9.6%となっている。

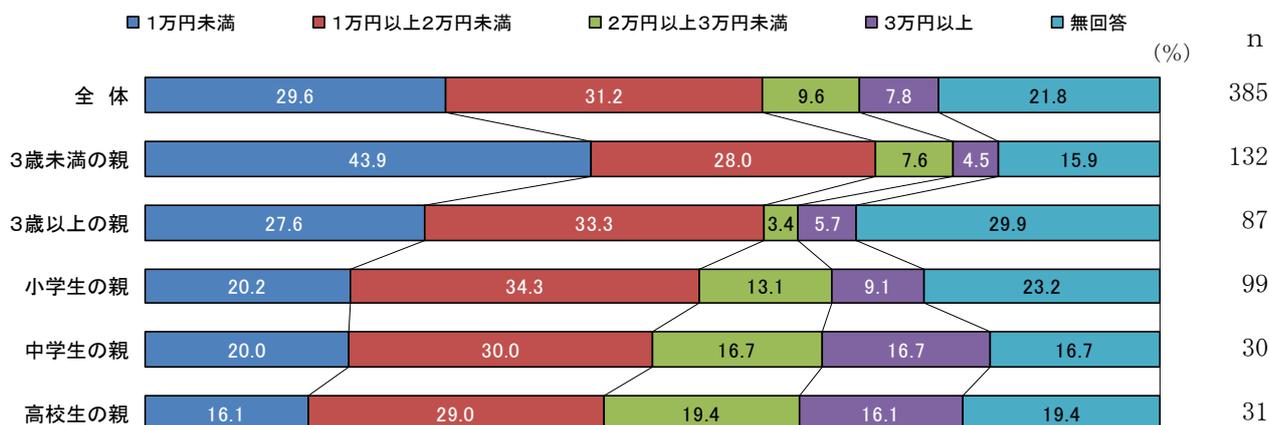


図 衣服費（月額）

平均値 全体=13,374円 3歳未満の親=9,833円 3歳以上の親=14,082円
小学生の親=15,579円 中学生の親=15,360円 高校生の親=18,960円

<食費>

◇ 「5万円以上6万円未満」が19.0%で最も多く、次いで「8万円以上」が18.4%、「4万円以上5万円未満」が14.9%となっている。

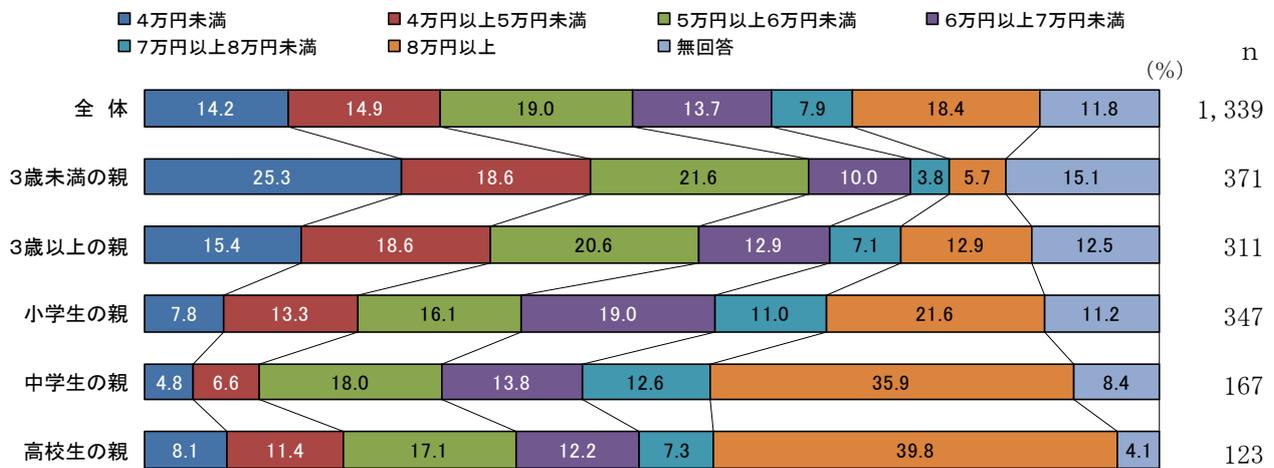


図 食費（月額）

平均値 全体=57,551円 3歳未満の親=44,962円 3歳以上の親=52,801円
小学生の親=63,523円 中学生の親=70,588円 高校生の親=69,627円

<光熱水費>

◇ 「2万円以上3万円未満」が32.5%で最も多く、次いで「3万円以上4万円未満」が23.2%、「1万円以上2万円未満」が11.5%となっている。

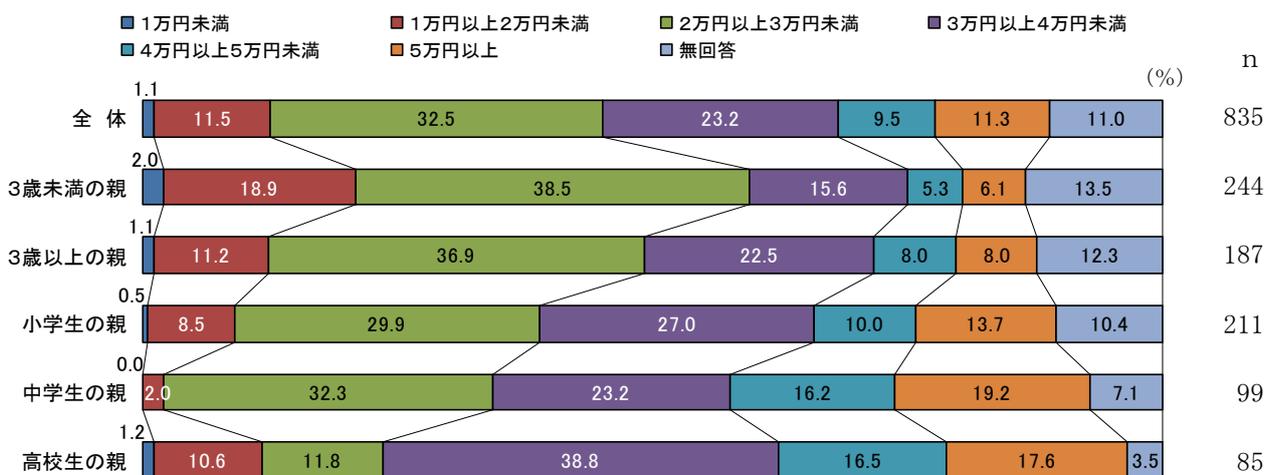


図 光熱水費（月額）

平均値 全体=30,179円 3歳未満の親=26,032円 3歳以上の親=28,359円
小学生の親=31,831円 中学生の親=34,859円 高校生の親=34,835円

<住居費>

◇ 「8万円以上10万円未満」が26.3%で最も多く、次いで「10万円以上12万円未満」が22.6%、「6万円以上8万円未満」が18.4%となっている。

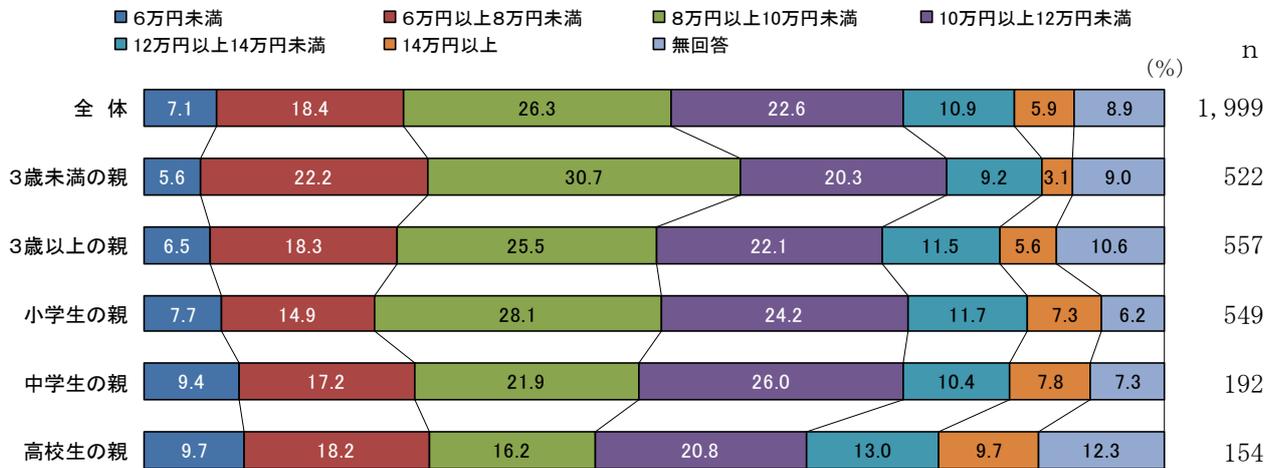


図 住居費（月額）

平均値 全体=92,941円 3歳未満の親=88,798円 3歳以上の親=92,756円
小学生の親=95,306円 中学生の親=96,303円 高校生の親=94,875円

<授業料・学費>

◇ 「7万円以上」が24.2%で最も多く、次いで「3万円未満」が18.7%、「3万円以上4万円未満」が12.8%、「4万円以上5万円未満」が13.1%となっている。

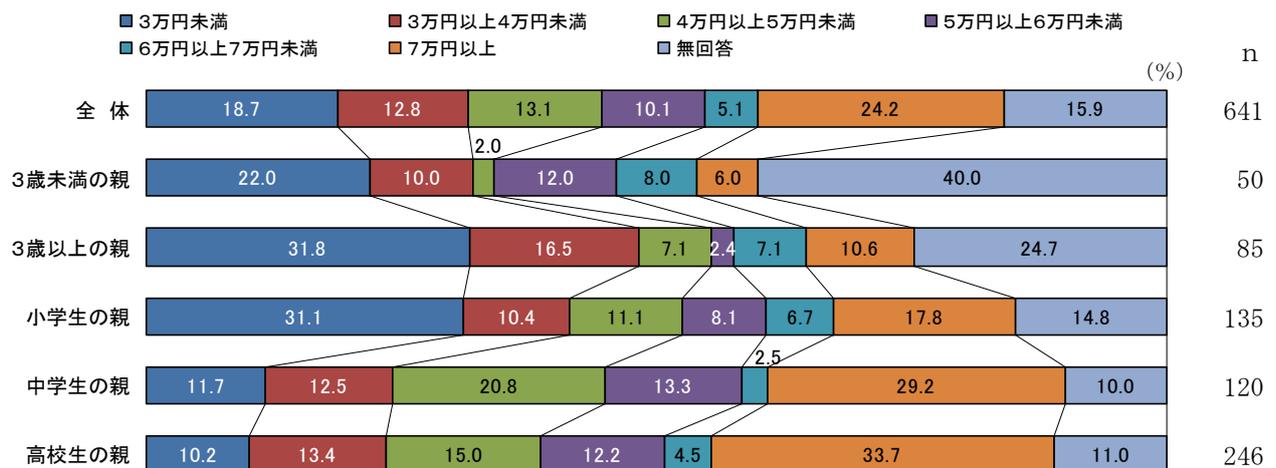


図 授業料・学費（月額）

平均値 全体=57,599円 3歳未満の親=41,330円 3歳以上の親=37,672円
小学生の親=48,385円 中学生の親=59,824円 高校生の親=69,568円

<学習塾の費用>

◇ 「5万円以上」が25.2%で最も多く、次いで「3万円以上4万円未満」が20.7%、「2万円以上3万円未満」が19.0%となっている。

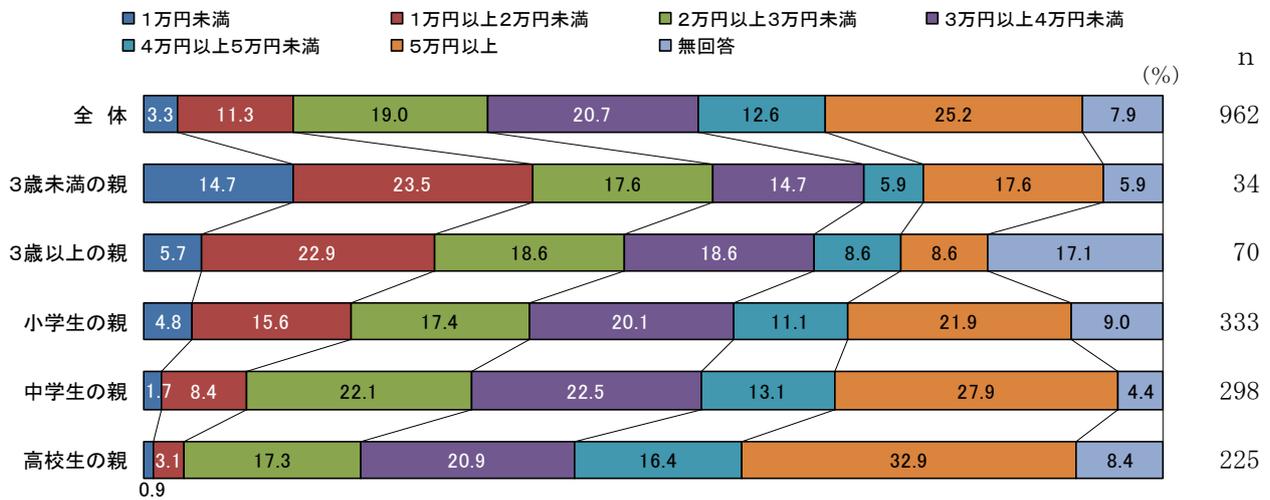


図 学習塾の費用（月額）

平均値 全体=37,784円 3歳未満の親=33,247円 3歳以上の親=25,707円
小学生の親=35,477円 中学生の親=38,503円 高校生の親=44,510円

<習いごとの費用>

◇ 「1万円以上2万円未満」が26.5%で最も多く、次いで「2万円以上3万円未満」が21.4%、「3万円以上4万円未満」が15.0%となっている。

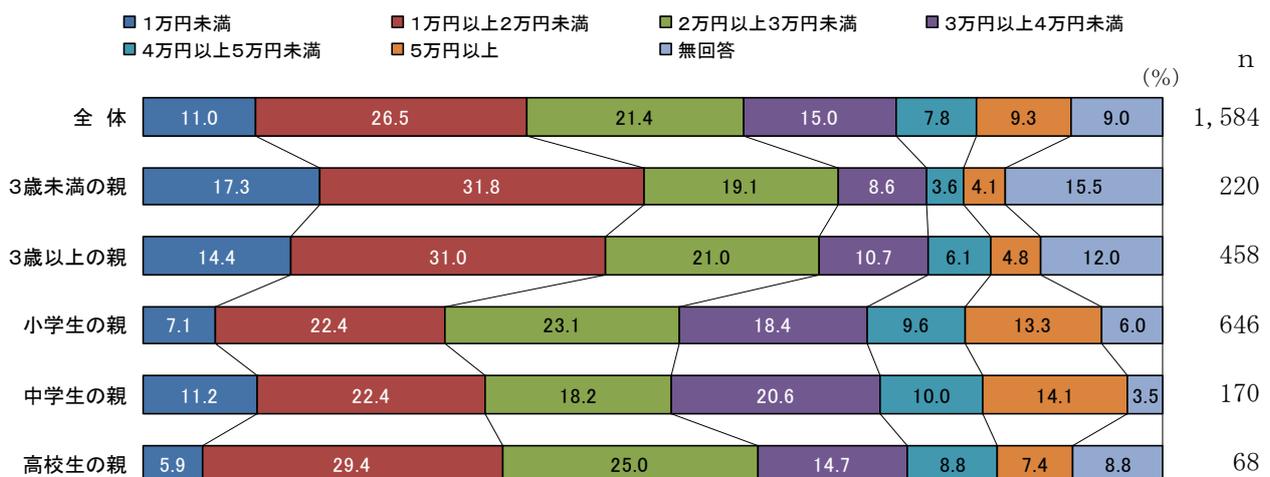


図 習いごとの費用（月額）

平均値 全体=24,983円 3歳未満の親=19,852円 3歳以上の親=20,782円
小学生の親=28,478円 中学生の親=27,529円 高校生の親=26,847円

<幼稚園・保育所費用>

◇ 「3万円以上4万円未満」が32.5%で最も多く、次いで「2万円以上3万円未満」が26.4%、「5万円以上」が18.6%となっている。

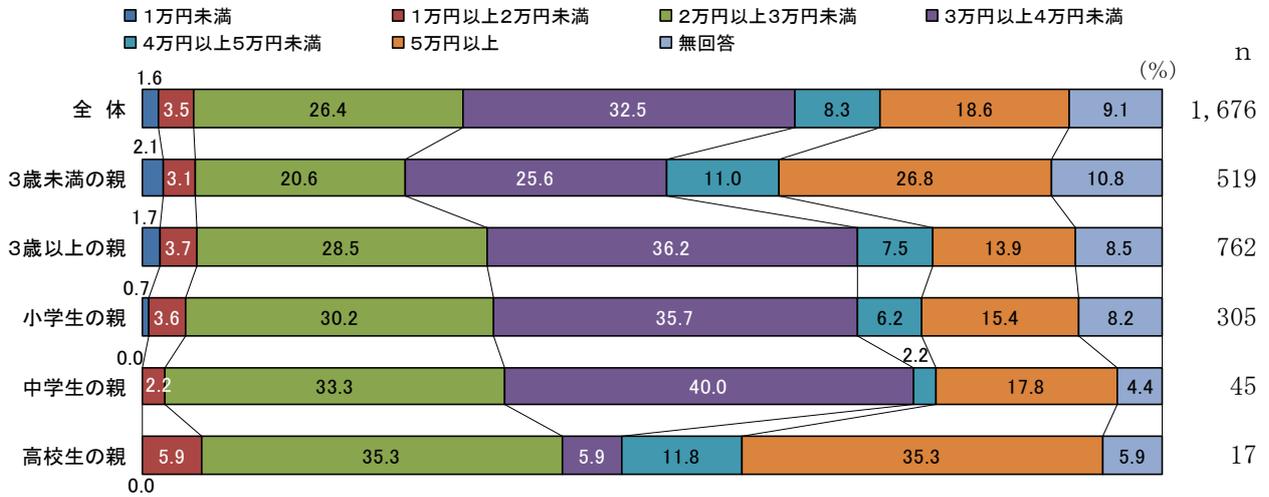


図 幼稚園・保育所費用（月額）

平均値 全体=35,353円 3歳未満の親=39,014円 3歳以上の親=33,269円
小学生の親=34,133円 中学生の親=33,458円 高校生の親=41,000円

<クラブ活動費用>

◇ 「1万円以上2万円未満」が32.3%で最も多く、次いで「1万円未満」が31.5%、「2万円以上3万円未満」が14.5%となっている。

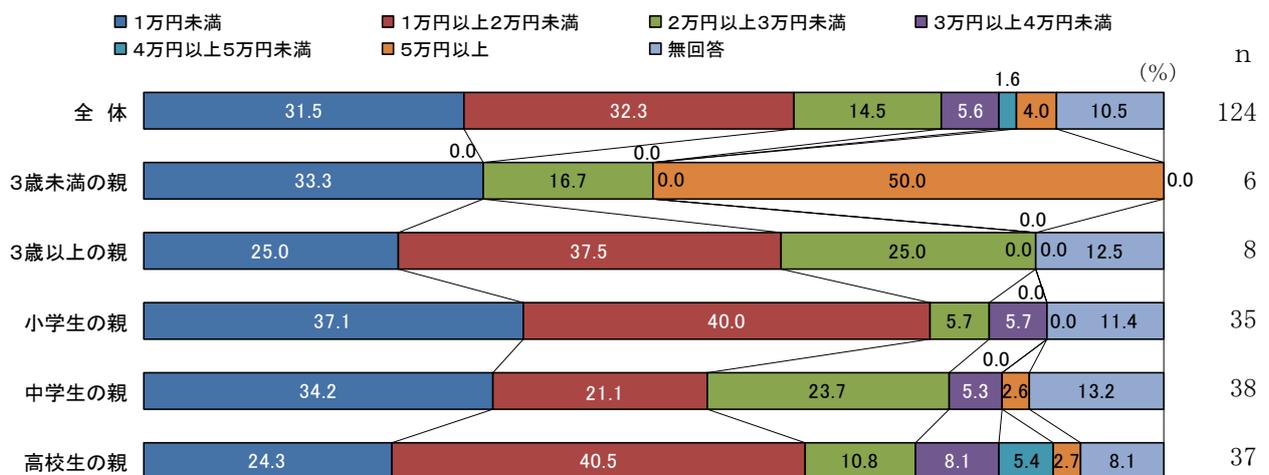


図 クラブ活動費用（月額）

平均値 全体=14,375円 3歳未満の親=43,183円 3歳以上の親=12,286円
小学生の親=9,935円 中学生の親=13,167円 高校生の親=14,941円

<本代・おもちゃ代>

◇ 「1万円未満」が47.6%で最も多く、次いで「1万円以上2万円未満」が18.4%、「2万円以上3万円未満」が6.8%となっている。

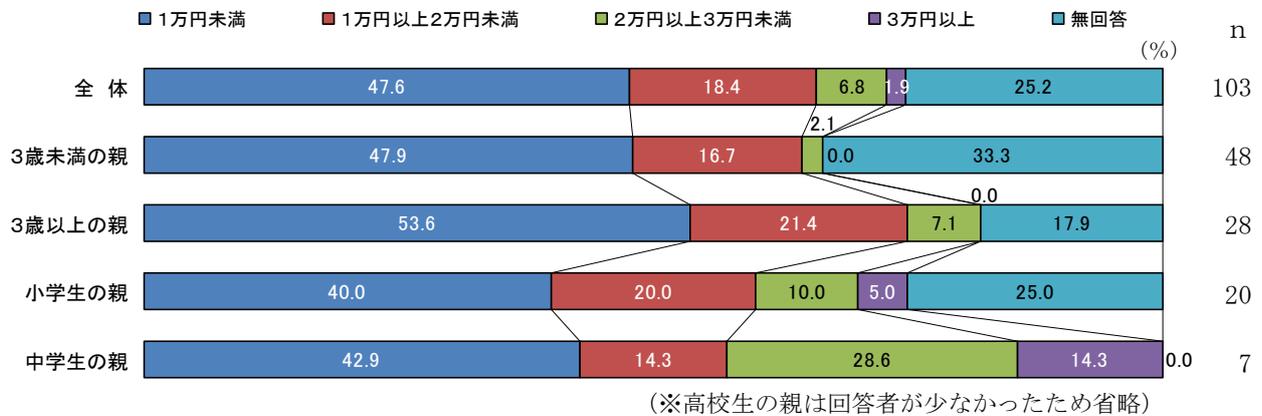


図 本代・おもちゃ代 (月額)

平均値 全体=7,812円 3歳未満の親=5,875円 3歳以上の親=7,130円
小学生の親=9,300円 中学生の親=15,714円

<レジャー費用 (旅行など)>

◇ 「2万円以上3万円未満」が23.1%で最も多く、次いで「1万円以上2万円未満」が15.9%、「5万円以上」が12.8%となっている。

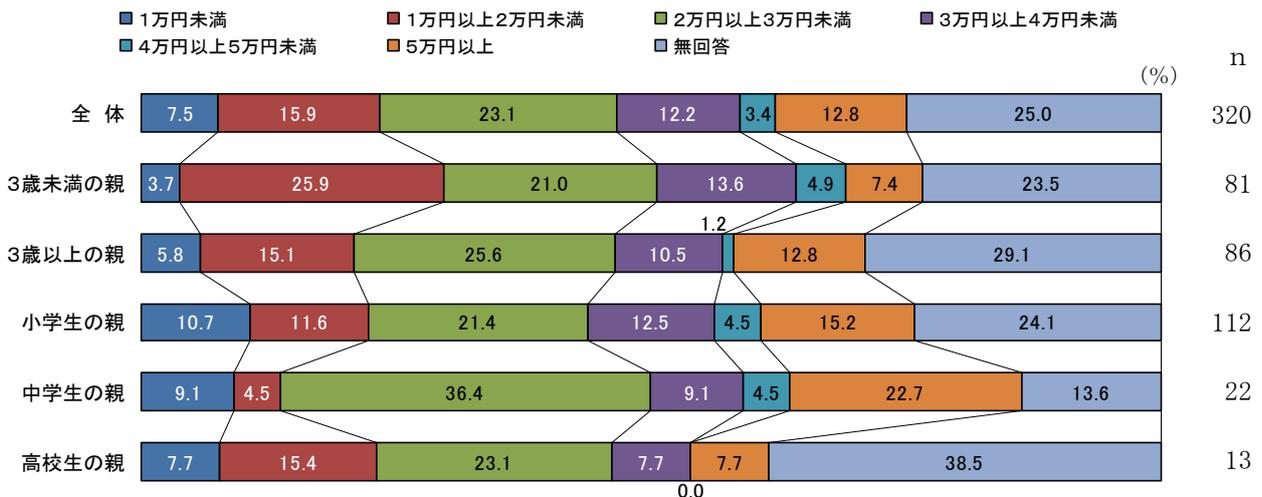


図 レジャー費用 (旅行など) (月額)

平均値 全体=29,966円 3歳未満の親=26,839円 3歳以上の親=28,213円
小学生の親=30,587円 中学生の親=37,368円 高校生の親=40,000円

<医療費>

◇ 「1万円以上2万円未満」が30.3%で最も多く、次いで「2万円以上3万円未満」が20.6%、「1万円未満」が17.4%となっている。

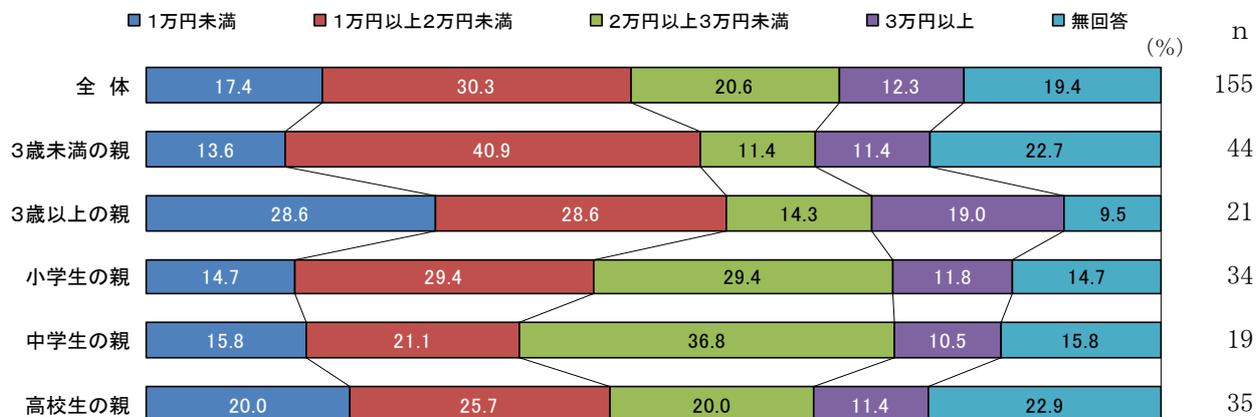


図 医療費 (月額)

平均値 全体=19,292円 3歳未満の親=17,853円 3歳以上の親=31,158円
小学生の親=17,776円 中学生の親=17,375円 高校生の親=15,519円

<その他>

◇ 「5万円以上」が26.3%で最も多く、次いで「2万円以上3万円未満」が14.4%、「1万円以上2万円未満」が13.9%となっている。

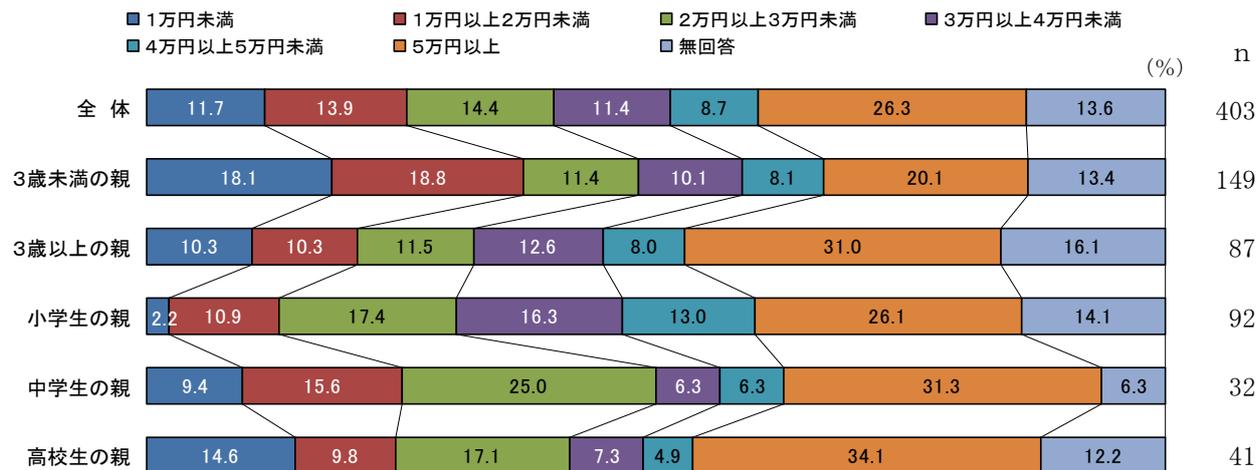


図 その他 (月額)

平均値 全体=47,991円 3歳未満の親=43,258円 3歳以上の親=60,951円
小学生の親=45,023円 中学生の親=48,910円 高校生の親=43,806円

【平均値】

- ◇ 「住居費（家賃・ローン）」が約 93,000 円と最も高く、次いで「授業料・学費」「食費」が約 58,000 円、「その他」が約 48,000 円、「学習塾の費用」が約 38,000 円となっている。
- ◇ 「クラブ活動費用」は3歳未満の親の約 43,000 円が最も高く、「医療費」は3歳以上の親の約 31,000 円が最も高い。

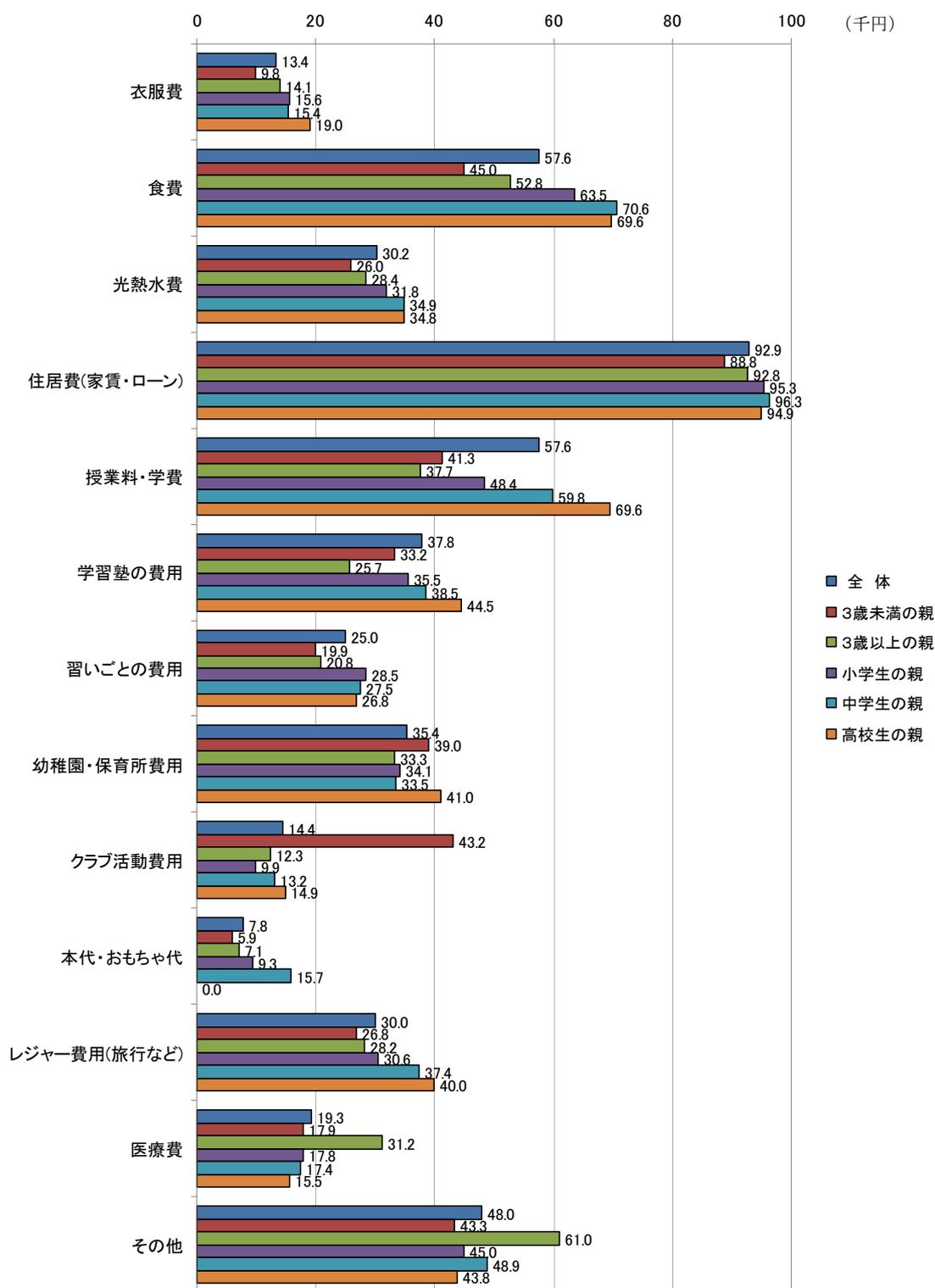


図 子育てで経済的負担を感じる費用（平均値）

地域の子育ての状況について 【問16】【問2】

(1) 子育てについて、あなたのお住まいの地域にあてはまるもの(複数回答)

◇ 全体では、「同じくらいの年齢の子どもを育てている友達がいる」が73.5%と最も多く、次いで「子育てについて気軽に相談できる人がある」が49.3%、「年齢の違う子が一緒になって遊ぶことができると感じる」が32.7%となっている。

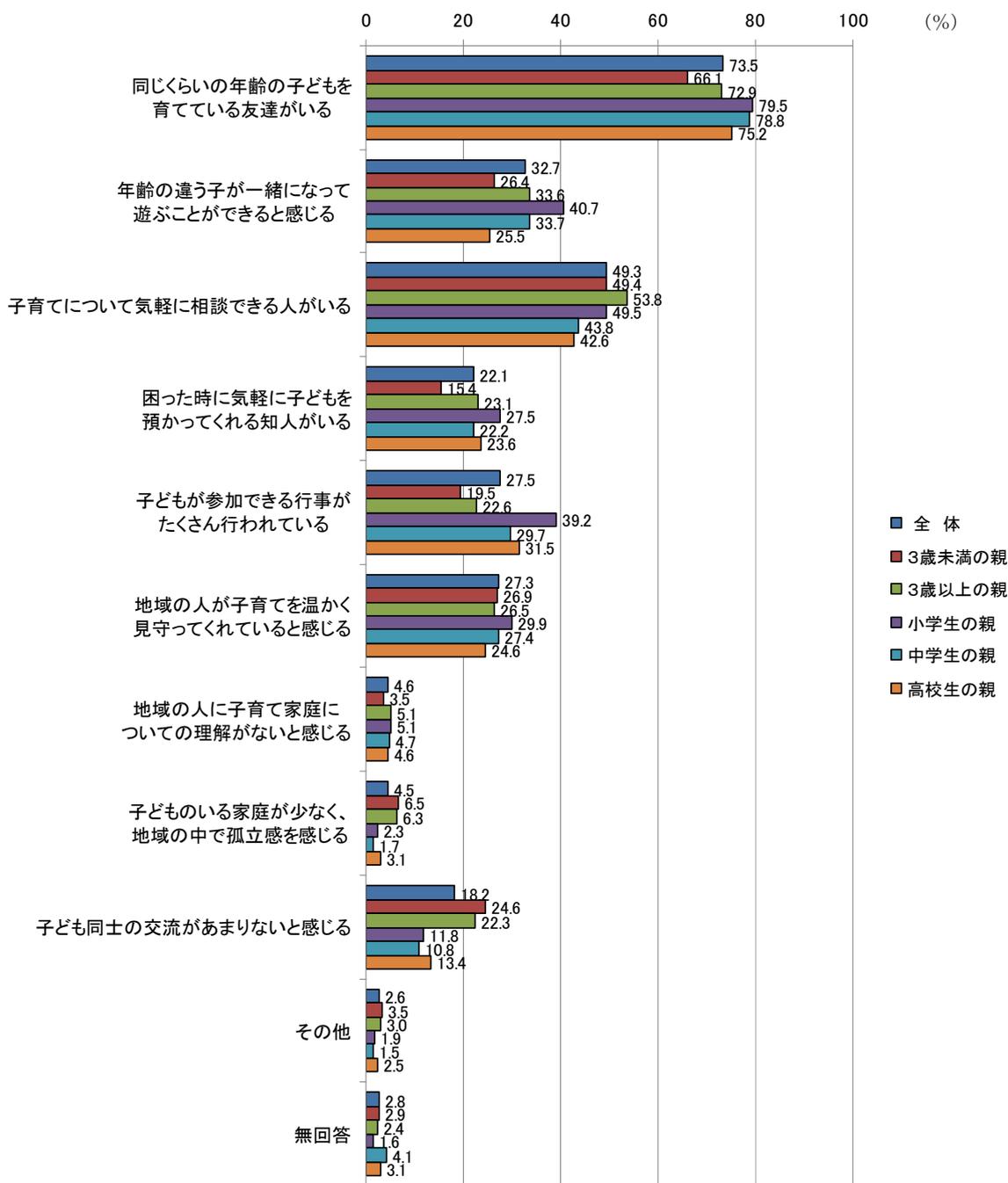


図 お住まいの地域について

回答数 全体=21,018 3歳未満の親=5,317 3歳以上の親=5,561
小学生の親=6,039 中学生の親=2,191 高校生の親=1,683

【5年前からの変化】

- ・全体では、子育てについて相談できる人がいる人が約7%、子ども同士の交流があまりないと感じる人が約3%増えた。
- ・全体では、子どもを預かってくれる知人がいる人が約6%、年齢の違う子同士と一緒に遊ぶことができると感じる人が約5%減った。
- ・子育てを相談できる人がいる割合の増加量は、高校生の親が8.1%と最も多く、子ども同士の交流がないと感じる割合の増加量は、未就学児の親が2.0%と最も多い。
- ・子どもを預かってくれる知人がいる割合の減少量は、小学生の親が8.6%と最も多く、年齢の違う子同士が遊べると感じる割合の減少量は、未就学児の親が6.8%と最も多い。

<増えたもの>

	子育てを相談できる人がいる		変化量	子ども同士の交流がない		変化量
	平成20年	平成25年		平成20年	平成25年	
未就学児の親	44.2	51.6	7.4↑	21.5	23.5	2.0↑
小学生の親	45.1	49.5	4.4↑	10.8	11.8	1.0↑
中学生の親	37.6	43.8	6.2↑	12.7	10.8	1.9↓
高校生の親	34.5	42.6	8.1↑	12.7	13.4	0.7↑

<減ったもの>

	子どもを預かってくれる知人がいる		変化量	年齢の違う子同士が遊べる		変化量
	平成20年	平成25年		平成20年	平成25年	
未就学児の親	21.8	19.3	2.5↓	36.8	30.0	6.8↓
小学生の親	36.1	27.5	8.6↓	46.9	40.7	6.2↓
中学生の親	30.5	22.2	8.3↓	29.4	33.7	4.3↓
高校生の親	24.4	23.6	0.8↓	25.1	25.5	0.4↑

子育てに必要な情報について 【問16】【問17】

(2) 子育てするうえで、知りたい情報は何か。(3つ)

◇ 全体では、「子どもの教育等」が41.5%と最も多く、次いで「子どもが病気やケガをしたときや休日等に受診できる医療機関」が36.9%、「子どもと一緒に参加できるイベント」が32.2%、「子どもの遊び場や公園」が31.0%となっている。

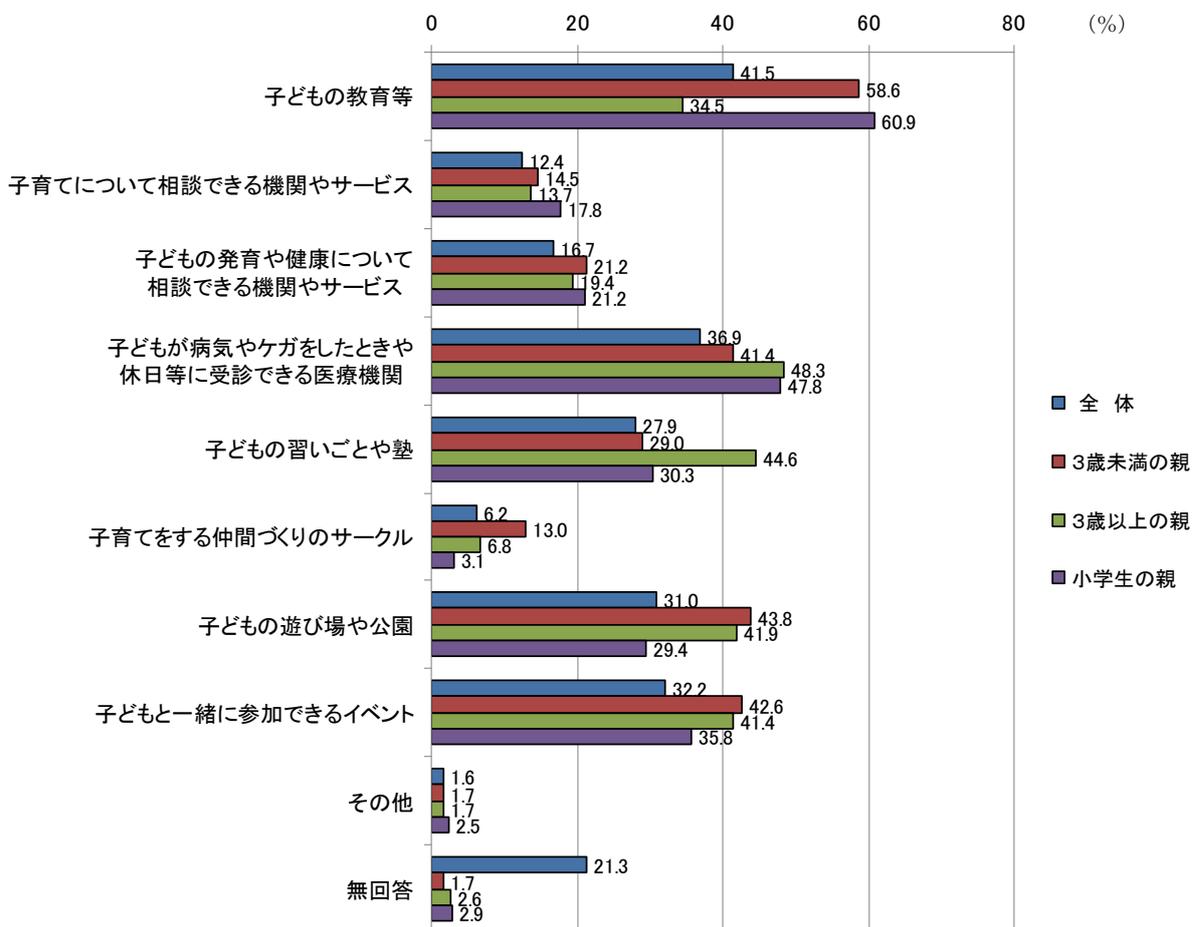


図 子育てをするうえで知りたい情報

回答数 全体=18,039 3歳未満の親=5,812 3歳以上の親=5,217 小学生の親=5,261

■名古屋市子ども・子育て支援への取り組みについて（各1つ）

- ◇ 「医療費助成や子育てにかかる各種サービスの費用の軽減など、経済的な支援の充実」の「期待する」割合が88.7%と最も高く、次いで「住宅や遊び場・公園の整備など、子育てしやすいまちづくり」が86.0%、「安心して出産や子育てができる医療サービスの充実」が84.0%となっている。
- ◇ 「期待しない」の割合が高いのが、「受験戦争やいじめの解消等のゆとりのある教育の実現」(10.0%)、「労働時間の短縮、育児休業や介護休暇制度など家庭生活と両立する職場環境の整備」(7.3%)、「男女でともに子育てに参加することについての意識啓発」(7.0%)である。

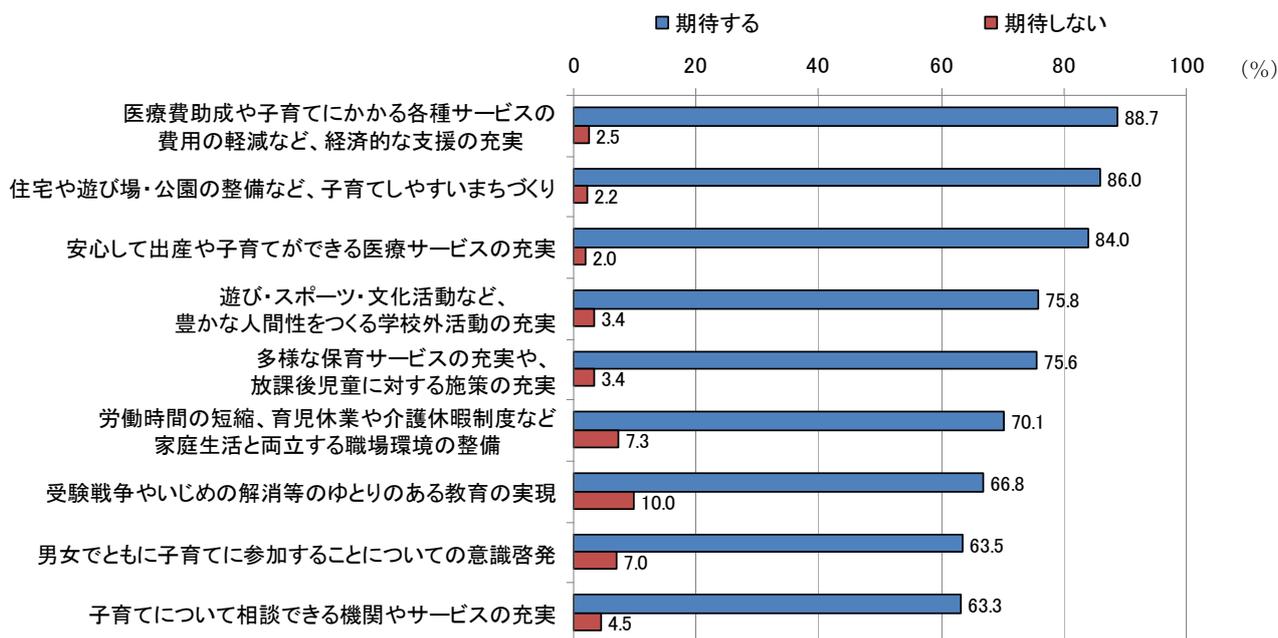


図 名古屋市の子育て支援への取り組みについて：期待度
回答数 全体=7,927

- ◇ 「医療費助成や子育てにかかる各種サービスの費用の軽減など、経済的な支援の充実」の「満足する」割合が28.8%と最も高く、次いで「安心して出産や子育てができる医療サービスの充実」が27.0%、「住宅や遊び場・公園の整備など、子育てしやすいまちづくり」が15.0%となっている。
- ◇ 「満足する」割合が高い3項目は、「期待する」割合が高い3項目と全く同じである。
- ◇ 「満足しない」の割合が高いのが、「受験戦争やいじめの解消等のゆとりのある教育の実現」(39.9%)、「住宅や遊び場・公園の整備など、子育てしやすいまちづくり」(39.3%)、「労働時間の短縮、育児休業や介護休暇制度など家庭生活と両立する職場環境の整備」(35.9%)である。

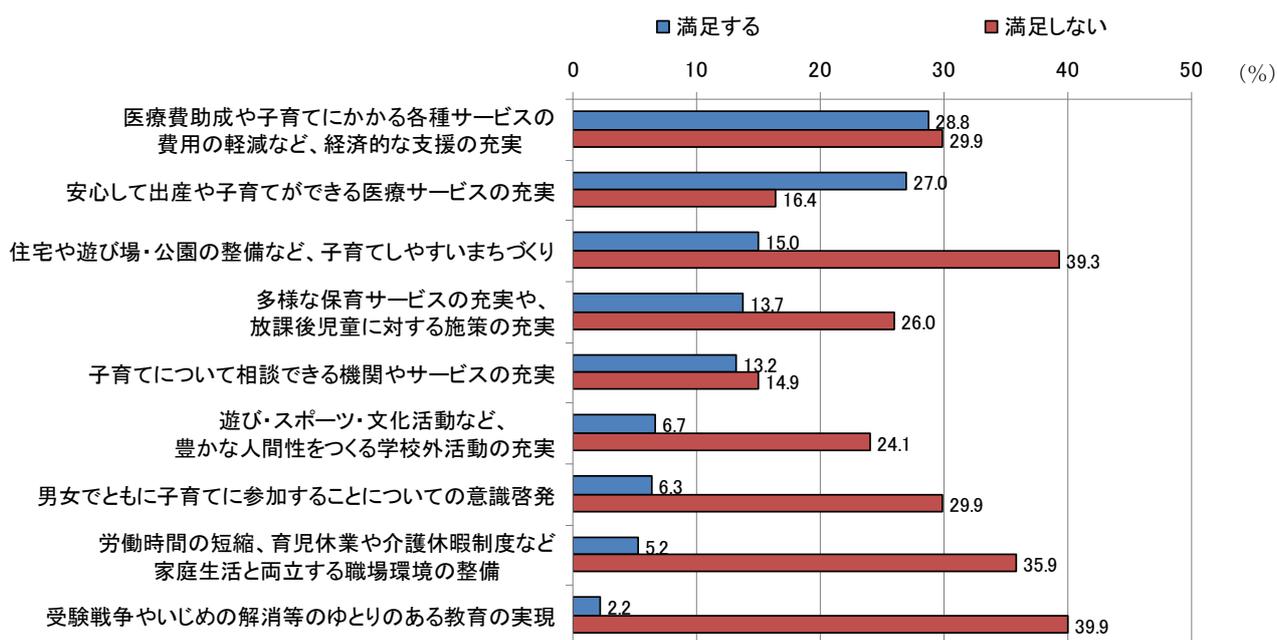


図 名古屋市の子育て支援への取り組みについて：満足度
回答数 全体=7,927

【5年前からの変化】

- ・「医療費助成や子育てにかかる各種サービスの費用の軽減など、経済的な支援の充実」の満足度は9.7%から28.8%に増加した。(不満割合は50.9%から29.9%に減少)
- ・「安心して出産や子育てができる医療サービスの充実」は19.1%から27.0%に増加した。(不満割合は27.6%から16.4%に減少)
- ・「子育てについて相談できる機関やサービスの充実」は10.2%から13.2%に増加した。(不満割合は16.2%から14.9%に減少)

ア. 労働時間の短縮、育児休業や介護休暇制度など家庭生活と両立する職場環境の整備

- ◇ 「期待する」割合は全体では70.1%であるが、3歳未満の親が75.7%と他の年齢に比べると高い。
- ◇ 現状への満足度(満足している)は全体では5.2%であるが、3歳以上の親が4.6%と最も低い。

(1) 期待するかどうか

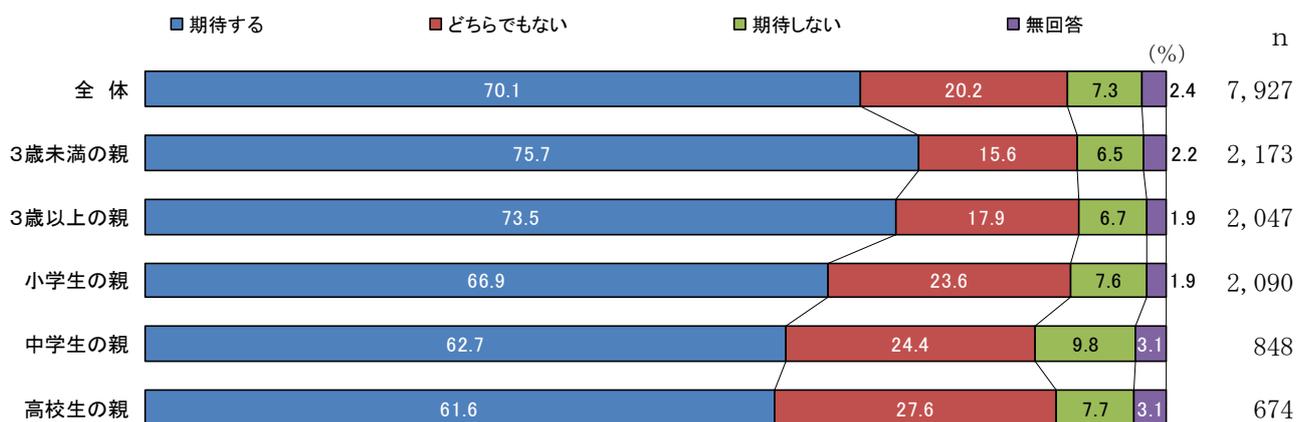


図 労働時間の短縮、育児休業や介護休暇制度など家庭生活と両立する職場環境の整備：期待度

(2) 現状に満足しているかどうか

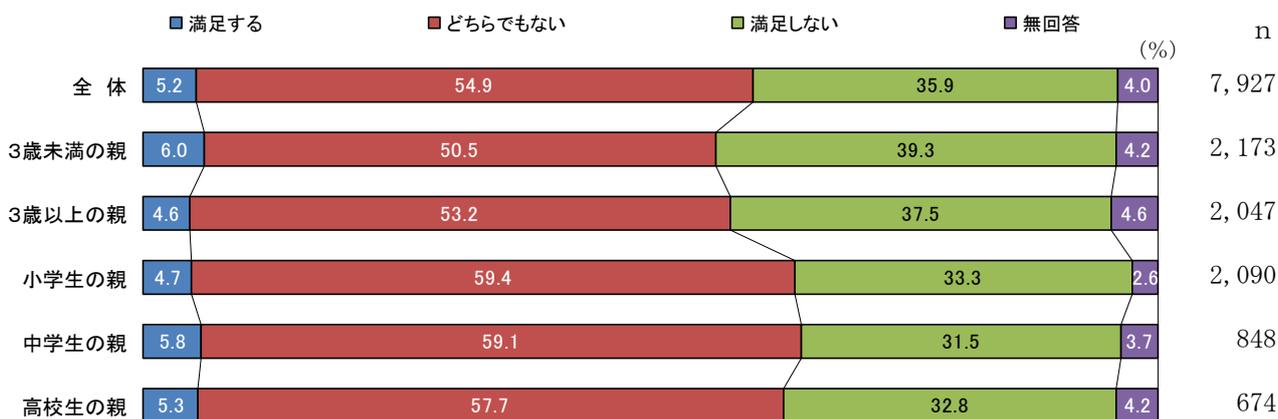


図 労働時間の短縮、育児休業や介護休暇制度など家庭生活と両立する職場環境の整備：満足度

イ. 多様な保育サービスの充実や、放課後児童に対する施策の充実

- ◇ 「期待する」割合は全体では75.6%であるが、3歳未満の親(82.6%)、3歳以上の親(82.8%)が他の年齢に比べると高い。
- ◇ 現状への満足度(満足している)は全体では13.7%であるが、3歳未満の親が5.3%と最も低い。

(1) 期待するかどうか

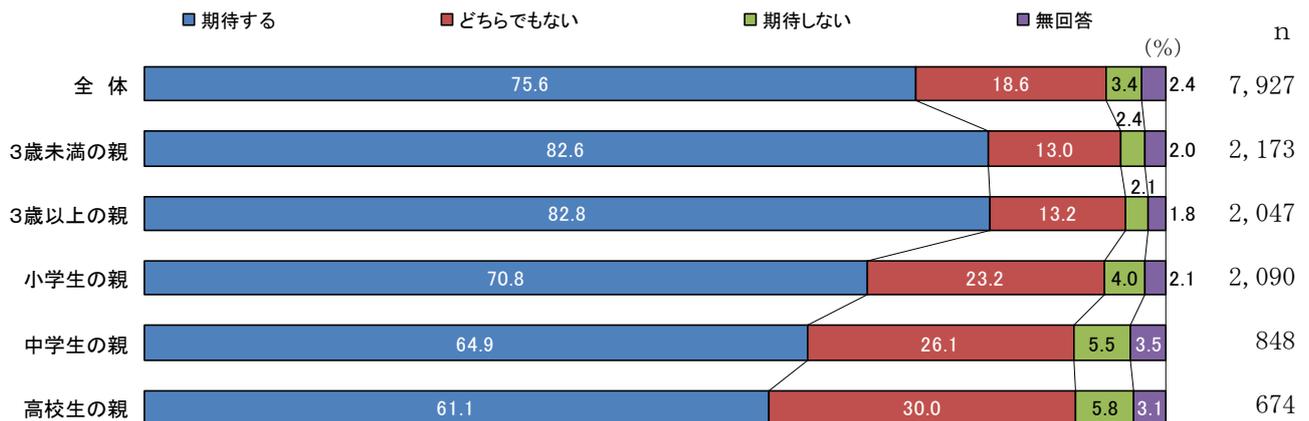


図 多様な保育サービスの充実や、放課後児童に対する施策の充実：期待度

(2) 現状に満足しているかどうか



図 多様な保育サービスの充実や、放課後児童に対する施策の充実：満足度

ウ. 安心して出産や子育てができる医療サービスの充実

- ◇ 「期待する」割合は全体では84.0%であるが、3歳未満の親が89.7%と他の年齢に比べると高い。
- ◇ 現状への満足度(満足している)は全体では27.0%であるが、小学生の親が32.2%と最も高い。

(1) 期待するかどうか



図 安心して出産や子育てができる医療サービスの充実：期待度

(2) 現状に満足しているかどうか

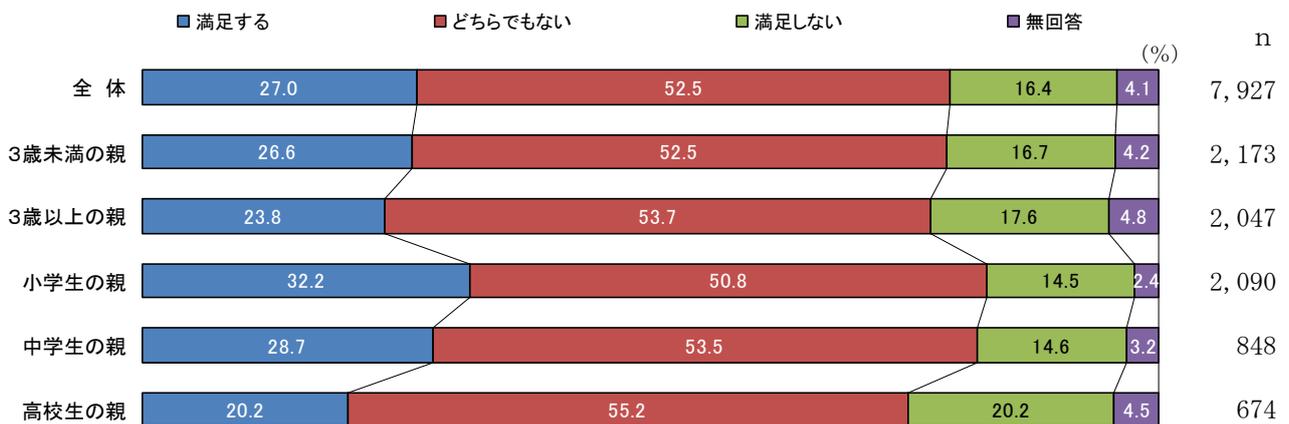


図 安心して出産や子育てができる医療サービスの充実：満足度

エ. 子育てについて相談できる機関やサービスの充実

- ◇ 「期待する」割合は全体では63.3%であるが、3歳未満の親が70.1%と他の年齢に比べると高い。
- ◇ 現状への満足度（満足している）は全体では13.2%であるが、3歳未満の親が15.3%と最も高い。

(1) 期待するかどうか

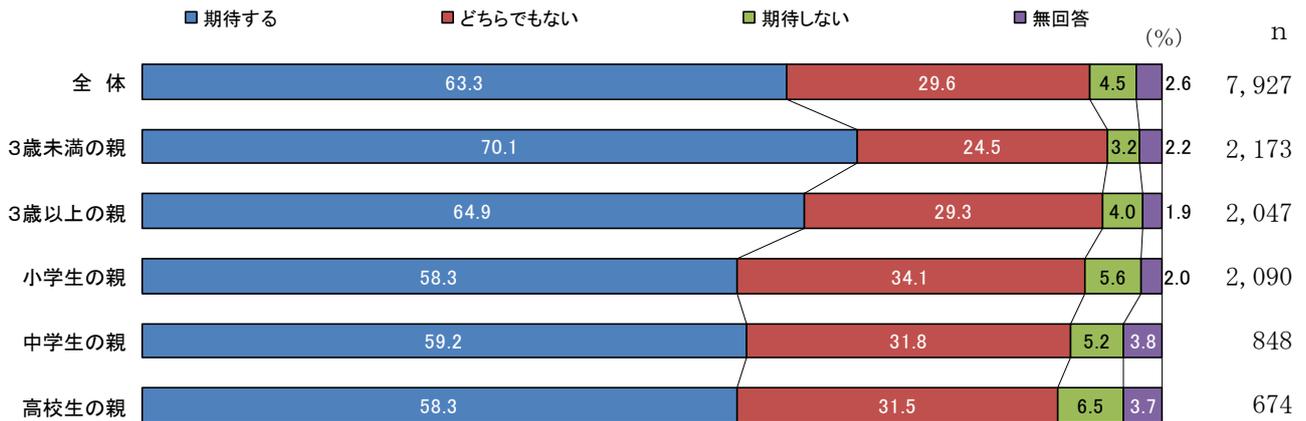


図 子育てについて相談できる機関やサービスの充実：期待度

(2) 現状に満足しているかどうか



図 子育てについて相談できる機関やサービスの充実：満足度

オ. 住宅や遊び場・公園の整備など、子育てしやすいまちづくり

- ◇ 「期待する」割合は全体では86.0%であるが、3歳未満の親が92.0%と他の年齢に比べると高い。
- ◇ 現状への満足度(満足している)は全体では15.0%であるが、小学生の親が17.6%と最も高い。

(1) 期待するかどうか



図 住宅や遊び場・公園の整備など、子育てしやすいまちづくり：期待度

(2) 現状に満足しているかどうか

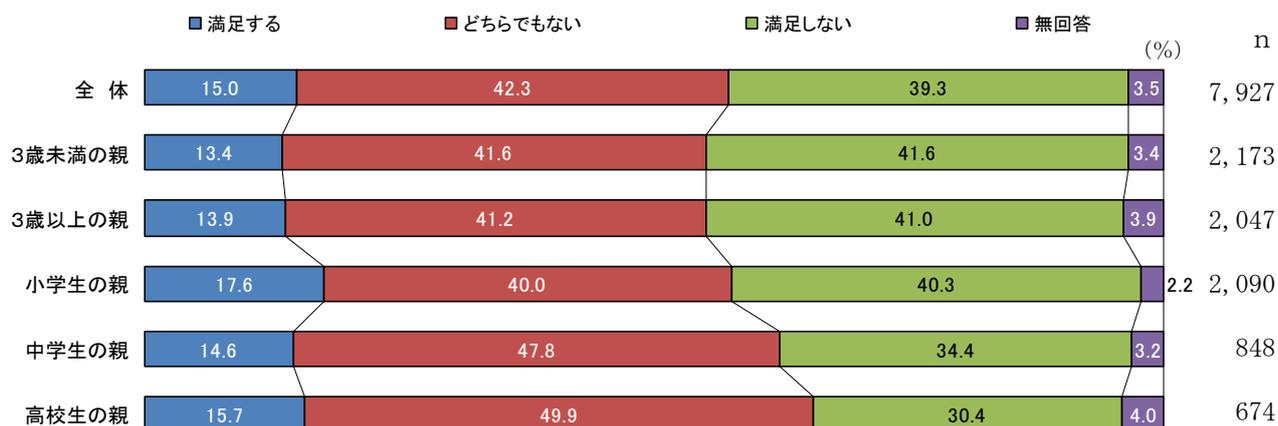


図 住宅や遊び場・公園の整備など、子育てしやすいまちづくり：満足度

カ. 受験戦争やいじめの解消等のゆとりのある教育の実現

- ◇ 「期待する」割合は全体では66.8%であるが、3歳未満の親(70.4%)、3歳以上の親(70.2%)が他の年齢に比べると高い。
- ◇ 現状への満足度(満足している)は全体では2.2%であり、他の項目と比較すると最も満足度が低い。

(1) 期待するかどうか

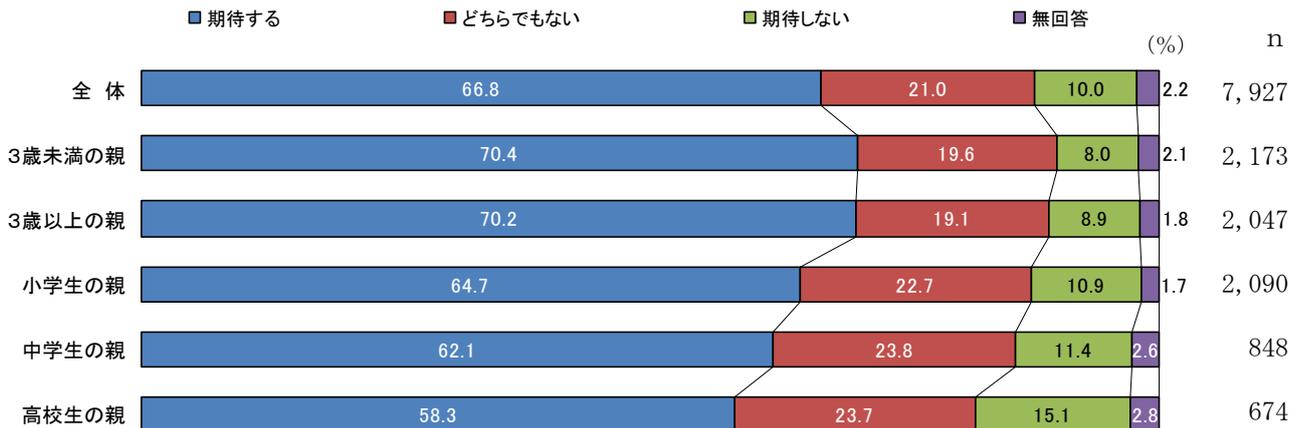


図 受験戦争やいじめの解消等のゆとりのある教育の実現：期待度

(2) 現状に満足しているかどうか

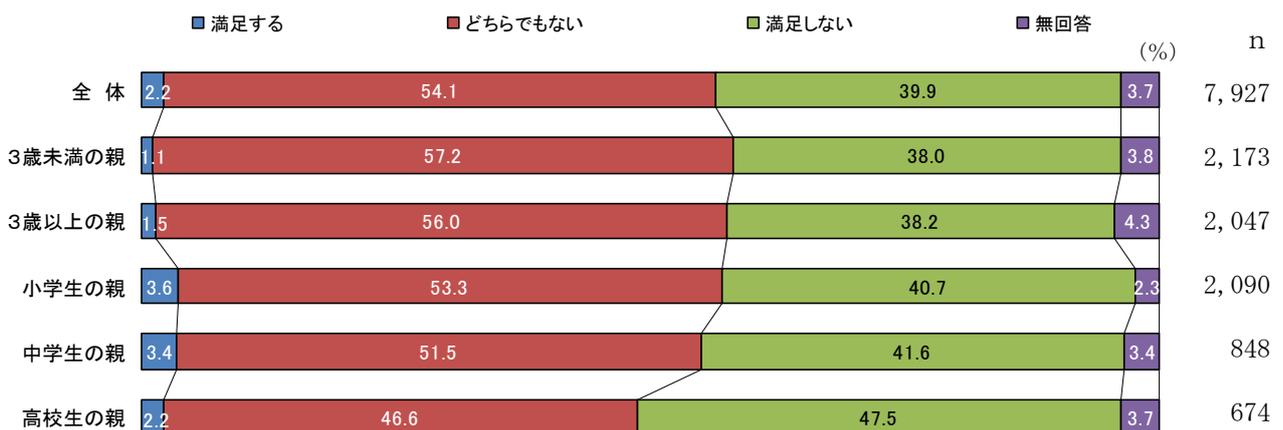


図 受験戦争やいじめの解消等のゆとりのある教育の実現：満足度

キ. 遊び・スポーツ・文化活動など、豊かな人間性をつくる学校外活動の充実

- ◇ 「期待する」割合は全体では75.8%であるが、3歳未満の親(79.4%)、3歳以上の親(80.5%)が他の年齢に比べると高い。
- ◇ 現状への満足度(満足している)は全体では6.7%であるが、中学生の親(11.7%)、小学生の親(11.6%)が他の年齢と比べると高い。

(1) 期待するかどうか

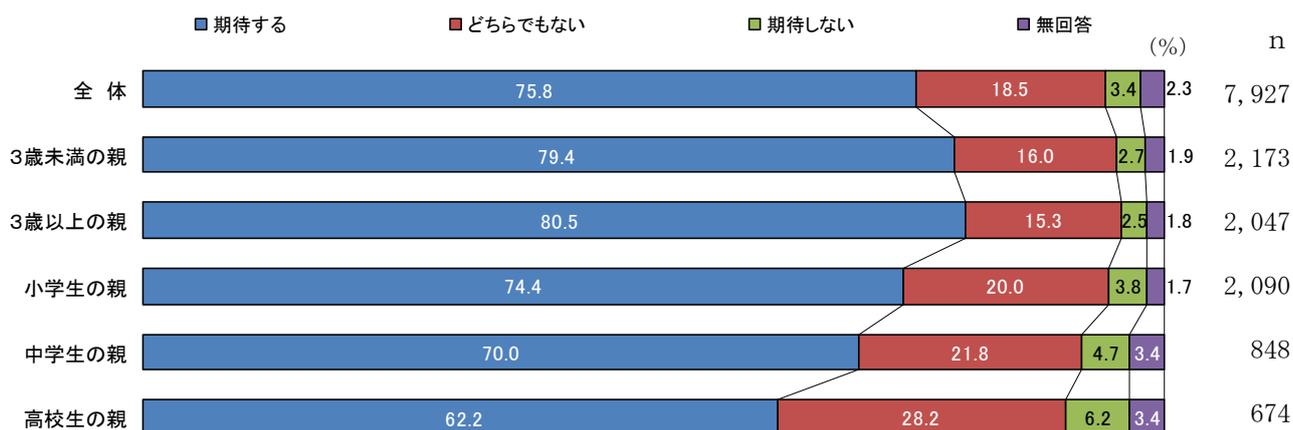


図 遊び・スポーツ・文化活動など、豊かな人間性をつくる学校外活動の充実：期待度

(2) 現状に満足しているかどうか

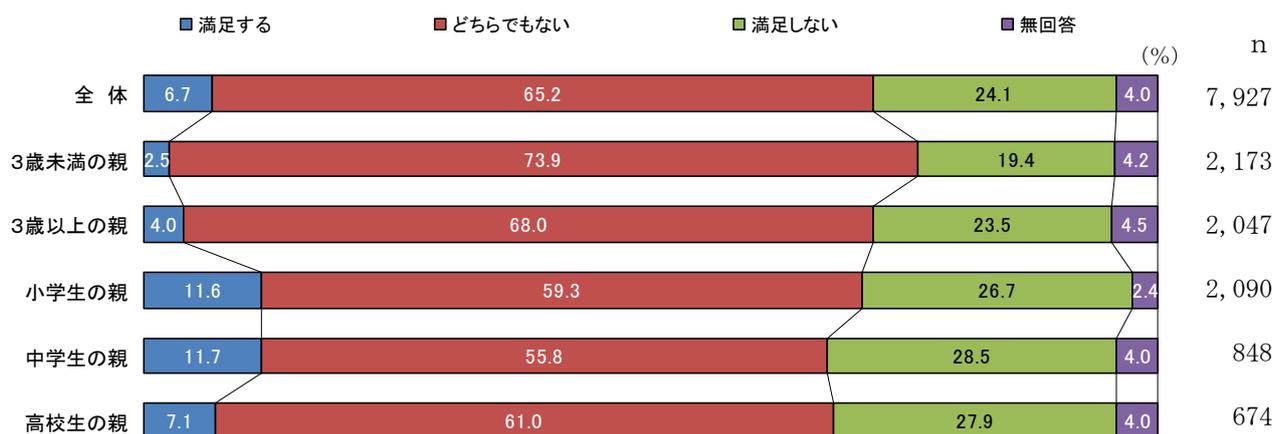


図 遊び・スポーツ・文化活動など、豊かな人間性をつくる学校外活動の充実：満足度

ク. 医療費助成や子育てにかかる各種サービスの費用の軽減など、経済的な支援の充実

- ◇ 「期待する」割合は全体では 88.7%であるが、高校生の親（79.7%）と他の年齢に比べると低い。
- ◇ 現状への満足度（満足している）は全体では 28.8%であるが、高校生の親（21.2%）と他の年齢に比べると低い。

（１）期待するかどうか



図 医療費助成や子育てにかかる各種サービスの費用の軽減など、経済的な支援の充実：期待度

（２）現状に満足しているかどうか

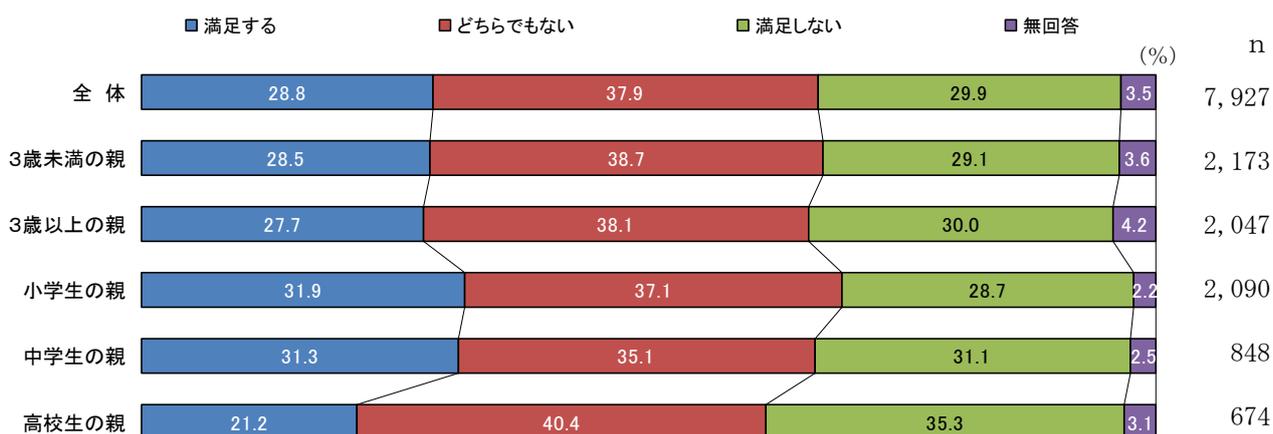


図 医療費助成や子育てにかかる各種サービスの費用の軽減など、経済的な支援の充実：満足度

ケ. 男女でともに子育てに参加することについての意識啓発

- ◇ 「期待する」割合は全体では 63.5%であるが、中学生の親（55.1%）、高校生の親（55.0%）が他の年齢に比べると低い。
- ◇ 現状への満足度（満足している）は全体では 6.3%であるが、高校生の親（4.9%）が最も低い。

（１）期待するかどうか

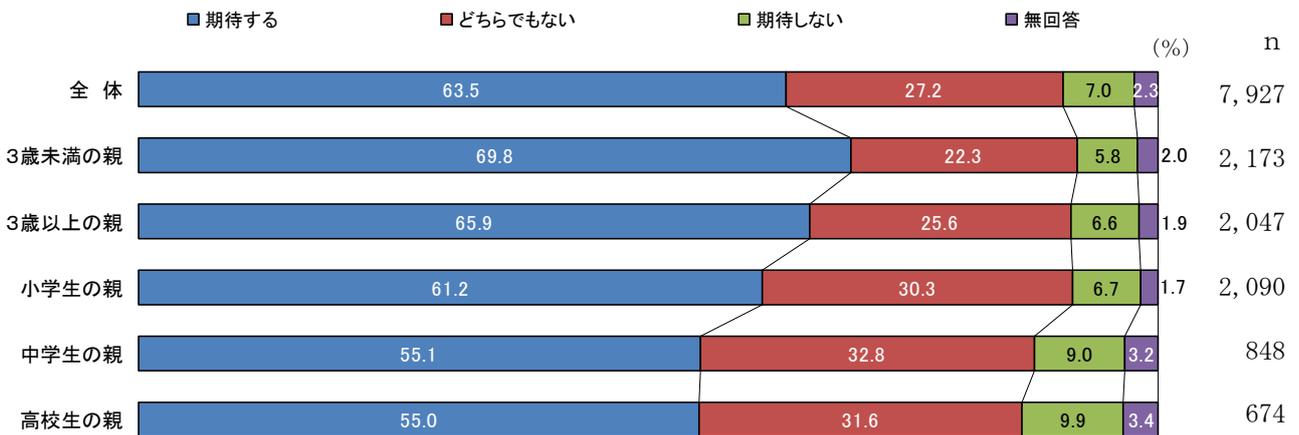


図 男女でともに子育てに参加することについての意識啓発：期待度

（２）現状に満足しているかどうか

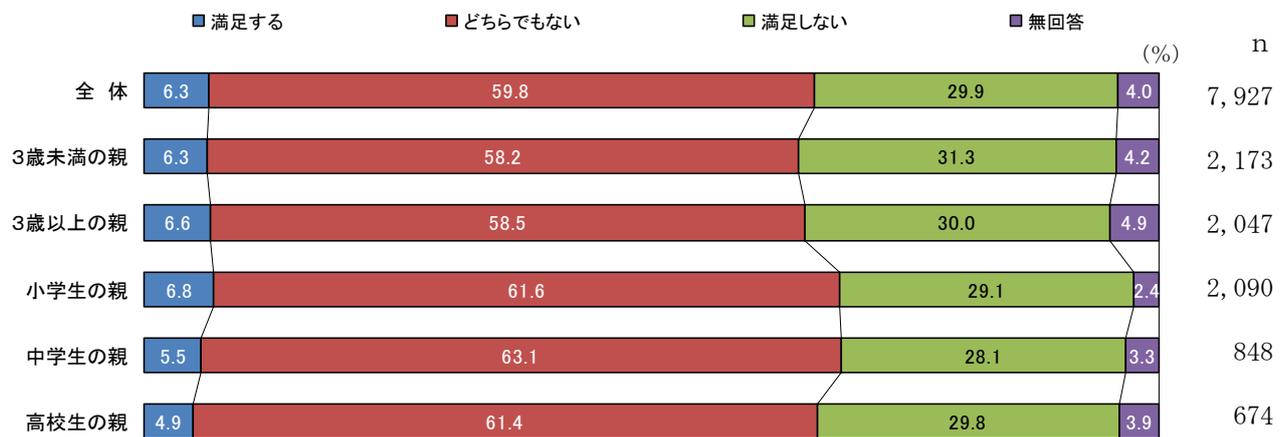


図 男女でともに子育てに参加することについての意識啓発：満足度

- ◇ 「名古屋市としては子ども・子育て支援に取り組む必要はない」と回答している割合は 1%未満であり、ほとんどの人が、名古屋市が子育て支援に取り組むことに対して期待している。

【5年前からの変化】

- ・全体では、満足していない割合として、経済的な支援の充実が約21%、医療サービスの充実が約11%、ゆとりある教育の実現が約5%減った。
- ・全体的に満足していないと感じる人が5年前よりも減少傾向にある。
- ・経済的な支援の充実、医療サービスの充実の割合の減少量は、未就学児の親が最も多く、ゆとりある教育の実現の割合の減少量は、中学生の親が9.4%と最も多い。

<満足していない>

	経済的な支援の充実		変化量	医療サービスの充実		変化量
	平成20年	平成25年		平成20年	平成25年	
未就学児の親	55.5	→ 29.6	25.9↓	29.4	→ 17.2	12.2↓
小学生の親	49.4	→ 28.7	20.7↓	25.8	→ 14.5	11.3↓
中学生の親	50.5	→ 31.1	19.4↓	24.8	→ 14.6	10.2↓
高校生の親	45.3	→ 35.3	10.0↓	29.5	→ 20.2	9.3↓

	ゆとりある教育の実現		変化量
	平成20年	平成25年	
未就学児の親	38.6	→ 38.1	0.5↓
小学生の親	47.6	→ 40.7	6.9↓
中学生の親	51.0	→ 41.6	9.4↓
高校生の親	49.1	→ 47.5	1.6↓

<「満足している」割合と「期待する」割合の関係>

期待する割合が80%を超える「医療費助成や子育てにかかる各種サービスの費用の軽減など、経済的な支援の充実」(88.7%)、「住宅や遊び場・公園の整備など、子育てしやすいまちづくり」(86.0%)、「安心して出産や子育てができる医療サービスの充実」(84.0%)は、満足度も「経済的支援の充実」(28.8%)、「医療サービスの充実」(27.0%)、「子育てしやすいまちづくり」(15.0%)と高い割合を占めている。

(%)

施策項目	満足している	期待する
ア. 労働時間の短縮、育児休業や介護休暇制度など家庭生活と両立する職場環境の整備	5.2	70.1
イ. 多様な保育事業の充実や、放課後児童に対する施策の充実	13.7	75.6
ウ. 安心して出産や子育てができる医療サービスの充実	27.0	84.0
エ. 子育てについて相談できる機関やサービスの充実	13.2	63.3
オ. 住宅や遊び場・公園の整備など、子育てしやすいまちづくり	15.0	86.0
カ. 受験戦争やいじめの解消等のゆとりのある教育の実現	2.2	66.8
キ. 遊び・スポーツ・文化活動など、豊かな人間性をつくる学校外活動の充実	6.7	75.8
ク. 医療費助成や子育てにかかる各種サービスの費用の軽減など、経済的な支援の充実	28.8	88.7
ケ. 男女でともに子育てに参加することについての意識啓発	6.3	63.5

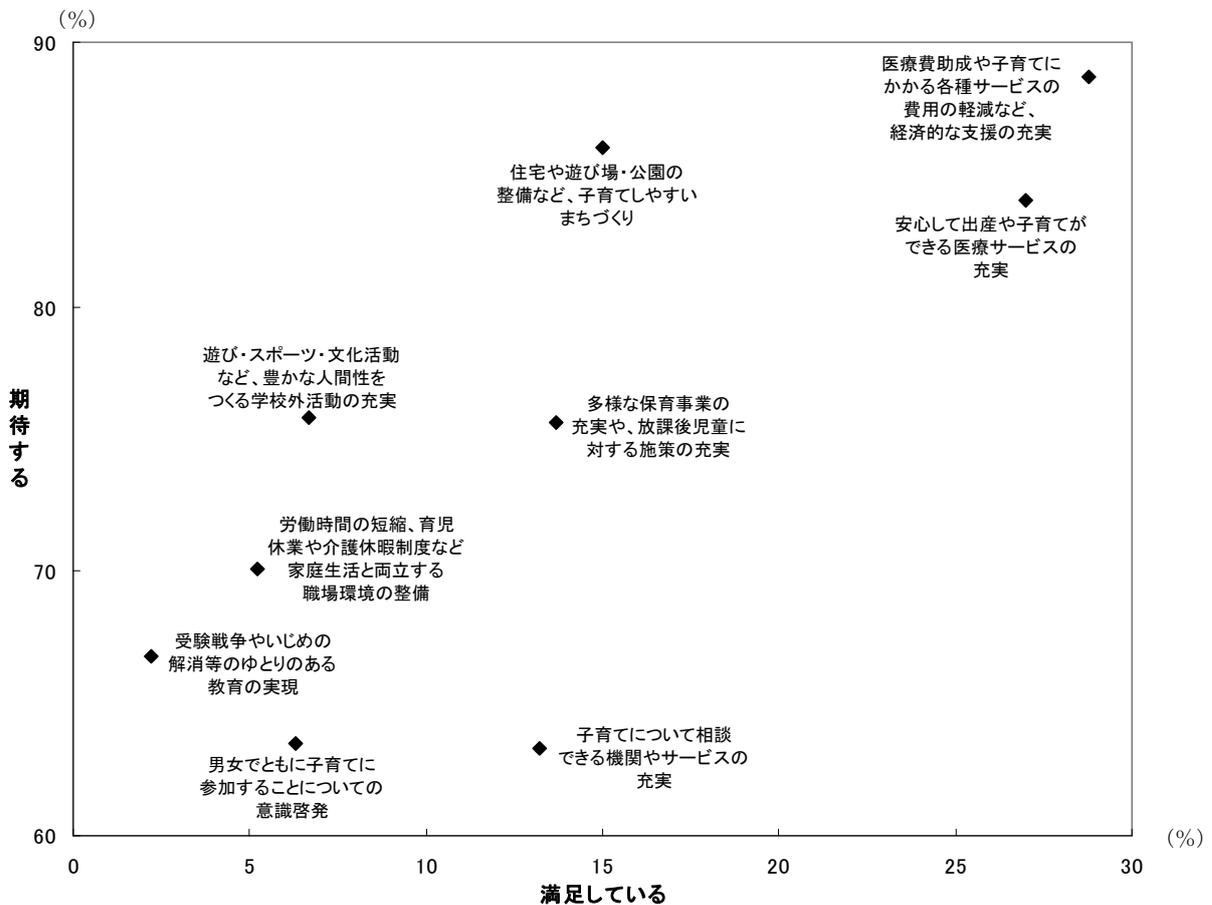


図 名古屋市の取り組みの満足度と期待度の関係性

■あなたは、平成20年4月に「なごや子ども条例」が制定されたことを知っていますか。(1つ)

◇ 全体で見ると、なごや子ども条例について「内容についてもよく知っている」は0.8%と非常に低い。また、「制定されたことは知っているが、内容はあまり知らない」(22.4%)、「制定されたことは知っているが、内容はまったく知らない」(15.2%)も合わせた、制定されたことを知っている割合は38.4%となっている。

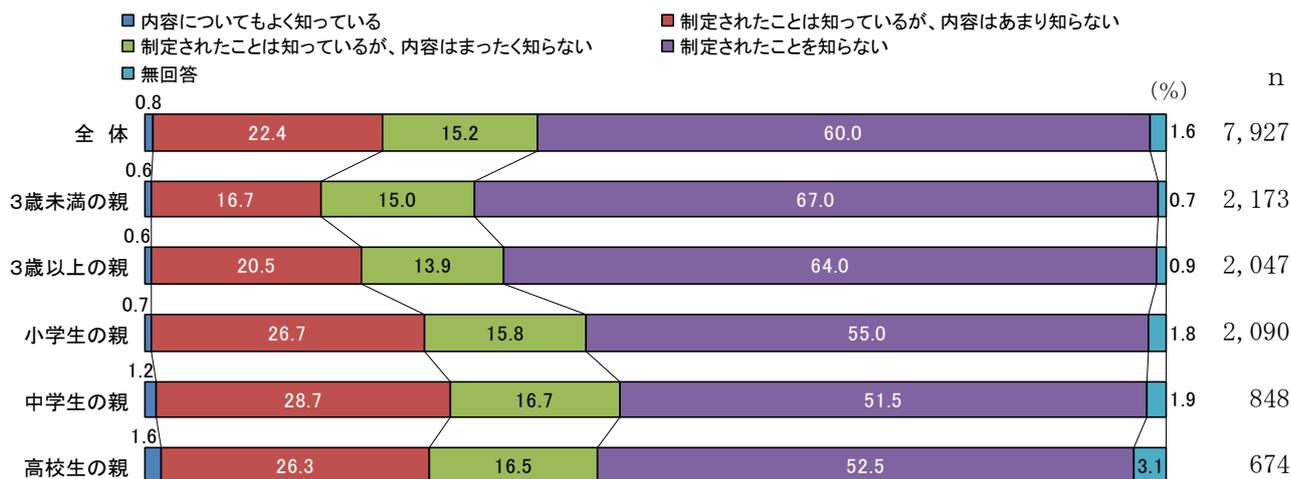


図 なごや子ども条例の認知度

【5年前からの変化】

- ・ 全体では、制定されたことを知らない人が約5%増え、制定されたことは知っているが、条例の内容をまったく知らない人が約5%減った。
- ・ 制定されたことを知らない人の割合の増加量は、未就学児の親が8.1%と最も多く、内容はまったく知らないの割合の減少量も、未就学児の親が6.6%と最も多い。
- ・ 制定されたことを知らない割合は全体で見ると増加しているが、中学生と高校生の親は減少している。

	制定されたことを知らない		変化量	内容はまったく知らない		変化量
	平成20年	平成25年		平成20年	平成25年	
未就学児の親	57.4	65.5	8.1↑	21.1	14.5	6.6↓
小学生の親	53.7	55.0	1.3↑	19.9	15.8	4.1↓
中学生の親	55.7	51.5	4.2↓	20.1	16.7	3.4↓
高校生の親	55.9	52.5	3.4↓	19.5	16.5	3.0↓

仕事と生活のバランスについて 【問19】【問8】

■あなたの家庭では仕事と生活のバランスはとれていると感じていますか。(1つ)

(1) 父親

- ◇ 全体では、「仕事を中心となっており、もう少し家庭生活の比重が高まるとよい」が 37.0%と最も多く、次いで「仕事と家庭生活(育児を含む)のバランスがとれている」が 22.5%、「仕事を中心となっているが、今のままでよい」が 21.3%となっている。
- ◇ 子育て段階別にみると、3歳未満の親では「仕事を中心となっており、もう少し家庭生活の比重が高まるとよい」が 45.6%と特に高い。

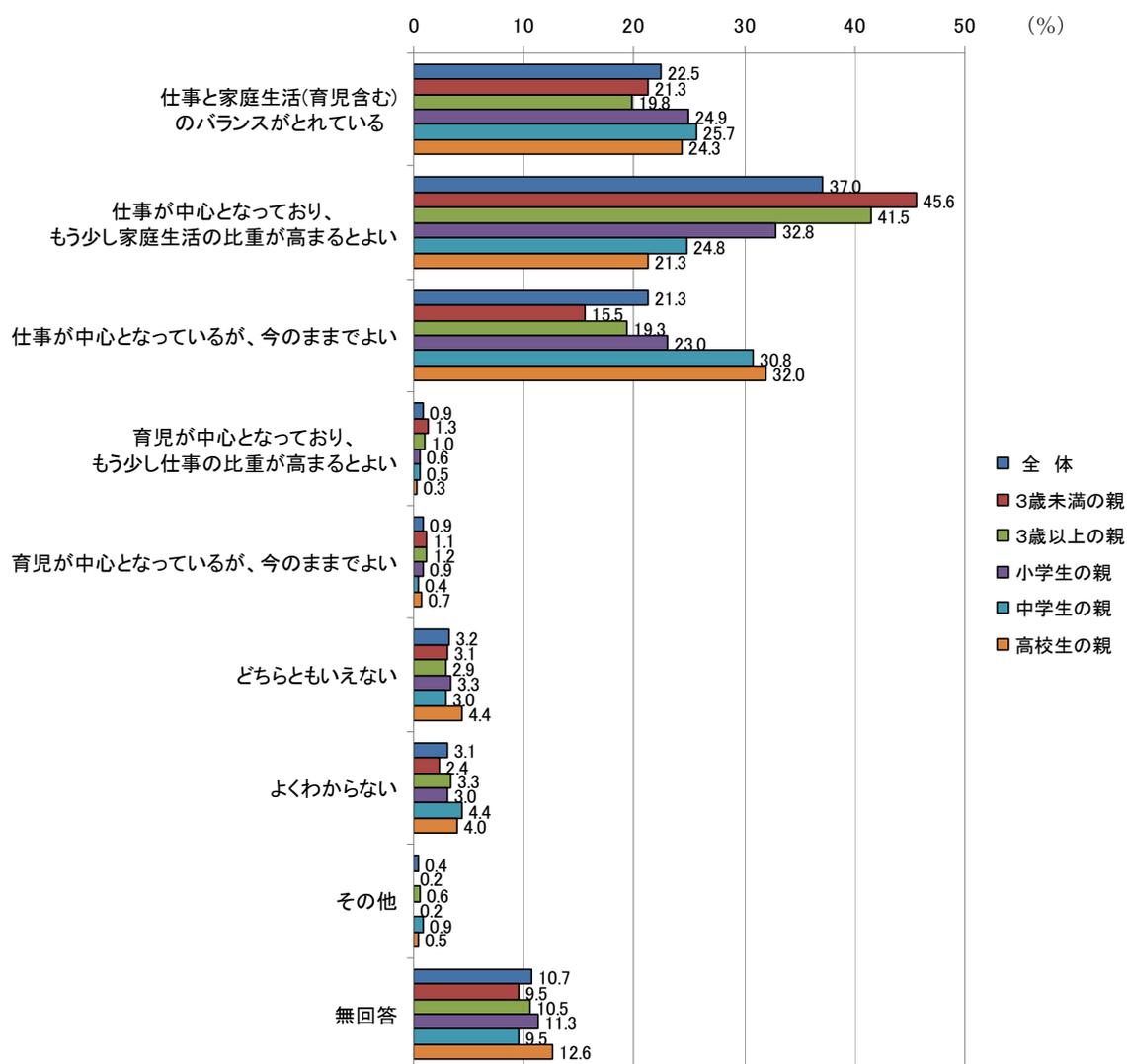


図 父親の仕事と生活のバランス

回答数 全体=7,527 3歳未満の親=2,124 3歳以上の親=1,986

小学生の親=1,959 中学生の親=770 高校生の親=597

【5年前からの変化】

- ・父親の仕事と生活のバランスについては5年前と大きく変わっていない。

(2) 母親

- ◇ 全体では、「育児が中心となっているが、今のままでよい」が 25.1%と最も多く、次いで「仕事と家庭生活(育児を含む)のバランスがとれている」が 20.9%、「仕事を中心となっており、もう少し家庭生活の比重が高まるとよい」が 13.6%となっている。
- ◇ 子育て段階別にみると、3歳未満の親では「育児が中心となっているが、今のままでよい」が 35.1%と特に高い。

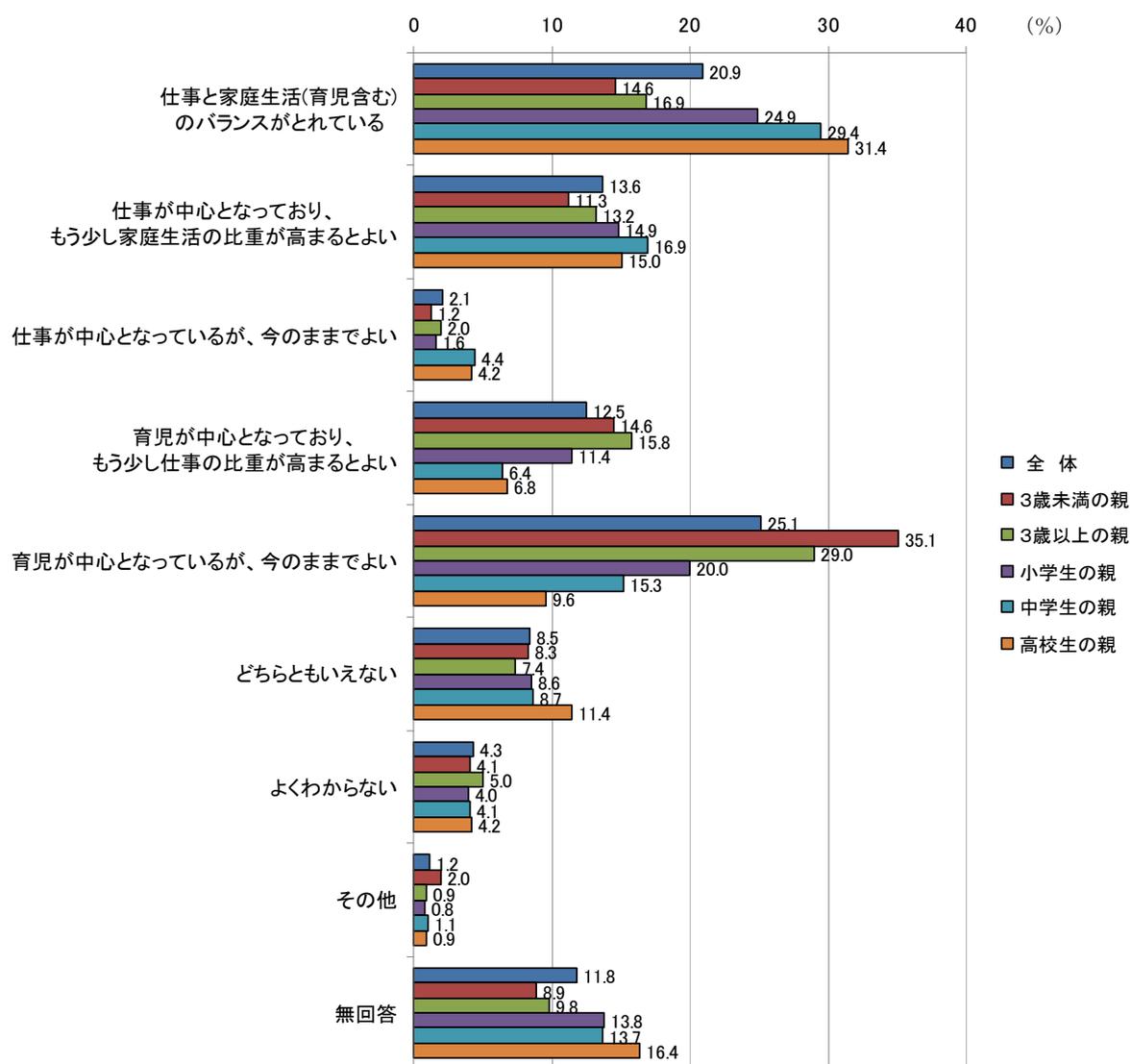


図 母親の仕事と生活のバランス

回答数 全体=7,882 3歳未満の親=2,171 3歳以上の親=2,041
小学生の親=2,074 中学生の親=839 高校生の親=665

【5年前からの変化】

- ・全体では、育児が中心のままでよいと感じる人が約6%減った。
- ・育児が中心のままでよいと感じる割合の減少量は、未就学児の親が13.6%と最も多い。

	育児が中心のままでよい		変化量
	平成20年	平成25年	
未就学児の親	45.7	32.1	13.6↓
小学生の親	29.3	20.0	9.3↓
中学生の親	16.0	15.3	0.7↓
高校生の親	13.4	9.6	3.8↓

『仕事と生活のバランス（就学前 問19）と世帯の暮らし向き（就学前 問13）』

- ◎ 仕事と生活のバランスについて、家庭の経済状況が「ややゆとりがある」と回答した人は、「仕事と家庭生活のバランスが取れている」と回答する割合が高い。家庭の経済状況が「やや苦しい」「苦しい」と回答した人で、「育児が中心となっており、仕事の比重が高まると良い」と回答した割合は約20%で、他の家庭の経済状況を回答した人よりも比率が高い。

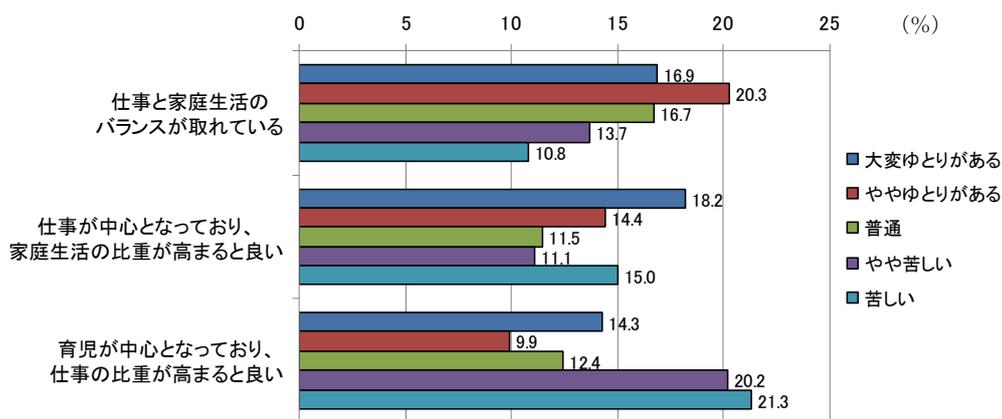


図 仕事と生活のバランスと暮らし向きの意識

『仕事と生活のバランス（就学前 問19）と両親の就労形態（就学前 問3）』

◎ 就労している父親と就労している母親のワーク・ライフ・バランスは、父親は「仕事中心であり家庭生活の比率が高まるとよい」が母親より高く、母親は「育児が中心であり仕事の比重が高まるとよい」が父親よりも高い。また、父親は約60%が「仕事为中心」と回答しているが、母親は「仕事为中心」と回答した人と、「育児が中心」と回答した人の割合はどちらも約20%であり、あまり差はみられない。

(%)

	仕事と家庭生活のバランスが取れている		仕事为中心であり家庭生活の比重が高まるとよい		仕事为中心で今のままでよい。		育児が中心であり仕事の比重が高まるとよい		育児が中心で、今のままでよい	
	父	母	父	母	父	母	父	母	父	母
全体	20.6	26.8	44.1	22.3	17.3	2.3	1.0	11.6	1.0	13.4
正社員	20.3	22.6	45.8	35.5	17.1	2.4	0.9	6.2	0.8	9.9
公務員	26.6	25.3	44.4	31.4	12.4	1.0	1.1	7.2	0.8	20.1
経営者・役員	18.2	17.9	41.2	21.4	19.4	7.1	0.6	7.1	1.2	28.6
自営業・自由業	18.9	29.1	32.9	13.9	24.1	2.5	1.0	21.5	2.9	11.4
パート・アルバイト	20.0	31.5	33.3	11.3	20.0	2.3	10.0	14.6	—	13.0
派遣・契約社員	16.2	27.3	35.3	30.9	10.3	3.6	1.5	10.9	1.5	7.3

<全体>

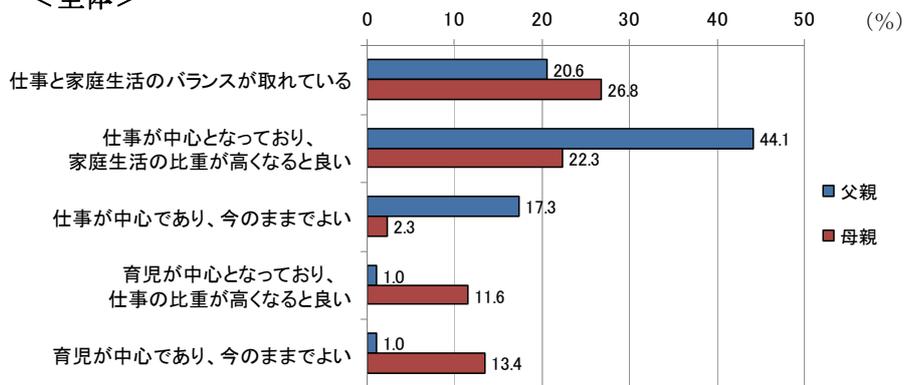


図 仕事と生活のバランスと両親の就労形態（全体）

『仕事と生活のバランス（就学前 問19）と子どもの人数が理想より少ない理由（就学前 問22）』

◎ ワーク・ライフ・バランスで「育児が中心となっており仕事の比重を高めたい」と回答した人は、理想の子どもの数よりも実際の子どもの数が少ない理由として、「経済的に余裕がないから」と回答した割合が父母ともに高い。

<経済的に余裕がないから>

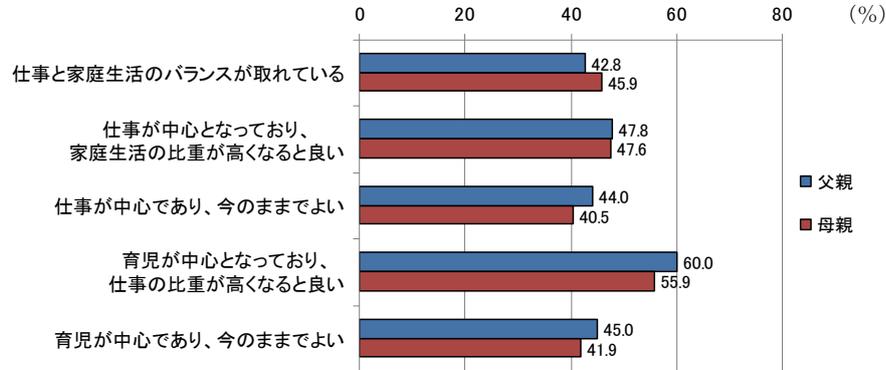


図 WLBと経済的に余裕がなく子どもの人数が理想より少ない割合

『仕事と生活のバランス（就学前 問19）と子どもの人数が理想より少ない理由（就学前 問22）』

◎ 理想の子どもの数より実際の子どもの数が少ない理由として、「仕事と子育ての両立が難しいから」と回答している人は、ワーク・ライフ・バランスで「仕事を中心」「育児が中心」で改善したいと回答している割合が父母ともに高い。

<仕事と子育ての両立が難しいから>

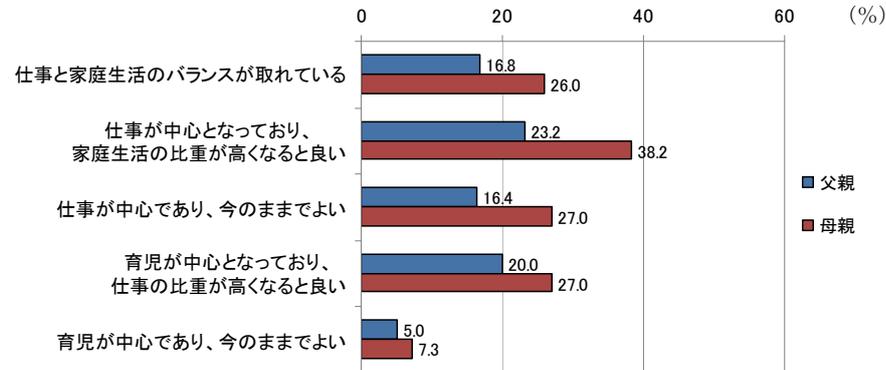


図 WLBと仕事と子育ての両立が難しく子どもの人数が理想より少ない割合

『仕事と生活のバランス（就学前 問19）と子どもの人数が理想より少ない理由（就学前 問22）』

◎ 理想の子どもの数より実際の子どもの数が少ない理由として、「今後出産予定（出産希望）」と回答した人について、父親の場合、ワーク・ライフ・バランスで「仕事と生活のバランスが取れている」「仕事を中心であり、今のままでよい」が高く、母親の場合、「育児が中心であり、今のままでよい」の割合が高い。また、出産予定で「仕事を中心であり、今のままでよい」と回答した人は、父親が35.0%と高いのに対し、母親は16.2%と最も低い。

<今後出産予定（出産希望）>

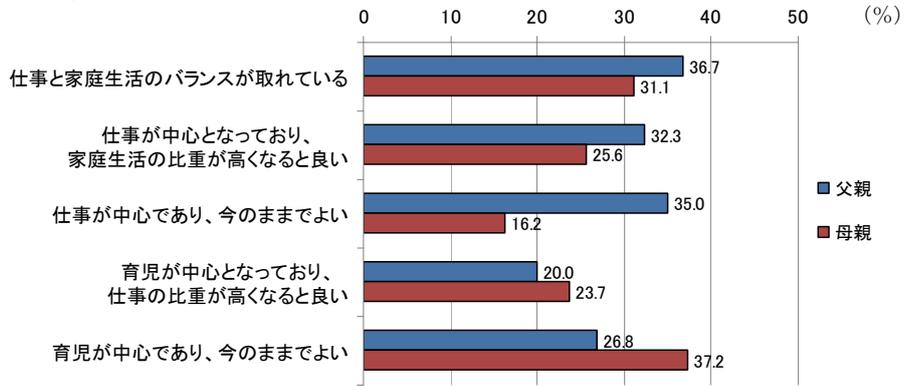


図 WLBと今後出産予定（出産希望）で子どもの人数が理想より少ない割合

家事・子育ての分担について 【問20】【問9】

■現在、家事・子育ての分担はどのように行っていますか。

- ◇ 家事・子育てについては、すべての項目で「母親」の割合が80%以上を占める。
- ◇ ほとんどの項目で、年齢が上がるにつれて「父親」の割合が低くなっていく傾向にあるが、高校生になるにつれて「塾や習いごとの送迎」は「父親」の割合が高くなる。
- ◇ 全体的に父親の割合が高い項目は、「行事などの参加」(17.5%)、「お子さんの身の回りの世話」(14.7%)、「日常の買い物」(11.8%)となっている。
- ◇ 母親の割合が高い項目は、「炊事」(87.5%)、「洗濯」(87.3%)、「部屋の掃除」(86.0%)となっている。
- ◇ 「祖父母等の援助割合」は、「病気になったときの看護」の5.6%が最も高い。

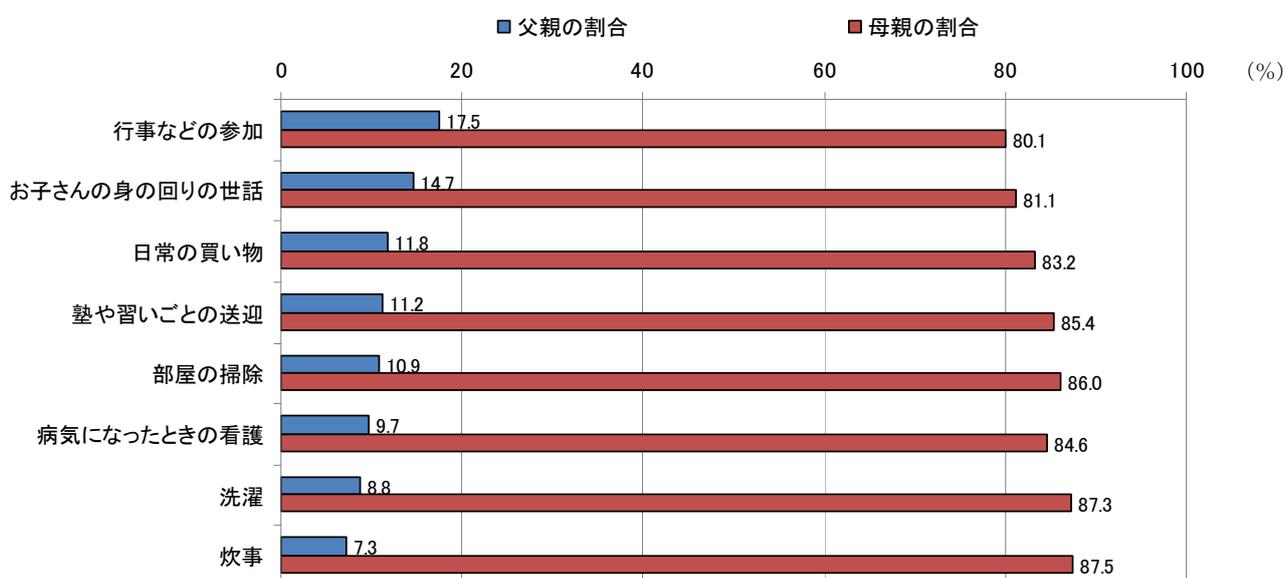


図 家事・子育ての分担：全体

ア. 日常の買い物



図 家事・子育ての分担：日常の買い物

イ. 部屋の掃除



図 家事・子育ての分担：部屋の掃除

ウ. 洗濯



図 家事・子育ての分担：洗濯

エ. 炊事



図 家事・子育ての分担：炊事

オ. 行事などの参加



図 家事・子育ての分担：行事などの参加

カ. 塾や習いごとの送迎



図 家事・子育ての分担：塾や習いごとの送迎

キ. お子さんの身の回りの世話



図 家事・子育ての分担：お子さんの身の回りの世話

ク. 病気になったときの看護



図 家事・子育ての分担：病気になったときの看護

お子さんの人数について（子どもの数、理想より少ない理由）

【問22】【問11】

■あなたには何人のお子さんがいますか。また、理想としては、子どもは何人いるのが望ましいとお考えですか。（各1つ）

- ◇ 実際の子どもの人数は、「2人」が52.6%、次いで「1人」が23.3%となっており、理想とする子どもの人数は、「3人」が44.1%、次いで「2人」が43.6%となっている。
- ◇ 理想とする子どもの人数の平均は2.59人に対して、実際の子どもの人数の平均は2.04人であり、理想より2割程度低い値となっている。

【お子さんの人数】

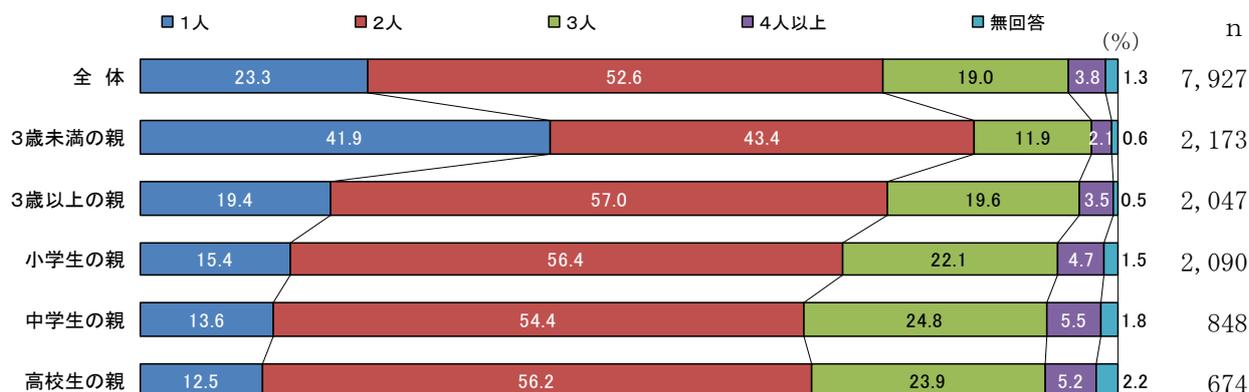


図 お子さんの人数

【5年前からの変化】

- ・全体では、実際の子どもの人数が1人の家庭が3%増え、3人の家庭が約4%減った。（1世帯あたりの子どもの人数が減っている）

【理想とする人数】

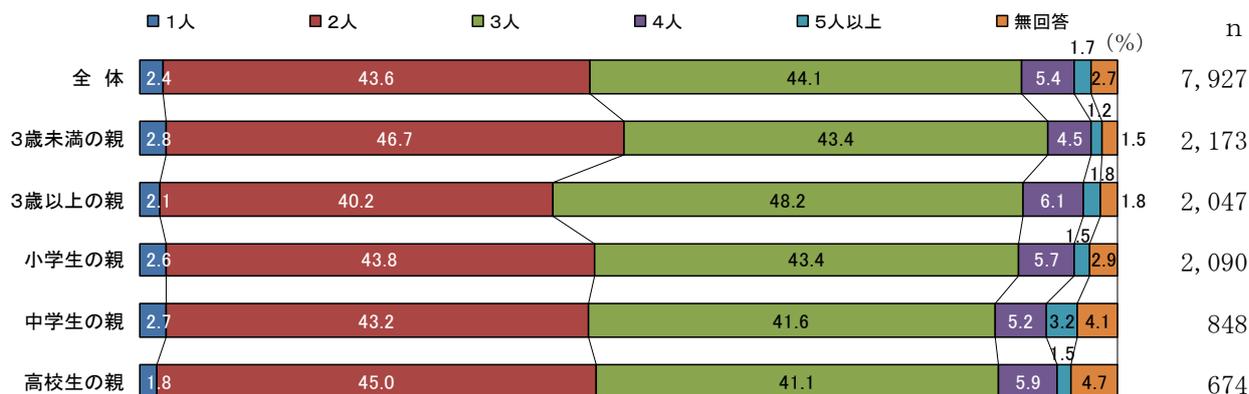


図 理想とするお子さんの人数

【5年前からの変化】

- ・理想とする子どもの人数の平均と実際の子どもの人数の平均の差は0.55人となっており、前回調査と較べて、0.03人、差が広がっている。

『子どもの人数（就学前 問22）と世帯の暮らし向き（就学前 問13）』

◎ 家庭の経済状況で「やや苦しい」「苦しい」と回答している人は、子どもが3人以上いる割合が他の家庭の経済状況と比べて高い。

（内閣府男女共同参画会議基本問題・影響調査専門調査会女性と経済ワーキンググループ資料によると、子どもが1人いる世帯（貧困率14%）と2人いる世帯（貧困率15%）においてはほとんど差がないものの、3人以上になると貧困率が20%となり、家計がいきなり苦しくなると言われている。）

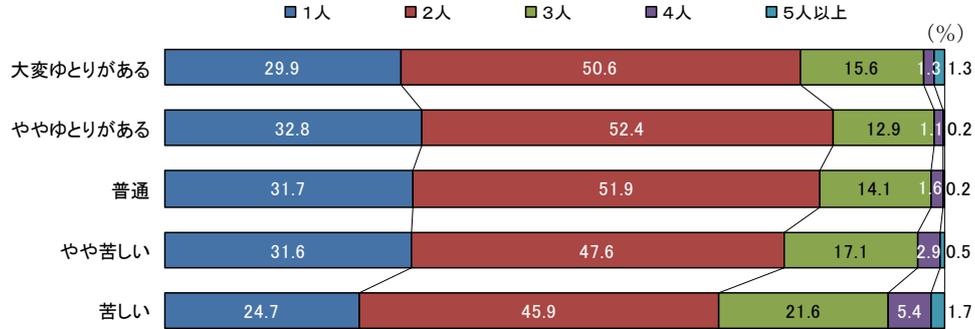


図 お子さんの人数と暮らし向きの意識

(1) お子さんの人数が理想とする人数より少ない理由は何ですか。(3つまで)

- ◇ 全体では、「経済的に余裕がないから」が 47.7%と最も多く、次いで「子育ての身体的・精神的な負担が大きいから」が 27.0%、「自分または配偶者の年齢上の理由から」が 21.3%、「今後、出産の予定がある（出産を希望する）」が 20.6%、「仕事と子育ての両立が難しいから」が 19.4%、「住宅が狭いから」が 14.7%となっている。
- ◇ 「経済的に余裕がないから」は、小学生の親が 52.5%、3歳以上の親が 51.1%と割合が高くなっている。
- ◇ 「今後、出産の予定がある（出産を希望する）」を回答した人は、40.9%と特に3歳未満の親が多い。

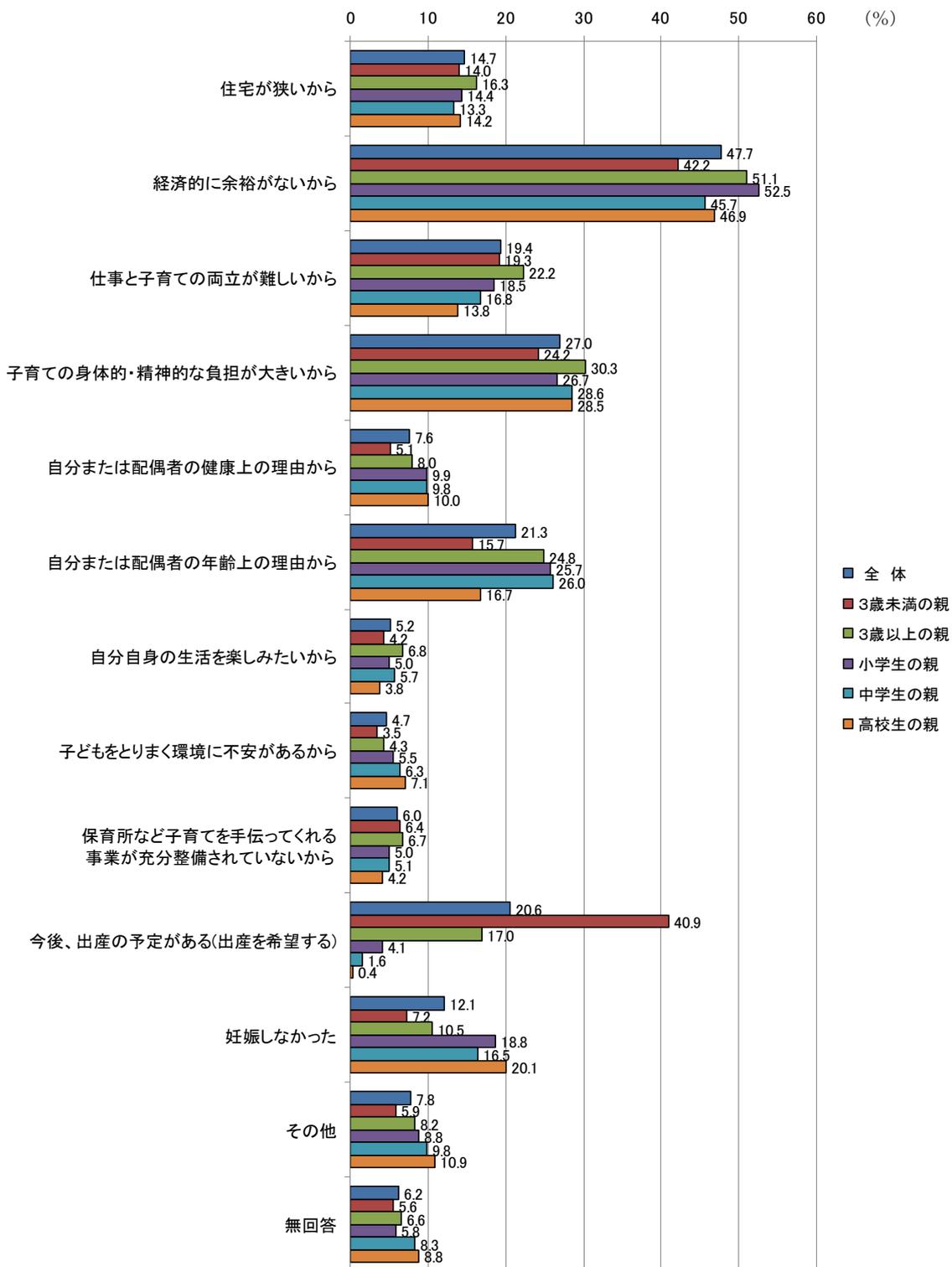


図 子どもの人数が理想より少ない理由

回答数 全体=8,038 3歳未満の親=2,833 3歳以上の親=2,295

小学生の親=1,765 中学生の親=610 高校生の親=443

【5年前からの変化】

- ・全体では、今後出産の予定（希望）がある人が約5%、年齢上の理由からが約4%増えた。
- ・全体では、子育て事業が十分に整備されていないから、子どもをとりまく環境に不安があるからが、約4%減った。

『子どもの人数が理想より少ない理由（就学前 問22）と世帯の暮らし向き（就学前 問13）』

◎ 理想の子どもの人数より実際の子どもの人数が少ない理由として、家庭の経済状況で「やや苦しい」「苦しい」と回答している人は、約70%が「経済的に余裕がない」と回答している。また、家庭の経済状況で「ゆとりがある」「普通」と回答している人は、30%以上が「今後出産の予定がある」と回答しているが、「苦しい」と回答した人は約半数の18.2%となっている。

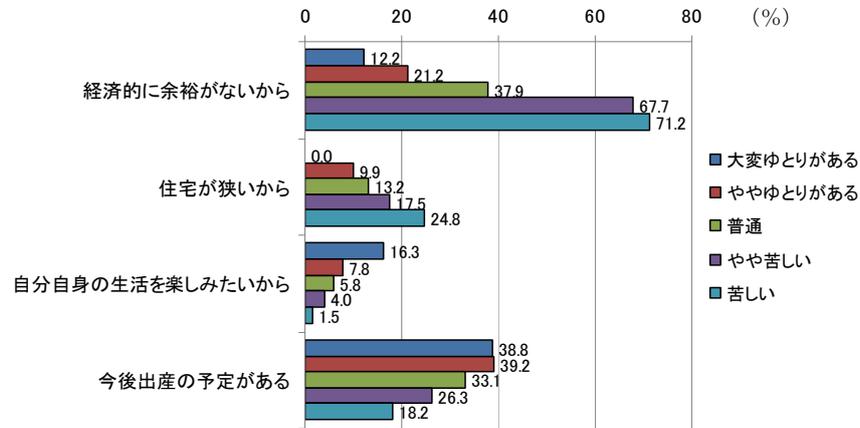


図 子どもの人数が理想より少ない理由と暮らし向きの意識

第3章 お子さんの年齢別に行った質問（就学前、就学後）

～就学前の保護者への質問～

平日の教育・保育事業について（就学前） 【問5】

■あて名のお子さんは、現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。（1つ）

- ◇ 全体では「利用している」が66.7%を占める。
- ◇ 3歳未満の親では「利用している」が37.0%に対して、3歳以上の親では97.9%を占めており、利用率が高い。

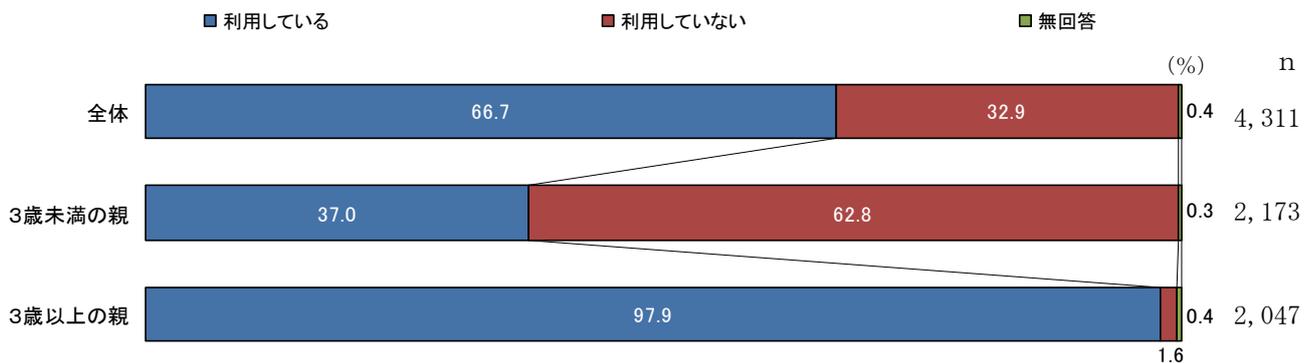


図 定期的な教育・保育事業の利用

【5年前からの変化】

- ・全体では、定期的な教育、保育事業を利用している人が約12%増え、利用していない人が5%減った。

■平日の定期的な教育・保育の事業についてうかがいます。

【参考】

定期的な教育・保育の事業	内 容
幼稚園	学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設。
幼稚園の預かり保育	通常の就園時間を延長して預かる事業。
保育所	保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う事業。
保育所の延長保育	通常の保育終了時間（概ね午後6時）を延長して預かる保育。
認定こども園	幼稚園と保育所の機能をあわせ持つ施設。
家庭保育室	一定の基準に適合した人の住まいなどで家庭的な雰囲気の中で少人数の保育を行うもの。個人の家庭等で行う「個人実施型」と民間保育所などが近隣の賃貸アパート等で行う「保育所実施型」、法人等が雇用する複数の家庭的保育者が賃貸アパート等で行う「グループ実施型」がある。
事業所内保育施設	企業などの事業所が従業員のために事業所内に保育施設を設置したもの。
その他の保育施設	名古屋市の認可を受けていない保育施設で、事業所内保育施設以外のもの。（認可外保育施設、ベビーホテル等）
ベビーシッター	自宅において有料でお子さんを預かるサービス。
のびのび子育てサポート事業	子育ての援助を行いたい方と受けたい方からなる会員組織により一時的に子育ての手助けをしあう制度。

(1) あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。(複数回答)

- ◇ 全体では「私立幼稚園」が37.6%、次いで「私立(民間)保育所」が31.1%となっている。
- ◇ 3歳未満の親では「私立(民間)保育所」が49.8%、「公立保育所」が25.2%となっている。
- ◇ 3歳以上の親では「私立幼稚園」が50.0%、「私立(民間)保育所」が23.7%、「公立保育所」が16.2%となっている。

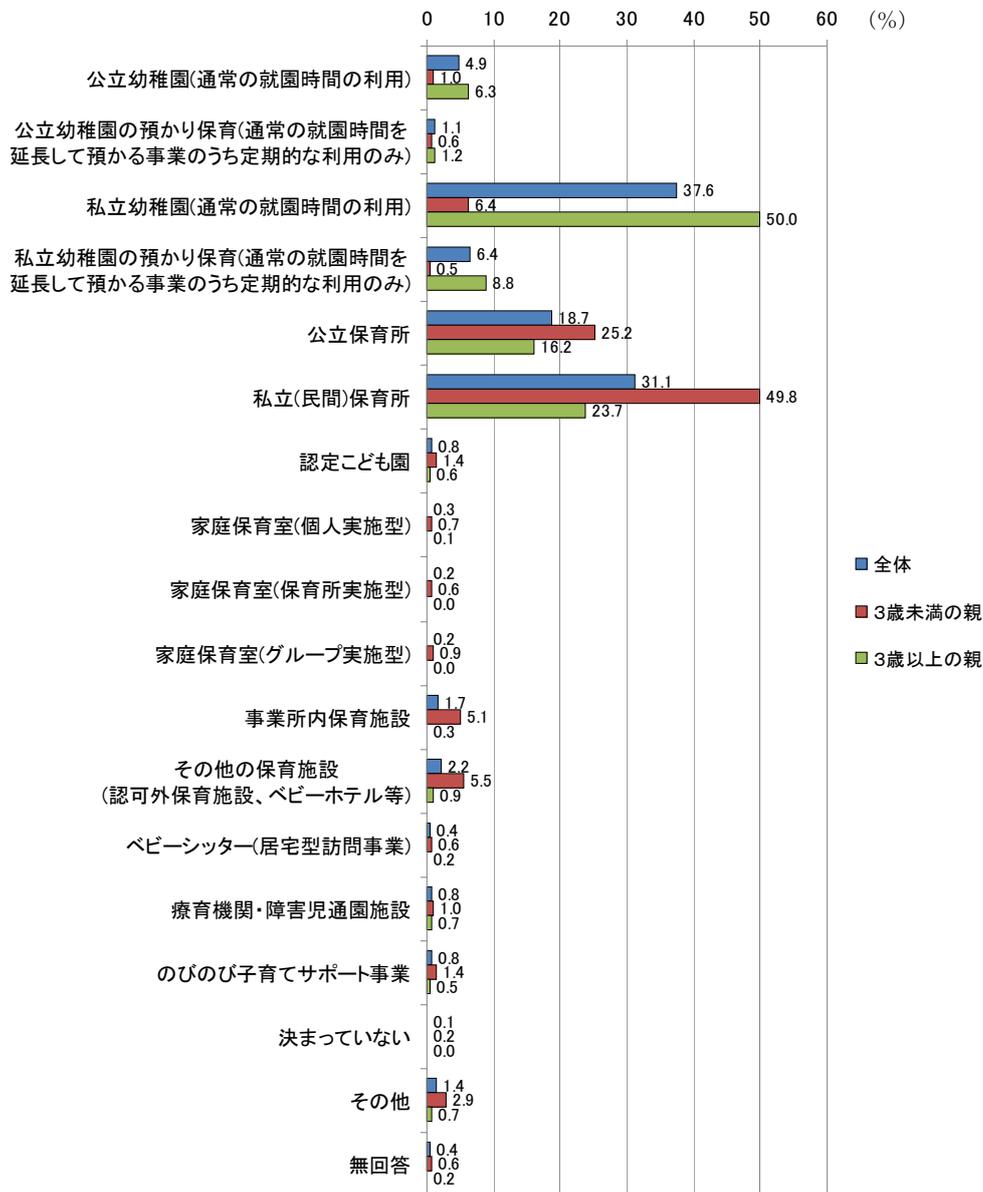


図 利用している教育・保育事業

回答数 全体=3,134 3歳未満の親=838 3歳以上の親=2,217

【5年前からの変化】

- ・全体では、公立保育所、私立(民間)保育所が約5%利用が増え、私立幼稚園(通常の就園時間の利用)が約9%減った。

『平日の教育・保育事業の利用（就学前 問5）と母親の就労形態（就学前 問3（3））』

◎ 就労している母親の約70%は保育所を利用している。

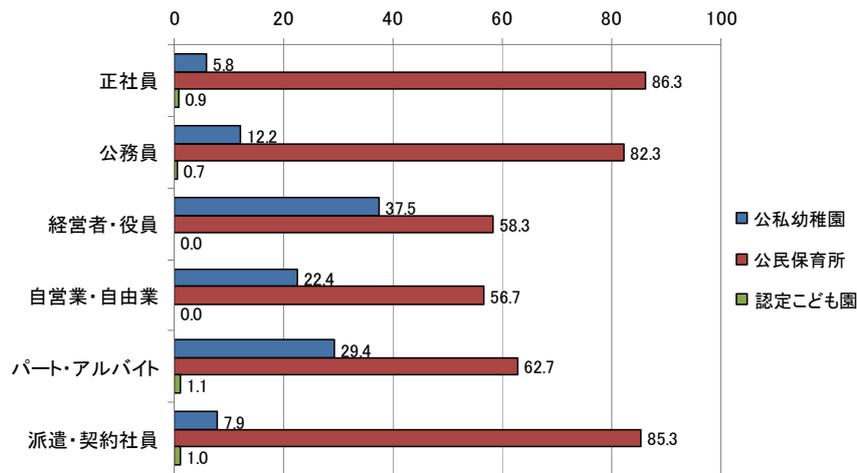


図 平日の教育・保育事業と母親の就労形態

『平日の教育・保育事業の利用と療育機関・障害児通園施設の利用者（就学前 問5）』

◎ 療育機関や障害児通園施設の利用者が併せて利用している教育・保育事業は、私立幼稚園や公立保育所となっている。

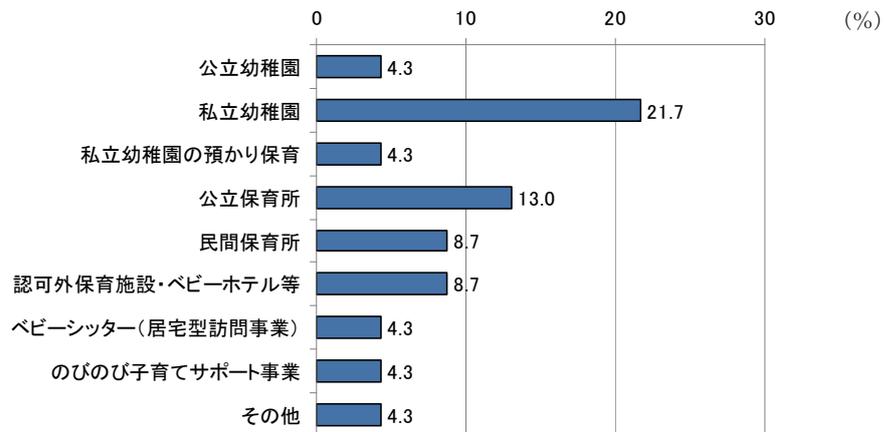


図 療育機関・障害児通園施設利用者の平日の教育・保育事業

(2) 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また希望としてはどのくらい利用したいですか。

(2) - 1. 現在の1週間あたりの利用日数

- ◇ 全体では「週に5日」が85.8%を占める。
- ◇ 3歳未満の親では「週に5日」が74.7%に対して、3歳以上の親では90.4%を占めており、「週に5日」の割合が高い。

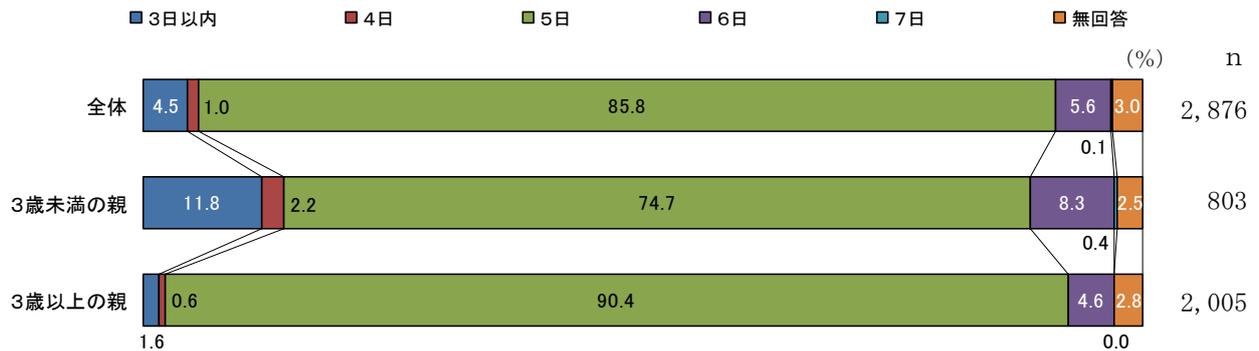


図 1週間あたりの利用日数

【5年前からの変化】

・全体では、週に5日利用する人の割合が約4%減った。

(2) - 2. 現在の1日の利用時間

【開始時間】

- ◇ 全体では「9時から」が44.5%、次いで「8時から」が37.0%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「8時から」(差14.4%)が多く、対して3歳以上の親は「9時から」(差18.5%)が多くなっており、3歳未満の親のほうがより早い利用開始時間となっている。

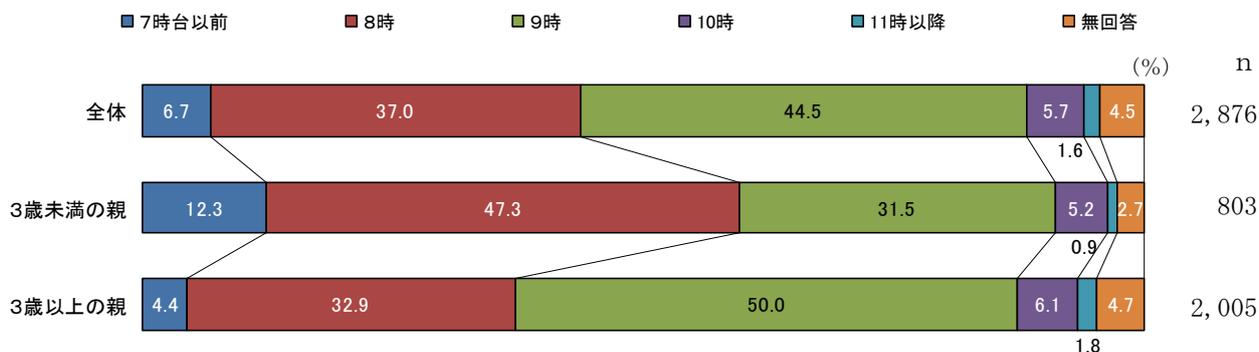


図 1日の利用開始時間

【5年前からの変化】

- ・全体では、利用開始時間が8時からの割合が約3%増え、9時からの割合が8%減った。

【終了時間】

- ◇ 全体では「14時まで」が24.1%、次いで「15時まで」が21.0%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「16時まで」(差5.1%)、「17時まで」(差11.3%)、「18時まで」(差14.5%)が多く、対して3歳以上の親は「14時まで」(差26.2%)、「15時まで」(差9.7%)が多くなっており、3歳未満の親のほうがより早い利用終了時間となっている。

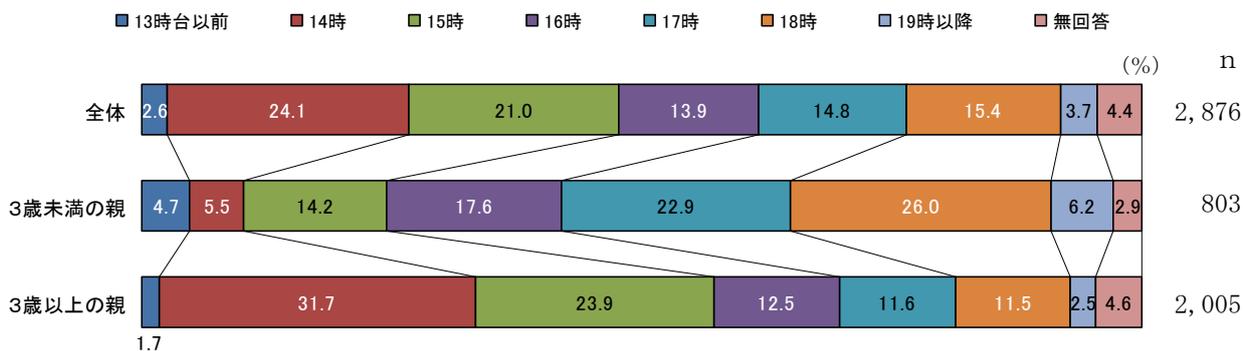


図 1日の利用終了時間

【5年前からの変化】

- ・全体では、利用終了時間が18時までの割合が約6%増え、14時までの割合が約8%、15時までが約5%減った。

(2) - 3. 希望する1週間あたりの利用日数

- ◇ 全体では「週に5日」が52.9%、次いで「週に6日」が10.4%となっている。
- ◇ 3歳以上の親は「週に5日」(差12.1%)が多くなっており、3歳以上の親のほうがより多い利用日数を希望している。

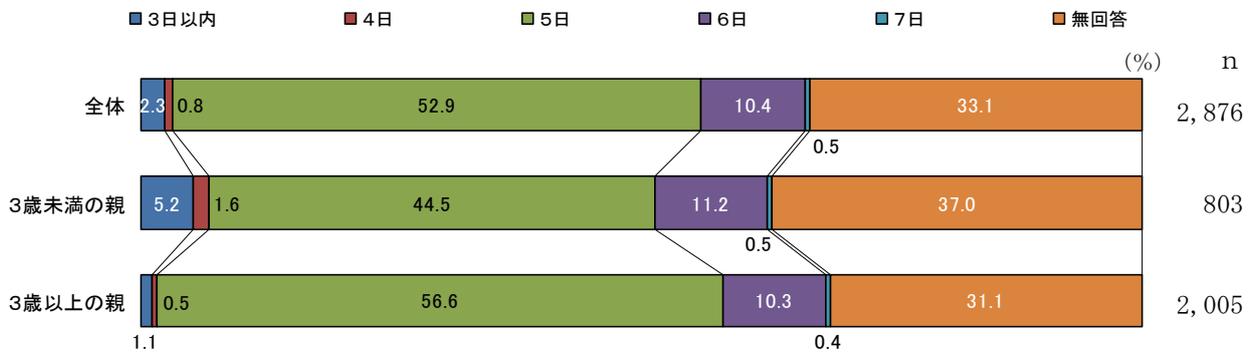


図 希望する1週間あたりの利用日数

(2) - 4. 希望する1日の利用時間

【開始時間】

- ◇ 全体では「8時から」が28.8%、次いで「9時から」が26.7%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「7時台以前」(差7.3%)が多く、対して3歳以上の親は「9時から」(差14.6%)が多くなっており、3歳未満の親のほうがより早い利用開始時間を希望している。

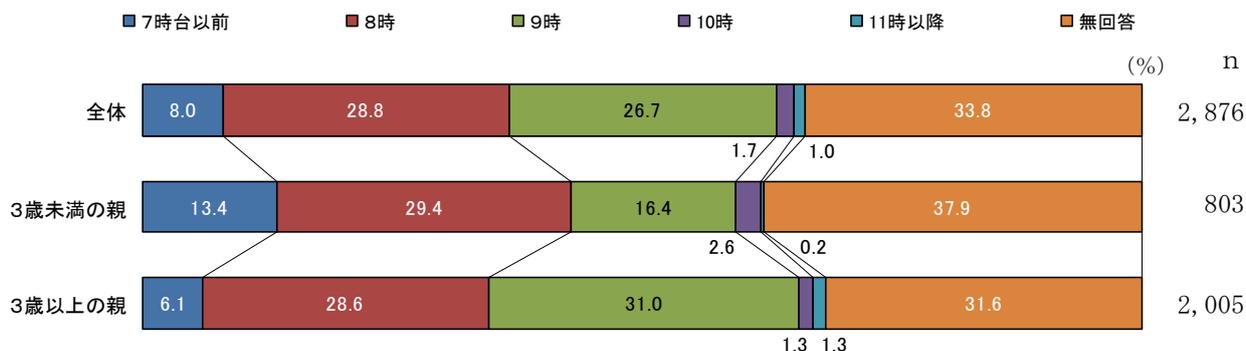


図 希望する1日の利用開始時間

【終了時間】

- ◇ 全体では「17時まで」が15.2%、「16時まで」が14.4%、「18時まで」が13.0%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「18時まで」(差6.9%)、「19時以降」(差8.5%)が多く、対して3歳以上の親は「15時まで」(差9.0%)、「16時まで」(差9.5%)が多くなっており、3歳未満の親のほうがより遅い利用終了時間を希望している。

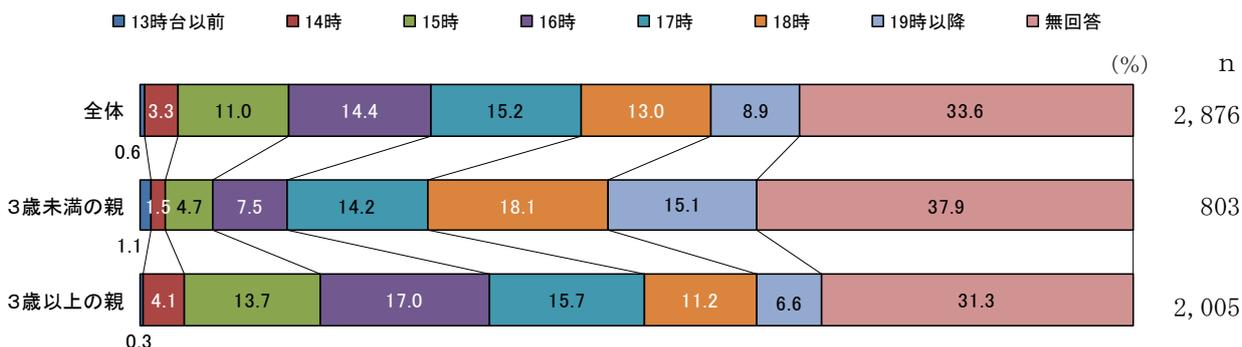


図 希望する1日の利用終了時間

(3) 現在、利用している教育・保育の事業の実施場所はどちらにありますか。(複数回答)

◇ 全体では「お住まいの区」での利用が 72.3%と多く、次いで「お住まいの区以外の区」が 15.2%となっている。

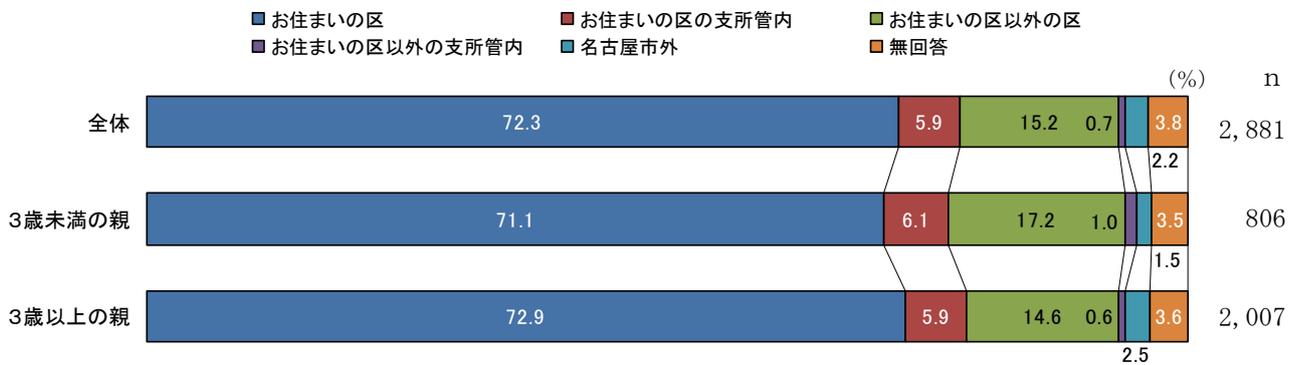


図 教育・保育事業の実施場所

(4) 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由は何ですか。(複数回答)

- ◇ 全体では「子育て(教育を含む)をしているかたが現在就労しているから」が54.9%、次いで「上記5つの事情はないが、お子さんの教育や発達のため」が38.6%となっている。
- ◇ 3歳未満の親では「子育て(教育を含む)をしているかたが現在就労しているから」が81.7%、「上記5つの事情はないが、お子さんの教育や発達のため」が10.3%、「子育て(教育を含む)をしているかたが就労予定があるから/求職中であるから」が4.5%となっている。
- ◇ 3歳以上の親では「上記5つの事情はないが、お子さんの教育や発達のため」が49.7%、「子育て(教育を含む)をしているかたが現在就労しているから」が44.5%、「まわりの子がみんな行っているから」が14.3%となっている。

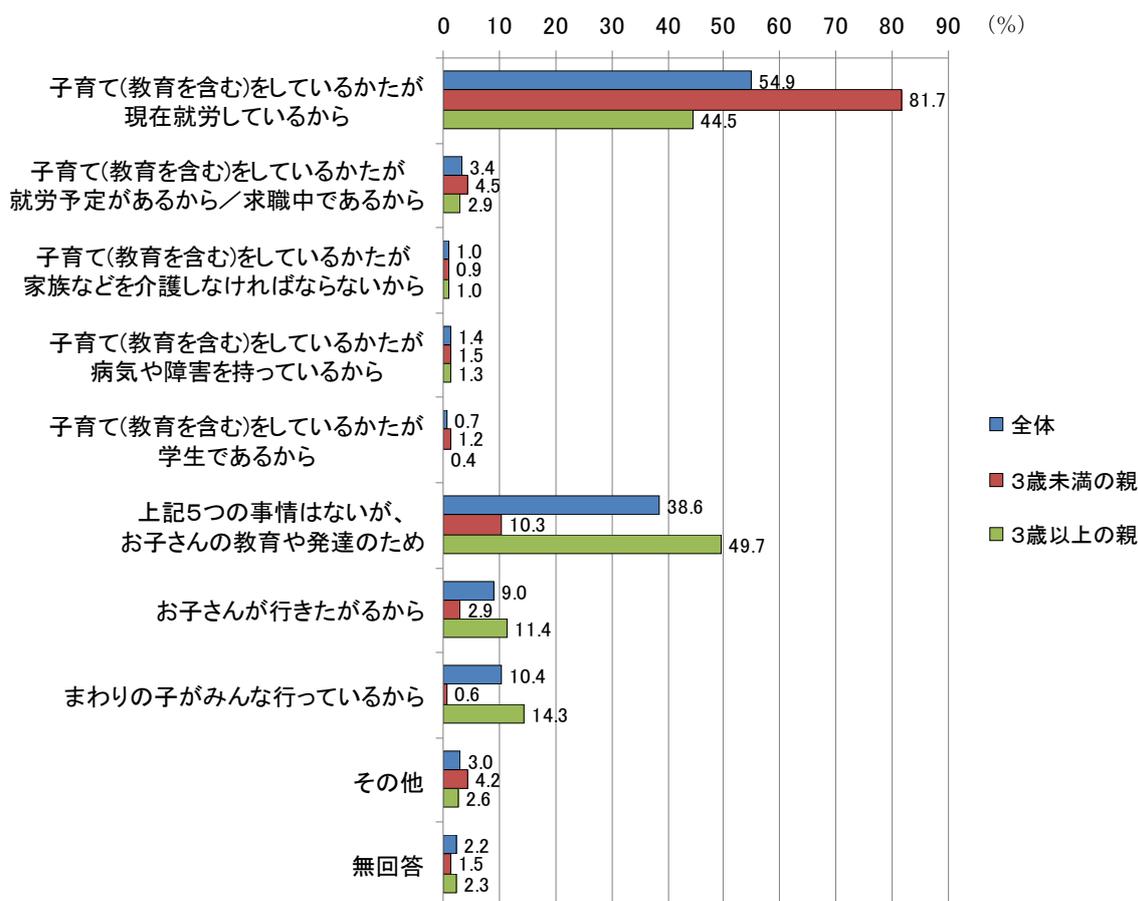


図 教育・保育事業を利用している理由

回答数 全体=3,857 3歳未満の親=878 3歳以上の親=2,615

【5年前からの変化】

- ・全体では、利用する理由として、現在就労しているからが約15%、まわりの子が行っているからが約7%、子どもが行きたがるからが約6%増えた。
- ・全体では、特に事情はないが、子どもの教育のための約7%減った。

(5) 現在、最も多く利用している教育・保育の事業を選んだ理由は何ですか。(3つまで)

- ◇ 全体では「家から近いから」が60.0%、「教育内容・保育内容が優れているから」が31.8%、「職員の印象がよいから」が30.2%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「保育時間が長いから」(差8.9%)が多く、対して3歳以上の親は「教育内容・保育内容が優れているから」(差14.9%)、「教育内容・保育内容に特色があるから」(差9.4%)が多い。

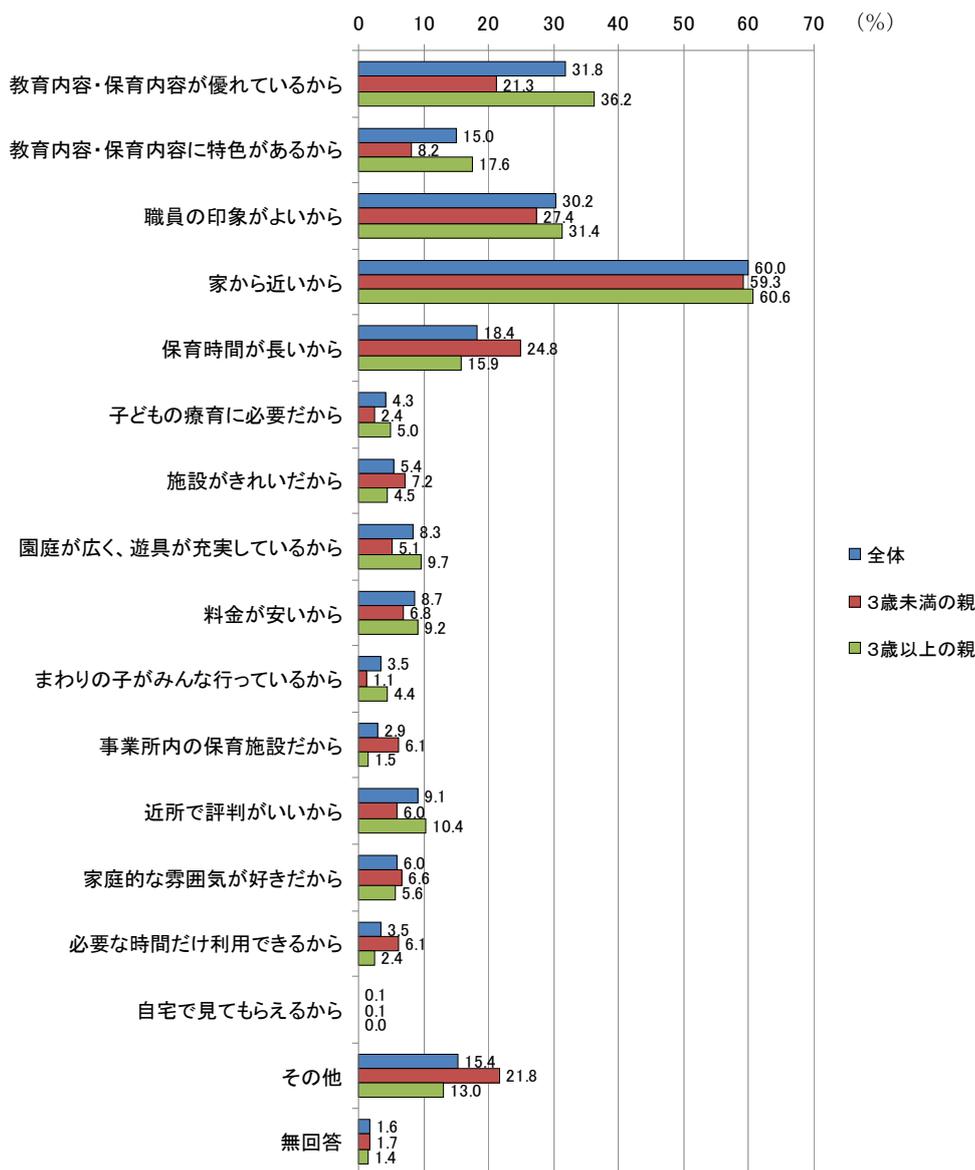


図 教育・保育事業を選んだ理由

回答数 全体=6,443 3歳未満の親=1,703 3歳以上の親=4,594

【5年前からの変化】

- ・全体では、事業を選んだ理由として、職員の印象がよいからが約5%、教育、保育内容が優れているからが約4%、家から近いからが約3%増えた。
- ・全体では、まわりの子が行っているから、遊具が充実しているからが約5%、近所で評判がいいからが約4%減った。

『教育・保育事業の選んだ理由（就学前 問5）と世帯の暮らし向き（就学前 問13）』

◎ 教育・保育事業を選んだ理由は家庭の経済状況に関わらず、「家から近いから」が最も多い。また、家庭の経済状況について「大変ゆとりがある」と回答した人は、「教育内容・保育内容が優れているから」「教育内容・保育内容に特色があるから」の割合が他と比べて高く、子どもの教育・保育の内容に強い関心を持っていることが分かる。家庭の経済状況が「やや苦しい」「苦しい」と回答している人は、「教育内容・保育内容が優れているから」と回答する割合が低い。

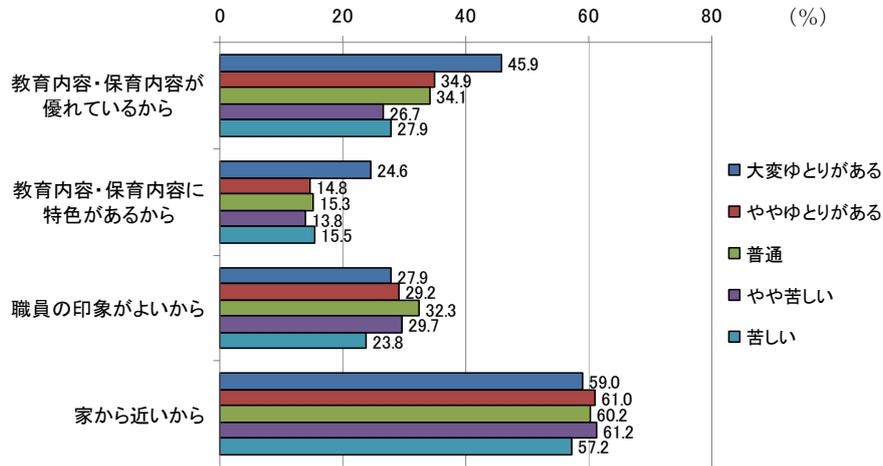


図 教育・保育事業を選んだ理由と暮らし向きの意識

(6) 教育・保育事業を利用していないおもな理由は何ですか。(複数回答)

- ◇ 全体では「子どもがまだ小さいため、()歳になったら教育・保育事業を利用しようと考えている」が52.9%、次いで「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で)利用する必要がない」が41.4%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「利用する必要がない」(差8.2%)、「子どもがまだ小さいため、()歳になったら教育・保育事業を利用しようと考えている」(差29.4%)が多く、対して3歳以上の親は「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」(差6.3%)、「利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない」(差9.4%)が多い。

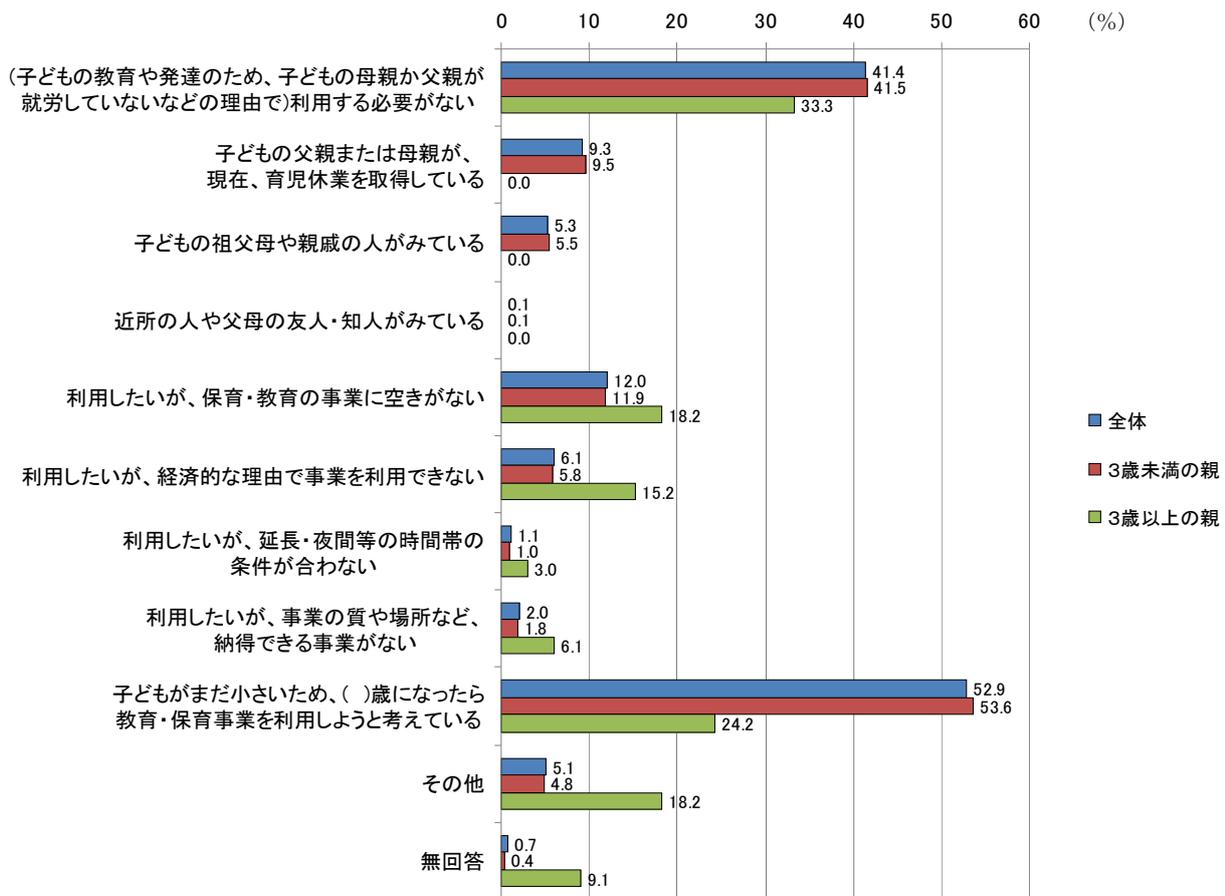


図 教育・保育事業を利用していない理由
 回答数 全体=1,928 3歳未満の親=1,856 3歳以上の親=42

【5年前からの変化】

- ・全体では、事業を利用していない理由として、子どもがまだ小さいためが約24%、保育、教育事業に空きがないが約8%、現在、育児休業を取得している、経済的な理由で利用できないが約4%増えた。

【利用しようとする子どもの年齢】

◇ 3歳未満の親では「3歳から」が74.0%、次いで「4歳から」が14.0%となっている。

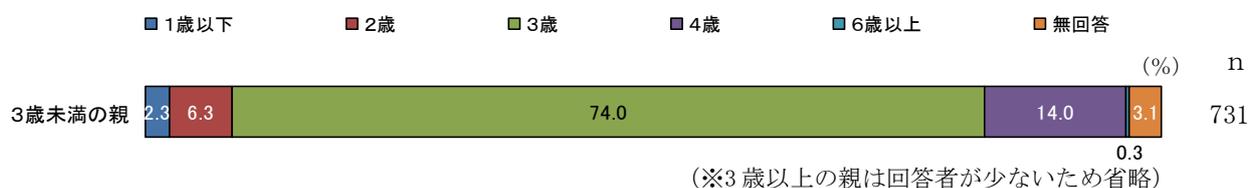


図 教育・保育事業を利用開始したい年齢

【5年前からの変化】

・利用を開始したい子どもの年齢が3歳と答える割合が約23%増えた。

『教育・保育事業を利用していない理由（就学前 問5）と世帯の暮らし向き（就学前 問13）』

◎ 教育・保育事業を利用していない理由として「利用する必要がない」と回答した割合は、家庭の経済状況にゆとりがあるほど高く、「苦しい」と回答している人は約30%を下回る。また、「経済的な事情で利用できない」と回答した割合は、家庭の経済状況が「苦しい」と回答した人は10%以上と他の経済状況を回答した人より多い。

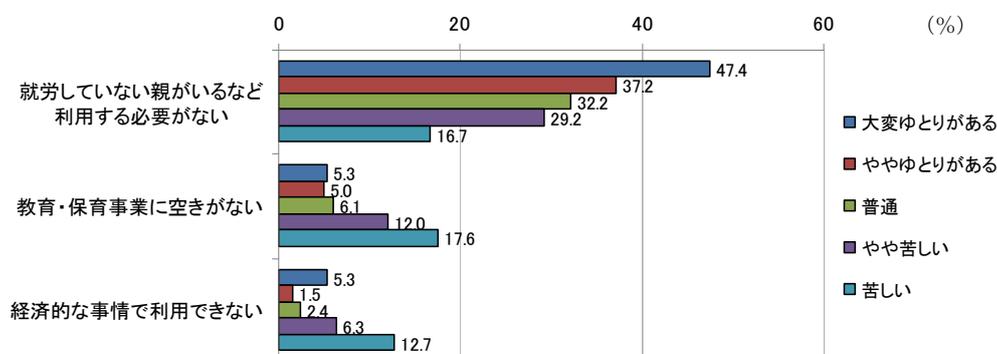


図 教育・保育事業を利用していない理由と暮らし向きの意識

■あて名のお子さんに関して、今後利用したい、またはもっと多く利用したいと思う教育・保育の事業は何ですか。（2つまで）

《今後利用したい教育・保育事業と「現在利用しており、そのまま良い」と回答した人の合計》

- ◆ 全体では「私立幼稚園」が28.1%、「公立保育所」が21.4%、「私立保育所」が21.2%、「私立幼稚園預かり保育」が16.1%であり、「公立幼稚園」が11.1%となっている。
- ◆ 3歳未満では、「私立幼稚園」が28.7%、「公立保育所」が25.9%、「私立保育所」が24.1%、「公立幼稚園」が16.1%となっている。
- ◆ 3歳以上では、「私立幼稚園」が27.8%、「私立保育所」が18.3%、「私立幼稚園預かり保育」が17.6%、「公立保育所」が16.7%等となっている。

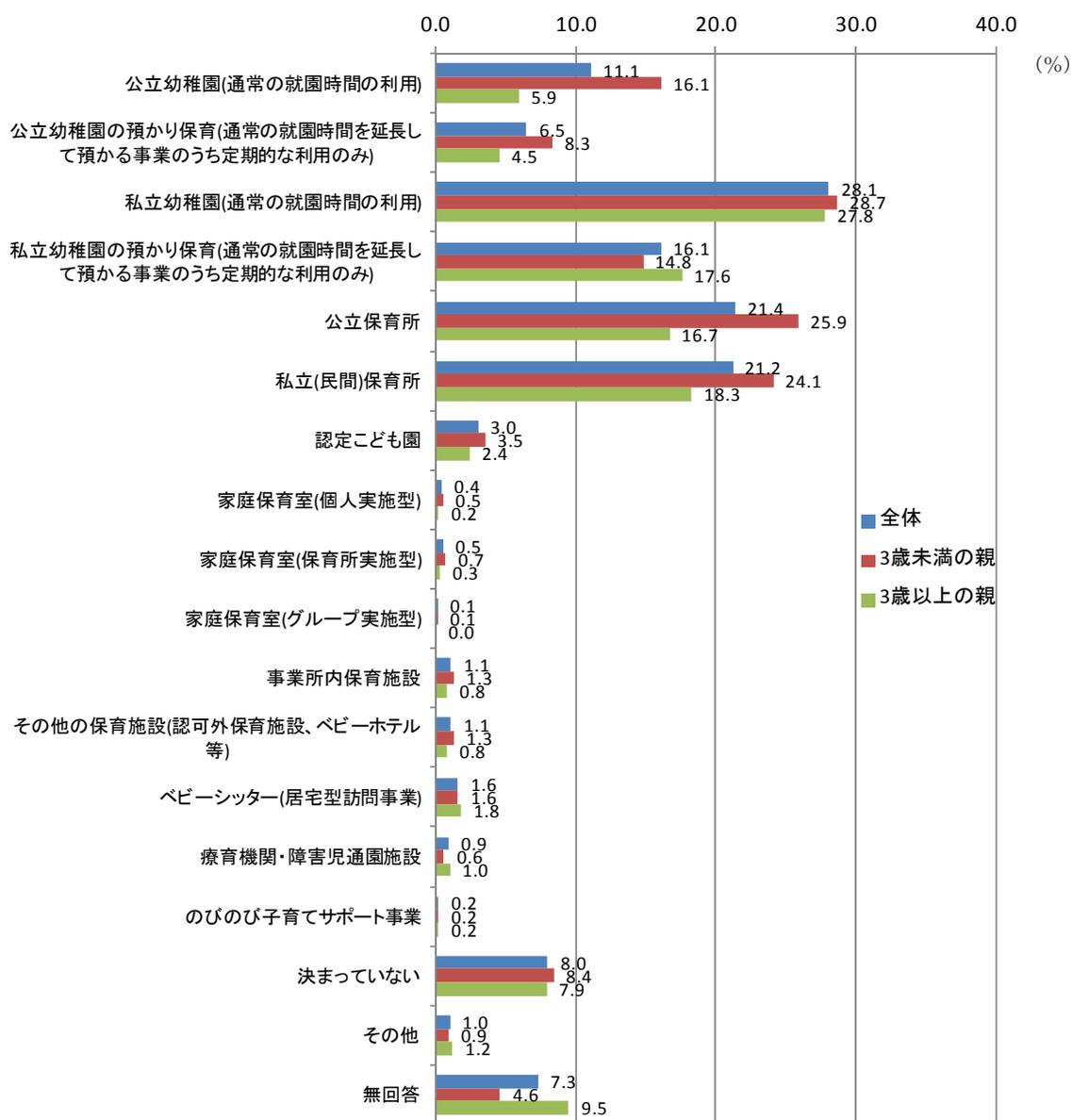


図 現在の利用+問6 今後の利用希望と回答した人が利用している事業 ※

回答数 全体=5,589 3歳未満の親=3,079 3歳以上の親=2,397

※問6で回答した人の事業と「現在利用しており、そのままよい」という人の事業を合計した。

(注) 全体には属性の「無回答」を含む

(1) 教育・保育の事業の利用をどのくらい希望しますか。

1. 公立幼稚園（通常の就園時間の利用）

【1週間あたりの利用日数】

- ◇ 全体では「週に5日」が86.3%を占める。
- ◇ 3歳未満の親は「週に5日」(差10.8%)が多く、対して3歳以上の親は「週に6日」(差5.7%)が多くなっており、3歳以上の親のほうがより多い利用日数を希望している。



図 公立幼稚園：希望する1週間あたりの利用日数

【1日あたりの利用時間】

- ◇ 全体では「6時間以上8時間未満」が45.3%、次いで「4時間以上6時間未満」が25.9%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「4時間以上6時間未満」(差17.4%)が多く、対して3歳以上の親は「8時間以上10時間未満」(差13.6%)が多くなっており、3歳以上の親のほうがより長い時間での利用を希望している。

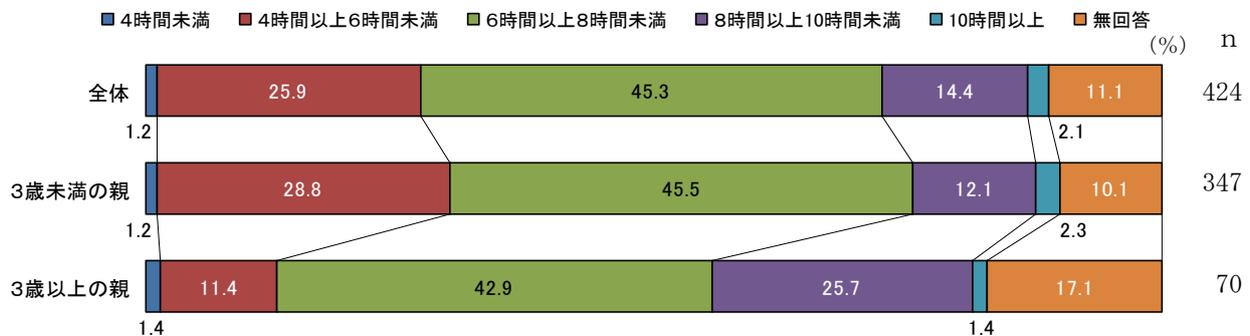


図 公立幼稚園：希望する1日あたりの利用時間

<開始時間>

◇ 全体では「9時から」が66.5%、次いで「8時から」が15.3%となっている。



図 公立幼稚園：希望する1日の利用開始時間

<終了時間>

◇ 全体では「15時まで」が35.1%、次いで「14時まで」が24.1%となっている。

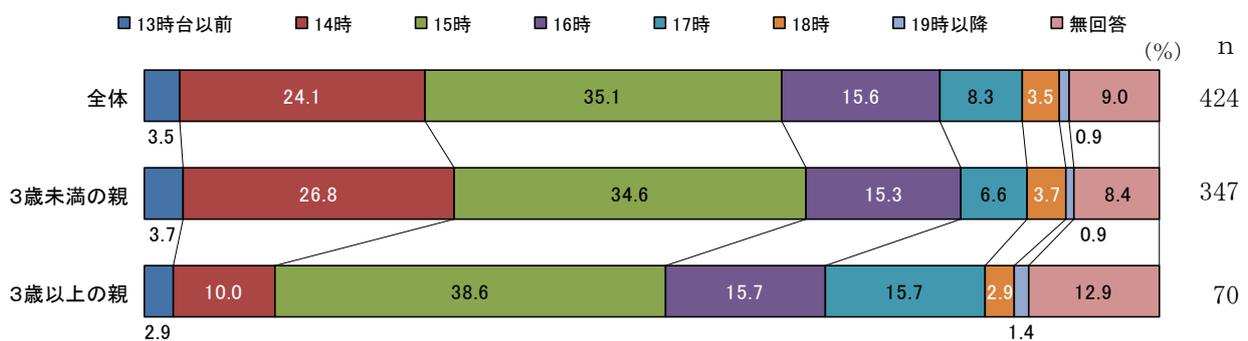


図 公立幼稚園：希望する1日の利用終了時間

2. 公立幼稚園の預かり保育

【1週間あたりの利用日数】

◇ 全体では「週に5日」が53.1%を占める。

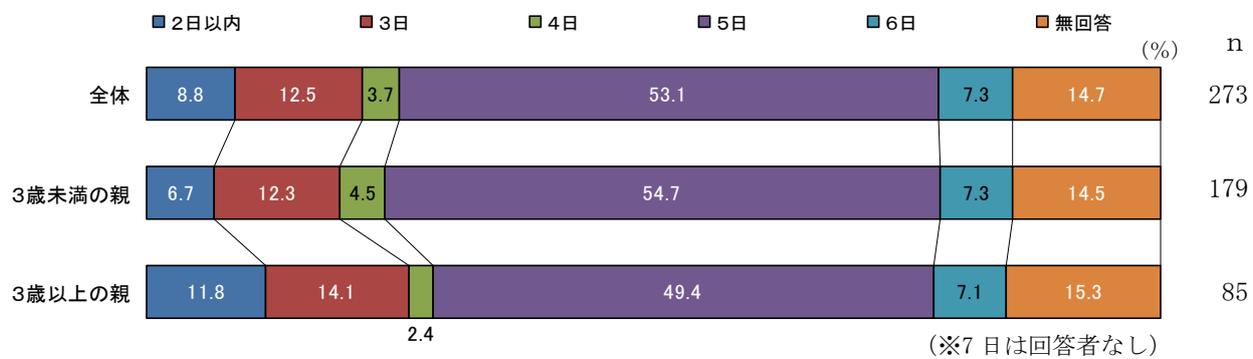


図 公立幼稚園の預かり保育：希望する1週間あたりの利用日数

3. 私立幼稚園（通常の就園時間の利用）

【1週間あたりの利用日数】

◇ 全体では「週に5日」が85.9%を占める。



図 私立幼稚園：希望する1週間あたりの利用日数

【1日あたりの利用時間】

◇ 全体では、「6時間以上8時間未満」が46.2%、次いで「4時間以上6時間未満」が31.3%となっている。

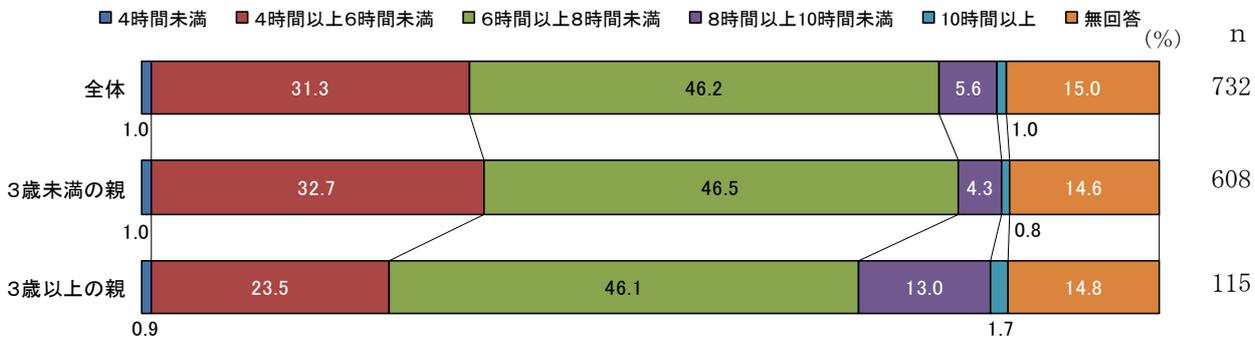


図 私立幼稚園：希望する1日あたりの利用時間

<開始時間>

◇ 全体では「9時から」が63.1%、次いで「8時から」が16.3%となっている。



図 私立幼稚園：希望する1日の利用開始時間

<終了時間>

◇ 全体では「15時まで」が41.0%、次いで「14時まで」が32.2%となっている。



図 私立幼稚園：希望する1日の利用終了時間

4. 私立幼稚園の預かり保育

【1週間あたりの利用日数】

◇ 全体では「週に5日」が49.3%、次いで「週に3日」が15.0%となっている。



図 私立幼稚園の預かり保育：希望する1週間あたりの利用日数

5. 認定こども園

【1週間あたりの利用日数】

- ◇ 全体では「週に5日」が63.9%、次いで「週に6日」が13.1%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「週に4日以内」(差5.6%)、「週に5日」(差14.3%)が多く、対して3歳以上の親は「週に6日」(差14.0%)が多くなっており、3歳以上の親のほうがより多い利用日数を希望している。



図 認定こども園：希望する1週間あたりの利用日数

【1日あたりの利用時間】

- ◇ 全体では「8時間以上10時間未満」が33.6%、次いで「6時間以上8時間未満」が19.7%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「4時間以上6時間未満」(差8.8%)、「8時間以上10時間未満」(差4.5%)が多く、対して3歳以上の親は「4時間未満」(差4.4%)、「12時間以上」(差4.8%)が多い。

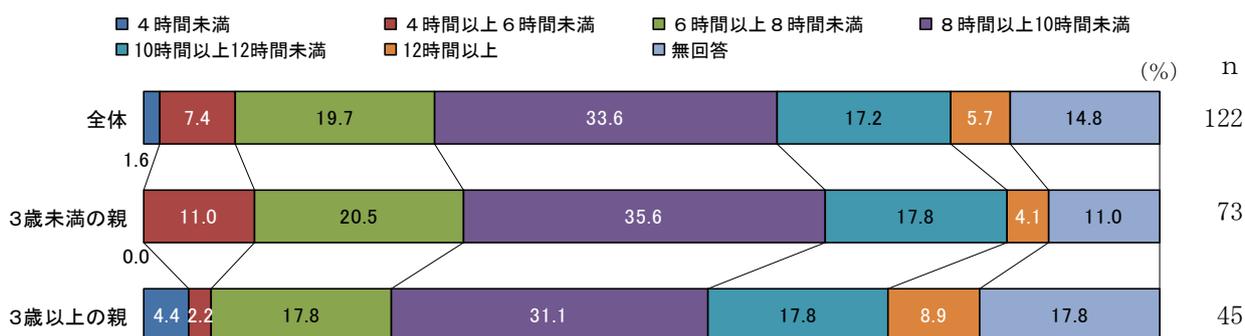


図 認定こども園：希望する1日あたりの利用時間

<開始時間>

- ◇ 全体では「8時から」が38.5%、次いで「9時から」が34.4%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「8時から」(差10.5%)、「9時から」(差4.5%)が多く、対して3歳以上の親は「7時台以前」(差3.7%)、「11時以降」(差6.7%)が多い。

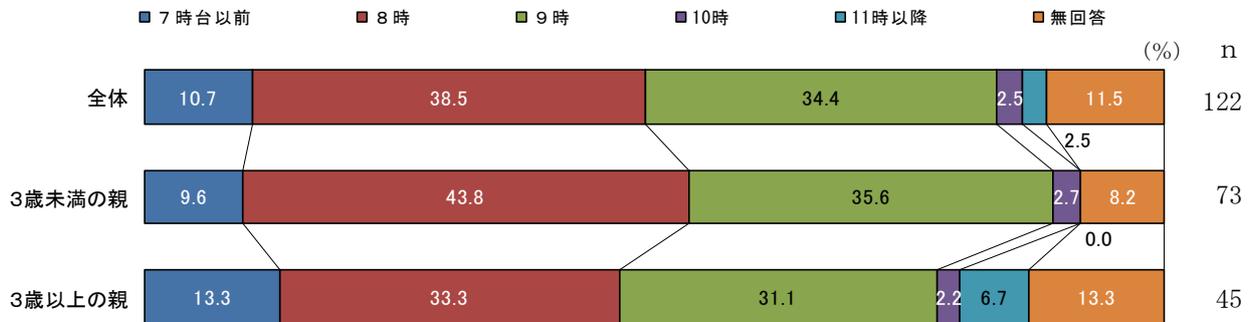


図 認定こども園：希望する1日の利用開始時間

<終了時間>

- ◇ 全体では「17時まで」が27.0%、次いで「18時まで」が18.0%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「16時まで」(差11.1%)が多く、対して3歳以上の親は「17時まで」(差10.0%)、「19時以降」(差6.0%)が多くなっており、3歳以上の親のほうがより遅い時間帯までの利用希望がある。

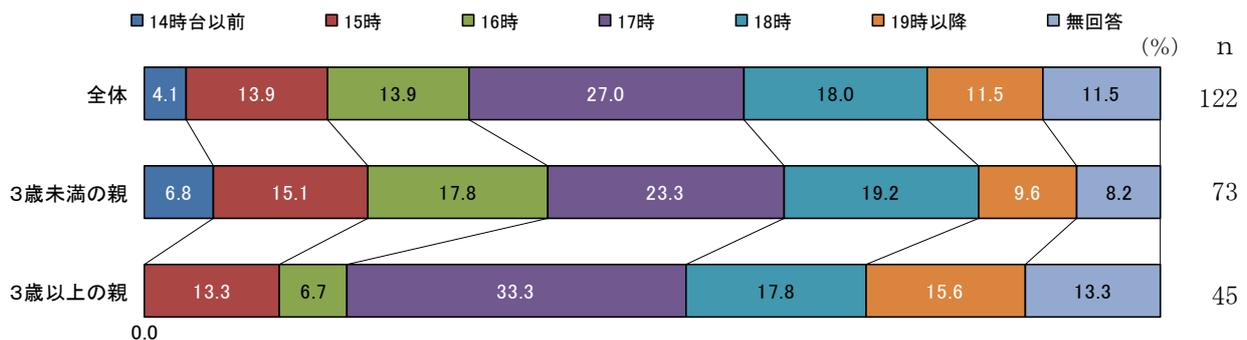


図 認定こども園：希望する1日の利用終了時間

6. 公立保育所

【1週間あたりの利用日数】

- ◇ 全体では「週に5日」が71.8%、次いで「週に6日」が14.2%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「週に4日以内」(差5.8%)、「週に5日」(差15.0%)が多く、対して3歳以上の親は「週に6日」(差14.6%)が多くなっており、3歳以上の親のほうがより多い利用日数を希望している。

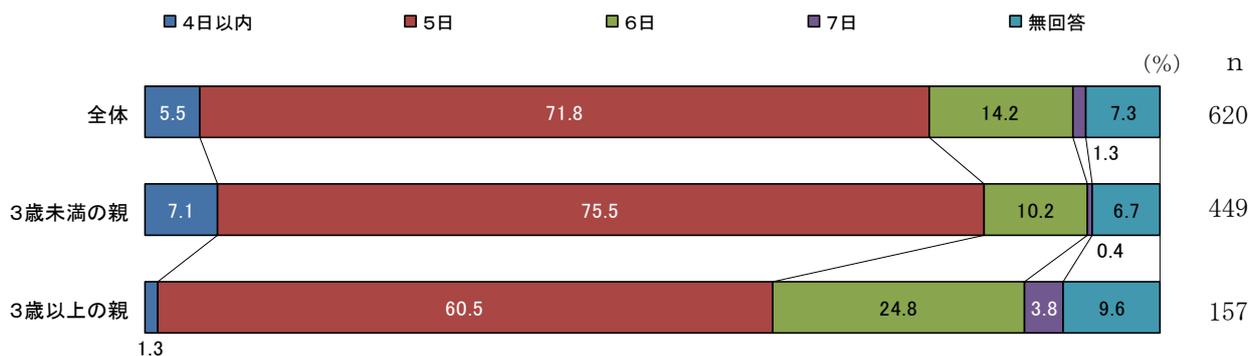


図 公立保育所：希望する1週間あたりの利用日数

【1日あたりの利用時間】

- ◇ 全体では「8時間以上10時間未満」が34.5%、次いで「10時間以上12時間未満」となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「6時間以上8時間未満」(差8.6%)が多い。

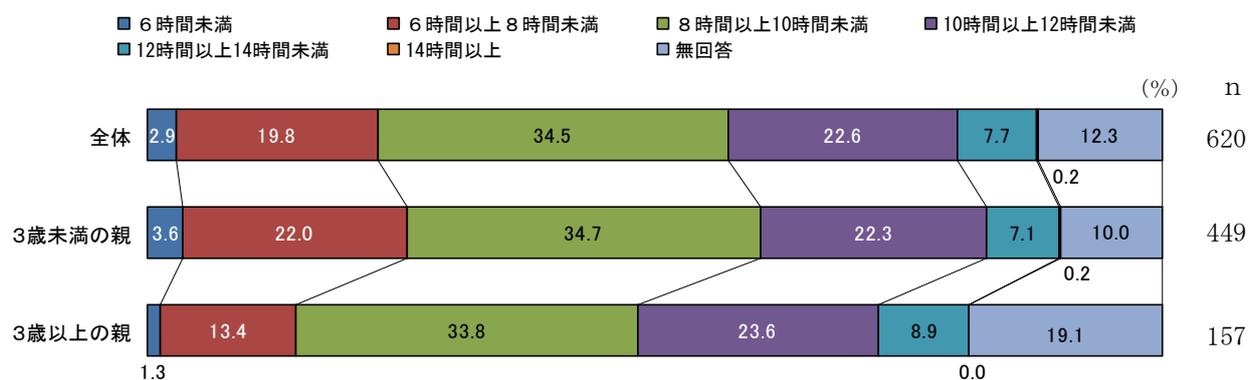


図 公立保育所：希望する1日あたりの利用時間

<開始時間>

◇ 全体では「8時から」が43.5%、次いで「9時から」が28.7%となっている。

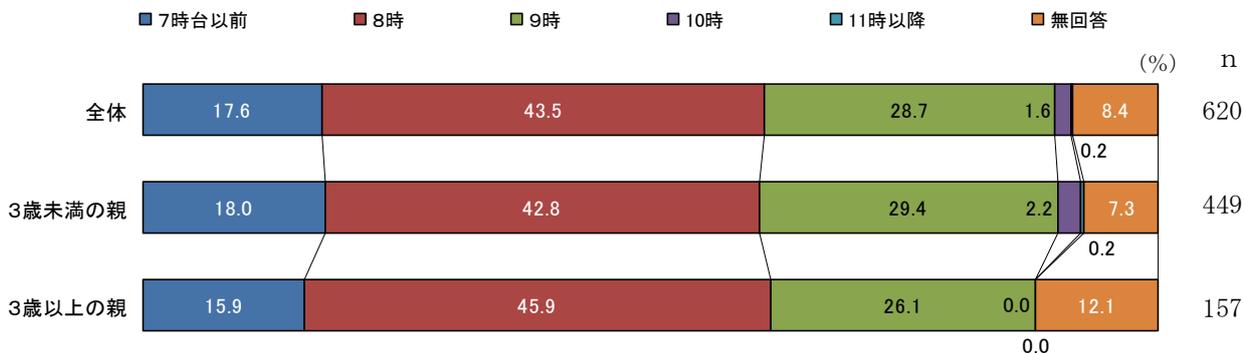


図 公立保育所：希望する1日の利用開始時間

<終了時間>

◇ 全体では「18時まで」が23.9%、次いで「17時まで」が22.6%となっている。

◇ 3歳未満の親は「15時まで」(差5.7%)、「16時まで」(差6.2%)が多く、対して3歳以上の親は「17時まで」(差4.3%)、「19時以降」(差4.0%)となっており、3歳以上の親のほうがより遅い時間帯までの利用希望がある。

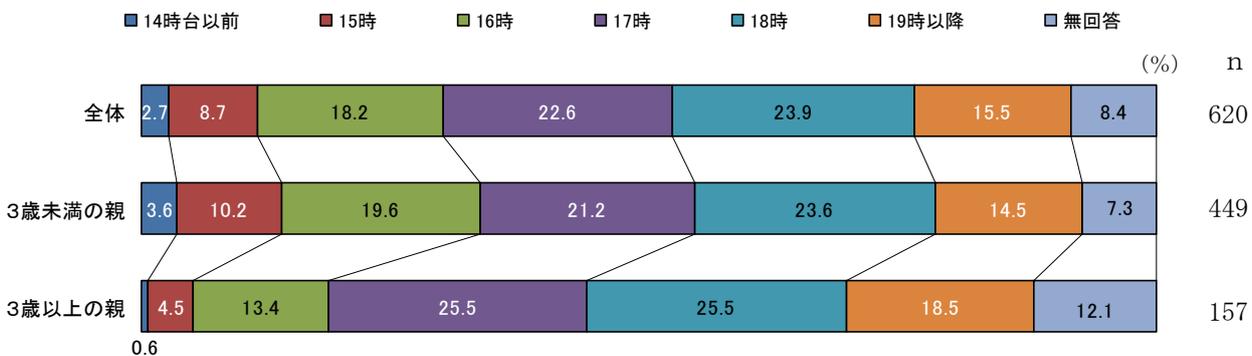


図 公立保育所：希望する1日の利用終了時間

7. 私立（民間）保育所

【1週間あたりの利用日数】

- ◇ 全体では「週に5日」が70.2%、次いで「週に6日」が14.8%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「週に5日」(差11.3%)が多く、対して3歳以上の親は「週に6日」(差15.1%)が多くなっており、3歳以上の親のほうがより多い利用日数を希望している。

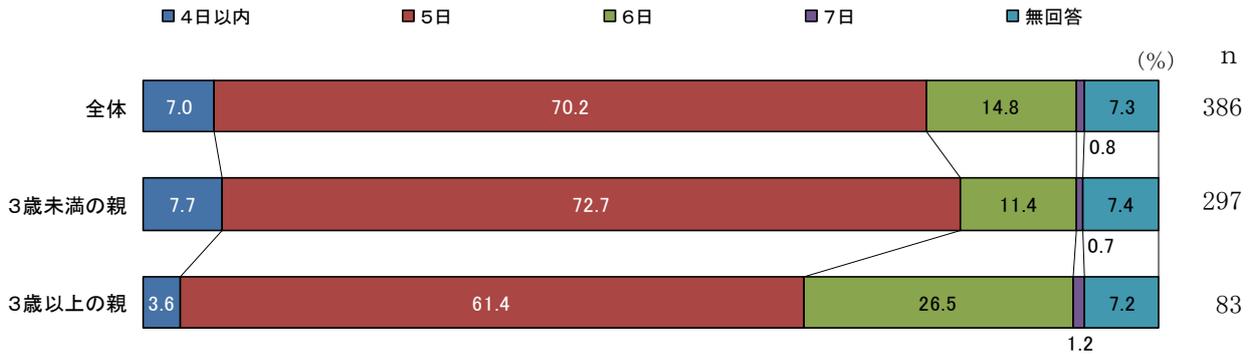


図 私立（民間）保育所：希望する1週間あたりの利用日数

【1日あたりの利用時間】

- ◇ 全体では「8時間以上10時間未満」が30.8%、次いで「10時間以上12時間未満」が27.5%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「6時間以上8時間未満」(差12.5%)、「8時間以上10時間未満」(差3.9%)が多く、対して3歳以上の親は「10時間以上12時間未満」(差3.8%)、「12時間以上14時間未満」(差4.6%)が多くなっており、3歳以上の親のほうがより長い時間での利用を希望している。

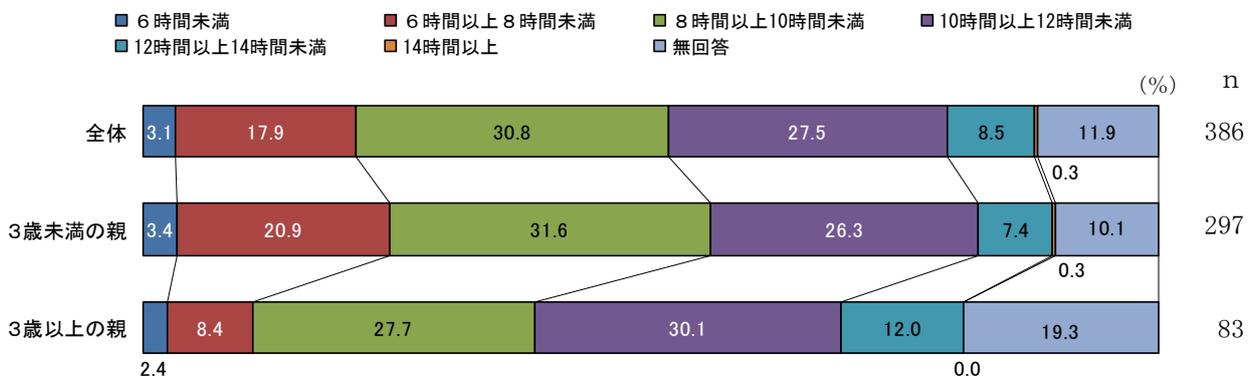


図 私立（民間）保育所：希望する1日あたりの利用時間

<開始時間>

- ◇ 全体では「8時から」が45.6%、次いで「9時から」が26.2%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「9時から」(差4.7%)が多く、対して3歳以上の親は「7時台以前」(差6.0%)が多くなっており、3歳以上の親のほうがより早い時間帯からの利用希望がある。

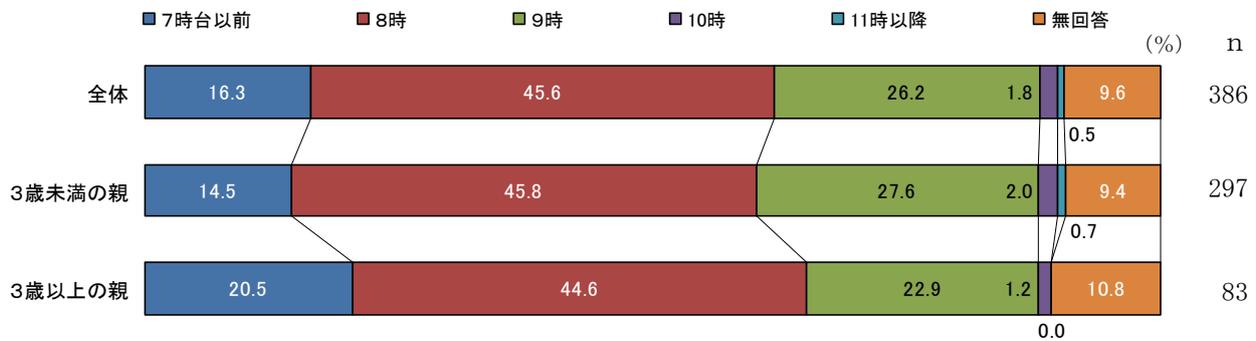


図 私立（民間）保育所：希望する1日の利用開始時間

<終了時間>

- ◇ 全体では「18時まで」が25.4%、次いで「17時まで」が19.9%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「16時まで」(差9.2%)が多く、対して3歳以上の親は「18時まで」(差5.9%)、「19時以降」(差5.0%)が多くなっており、3歳以上の親のほうがより遅い時間帯までの利用希望がある。

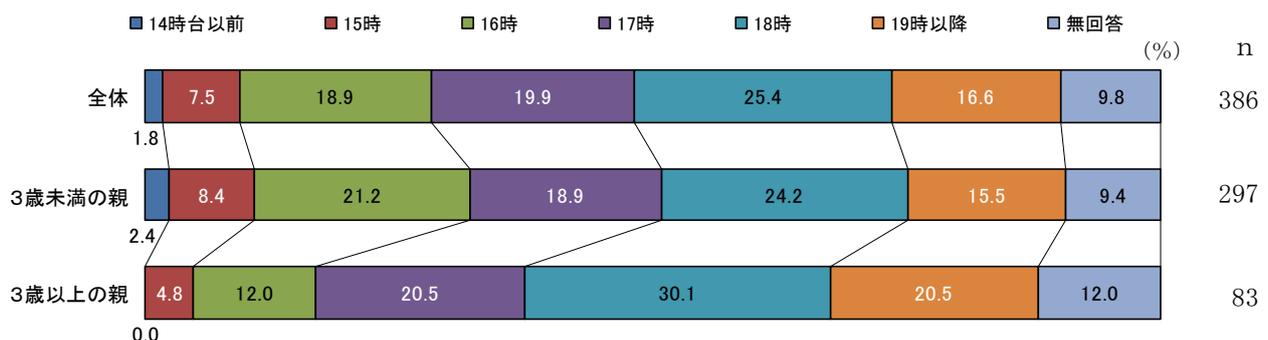


図 私立（民間）保育所：希望する1日の利用終了時間

8. 家庭保育室（個人実施型）

9. 家庭保育室（保育所実施型）

【1週間あたりの利用日数】

◇ 個人実施型は「週に3日」「週に5日」の割合がそれぞれ27.3%と高く、保育所実施型は「週に5日」の割合が40.0%と高い。

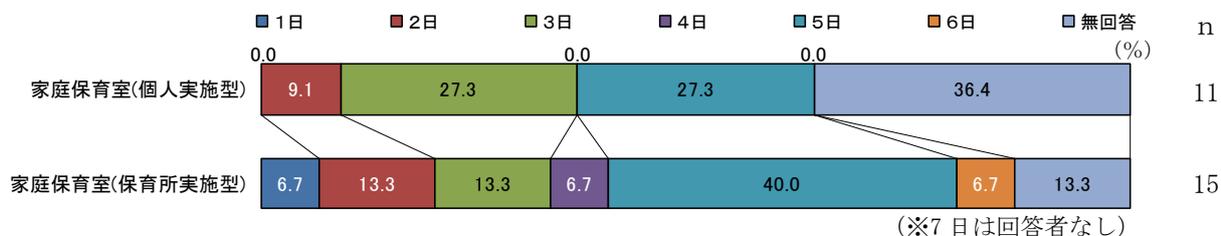


図 家庭保育室（個人・保育所実施型）：希望する1週間あたりの利用日数

【1日あたりの利用時間】

◇ 個人実施型は「2時間以上4時間未満」の割合が18.2%と高く、保育所実施型は「4時間以上6時間未満」が26.7%と高い。

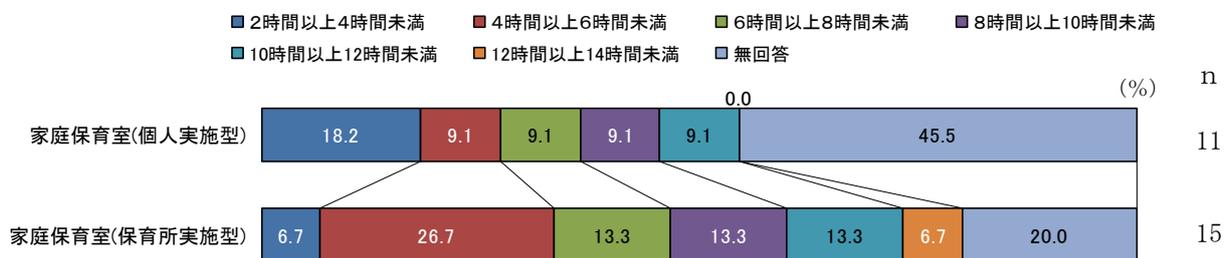


図 家庭保育室（個人・保育所実施型）：希望する1週間あたりの利用時間

<開始時間>

◇ 個人実施型は「9時から」の割合が27.3%と高く、保育所実施型は「8時から」の割合が26.7%と高い。

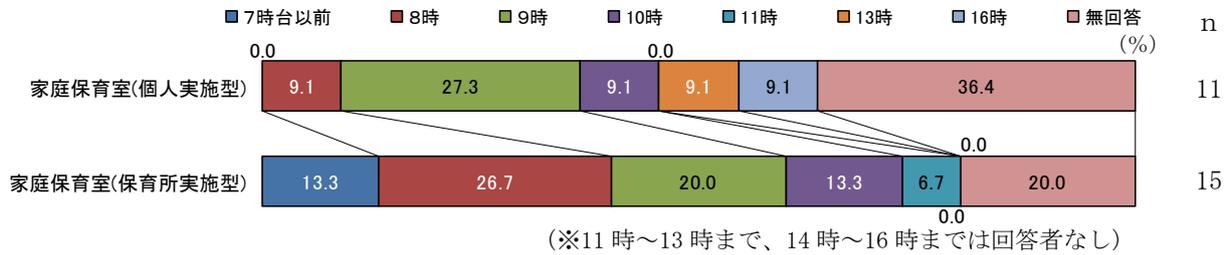


図 家庭保育室（個人・保育所実施型）：希望する1日の利用開始時間

<終了時間>

◇ 個人実施型は「16時まで」「17時まで」「18時まで」の割合がそれぞれ18.2%と高く、保育所実施型は「17時まで」が20.0%と高い。

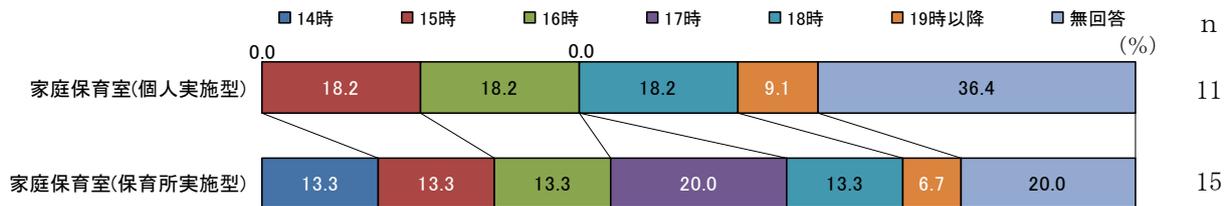


図 家庭保育室（個人・保育所実施型）：希望する1日の利用終了時間

11. 事業所内保育施設

【1週間あたりの利用日数】

- ◇ 全体では「週に5日」が48.6%、次いで「週に6日」が22.9%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「週に4日以内」(差7.3%)、「週に5日」(差28.3%)が多く、対して3歳以上の親は「週に6日」(差24.9%)が多くなっており、3歳以上の親のほうがより多い利用日数を希望している。

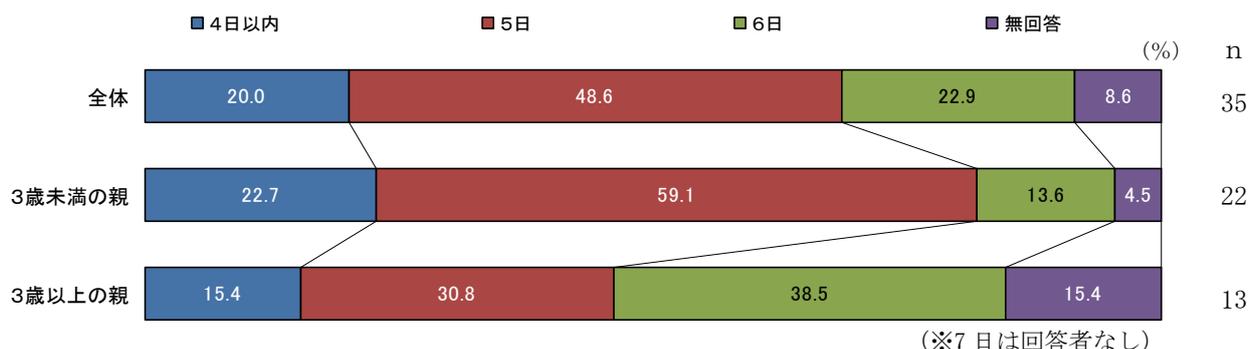


図 事業所内保育施設：希望する1週間あたりの利用日数

【1日あたりの利用時間】

- ◇ 全体では「8時間以上10時間未満」が34.3%、次いで「10時間以上12時間未満」が22.9%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「8時間以上10時間未満」(差30.1%)が多く、対して3歳以上の親は「12時間以上14時間未満」(差18.6%)が多くなっており、3歳以上の親のほうがより長い時間での利用を希望している。

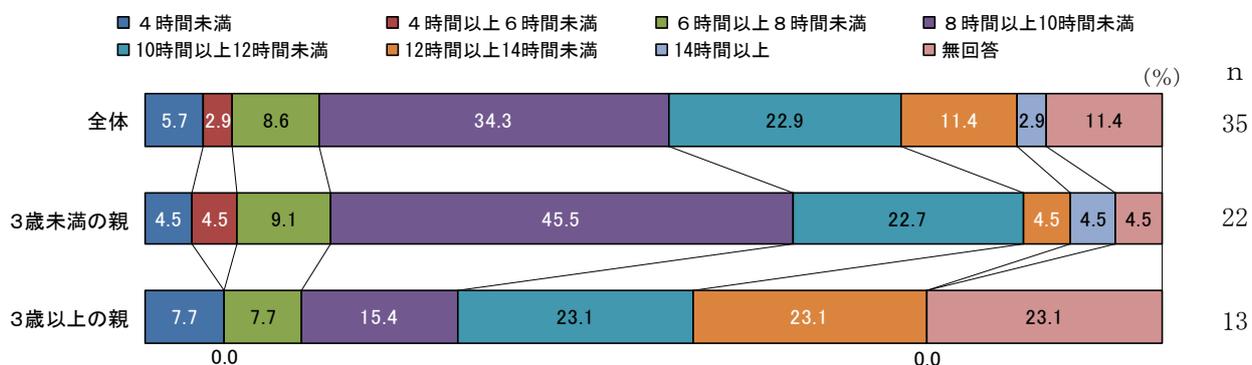


図 事業所内保育施設：希望する1日あたりの利用時間

<開始時間>

- ◇ 全体では「8時から」が40.0%、次いで「9時まで」が28.6%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「8時から」（差14.7%）、「9時から」（差8.7%）が多く、対して3歳未満の親は「7時台以前」（差18.6%）が多くなっており、3歳以上の親のほうがより早い時間帯からの利用希望がある。

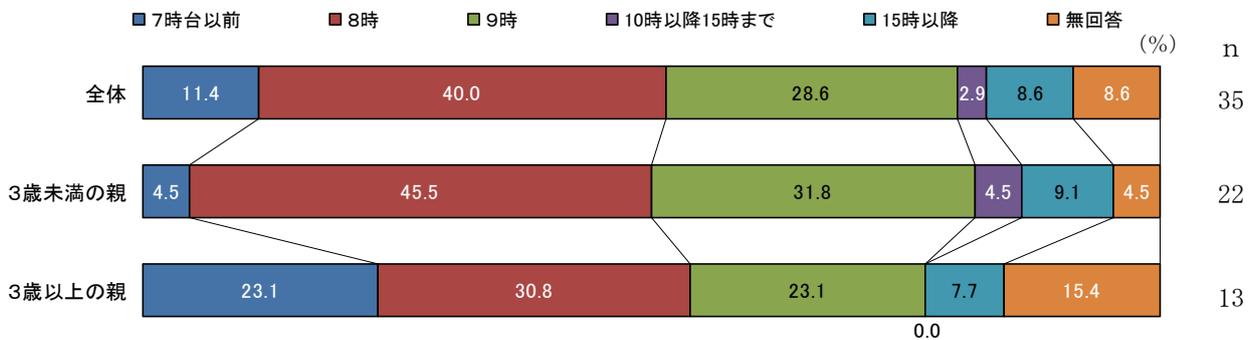


図 事業所内保育施設：希望する1日の利用開始時間

<終了時間>

- ◇ 全体では「18時まで」が31.4%、次いで「17時まで」が25.7%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「16時まで」（差5.9%）、「18時まで」（差13.3%）が多く、対して3歳以上の親は「19時以降」（差21.7%）が多くなっており、3歳以上の親のほうがより遅い時間帯までの利用希望がある。

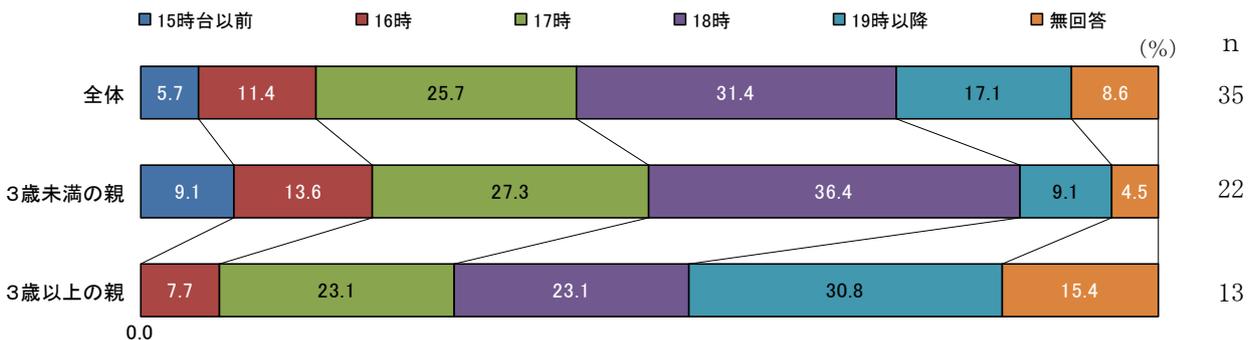


図 事業所内保育施設：希望する1日の利用終了時間

12. その他の保育施設（認可外保育施設、ベビーホテル等）

【1週間あたりの利用日数】

- ◇ 全体では「週に1日」が34.4%、次いで「週に5日」が21.9%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「週に2日」（差12.8%）、「週に3日」（差10.5%）、「週に5日」（差36.8%）が多く、対して3歳以上の親は「週に1日」（差50.9%）、「週に6日」（差8.3%）が多くなっており、3歳未満の親と3歳以上の親では利用日数の希望が異なる。

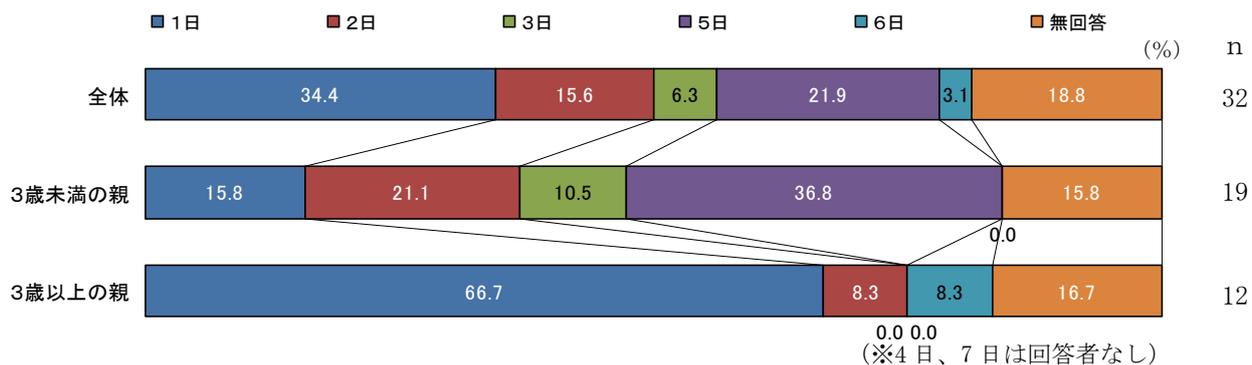


図 その他の保育施設：希望する1週間あたりの利用日数

【1日あたりの利用時間】

- ◇ 全体では「4時間以上6時間未満」が21.9%、次いで「8時間以上10時間未満」が18.8%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「4時間以上6時間未満」（差9.7%）、「6時間以上8時間未満」（差21.1%）、「10時間以上12時間未満」（差7.5%）が多く、対して3歳以上の親は「8時間以上10時間未満」（差9.2%）、「12時間以上」（差8.3%）が多くなっており、3歳以上の親のほうがより長い時間での利用を希望している。

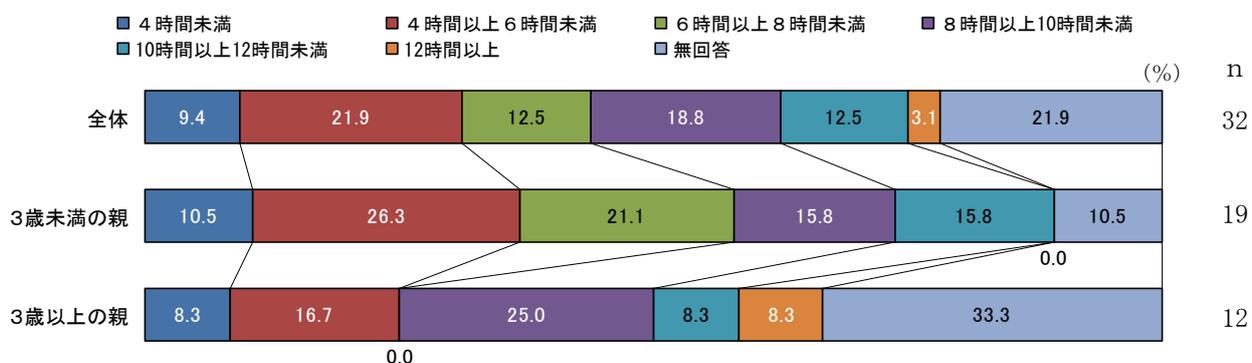


図 その他の保育施設：希望する1日あたりの利用時間

<開始時間>

- ◇ 全体では「9時から」が40.6%、次いで「8時台以前」が15.6%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「9時から」(差14.1%)が多く、対して3歳以上の親は「10時から」(差11.4%)、「16時以降」(差6.2%)が多くなっており、3歳以上の親のほうがより遅い時間帯からの利用希望がある。

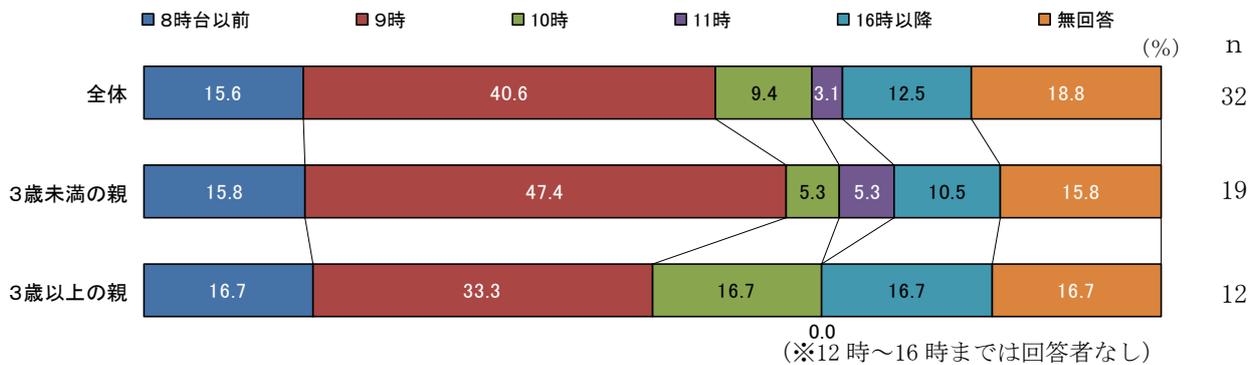


図 その他の保育施設：希望する1日の利用開始時間

<終了時間>

- ◇ 全体では「13時台以前」が18.8%を占める。
- ◇ 3歳未満の親は「13時台以前」(差4.4%)、「14時まで」(差15.8%)、「15時まで」(差12.3%)が多く、対して3歳以上の親は「18時まで」(差14.5%)、「19時まで」(差14.5%)が多くなっており、3歳以上の親のほうがより遅い時間帯までの利用希望がある。

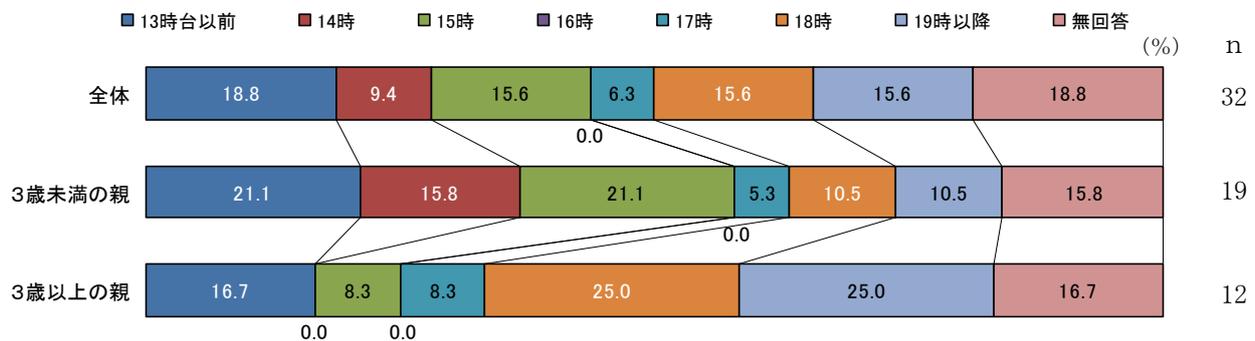


図 その他の保育施設：希望する1日の利用終了時間

13. ベビーシッター（居宅型訪問事業）

【1週間あたりの利用日数】

- ◇ 全体では「週に1日」が46.3%、次いで「週に5日」が16.4%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「週に1日」（差22.3%）が多く、対して3歳以上の親は「週に3日」（差8.6%）、「週に2日」（差5.7%）が多くなっており、3歳以上の親のほうがより多い利用日数を希望している。

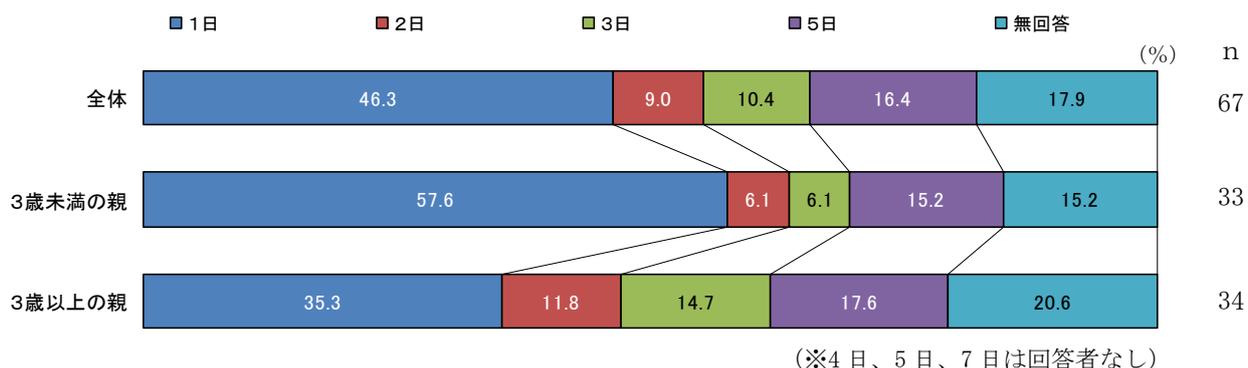


図 ベビーシッター（居宅型訪問事業）：希望する1週間あたりの利用日数

【1日あたりの利用時間】

- ◇ 全体では「2時間以上4時間未満」が31.3%、次いで「4時間以上6時間未満」が14.9%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「6時間以上8時間未満」（差12.3%）が多く、対して3歳以上の親は「4時間以上6時間未満」（差5.5%）が多い。

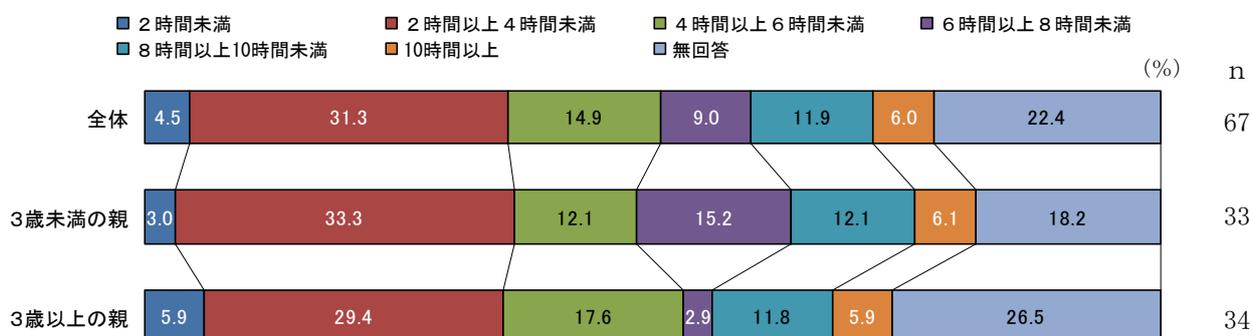


図 ベビーシッター（居宅型訪問事業）：希望する1日あたりの利用時間

<開始時間>

- ◇ 全体では「9時から」が13.4%、次いで「8時から」が11.9%となっている。
- ◇ 朝と夕方に利用希望の山がある。
- ◇ 3歳未満の親のほうが「8時から」（差6.4%）、「9時から」（差9.4%）、「10時以降15時まで」（差3.3%）が多く、対して3歳以上の親は「16時から」（差2.9%）、「17時から」（差5.7%）、「18時から」（差2.7%）、「19時以降」（差2.9%）が多くなっており、3歳未満の親は午前の時間帯、3歳以上の親は午後の時間帯からの利用希望がある。

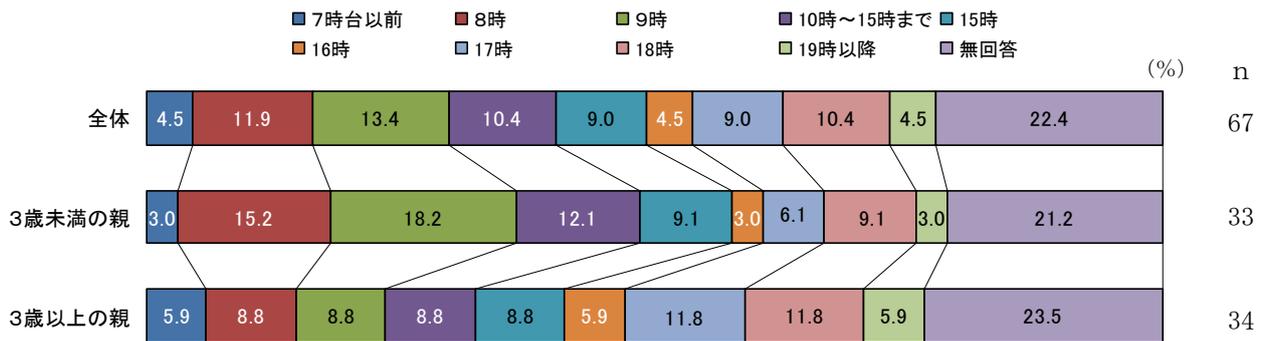


図 ベビーシッター（居宅型訪問事業）：希望する1日の利用開始時間

<終了時間>

- ◇ 全体では「19時以降」が35.8%を占める。
- ◇ 3歳未満の親は「14時台以前」（差6.2%）、「15時まで」（差6.2%）、「18時まで」（差12.4%）が多く、対して3歳以上の親は「17時まで」（差11.7%）、「19時以降」（差16.8%）が多くなっており、3歳以上の親のほうがより遅い時間帯までの利用希望がある。



図 ベビーシッター（居宅型訪問事業）：希望する1日の利用終了時間

14. 療育機関・障害児通園施設

【1週間あたりの利用日数】

- ◇ 全体では「週に5日」が36.7%、次いで「週に2日」が16.7%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「週に2日」(差11.7%)、「週に5日」(差8.4%)が多く、対して3歳以上の親は「週に6日」(差6.7%)、「週に3日」(差5.0%)が多い。

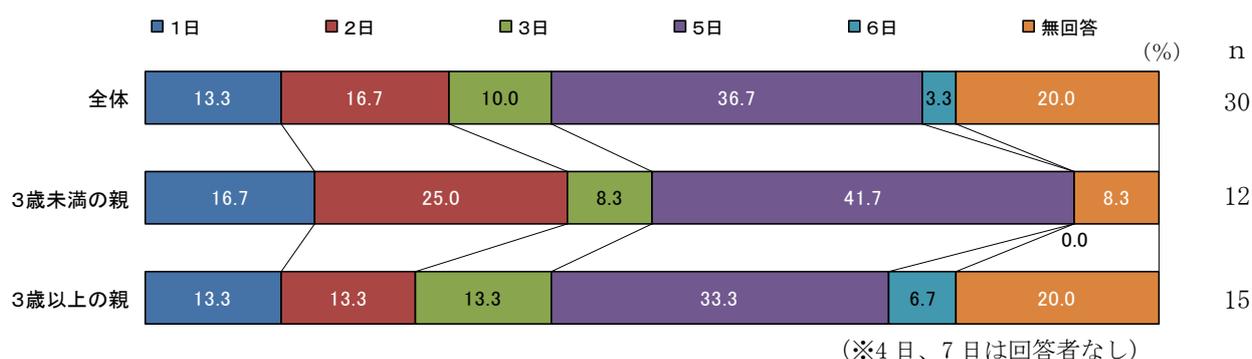


図 療育機関・障害児通園施設：希望する1週間あたりの利用日数

【1日あたりの利用時間】

- ◇ 全体では「2時間以上4時間未満」が26.7%を占める。
- ◇ 3歳未満の親は「4時間以上6時間未満」(差25.0%)、「6時間以上8時間未満」(差18.3%)が多く、対して3歳以上の親は「2時間以上4時間未満」(差8.3%)、「8時間以上10時間未満」(差13.0%)、「10時間以上」(差20.0%)が多くなっており、3歳以上の親のほうがより長い時間での利用を希望している。

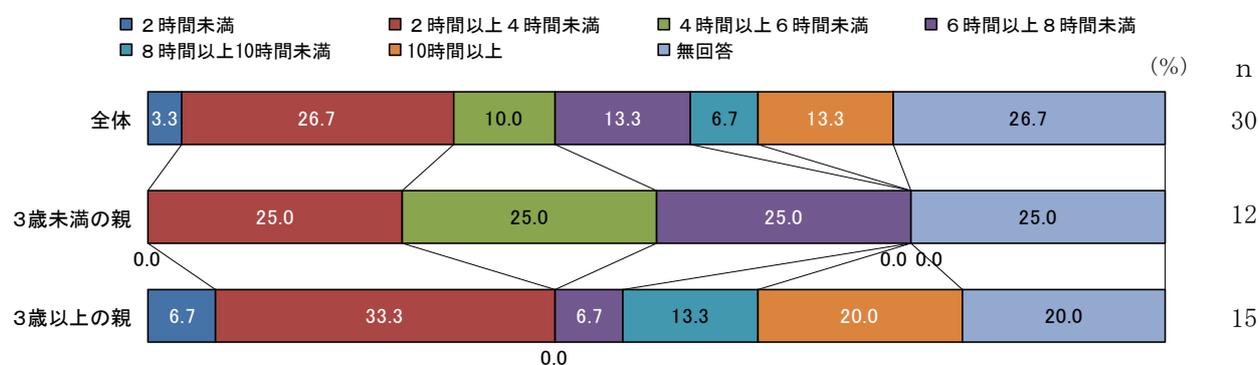


図 療育機関・障害児通園施設：希望する1日あたりの利用時間

<開始時間>

- ◇ 3歳未満の親では「9時から」が50.0%、次いで「10時から」が25.0%となっている。
- ◇ 3歳以上の親では「9時から」「15時から」が20.0%、「8時から」が13.3%となっている。

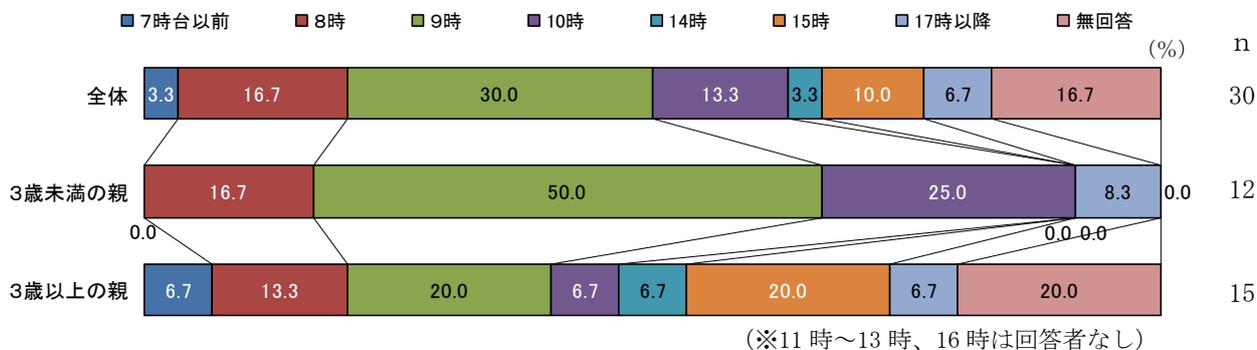


図 療育機関・障害児通園施設：希望する1日の利用開始時間

<終了時間>

- ◇ 全体では「13時台以前」が16.7%を占める。
- ◇ 3歳未満の親は「13時台以前」(差26.6%)、「14時まで」(差8.3%)、「15時まで」(差25.0%)、「19時以降」(差18.3%)が多く、対して3歳以上の親は「16時まで」(差11.7%)、「17時まで」(差26.7%)、「18時まで」(差20.0%)が多くなっており、3歳以上の親のほうがより遅い時間帯までの利用希望がある。

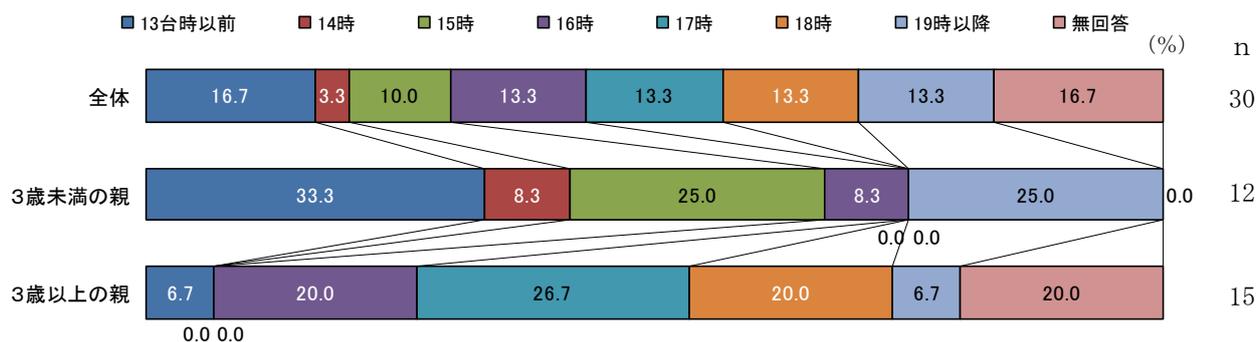


図 療育機関・障害児通園施設：希望する1日の利用終了時間

(2) 今後、教育・保育の事業を利用したいと考えている理由は何ですか。(複数回答)

- ◇ 全体では「上記5つの事情はないが、お子さんの教育や発達のため」が34.0%、「子育て(教育を含む)をしているかたが終了予定があるから/求職中だから」が26.4%、「子育て(教育を含む)をしているかたが現在就労しているから」が25.2%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「上記5つの事情はないが、お子さんの教育や発達のため」(差17.2%)が多く、対して3歳以上の親は「子育て(教育を含む)をしているかたが現在就労しているから」(差10.5%)が多い。

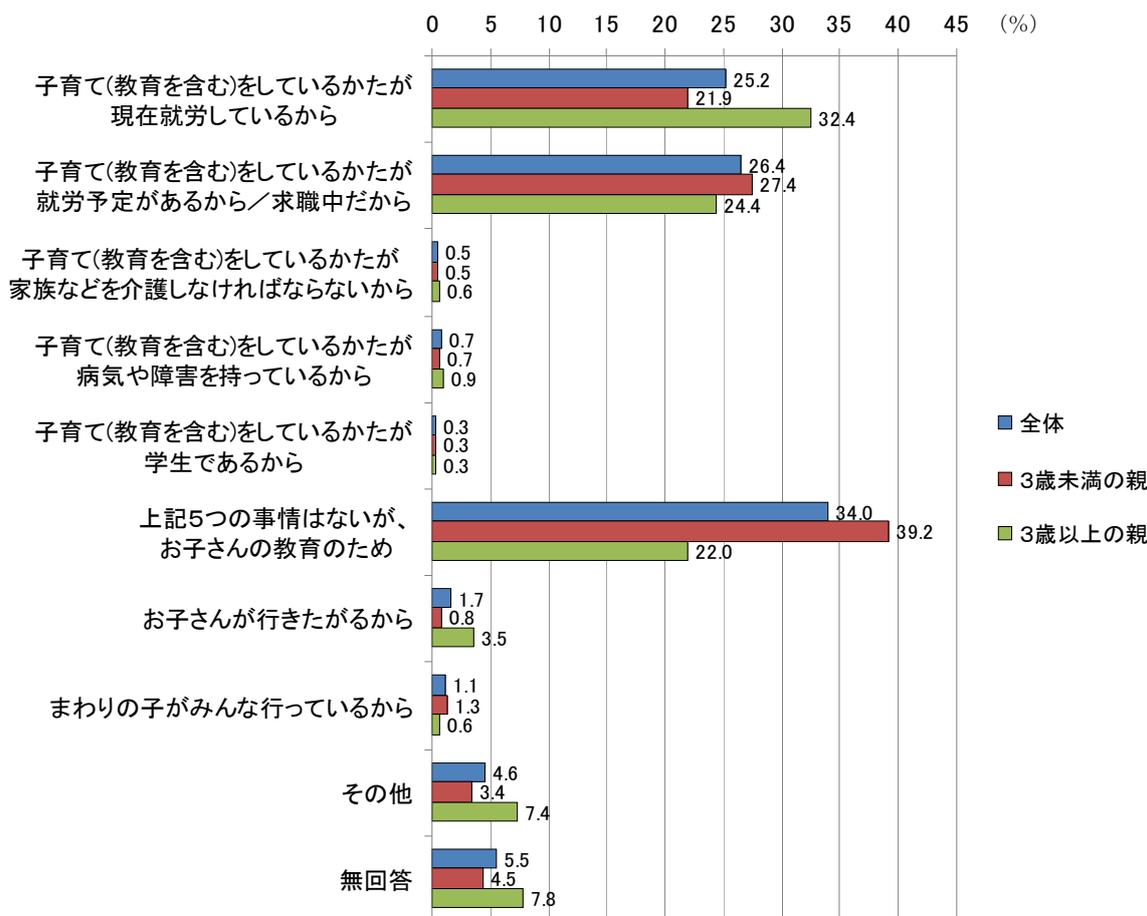


図 保育・教育事業を利用したい理由

回答数 全体=2,175 3歳未満の親=1,482 3歳以上の親=651

【5年前からの変化】

- ・全体では、利用したい理由として、現在就労しているからが約5%増え、特に事情はないが、子どもの教育のための約3%減った。

(3) 今後、利用したいと考えている教育・保育の実施場所はどこですか。(1つ)

- ◇ 全体では「お住まいの区」が79.9%、「お住まいの区以外の区」が6.6%、「お住まいの区の支所管内」が5.8%となっている。
- ◇ 3歳未満の親では「お住まいの区」が80.9%、「お住まいの区以外の区」が7.4%となっている。
- ◇ 3歳以上の親では「お住まいの区」が77.6%、「お住まいの区の支所管内」が7.5%となっている。
- ◇ お子さんを住居に近いところに預けたいと考える人が多い。

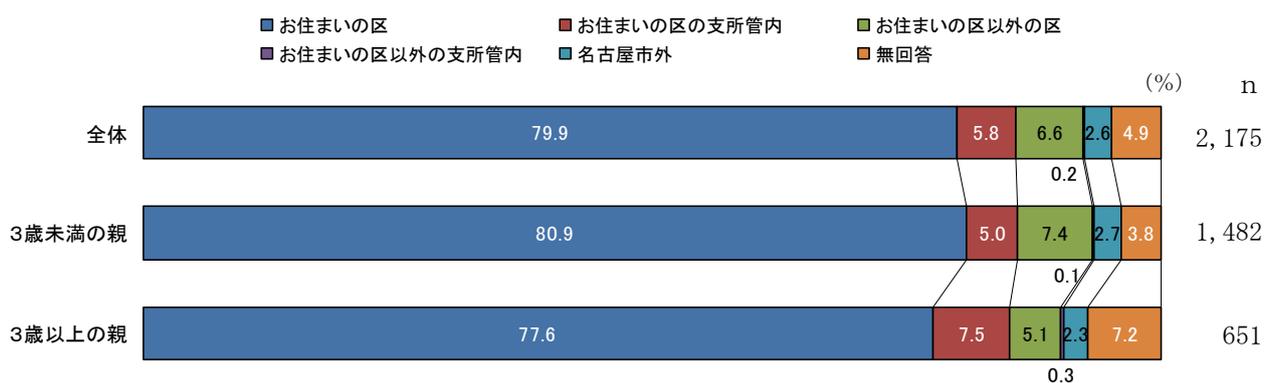


図 希望する教育・保育事業の実施場所

休日の教育・保育事業の利用希望について（就学前） 【問7】

■土曜日と日曜日・祝日の定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか。（1つ）

（1）利用希望頻度

【土曜日】

◇ 全体では「利用する必要がない」が64.1%、「月に1～2回は利用したい」が22.7%、「ほぼ毎週利用したい」が9.2%となっている。

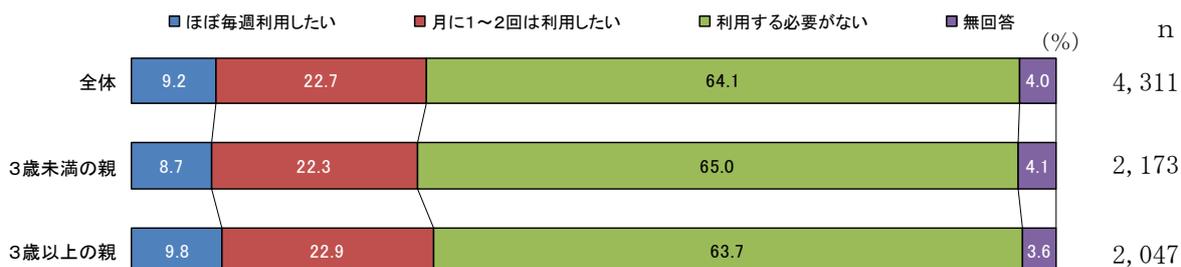


図 希望する保育・教育事業の利用頻度（土曜日）

【5年前からの変化】

- ・全体では、土曜日の利用頻度として、月に1～2回は利用したいが約6%増え、利用する必要がないが約6%減った。
- ・5年前よりも土曜日の利用希望があがっている。

【日曜日・祝日】

- ◇ 全体では「利用する必要がない」が79.5%、「月に1～2回は利用したい」が12.9%、「ほぼ毎週利用したい」が1.6%となっている。
- ◇ 土曜日と比較すると、日曜日・祝日のほうが利用希望が少ない。



図 希望する保育・教育事業の利用頻度（日曜日・祝日）

【5年前からの変化】

- ・全体では、日曜、祝日の利用頻度として、月に1～2回は利用したいが約4%、利用する必要がないが約4%減った。

(2) 利用希望時間

【土曜日】

<開始時間>

◇ 全体では「9時から」が43.4%、次いで「8時から」が36.0%となっている。

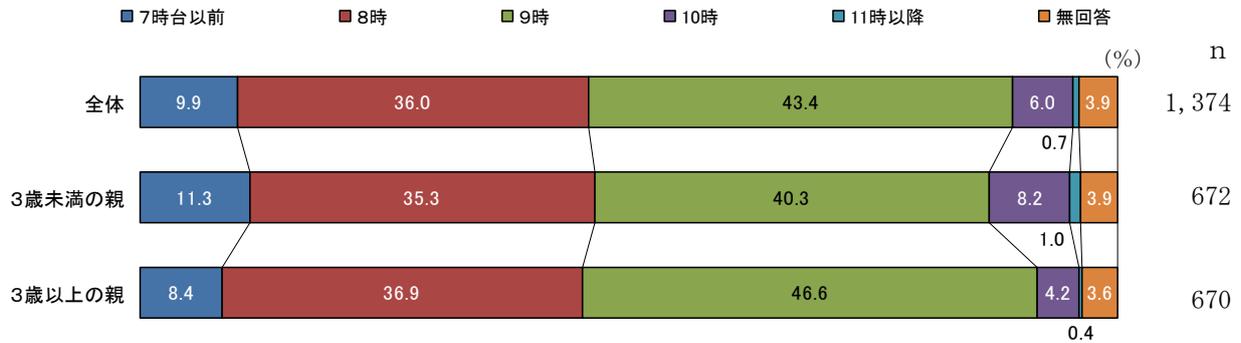


図 希望する保育・教育事業の利用開始時間（土曜日）

<終了時間>

◇ 3歳未満の親では「18時まで」が18.1%、「19時以降」が15.1%、「17時まで」が14.2%となっている。

◇ 3歳以上の親では「16時まで」が17.0%、「17時まで」が15.7%、「15時まで」が13.7%となっている。

◇ 3歳未満の親は「18時まで」（差6.9%）、「19時以降」（差8.5%）が多く、対して3歳以上の親は「15時まで」（差9.0%）、「16時まで」（差9.5%）が多くなっており、3歳未満の親のほうがより遅い時間帯までの利用希望がある。

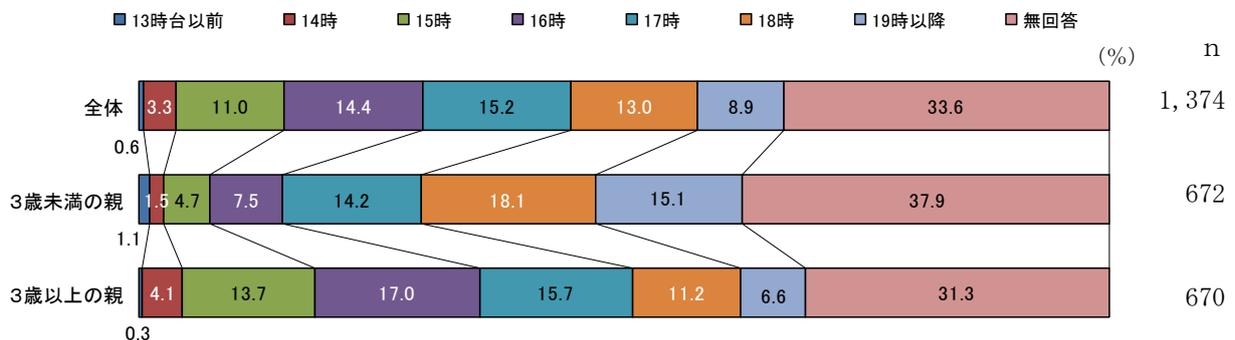


図 希望する保育・教育事業の利用終了時間（土曜日）

【日曜日・祝日】

<開始時間>

◇ 全体では「8時から」が37.9%、次いで「9時から」が36.8%となっている。



図 希望する保育・教育事業の利用開始時間（日曜日・祝日）

<終了時間>

◇ 全体では「18時まで」が27.3%、次いで「17時まで」が22.5%となっている。

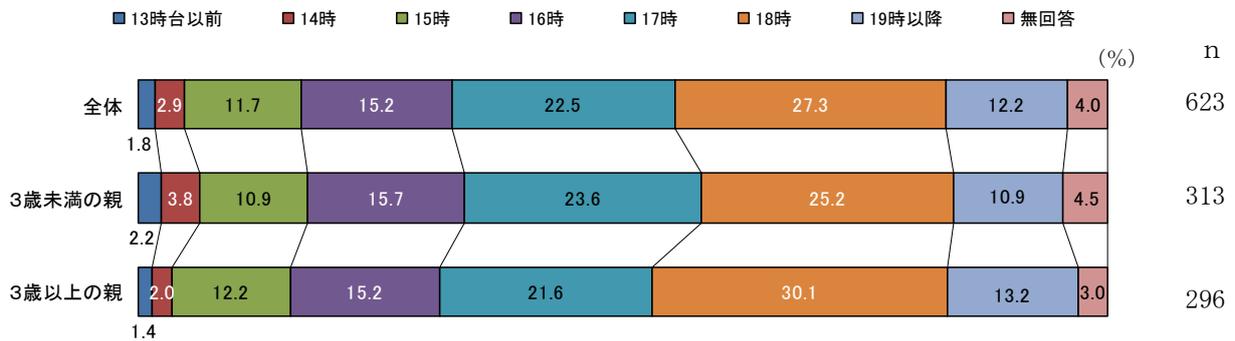


図 希望する保育・教育事業の利用終了時間（日曜日・祝日）

『休日の教育・保育事業の利用（就学前 問7）と母親の就労形態（就学前 問3（3））』

◎ 母親が就労している場合、「土曜日」に教育・保育事業を利用したい割合は約40%、「日曜日・祝日」に教育・保育事業を利用したい割合は約20%であり、土曜日の利用希望のほうが多い。また、母親の就労形態が正規、非正規に偏りはない。

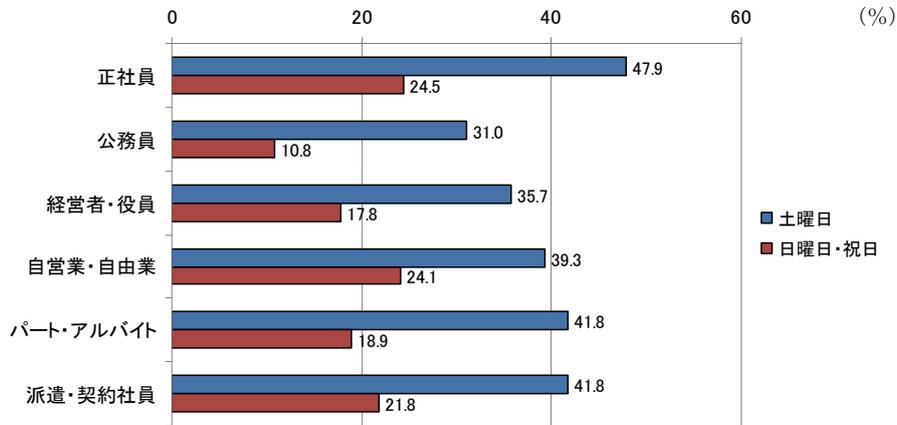


図 休日の教育・保育事業と母親の就労形態

長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望について（就学前） 【問8】

■夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の、教育・保育の事業の利用希望はありますか。（1つ）

【利用希望頻度】

- ◇ 全体では「利用する必要はない」が27.9%、「休みの期間中、週に数日利用したい」が26.4%、「保育所等に通園しており、長期休暇がない」が22.8%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が19.1%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「利用する必要はない」（差13.0%）が多く、対して3歳以上の親は「休みの期間中、週に数日利用したい」（差7.3%）、「保育所等に通園しており、長期休暇がない」（差5.1%）が多い。

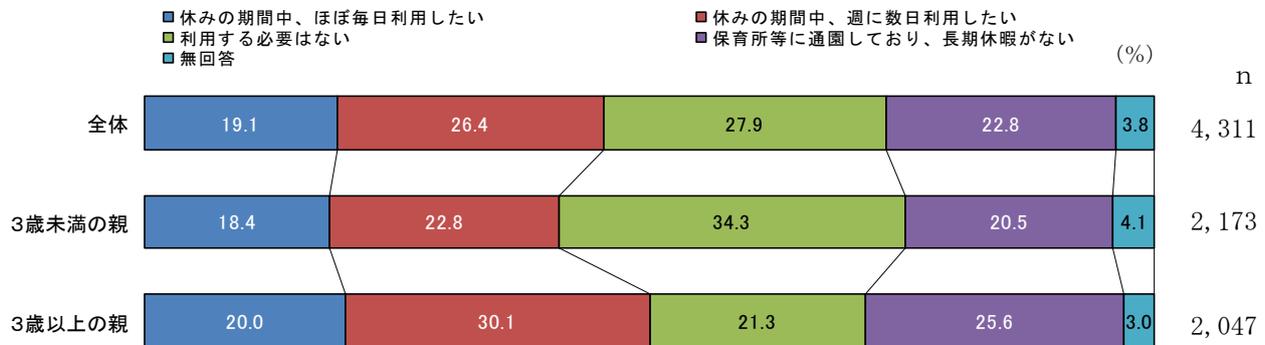


図 希望する保育・教育事業の利用頻度（夏休み・冬休みなどの長期休暇期間）

【利用希望時間】

<開始時間>

◇ 全体では「9時から」が49.4%、次いで「8時から」が32.1%となっている。

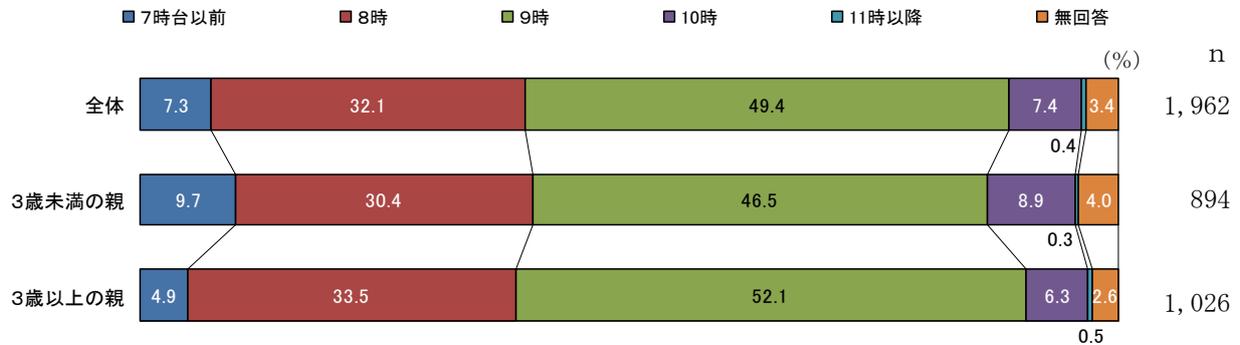


図 希望する保育・教育事業の利用開始時間（夏休み・冬休みなどの長期休暇期間）

<終了時間>

◇ 全体では「15時まで」が25.3%、「17時まで」が20.6%、「16時まで」が18.3%となっている。

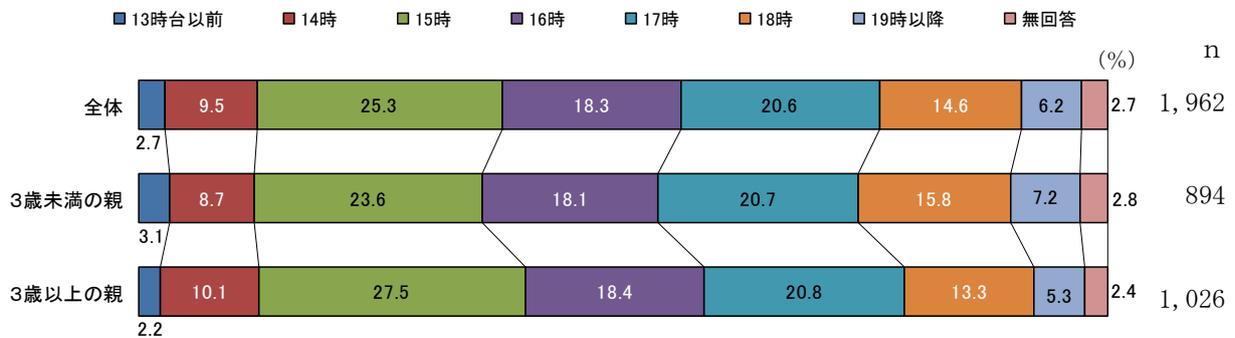


図 希望する保育・教育事業の利用終了時間（夏休み・冬休みなどの長期休暇期間）

《教育・保育事業とトワイライト・学童保育の長期休暇時の利用開始時間の比較》

- ◆ 「教育・保育事業」「学童保育」は「9時台以前」が約90%を占める。
- ◆ 「放課後事業（トワイライト）」は「9時台以前」が79.1%、次いで「11時以降」が60.6%となっている。
- ◆ 長期休暇時の事業利用は午前中からを希望する人が多い。

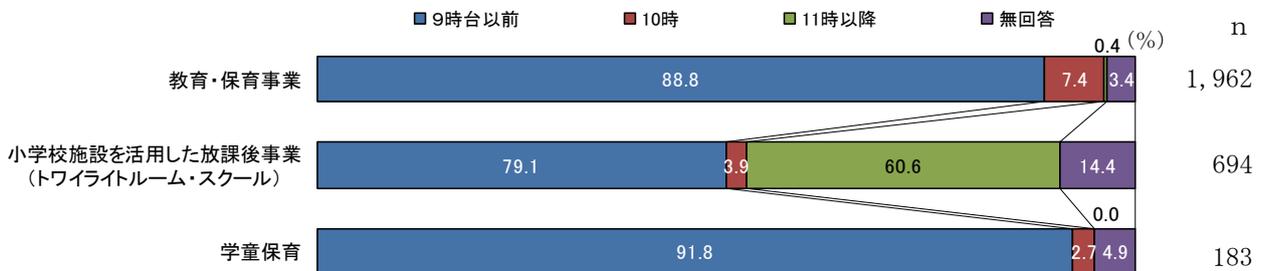


図 保育・教育事業とトワイライト・学童保育の利用開始時間（長期休暇）

(※トワイライトの土曜・長期休暇の開館時間は午前9時)

『長期休暇期間中の教育・保育事業の利用（就学前 問8）と母親の就労形態（就学前 問3（3））』

- ◎ 母親が就労している場合、「長期休暇期間中（夏休み・冬休みなど）」の教育・保育事業の利用希望は約40%で、すでに対応済みの回答を併せると、就労している母親の約80%が長期休暇期間中に教育・保育事業の利用を希望している。

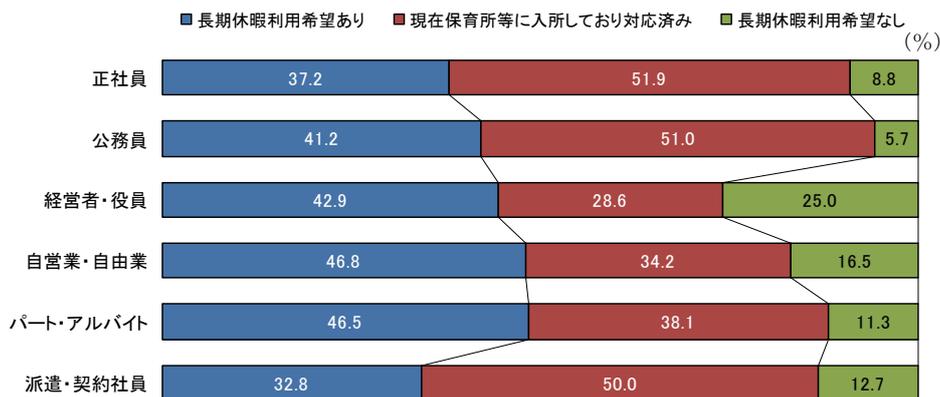


図 長期休暇期間中の教育・保育事業と母親の就労形態

病児・病後児保育について（就学前） 【問9】

■この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガ等の際、最も多く利用している教育・保育の事業を利用しようとして、できなかったことはありますか。（1つ）

- ◇ 全体では「あった」が30.0%、「なかった」が67.1%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「なかった」（差10.9%）が多く、対して3歳以上の親は「あった」（差11.4%）が多い。

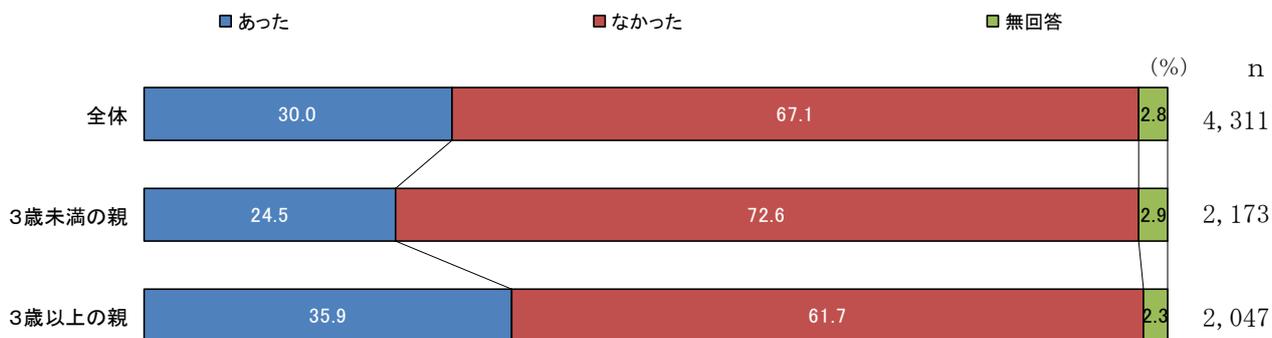


図 病気やケガ等の際、保育・教育事業の利用できなかったことがあるか

【5年前からの変化】

- ・全体では、病気やケガの際、事業を利用できなかったことが、なかった割合は27%増え、あった割合は約28%減った。

(1) この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで、最も多く利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合どのように対応しましたか。(複数回答)

- ◇ 全体では「母親が休んだ」が69.3%、「(同居者を含む)親族・知人に看護してもらった」が34.3%、「父親が休んだ」が22.8%となっている。また、「病児・病後児デイケア事業を利用した」は8.2%である。
- ◇ 3歳未満の親では「母親が休んだ」が79.2%、「(同居者を含む)親族・知人に看護してもらった」が39.8%、「父親が休んだ」が27.2%、「父親又は母親のうち、就労していないかたが看護した」が11.8%となっている。
- ◇ 3歳以上の親も「母親が休んだ」が62.4%、「(同居者を含む)親族・知人に看護してもらった」が30.5%、「父親又は母親のうち、就労していないかたが看護した」が28.7%、「父親が休んだ」が19.3%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「父親が休んだ」(差7.9%)、「母親が休んだ」(差16.8%)、「(同居者を含む)親族・知人に看護してもらった」(差9.3%)、「病児・病後児デイケア事業を利用した」(差5.4%)が多く、対して3歳以上の親は「父親または母親のうち、就労していないかたが看護した」(差16.9%)が多い。

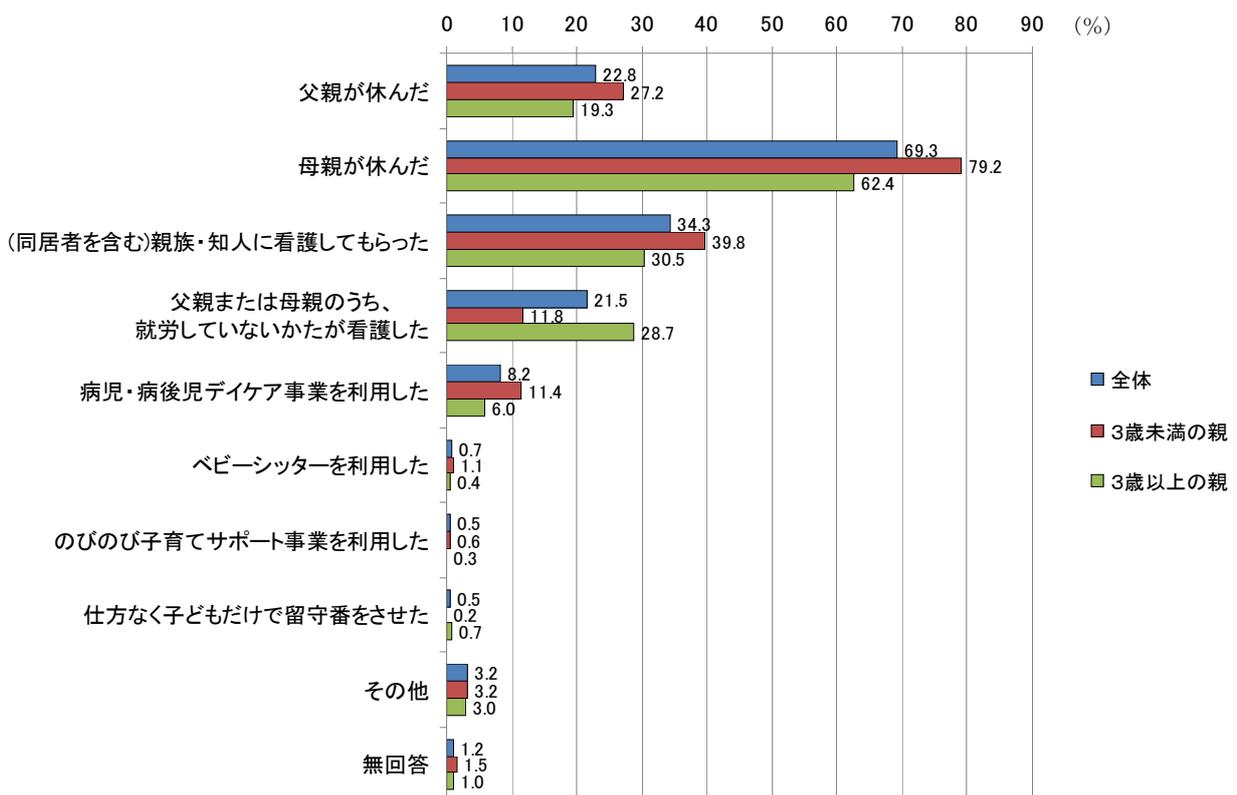


図 病気やケガ等の際、保育・教育事業の利用ができなかった場合の対応
 回答数 全体=2,099 3歳未満の親=938 3歳以上の親=1,119

【5年前からの変化】

- ・全体では、病気やケガの際、事業を利用できなかった場合の対応として、親族、知人に看護してもらったが約12%、母親が休んだが約10%、父親が休んだが約6%、病児、病後児デイケア事業を利用したが約5%増えた。
- ・全体では、就労していないかたが看護したが約12%減った。

【休んだ日数】

1. 父親が休んだ

- ◇ 全体では「年に1日」が26.1%、「年に2日」が25.8%、「年に3日」が18.3%、「年に5日」が13.6%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「年に5日」(差7.4%)が多く、対して3歳以上の親は「年に1日」(差8.9%)が多くなっており、3歳未満の親のほうが休む日数が多い。

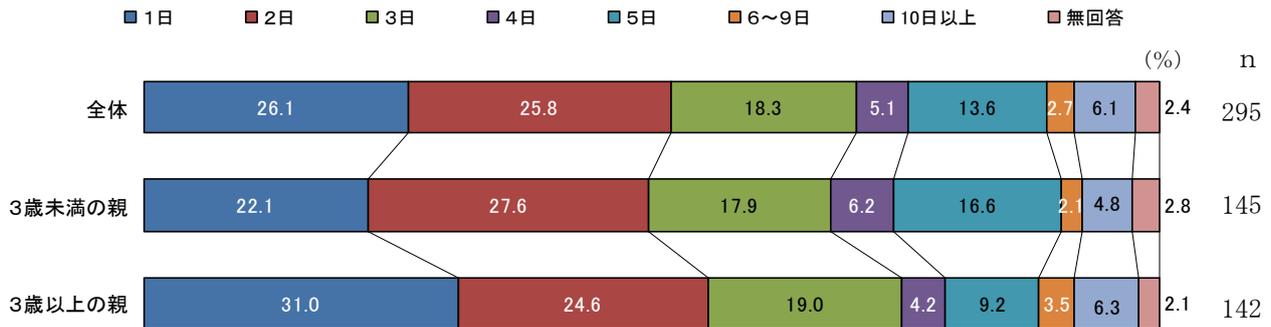


図 父親が休んだ日数

2. 母親が休んだ

- ◇ 全体では「年に10日以上」が26.1%、「年に5日」が17.4%、「年に2日」が13.7%、「年に3日」が13.1%となっており、父親と比較すると、母親のほうが休んだ日数が多い。
- ◇ 3歳未満の親では「年に10日以上」が35.1%、「年に5日」が14.0%、「年に6~9日」が13.5%となっている。
- ◇ 3歳以上の親では「年に5日」が19.8%、「年に2日」が18.3%、「年に10日以上」が17.4%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「年に10日以上」(差17.7%)が多く、対して3歳以上の親は「年に2日」(差9.5%)、「年に5日」(差5.8%)が多くなっており、3歳未満の親のほうが休む日数が多い。

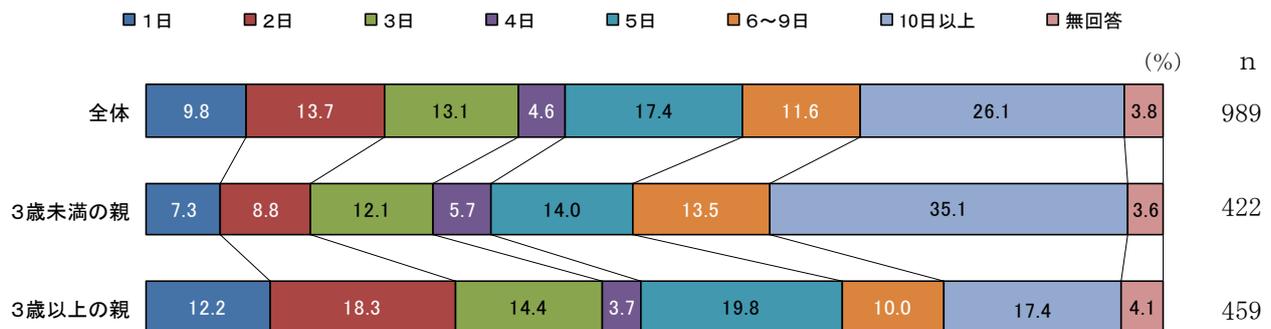


図 母親が休んだ日数

3. (同居者を含む) 親族・知人に看護してもらった

- ◇ 全体では「年に10日以上」が23.9%、次いで「年に2日」が17.1%となっている。
- ◇ 3歳未満の親では「年に10日以上」が31.1%、「年に5日」が14.2%、「年に2日」が13.7%となっている。
- ◇ 3歳以上の親では「年に2日」が19.6%、「年に10日以上」が17.9%、「年に5日」が17.4%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「年に10日以上」(差13.2%)が多く、対して3歳以上の親は「年に2日」(差5.9%)、「年に3日」(差4.2%)が多くなっており、3歳未満の親のほうが休む日数が多い。

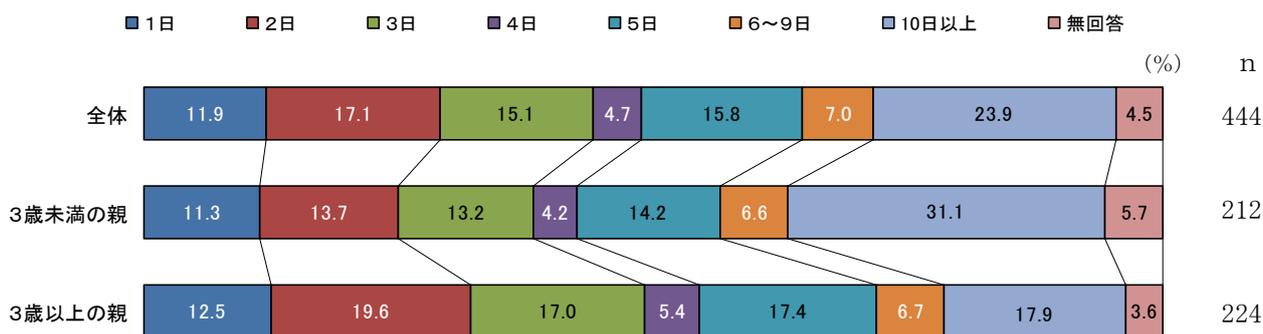


図 親族・知人が看護した日数

4. 父親または母親のうち、就労していないかたが看護した

- ◇ 全体では「年に10日以上」が20.1%、次いで「年に5日」が16.9%となっている。
- ◇ 3歳未満の親では「年に3日」が23.8%、「年に10日以上」が17.5%、「年に5日」が14.3%となっている。
- ◇ 3歳以上の親では「年に10日以上」が20.9%、「年に5日」が17.5%、「年に3日」が14.2%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「年に3日」(差9.6%)が多く、対して3歳以上の親は「年に4日」(差6.0%)、「年に5日」(差3.2%)、「年に6~9日」(差4.2%)、「年に10日以上」(差3.4%)が多くなっており、3歳以上の親のほうが休む日数が多い。

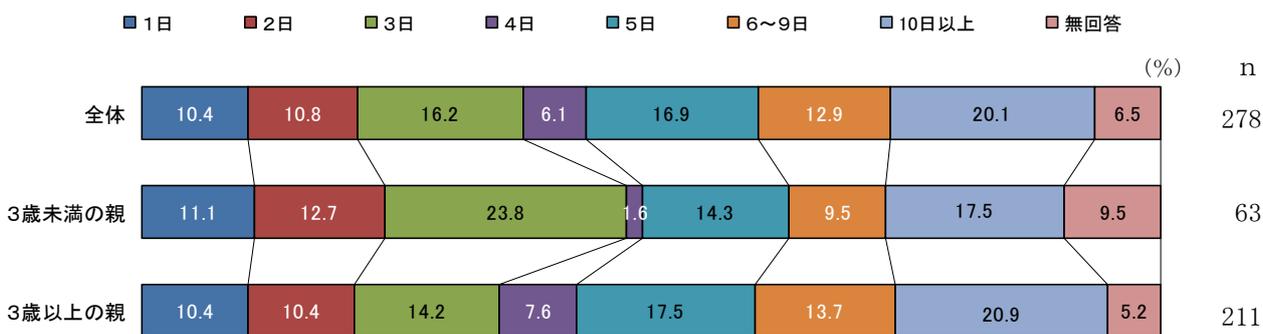


図 就労していない父親・母親が看護した日数

5. 病児・病後児デイケア事業を利用した

- ◇ 全体では「年に1日」が23.6%、次いで「年に2日」が17.9%となっている。
- ◇ 3歳未満の親では「年に1日」が27.9%、「年に10日以上」が19.7%、「年に2日」が14.8%となっている。
- ◇ 3歳以上の親では「年に2日」が22.7%、「年に1日」「年に3日」が18.2%、「年に6～9日」が13.6%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「年に1日」(差9.7%)、「年に10日以上」(差8.3%)が多く、対して3歳以上の親は「年に2日」(差7.9%)、「年に3日」(差8.4%)、「年に6～9日」(差7.0%)が多い。

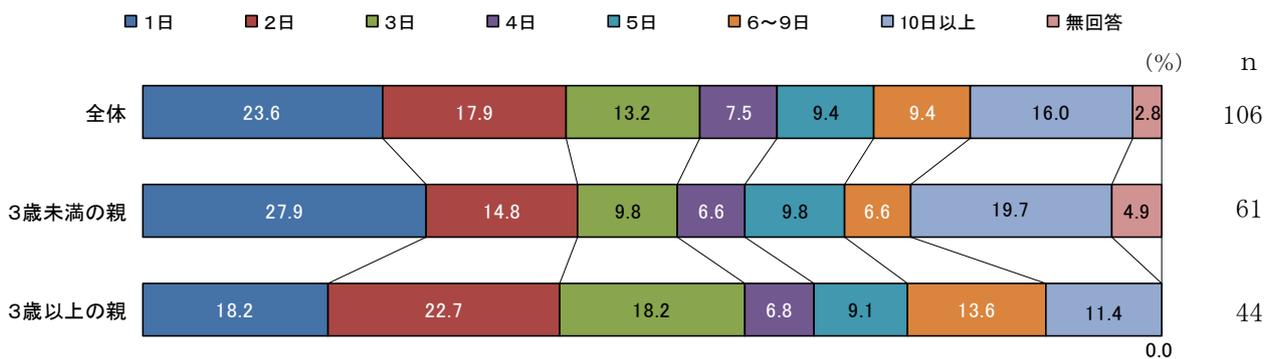


図 病児・病後児デイケア事業を利用した日数

(2) あて名のお子さんが病気やケガで、もっとも多く利用している教育・保育の事業が利用できないときに、「できれば病児・病後児のための保育施設を利用したい」と思われますか。(1つ)

◇ 全体では「利用を希望しない」が56.3%、次いで「父親、母親が休めないときは利用したい」が31.2%となっている。

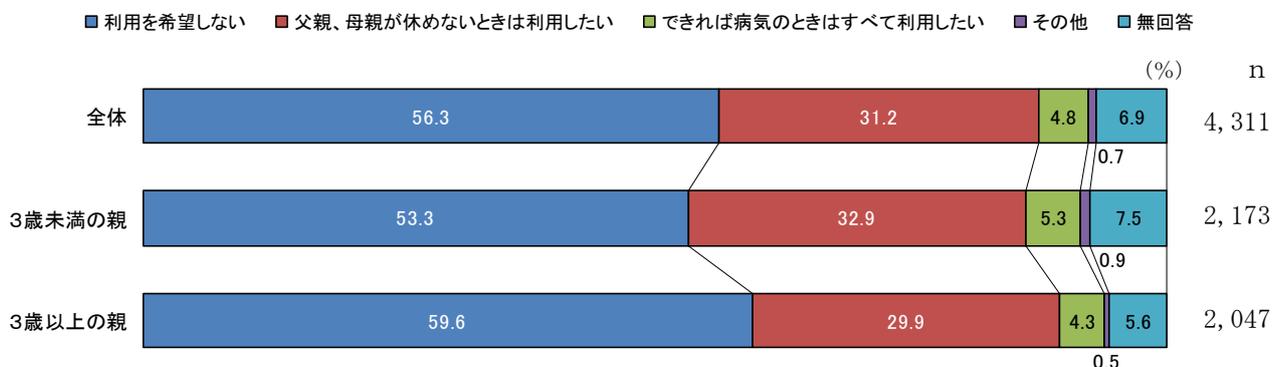


図 病児・病後児保育施設の利用希望

【5年前からの変化】

・全体では、病児、病後児保育施設の利用として、利用を希望しない人が約13%増え、両親が休めないときは利用したい人が約17%減った。

『病児・病後児保育（就学前 問9）と世帯の暮らし向き（就学前 問13）』

◎ 病児・病後児保育について、家庭の経済状況にゆとりがあるほうが「希望しない」割合が高い。家庭の経済状況が「やや苦しい」「苦しい」と回答している人の約40%が利用を希望している。

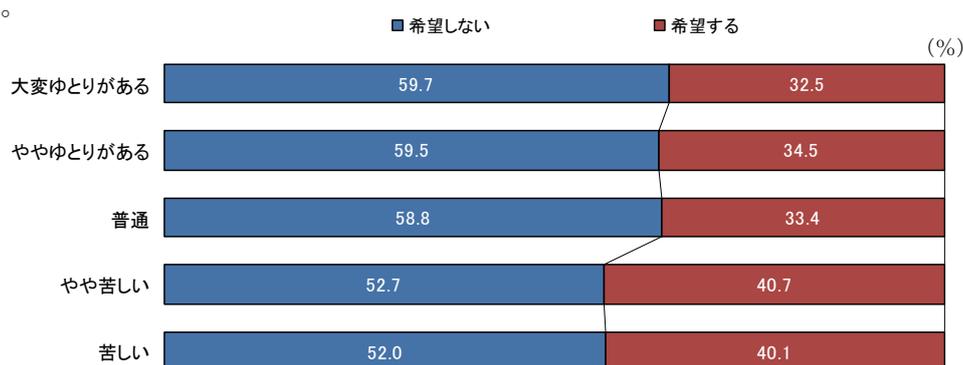


図 病児・病後児保育の利用希望と暮らし向きの意識

【利用希望日数】

<父親、母親が休めないときは利用したい>

- ◇ 全体では「年に5～9日」が28.7%、「年に10～14日」が21.4%、「年に1～4日」が19.5%となっている。
- ◇ 3歳未満の親では「年に5～9日」が25.6%、「年に10～14日」が24.8%、「年に1～4日」が15.9%となっている。
- ◇ 3歳以上の親では「年に5～9日」が32.5%、「年に1～4日」が23.0%、「年に10～14日」が17.6%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「年に10～14日」（差7.2%）が多く、対して3歳以上の親は「年に1～4日」（差7.1%）、「年に5～9日」（差6.9%）が多くなっており、3歳未満の親のほうが10日以上の利用を希望する割合が高い。

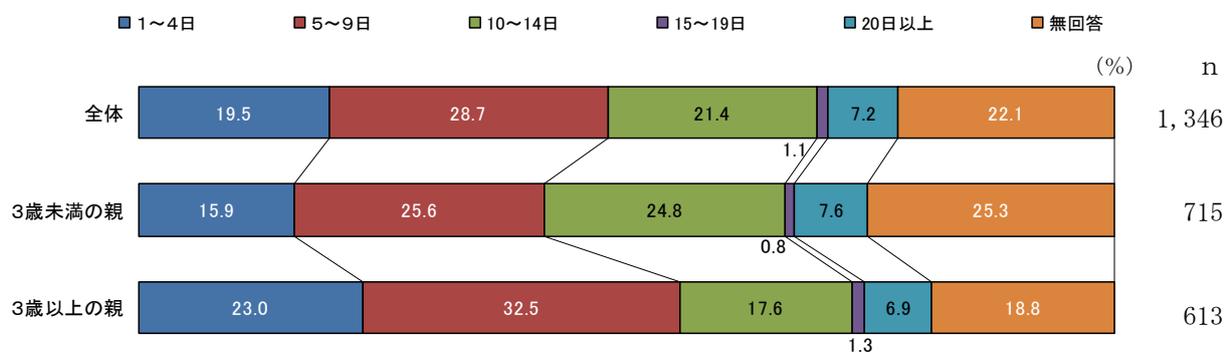


図 病児・病後児保育施設の希望する利用日数：両親が休めないとき

【5年前からの変化】

- ・全体では、病児、病後児保育施設の利用日数として、年に1～4日、年に10～14日が約6%減った。

<できれば病気のときはすべて利用したい>

- ◇ 全体では「年に5～9日」、「年に20日以上」、「年に10～14日」がほぼ同じ割合で、それぞれ約20%以上を占める。
- ◇ 3歳未満の親では「年に20日以上」が25.9%、「年に10～14日」が23.3%、「年に5～9日」が17.2%となっている。
- ◇ 3歳以上の親では「年に5～9日」が29.2%、「年に10～14日」が18.0%、「年に20日以上」が16.9%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「年に10～14日」（差5.3%）、「年に20日以上」（差9.0%）が多く、対して3歳以上の親は「年に1～4日」（差4.6%）、「年に5～9日」（差12.0%）が多くなっており、3歳未満の親のほうが10日以上の利用を希望する割合が高い。

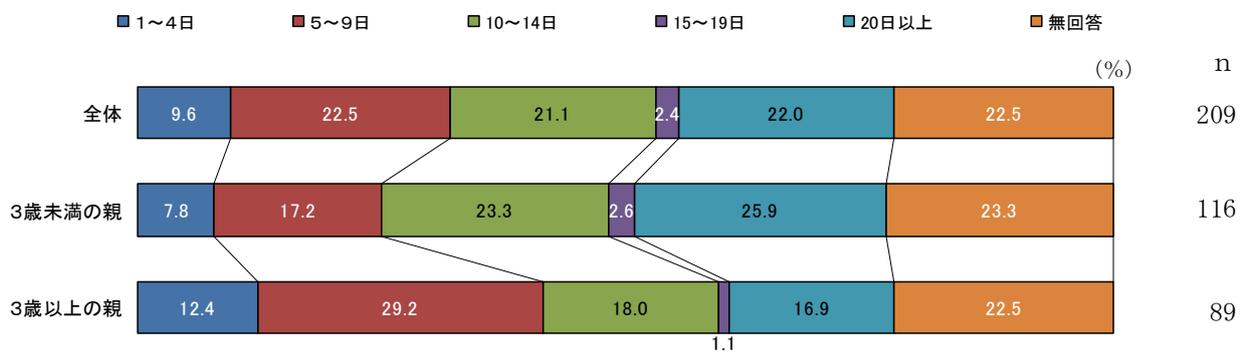


図 病児・病後児保育施設の希望する利用日数：病気のときはすべて

【5年前からの変化】

- ・全体では、病児、病後児デイケア事業の利用日数として、年に10～14日が約16%、年に1～4日が約6%減った。

(2) - 1. 利用を希望しないのはなぜですか。(複数回答)

◇ 全体では「父親または母親が仕事を休んで対処する」が48.5%と最も多く、次いで「病児・病後児を他人に看護してもらうのは不安」が38.1%となっている。また、「利用料がかかる、または高い」と「利用料が分からない」を合わせると33.9%である。

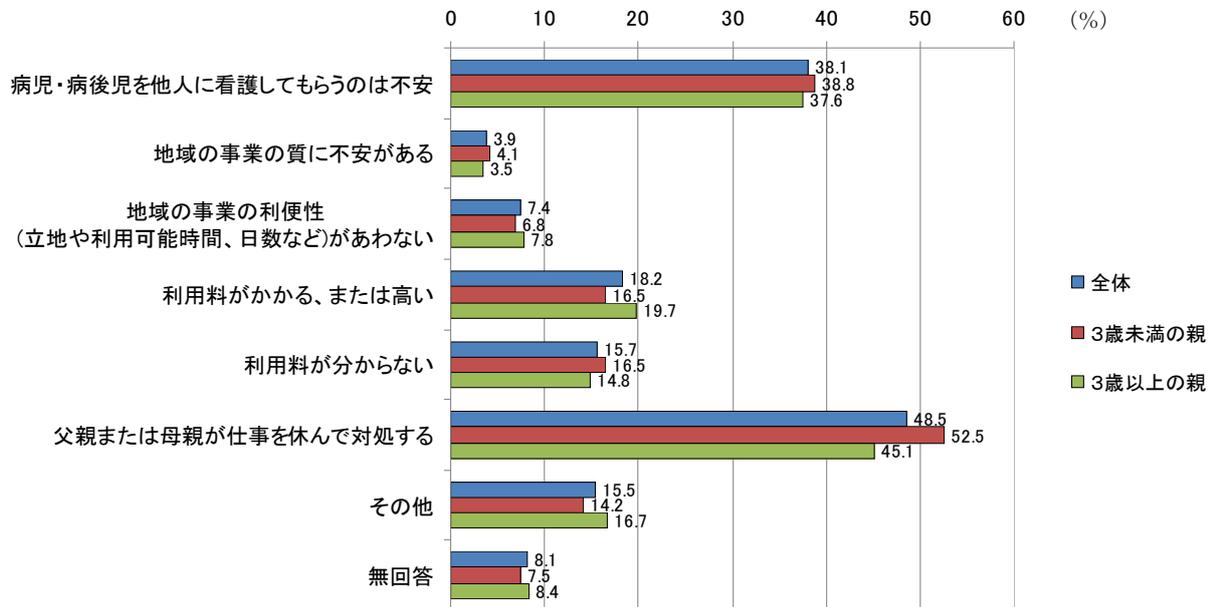


図 病児・病後児保育施設の利用を希望しない理由
 回答数 全体=3,768 3歳未満の親=1,819 3歳以上の親=1,872

(2) - 2. 利用する場合、いずれの事業形態が望ましいと思いますか。(複数回答)

◇ 全体では「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が79.4%と最も多く、次いで「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」が40.1%となっている。

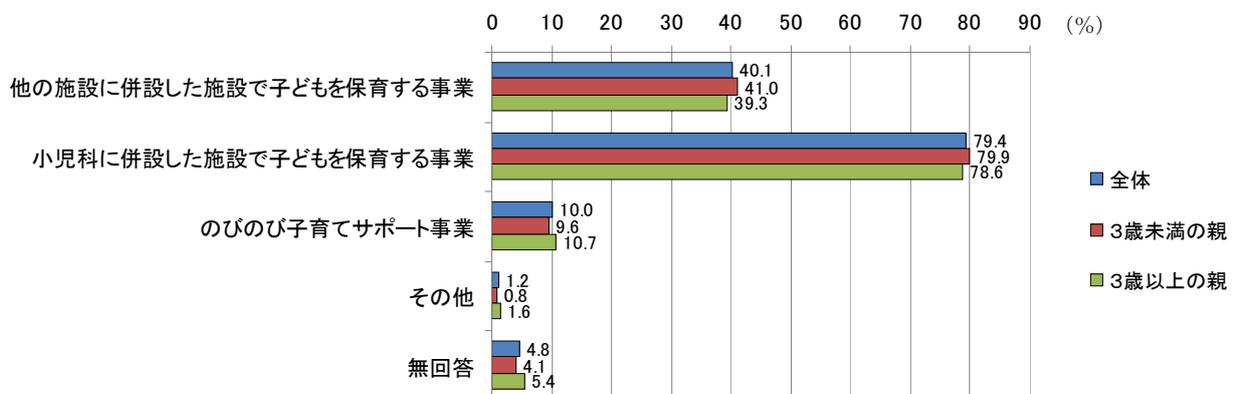


図 病児・病後児保育施設の希望する事業形態
 回答数 全体=2,107 3歳未満の親=1,126 3歳以上の親=952

お子さんの一時預かりについて（就学前） 【問10】

■この一年間で、日中の定期的な保育や病気のため以外に、あて名のお子さんについて一時預かり等を不定期に利用した事業はありましたか。（複数回答）

- ◇ 全体では「あった」が15.4%、「なかった」が83.1%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「なかった」（差4.7%）が多く、対して3歳以上の親は「あった」（差5.2%）が多くなっており、3歳以上の親のほうが利用率は高い。

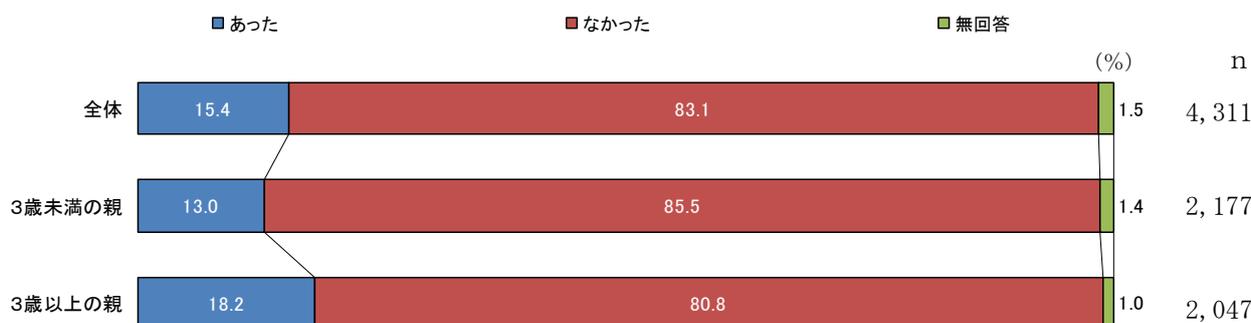


図 一時預かり等の利用有無

【理由】

- ◇ 全体では「私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的」が75.3%と最も多く、「冠婚葬祭、子どもの親の病気や妊娠・出産時」が20.3%、「不定期の就労」が17.1%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「冠婚葬祭、子どもの親の病気や妊娠・出産時」（差6.5%）が多く、対して3歳以上の親は「私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的」（差6.8%）が多い。

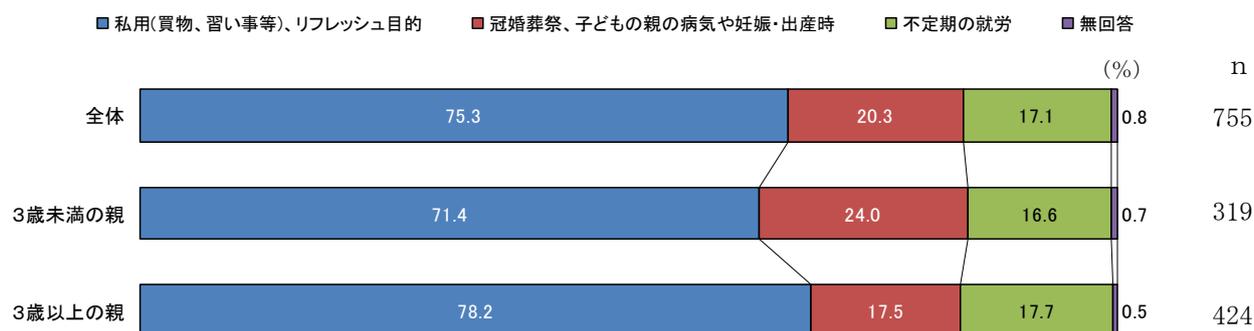


図 一時預かり等を利用した理由

(1) 利用した教育・保育の事業及び日数

ア. 私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的

- ◇ 全体では「幼稚園の預かり保育」が48.1%、次いで「一時保育事業（一時預かり）」が40.7%となっている。
- ◇ 3歳未満の親では「一時保育事業（一時預かり）」が76.7%、「その他」が14.4%となっている。
- ◇ 3歳以上の親では「幼稚園の預かり保育」が79.7%、「一時保育事業（一時預かり）」が14.8%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「一時保育事業（一時預かり）」（差61.9%）が多く、対して3歳以上の親は「幼稚園の預かり保育」（差76.2%）が多くなっており、子どもの年齢によって利用する事業が異なる。

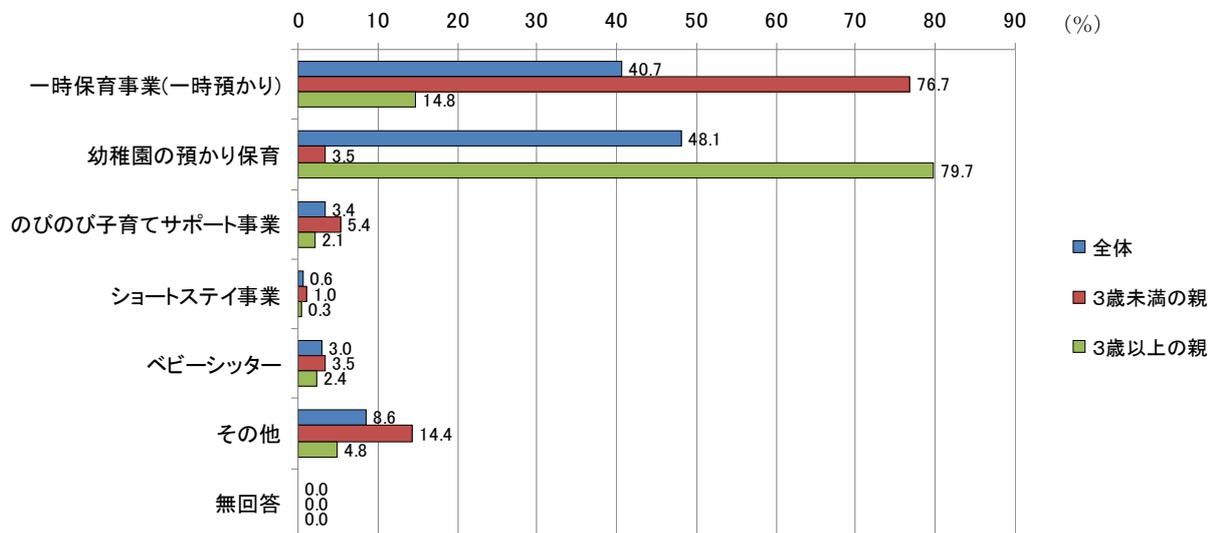


図 一時預かり等で利用した教育・保育事業：私用、リフレッシュ目的
 回答数 全体=523 3歳未満の親=211 3歳以上の親=303

【利用日数】

1. 一時保育事業（一時預かり）

- ◇ 全体では「年に1～4日」が58.3%、「年に5～9日」が20.6%、「年に10～14日」が8.3%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「年に1～4日」（差4.7%）、「年に15～19日」（差4.5%）が多く、対して3歳以上の親は「年に20日以上」（差4.1%）が多い。

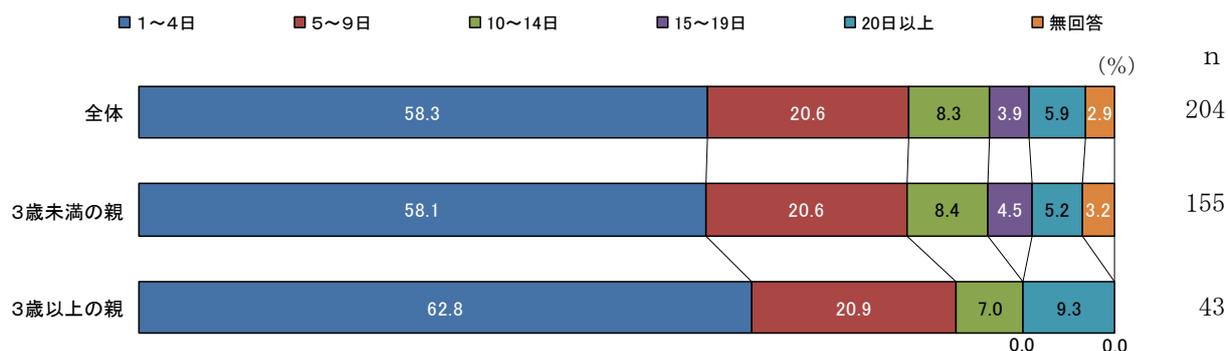


図 一時保育事業（一時預かり）の利用日数：私用、リフレッシュ目的

【5年前からの変化】

- ・全体では、一時保育事業の利用日数として、年に1～4日が約12%、年に5～9日が約4%増えた。
- ・全体では、年に10～14日が約10%、年に20日以上が約8%減った。

2. 幼稚園の預かり保育

- ◇ 3歳以上の親では「年に1～4日」が41.4%、次いで「年に5～9日」が19.0%となっている。

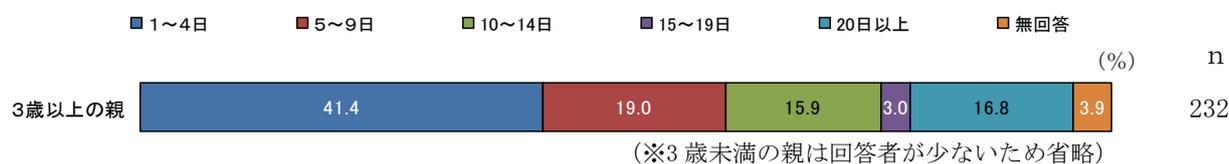


図 幼稚園の預かり保育の利用日数：私用、リフレッシュ目的

イ. 冠婚葬祭、子どもの親の病気や妊娠・出産時

- ◇ 全体では「幼稚園の預かり保育」が52.6%、次いで「幼稚園の預かり保育」が26.7%となっている。
- ◇ 3歳未満の親では「一時保育事業（一時預かり）」が73.5%、「その他」が11.8%となっている。
- ◇ 3歳以上の親では「幼稚園の預かり保育」が50.8%、「一時保育事業（一時預かり）」が29.2%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「一時保育事業（一時預かり）」（差44.3%）が多く、対して3歳以上の親は「幼稚園の預かり保育」（差46.4%）が多くなっており、子どもの年齢によって利用する事業が異なる。

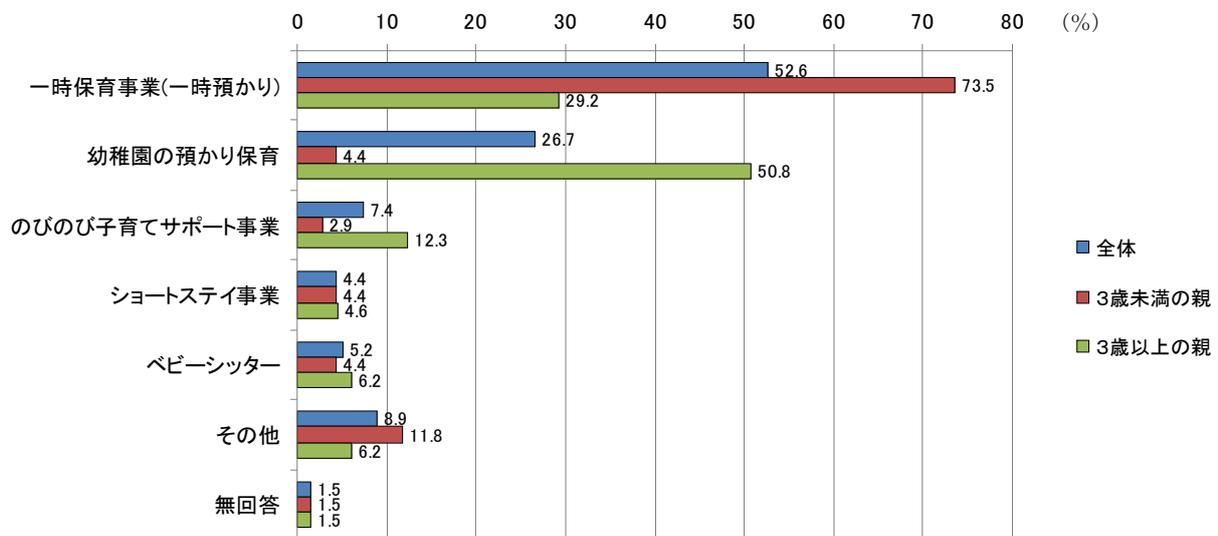


図 一時預かり等で利用した教育・保育事業：冠婚葬祭、病気や妊娠・出産時

回答数 全体=144 3歳未満の親=70 3歳以上の親=72

【利用日数】

1. 一時保育事業（一時預かり）

- ◇ 全体では「年に1～4日」が60.6%、「年に5～9日」が12.7%、「年に10～14日」が8.5%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「年に1～4日」（差11.4%）が多く、対して3歳未満の親は「年に5～9日」（差11.1%）、「年に20日以上」（差14.3%）が多くなっており、3歳以上の親のほうがより多い利用日数を希望している。

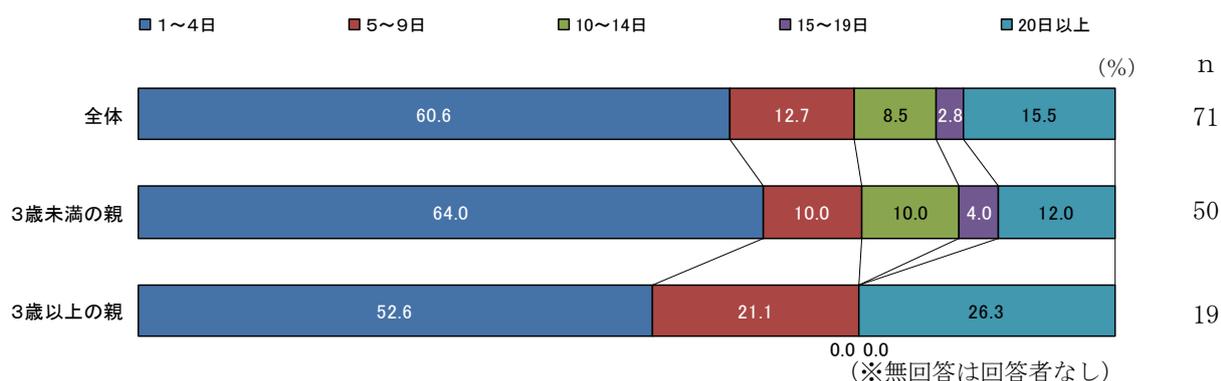


図 一時保育事業（一時預かり）の利用日数：冠婚葬祭、病気や妊娠・出産時

【5年前からの変化】

- ・全体では、一時保育事業の利用日数として、年に20日以上が約8%、年に5～9日が約4%増えた。

2. 幼稚園の預かり保育

- ◇ 3歳以上の親では「年に1～4日」が72.7%、次いで「年に5～9日」が12.1%となっている。

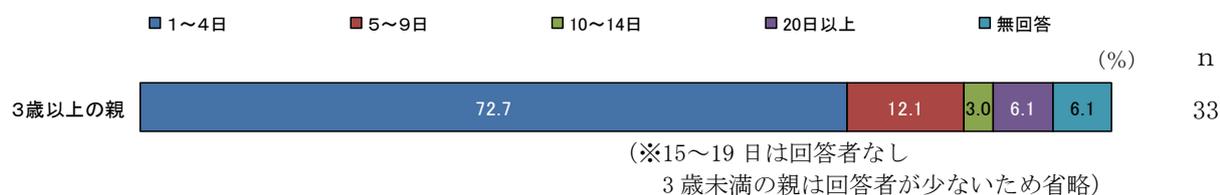


図 幼稚園の預かり保育の利用日数：冠婚葬祭、病気や妊娠・出産時

ウ. 不定期の就労

- ◇ 全体では「一時保育事業（一時預かり）」が51.8%、次いで「幼稚園の預かり保育」が28.1%となっている。
- ◇ 3歳未満の親では「一時保育事業（一時預かり）」が72.3%、「その他」が21.3%となっている。
- ◇ 3歳以上の親では「幼稚園の預かり保育」が47.0%、「一時保育事業（一時預かり）」が36.4%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「一時保育事業（一時預かり）」（差35.9%）、「その他」（差15.2%）が多く、対して3歳以上の親は「幼稚園の預かり保育」（差44.9%）が多くなっており、子どもの年齢によって利用する事業が異なる。

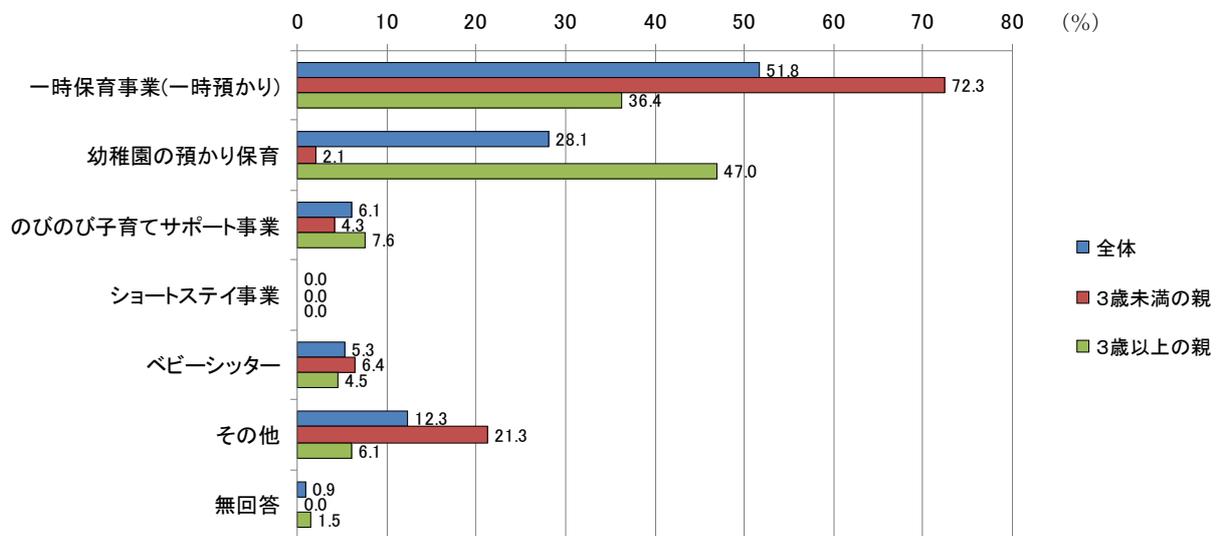


図 一時預かり等で利用した教育・保育事業：不定期の就労
 回答数 全体=119 3歳未満の親=50 3歳以上の親=68

【利用日数】

1. 一時保育事業（一時預かり）

- ◇ 全体では「年に1～4日」が49.2%、「年に10～14日」が16.9%、「年に20日以上」が15.3%となっている。
- ◇ 3歳未満の親では「年に1～4日」が52.9%、「年に20日以上」が17.6%、「年に10～14日」が14.7%となっている。
- ◇ 3歳以上の親では「年に1～4日」が41.7%、「年に10～14日」が20.8%、「年に5～9日」が16.7%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「年に1～4日」（差11.2%）、「年に20日以上」（差5.1%）が多く、対して3歳以上の親は「年に5～9日」（差13.8%）、「年に10～14日」（差6.1%）が多い。

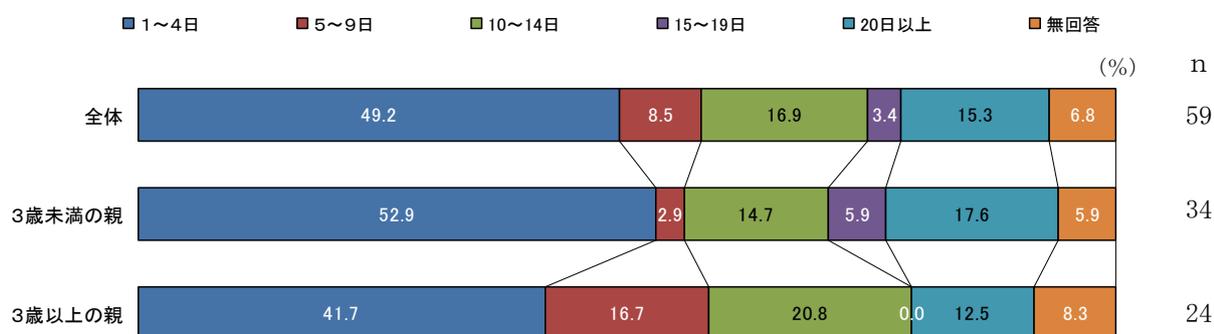


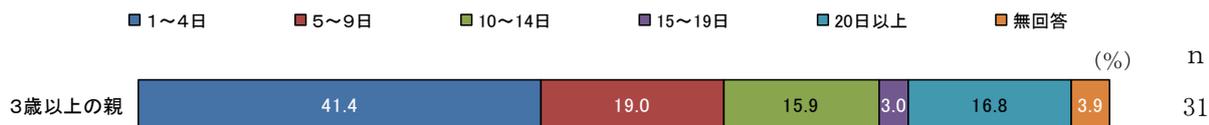
図 一時保育事業（一時預かり）の利用日数：不定期の就労

【5年前からの変化】

- ・全体では、一時保育事業の利用日数として、年に1～4日が約22%、年に10～14日が約9%、年に15～19日が約3%増えた。
- ・全体では、年に20日以上が約11%減った。

2. 幼稚園の預かり保育

- ◇ 3歳以上の親では「年に1～4日」が41.4%、次いで「年に5～9日」が19.0%となっている。



(※3歳未満の親は回答者が少ないため省略)

図 幼稚園の預かり保育の利用日数：不定期の就労

(2) 現在利用していない理由は何ですか。(複数回答)

◇ 全体では「特に利用する必要がない」が76.0%と最も多く、次いで「事業の利用方法(手続き等)がわからない」が16.0%、「利用料がかかる、または高い」が14.1%、「利用料がよくわからない」が10.9%、「自分が事業の対象者になるのかどうかわからない」9.9%となっている。

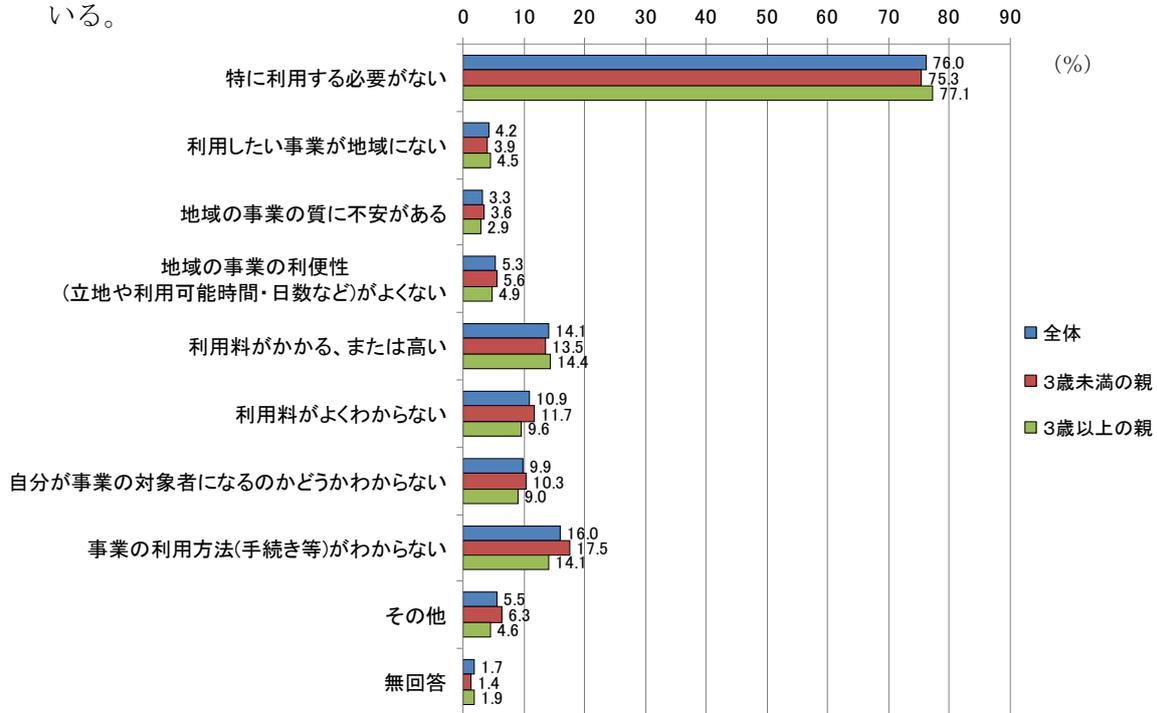


図 一時預かり等を利用しなかった理由

回答数 全体=5,261 3歳未満の親=2,774 3歳以上の親=2,366

『一時預かり(就学前 問10)と子育ての経済的負担(就学前 問13)』

◎ 「子育てに対して経済的負担を感じるか」という質問に「とても感じる・感じる」と答えた人の約20%が一時預かりを利用しない理由に「利用料がかかる、または高い」と回答しているが、「どちらともいえない」「あまり感じない・感じない」と答えた人は10%を下回っている。また、「事業の利用方法が分からない」「自分が事業の対象者になるかどうか分からない」などを理由に一時預かりを利用していない割合も高い。

(%)

とても感じる・感じる	どちらともいえない	あまり感じない・感じない
①利用料がかかる、または高い (19.5)	①自分が事業の対象者になるかどうか分からない (14.9)	①事業の利用方法が分からない (11.4)
②事業の利用方法が分からない (18.6)	②利用料がよく分からない (11.0)	②利用料がかかる、または高い (6.2)
③利用料がよく分からない (13.3)	③利用料がかかる、または高い (9.7)	③利用料がよく分からない (6.1)
		③自分が事業の対象者になるかどうか分からない (6.1)

(3) 今後、私用、保護者の通院、不定期の就労等の目的で、一時預かり等不定期の事業を利用する必要があると思いますか。(1つ)

◇ 全体では「利用する必要がある」が38.3%、「利用する必要はない」が58.8%となっている。

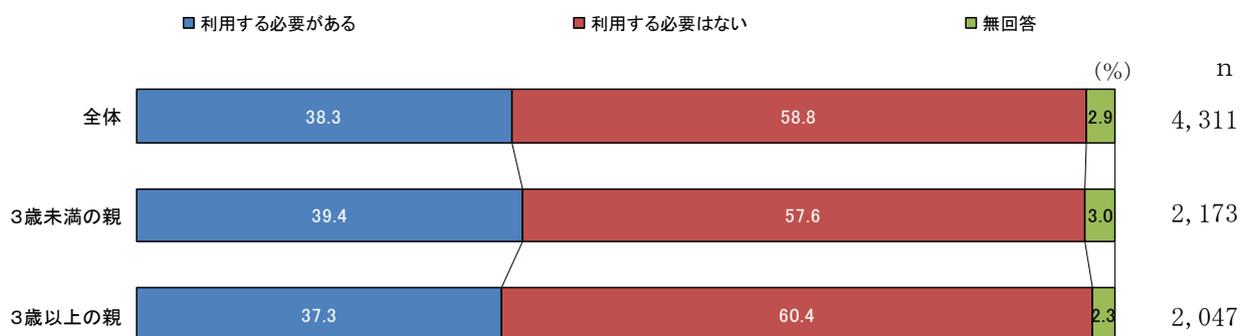


図 今後の一時預かり等の利用有無

【理由】

◇ 全体では「冠婚葬祭、学校行事、子どもの保護者の病気、通院」が56.9%と最も多く、次いで「私用(買物、習い事等)、リフレッシュ目的」の52.9%となっており、ともに半数を超える。

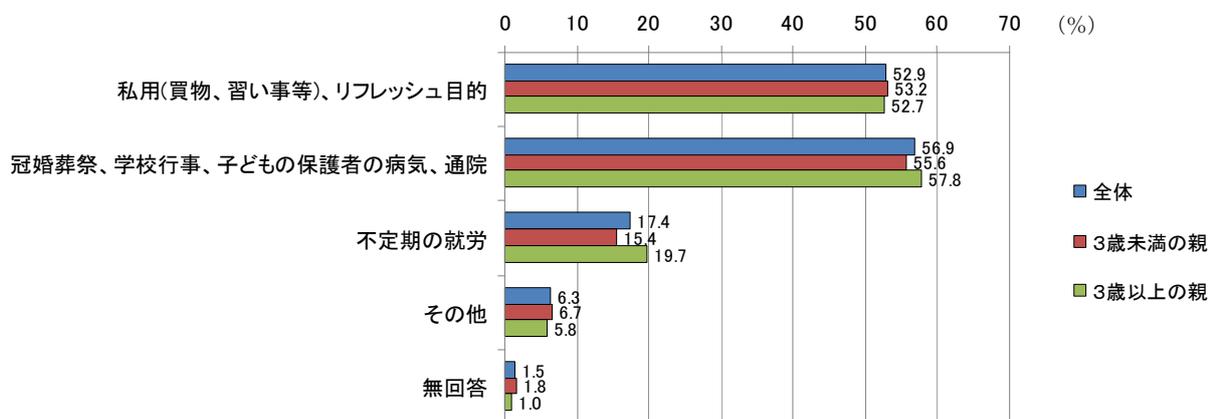


図 今後の一時預かり等の利用する理由

回答数 全体=2,229 3歳未満の親=1,135 3歳以上の親=1,045

【利用日数】

ア. 私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的

◇ 全体では「年に15～19日」が29.7%、「年に1～4日」が25.8%、「年に5～9日」が20.0%となっている。

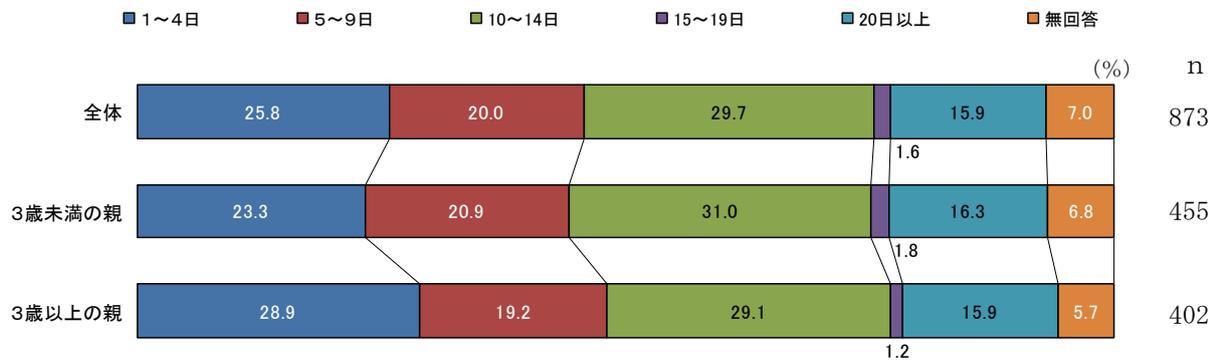


図 今後の一時預かり等の利用日数：私用、リフレッシュ目的

イ. 冠婚葬祭、学校行事、子どもの保護者の病気、通院

◇ 全体では「年に1～4日」が31.3%、「年に5～9日」が26.8%、「年に10～14日」が22.2%となっている。

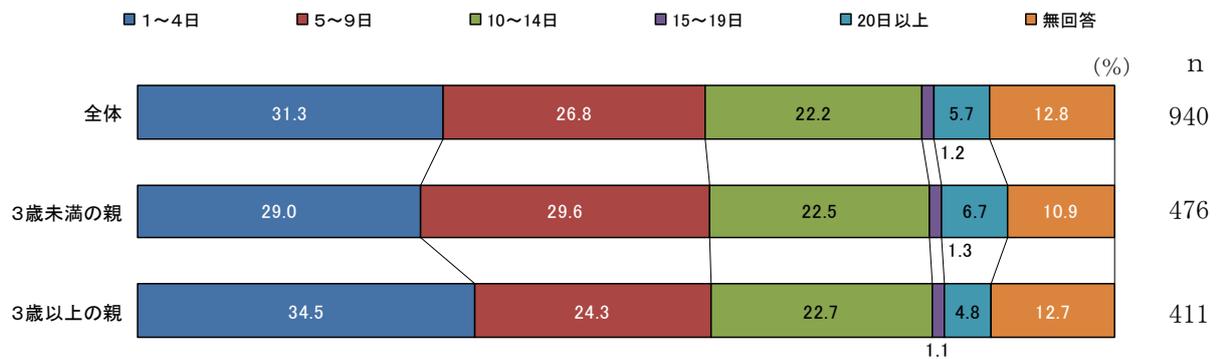


図 今後の一時預かり等の利用日数：冠婚葬祭、学校行事、病気や通院

ウ. 不定期の就労

- ◇ 全体では「年に20日以上」が30.2%、次いで「年に10～14日」が21.2%となっている。
- ◇ 3歳以上の親は「年に10日未満」が34.0%（差2.2%）、「年に10日以上」が55.4%（差6.1%）となっている。

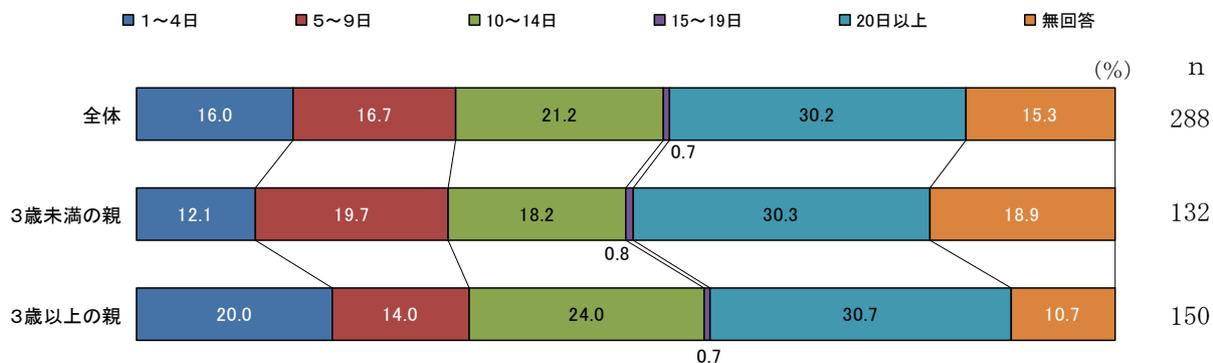


図 今後の一時預かり等の利用日数：不定期の就労

エ. その他

- ◇ 全体では「年に1～4日」が24.0%、次いで「年に20日以上」が19.2%となっている。
- ◇ 3歳未満の親では「年に1～4日」が26.3%、「年に5～9日」が22.8%、「年に20日以上」が12.3%となっている。
- ◇ 3歳以上の親では「年に10～14日」「年に20日以上」が25.0%、「年に1～4日」が22.7%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「年に5～9日」（差13.7%）が多く、対して3歳以上の親は「年に10～14日」（差19.7%）、「年に20日以上」（差12.7%）が多くなっており、3歳以上の親のほうがより多い利用日数を希望している。

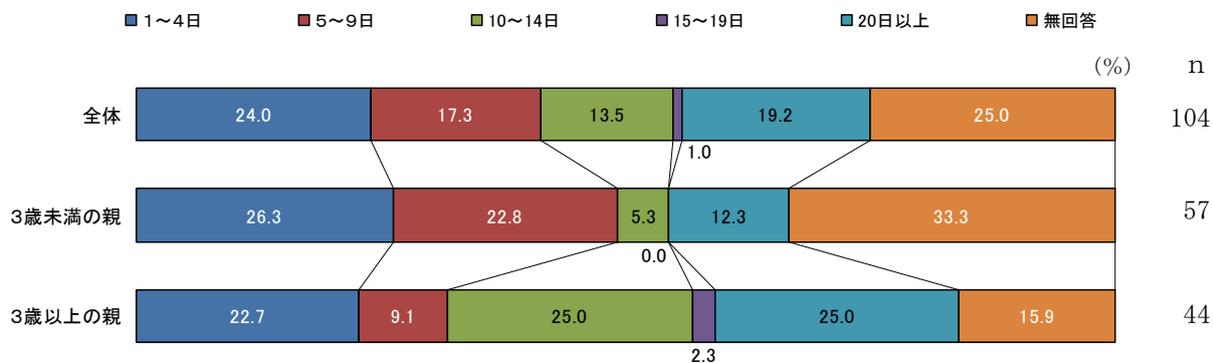


図 今後の一時預かり等の利用日数：その他

宿泊をとまなうお子さんの一時預かりについて（就学前）

【問10】

(4) この1年間に、保護者の用事により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。(1つ)

◇ 全体では「あった」が19.0%、「なかった」が78.9%となっている。

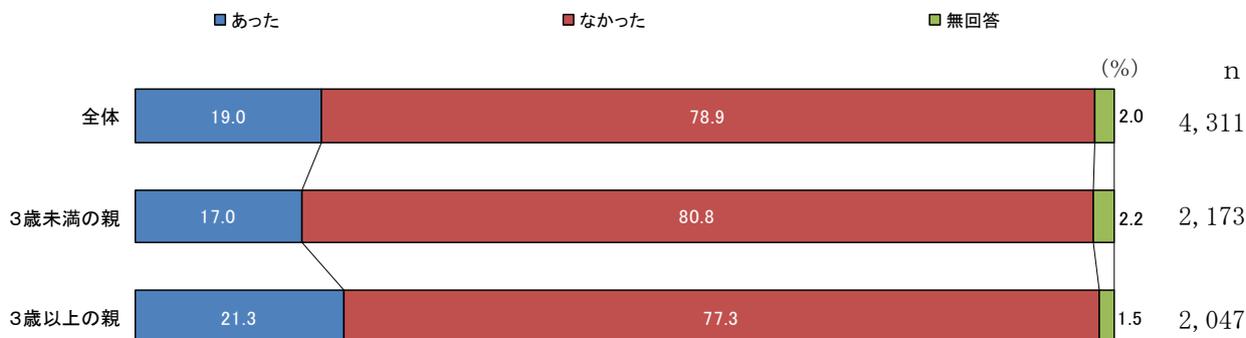


図 泊りがけで家族以外にみてもらったことがあるか

【5年前からの変化】

・全体では、泊りがけで家族以外にみてもらったことがあった割合は、約12%増えた。

【1年間の対処方法】

◇ 全体では「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」が85.5%と最も多く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」が16.6%となっている。

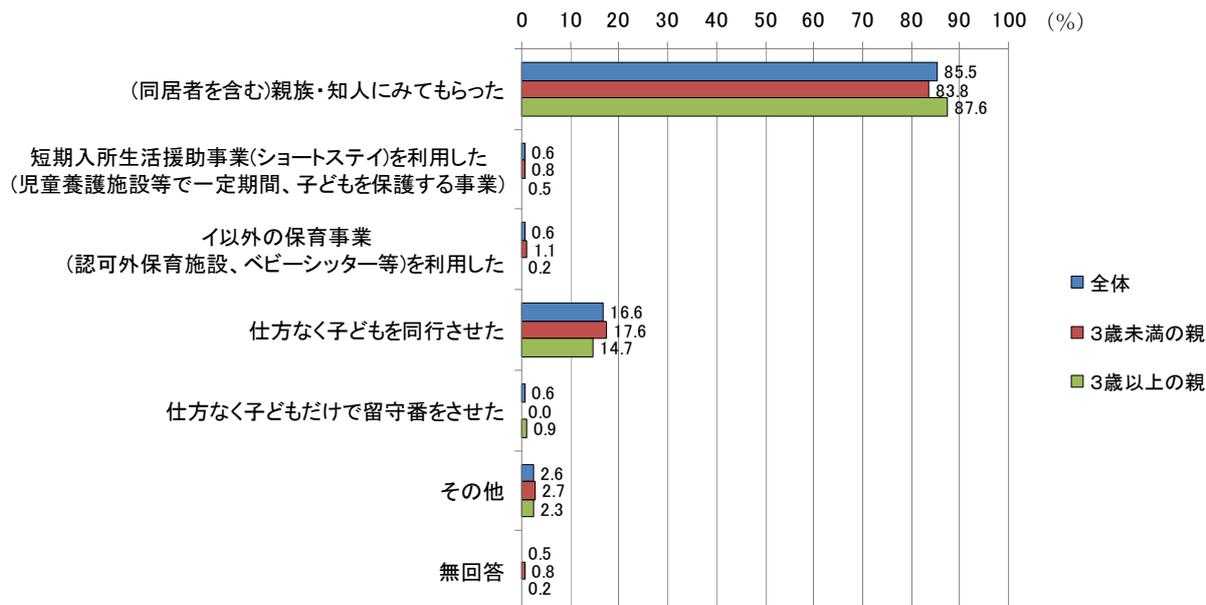


図 泊りがけで家族以外にみてもらった場合の対処方法

回答数 全体=877 3歳未満の親=395 3歳以上の親=463

【1年間の宿泊日数】

ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった

◇ 全体では「年に1～4泊」が58.8%、次いで「年に5～9泊」が22.3%となっている。

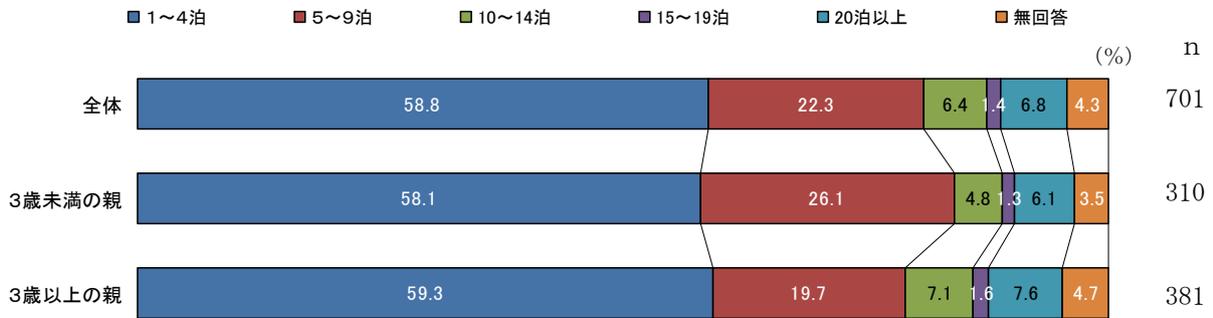


図 親族・知人にみてもらった：宿泊日数

エ. 仕方なく子どもを同行させた

◇ 全体では「年に1～4泊」が59.6%、次いで「年に5～9泊」が14.0%となっている。

◇ 3歳未満の親は「年に5～9泊」(差4.4%)が多く、対して3歳以上の親は「年に10～14泊」(差4.7%)が多い。

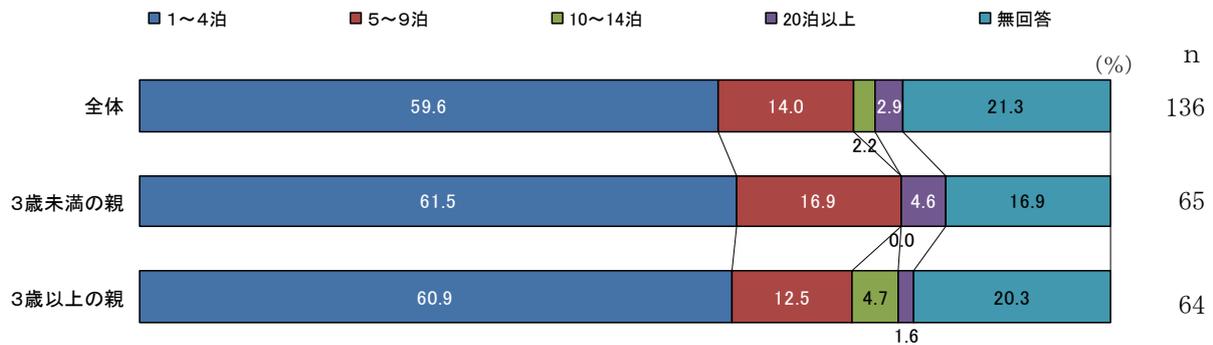


図 仕方なく子どもを同行させた：宿泊日数

■保育事業についてうかがいます。

【参考】

保 育 事 業	内 容
一時保育事業	保護者の方が、①傷病、親族の看護、冠婚葬祭などのやむを得ない事由により緊急・一時的に家庭で保育ができない場合、②週3日以内の就労などにより断続的に家庭で保育できない場合、③子育てのリフレッシュを希望される場合に就学前のお子さんを指定する保育所で保育します。
病児・病後児デイケア事業	病気及び病後回復期にある小学校3年生までのお子さんを勤務等の都合により家庭での保育ができないときに、一時的に保育しじます。
延長保育事業	保育所に通っているお子さんについて、通常の保育終了時間を延長して保育します。事業を実施している保育所に通っているお子さんが利用できます。
休日保育事業	日曜、祝日に保護者の方が勤務等により家庭で保育できないときに、お子さんを指定する保育所で保育します。事業を実施している保育所以外の保育所に通っているお子さんも利用できます。
産休あけ・育休あけ入所予約事業	出産予定日の8週間前の日以降に入所予定日を特定して保育所への入所予約ができます。入所予約できるのは、指定保育所のみであり、利用できる定員には各保育所の状況により限度があります。

(1) 事業について

- ◇ 認知度の高い事業は、「延長保育事業」が84.6%、「一時保育事業」が66.6%となっている。
- ◇ 認知度の低い事業は、「休日保育事業」が58.4%、「産休・育休あけ入所予約事業」が54.5%となっている。

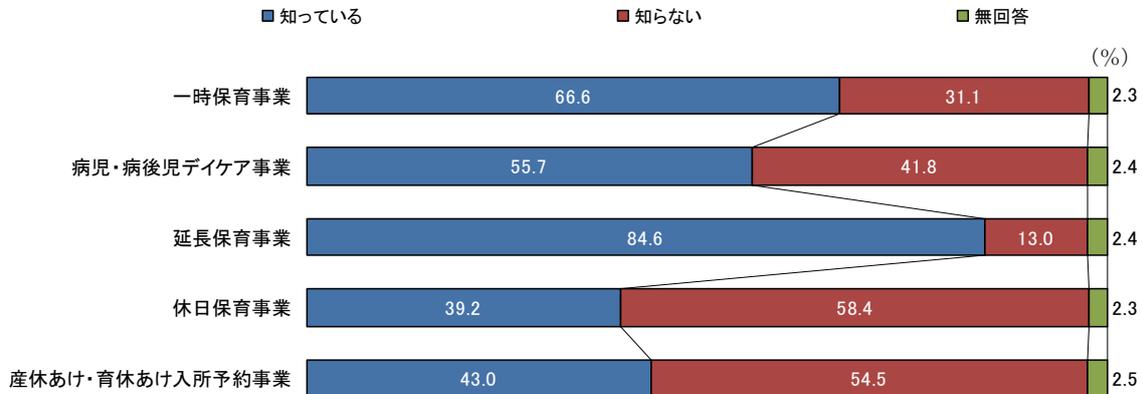


図 保育事業について：認知度
回答数 全体=4,311

【5年前からの変化】

- ・一時保育事業について知っている人が約12%増え、知らない人が約10%減った。
- ・病児、病後児デイケア事業について知っている人が約17%増え、知らない人が約15%減った。
- ・延長保育事業について知っている人が約8%増え、知らない人が約6%減った。
- ・休日保育事業について知っている人が約10%増え、知らない人が約8%減った。
- ・産休、育児あけ入所予約事業について知っている人が約6%増え、知らない人が約3%減った。

(2) 利用の有無

- ◇ 利用実績の高い事業は、「延長保育事業」が33.0%、「一時保育事業」が16.6%となっている。
- ◇ 利用実績の低い事業は、「休日保育事業」が92.3%、「病児・病後児デイケア事業」が90.5%となっている。

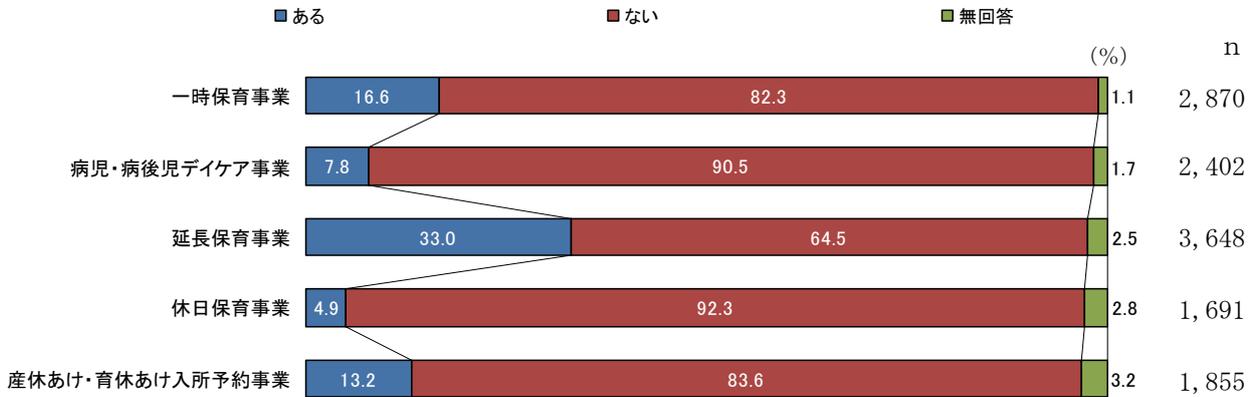


図 保育事業について：利用の有無

【5年前からの変化】

- ・一時保育事業を利用したことがある人が約11%増えた。
- ・病児、病後児デイケア事業を利用したことがある人が約6%増え、利用したことがない人が約8%減った。
- ・延長保育事業を利用したことがある人が約10%増えた。
- ・休日保育事業を利用したことがない人が約10%、利用したことがある人が約4%増えた。
- ・産休、育休あけ入所予約事業を利用したことがある人が約8%増えた。

(3) 満足度

- ◇ 満足度の高い事業は、「延長保育事業」が81.2%、「休日保育事業」が75.9%となっている。
- ◇ 満足度の低い事業は、「産休・育休あけ入所予約事業」が25.7%、「病児・病後児デイケア事業」が10.2%となっている。

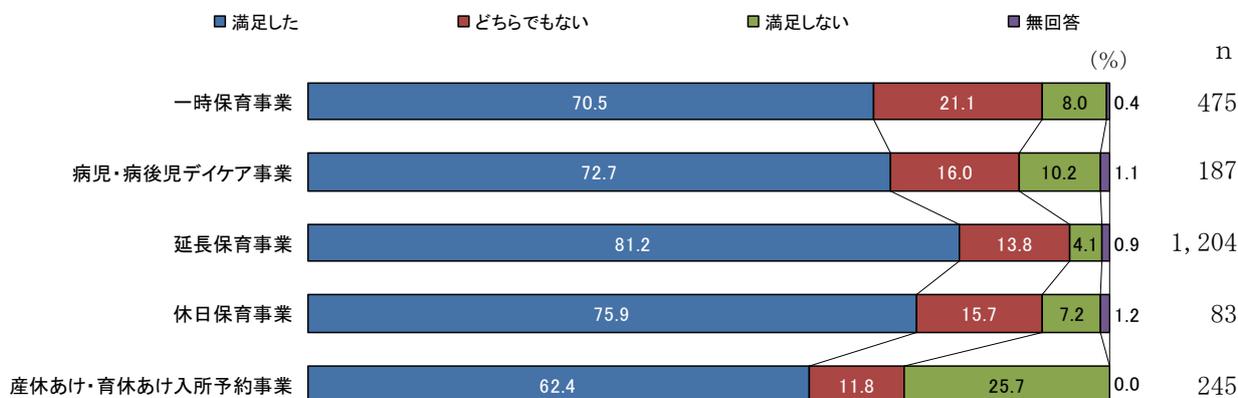


図 保育事業について：満足度

【5年前からの変化】

- ・一時保育事業を利用して満足した人が約7%増え、満足しなかった人が約6%減った。
- ・病児、病後児デイケア事業を利用して満足しなかった人が約10%増え、満足した人が約11%減った。
- ・延長保育事業を利用して満足した人が約12%増えた。
- ・休日保育事業を利用して満足した人が約26%、満足しなかった人が約7%増えた。
- ・産休、育休あけ入所予約事業を利用して満足しなかった人が約20%増え、満足した人が約5%減った。

(4) 今後の利用希望

- ◇ 利用希望の多い事業は、「延長保育事業」が37.7%、「一時保育事業」が17.6%となっている。
- ◇ 利用希望の少ない事業は、「産休あけ・育休あけ入所予約事業」が24.8%、「休日保育事業」が20.9%となっている。

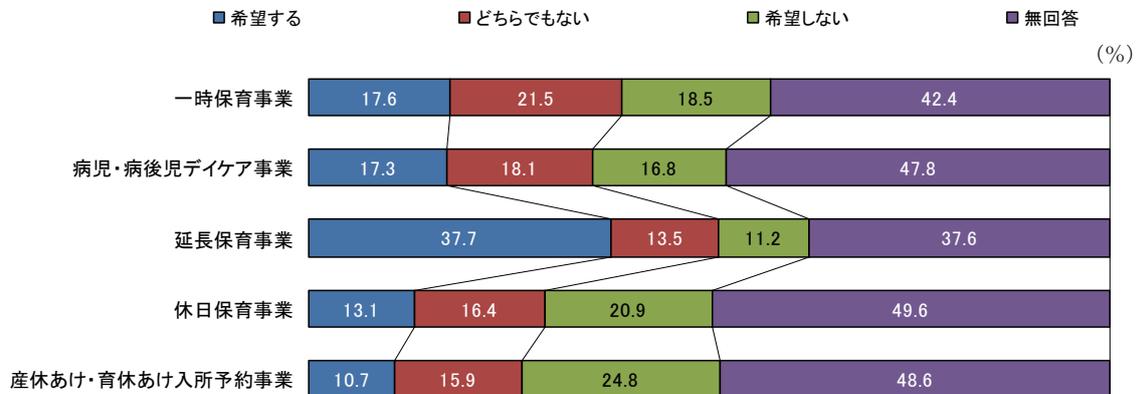


図 保育事業について：今後の利用希望
全体=4,311

【5年前からの変化】

- ・今後、一時保育事業の利用を希望する人が約4%減った。
- ・今後、病児、病後児デイケア事業の利用を希望する人が約5%減った。
- ・今後、休日保育事業の利用を希望する人が約5%、希望しない人が約4%減った。
- ・今後、産休、育休あけ入所予約事業の利用を希望しない人が約5%減った。

【あて名のお子さんが5歳以上の保護者のかた】

小学校就学後の過ごし方について（就学前） 【問12】

■小学校就学後の過ごし方についてうかがいます。

【参考】

事業	内容
トワイライトスクール (小学校施設を活用した放課後事業)	小学校施設を活用して、異学年の友達との遊びや学び、地域の方との交流、体験活動などの場を提供します。小学校に通うすべての子どもが対象となる事業です。 活動日時：月～土曜日の18時まで (土曜日と長期休業は午前より実施)
トワイライトルーム (小学校施設を活用した放課後事業)	トワイライトスクールの内容に加え、就労等で子育てへの援助を希望する家庭の子どもについて、その生活面でのサポート等を行う子ども指導員を配置するなど、より生活に配慮した取り組みを行います。17時を超えて利用する場合は一定の利用料（おやつ代等を含む）が必要となります。 活動日時：月～金曜日の19時まで。土曜日は18時まで。 (土曜日と長期休業は午前より実施)
学童保育	保護者が就労等により昼間家庭にいない子どもについて、その健全な育成を図るため、授業終了後等に適切な遊びと生活の場を提供します。開設時間や利用料（おやつ代等を含む）は、学童保育によって異なります。 活動日時：月～土曜日 ・民間学童：約9割が19時まで (土曜日と長期休業は午前より実施) 最短18時、最長22時まで ・児童館：13時から18時まで (長期休業は午前より実施)
のびのび子育てサポート事業	子育ての援助を行いたい方と受けたい方からなる会員組織により、一時的に子育ての手助けをシェア制度で、一定の利用料が必要となります。

(1) あて名のお子さんについて小学校に就学後、平日の放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(複数回答)

【過ごさせたい場所等】

◇ 「小学校施設を活用した放課後事業」が63.8%、「自宅」が61.8%、「習いごと」が60.6%、「学校で行われる部活動」が47.6%となっている。

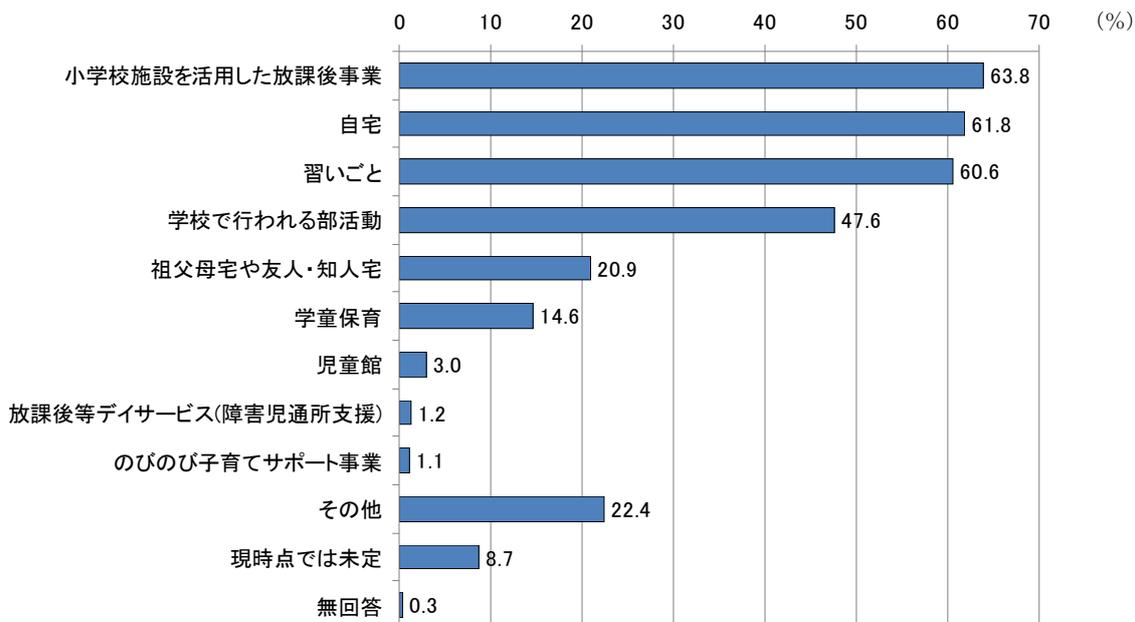


図 平日の放課後の過ごし方
回答数 5歳以上の親=2,752

『放課後の過ごし方(就学前 問12)との母親の就労状況(就学前 問3(3))』

◎ 放課後に過ごさせたい場所で「学童保育」と回答した母親の約70%、「小学校施設を活用した放課後事業」と回答した母親の約60%が就労している。

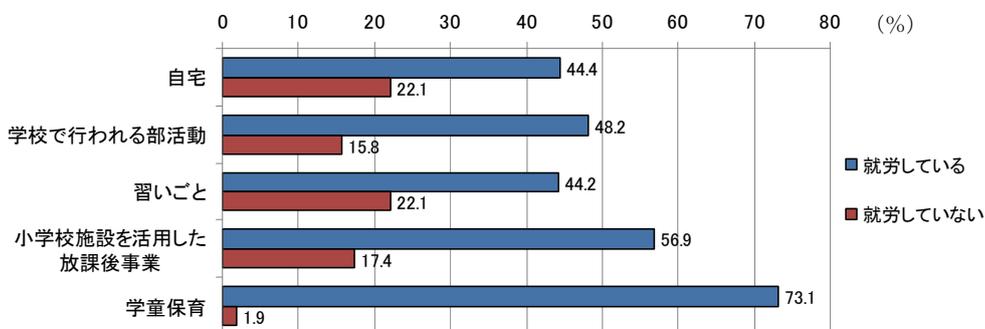


図 放課後に過ごさせたい場所と母親の就労状況

『放課後の過ごし方（就学前 問12）との世帯の暮らし向き（就学前 問13）』

◎ 放課後に過ごさせたい場所について、家庭の経済状況に「大変ゆとりがある」と回答した人は、低学年・高学年ともに「習いごと」の割合が約30%で、他の経済状況を回答した人よりも高い。

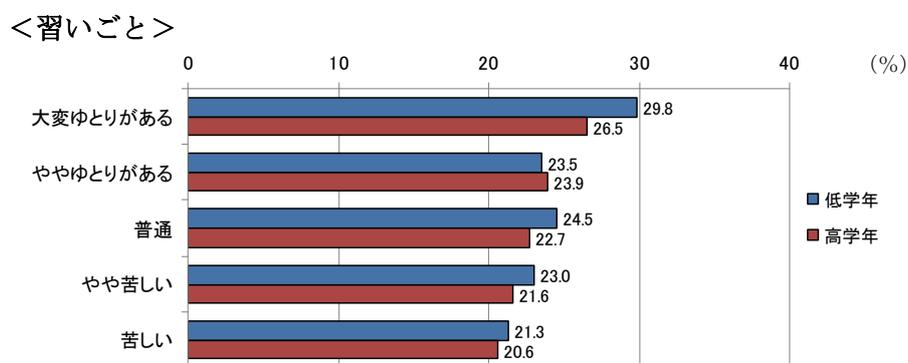


図 放課後に過ごさせたい場所（習いごと）と暮らし向きの意識

【1週間あたりの日数】

- ◇ 「学童保育」は「5日以上」の割合が70%以上と高く、1週間の過ごし方で最も日数が多い。
- ◇ 「祖父母宅や友人・知人宅」「児童館」は「1日」の割合が50%以上と高くなる。
- ◇ 「習いごと」は「2日」の割合が約半数を占める。

<小学校低学年（1～3年生）>

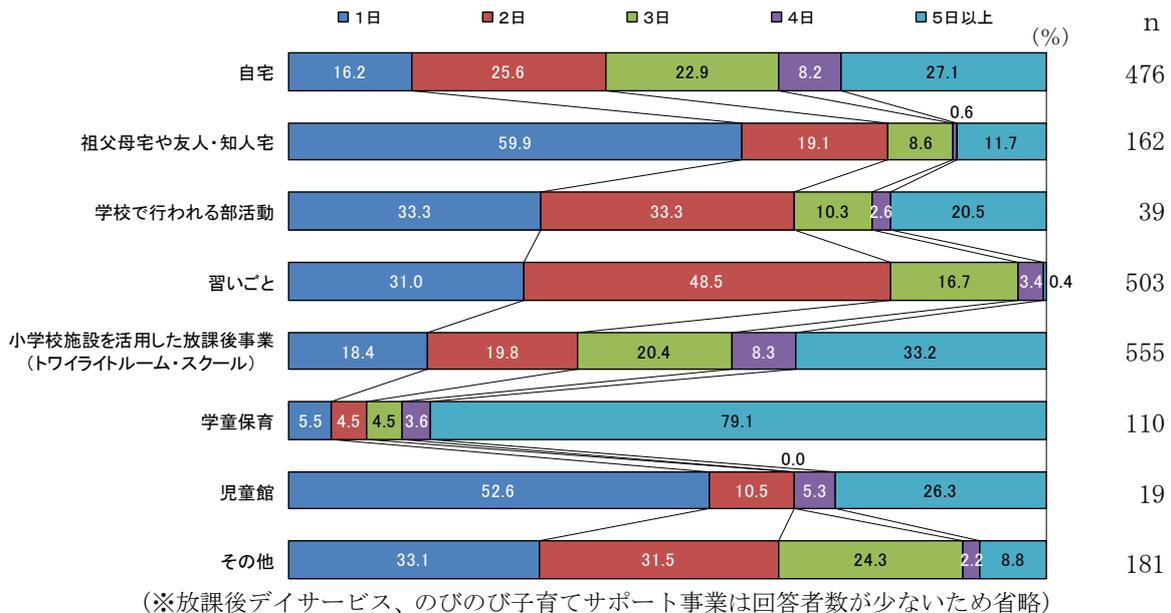


図 1週間あたりの利用日数（平日放課後）：小学校低学年

<小学校高学年（4～6年生）>

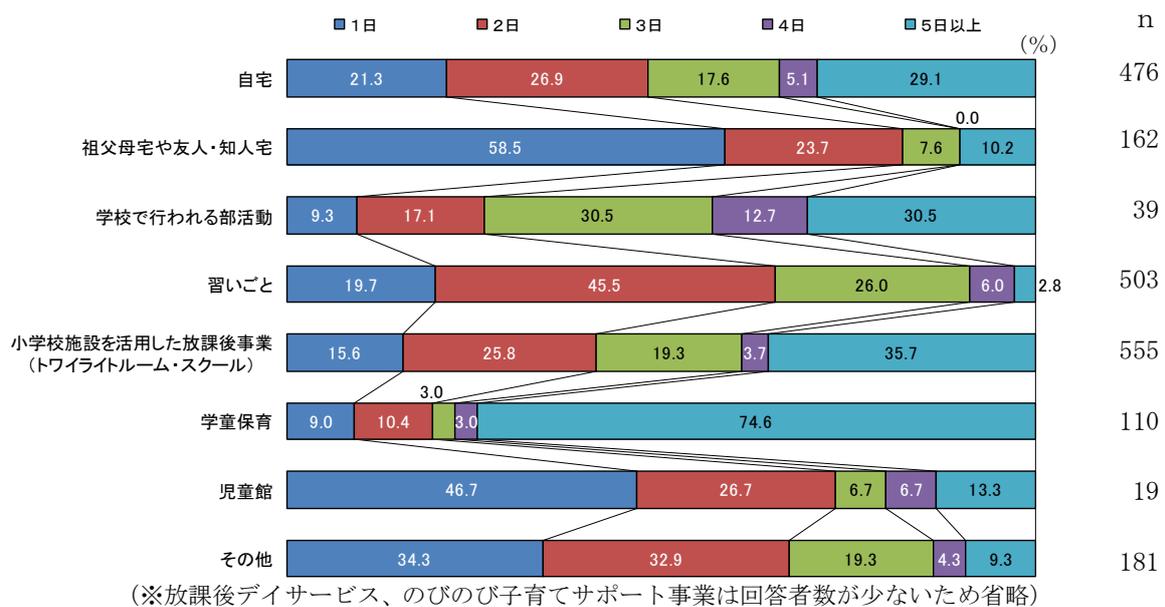


図 1週間あたりの利用日数（平日放課後）：小学校高学年

【利用終了時間】（放課後事業、学童保育のみ）

<小学校低学年（1～3年生）>

◇ 放課後事業は「17時まで」の割合が39.8%と高く、学童保育は「18時まで」の割合が97.3%と高い。放課後事業より学童保育のほうが長い時間過ごすことを希望している。

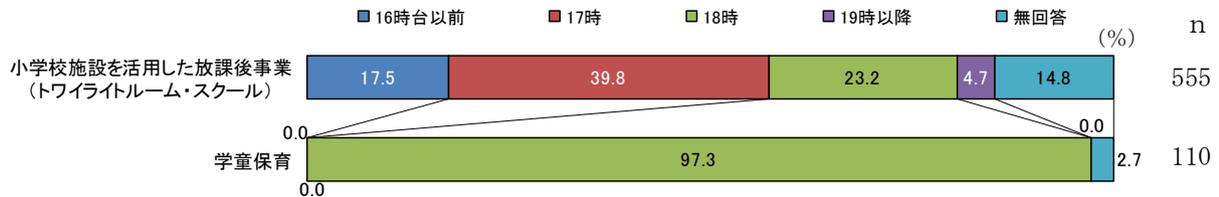


図 1 週間あたりの利用終了時間（平日放課後）：小学校低学年

<小学校高学年（4～6年生）>

◇ 放課後事業は「17時まで」の割合が32.8%、「18時まで」の割合が36.5%と高く、学童保育は「18時まで」の割合が95.5%と高い。高学年になると放課後事業の利用時間が低学年よりも長くなる。

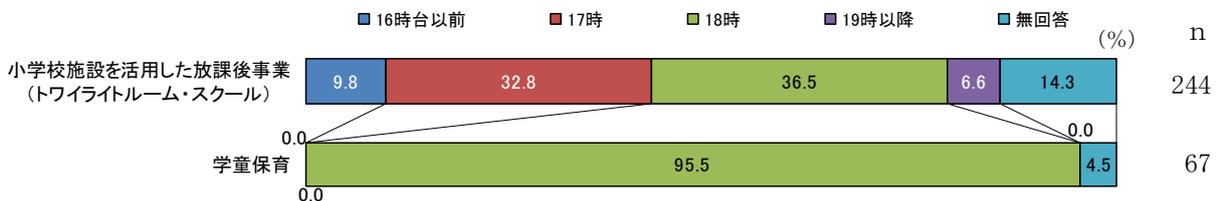


図 1 週間あたりの利用終了時間（平日放課後）：小学校高学年

(2) あて名のお子さんについて、小学校に就学後、夏休みや冬休みなど長期休暇をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(複数回答)

【過ごさせたい場所等】

◇ 「自宅」が57.2%、「小学校施設を活用した放課後事業」が52.5%、「習いごと」が47.6%、「学校で行われる部活動」が39.4%となっている。

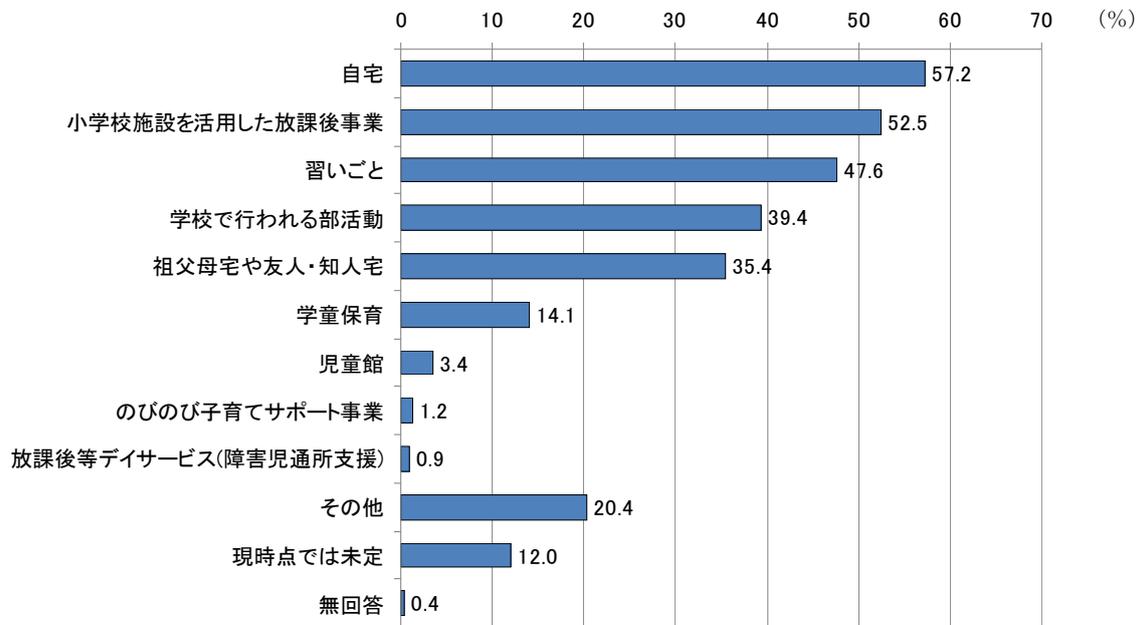


図 夏休みや冬休みなど長期休暇の過ごし方
回答数 5歳以上の親=2,558

【1週間あたりの日数】

- ◇ 「学童保育」は「5日以上」の割合が80%以上と高く、1週間の過ごし方で最も日数が多い。
- ◇ 「児童館」は「1日」の割合が低学年では60.7%であるが、高学年では35.3%と低くなる。
- ◇ 平日の放課後よりも長期休暇のほうが「放課後事業」の「5日以上」の割合が高くなっている。

<小学校低学年（1～3年生）>

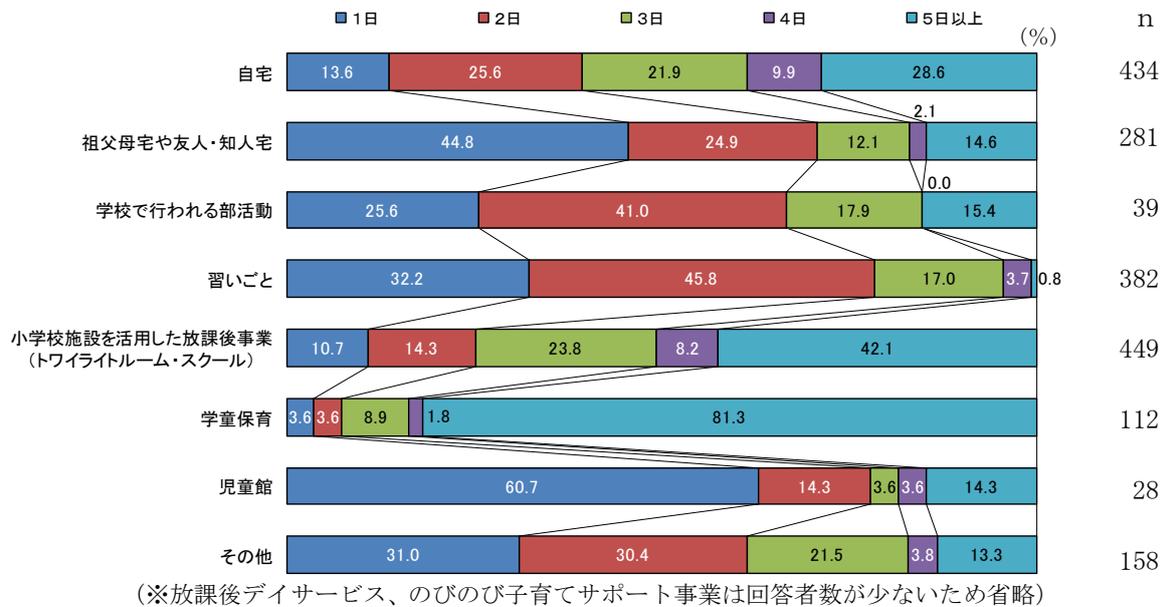


図 1週間あたりの利用日数（長期休暇）：小学校低学年

<小学校高学年（4～6年生）>

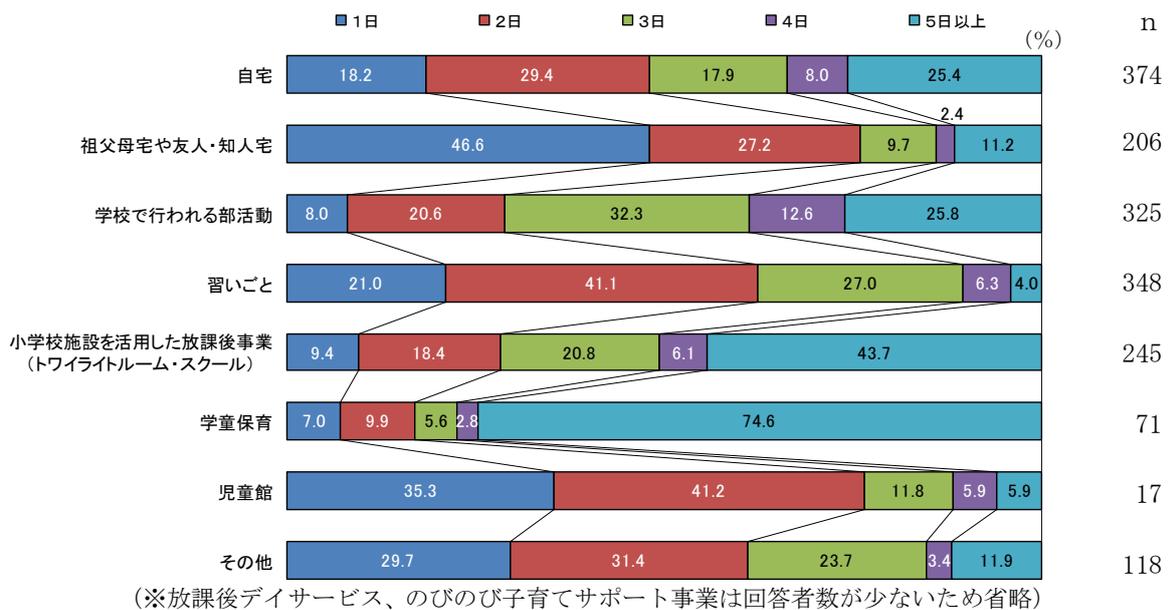


図 1週間あたりの利用日数（長期休暇）：小学校高学年

【利用開始時間】（放課後事業、学童保育のみ）

◇ 放課後事業も学童保育も「9時台以前」が約80%以上を占める。

<小学校低学年（1～3年生）>

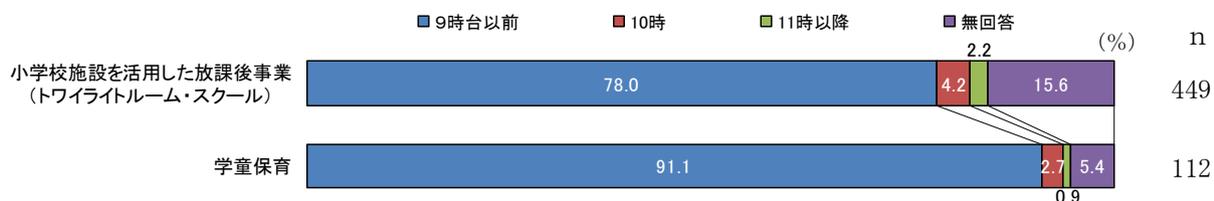


図 1 週間あたりの利用開始時間（長期休暇）：小学校低学年

<小学校高学年（4～6年生）>



図 1 週間あたりの利用開始時間（長期休暇）：小学校高学年

<<長期休暇時のトワイライト・学童保育と保育所の利用開始時間の比較>>

◆ すべての項目で「9時台以前」が約80%以上を占める。



図 長期休暇時のトワイライト・学童保育と保育所の利用開始時間

(※トワイライトの土曜・長期休暇の開館時間は午前9時)

【利用終了時間】（放課後事業、学童保育のみ）

- ◇ 放課後事業は「17時まで」「18時まで」が20%以上と高く、学童保育は「18時まで」が40%以上と高くなっている。
- ◇ 学童保育のほうが「19時以降まで」の割合が高い。

<小学校低学年（1～3年生）>

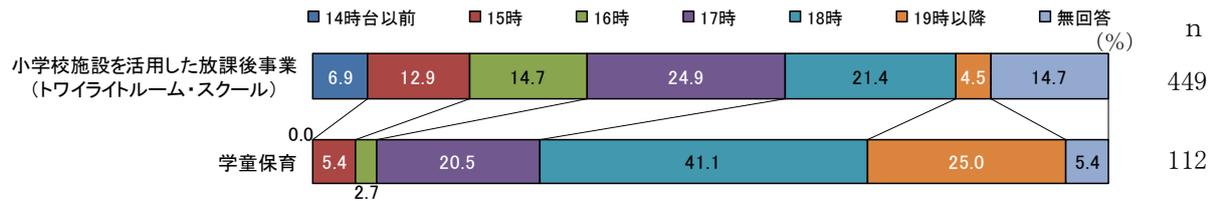


図 1 週間あたりの利用終了時間（長期休暇）：小学校低学年

<小学校高学年（4～6年生）>

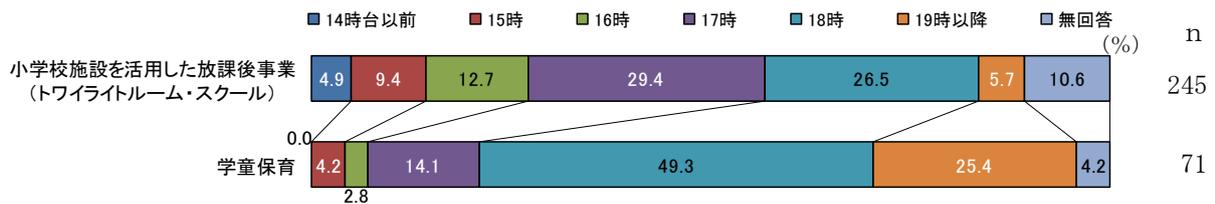


図 1 週間あたりの利用終了時間（長期休暇）：小学校高学年

『就学後の過ごし方（就学前 問12）との両親の就労状況（就学前 問3）』

◎ 就労している親が「放課後を過ごさせたい場所」は、小学校低学年では「小学校施設を活用した放課後事業」がトップであるが、小学校高学年になると、希望は部活動や習いごとなどに分散する。

＜平日の過ごさせたい場所＞

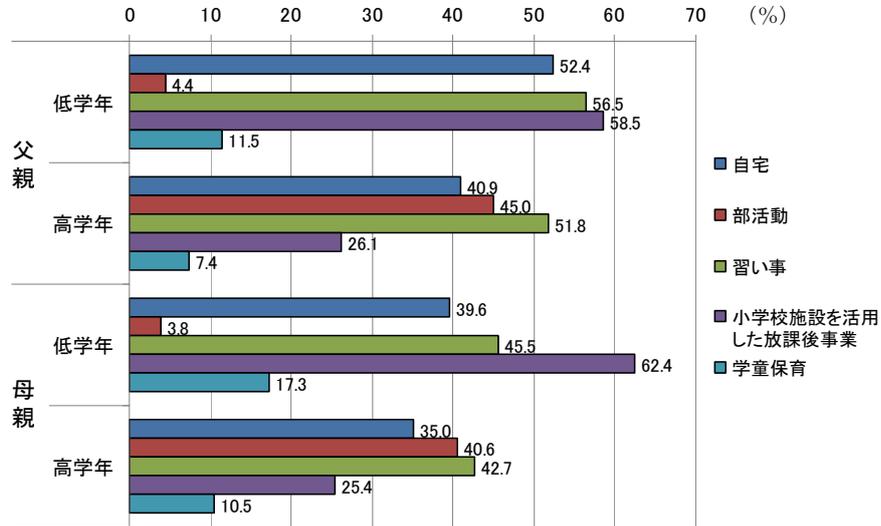


図 就労している親の平日子どもを過ごさせたい場所

＜長期休暇中に過ごさせたい場所＞

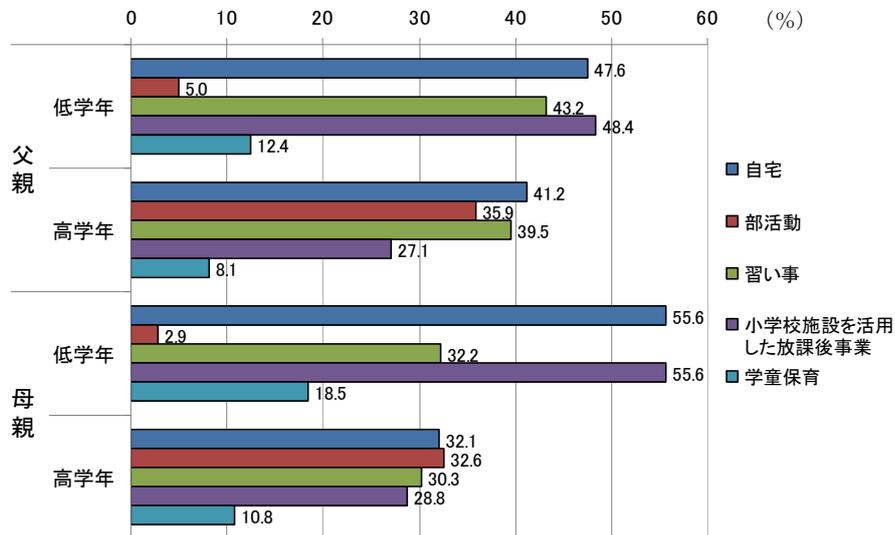


図 就労している親の長期休暇中子どもを過ごさせたい場所

■名古屋市が行う子育て支援事業についてうかがいます。

【参考】

名古屋市の子育て支援事業	内 容
のびのび子育てサポート事業	子育ての援助を行いたい方と受けたい方からなる会員組織により一時的に子育ての手助けをしあう制度。
子育て総合相談窓口	専任の保健師等が子育てに関する相談に応じる窓口で市内全保健所に設置。
主任児童委員等による子育てサロン	主任児童委員等が中心となり、地域のコミュニティセンター等において、乳幼児とその親が気軽に集える交流の場の提供やスタッフによる育児相談を実施。また親子で楽しむ講座等の開催。
保健所の子育てサロン	初妊婦及び第1子の乳児を子育て中の親を対象に、育児不安の軽減を図るよう子育ての友だちづくりや情報交換を行う地域の子育て交流の場で保健所が行っているもの。
保育所子育て支援事業	地域子育て支援センター以外の保育所が地域の子育て中の親子を対象として行う子育て支援の事業。（園庭開放、行事への招待、育児相談など）
産後ヘルプ事業	出産後の体調不良などにより家事・育児が困難な家庭にヘルパーを派遣し、家事・育児をお手伝いする制度。
幼稚園での子育て支援事業	幼稚園が未就園の親子に行う子育て支援の事業。（園庭開放、遊びの会、子育て相談など）
子どもあんしん電話相談事業	夜間の子どもの急な発熱や事故などの場合に、家庭での応急手当や見守り方、医療機関への受信の必要性や育児、母子の健康に関することなどについて看護師等が電話でアドバイスをを行う。

(1) 事業について

【全体】

- ◇ 全体で認知度の高い事業は、「子どもあんしん電話相談事業」が76.7%、「子育て総合相談窓口」が68.5%、「幼稚園での子育て支援事業」が65.8%となっている。
- ◇ 全体で認知度の低い事業は、「産後ヘルプ事業」が49.6%、「主任児童委員等による子育てサロン」が42.9%、「のびのび子育てサポート事業」が41.6%となっている。

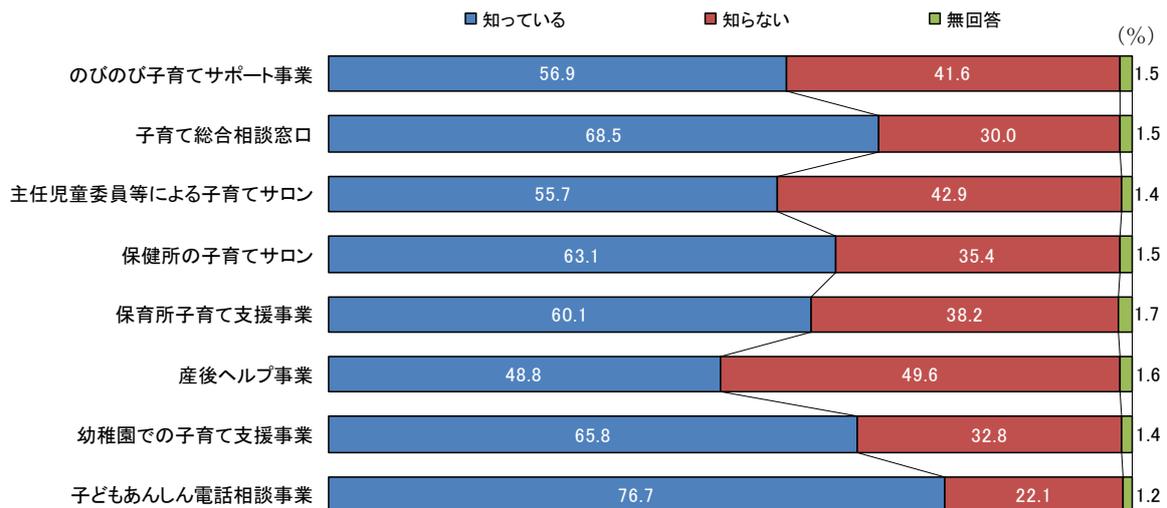


図 名古屋市が行う子育て支援事業について：認知度（全体）
回答数 全体=4,311

【5年前からの変化】

- ・全体では、子育て総合相談窓口について知っている人が約5%増えた。
- ・全体では、保育所子育て支援事業について知っている人が約11%増え、知らない人が約10%減った。
- ・全体では、幼稚園での子育て支援事業について知っている人が約4%増えた。

【3歳未満の親】

- ◇ 3歳未満の親で認知度の高い事業は、「子どもあんしん電話相談事業」が78.7%、「子育て総合相談窓口」が72.0%、「保健所の子育てサロン」が66.8%となっている。
- ◇ 3歳未満の親で認知度の低い事業は、「産後ヘルプ事業」が46.8%、「のびのび子育てサポート事業」が42.1%、「主任児童委員等による子育てサロン」が36.4%となっている。

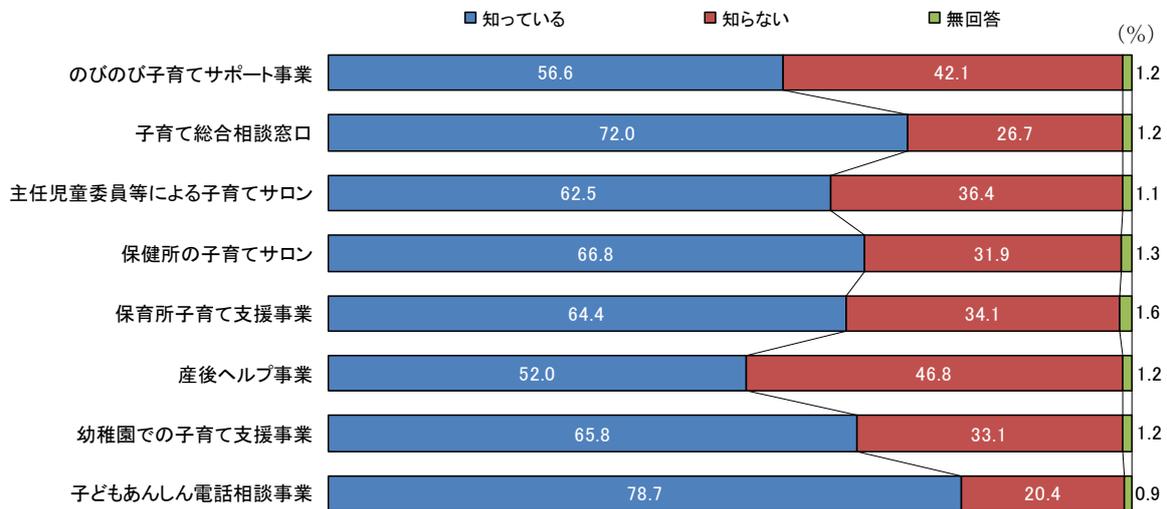


図 名古屋市が行う子育て支援事業について：認知度（3歳未満の親）

回答数 3歳未満の親=2,173

【3歳以上の親】

- ◇ 3歳以上の親で認知度の高い事業は、「子どもあんしん電話相談事業」が75.3%、「幼稚園での子育て支援事業」が66.3%、「子育て総合相談窓口」が65.4%となっている。
- ◇ 3歳以上の親で認知度の低い事業は、「産後ヘルプ事業」が52.8%、「主任児童委員等による子育てサロン」が49.7%、「保育所子育て支援事業」が42.7%となっている。

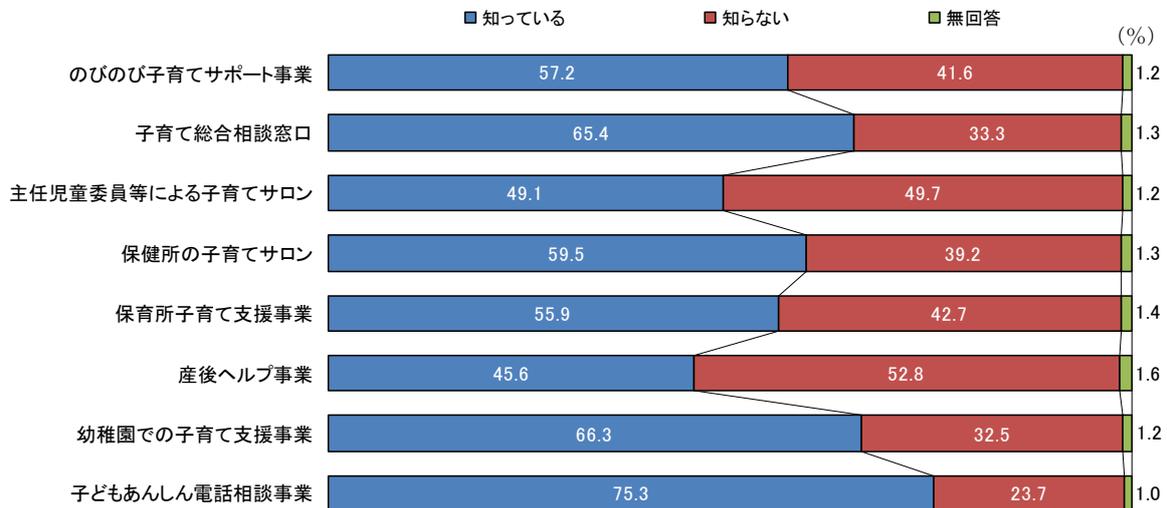


図 名古屋市が行う子育て支援事業について：認知度（3歳以上の親）

回答数 3歳以上の親=2,047

(2) 利用の有無

【全体】

- ◇ 全体で利用実績の高い事業は、「主任児童委員等による子育てサロン」が56.6%、「幼稚園での子育て支援事業」が49.6%、「保育所子育て支援事業」が47.0%となっている。
- ◇ 全体で利用実績の低い事業は、「産後ヘルプ事業」が93.9%、「のびのび子育てサポート事業」が90.3%、「子育て総合相談窓口」が74.5%となっている。

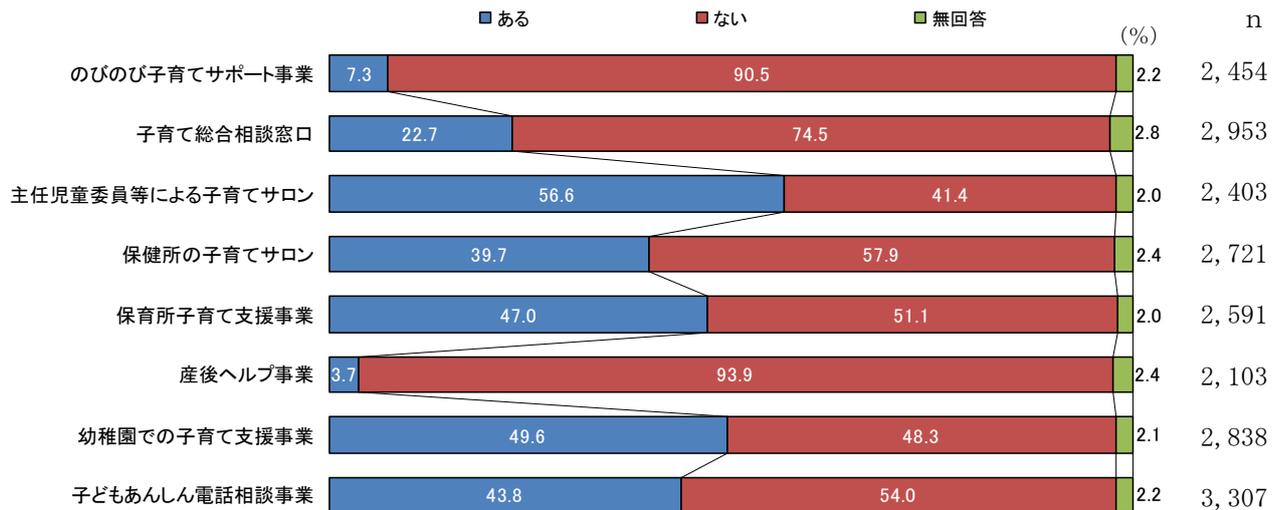


図 名古屋市が行う子育て支援事業について：利用の有無（全体）

【5年前からの変化】

- ・ 全体では、のびのび子育てサポート事業を利用したことがある人、利用したことがない人がともに約4%増えた。
- ・ 全体では、子育て総合相談窓口を利用したことがある人が約6%増えた。
- ・ 全体では、子育てサロンを利用したことがある人が約16%増え、利用したことがない人が約8%減った。
- ・ 全体では、保育所子育て支援事業を利用したことがある人が約26%増え、利用したことがない人が約16%減った。
- ・ 全体では、幼稚園での子育て支援事業を利用したことがある人が約21%増え、利用したことがない人が約13%減った。

【3歳未満の親】

- ◇ 3歳未満の親で利用実績の高い事業は、「主任児童委員等による子育てサロン」が56.8%、「保育所子育て支援事業」が47.5%、「子どもあんしん電話相談事業」が42.7%となっている。
- ◇ 3歳未満の親で利用実績の低い事業は、「産後ヘルプ事業」が94.3%、「のびのび子育てサポート事業」が91.6%、「子育て総合相談窓口」が74.8%となっている。

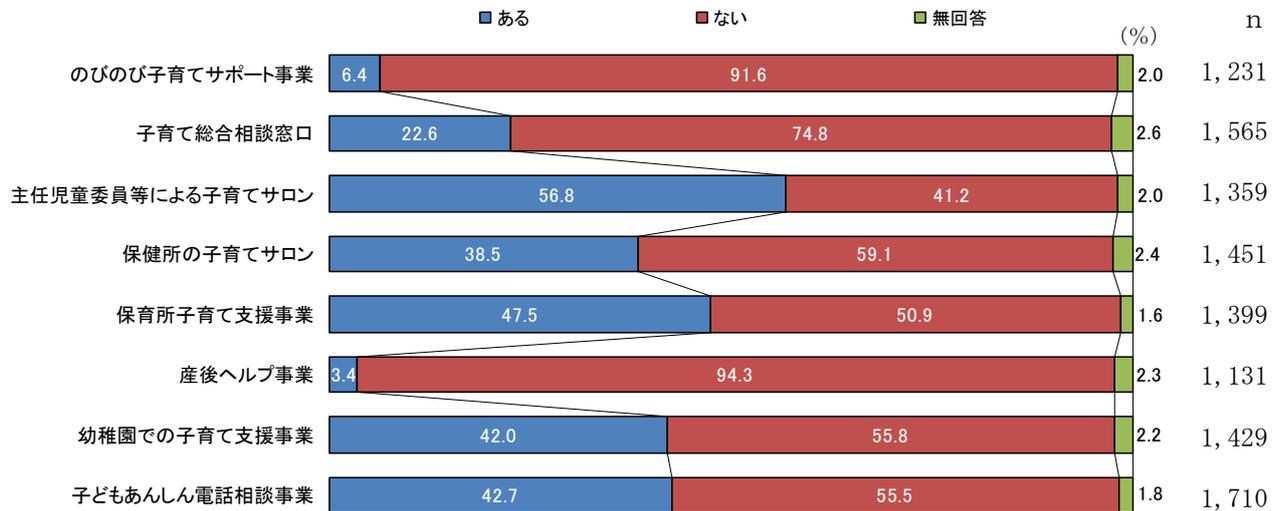


図 名古屋市が行う子育て支援事業について：利用の有無（3歳未満の親）

【3歳以上の親】

- ◇ 3歳以上の親で利用実績の高い事業は、「幼稚園での子育て支援事業」が57.6%「主任児童委員等による子育てサロン」が56.4%、「保育所子育て支援事業」が46.1%となっている。
- ◇ 3歳以上の親で利用実績の低い事業は、「産後ヘルプ事業」が93.8%、「のびのび子育てサポート事業」が89.6%、「子育て総合相談窓口」が74.6%となっている。

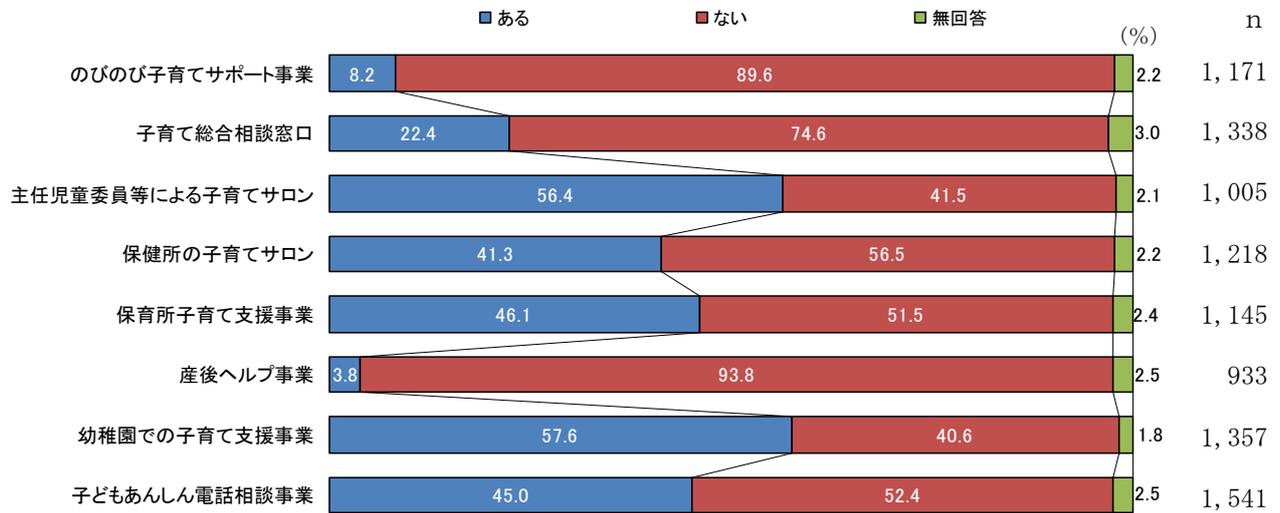


図 名古屋市が行う子育て支援事業について：利用の有無（3歳以上の親）

(3) 満足度

【全体】

- ◇ 全体で満足度の高い事業は、「幼稚園での子育て支援事業」が79.6%、「保育所子育て支援事業」が77.7%、「産後ヘルプ事業」が76.6%となっている。
- ◇ 全体で満足度の低い事業は、「のびのび子育てサポート事業」が12.2%、「子育て総合相談窓口」が12.1%、「子どもあんしん電話相談事業」が11.4%となっている。

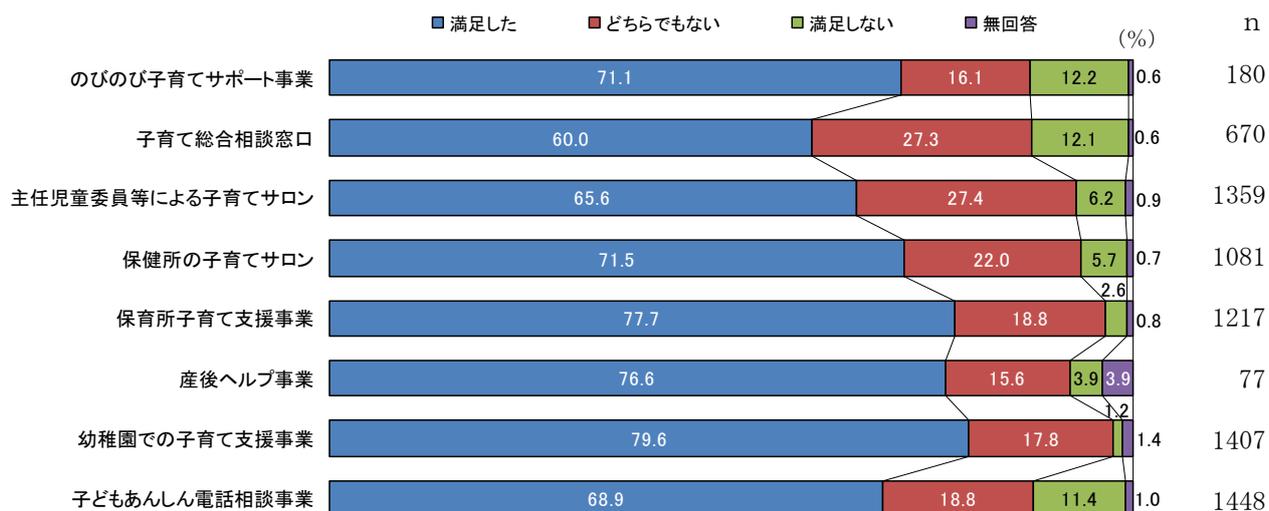


図 名古屋市の行う子育て支援事業について：満足度（全体）

【5年前からの変化】

- ・全体では、のびのび子育てサポート事業を利用して満足した人が約9%増えた。
- ・全体では、子育て総合相談窓口を利用して満足した人が約7%増えた。
- ・全体では、子育てサロンを利用して満足した人が約5%増えた。
- ・全体では、保育所子育て支援事業を利用して満足した人が約9%増えた。
- ・全体では、産後ヘルプ事業を利用して満足した人が約10%増えた。
- ・全体では、幼稚園での子育て支援事業を利用して満足した人が約9%増えた。

【3歳未満の親】

- ◇ 3歳未満の親で満足度の高い事業は、「幼稚園での子育て支援事業」が81.0%、「保育所子育て支援事業」が80.1%、「産後ヘルプ事業」が73.7%となっている。
- ◇ 3歳未満の親で満足度の低い事業は、「子育て総合相談窓口」が12.7%、「子どもあんしん電話相談事業」が11.6%、「のびのび子育てサポート事業」が11.4%となっている。

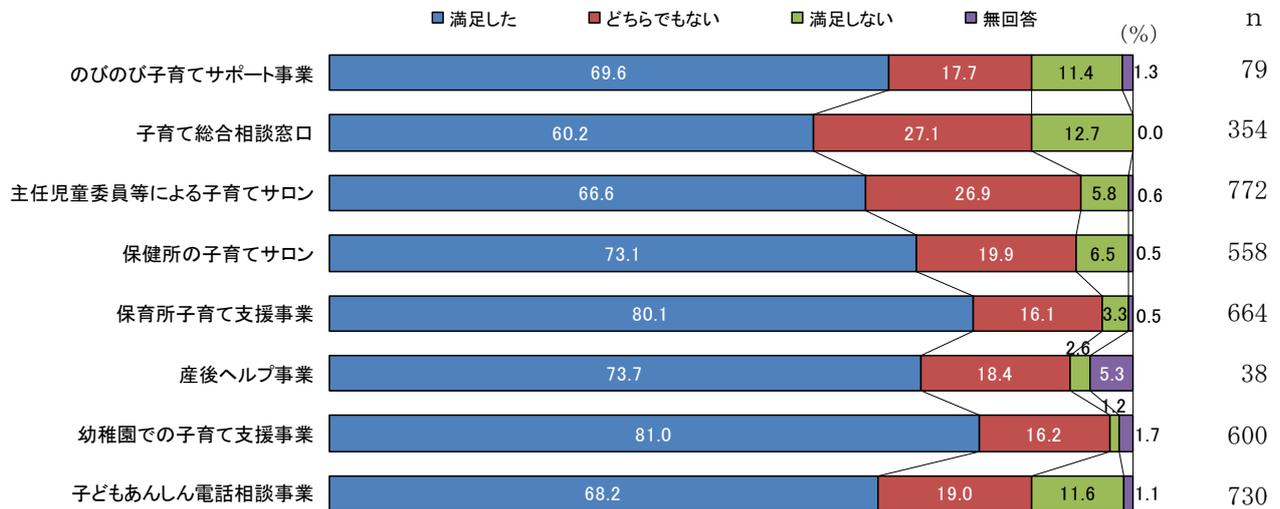


図 名古屋市が行う子育て支援事業について：満足度（3歳未満の親）

【3歳以上の親】

- ◇ 3歳以上の親で満足度の高い事業は、「産後ヘルプ事業」が80.0%、「幼稚園での子育て支援事業」が78.7%、「保育所子育て支援事業」が75.8%となっている。
- ◇ 3歳以上の親で満足度の低い事業は、「のびのび子育てサポート事業」が13.5%「子育て総合相談窓口」が11.3%、「子どもあんしん電話相談事業」が10.8%となっている。

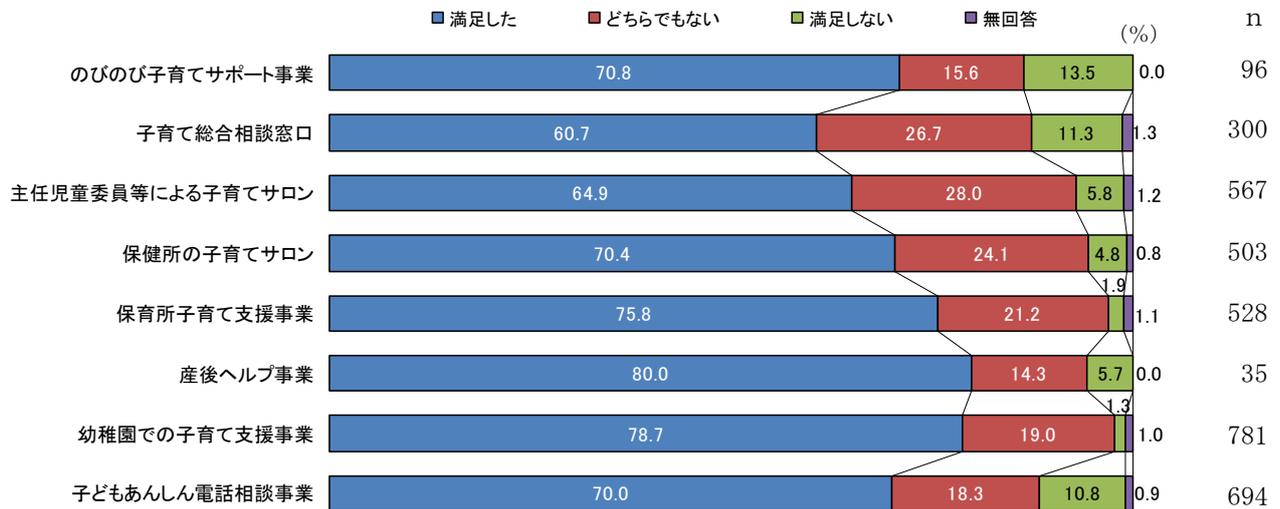


図 名古屋市が行う子育て支援事業について：満足度（3歳以上の親）

(4) 今後の利用希望

【全体】

- ◇ 全体で利用希望の多い事業は、「子どもあんしん電話相談事業」が41.9%、「幼稚園での子育て支援事業」が29.1%、「保育所子育て支援事業」が23.9%となっている。
- ◇ 全体で利用希望の少ない事業は、「保健所の子育てサロン」が23.8%、「産後ヘルプ事業」が23.4%、「のびのび子育てサポート事業」が18.8%となっている。

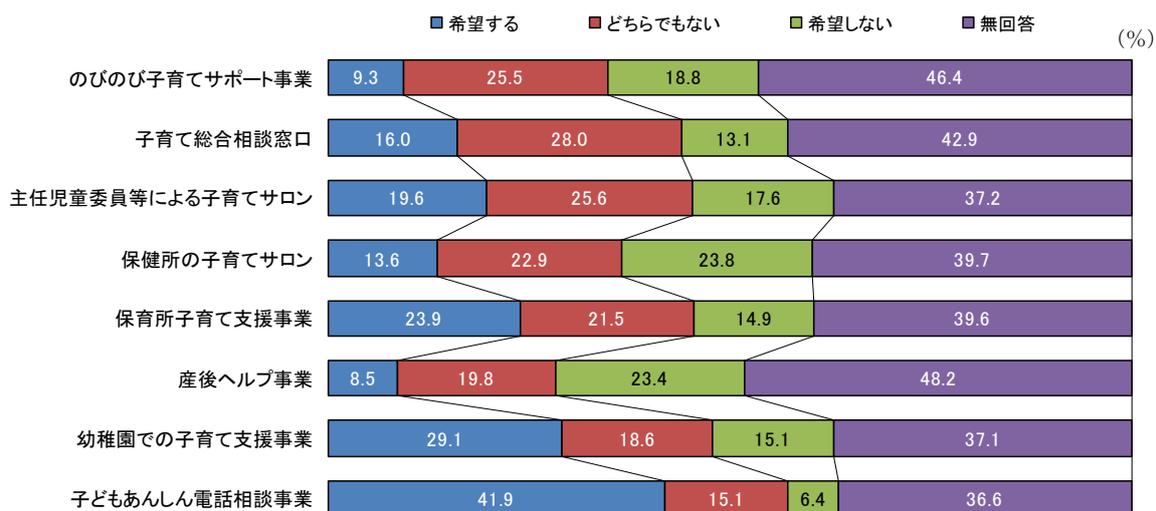


図 名古屋市の行う子育て支援事業について：今後の利用希望（全体）
回答数 全体=4,311

【5年前からの変化】

- ・全体では、今後、保育所子育て支援事業を利用を希望しない人が約4%増え、希望する人が約3%減った。
- ・全体では、今後、産後ヘルプ事業を利用を希望する人が約4%減った。
- ・全体では、今後、幼稚園での子育て支援事業を利用を希望しない人が約3%増え、希望する人が約6%減った。

【3歳未満の親】

- ◇ 3歳未満の親で利用希望の多い事業は、「子どもあんしん電話相談事業」が45.4%、「幼稚園での子育て支援事業」が35.6%、「保育所子育て支援事業」が32.3%となっている。
- ◇ 3歳未満の親で利用希望の少ない事業は、「産後ヘルプ事業」が22.8%、「保健所の子育てサロン」が21.3%、「のびのび子育てサポート事業」が17.8%となっている。

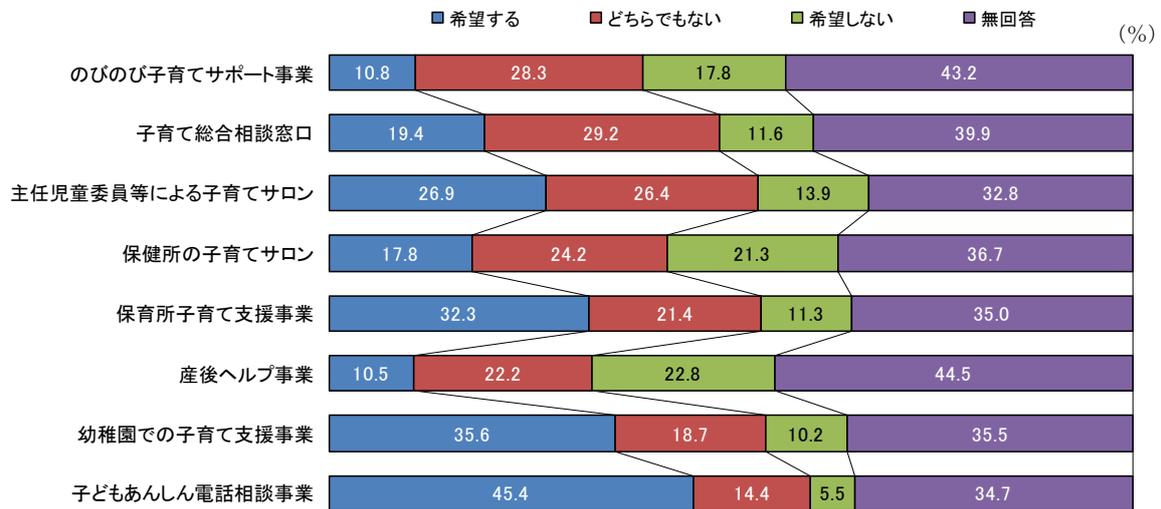


図 名古屋市が行う子育て支援事業について：今後の利用希望（3歳未満の親）
回答数 3歳未満の親=2,173

【3歳以上の親】

- ◇ 3歳以上の親で利用希望の多い事業は、「子どもあんしん電話相談事業」が38.9%、「幼稚園での子育て支援事業」が22.5%、「保育所子育て支援事業」が15.3%となっている。
- ◇ 3歳以上の親で利用希望の少ない事業は、「保健所の子育てサロン」が26.7%、「産後ヘルプ事業」が24.4%、「主任児童委員等による子育てサロン」が21.5%となっている。

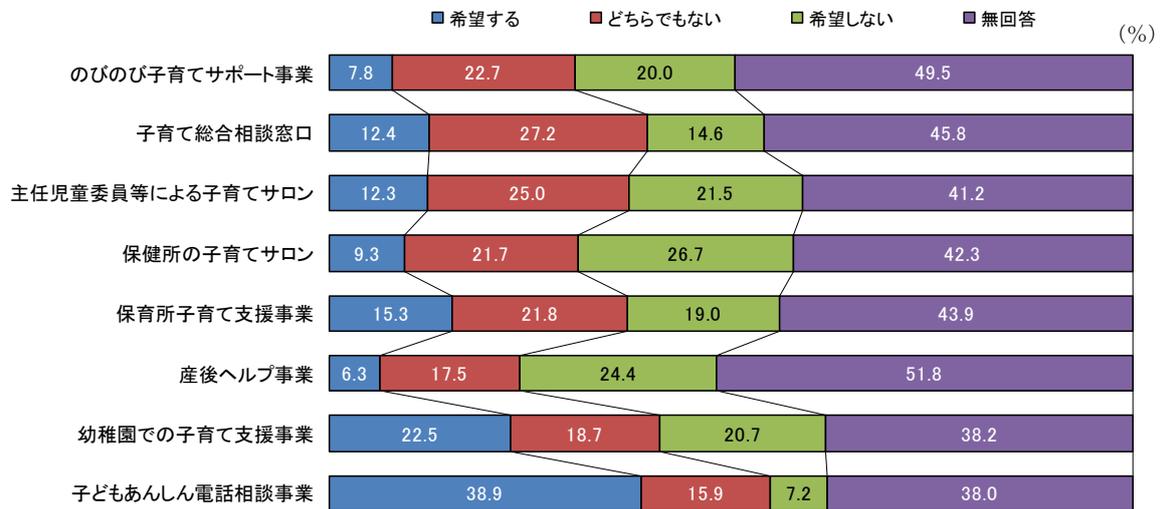


図 名古屋市が行う子育て支援事業について：今後の利用希望（3歳以上の親）
回答数 3歳以上の親=2,047

■地域の子育て支援事業についてうかがいます。

【参考】

地域の子育て支援の事業	内 容
つどいの広場事業	主に 0 歳～3 歳の親子が気軽に集い、相談・交流を図ることができる場を提供する事業。
保育所地域子育て支援センター	地域の子育て家庭を総合的に支援するため、保育所において、専任の職員を配置し、育児不安等の相談、子育てサークル等の支援、地域の子育て事業の情報提供などを行う事業。
児童館での子育て支援事業	乳幼児とその保護者を対象としたクラブや交流事業、子育て家庭に対する相談援助、子育てサークル等に対しての活動場所の提供・支援。
758 キッズステーション (名古屋市子ども・子育て支援センター)	子育て支援関係機関のネットワークづくりや子育てサークルへの支援などを行う子育て相談・交流のネットワークの拠点施設。

【全体】

1. 利用の状況等

- ◇ 「毎週利用している」「毎週は利用していないが、1ヶ月に数回利用している」「1度利用した」を集計して最も利用率が高い事業は、「児童館での子育て支援事業」で24.8%となっている。
- ◇ 「毎週利用している」「毎週は利用していないが、1ヶ月に数回利用している」を集計して定期的に利用している利用率は、平均で1事業あたり7.1%となっている。
- ◇ どの事業も「知っているが利用したことはない」「知らない」を合わせると、平均で1事業あたり77.2%となっている。

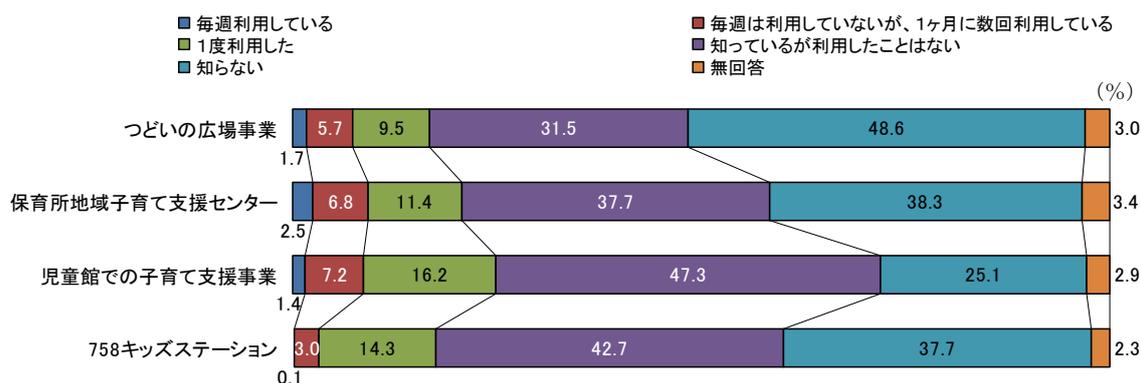


図 地域の子育て支援事業：利用状況

回答数 全体=4,311

<1週あたりの利用回数>

- ◇ 「つどいの広場事業」「保育所地域子育て支援センター事業」「児童館での子育て支援事業」は「週に1回」が60%以上を占めており、次いで「週に2回」が約19%となっている。

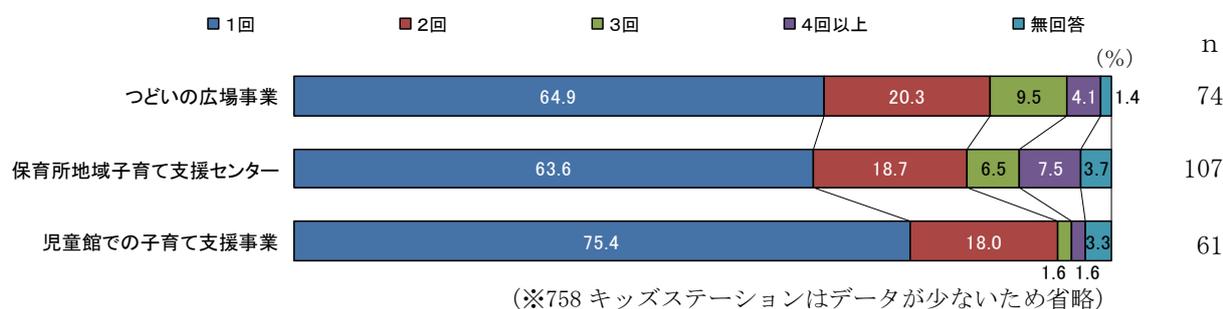


図 地域の子育て支援事業：1週あたりの利用回数

<1ヶ月あたりの利用回数>

- ◇ 「月に1回」の利用が多い事業は、「758 キッズステーション」で68.2%となっている。
- ◇ 「月に2回」の利用が多い事業は、「児童館での子育て支援事業」で30.4%となっている。
- ◇ 「月に3回」の利用が多い事業は、「保育所地域子育て支援センター」で13.7%となっている。

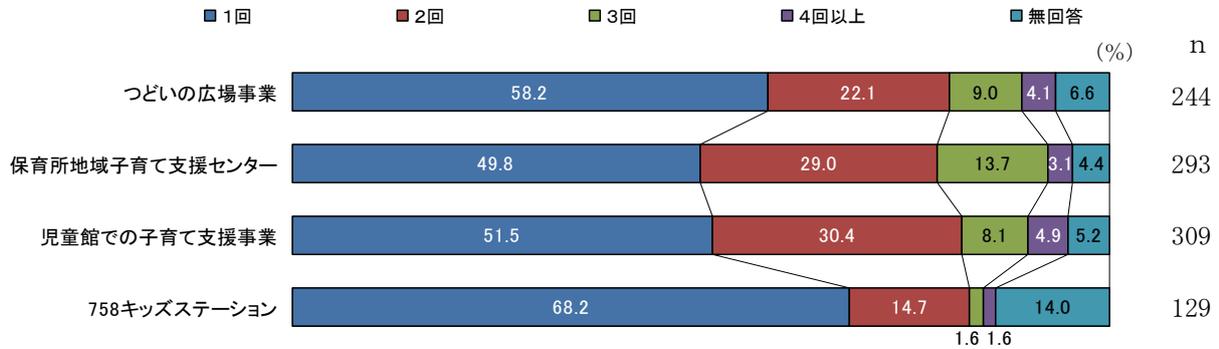


図 地域の子育て支援事業：1ヶ月あたりの利用回数

2. 満足度

- ◇ どの事業も「満足した」が約60%を占めており、最も満足度の高い事業は、「保育所地域子育て支援センター」(66.0%)となっている。
- ◇ 最も満足度の低い事業は、「つどいの広場事業」(26.6%)となっている。



図 地域の子育て支援事業：満足度

3. 今後の利用希望

- ◇ 「利用したい」と考えている項目を集計すると、「児童館での子育て支援事業」が53.6%、「758キッズステーション」が49.1%となっている。
- ◇ どの事業も「利用しない」が最も多く40%以上を占めている。次いで「事業が使いやすくなれば利用したい」が約36%となっている。

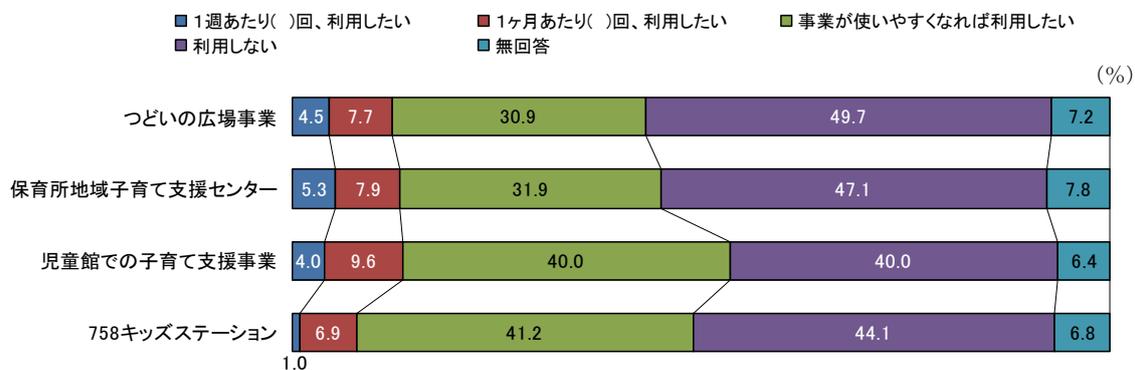


図 地域の子育て支援事業：今後の利用希望
回答数 全体=4,311

< 1週あたりの希望利用回数 >

- ◇ どの事業も「週に1回」が最も多く約70%を占める。次いで「週に2回」が約14%となっている。

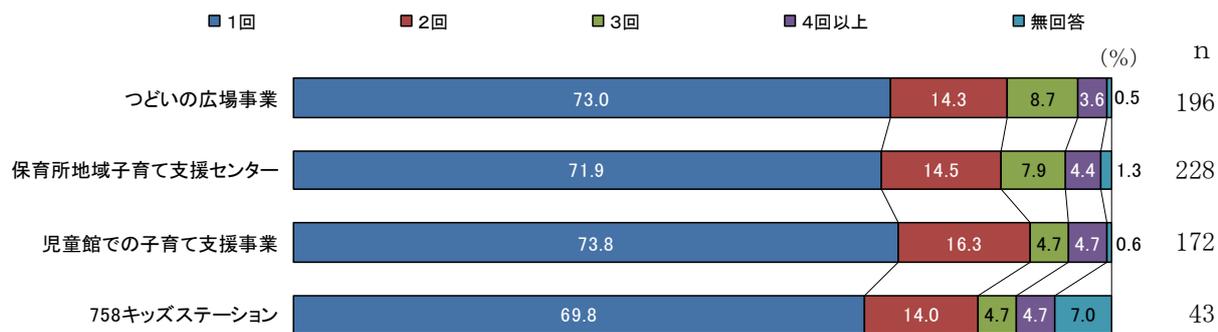


図 地域の子育て支援事業：1週あたりの希望利用回数

<1ヶ月あたりの希望利用回数>

◇ どの事業も「月に1回」が最も多く、「758キッズステーション」では75.8%、その他の事業は約50%を占める。次いで「月に2回」が約25%と多い。

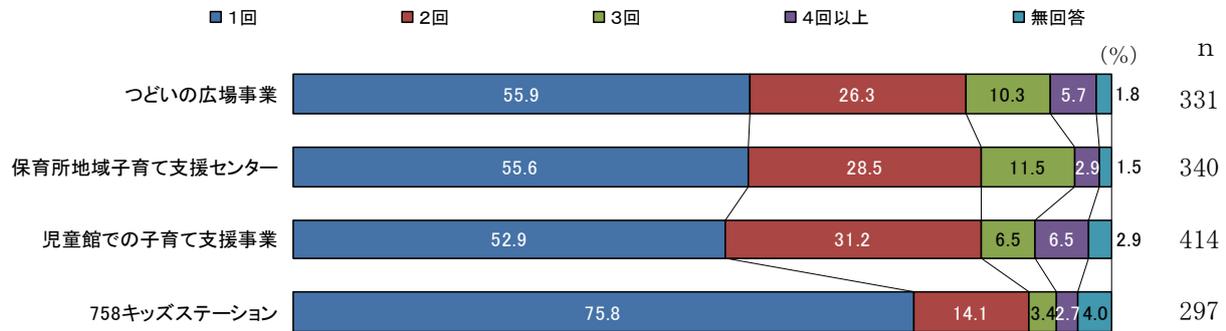


図 地域の子育て支援事業：1ヶ月あたりの希望利用回数

(1) つどいの広場事業

(1) - 1. 利用の状況等

- ◇ 全体では「知らない」が48.6%、次いで「知っているが利用したことはない」が31.5%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「毎週は利用していないが、1ヶ月に数回利用している」(差5.2%)が多く、対して3歳以上の親は「知らない」(差6.5%)が多くなっており、3歳未満の親のほうが利用率が高い。

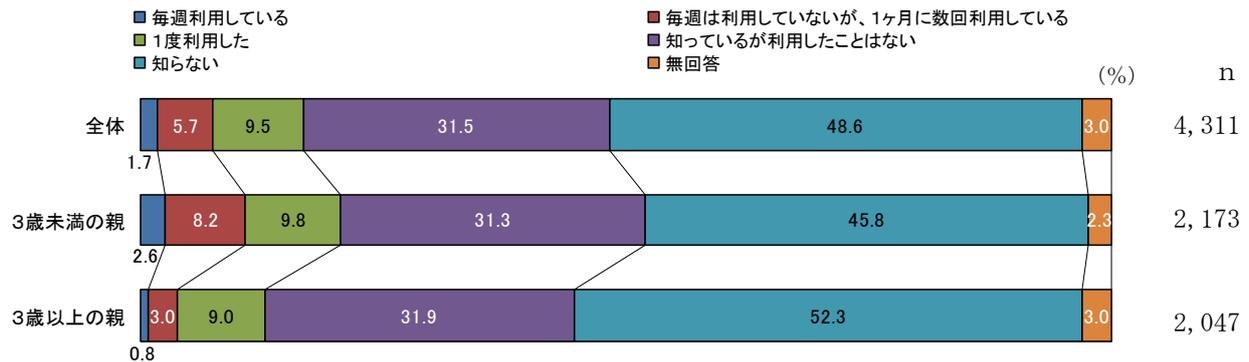


図 つどいの広場事業：利用状況

<1週あたりの利用回数>

- ◇ 全体では「週に1回」が64.9%、次いで「週に2回」が20.3%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「週に3回」(差12.5%)が多く、対して3歳以上の親は「週に2回」(差11.5%)が多い。

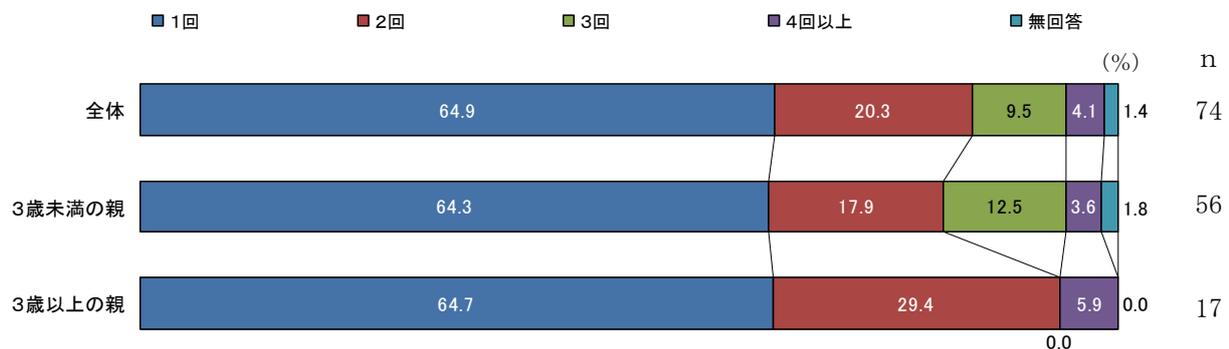


図 つどいの広場事業：1週あたりの利用回数

<1ヶ月あたりの利用回数>

◇ 全体では「月に1回」が58.2%、次いで「月に2回」が22.1%となっている。



図 つどいの広場事業：1ヶ月あたりの利用回数

(1) - 2. 満足度

◇ 全体では「満足した」が60.7%、「満足しない」が5.9%となっている。

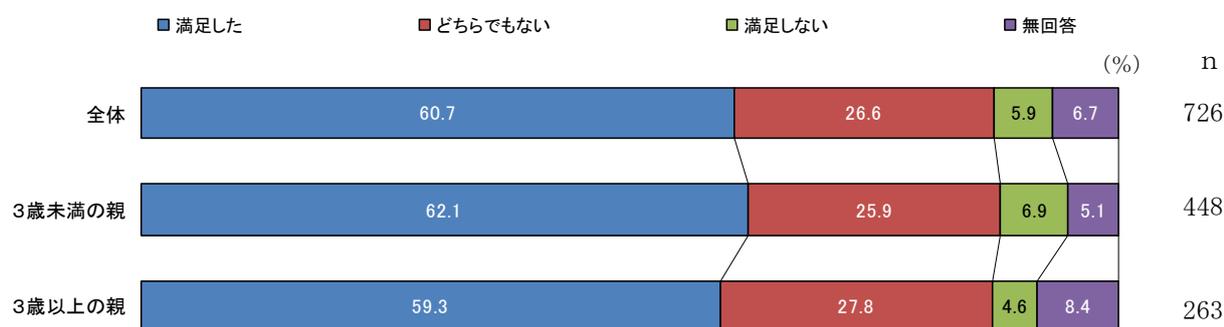


図 つどいの広場事業：満足度

【5年前からの変化】

- ・ 全体では、つどいの広場事業を利用して満足した人が約12%増え、満足しなかった人が約7%減った。

(1) - 3. 今後の利用希望

- ◇ 全体では「利用しない」が49.7%、次いで「事業が使いやすくなれば利用したい」が30.9%となっている。
- ◇ 3歳未満の親では「利用しない」が37.4%、「事業が使いやすくなれば利用したい」が36.4%となっている。
- ◇ 3歳以上の親では「利用しない」が62.9%、「事業が使いやすくなれば利用したい」が25.3%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「1ヶ月あたり()回、利用したい」(差8.7%)、「事業が使いやすくなれば利用したい」(差11.1%)が多く、対して3歳以上の親は「利用しない」(差25.5%)が多くなっており、3歳以上の親のほうが利用希望が少ない。

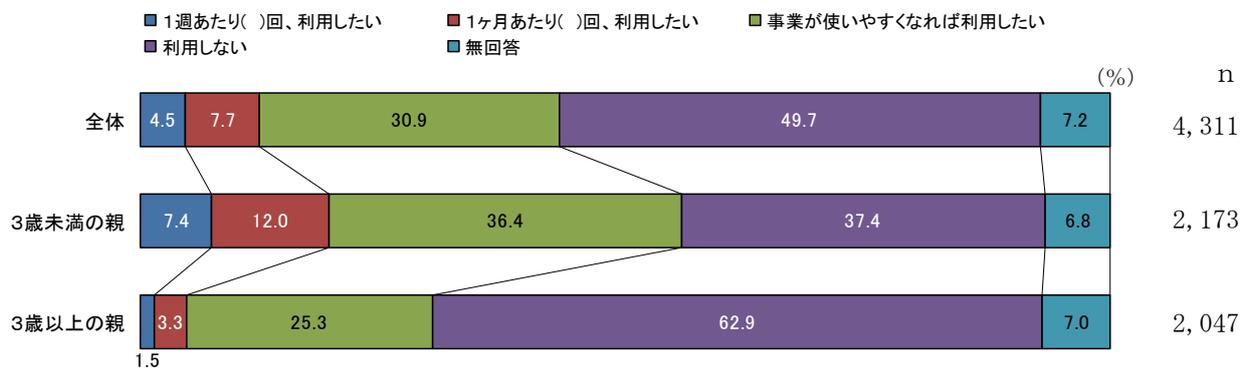


図 つどいの広場事業：今後の利用希望

< 1週あたりの希望利用回数 >

- ◇ 全体では「週に1回」が73.0%、次いで「週に2回」が14.3%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「週に1回」(差6.2%)が多く、対して3歳以上の親は「週に3回」(差4.8%)が多い。

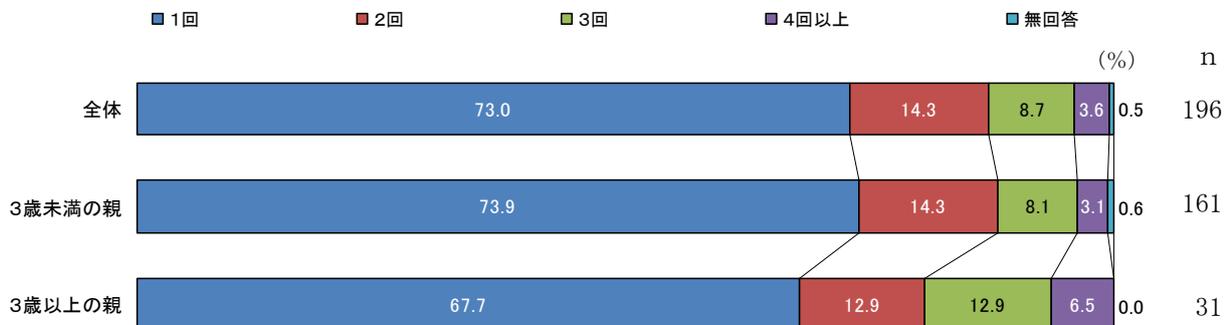


図 つどいの広場事業：1週あたりの希望利用回数

<1ヶ月あたりの希望利用回数>

◇ 全体では「月に1回」が55.9%、次いで「月に2回」が26.3%となっている。



図 つどいの広場事業：1ヶ月あたりの希望利用回数

(2) 保育所地域子育て支援センター

(2) - 1. 利用の状況等

- ◇ 全体では「知らない」が38.3%、次いで「知っているが利用したことはない」が37.7%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「毎週は利用していないが、1ヶ月に数回利用している」(差5.9%)が多く、対して3歳以上の親は「知らない」(差8.0%)が多くなっており、3歳未満の親のほうが利用率が高い。

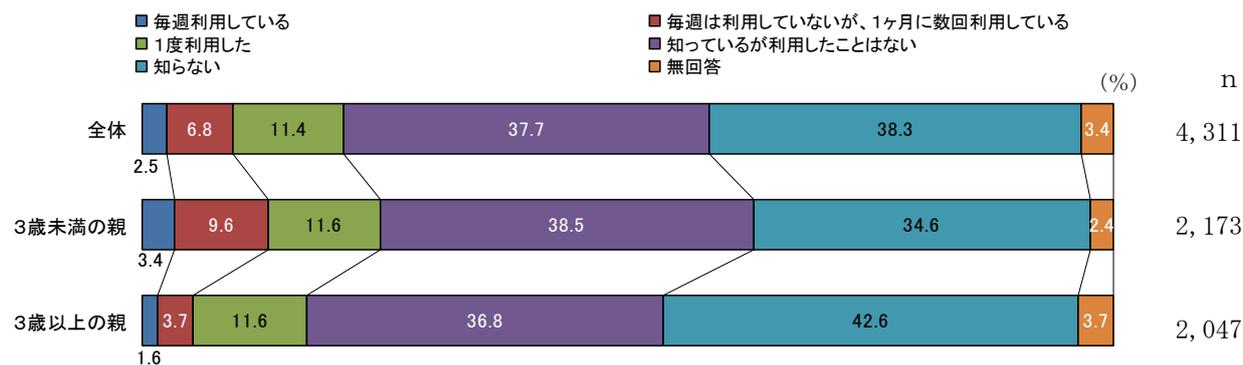


図 保育所地域子育て支援センター：利用状況

< 1週あたりの利用回数 >

- ◇ 全体では「週に1回」が63.6%、次いで「週に2回」が18.7%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「週に1回」(差15.4%)が多く、対して3歳以上の親は「週に2回」(差5.5%)、「週に3回」(差3.9%)、「週に4回以上」(差7.0%)となっており、3歳以上の親のほうが1週あたりの利用回数が多い。

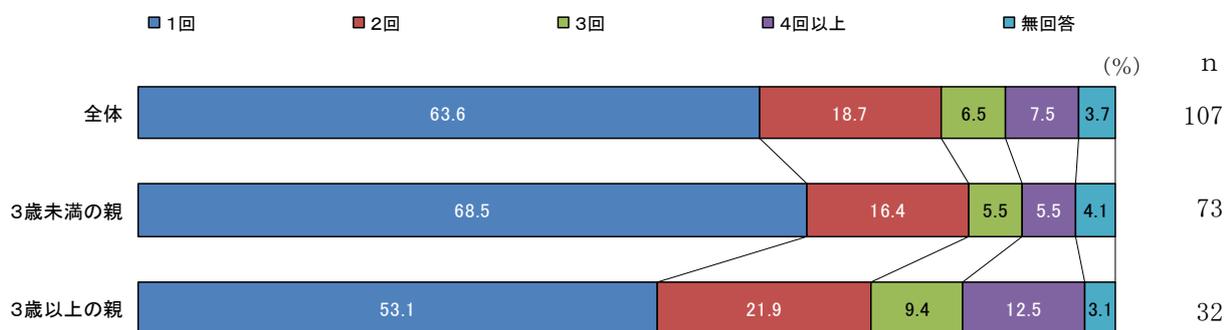


図 保育所地域子育て支援センター：1週あたりの利用回数

<1ヶ月あたりの利用回数>

◇ 全体では「月に1回」が49.8%、次いで「月に2回」が29.0%となっている。

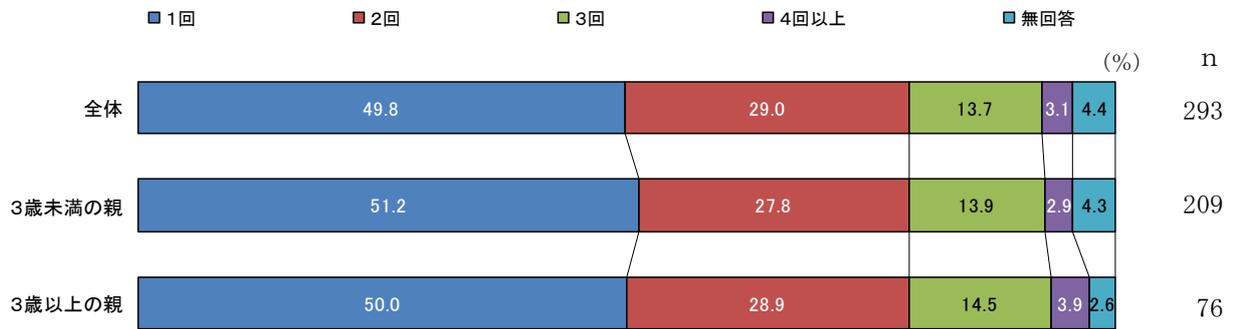


図 保育所地域子育て支援センター：1ヶ月あたりの利用回数

(2) - 2. 満足度

◇ 全体では「満足した」が66.0%、「満足しない」が4.8%となっている。

◇ 3歳未満の親では「満足した」(差9.9%)が多い。

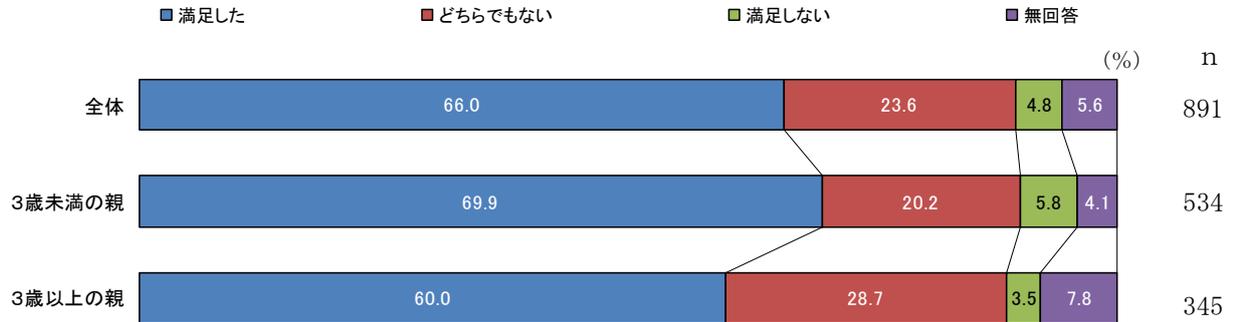


図 保育所地域子育て支援センター：満足度

【5年前からの変化】

・地域子育て支援センターの満足度については、5年前と大きく変わっていない。

(2) - 3. 今後の利用希望

- ◇ 全体では「利用しない」が47.1%、次いで「事業が使いやすくなれば利用したい」が31.9%となっている。
- ◇ 3歳未満の親では「事業が使いやすくなれば利用したい」が37.9%、「利用しない」が35.0%となっている。
- ◇ 3歳以上の親では「利用しない」が60.6%、「事業が使いやすくなれば利用したい」が25.5%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「1週あたり（ ）回、利用したい」（差5.2%）、「1ヶ月あたり（ ）回、利用したい」（差9.2%）、「事業が使いやすくなれば利用したい」（差12.4%）が多く、対して3歳以上の親は「利用しない」（差25.6%）が多くなっており、3歳以上の親は利用希望が少ない。

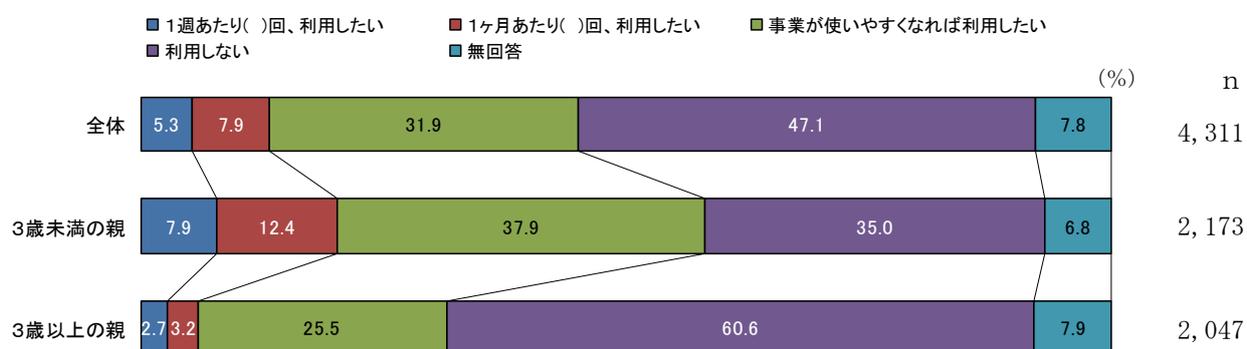


図 保育所地域子育て支援センター：今後の利用希望

< 1週あたりの希望利用回数 >

- ◇ 全体では「週に1回」が71.9%、次いで「週に2回」が14.5%となっている。

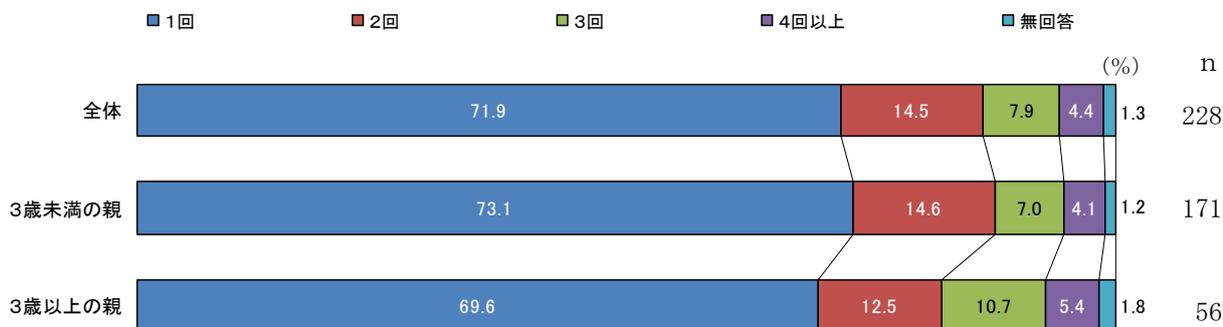


図 保育所地域子育て支援センター：1週あたりの希望利用回数

<1ヶ月あたりの希望利用回数>

◇ 全体では「月に1回」が55.6%、次いで「月に2回」が28.5%となっている。



図 保育所地域子育て支援センター：1ヶ月あたりの希望利用回数

(3) 児童館での子育て支援事業

(3) - 1. 利用の状況等

- ◇ 全体では「知っているが利用したことはない」が47.3%、次いで「知らない」が25.1%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「毎週は利用していないが、1ヶ月に数回利用している」(差4.8%)が多く、対して3歳以上の親は「知らない」(差5.7%)が多い。

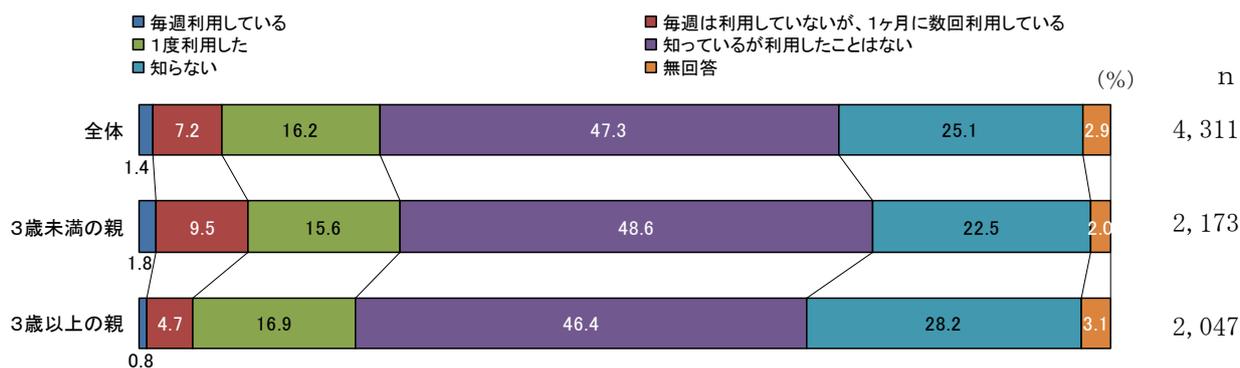


図 児童館での子育て支援事業：利用状況

< 1週あたりの利用回数 >

- ◇ 全体では「週に1回」が75.4%、次いで「週に2回」が18.0%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「週に1回」(差8.1%)が多く、対して3歳以上の親は「週に2回」(差7.1%)、「週に3回」(差6.3%)が多い。

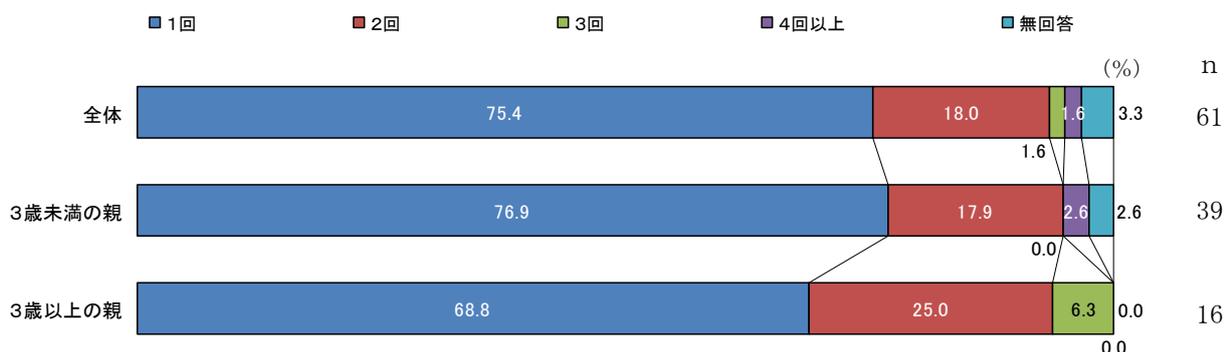


図 児童館での子育て支援事業：1週あたりの利用回数

<1ヶ月あたりの利用回数>

◇ 全体では「月に1回」が51.5%、次いで「月に2回」が30.4%となっている。

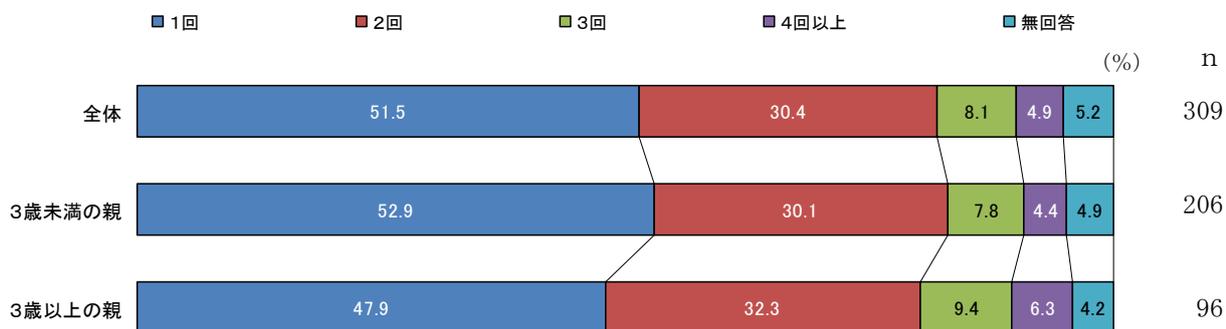


図 児童館での子育て支援事業：1ヶ月あたりの利用回数

(3) - 2. 満足度

◇ 全体では「満足した」が60.6%、「満足しない」が7.2%となっている。

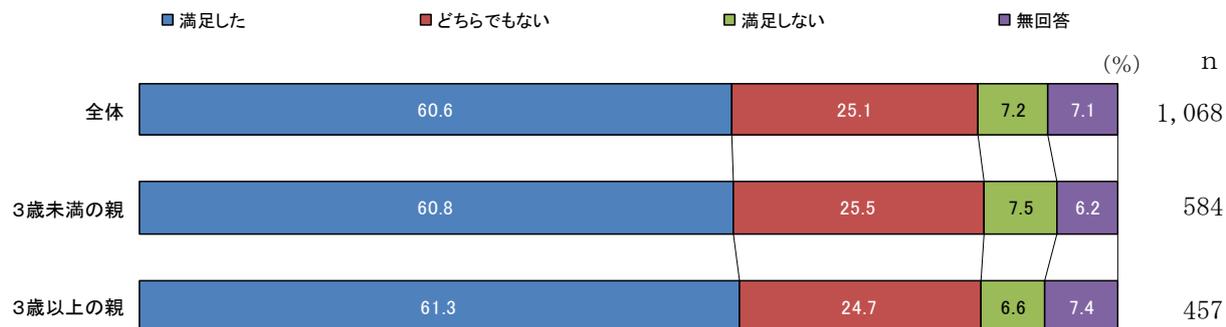


図 児童館での子育て支援事業：満足度

(3) - 3. 今後の利用希望

- ◇ 全体では「事業が使いやすくなれば利用したい」「利用しない」が40.0%となっている。
- ◇ 3歳未満の親では「事業が使いやすくなれば利用したい」が44.5%、「利用しない」が30.8%となっている。
- ◇ 3歳以上の親では「利用しない」が50.2%、「事業が使いやすくなれば利用したい」が35.7%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「1ヶ月あたり()回、利用したい」(差7.6%)、「事業が使いやすくなれば利用したい」(差8.8%)が多く、対して3歳以上の親は「利用しない」(差19.4%)が多くなっており、3歳以上の親のほうが利用希望が少ない。

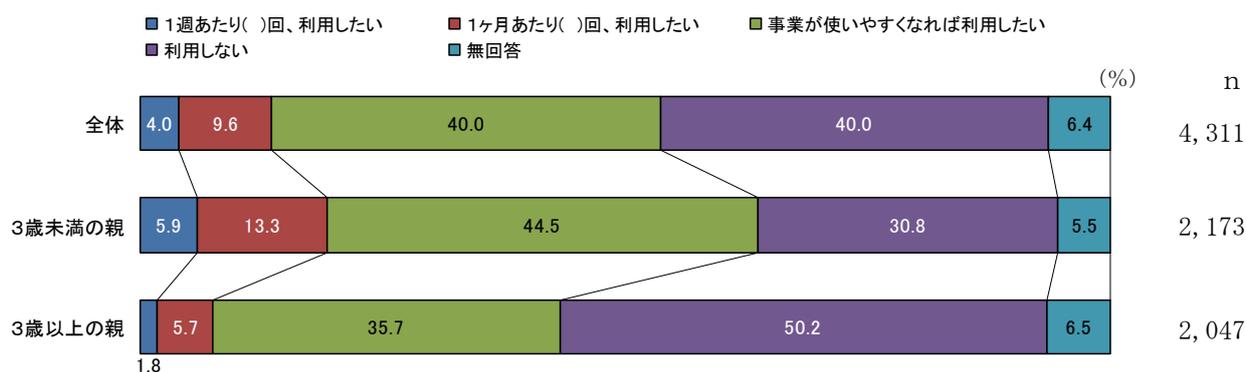


図 児童館での子育て支援事業：今後の利用希望

< 1週あたりの希望利用回数 >

- ◇ 全体では「週に1回」が73.8%、次いで「週に2回」が16.3%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「週に1回」(差8.2%)が多く、対して3歳以上の親は「週に2回」(差4.1%)、「週に3回」(差7.7%)が多い。

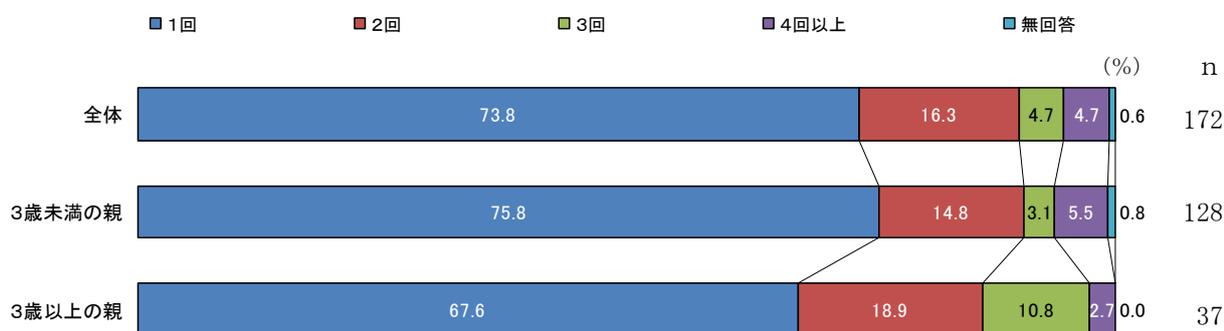


図 児童館での子育て支援事業：1週あたりの希望利用回数

<1ヶ月あたりの希望利用回数>

- ◇ 全体では「月に1回」が52.9%、次いで「月に2回」が31.2%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「月に2回」(差8.6%)が多く、対して3歳以上の親は「月に1回」(差7.1%)が多い。

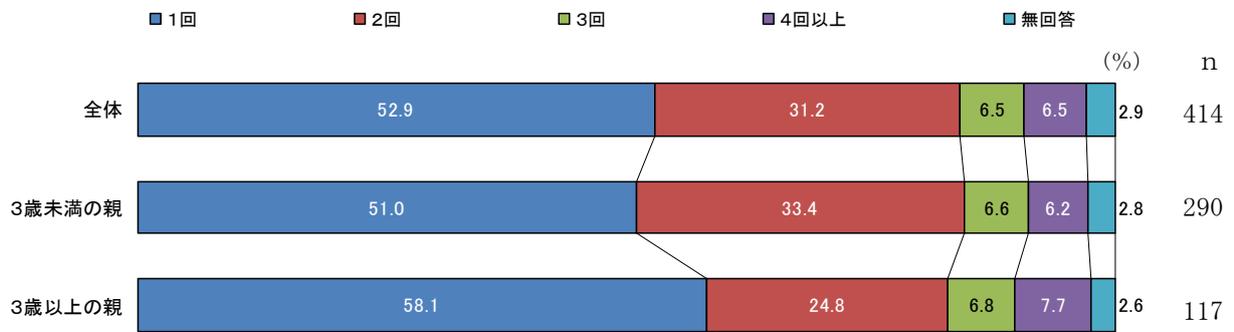


図 児童館での子育て支援事業：1ヶ月あたりの希望利用回数

(4) 758キッズステーション（名古屋市子ども・子育て支援センター）

(4) - 1. 利用の状況等

- ◇ 全体では「知っているが利用したことはない」が42.7%、次いで「知らない」が37.7%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「知っているが利用したことはない」（差4.6%）が多く、対して3歳以上の親は「知らない」（差8.4%）が多い。

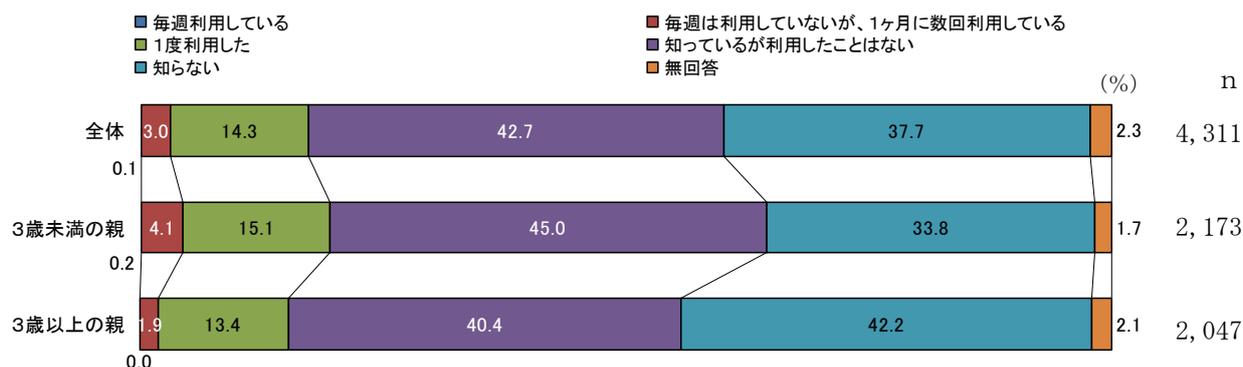


図 758キッズステーション：利用状況

<1ヶ月あたりの利用回数>

- ◇ 全体では「月に1回」が68.2%、次いで「月に2回」が14.7%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「月に1回」（差9.6%）、「月に2回」（差10.1%）が多く、対して3歳以上の親は「月に4回」（差5.1%）が多い。

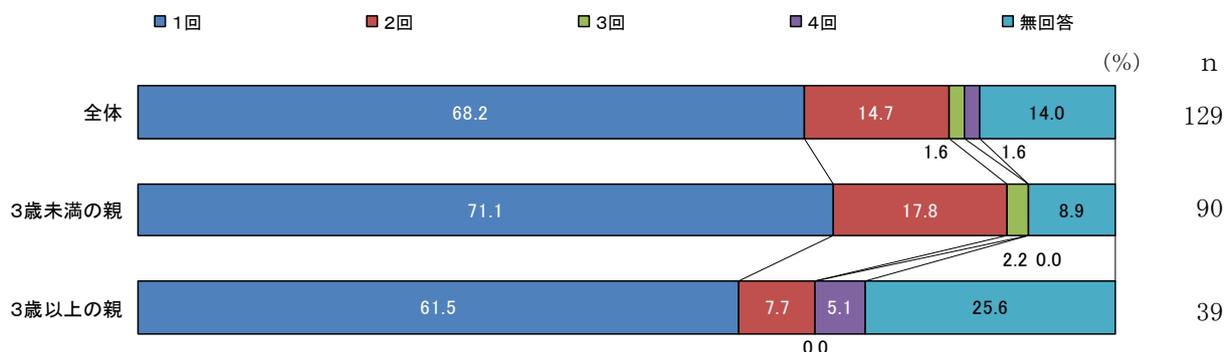


図 758キッズステーション：1ヶ月あたりの利用回数

(4) - 2. 満足度

◇ 全体では「満足した」が59.1%、「満足しない」が5.6%となっている。

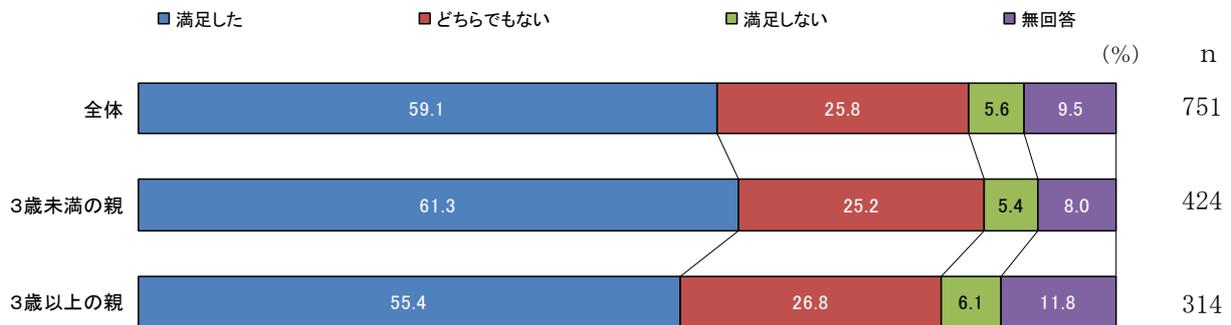


図 758キッズステーション：満足度

【5年前からの変化】

・全体では、758キッズステーションを利用して満足しない人が約13%減った。

(4) - 3. 今後の利用希望

◇ 全体では「利用しない」が44.1%、次いで「事業が使いやすくなれば利用したい」が41.2%となっている。

◇ 3歳未満の親は「1ヶ月あたり()回、利用したい」(差5.7%)、「事業が使いやすくなれば利用したい」(差11.4%)が多く、対して3歳以上の親は「利用しない」(差16.5%)が多くっており、3歳以上の親のほうが利用希望が少ない。

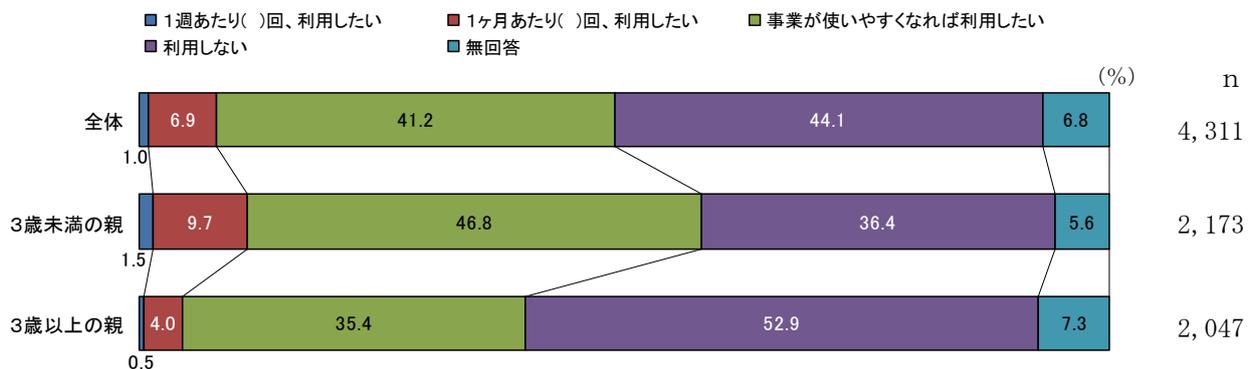


図 758キッズステーション：今後の利用希望

<1週あたりの希望利用回数>

- ◇ 全体では「週に1回」が69.8%、次いで「週に2回」が14.0%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「週に1回」(差20.5%)が多く、対して3歳以上の親は「週に2回」(差17.9%)、「週に4回以上」(差6.0%)が多い。

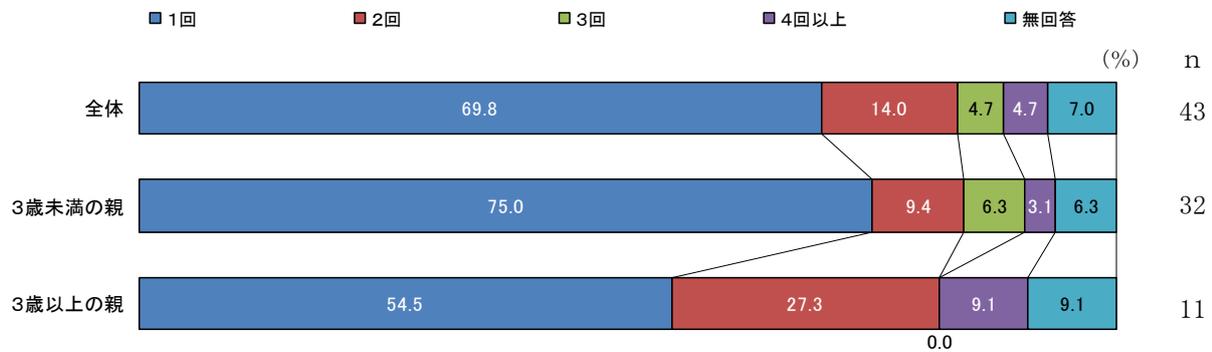


図 758 キッズステーション：1週あたりの希望利用回数

<1ヶ月あたりの希望利用回数>

- ◇ 全体では「月に1回」が75.8%、次いで「月に2回」が14.1%となっている。



図 758 キッズステーション：1ヶ月あたりの希望利用回数

(2) 子育てをする上で、知りたい情報は何か。(3つ)

- ◇ 全体では「幼稚園や保育所など子どもの教育・保育、子育て支援の事業」が46.6%、「子どもが病気やケガをしたときや休日等に受診できる医療機関」が44.6%、「子どもの遊び場や公園」が42.7%、「子どもと一緒に参加できるイベント」が41.8%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「幼稚園や保育所など子どもの教育・保育、子育て支援の事業」（差24.1%）、「子育てを仲間づくりのサークル」（差6.2%）が多く、対して3歳以上の親は「子どもが病気やケガをしたときや休日等に受診できる医療機関」（差6.9%）、「子どもの習いごとや塾」（差15.6%）が多い。

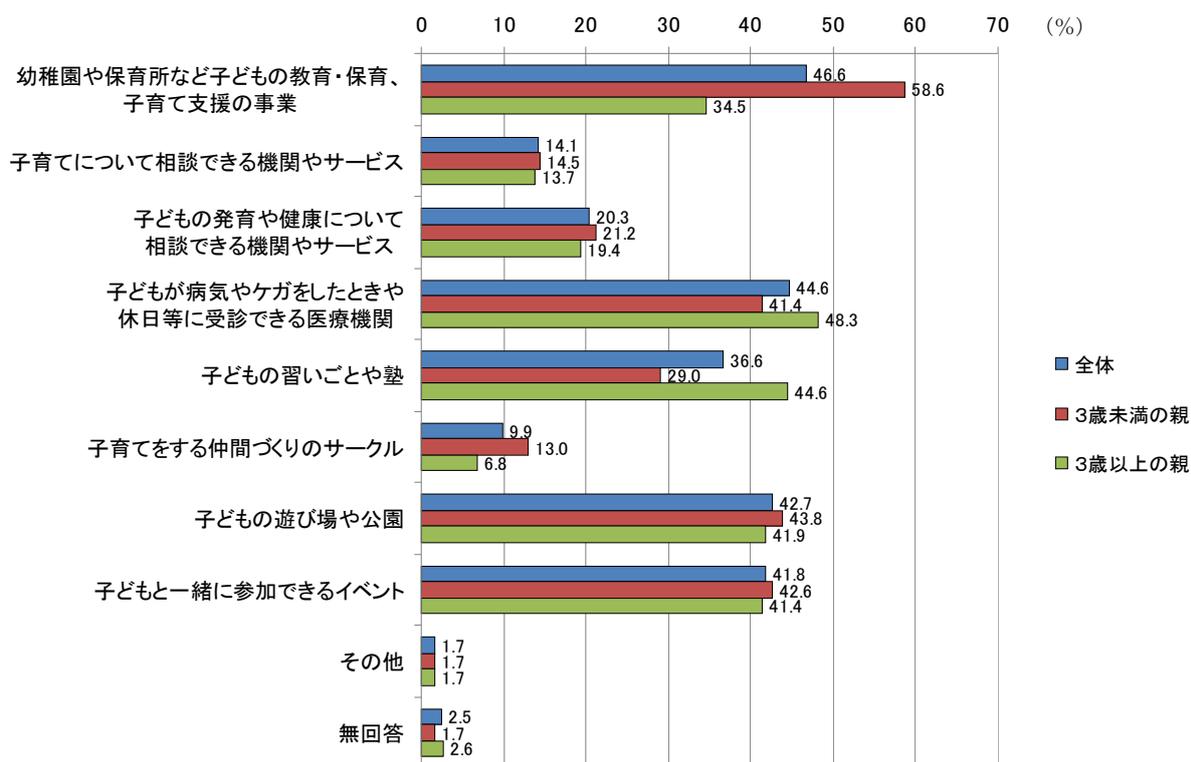


図 子育てをする上で、知りたい情報

回答数 全体=11,244 3歳未満の親=5,812 3歳以上の親=5,217

■名古屋市の子ども・子育て支援への取り組みについてうかがいます。

【全体】

（1）期待するかどうか

- ◇ 全体の期待度が高い取り組みは、「住宅や遊び場・公園の整備など、子育てしやすいまちづくり」が90.9%、「医療費助成や子育てにかかる各種サービスの費用の軽減など、経済的な支援の充実」が90.5%、「安心して出産や子育てができる医療サービスの充実」が87.2%となっている。
- ◇ 「期待しない」「どちらでもない」の割合が相対的に高いのは、「子育てについて相談できる機関やサービスの充実」（30.4%）、「男女でともに子育てに参加することについての意識啓発」（30.0%）、「受験戦争やいじめの解消等のゆとりのある教育の実現」（27.6%）となっている。

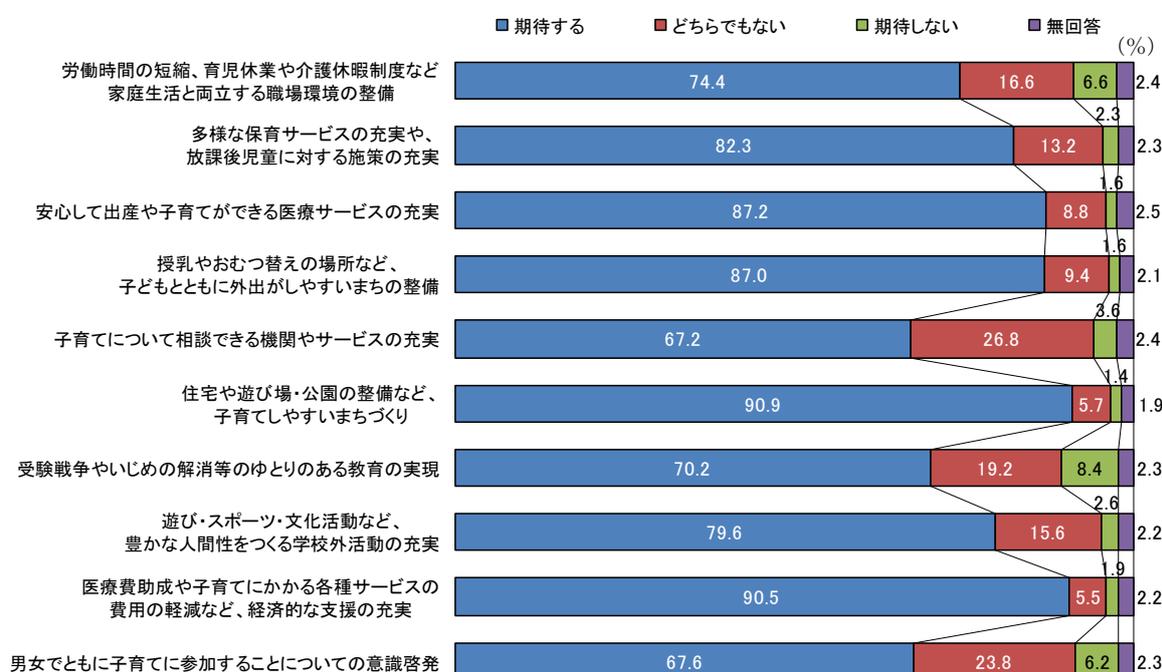


図 名古屋市の取り組みについて：期待度（全体）

回答数 全体=4,311

【5年前からの変化】

- ・全体では、学校外活動の充実に期待する人が約3%増え、医療サービスの充実に期待する人が約4%減った。

(2) 現状に満足しているかどうか

- ◇ 全体の満足度が高い取り組みは、「医療費助成や子育てにかかる各種サービスの費用の軽減など、経済的な支援の充実」が 28.0%、「安心して出産や子育てができる医療サービスの充実」が 25.2%、「授乳やおむつ替えの場所など、子どもとともに外出がしやすいまちの整備」が 19.0% となっている。
- ◇ 「満足しない」の割合が高いのは、「住宅や遊び場・公園の整備など、子育てしやすいまちづくり」(41.1%)、「労働時間の短縮、育児休業や介護休暇制度など家庭生活と両立する職場環境の整備」(38.5%)、「受験戦争やいじめの解消等のゆとりのある教育の実現」(38.0%) となっている。

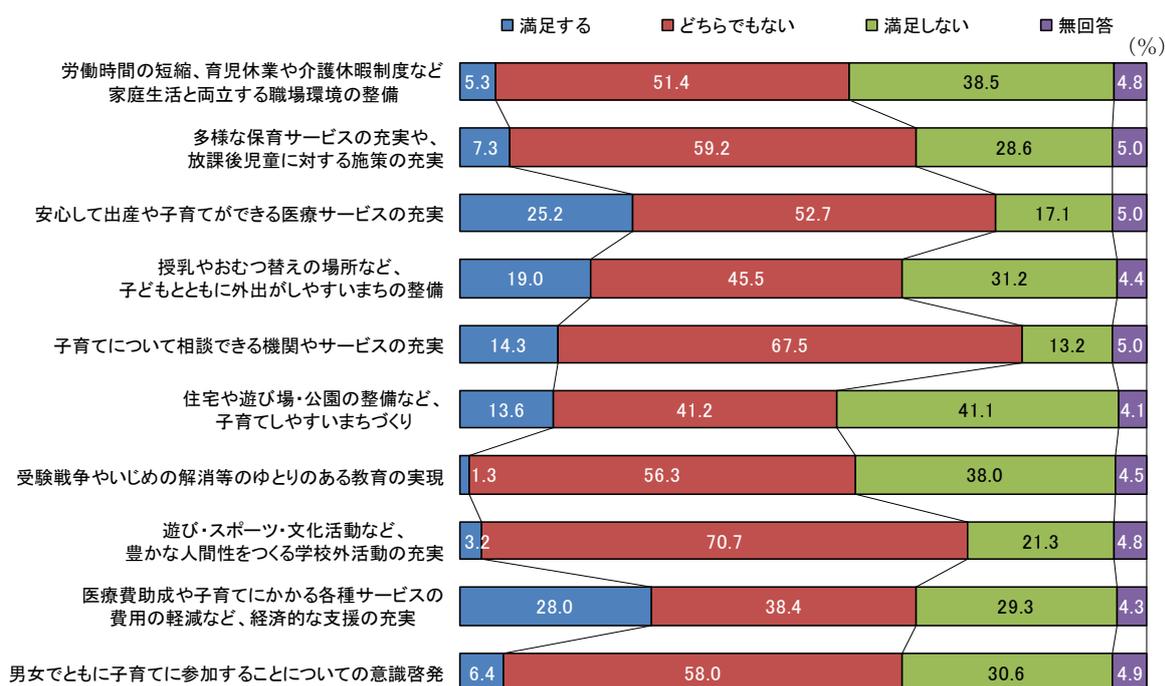


図 名古屋市の取り組みについて：現状への満足度（全体）

回答数 全体=4,311

【5年前からの変化】

- ・ 全体では、医療サービスの充実満足する人が約3%増え、満足していない人が約12%減った。
- ・ 全体では、子育て相談やサービスの充実満足していない人が約5%減った。
- ・ 全体では、子育てしやすいまちづくりに満足していない人が約3%減った。
- ・ 全体では、経済的支援の充実満足する人は約19%増え、満足していない人が約26%減った。

【3歳未満の親】

(1) 期待するかどうか

- ◇ 3歳未満の親の期待度が高い取り組みは、「授乳やおむつ替えの場所など、子どもとともに外出がしやすいまちの整備」が92.2%、「住宅や遊び場・公園の整備など、子育てしやすいまちづくり」が92.0%、「医療費助成や子育てにかかる各種サービスの費用の軽減など、経済的な支援の充実」が91.4%となっている。
- ◇ 「期待しない」「どちらでもない」の割合が相対的に高いのは、「男女でともに子育てに参加することについての意識啓発」(28.1%)、「子育てについて相談できる機関やサービスの充実」(27.7%)、「受験戦争やいじめの解消等のゆとりのある教育の実現」(27.6%)となっている。

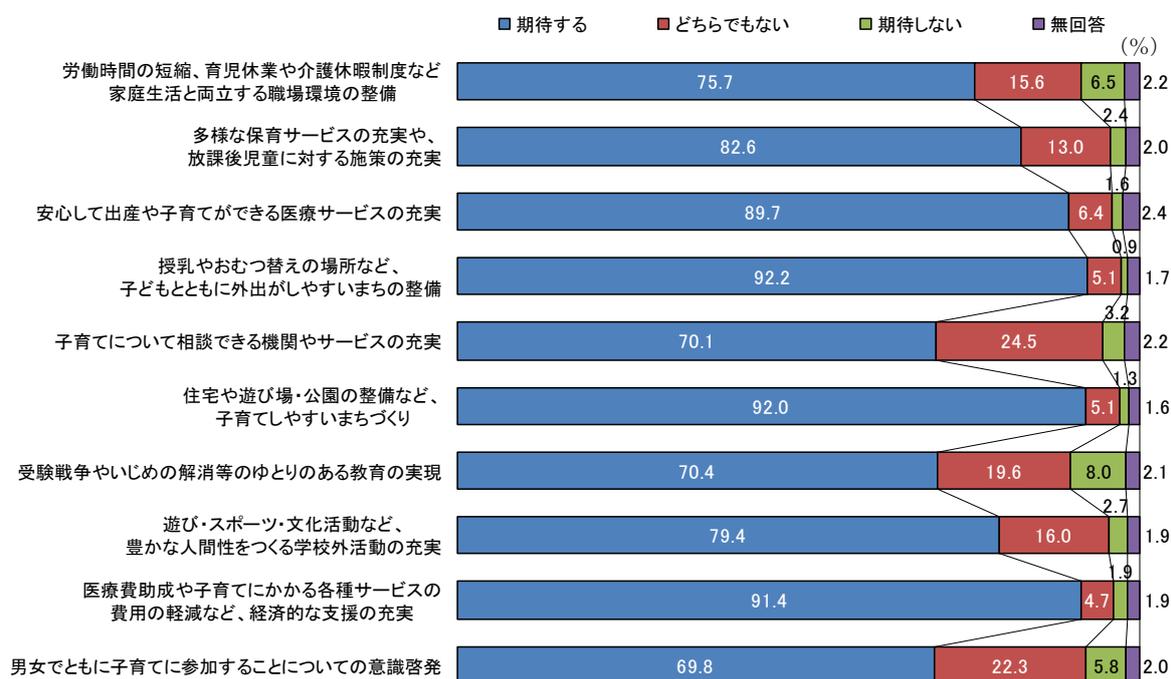


図 名古屋市の取り組みについて：期待度（3歳未満の親）

回答数 全体=2,173

(2) 現状に満足しているかどうか

- ◇ 3歳未満の親の満足度が高い取り組みは、「医療費助成や子育てにかかる各種サービスの費用の軽減など、経済的な支援の充実」が28.5%、「安心して出産や子育てができる医療サービスの充実」が26.6%、「授乳やおむつ替えの場所など、子どもとともに外出がしやすいまちの整備」が17.8%となっている。
- ◇ 「満足しない」の割合が高いのは、「住宅や遊び場・公園の整備など、子育てしやすいまちづくり」(41.6%)、「労働時間の短縮、育児休業や介護休暇制度など家庭生活と両立する職場環境の整備」(39.3%)、「受験戦争やいじめの解消等のゆとりのある教育の実現」(38.0%)となっている。

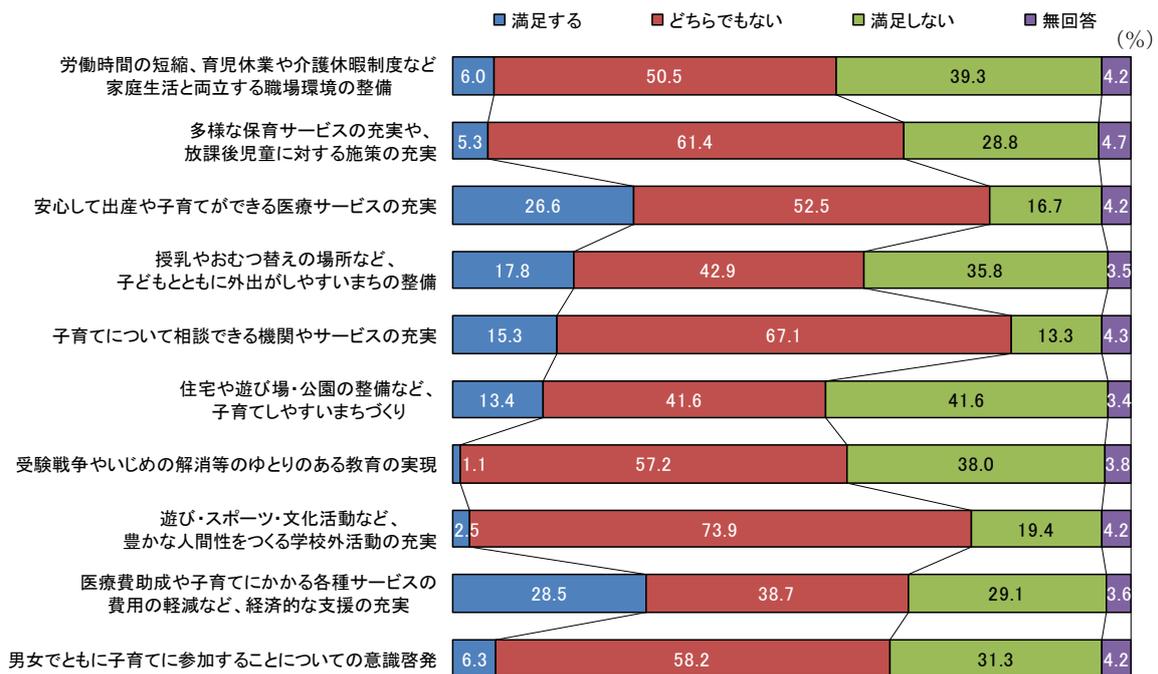


図 名古屋市の取り組みについて：現状への満足度（3歳未満の親）

回答数 全体=2,173

【3歳以上の親】

(1) 期待するかどうか

- ◇ 3歳以上の親の期待度が高い取り組みは、「医療費助成や子育てにかかる各種サービスの費用の軽減など、経済的な支援の充実」が90.5%、「住宅や遊び場・公園の整備など、子育てしやすいまちづくり」が90.4%、「安心して出産や子育てができる医療サービスの充実」が85.3%となっている。
- ◇ 「期待しない」「どちらでもない」の割合が相対的に高いのは、「子育てについて相談できる機関やサービスの充実」(33.3%)、「男女でともに子育てに参加することについての意識啓発」(32.2%)、「受験戦争やいじめの解消等のゆとりのある教育の実現」(28.0%)となっている。

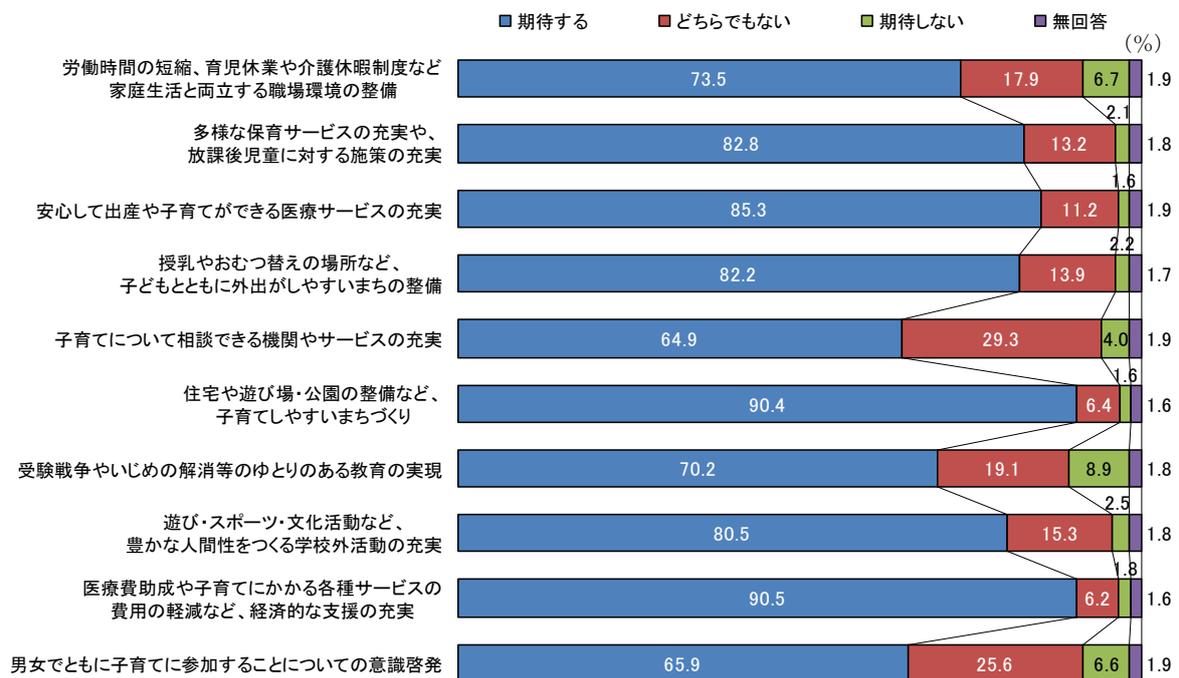


図 名古屋市の取り組みについて：期待度（3歳以上の親）

回答数 全体=2,047

(2) 現状に満足しているかどうか

- ◇ 3歳以上の親の満足度が高い取り組みは、「医療費助成や子育てにかかる各種サービスの費用の軽減など、経済的な支援の充実」が27.7%、「安心して出産や子育てができる医療サービスの充実」が23.8%、「授乳やおむつ替えの場所など、子どもとともに外出がしやすいまちの整備」が20.3%となっている。
- ◇ 「満足しない」の割合が高いのは、「住宅や遊び場・公園の整備など、子育てしやすいまちづくり」(41.0%)、「受験戦争やいじめの解消等のゆとりのある教育の実現」(38.2%)、「労働時間の短縮、育児休業や介護休暇制度など家庭生活と両立する職場環境の整備」(37.5%)となっている。

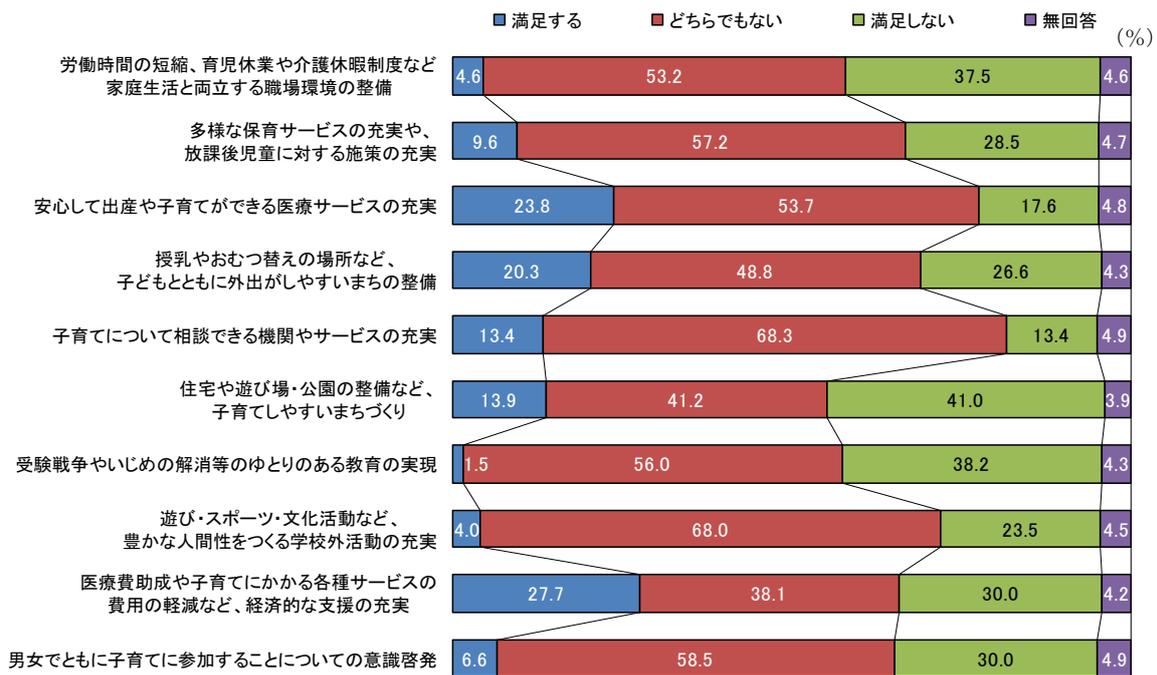


図 名古屋市の取り組みについて：現状への満足度（3歳以上の親）

回答数 全体=2,047

- ◇ 「名古屋市としては子ども・子育て支援に取り組む必要はない」と回答している割合は1%未満であり、ほとんどの人が、名古屋市が子育て支援に取り組むことに対して期待している。

<「満足している」割合と「期待する」割合の関係>

期待度と満足度がともに高い項目は「医療費助成や子育てにかかる各種サービスの費用の軽減など、経済的な支援の充実」、「安心して出産や子育てができる医療サービスの充実」と医療サービスの充実があげられる。対して期待度と満足度がともに低い項目が「受験戦争やいじめの解消等のゆとりのある教育の実現」と「男女でともに子育てに参加することについての意識啓発」となっている。

(%)

施策項目	満足している	期待する
ア. 労働時間の短縮、育児休業や介護休暇制度など家庭生活と両立する職場環境の整備	5.3	74.4
イ. 多様な保育事業の充実や、放課後児童に対する施策の充実	7.3	82.3
ウ. 安心して出産や子育てができる医療サービスの充実	25.2	87.2
エ. 授乳やおむつ替えの場所など、子どもとともに外出がしやすいまちの整備	19.0	87.0
オ. 子育てについて相談できる機関やサービスの充実	14.3	67.2
カ. 住宅や遊び場・公園の整備など、子育てしやすいまちづくり	13.6	90.9
キ. 受験戦争やいじめの解消等のゆとりのある教育の実現	1.3	70.2
ク. 遊び・スポーツ・文化活動など、豊かな人間性をつくる学校外活動の充実	3.2	79.6
ケ. 医療費助成や子育てにかかる各種サービスの費用の軽減など、経済的な支援の充実	28.0	90.5
コ. 男女でともに子育てに参加することについての意識啓発	6.4	67.6

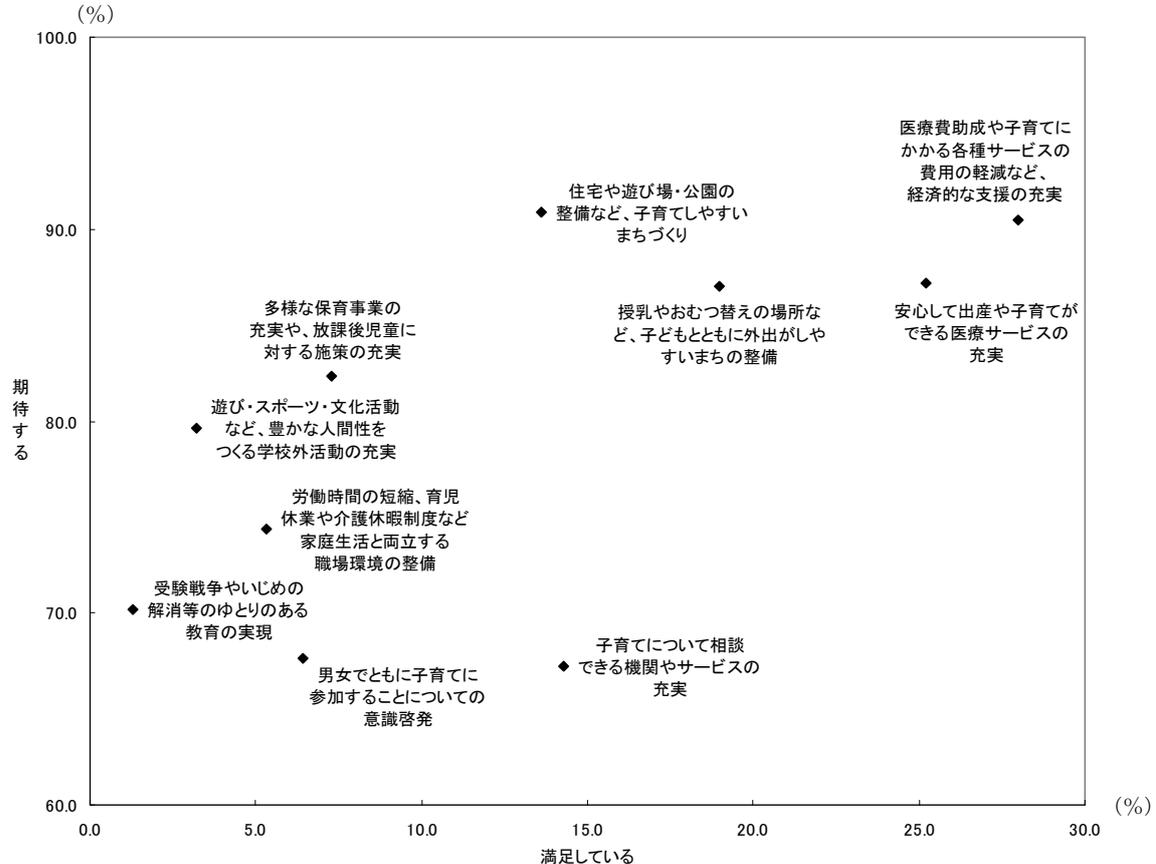


図 名古屋市の取り組みの満足度と期待度の関係性

育児休業の取得について（就学前） 【問 2 1】

■あて名のお子さんについて育児休業を取得しましたか。（1つ）

- ◇ 全体では「育児休業を利用しなかった」が68.6%、次いで「母親が取得した」が25.5%となっている。
- ◇ 3歳未満の親は「母親が取得した」（差4.3%）が多く、対して3歳以上の親は「育児休業を利用しなかった」（差5.0%）が多い。

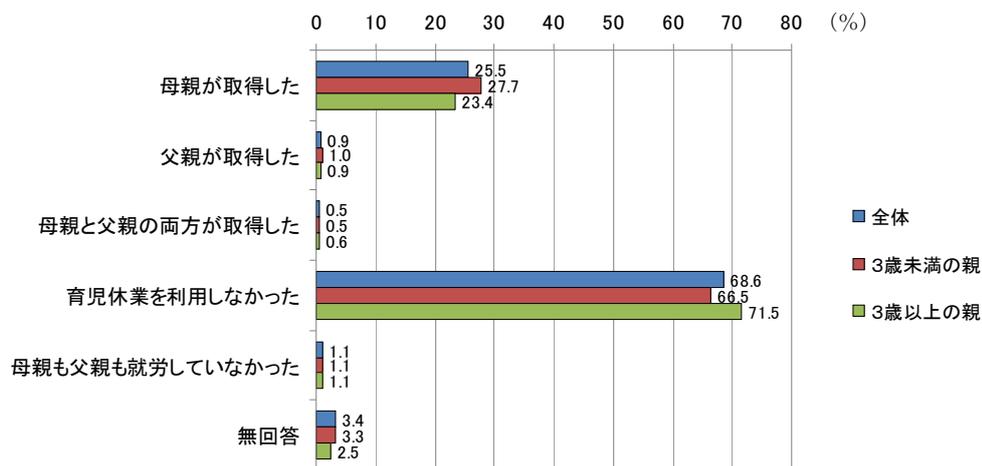


図 育児休業の取得

回答数 全体=4,311 3歳未満の親=2,173 3歳以上の親=2,047

【5年前からの変化】

- ・全体では、育児休業を利用しなかった割合が約19%、育児休業を母親が取得した割合が約11%増えた。
- ・全体では、就労していなかった割合が約25%減った。

(1) 復帰時のお子さんの年齢について

- ◇ 母親では「1歳未満」が50.1%、次いで「1歳以上2歳未満」が30.6%、「2歳以上3歳未満」が9.5%となっている。
- ◇ 父親では「1歳未満」が43.5%、次いで「1歳以上2歳未満」が12.9%、「2歳以上3歳未満」が4.8%となっている。

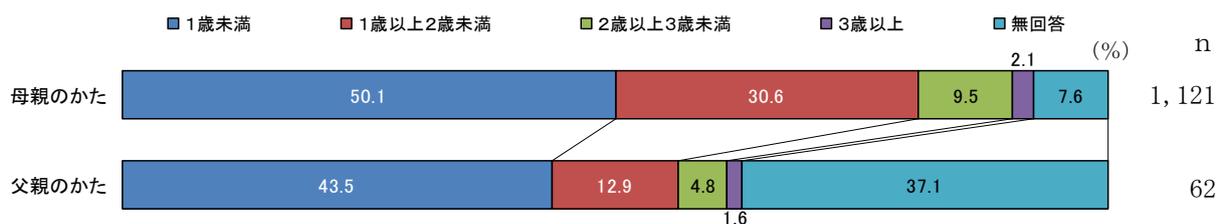


図 育児休業復帰時の子どもの年齢

『育児休業の取得（就学前 問21）と名古屋市の取り組み（就学前 問17）』

◎ 育児休業を取得した父親は、「職場環境の整備」や「医療サービスの充実」「経済的支援」「男女での子育ての意識啓発」について、全体よりも満足している割合が高い。

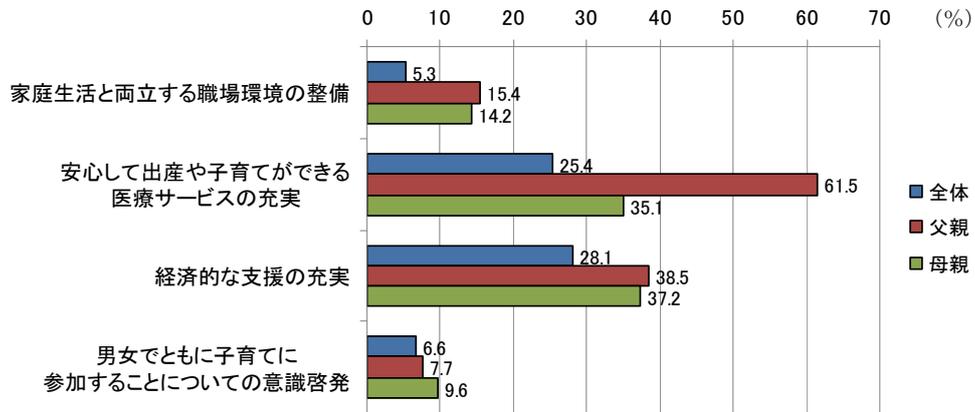


図 父親と母親の転職希望

～就学後の保護者への質問～

お子さんの入学による就労形態の変化について（就学後） 【問7】

■一番上のお子さんが小学校に入られたことをきっかけに、父親、母親の就労形態などを変更しましたか。（1つ）

(1) 父親のかた

◇ 「特に変更していない」が60.1%、「特に変更していないが、子どもを親族や学童保育などに預けることで対応した」が11.1%で、変更していない割合が全体の70%以上を占める。

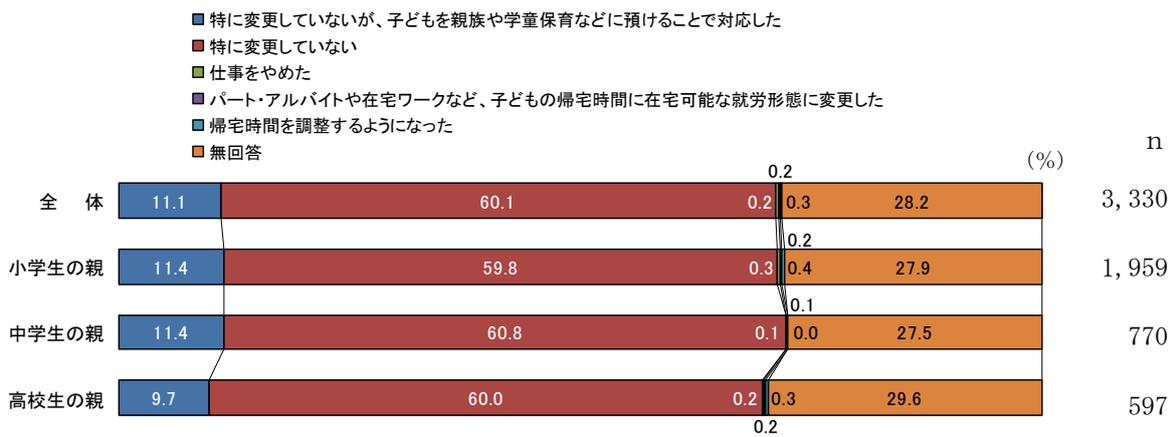


図 父親の就労形態の変更

(2) 母親のかた

◇ 母親の場合、変更していない割合が48.0%と、父親の場合よりも割合が低くなる。
 ◇ また、変更した割合は、「パート・アルバイトや在宅ワークなど、子どもの帰宅時間に在宅可能な就労形態に変更した」が5.6%、「仕事をやめた」が4.7%、「帰宅時間を調整するようになった」が2.5%となっている。

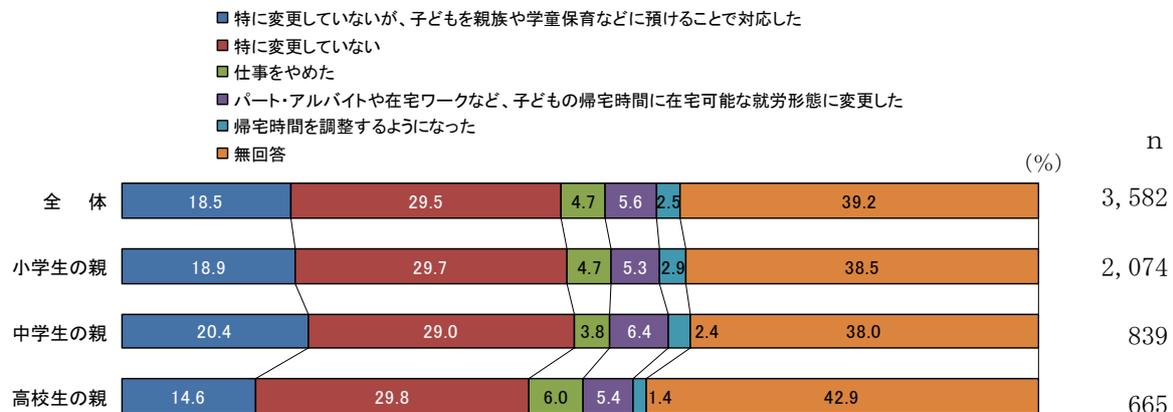


図 母親の就労形態の変更

問7-1 (父親のかた) 就労形態などを変更した理由はなんですか。(1つ)

◇ 全体では、「子育てと仕事の両立が困難になったから」が18.2%、「放課後等に安心して子どもを預けることができる場所がないから」が13.6%、「子育てに専念したいから」「社会的な活動や地域活動に参加したいから」が4.5%となっている。

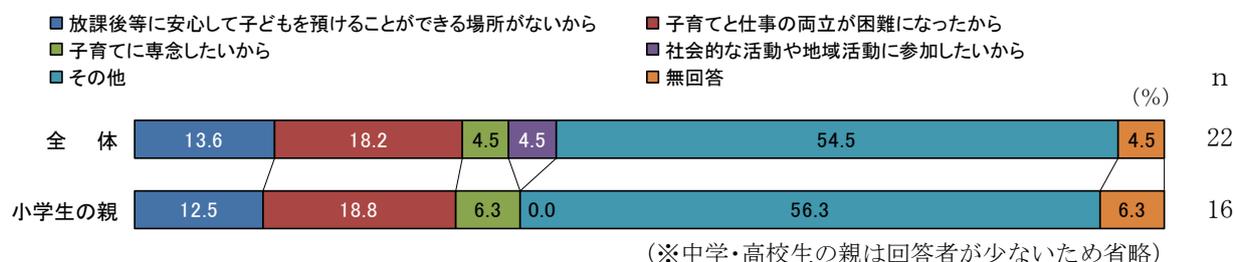


図 父親の就労形態の変更理由

問7-2 (母親のかた) 就労形態などを変更した理由はなんですか。(1つ)

◇ 全体では、「子育てと仕事の両立が困難になったから」が33.6%で、「子育てに専念したいから」が26.7%、「放課後等に安心して子どもを預けることができる場所がないから」が19.7%となっている。

◇ 高校生の親は他の年齢よりも、「子育てと仕事の両立が困難になったから」が41.2%と割合が高い。

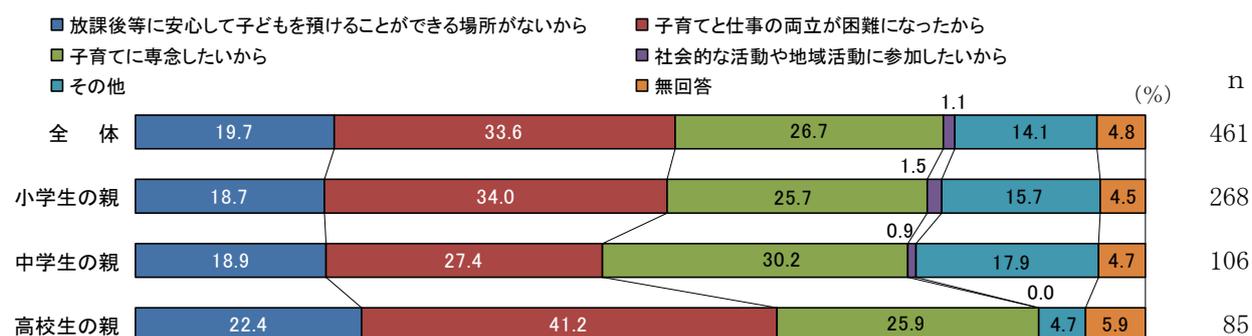


図 母親の就労形態の変更理由

(4) あなたの世帯では、現在、お子さんは塾や習い事などに通っていますか。(複数回答)

【経済的な負担について】

- ◇ 全体では、「学習塾・進学塾」が42.9%で最も多く、「スポーツ」が42.0%、「絵画・音楽・習字などの芸術の習いごと」が38.3%、「通信教育」29.0%となっている。
- ◇ 小学生は「スポーツ」が56.8%、中学生は「学習塾・進学塾」が62.3%と割合が高い。高校生になると、他の年齢よりも通わせていない割合が高い傾向にある。

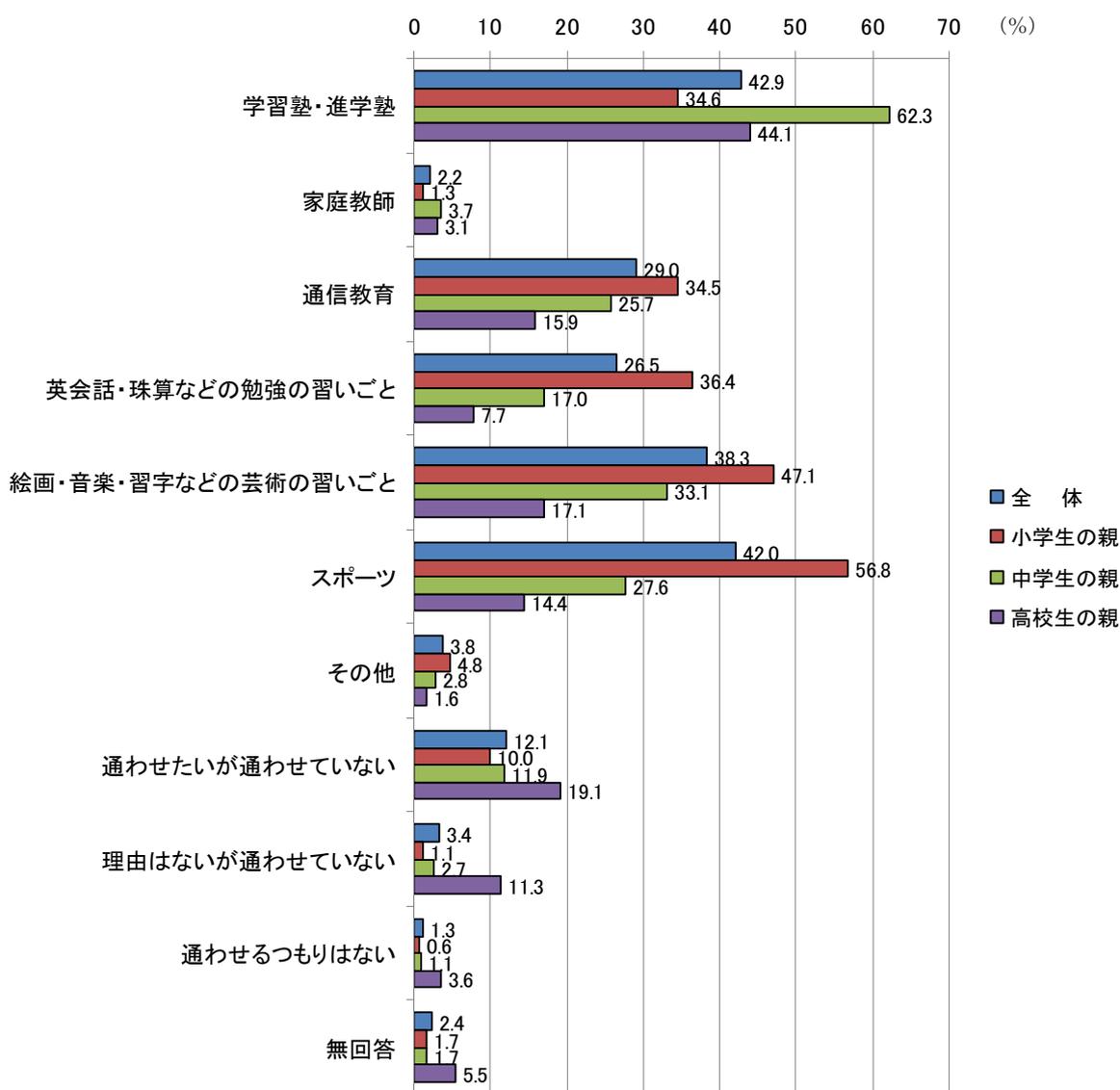


図 塾・習い事に通わせている割合

回答数 全体=7,371 小学生の親=4,786 中学生の親=1,607 高校生の親=966

【月額】

1. 学習塾・進学塾

◇ 全体では、「2万円以上3万円未満」が22.1%で最も多く、次いで「1万円以上2万円未満」が21.7%、「3万円以上4万円未満」が19.3%、「5万円以上」が17.3%となっている。

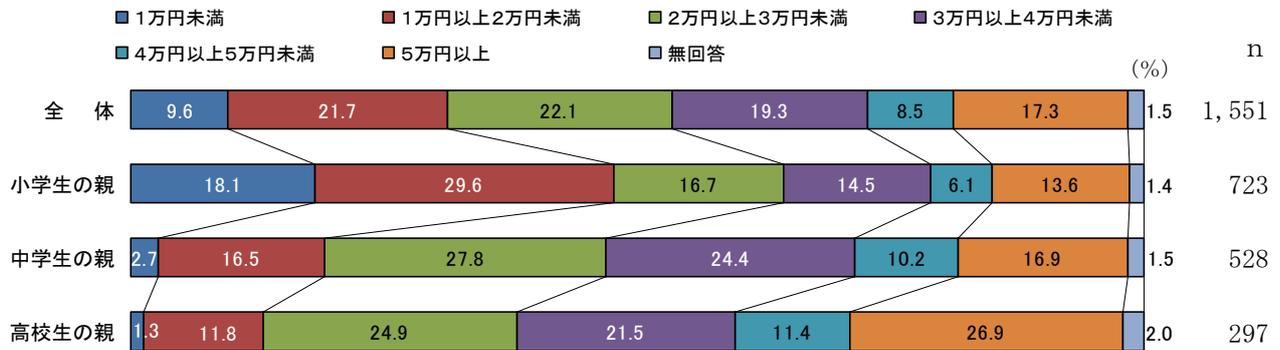


図 学習塾・進学塾の月額

平均値 全体=30,835円 小学生=25,785円 中学生=33,100円 高校生=38,989円

2. 家庭教師

◇ 全体では、「1万円以上2万円未満」が26.6%と最も多く、次いで「2万円以上3万円未満」が24.1%、「1万円未満」「3万円以上4万円未満」が15.2%となっている。

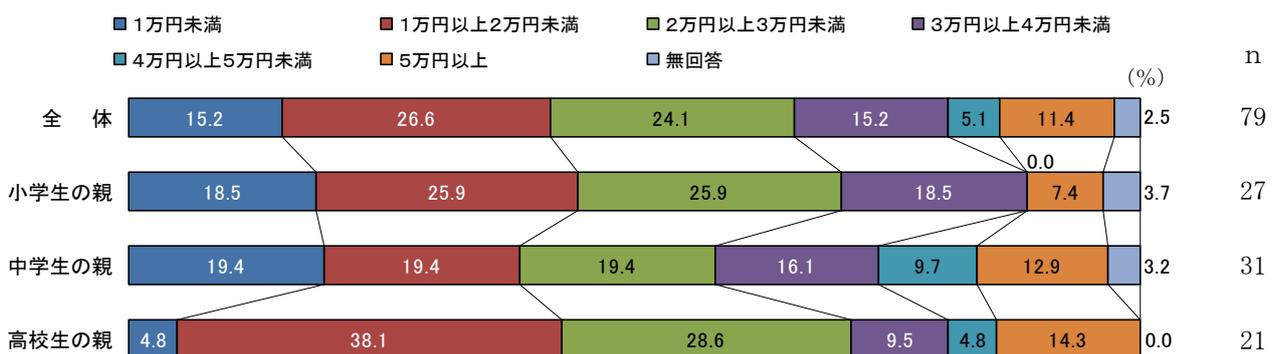


図 家庭教師の月額

平均値 全体=23,258円 小学生=20,731円 中学生=25,397円 高校生=23,333円

3. 通信教育

- ◇ 「1万円未満」が71.6%と全体の70%以上を占めている。次いで「1万円以上2万円未満」が21.4%、「2万円以上3万円未満」が4.3%となっている。
- ◇ 「1万円未満」の割合は、小学生が77.1%、中学生が64.2%、高校生が49.5%と年齢が上がるにつれて減少傾向がみられ、「1万円以上2万円未満」の割合は、小学生が17.3%、中学生が26.1%、高校生が38.3%と年齢とともに増加していく傾向にある。

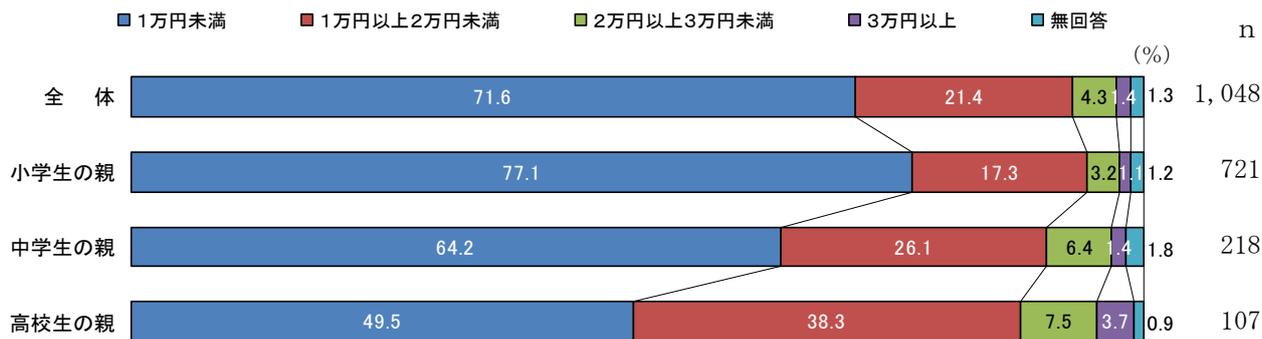


図 通信教育の月額

平均値 全体=7,627円 小学生=6,730円 中学生=9,016円 高校生=10,881円

4. 英会話・珠算などの勉強の習いごと

- ◇ 「1万円未満」が54.6%と全体の半分以上を占めている。次いで「1万円以上2万円未満」が32.8%、「2万円以上3万円未満」が7.5%となっている。

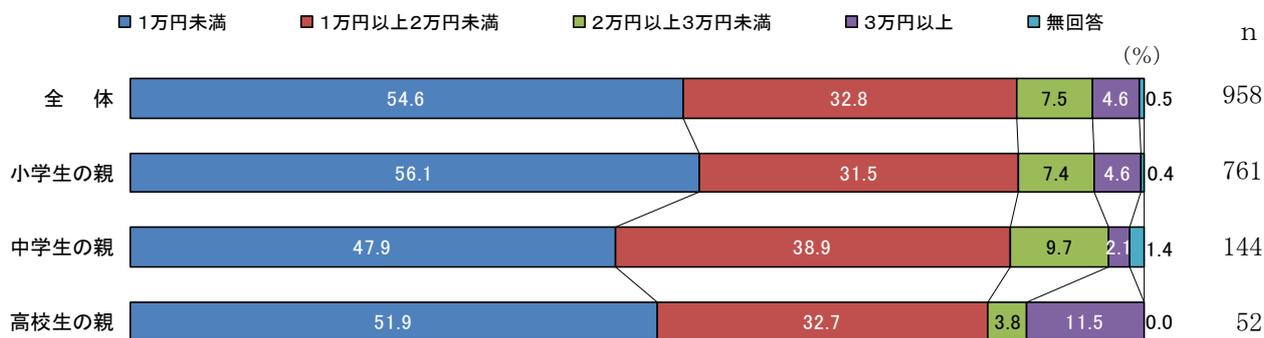


図 英会話・珠算などの勉強の習いごとの月額

平均値 全体=11,161円 小学生=11,052円 中学生=10,985円 高校生=13,102円

5. 絵画・音楽・習字などの芸術の習いごと

◇ 「1万円未満」が62.3%と全体の60%以上を占めている。次いで「1万円以上2万円未満」が25.3%、「2万円以上3万円未満」が7.7%となっている。



図 絵画・音楽・習字などの芸術の習いごとの月額

平均値 全体=9,792円 小学生=9,801円 中学生=9,832円 高校生=9,609円

6. スポーツ

◇ 「1万円未満」が58.5%と半分以上を占めている。次いで「1万円以上2万円未満」が29.2%、「2万円以上3万円未満」が7.6%となっている。

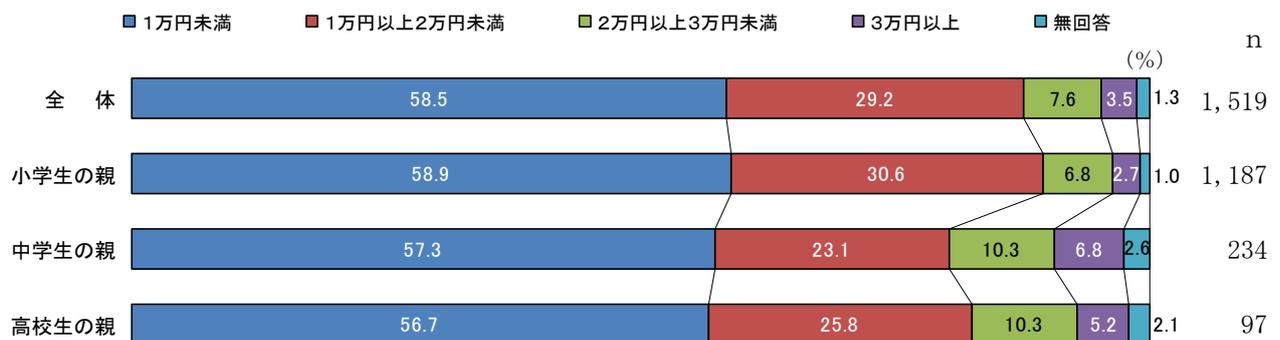


図 スポーツの月額

平均値 全体=10,273円 小学生=10,064円 中学生=11,146円 高校生=10,708円

【平均値】

◇ 「学習塾・進学塾」が約31,000円と最も高く、次いで「家庭教師」が約23,000円、「その他」が約14,000円、「英会話・珠算などの勉強の習いごと」が約11,000円、「スポーツ」が約10,000円となっている。

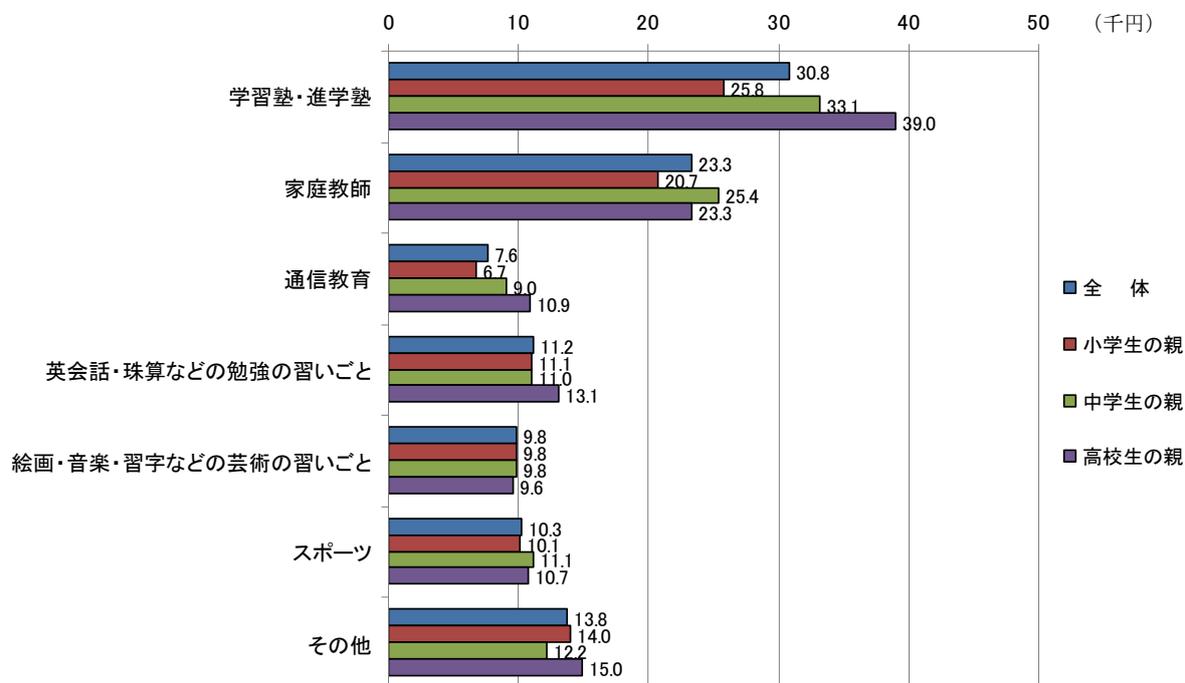


図 塾・習いごとの月額（平均値）

(4) - 1 お子さんを塾や習い事に通わせていない理由は何ですか。(複数回答)

- ◇ 全体では、「経済的に余裕がないから」が70.8%と最も多く、「子どもがやりたがらないから」が32.8%、「学校のクラブ活動が忙しいから」が16.4%、「子どもの自由時間が少なくなるから」が10.9%となっている。
- ◇ 「学校のクラブ活動が忙しいから」は中学生の親が22.8%、高校生の親が24.8%と割合が高い。

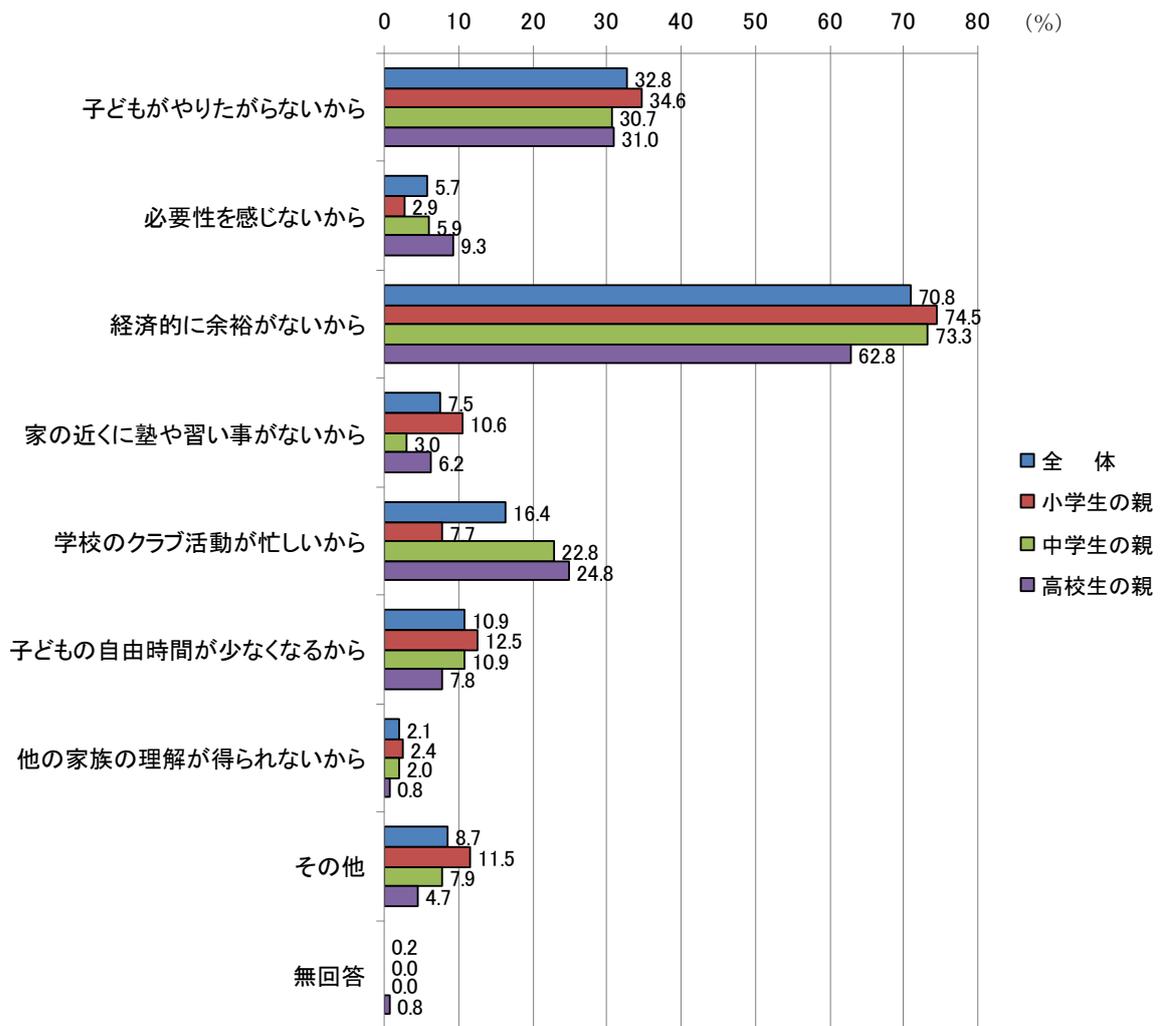


図 塾・習いごとに通わせていない理由

回答数 全体=681 小学生の親=326 中学生の親=158 高校生の親=191

重視しているお子さんの教育について（就学後） 【問12】

(5) あて名のお子さんの教育について、重視していることはありますか。(3つ)

◇ 全体では、「親や友達など自分の周囲の人を大切にすること」が56.2%と最も多く、「自分を大切にすること」が45.5%、「自分の意見をはっきりいえること」が33.4%、「正直であること」「目標を立てて努力すること」が33.2%となっている。

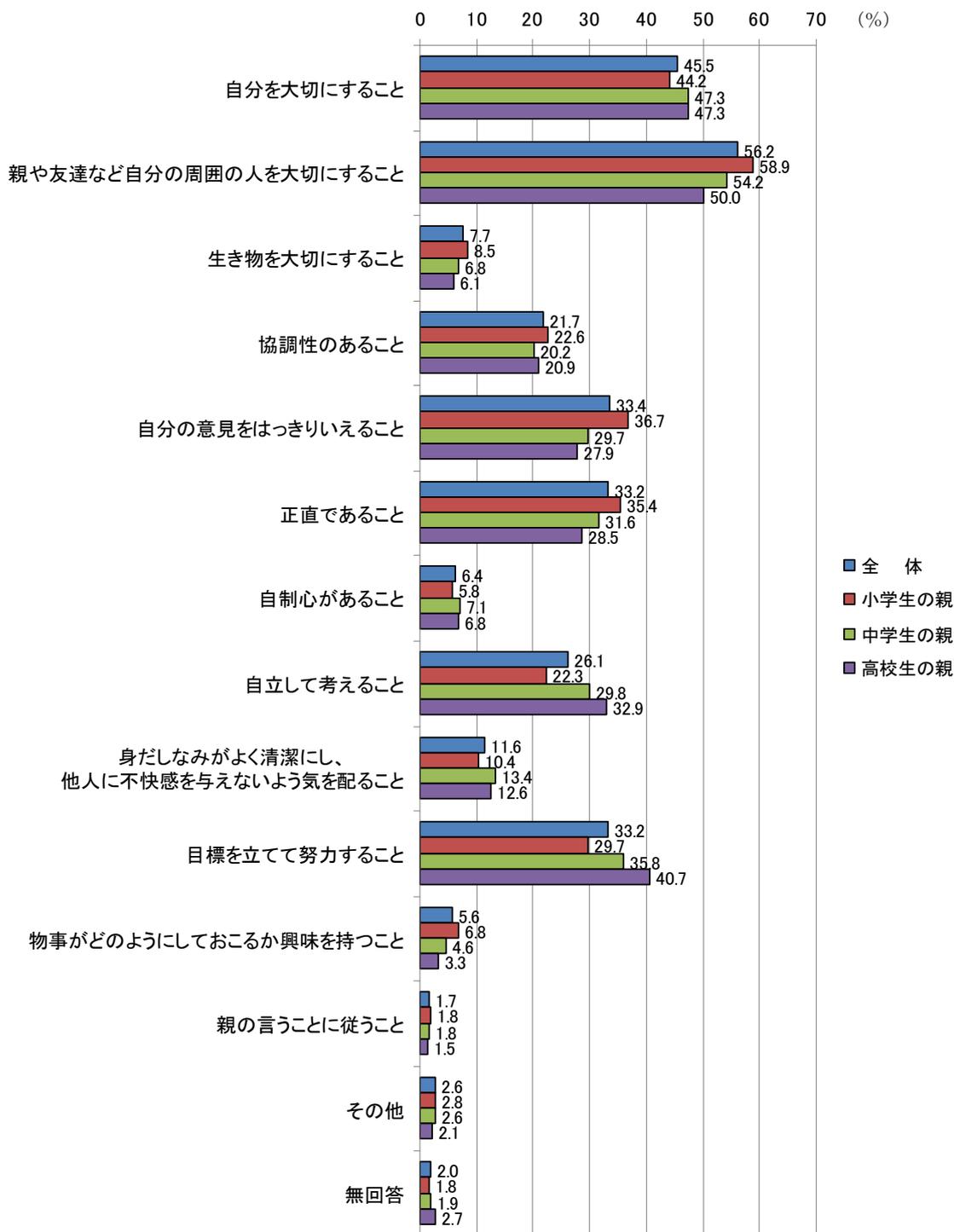


図 お子さんの教育について重視していること

回答数 全体=10,370 小学生の親=6,016 中学生の親=2,433 高校生の親=1,909

【あて名のお子さんが小学生の保護者のかた】

子どもの遊び場について（就学後） 【問13】

■あなたの家の近くの子どもの遊び場について、日頃感じていること。（3つまで）

◇ 「雨の日に遊べる場所がない」が 59.3%と最も多く、「遊び場周辺の道路が危険である」が 30.5%、「思い切り遊ぶために十分な広さがない」が 23.7%、「近くに遊び場がない」が 15.7%、「遊具などの種類が充実していない」が 15.5%となっている。

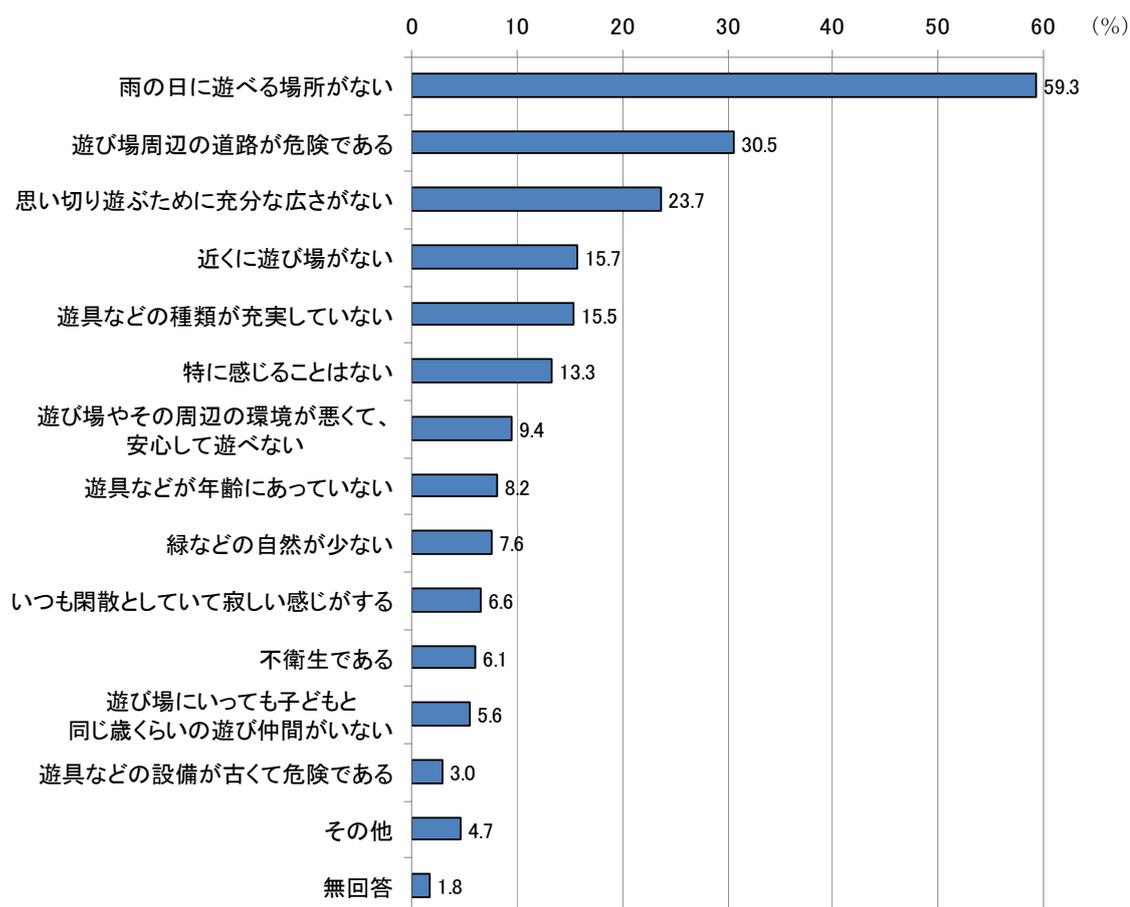


図 子どもの遊び場について感じる事
回答数 小学生の親=4,404

【5年前からの変化】

- ・全体的に減少傾向にあり、5年前より良くなっていると感じている人が増えた。
- ・遊び場周辺の道路が危険であるが約3%増えた。また、特に感じることはない人の割合が約8%増えた。
- ・遊具が充実していないが約8%、雨の日に遊べる場所がないが約6%、遊び場の環境が悪く安心して遊べないが約4%、不衛生であるが約3%減った。

【あて名のお子さんが小学生の保護者のかた】

お子さんの休日の過ごし方について（就学後） 【問15】

■あて名のお子さんはどのように過ごしていますか。（複数回答）

【参考】

事業	内容
トワイライトスクール	小学校施設を活用して、異学年の友達との遊びや学び、地域の方との交流、体験活動などの場を提供。（小学校に通うすべての子どもが対象となる事業）
トワイライトルーム	トワイライトスクールの内容に加え、就労等で子育てへの援助を希望する家庭の子どもについて、その生活面でのサポート等を行う子ども指導員を配置するなど、より生活に配慮した取り組みを行う。
学童保育	保護者が就労等により昼間家庭にいない子どもについて、その健全な育成を図るため、授業終了後等に適切な遊びと生活の場を提供。
のびのび子育てサポート事業	子育ての援助を行いたい方と受けたい方からなる会員組織により、一時的に子育ての手助けをしあう制度。

（1）平日（学校がある日）

◇ 「習いごと」が69.7%と最も多く、次いで「自宅」が68.3%、「学校で行われる部活動」が26.3%、「祖父母宅や友人・知人宅」が21.6%となっている。

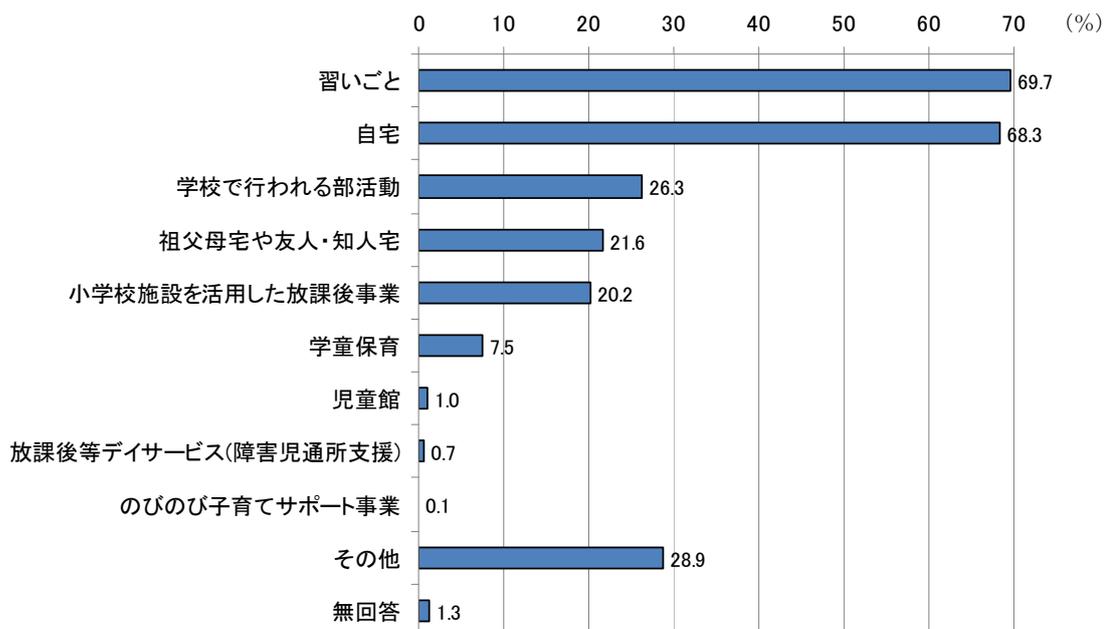


図 お子さんの平日（学校がある日）の過ごし方
回答数 小学生の親=5,131

【日数】

- ◇ 「学童保育（児童館で行われる学童保育を含む）」は「5日以上」の割合が58.3%と高く、1週間の過ごし方で最も日数が多い。
- ◇ 「祖父母宅や友人・知人宅」「児童館」は「1日」の割合が60%以上と高くなる。

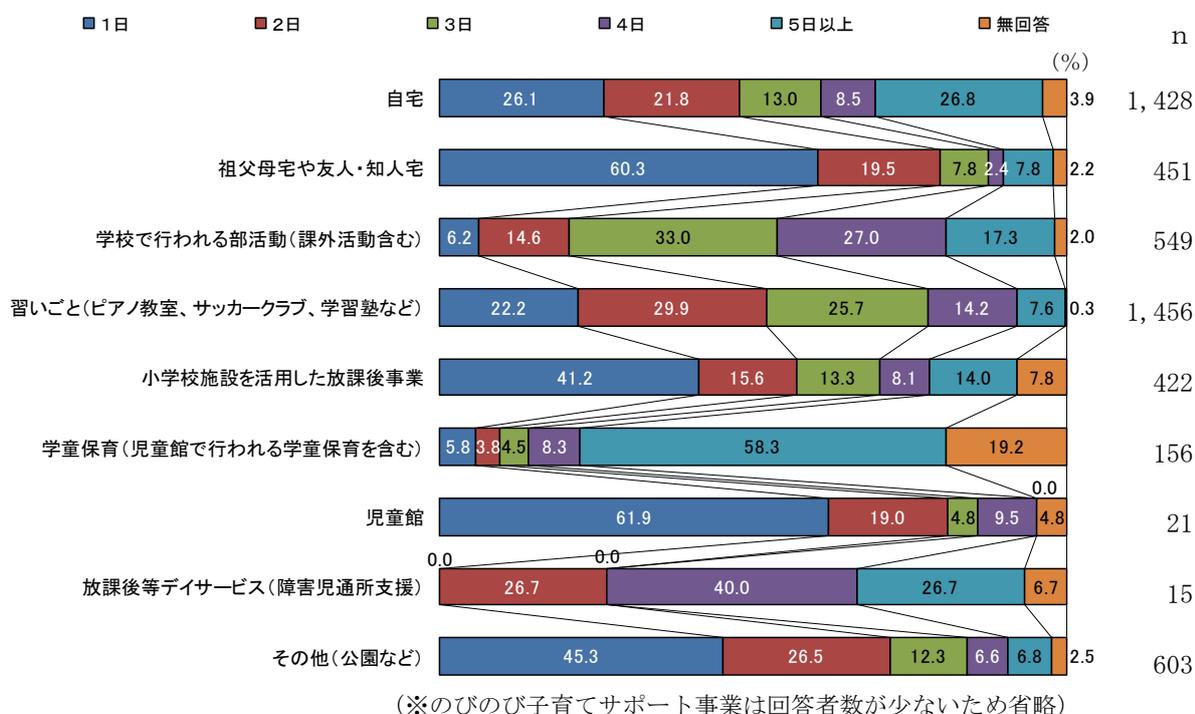


図 お子さんの平日（学校がある日）の過ごし方：日数

【利用時間】（放課後事業、学童保育のみ）

- ◇ 放課後事業は「16時まで」の割合が36.0%と高く、学童保育は「18時まで」の割合が50.6%と高い。放課後事業より学童保育のほうが長い時間過ごしている。

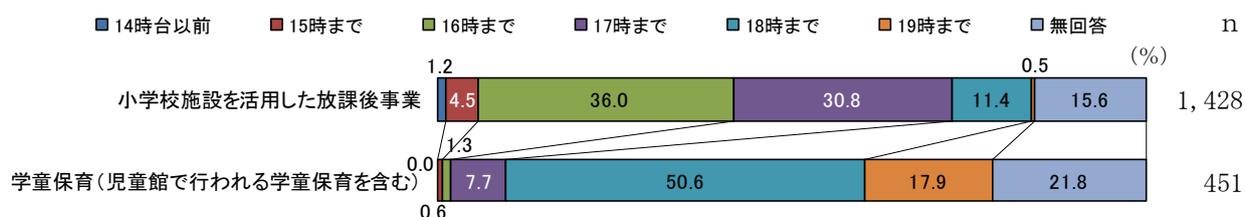


図 お子さんの平日（学校がある日）の過ごし方：利用時間

【トワイライトスクールと学童保育の利用と母親の就労状況】（平日）

◇ トワイライトスクールの利用者では「就労している」が 68.1%、「以前は就労していたが現在は就労していない」が 24.9%、学童保育の利用者では「就労している」が 89.6%である。

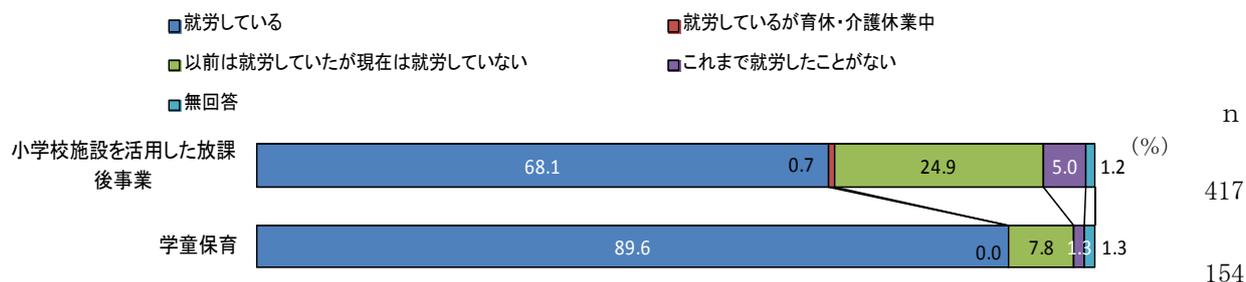


図 トワイライトスクールと学童保育の利用と母親の就労状況

（2）土曜日（学校がない日）

◇ 「自宅」が 79.1%と最も多く、次いで「習いごと」が 34.9%、「祖父母宅や友人・知人宅」が 27.1%となっている。

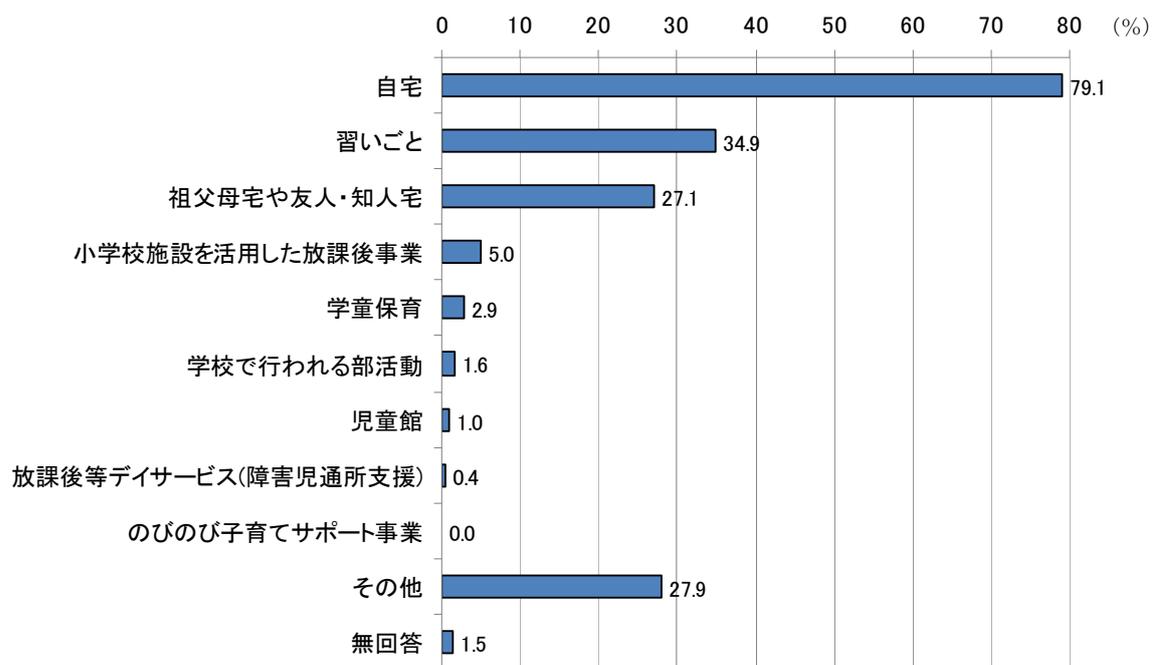


図 お子さんの土曜日（学校がない日）の過ごし方

回答数 小学生の親=3,792

【日数】

- ◇ 「習いごと（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」「放課後等デイサービス（障害児通所支援）」は「4日以上」の割合が60%以上と高く、1週間の過ごし方で最も日数が多い。
- ◇ 「1日」の割合では、「祖父母宅や友人・知人宅」「児童館」が40%以上と高くなる。

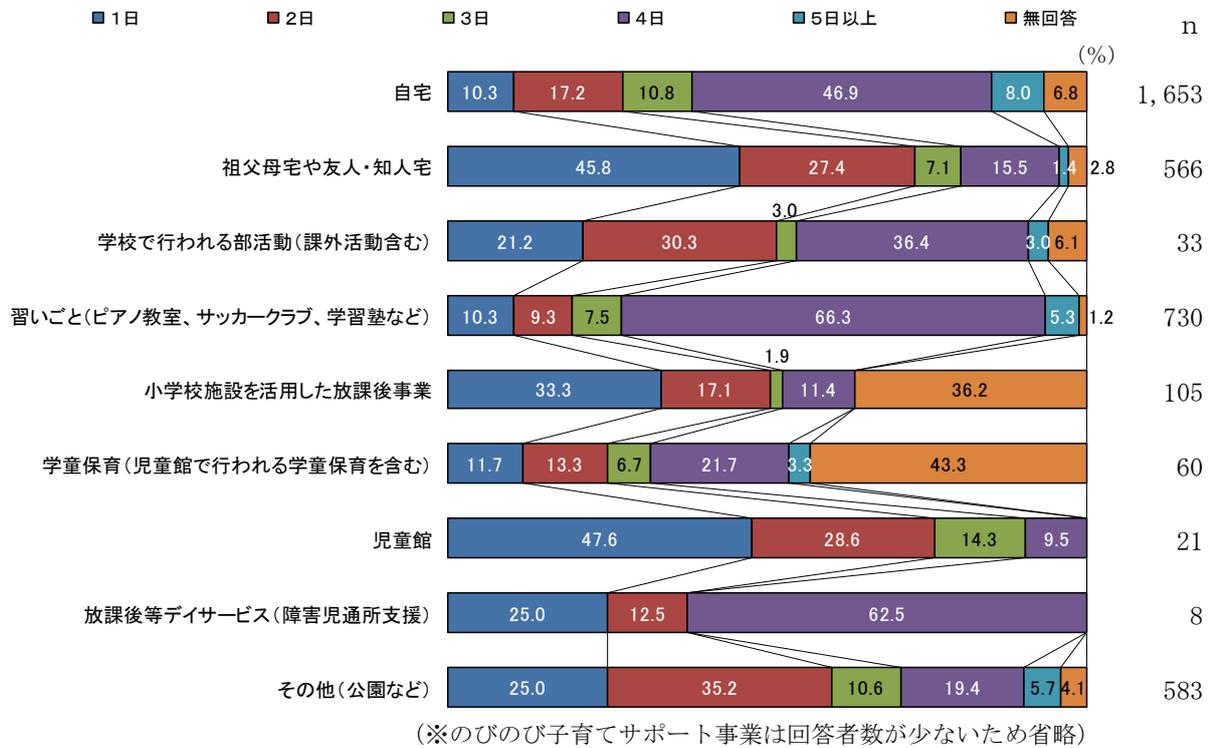


図 お子さんの土曜日（学校がない日）の過ごし方：日数

【利用時間】（放課後事業、学童保育のみ）

<始まり>

◇ 放課後事業も学童保育も「9時台以前」から利用する割合が40%以上を占める。

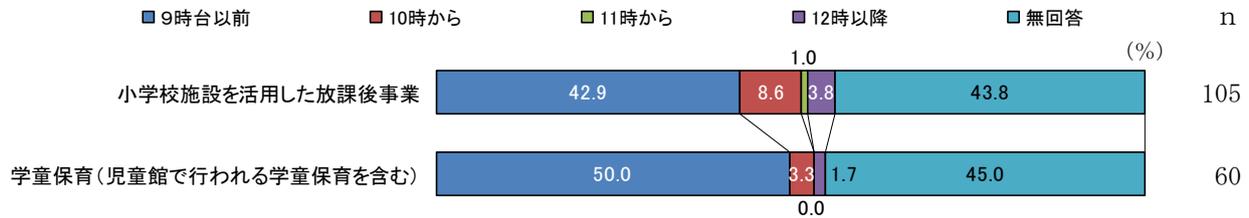


図 お子さんの土曜日（学校がない日）の過ごし方：利用時間（始まり）

<終わり>

◇ 放課後事業の場合は「14時台以前」が18.1%と割合が高く、学童保育の場合は「18時まで」の割合が23.3%と高くなる。

◇ 利用し始める時間は同様の傾向がみられるが、終わりの時間は放課後事業より学童保育のほうが遅い。よって、学童保育のほうが長時間利用されている。

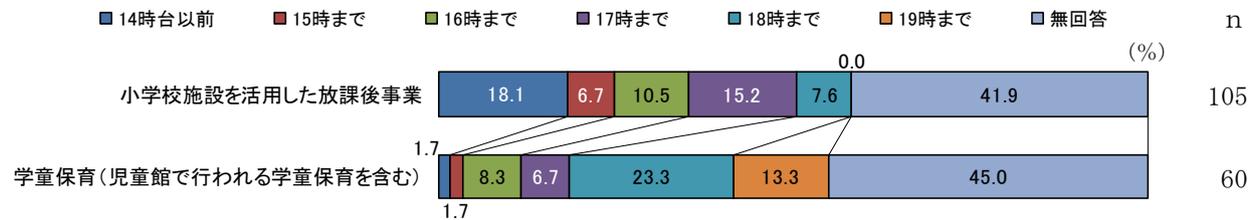


図 お子さんの土曜日（学校がない日）の過ごし方：利用時間（終わり）

(3) 夏休み・冬休みなど長期休業中

◇ 「自宅」が 82.0%と最も高く、次いで「習いごと」が 57.3%、「祖父母宅や友人・知人宅」が 43.4%、「小学校施設を活用した放課後事業」が 17.3%となっている。

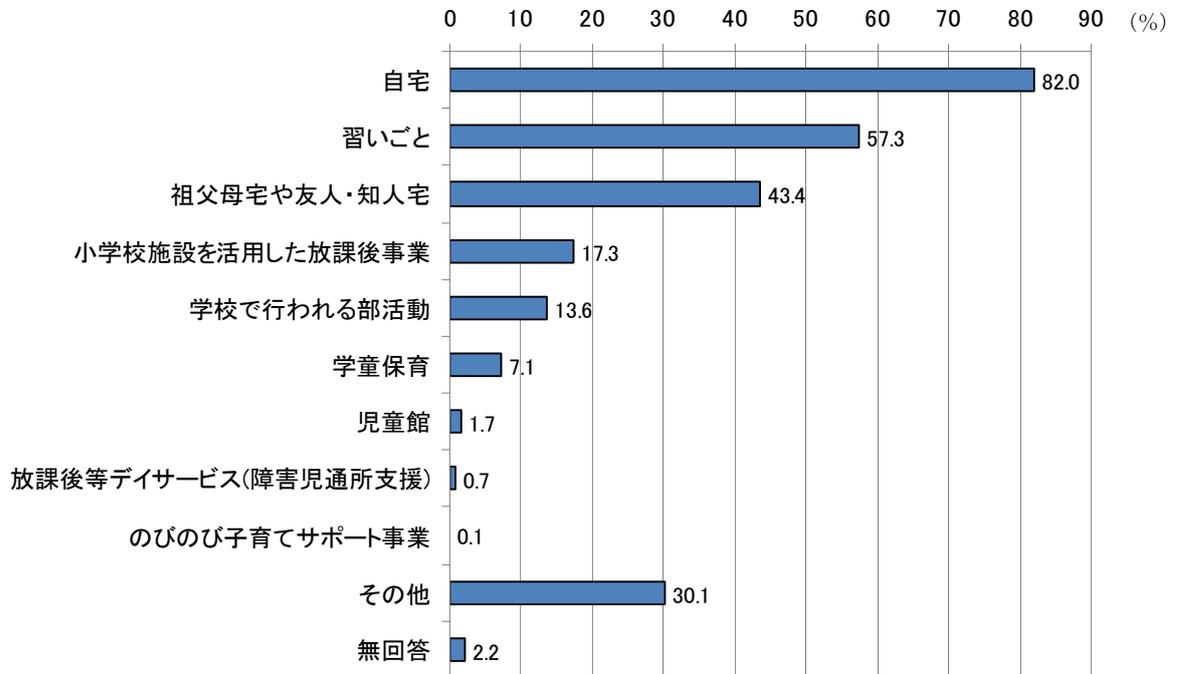


図 お子さんの夏休み・冬休みなど長期休業中の過ごし方
回答数 小学生の親=5,344

【日数】

- ◇ 「自宅」「学童保育（児童館で行われる学童保育を含む）」は「5日以上」の割合が40%以上と高く、1週間の過ごし方で最も日数が多い。特に学童保育は半分以上が「5日以上」を占めている。
- ◇ 「1日」の割合では、「祖父母宅や友人・知人宅」「児童館」が40%以上と高くなっている。
- ◇ 「学校で行われる部活動（課外活動を含む）」「習いごと（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」「小学校施設を活用した放課後事業」などは、日数にあまり偏りがみられない。

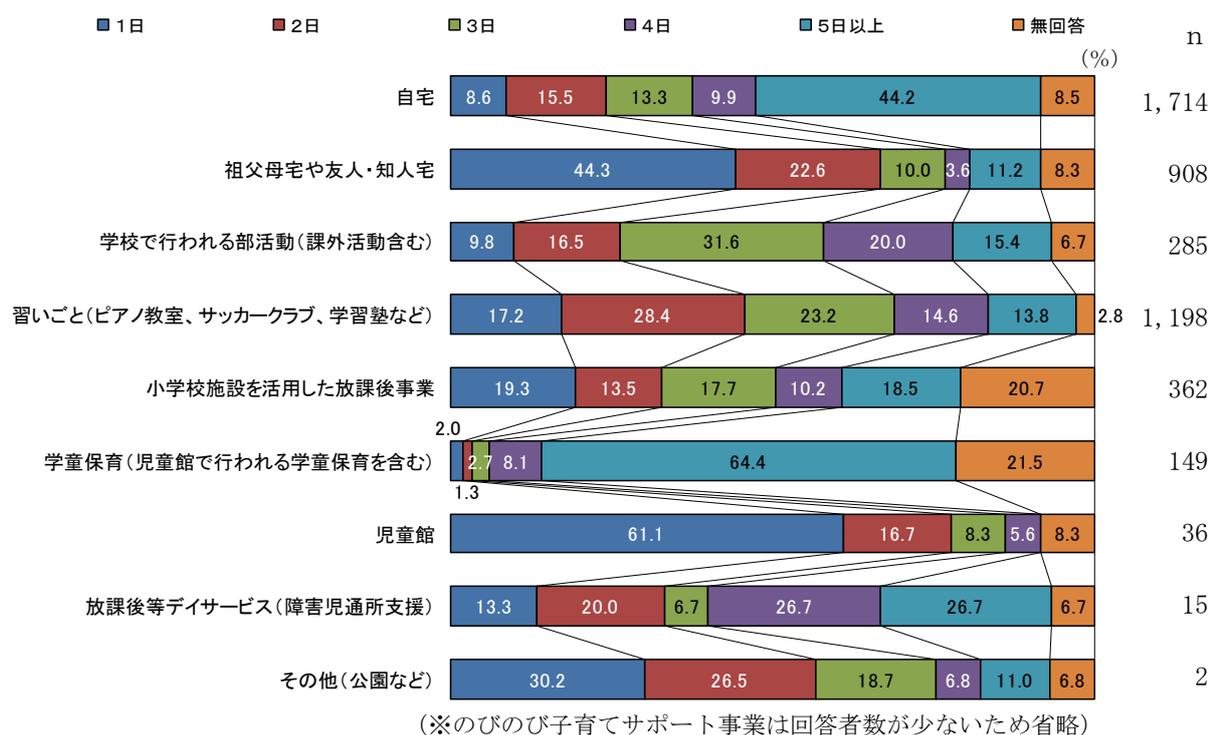


図 お子さんの夏休み・冬休みなど長期休業中の過ごし方：日数

【利用時間】（放課後事業、学童保育のみ）

＜始まり＞

- ◇ 放課後事業も学童保育も「9 時台以前」から利用する割合が 50%以上と高い。特に学童保育は 70%以上の割合を占めている。

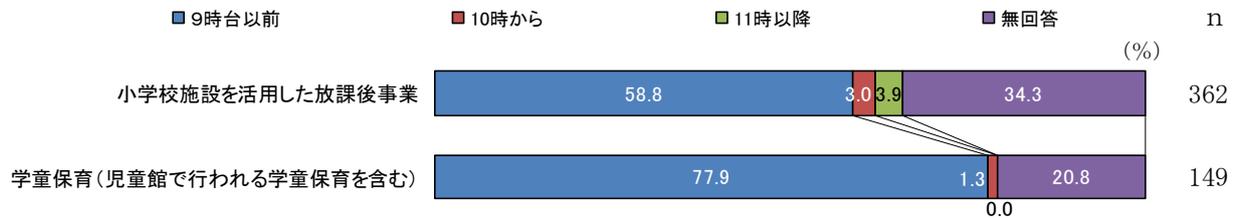


図 お子さんの夏休み・冬休みなど長期休業中の過ごし方：利用時間（始まり）

＜終わり＞

- ◇ 学童保育の場合は「18 時まで」の割合が 49.0%と高い。放課後事業は特に偏りがみられない。
- ◇ 学童保育のほうが放課後事業より長時間利用される傾向にある。

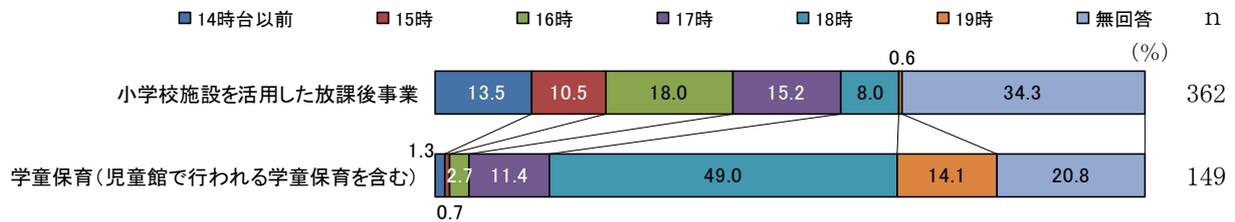


図 お子さんの夏休み・冬休みなど長期休業中の過ごし方：利用時間（終わり）

【あて名のお子さんが小学生の保護者のかた】

トワイライトスクール・学童保育について（就学後）

【問15-1、2】

■トワイライトスクールまたは学童保育を現在、利用していない理由について。（3つまで）

◇ 「子どもが帰宅する時間に、保護者が自宅にいるから」が56.1%と最も多く、次いで「習い事に通っているから」が36.3%、「部活動に所属しているから」が25.2%、「子どもが一人で過ごすことができるから（好きだから）」が23.3%となっている。

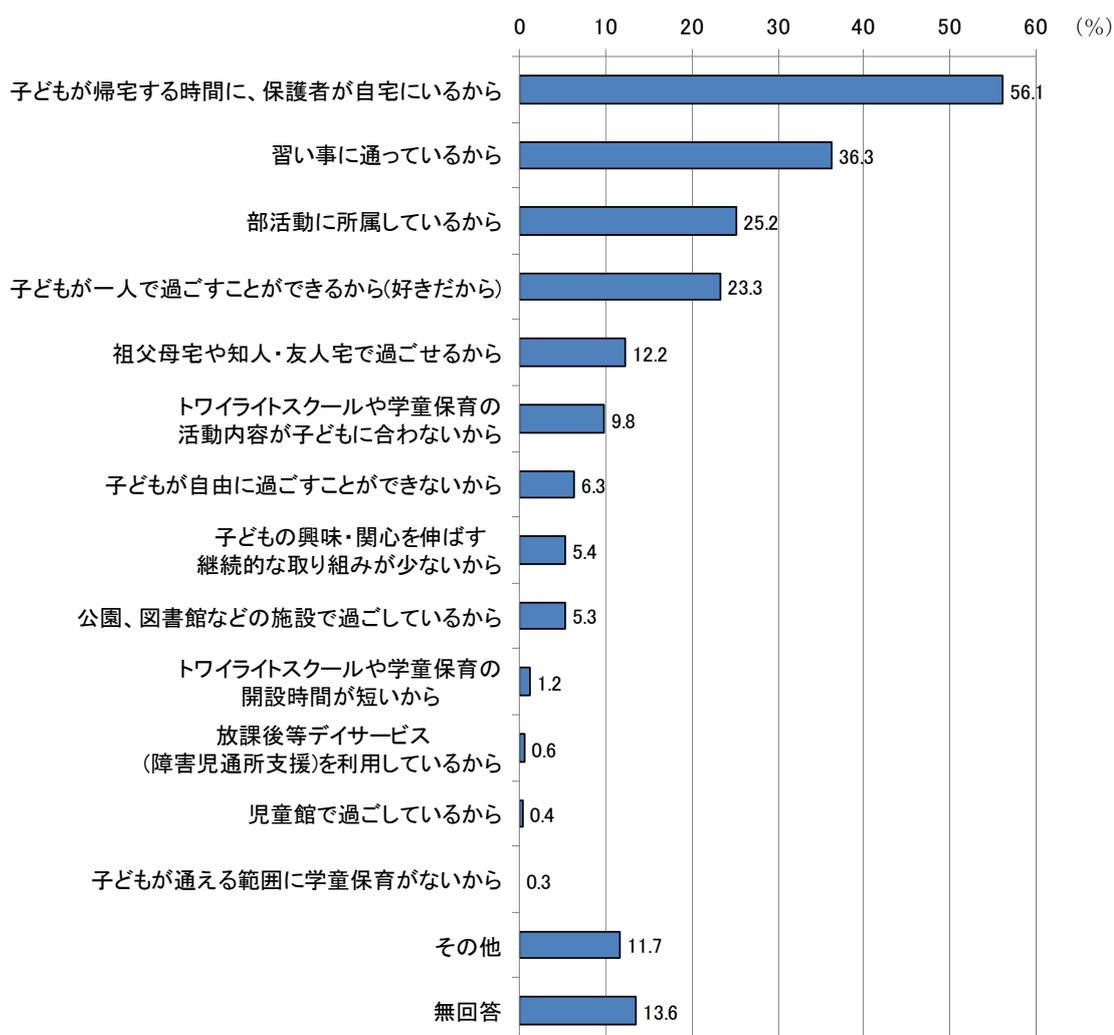


図 トワイライトスクール・学童保育を利用していない理由

回答数 小学生の親=2,884

■お子さまがトワイライトスクールまたは学童保育へ行っている理由は何ですか。(3つまで)

- ◇ 「安心して子どもが過ごすことができる場所だから」「保護者が仕事などで家にいないから」がトワイライト、学童保育ともに多く 40%を超える。
- ◇ トワイライトスクールの場合、「友だちと交流できるから」(38.1%)、「子どもが喜んで参加するから」(29.6%)、「経済的負担の面から」(18.7%)の項目が学童保育よりも割合が高くなる。
- ◇ 学童保育の場合、「開設時間が長いから」(25.0%)、「家庭的な雰囲気子どもが過ごすことができるから」(15.9%)、「指導内容が充実しているから」(11.0%)の項目がトワイライトよりも割合が高くなる。

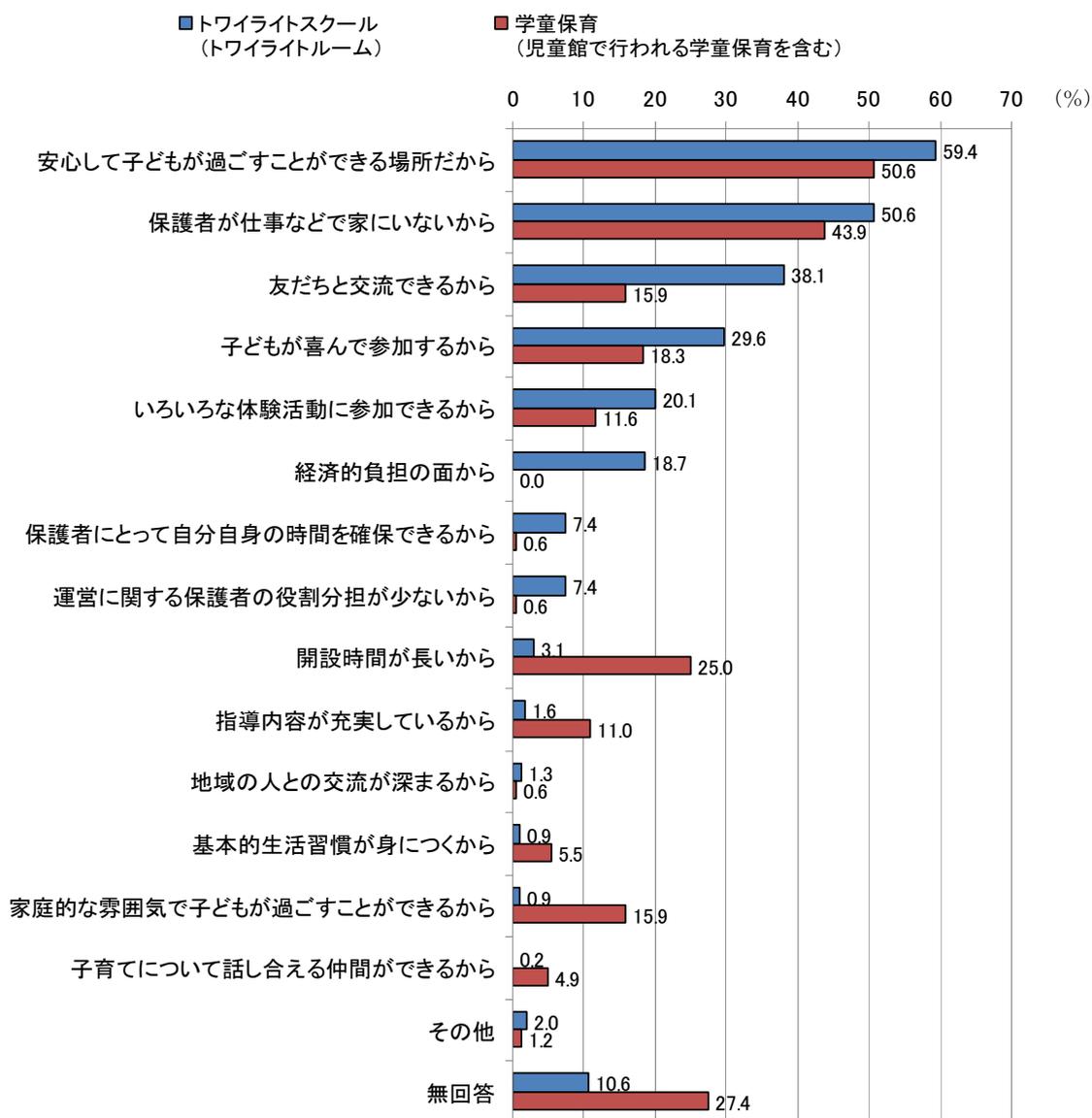


図 トワイライトスクール・学童保育へ行く理由
 回答数 トワイライト=1,402 学童保育=382

【あて名のお子さんが小学生の保護者のかた】

病児・病後児保育について（就学後） 【問16】

■この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。（1つ）

◇ この1年間に、子どもが病気やケガで学校を休んだことがある人が、60.3%である。

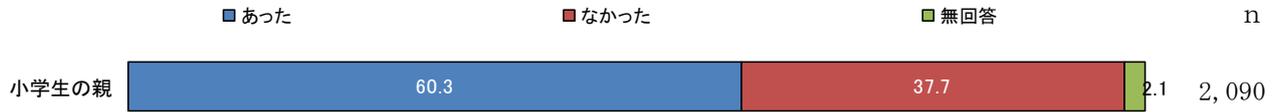


図 この1年間で学校を休んだことがある割合

【5年前からの変化】

・子どもが病気やケガで学校を休んだことがある人が約14%増えた。

問16-1 この1年間で、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかった場合どのように対応しましたか。（複数回答）

◇ 「母親が休んだ」が54.8%と最も多く、次いで「就労していない保護者のかたが看護した」が32.4%、「(同居者も含む)親族・知人に預けた」が14.9%となっている。

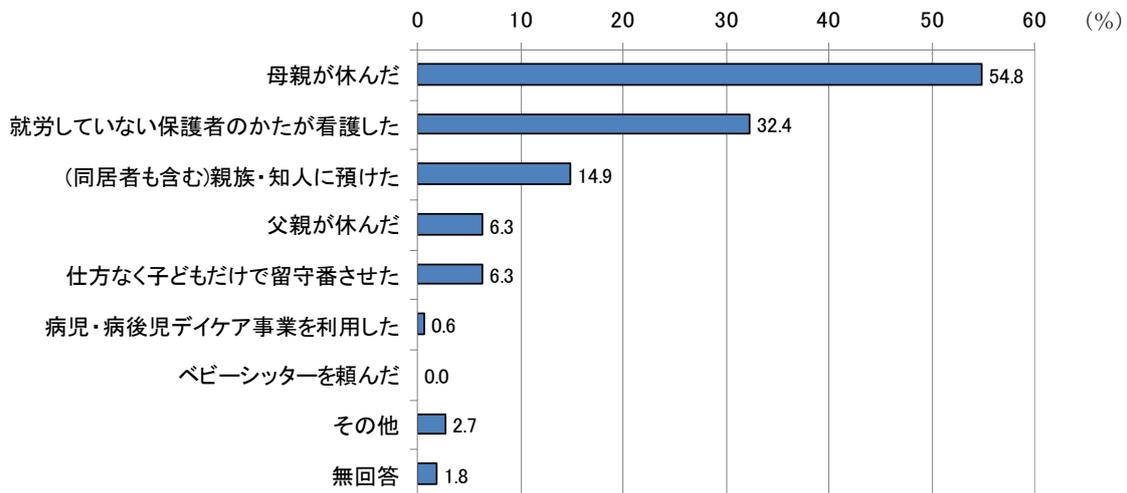


図 お子さんが学校を休んだときの対応
回答数 小学生の親=1,511

【5年前からの変化】

・親族、知人に預けたが約3%、母親が休んだが約2%増えた。
・子どもだけで留守番させたが約4%、就労していない保護者がみたが約3%減った。

【日数】

◇ すべての項目で「1～4日」の割合が半分以上を占める。特に「仕方なく子どもだけで留守番させた」は90%以上を占めている。

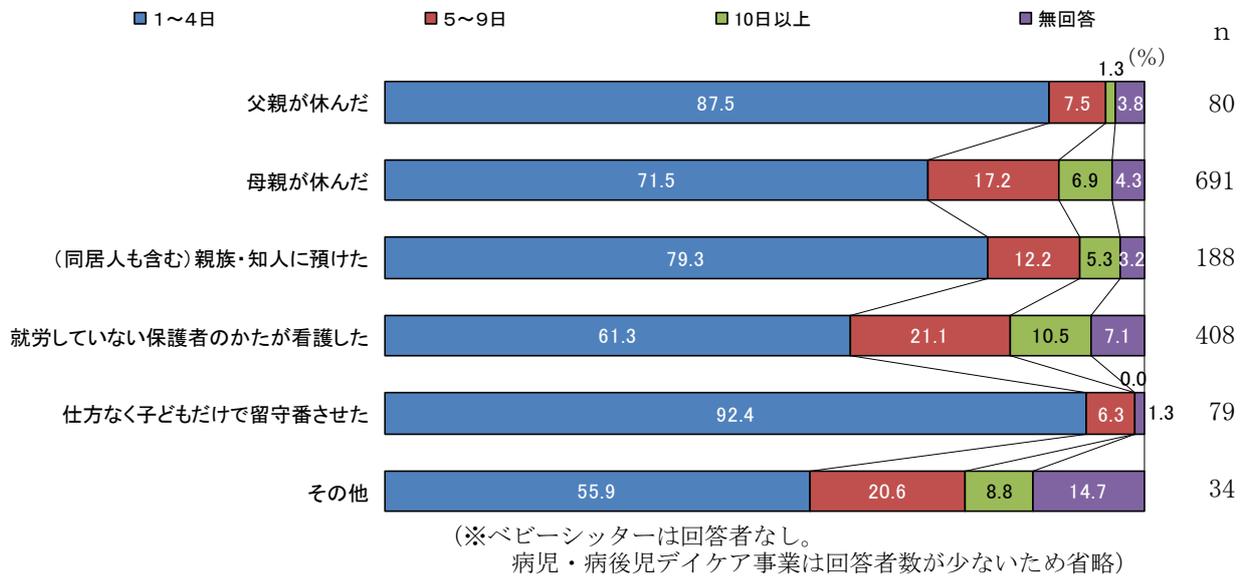


図 お子さんが学校を休んだときの対応：日数

【5年前からの変化】

- ・ 1～4日の割合では、親族、知人に預けたが約10%、子どもだけで留守番させた、父親が休んだが約6%増えた。
- ・ 5～9日の割合では、就労していない保護者がみたが約6%減った。

問16-2 あて名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならないときに、できれば病気のお子さんを対象とした保育事業等を利用したいと思われませんか。(1つ)

◇ 「病気のときは親がそばにいた方がいいと思うので、利用を希望しない」が58.1%と半分以上を占めている。次いで「父親、母親が休めないときは利用したい」が21.6%となっている。

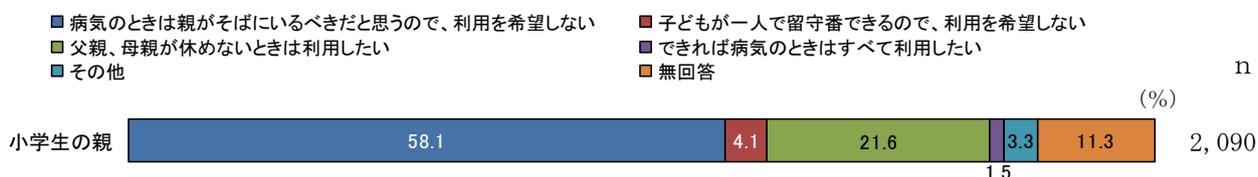


図 病児・病後児保育事業の利用希望の有無

【日数】(利用したい場合のみ)

◇ 「1~4日」の割合が高く、実際に休んだ日数と同じ傾向がみられる。

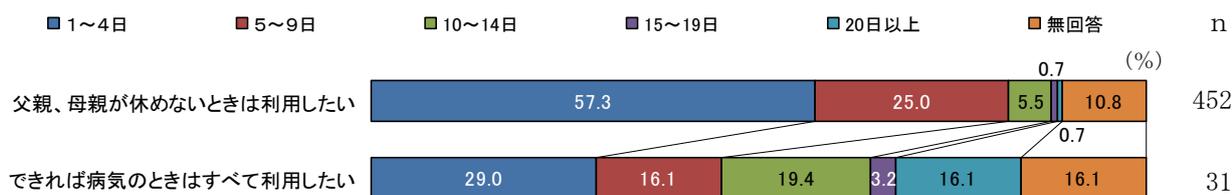


図 病児・病後児保育事業の利用希望日数

■あて名のお子さんとの関係について、あなたはどのように思われますか。（各1つ）

- ◇ 「そう思う」の割合が高いのは、「子どもの健康状態をしっかり把握している」（49.8%）、「子どもの好きなことをよくわかっている」（33.5%）、「子どもの仲のいい友達の名前をほとんど知っている」（31.9%）となっている。
- ◇ 「そう思わない」の割合が相対的に高いのは、「子どもの学校での様子や出来事をよく知っている」（3.9%）、「子どもの将来の夢についてよく知っている」（3.8%）となっている。
- ◇ 「子どもの将来の夢についてよく知っている」「子どもの学校での様子や出来事をよく知っている」の項目は、「あまりそう思わない」割合が20%以上と他の項目よりも高めである。

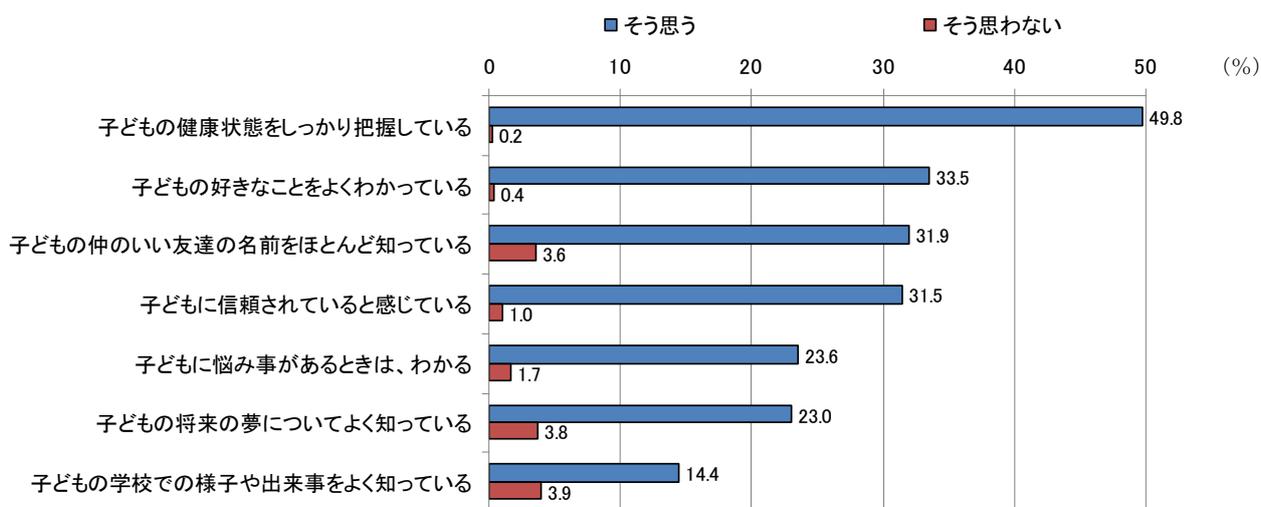


図 お子さんとの親子関係
回答数 全体=3,612

ア. 子どもの好きなことをよくわかっている

- ◇ 「そう思う」（33.5%）、「だいたいそう思う」（61.5%）の合計が90%以上を占める。

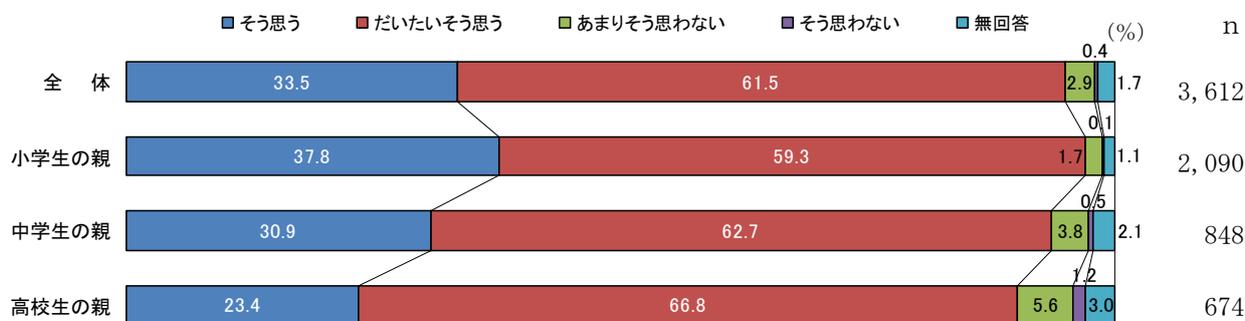


図 子どもの好きなことをよくわかっている割合

イ. 子どもの仲のいい友達の名前をほとんど知っている

- ◇ 「そう思う」(31.9%)、「だいたいそう思う」(48.9%) の合計が 80%以上を占める。
- ◇ 「そう思う」割合は小学生の親が 38.9%と最も多い。

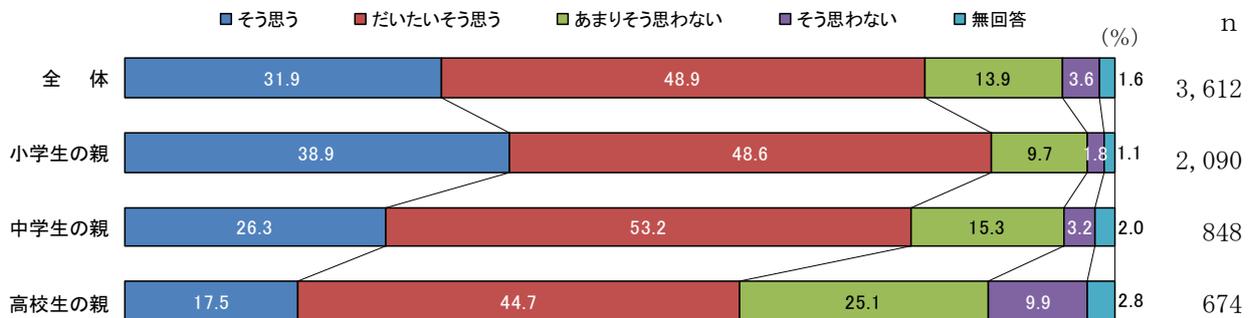


図 子どもの仲のいい友達の名前をほとんど知っている割合

ウ. 子どもに信頼されていると感じている

- ◇ 「そう思う」(31.5%)、「だいたいそう思う」(56.8%) の合計が 80%以上を占める。
- ◇ 「そう思う」割合は小学生の親が 37.7%と最も多い。

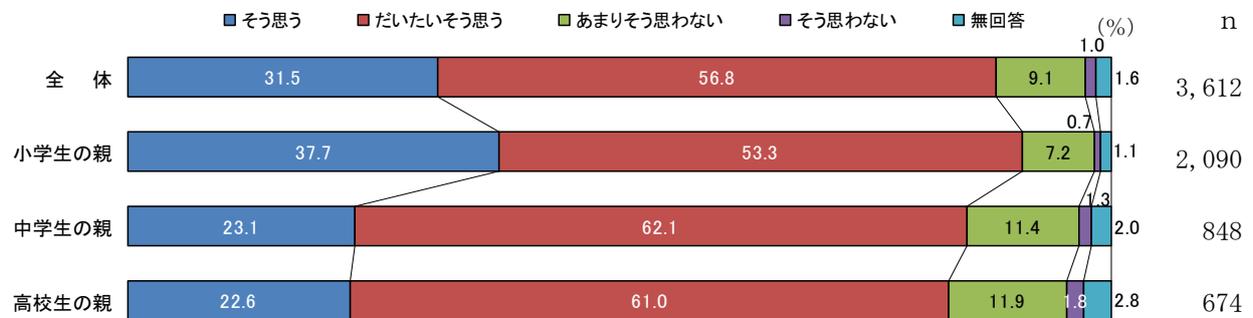


図 子どもに信頼されていると感じている割合

エ. 子どもの将来の夢についてよく知っている

◇ 「そう思う」(23.0%)、「だいたいそう思う」(47.0%) の合計が 70% を占める。



図 子どもの将来の夢についてよく知っている割合

オ. 子どもの学校での様子や出来事をよく知っている

◇ 「そう思う」(14.4%)、「だいたいそう思う」(53.2%) の合計が 60% 以上を占める。

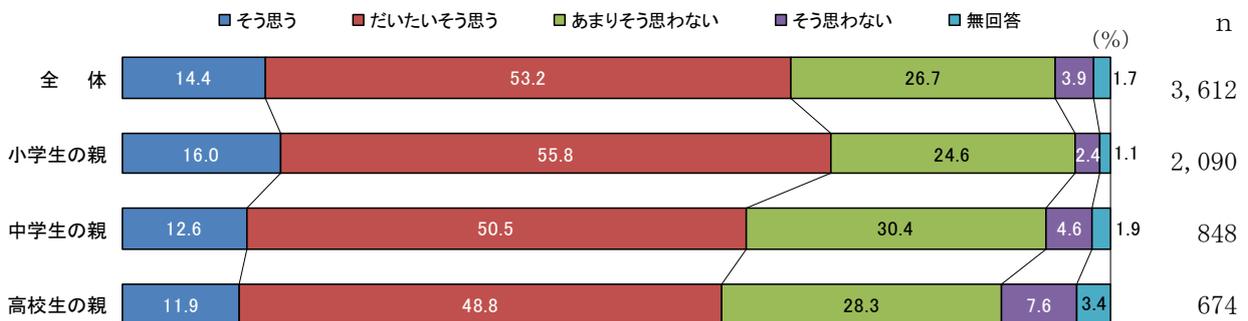


図 子どもの学校での様子や出来事をよく知っている割合

カ. 子どもに悩み事があるときは、わかる

◇ 「そう思う」(23.6%)、「だいたいそう思う」(57.9%)の合計が80%以上を占める。



図 子どもに悩み事があるときは、わかる割合

キ. 子どもの健康状態をしっかり把握している

◇ 「そう思う」(49.8%)、「だいたいそう思う」(45.4%)の合計が90%以上を占める。

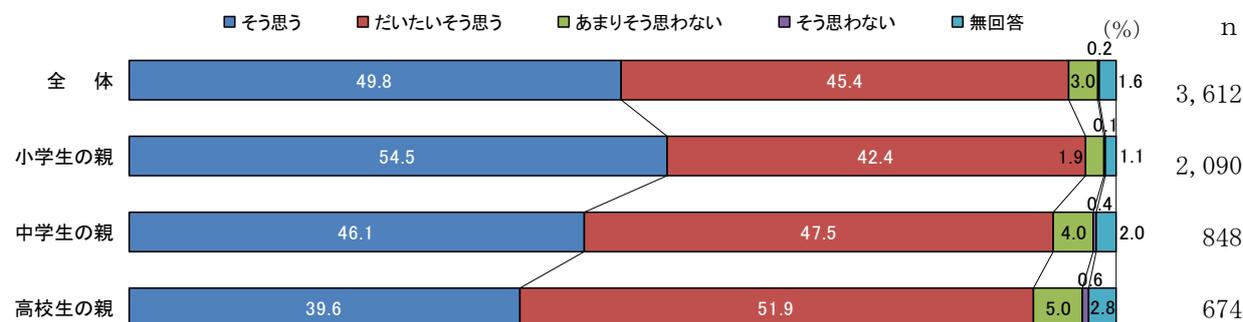


図 子どもの健康状態をしっかり把握している割合

【5年前からの変化】

・お子さんとの親子関係は5年前と大きく変わっていない。

【あて名のお子さんが中学生以上の保護者のかた】

お子さんの進路について（就学後） 【問19】

■あなたは、あて名のお子さんに、最終的にどこまで進学してほしいとお考えですか。（1つ）

- ◇ 全体では、「大学まで」が最も多く 62.6%である。さらに、大学院までの割合 5.3%をたすと、67.9%が大学以上の進学を望んでいる。
- ◇ 「高校（普通科）まで」が3.0%、「高校（職業科）まで」が8.2%で、高校までの割合は11.2%である。

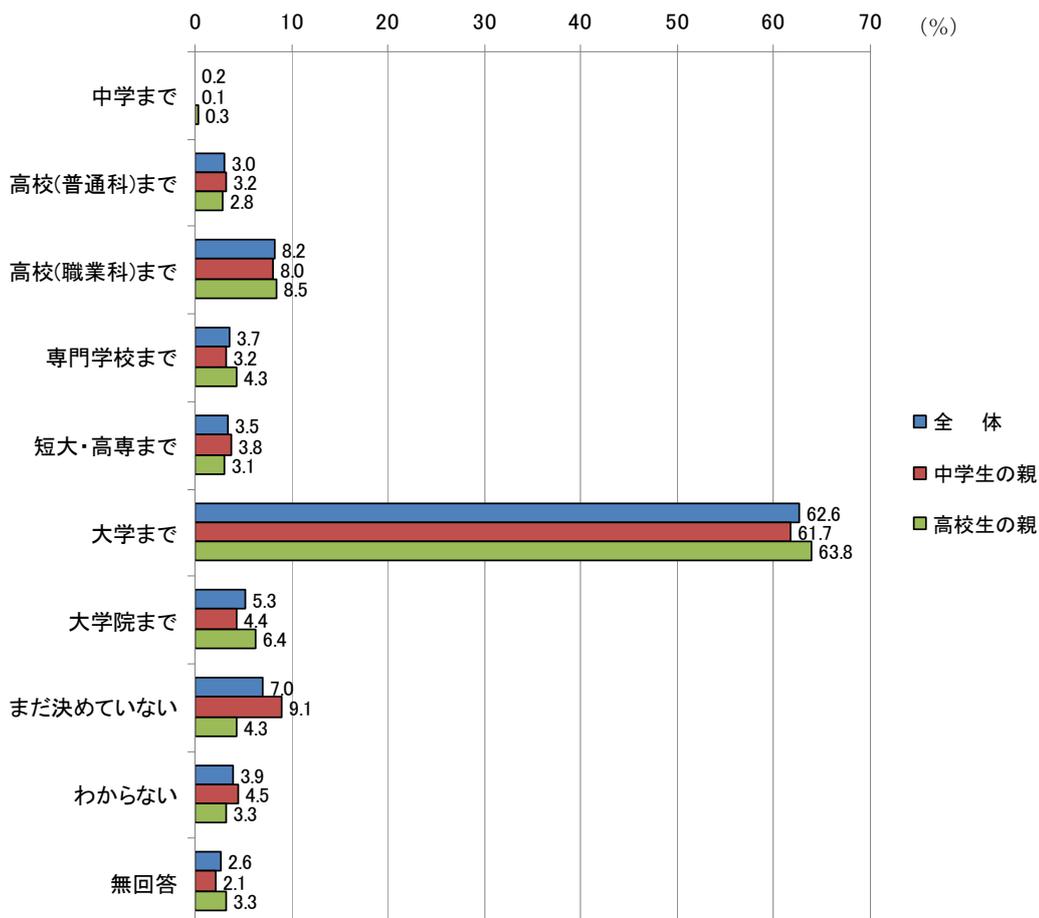


図 お子さんの最終進学希望

回答数 全体=1,522 中学生の親=848 高校生の親=674

【5年前からの変化】

- ・お子さんの最終進学希望は5年前と大きく変わっていない。

第4章 自由意見

保護者の意見として、「子育て支援」（774件）に関する意見・要望が最も多く、次に「経済的負担」（461件）、「保育所・幼稚園」（414件）、「放課後教育・地域教育」（362件）等があげられる。

	就学前保護者		就学後保護者	
	件数（件）	構成比（%）	件数（件）	構成比（%）
学校教育のこと	71	22.5	183	130.8
家庭内のこと	54	17.1	57	40.7
放課後教育・地域教育	362	114.6	244	174.4
経済的負担	461	146.0	327	233.7
障害児教育	38	12.0	23	16.4
まちづくりへの要望	316	100.1	123	87.9
悩み相談	88	27.9	40	28.6
仕事・環境	266	84.2	122	87.2
小児医療	44	13.9	10	7.1
保育所・幼稚園	414	131.1	36	25.7
子育て支援	774	245.1	134	95.8
行政等への意見	270	85.5	100	71.5
合計	3,158	1,000	1,399	1,000

※構成比は選択肢が多いことから千分率（%）としている。

就学前保護者、就学後保護者別の主な意見として、全体の中で20%を超える意見を列記すると以下のとおりである。

【就学前保護者】

	全体の中で20%を超える意見（%）
放課後教育・地域教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育料が高い 23.1 ・ 子ども医療費に満足 23.1 ・ 保育料の値下げ・無償化 22.2
仕事・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ 産休・育休・短時間・残業軽減の普及と拡充 22.8
保育所・幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所・幼稚園の入所選考 26.6 ・ 保育所・幼稚園の充実 22.5
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て支援事業の周知・PR 30.7 ・ リフレッシュ・一時保育事業 26.6 ・ 病児・病後児デイケア事業 23.7 ・ 子育て支援への意見・評価 21.5
行政等への意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケートに対する意見 25.6 ・ 市への意見・評価 25.0

【就学後保護者】

	全体の中で20%を超える意見
放課後教育・地域教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ トワイライトの利用時間の見直し 21.4
経済的負担	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども医療費に満足 29.3 ・ 児童手当の見直し 22.2 ・ 子育て家庭への経済的支援 20.0

【意見・件数】（就学前）

(件)

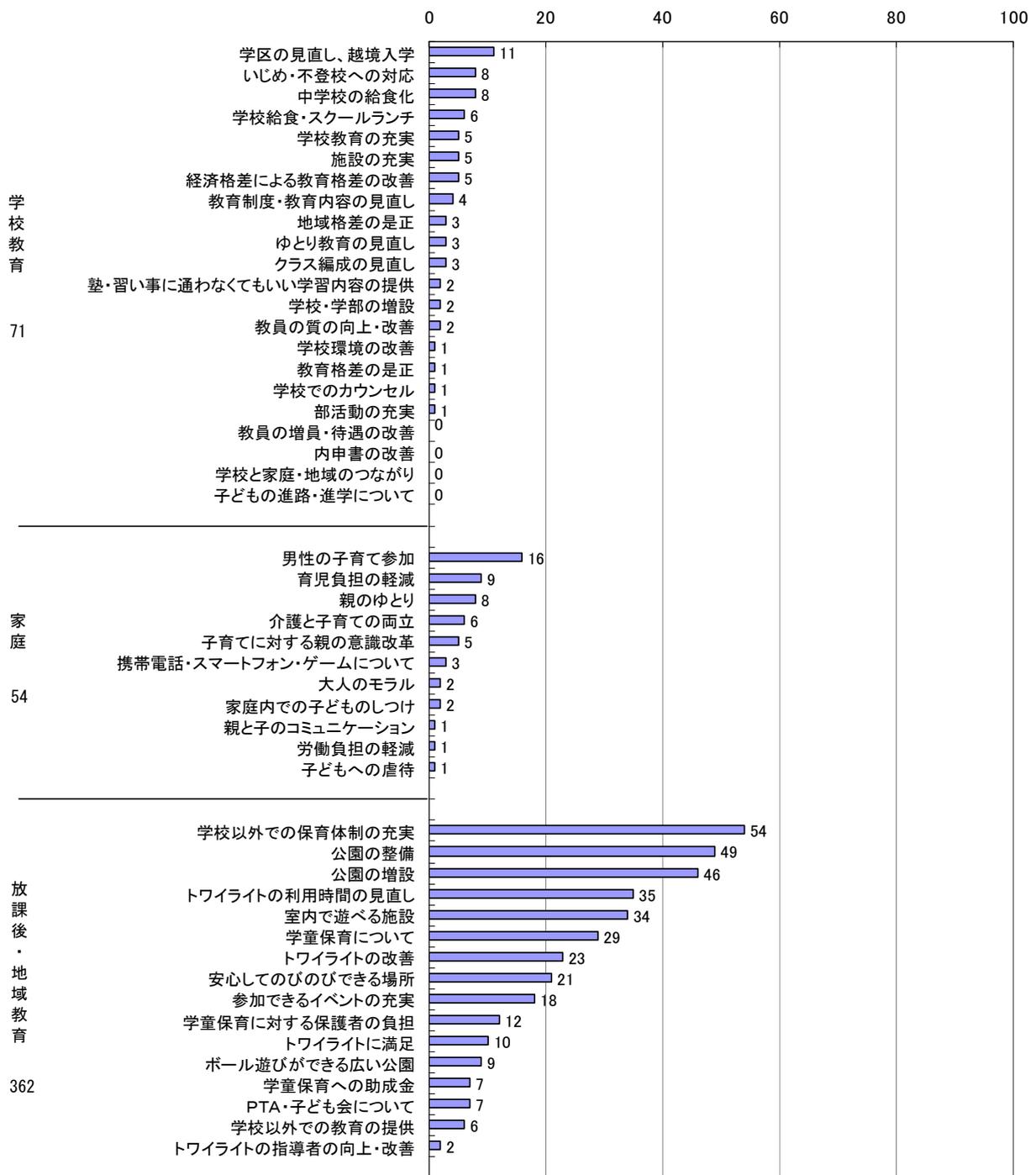


図 就学前保護者の意見（件数：その1）

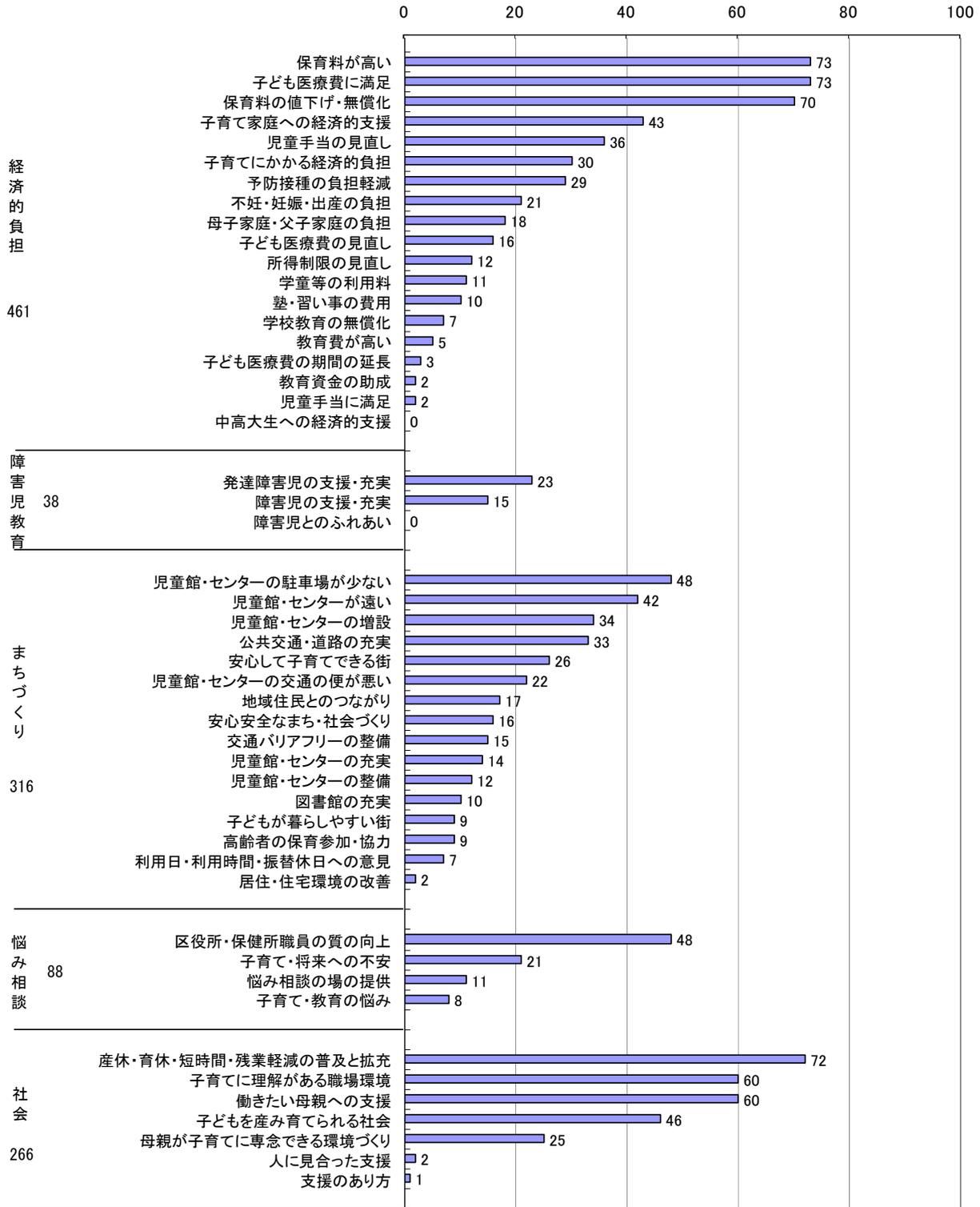


図 就学前保護者の意見 (件数：その2)

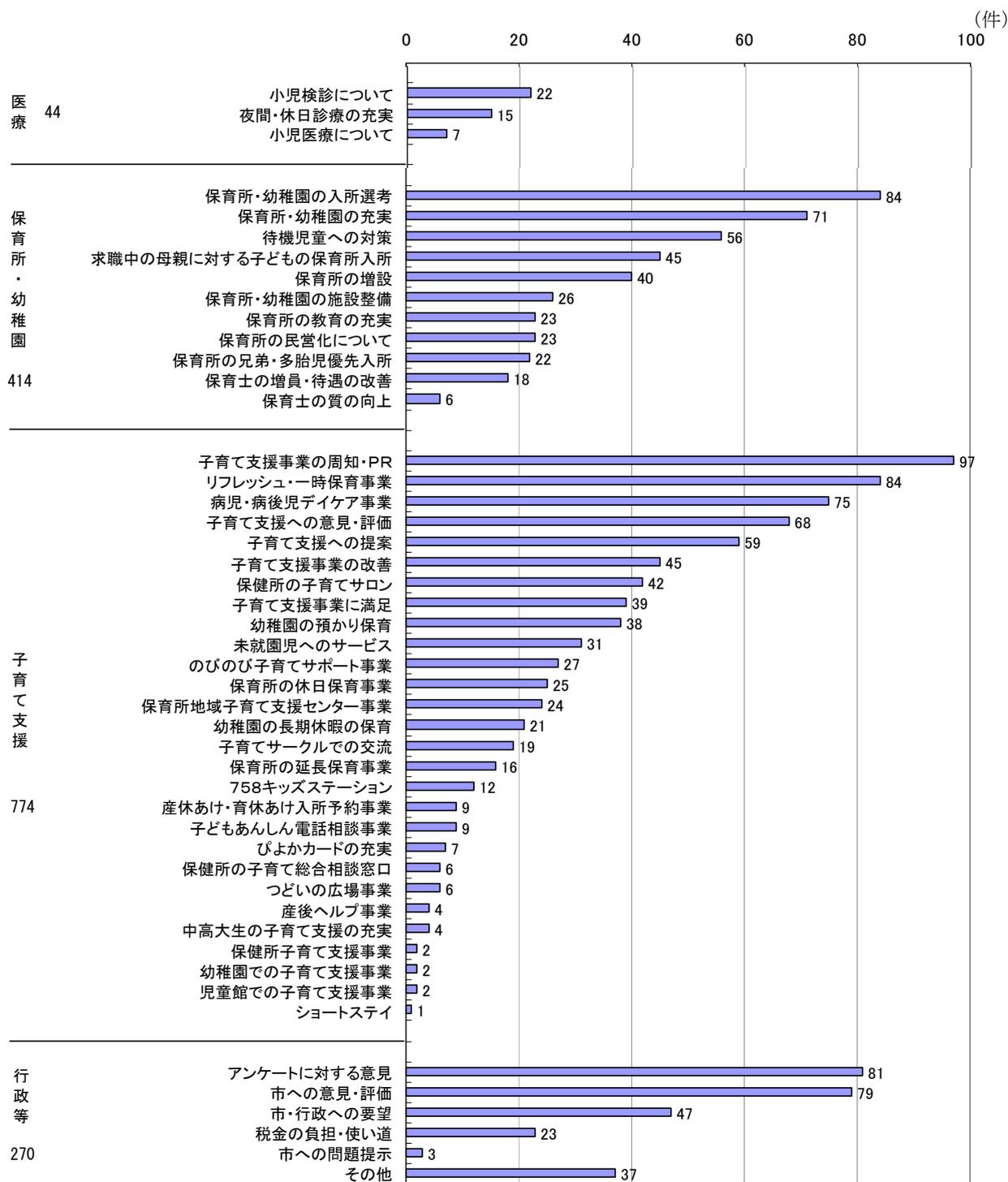


図 就学前保護者の意見 (件数：その3)

【意見・件数】（就学後）

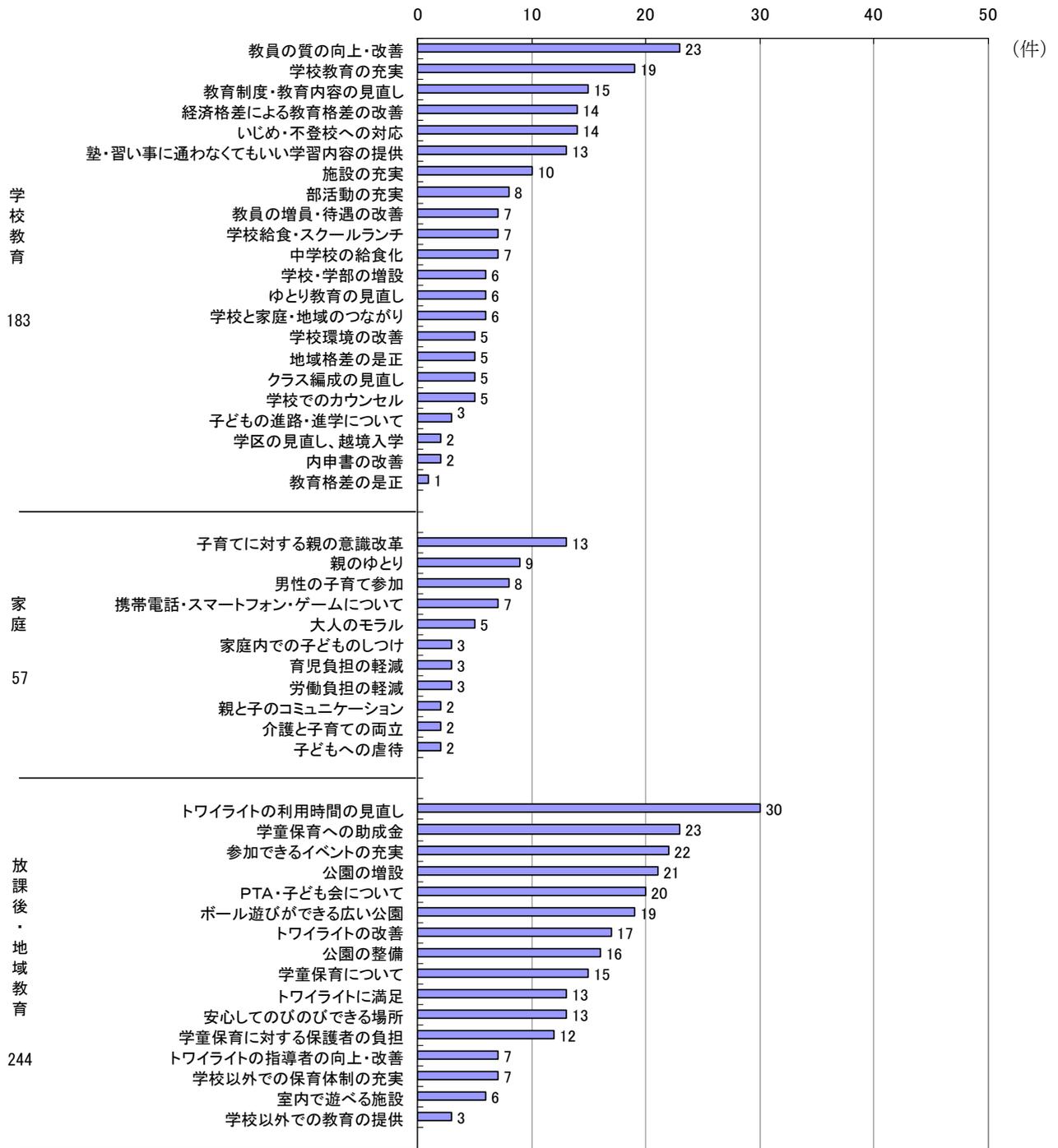


図 就学後保護者の意見（件数：その1）

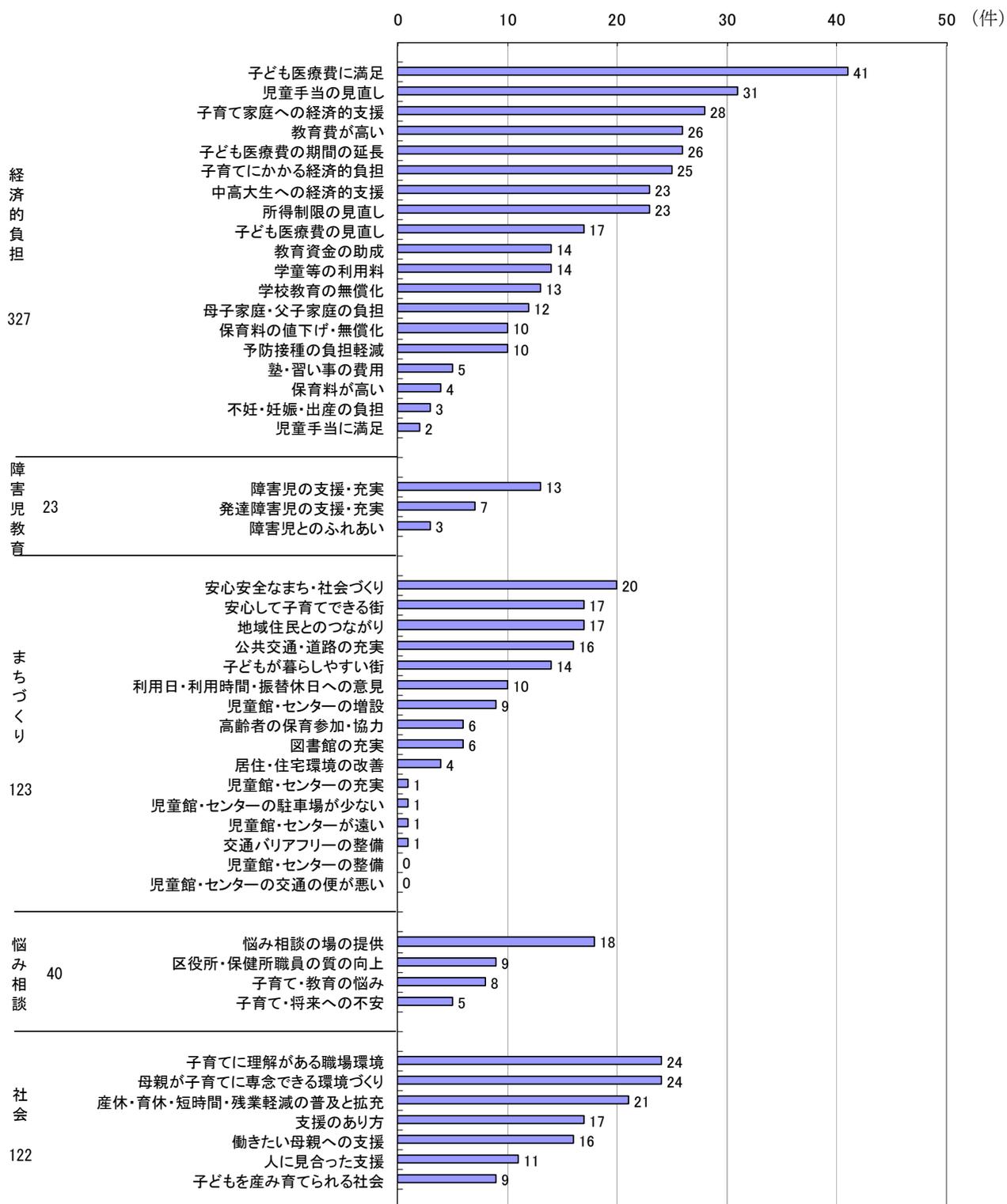


図 就学後保護者の意見（件数：その2）

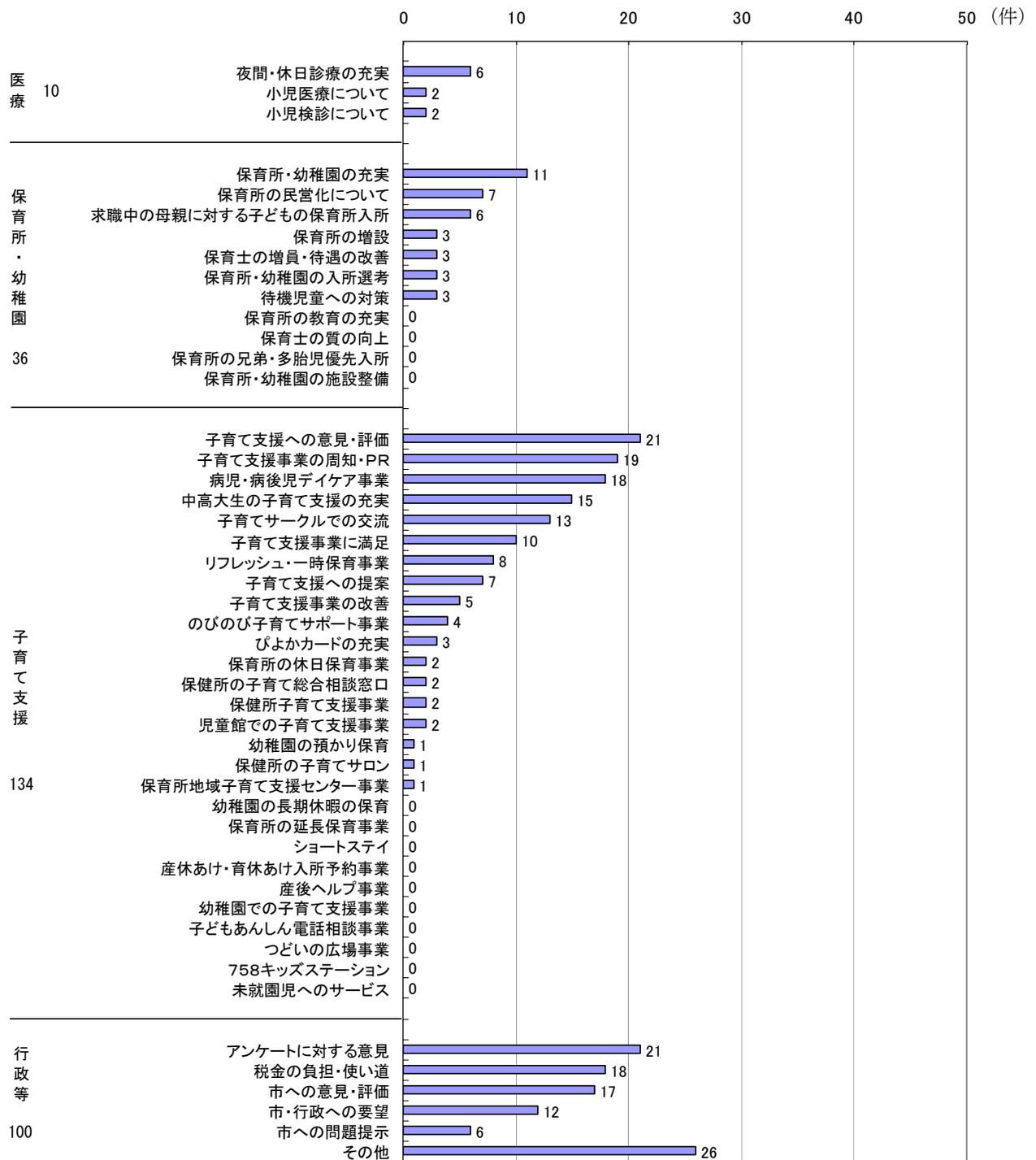


図 就学後保護者の意見（件数：その3）

【意見・構成比】（就学前）

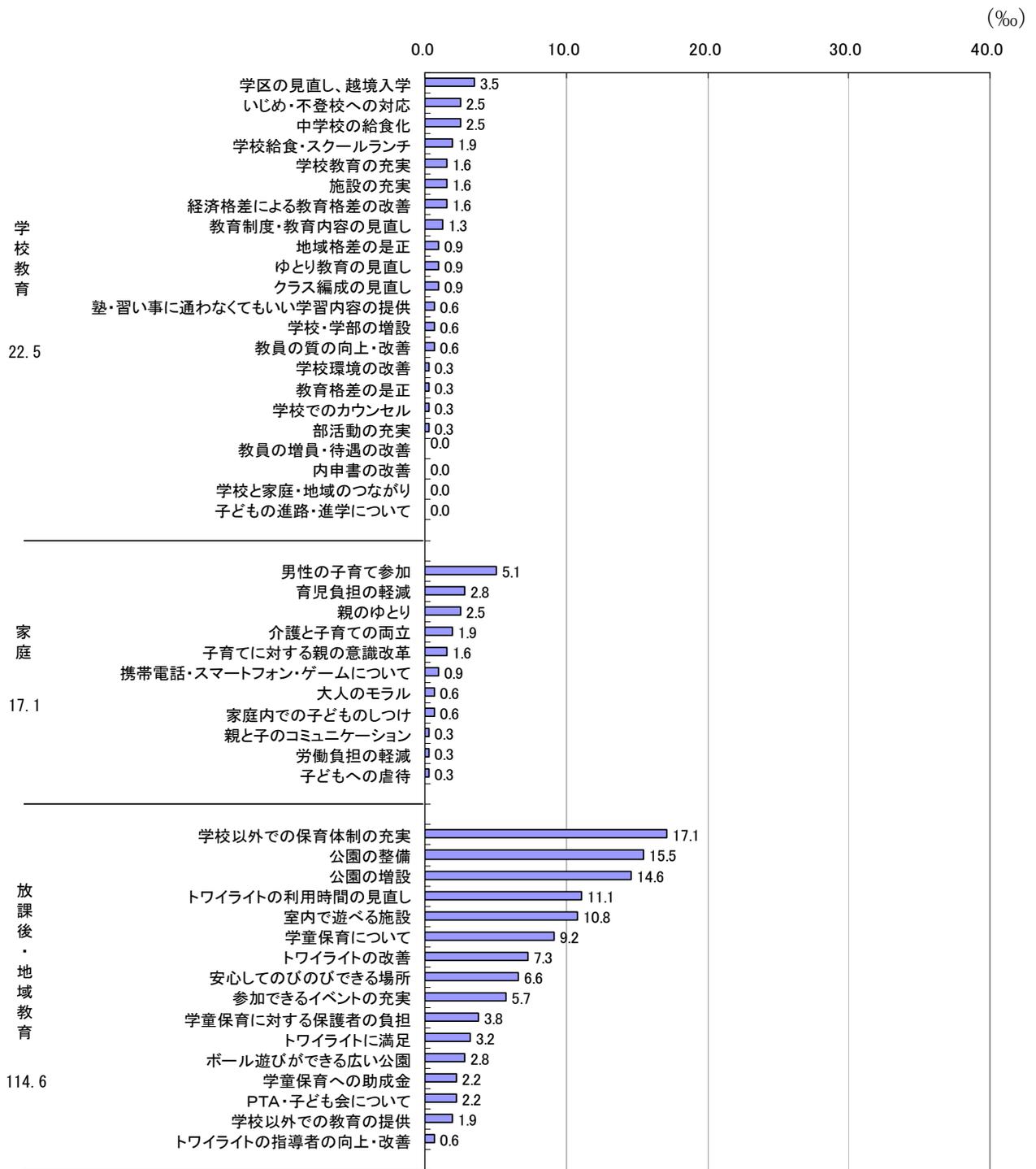


図 就学前保護者の意見（件数構成比：その1）

(%)

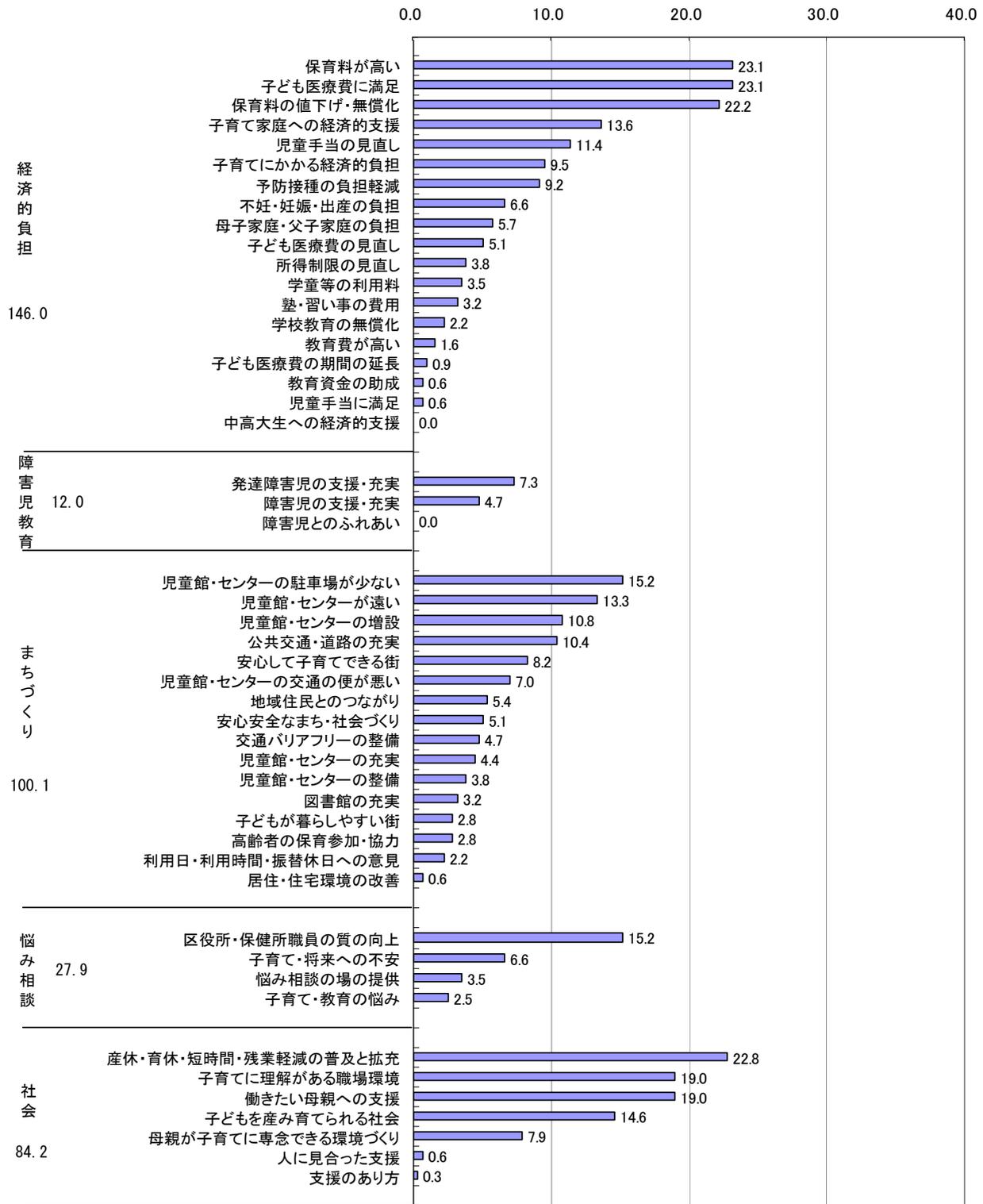


図 就学前保護者の意見（件数構成比：その2）

(%)

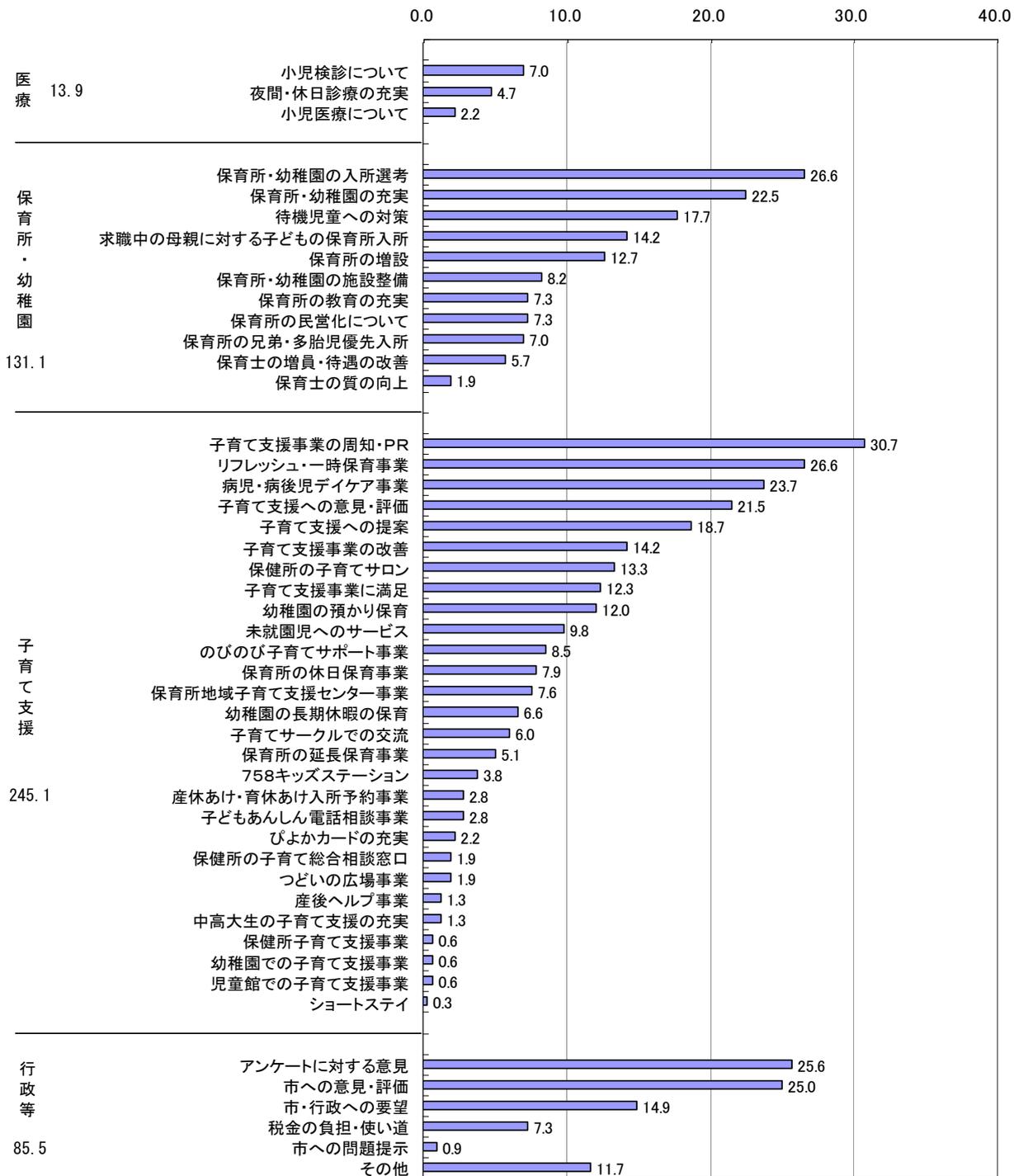


図 就学前保護者の意見（件数構成比：その3）

【意見・構成比】（就学後）

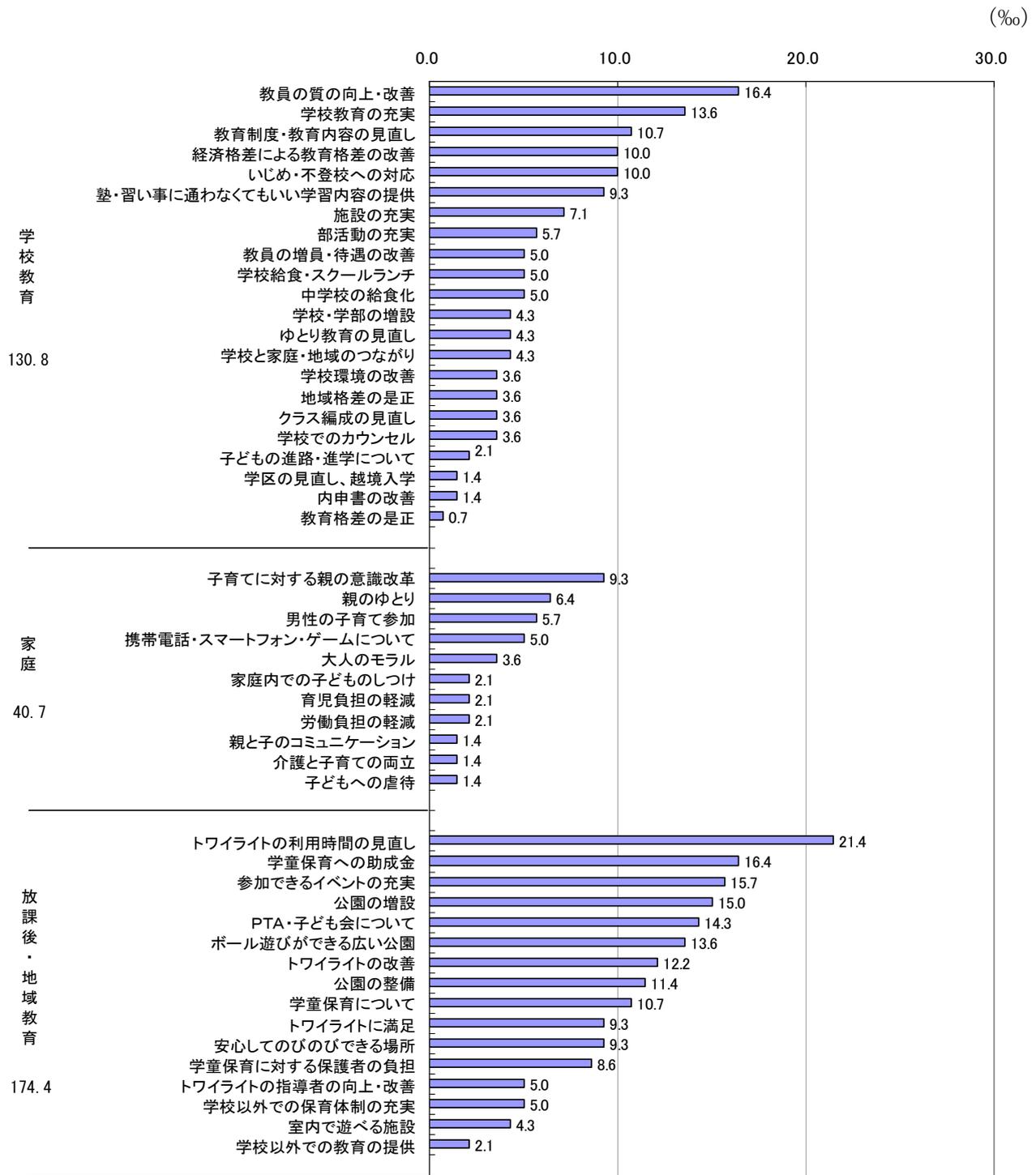


図 就学後保護者の意見（件数構成比：その1）

(%)

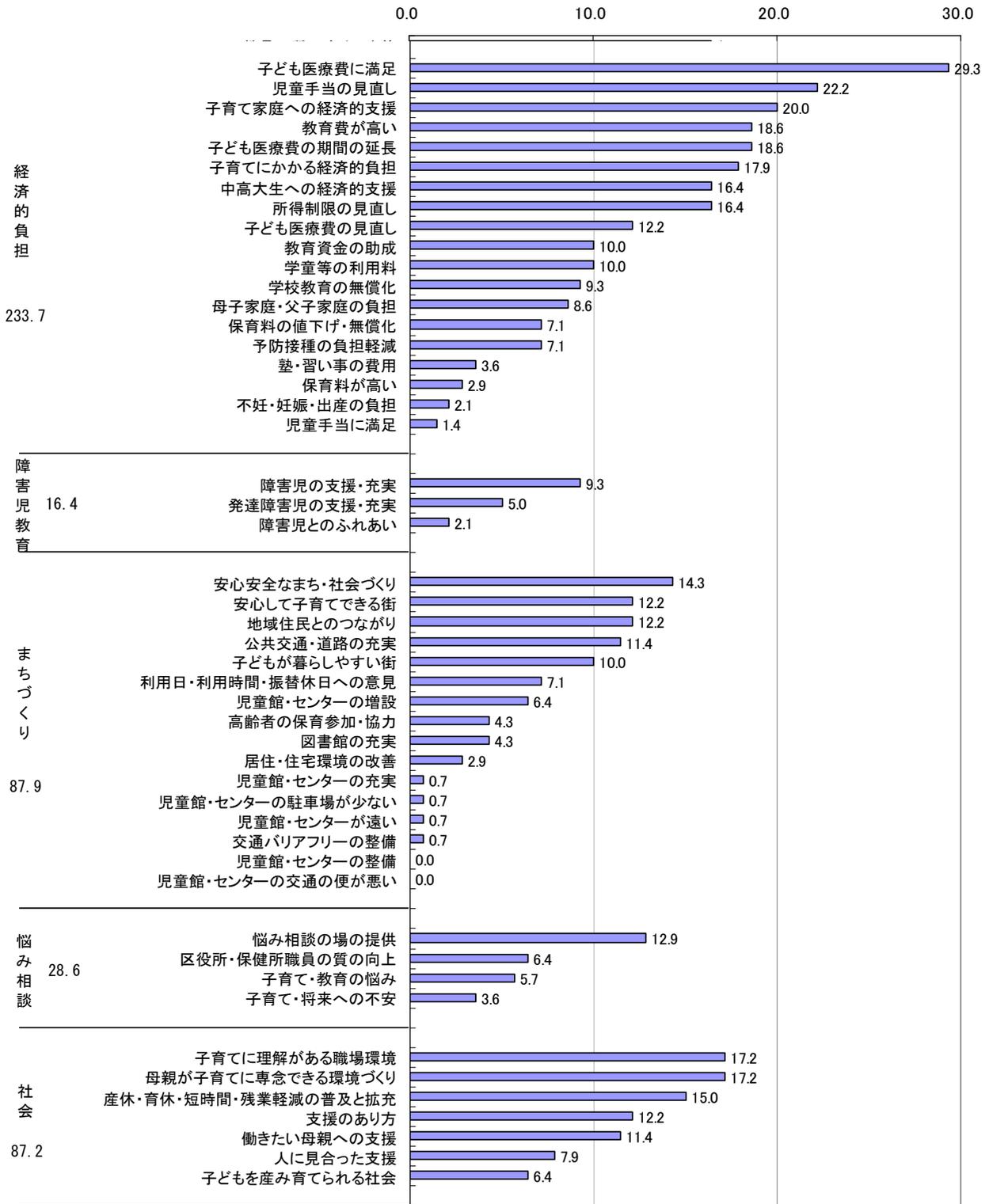


図 就学後保護者の意見（件数構成比：その2）

(%)

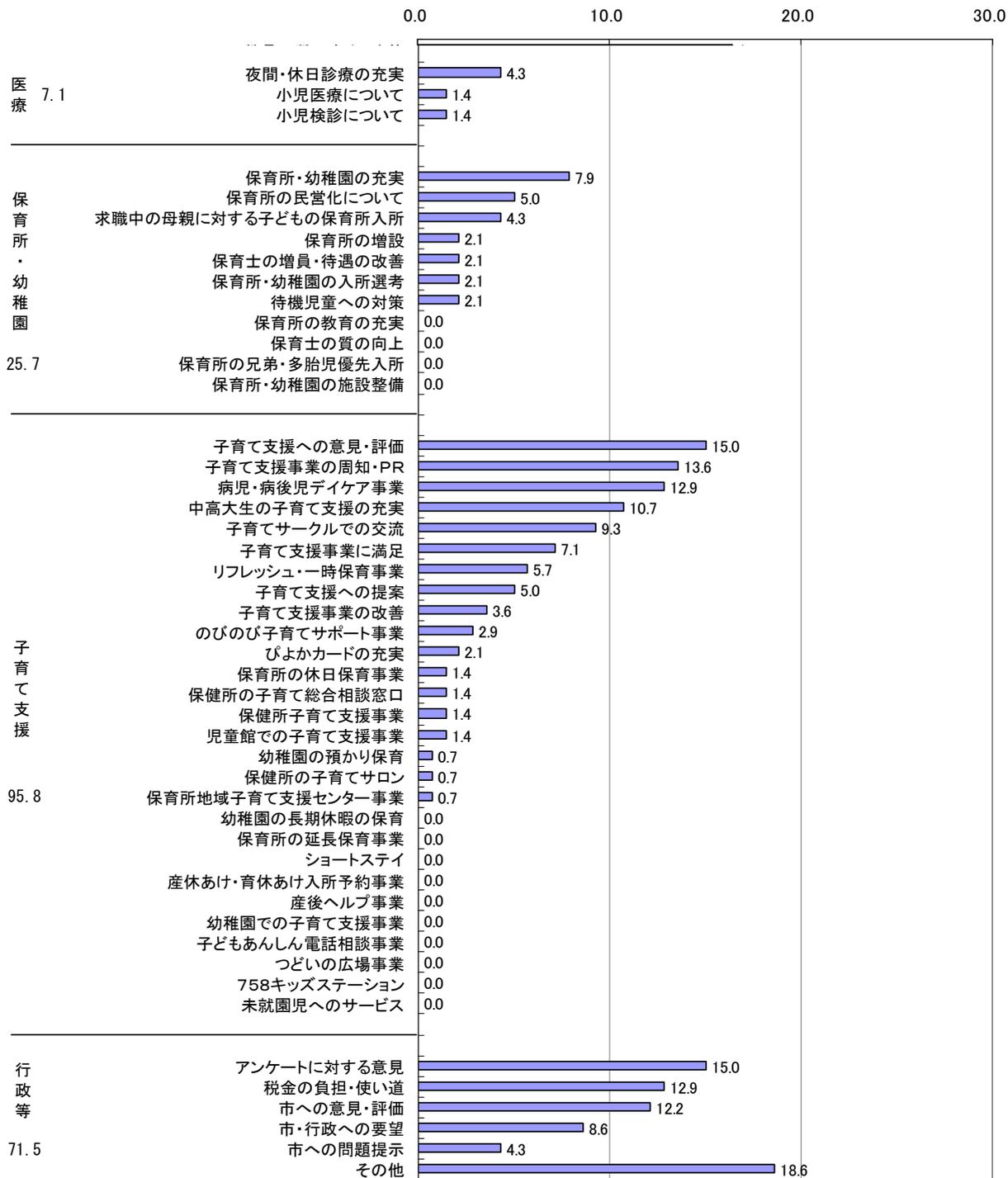


図 就学後保護者の意見（件数構成比：その3）

資料編 調査票

就学前保護者アンケート調査票

就学後保護者アンケート調査票

保護者用

(就学前用)

名古屋市から

「子ども・子育て家庭 意識・生活実態調査」ご協力のお願い

名古屋市子ども青少年局子ども未来課

本市では平成20年に制定した「なごや子ども条例」に基づき、子どもの健やかな育ちと若者の自立を視点におき事業を実施しておりますが、現在、「子どもに関する総合計画第2期計画」及び、平成24年に成立した「子ども・子育て支援法」に基づく「市町村子ども・子育て支援事業計画」（計画期間5年）の策定の準備を進めております。

この二つの計画は、本市条例及び新たな子ども・子育て支援の制度に基づき、子どもの健やかな成長のために適切な環境が等しく確保されるよう、計画的に事業を実施するため策定するものでございます。

本調査は、今後の本市の教育・保育及び子育て支援にかかる事業を進めていく上で、きわめて重要な基礎資料となるものです。調査項目も多くご負担をおかけしますが、子どものよりよい未来のためにも何卒ご協力くださいますようお願いいたします。

アンケートは、市内にお住まいの小学校入学前までのお子さんの中から無作為抽出でお選びし、その保護者のかたあてに送付させていただきました。

このアンケートは 無記名 です。そのため、お答えいただいた方のプライバシーは守られ、個人の情報が漏れたり、ご迷惑をおかけしたりすることは一切ございません。ご回答いただいた調査内容は、統計データとしてのみ処理します。 つきましては、ぜひ、本アンケートの主旨をご理解いただき、ご回答の上、ご返送いただきますよう、お願いいたします。

アンケートについて

- このアンケートは、封筒のあて名のお子さんの保護者のかたがご記入ください。
- 回答はあてはまる番号を○で囲んでいただくものと、記述していただくものがあります。
- この調査では質問に順番にお答えいただきますが、途中、回答の内容により次に進んでいただく質問が異なる場合がありますので、各問の指示に従って進んでください。
- この調査票に掲載している各種事業にかかる各利用料等については33ページに記載してありますので、参考にしてください。
- ご記入いただきましたアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れ、10月31日(木)までに郵便ポストに入れてください。切手を貼る必要はありません。
- 封筒・アンケートともにお名前を記入していただく必要はありません。

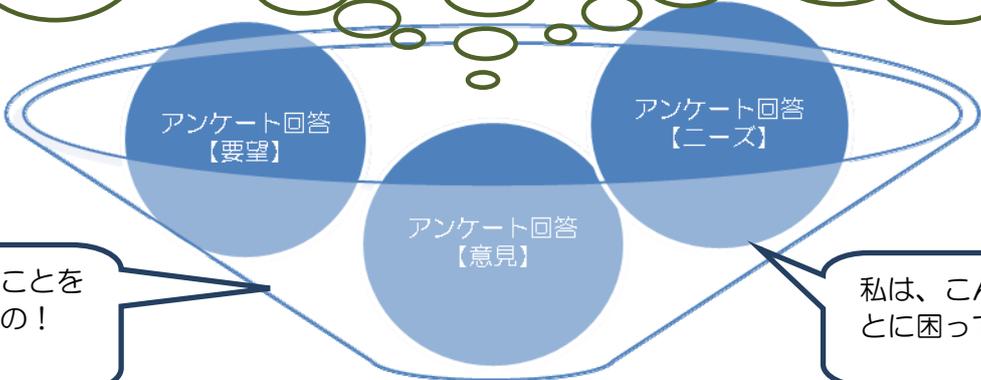
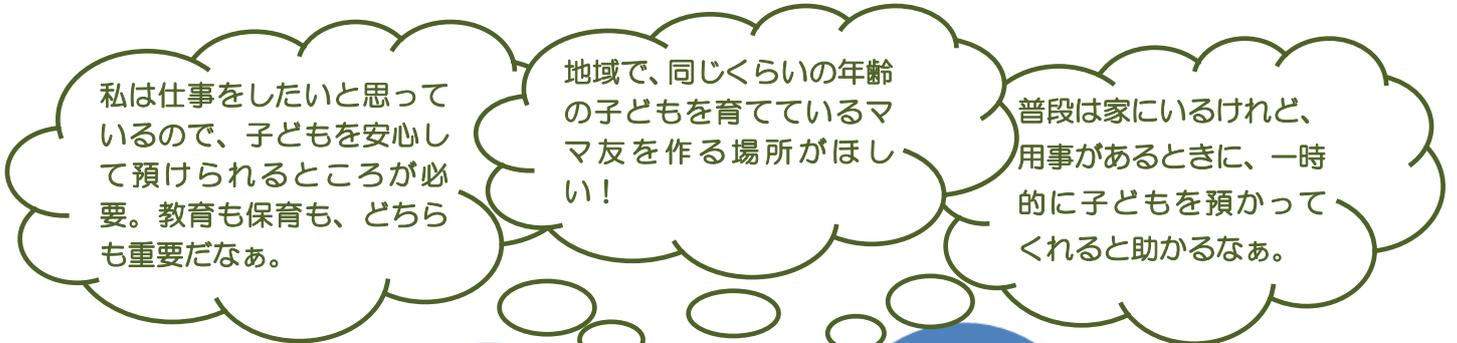
※新たな子ども・子育て支援の制度とは…

- 急速な少子化の進行、家庭、地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要であり、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感が和らげることを通じて、保護者の親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。

この調査票は、名古屋市に子どもや子育てで感じていることなどを伝えるチャンスといえるんだ。どんな調査か、べらっとめくって見てみ



5年に1度のアンケートで 名古屋市に声を届けるチャンス!!!!



私はこんなことを
思ってるの!

私は、こんなこ
とに困ってる!

子育て家庭の実態と子育て支援策等についてのニーズ把握など

市町村子ども・子育て 支援事業計画

子どもに関する 総合計画

- 幼稚園・保育所・
認定こども園
に関すること
- 小規模保育・
家庭的保育等
に関すること
- 放課後児童クラブ、
一時預かり、病
児・病後児保育等
に関すること

使っている人の数
と、使いたい人の
数を把握して、み
んなが利用できる
ようにしていく計
画だよ。



なごや子ども条例
マスコットキャラクター
「なごっち」

すべての子どもが健やかに育
ち、自立できる環境づくり
子育ての負担感を減らし、子
育てを楽しめる環境づくり
子育てと就労が両立できる環
境づくり など



子どもがすく
すく育つよう
に、みんなで
応援する計画
だよ。

お仕事をしている父親のかたにうかがいます。

【(1) - 1】 父親のかたの就労形態にあてはまるものを1つ選んで○をつけてください。



- | | | |
|------------|--------------|--------------|
| 1. 正社員 | 2. 公務員 | 3. 経営者・役員 |
| 4. 自営業・自由業 | 5. 自営業の家族従業者 | 6. パート・アルバイト |
| 7. 派遣・契約社員 | 8. 在宅ワーク・内職 | 9. その他 () |

【(1) - 2】 父親のかたの平均的な1週間の就労日数を数字で記入してください。

平均的な1週間の就労日数 週 () 日 (休日出勤を含む)

【(1) - 3】 父親のかたの平均的な1日の就労時間と、平均的な家を出る時間と帰宅時間を数字で記入してください。交代勤務で決まっていなかつたは、「2.」に○をつけてください。

24時間制(例:9時~18時)で、残業を含まない時間を記入してください。育児時間などを取得されている場合は取得後の時間を記入してください(予定含む)。

- 就労時間 () 時 () 分 ~ () 時 () 分
平均的な家を出る時間 () 時ごろ
平均的な帰宅時間 () 時ごろ
- 交代勤務で決まっていない

【(1) - 4】 父親のかたは、主な仕事以外に別の仕事(副業)をしていますか。あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|------------------------|
| 1. 副業をしている | } → 【(1) - 5】 へ |
| 2. 副業をしているが育休・介護休業中 | |
| 3. 以前は副業をしていたが現在は副業をしていない | } → 【(1) - 6】 (5ページ) へ |
| 4. これまで副業をしたことがない | |

【(1) - 5】 父親のかたの副業の就労形態にあてはまるものを1つ選んで○をつけ、平均的な1週間の就労日数と平均的な1日の就労時間を記入してください。

就 労 形 態	1. 正社員	2. 自営業・自由業	3. パート・アルバイト
	4. 在宅ワーク・内職	5. その他 ()	
平均的な1週間の就労日数 週 () 日 、 平均的な1日の就労時間 () 時間			



【(1) - 6】 父親のかたは転職の希望がありますか。転職後の就業状況について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 転職の希望はない ⇒ 【(1) - 8】 へ

- | | |
|------------------|----------------------|
| 2. もっと働く時間を長くしたい | 3. もっと働く時間を短くしたい |
| 4. もっと働く日数を多くしたい | 5. もっと働く日数を少なくしたい |
| 6. 違う時間帯で働きたい | 7. 正社員として働きたい |
| 8. 違う職種にかわりたい | 9. 仕事をやめて家事や育児に専念したい |
| 10. その他 () | |

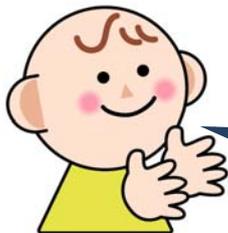


【(1) - 7】 上の回答で「2.」～「10.」を選ばれたかたにお聞きします。選ばれた転職希望について、実現の見込みはありますか。あてはまるものに○をつけてください。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 実現の見込みがある | 2. 実現の見込みはない |
|--------------|--------------|

【(1) - 8】 父親のかたは、今後、副業の希望がありますか。またその場合、得たいと思う収入額は月にいくらですか。あてはまるもの1つに○をつけ、「1.」を選んだ方は、希望の収入月額を数字で記入してください。

- | |
|---------------------------------|
| 1. 副業の希望がある。1ヶ月で () 円程度の収入を得たい |
| 2. 副業の希望はない |
| 3. 就業規定上、副業できない |



お仕事している父親のかたへの質問は、ここで終わりです。6ページの(3)の母親のかたへの質問へすすんでください。

(1) の回答で「3.」または「4.」と答えたかた
(在宅の父親のかた) にうかがいます。

(2) 父親のかたは、今後、就労の希望がありますか。



あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

「3.」を選ばれたかたは () の中にお子さんの年齢を記入してください。

- | | |
|--|---------------------------|
| 1. 就労の希望はない | → (3) (6ページ) へ |
| 2. すぐにでも若しくは1年以内に就労したい | } → 【(2) - 1】
(6ページ) へ |
| 3. 1年より先で、一番下の子ども(子どもが1人の場合はあて名のお子さん)が () 歳くらいになったら、就労したい | |

【(2) - 1】 父親のかたが今後就労する場合、どのような就労を希望しますか。

あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

「6.」または「7.」を選ばれたかた（パート・アルバイト、派遣・契約社員を希望の方）は、1週間あたりの就労日数及び1日あたりの就労時間も記入してください。

1. 正社員	2. 公務員	3. 経営者・役員
4. 自営業・自由業	5. 自営業の家族従業者	
6. パート・アルバイト	→ 1週間あたり（ ）日、1日あたり（ ）時間程度	
7. 派遣・契約社員	→ 1週間あたり（ ）日、1日あたり（ ）時間程度	
8. 在宅ワーク、内職		
9. その他（		）

【(2) - 2】 父親のかたが、就労希望があるのに、現在働いていない理由は何ですか。

もっとも近いものを1つ選んで○をつけてください。

1. 希望する就労先がない（見つからない）から	
2. 保育所に入所できない（あて名のお子さんのきょうだいも学童保育所に入所できない）から	
3. 働きながら子育てできる適当な仕事がないから	
4. 自分の知識、能力にあう仕事がないから	
5. 家族の考え方（親族の理解が得られる）等就労する環境が整っていないから	
6. 子どもがある程度の年齢までは子育てに専念したいから	
7. その他（	）



ここからは、あて名のお子さんの母親のかたについての質問です。父子家庭のかたは記入不要なので、【問5】（10ページ）へすすんでください。

（3）母親（父子家庭のかたは記入不要ですので、【問5】（10ページ）へ進んでください。）

1. 就労している	} → 【(3) - 1】へ
2. 就労しているが育休・介護休業中	
3. 以前は就労していたが現在は就労していない	} → (4) (8ページ)へ
4. これまで就労したことがない	

お仕事をしている母親のかたにうかがいます。

【(3) - 1】 母親のかたの就労形態にあてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

1. 正社員	2. 公務員	3. 経営者・役員	
4. 自営業・自由業	5. 自営業の家族従業者	6. パート・アルバイト	
7. 派遣・契約社員	8. 在宅ワーク・内職	9. その他（	）



【(3) - 2】 母親のかたの平均的な1週間の就労日数を数字で記入してください。

平均的な1週間の就労日数 週()日 (休日出勤を含む)

【(3) - 3】 母親のかたの平均的な1日の就労時間と、平均的な家を出る時間と帰宅時間を数字で記入してください。交代勤務で決まっていなかつたは、「2.」に○をつけてください。

24時間制(例:9時~18時)で、残業を含まない時間を記入してください。
育児時間などを取得されている場合は取得後の時間を記入してください(予定含む)。

1. 就労時間()時()分~()時()分
平均的な家を出る時間 ()時ごろ
平均的な帰宅時間 ()時ごろ
2. 交代勤務で決まっていない

【(3) - 4】 母親のかたは、主な仕事以外に別の仕事(副業)をしていますか。あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

1. 副業をしている
 2. 副業をしているが育休・介護休業中
 3. 以前は副業をしていたが現在は副業をしていない
 4. これまで副業をしたことがない
- 【(3) - 5】 ^
- 【(3) - 6】 ^

【(3) - 5】 母親のかたの副業の就労形態にあてはまるものを1つ選んで○をつけ、平均的な1週間の就労日数と平均的な1日の就労時間を記入してください。

- | | | | |
|------------------|-------------|------------|--------------|
| 就
労
形
態 | 1. 正社員 | 2. 自営業・自由業 | 3. パート・アルバイト |
| | 4. 在宅ワーク・内職 | 5. その他() | |

平均的な1週間の就労日数 週()日、平均的な1日の就労時間()時間

【(3) - 6】 母親のかたは転職の希望がありますか。転職後の就業状況について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 転職の希望はない ⇒ 【(3) - 8】 (8ページ)

2. もっと働く時間を長くしたい
3. もっと働く時間を短くしたい
4. もっと働く日数を多くしたい
5. もっと働く日数を少なくしたい
6. 違う時間帯で働きたい
7. 正社員として働きたい
8. 違う職種にかわりたい
9. 仕事をやめて家事や育児に専念したい
10. その他()



【(3) - 7】 上の回答で「2.」~「10.」を選ばれたかたにお聞きします。選ばれた転職希望について、実現の見込みはありますか。あてはまるものに○をつけてください。

1. 実現の見込みがある
2. 実現の見込みはない

【(3)－8】 母親のかたは、今後、副業の希望がありますか。またその場合、得たいと思う収入額は月にいくらですか。あてはまるもの1つに○をつけ、「1.」を選んだかたは、希望の収入月額を数字で記入してください。

1. 副業の希望がある。1ヶ月で()円程度の収入を得たい
2. 副業の希望はない
3. 就業規定上、副業できない



お仕事をしている母親のかたへの質問は、ここで終わりです。9ページの【問4】へすすんでください。

(3)の回答で「3.」または「4.」と答えたかた(在宅の母親のかた)にうかがいます。

【(4)】 母親のかたは、今後、就労の希望がありますか。

あてはまるものを1つ選んで、○をつけてください。



「3.」を選ばれたかたは()の中にお子さんの年齢を記入してください。

- | | | |
|--|---------------|--------------|
| 1. 就労の希望はない | → 【問4】(9ページ)へ | } → 【(4)－1】へ |
| 2. すぐにでも若しくは1年以内に就労したい | | |
| 3. 1年より先で、一番下の子ども(子どもが1人の場合はあて名のお子さん)が()歳くらいになったら、就労したい | | |

【(4)－1】 母親のかたが今後就労する場合、どのような就労を希望しますか。

あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。「6.」または「7.」を選ばれた方(パート・アルバイト、派遣・契約社員を希望のかた)は、1週間あたりの就労日数及び1日あたりの就労時間も記入してください。

- | | | |
|--------------|---------------------------|-----------|
| 1. 正社員 | 2. 公務員 | 3. 経営者・役員 |
| 4. 自営業・自由業 | 5. 自営業の家族従業者 | |
| 6. パート・アルバイト | → 1週間あたり()日、1日あたり()時間程度 | |
| 7. 派遣・契約社員 | → 1週間あたり()日、1日あたり()時間程度 | |
| 8. 在宅ワーク、内職 | | |
| 9. その他() | | |

**あて名のお子さんの平日の定期的な教育・保育の事業
(月単位で定期的にご利用している事業)の利用状況についてうかがいます。**

この調査において「定期的な教育・保育の事業」とは以下のものを言います。

- ・【幼稚園】 学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設
- ・【幼稚園の預かり保育】 通常の就園時間を延長して預かる事業
- ・【保育所】 保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う事業
- ・【保育所の延長保育】 通常の保育終了時間（概ね午後6時）を延長して預かる保育
- ・【認定こども園】 幼稚園と保育所の機能をあわせ持つ施設
- ・【家庭保育室】 一定の基準に適合した人の住まいなどで家庭的な雰囲気の中で少人数の保育を行うもの。個人の家庭等で行う「個人実施型」と民間保育所などが近隣の賃貸アパートなどで行う「保育所実施型」、法人等が雇用する複数の家庭的保育者が賃貸アパート等で行う「グループ実施型」がある。
- ・【事業所内保育施設】 企業などの事業所が従業員のために事業所内に保育施設を設置したもの
- ・【その他の保育施設】 名古屋市の認可を受けていない保育施設で、事業所内保育施設以外のもの（認可外保育施設、ベビーホテル等）
- ・【ベビーシッター】 自宅において有料でお子さんを預かるサービス
- ・【のびのび子育てサポート事業】 子育ての援助を行いたい方と受けたい方からなる会員組織により一時的に子育ての手助けをしあう制度

【問5】 あて名のお子さんは、現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

1. 利用している → (1) へ
2. 利用していない → (6) (12ページ) へ

幼稚園や保育所にお子さんが通っている人はここ



※ (1) から (5) は問5で「1. 利用している」に○をつけたかたにうかがいます。

(1) あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 公立幼稚園(通常の就園時間の利用)
2. 公立幼稚園の預かり保育
(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
3. 私立幼稚園(通常の就園時間の利用)
4. 私立幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
5. 公立保育所
6. 私立(民間)保育所
7. 認定こども園
8. 家庭保育室(個人実施型)
9. 家庭保育室(保育所実施型)
10. 家庭保育室(グループ実施型)
11. 事業所内保育施設
12. その他の保育施設(認可外保育施設、ベビーホテル等)
13. ベビーシッター(居宅型訪問事業)
14. 療育機関・障害児通園施設
15. のびのび子育てサポート事業
16. 決まっていない
17. その他()

(2) 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また希望としてはどのくらい利用したいですか。1週間で利用したい日数と、1日で利用したい時間(何時から何時まで)を「幼稚園の預かり保育」や「保育所の延長保育」も含めて、具体的な数字を記入してください。

現在	希望
(2) - 1 1週間で()日利用している	(2) - 3 1週間で()日利用したい
(2) - 2 午前・午後()時から 午前・午後()時まで	(2) - 4 午前・午後()時から 午前・午後()時まで

(3) 現在、利用している教育・保育の事業の実施場所についてうかがいます。あてはまるものに○をつけてください。

※現在、名古屋市内の支所は

- 楠支所(北区)
 - 山田支所(西区)
 - 富田支所(中川区)
 - 南陽支所(港区)
 - 志段味支所(守山区)
 - 徳重支所(緑区)
- の、6ヶ所
です。



- | | | |
|------------------|----------------|---------------|
| 1. お住まいの区 | 2. お住まいの区の支所管内 | 3. お住まいの区以外の区 |
| 4. お住まいの区以外の支所管内 | 5. 名古屋市外() | |

(4) 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由について伺います。主な理由としてあてはまるものすべてに○をつけてください。

子育て(教育を含む)をしているかたが

- | | |
|-------------------------------|-----------------------|
| 1. 現在就労しているから | 2. 就労予定があるから/求職中であるから |
| 3. 家族などを介護しなければならないから | 4. 病気や障害を持っているから |
| 5. 学生であるから | |
| 6. 1~5までの事情はないが、お子さんの教育や発達のため | |
| 7. お子さんが行きたがるから | |
| 8. まわりの子がみんな行っているから | |
| 9. その他() | |

(5) 現在、最も多く利用している教育・保育の事業を選んだ理由はなんですか。あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 教育内容・保育内容が優れているから | 2. 教育内容・保育内容に特色があるから |
| 3. 職員の印象がよいから | 4. 家から近いから |
| 5. 保育時間が長いから | 6. 子どもの療育に必要なだから |
| 7. 施設がきれいだから | 8. 園庭が広く、遊具が充実しているから |
| 9. 料金が安いから | 10. まわりの子がみんな行っているから |
| 11. 事業所内の保育施設だから | 12. 近所で評判がいいから |
| 13. 家庭的な雰囲気が好きだから | 14. 必要な時間だけ利用できるから |
| 15. 自宅で見てもらえるから | 16. その他 () |

問5で幼稚園や保育所等にお子さんが通っていないと答えたかたへの質問です。



(6) 問5で「2. 利用していない」に○をつけたかたにうかがいます。

おもな理由としてあてはまるものすべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. (子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で)利用する必要がない |
| 2. 子どもの父親または母親が、現在、育児休業を取得している |
| 3. 子どもの祖父母や親戚の人がみている |
| 4. 近所の人や父母の友人・知人がみている |
| 5. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない |
| 6. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない |
| 7. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない |
| 8. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない |
| 9. 子どもがまだ小さいため、()歳になったら教育・保育事業を利用しようと考えている |
| 10. その他 () |

質問がいっぱいで、ごめんなさい。
ちょっと疲れてきたな~と思ったら、ひと休みしてくださいね。
なごっちも、ひと休みしようかな。

次の質問は、今後、利用したいと思っている

教育・保育の事業についてです。



**今後の教育・保育の事業(月単位で定期的に利用したい事業)の
利用希望についてうかがいます。(休日の保育を除く)**

【問6】あて名のお子さんに関して、「今は利用していないが、できれば利用したい。」または、「現在利用しているが、今後、もっと多く利用したい。(利用日数・回数や利用時間を増やしたい。)」と思う教育・保育の事業があればあてはまるものを左の欄から2つまで選んで○をつけてください。
現在就労しておらず、今後就労希望のあるかたは、『就労した場合』を想定してお答えください。

今後、利用したい、またはもっと多く利用したいと思う教育・保育の事業	左の欄で「1.」～「14.」と答えたかたは(1)～(3)にも回答してください
<ol style="list-style-type: none"> 1. 公立幼稚園 (通常の就園時間の利用) 2. 公立幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ) 3. 私立幼稚園(通常の就園時間の利用) 4. 私立幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ) 5. 認定こども園 6. 公立保育所 7. 私立(民間)保育所 8. 家庭保育室(個人実施型) 9. 家庭保育室(保育所実施型) 10. 家庭保育室(グループ実施型) 11. 事業所内保育施設 12. その他の保育施設(認可外保育施設、ベビーホテル等) 13. ベビーシッター(居宅型訪問事業) 14. 療育機関・障害児通園施設 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ol style="list-style-type: none"> 15. 現在利用しており、そのままが良い 16. 決まっていない 17. その他() 	<p>(1) 左の欄で選んだ教育・保育の事業の利用を1週あたり何日、1日あたり何時間(何時から何時まで)希望しますか。具体的な数字を記入してください。</p> <p>ア. 選んだ教育・保育の事業番号()</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1週間あたり()日 ・ 1日あたり()時間 午前・午後()時から 午前・午後()時まで <p>イ. 選んだ教育・保育の事業番号()</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1週間あたり()日 ・ 1日あたり()時間 午前・午後()時から 午前・午後()時まで <p>(2) 今後、教育・保育の事業を利用したいと考えている理由は何ですか。次の中からもっともあてはまるものを1つ選んで○をつけてください</p> <p>子育て(教育を含む)をしているかたが</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現在就労しているから 2. 就労予定があるから/求職中だから 3. 家族などを介護しなければならないから 4. 病気や障害を持っているから 5. 学生であるから <p>6. 1～5までの事情はないが、お子さんの教育のため</p> <p>7. お子さんが行きたがるから</p> <p>8. まわりの子がみんな行っているから</p> <p>9. その他()</p> <p>(3) 今後、利用したいと考えている教育・保育の実施場所はどこですか。あてはまる場所1つに○をつけてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. お住まいの区 2. お住まいの区の支所管内 3. お住まいの区以外の区 4. お住まいの区以外の支所管内 5. 名古屋市外()



※現在、名古屋市内の支所は

- 楠支所(北区)
- 山田支所(西区)
- 富田支所(中川区)
- 南陽支所(港区)
- 志段味支所(守山区)
- 徳重支所(緑区)

の、6ヶ所で

あて名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の
定期的な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

【問7】あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。あてはまるものに○をつけ、利用したい時間（何時から何時まで）の具体的な数字を記入してください。

利用希望曜日等	(1) 利用希望頻度	(2) 利用希望時間
土曜日	1. ほぼ毎週利用したい 2. 月に1～2回は利用したい 3. 利用する必要がない	午前・午後（ ）時から 午前・午後（ ）時まで
日曜日・祝日	1. ほぼ毎週利用したい 2. 月に1～2回は利用したい 3. 利用する必要がない	午前・午後（ ）時から 午前・午後（ ）時まで

【問8】あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の、教育・保育の事業の利用希望はありますか。あてはまるものに○をつけ、利用したい時間（何時から何時まで）の具体的な数字を記入してください。

利用希望頻度	左の欄で「1.」、「2.」と答えた方は、 利用希望時間をご記入ください
1. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい 2. 休みの期間中、週に数日利用したい	午前・午後（ ）時から 午前・午後（ ）時まで
3. 利用する必要はない 4. 保育所等に通園しており、長期休暇がない	

あて名のお子さんが病気やケガ等の時の
定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。

【問9】この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガ等の際、最も多く利用している教育・保育の事業を利用しようとして、できなかったことはありますか。あてはまるものに○をつけてください。

利用希望がなかった場合は「2.」に○をつけてください。

1. あった	→ (1) (15ページ) へ
2. なかった	→ (2) (15ページ) へ



(1) この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで、最も多く利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合どのように対応しましたか。あてはまるものすべてに○をつけ、おおむねの日数をお答えください。(半日程度についても1日として数えてください。)

1. 父親が休んだ	()日
2. 母親が休んだ	()日
3. (同居者を含む) 親族・知人に看護してもらった	()日
4. 父親または母親のうち、就労していないかたが看護した	()日
5. 病児・病後児デイケア事業を利用した	()日
6. ベビーシッターを利用した	()日
7. のびのび子育てサポート事業を利用した	()日
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	()日
9. その他 ()	

(2) あて名のお子さんが病気やケガで、もっとも多く利用している教育・保育の事業が利用できないときに、「できれば病児・病後児のための保育施設を利用したい」と思われますか。あてはまるものを左の欄から1つ選んで○をつけ、「2.」または「3.」を選ばれたかたは、おおむね1年間に何日程度と思われるかを記入して、矢印にそって右の欄に進み、回答してください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医での受診が必要となります。

利用希望の有無	左の欄から進み、各設問に回答してください
1. 利用を希望しない	<p>(2) - 1 利用を希望しないのはなぜですか。あてはまるもの<u>すべて</u>に○をつけてください。</p> <p>1. 病児・病後児を他人に看護してもらうのは不安</p> <p>2. 地域の事業の質に不安がある</p> <p>3. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間、日数など)があわない</p> <p>4. 利用料がかかる、または高い</p> <p>5. 利用料が分からない</p> <p>6. 父親または母親が仕事を休んで対処する</p> <p>7. その他 ()</p>
2. 父親、母親が休めないときは利用したい →おおむね1年間 ()日程度 3. できれば病気ときはすべて利用したい →おおむね1年間 ()日程度	<p>(2) - 2 利用する場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思えますか。あてはまるもの<u>すべて</u>に○をつけてください。</p> <p>1. 他の施設(例:幼稚園・保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業</p> <p>2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業</p> <p>3. のびのび子育てサポート事業</p> <p>4. その他 ()</p>
4. その他 ()	

**あて名のお子さんの不特定の教育・保育の事業や宿泊を伴う
一時預かり等の利用についてうかがいます。**

【問10】この一年間で、日中の定期的な保育や病気のため以外に、あて名のお子さんについて一時預かり等を不特定に利用した事業はありましたか。あてはまるものに○をつけて、その後、矢印にそって回答してください。

	理 由	(1) 利用した教育・保育の事業及び日数
1. あった 	ア. 私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的	1. 一時保育事業（一時預かり） () 日 （私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業） 2. 幼稚園の預かり保育 () 日 （通常の就園時間を延長し、預かる事業のうち、不特定に利用する場合のみ） 3. のびのび子育てサポート事業 () 日 4. ショートステイ事業 () 日 （児童養護施設で子どもの一時的な養育を行う事業） 5. ベビーシッター () 日 6. その他 () () 日
	イ. 冠婚葬祭、子どもの親の病気や妊娠・出産時	1. 一時保育事業（一時預かり） () 日 2. 幼稚園の預かり保育 () 日 3. のびのび子育てサポート事業 () 日 4. ショートステイ事業 () 日 5. ベビーシッター () 日 6. その他 () () 日
	ウ. 不特定の就労	1. 一時保育事業（一時預かり） () 日 2. 幼稚園の預かり保育 () 日 3. のびのび子育てサポート事業 () 日 4. ショートステイ事業 () 日 5. ベビーシッター () 日 6. その他 () () 日
2. なかった  (右の欄にも回答してください)		(2) 現在利用していない理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。 1. 特に利用する必要がない 2. 利用したい事業が地域にない 3. 地域の事業の質に不安がある 4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない 5. 利用料がかかる、または高い 6. 利用料がよくわからない 7. 自分が事業の対象者になるのかわからない 8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない 9. その他 ()

(3) 今後、私用、保護者の通院、不定期の就労等の目的で、一時預かり等不定期の事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について○をつけてください。また「1.」を選ばれたかたは、右のア～エの中から利用希望時の理由を選び、1年間の目的別の日数を、数字でご記入ください。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

	理 由
1. 利用する 必要がある 	ア. 私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的 () 日
	イ. 冠婚葬祭、学校行事、子どもの保護者の病気、通院 () 日
	ウ. 不定期の就労 () 日
	エ. その他 () () 日
2. 利用する必要はない	

(4) この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含まれます）。左の欄の該当するものに○をつけてください。また、「1.」を選ばれたかたは、右のア～カの中から、1年間の対処方法をすべて選び、それぞれの宿泊数を、数字でご記入ください。なお、事業の利用にあたっては一定の利用料がかかります。

	1年間の対処方法
1. あった 	ア.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった () 泊
	イ. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業） () 泊
	ウ. イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した () 泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた () 泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた () 泊
	カ. その他 () () 泊
2. なかった	

保育事業についてうかがいます。

【問11】保育事業について下の表のア～オの事業について、(1)～(4)の質問にあてはまるものを選んで○をつけてください。

「(1) 事業について」、「(2) 利用の有無」、「(4) 今後の利用希望」はすべてのかたが回答してください。

また、(2) で利用したことが「1.ある」と回答したかたは、「(3) 満足度」にも回答してください。

	(1) 事業について	(2) 利用の有無	(3) 満足度	(4) 今後の利用希望
<p>ア. 一時保育事業 保護者の方が、①傷病、親族の看護、冠婚葬祭などのやむを得ない事由により緊急・一時的に家庭で保育ができない場合、②週3日以内の就労などにより断続的に家庭で保育ができない場合、③子育てのリフレッシュを希望される場合に就学前のお子さんを指定する保育所で保育します。</p>	1.知っている 2.知らない	1.ある 2.ない	1.満足した 2.どちらでもない 3.満足しない	1.希望する 2.どちらでもない 3.希望しない
<p>イ. 病児・病後児デイケア事業 病気及び病気回復期にある小学校3年生までのお子さんを勤務等の都合により家庭での保育ができないときに、一時的に保育します。</p>	1.知っている 2.知らない	1.ある 2.ない	1.満足した 2.どちらでもない 3.満足しない	1.希望する 2.どちらでもない 3.希望しない
<p>ウ. 延長保育事業 保育所に通っているお子さんについて、通常の保育終了時間を延長して保育します。事業を実施している保育所に通っているお子さんが利用できます。</p>	1.知っている 2.知らない	1.ある 2.ない	1.満足した 2.どちらでもない 3.満足しない	1.希望する 2.どちらでもない 3.希望しない
<p>エ. 休日保育事業 日曜、祝日に保護者の方が勤務等により家庭で保育できないときに、お子さんを指定する保育所で保育します。事業を実施している保育所以外の保育所に通っているお子さんも利用できます。</p>	1.知っている 2.知らない	1.ある 2.ない	1.満足した 2.どちらでもない 3.満足しない	1.希望する 2.どちらでもない 3.希望しない
<p>オ. 産休あけ・育休あけ入所予約事業 出産予定日の8週間前の日以降に入所予定日を特定して保育所への入所予約ができます。入所予約できるのは、指定保育所のみであり、利用できる定員には各保育所の状況により限度があります。</p>	1.知っている 2.知らない	1.ある 2.ない	1.満足した 2.どちらでもない 3.満足しない	1.希望する 2.どちらでもない 3.希望しない

回答、ありがとうございます。
だいたい、真ん中まで来ました！
あともう少しありますが、ご協力を、
よろしくお願いします。



あて名のお子さんが5歳以上であるかたに、
小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

⇒5歳未満のかたは[問13](21ページ)へ

【トワイライトスクール】 小学校施設を活用して、異学年の友達との遊びや学び、地域の方との交流、体験活動などの場を提供します。小学校に通うすべての子どもが対象となる事業です。

＜活動日時＞月～土曜日の18時まで（土曜日と長期休業は午前より実施）

【トワイライトルーム】 トワイライトスクールの内容に加え、就労等で子育てへの援助を希望する家庭の子どもについて、その生活面でのサポート等を行う子ども指導員を配置するなど、より生活に配慮した取り組みを行います。17時を超えて利用する場合は一定の利用料（おやつ代等を含む）が必要となります。

＜活動日時＞月～金曜日の19時まで。土曜日は18時まで。（土曜日と長期休業は午前より実施。）

【学童保育】 保護者が就労等により昼間家庭にいない子どもについて、その健全な育成を図るため、授業終了後等に適切な遊びと生活の場を提供します。開設時間や利用料（おやつ代等を含む）は、学童保育によって異なります。

＜活動日時＞月～土曜日

（民間学童：約9割が19時まで（土曜日と長期休業は午前より実施）（最短：18時、最長：22時まで）

（児童館：13時から18時まで（長期休業は午前より実施）

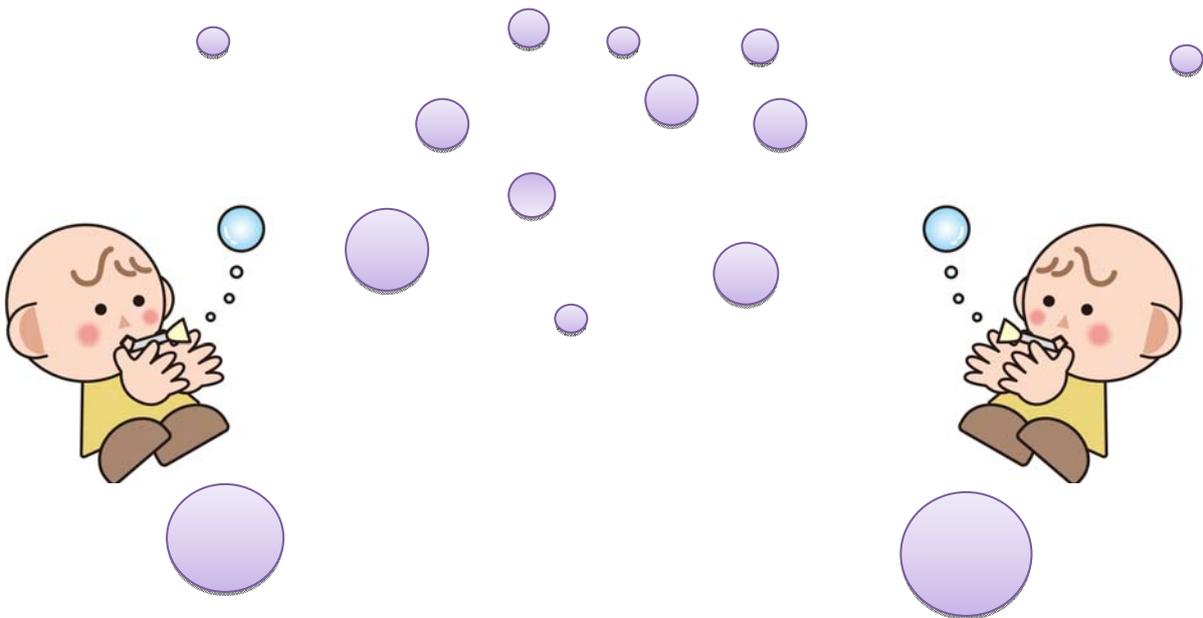
【のびのび子育てサポート事業】 子育ての援助を行いたい方と受けたい方からなる会員組織により、一時的に子育ての手助けをしあう制度で、一定の利用料が必要となります。

【問12】(1) あて名のお子さんについて小学校に就学後、平日の放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。小学校低学年と高学年別で、あてはまるものすべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たりの日数を数字でご記入ください。また、「5. 小学校施設を活用した放課後事業」と「6. 学童保育」の場合には、利用を希望する時間も数字でご記入ください。

過ごさせたい場所等	小学校低学年 (1年生～3年生)	小学校高学年 (4年生～6年生)
1. 自宅	週()日くらい	週()日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週()日くらい	週()日くらい
3. 学校で行われる部活動（課外活動含む）	週()日くらい ※現在、名古屋市立の小学校では低学年の部活動は行っていません。	週()日くらい
4. 習いごと（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週()日くらい	週()日くらい
5. 小学校施設を活用した放課後事業 (名古屋市ではトワイライトスクール またはトワイライトルームを実施しています)	週()日くらい 授業終了後から()時まで	週()日くらい 授業終了後から()時まで
6. 学童保育 (児童館で行われる学童保育を含む)	週()日くらい 授業終了後から()時まで	週()日くらい 授業終了後から()時まで
7. 児童館	週()日くらい	週()日くらい
8. 放課後等デイサービス（障害児通所支援）	週()日くらい	週()日くらい
9. のびのび子育てサポート事業	週()日くらい	週()日くらい
10. その他（公園など）	週()日くらい	週()日くらい
11. 現時点では未定		

(2) あて名のお子さんについて、小学校に就学後、夏休みや冬休みなど長期休暇をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。小学校低学年と高学年別で、あてはまるものすべてに○をつけ、それを希望する週当たりの日数を数字でご記入ください。また「5. 小学校施設を活用した放課後事業」と「6. 学童保育」の場合には、利用を希望する時間も数字でご記入ください。

過ごさせたい場所等	小学校低学年 (1年生～3年生)	小学校高学年 (4年生～6年生)
1. 自宅	週()日くらい	週()日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週()日くらい	週()日くらい
3. 学校で行われる部活動(課外活動含む)	週()日くらい ※現在、名古屋市立の小学校では低学年の部活動は行っていません。	週()日くらい
4. 習いごと(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週()日くらい	週()日くらい
5. 小学校施設を活用した放課後事業 (名古屋市ではトワイライトスクール またはトワイライトルームを実施しています)	週()日くらい ()時から()時まで	週()日くらい ()時から()時まで
6. 学童保育 (児童館で行われる学童保育を含む)	週()日くらい ()時から()時まで	週()日くらい ()時から()時まで
7. 児童館	週()日くらい	週()日くらい
8. 放課後等デイサービス(障害児通所支援)	週()日くらい	週()日くらい
9. のびのび子育てサポート事業	週()日くらい	週()日くらい
10. その他(公園など)	週()日くらい	週()日くらい
11. 現時点では未定		



子育て中の経済的負担についてうかがいます。

【問13】あなたの世帯の現在の暮らし向きについてうかがいます。

あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | | |
|-------------|-------------|-------|
| 1. 大変ゆとりがある | 2. ややゆとりがある | 3. 普通 |
| 4. やや苦しい | 5. 苦しい | |

(1) あなたの世帯では、過去1年間の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. よくあった | 2. ときどきあった |
| 3. まれにあった | 4. まったくなかった |

(2) あなたの世帯では、過去1年間の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣料が買えないことがありましたか。あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. よくあった | 2. ときどきあった |
| 3. まれにあった | 4. まったくなかった |

(3) これまでに、子育てに経済的な負担を感じたことがありますか。あてはまるものを1つ選んで○をつけください。また、「1.」と「2.」を選んだかたは右の欄にも回答してください。

経済的な負担について															
1. とても感じる 2. 感じる	<p>(3) - 1 特に負担を感じる費用は何ですか。あてはまるものを3つ選んで数字を記入してください。 また選んだ番号について、1か月にかかる費用を()内に数字で記入してください。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 衣服費</td> <td>2. 食費</td> </tr> <tr> <td>3. 光熱水費</td> <td>4. 住宅費(家賃・ローン)</td> </tr> <tr> <td>5. 授業料・学費</td> <td>6. 学習塾の費用</td> </tr> <tr> <td>7. 習いごとの費用</td> <td>8. 幼稚園・保育所費用</td> </tr> <tr> <td>9. クラブ活動費用</td> <td>10. 本代、おもちゃ代</td> </tr> <tr> <td>11. レジャー費用(旅行など)</td> <td>12. 医療費</td> </tr> <tr> <td>13. わからない</td> <td>14. その他()</td> </tr> </table> <p> 選んだ番号 <input type="text"/> 月額 () 円 選んだ番号 <input type="text"/> 月額 () 円 選んだ番号 <input type="text"/> 月額 () 円 </p>	1. 衣服費	2. 食費	3. 光熱水費	4. 住宅費(家賃・ローン)	5. 授業料・学費	6. 学習塾の費用	7. 習いごとの費用	8. 幼稚園・保育所費用	9. クラブ活動費用	10. 本代、おもちゃ代	11. レジャー費用(旅行など)	12. 医療費	13. わからない	14. その他()
1. 衣服費	2. 食費														
3. 光熱水費	4. 住宅費(家賃・ローン)														
5. 授業料・学費	6. 学習塾の費用														
7. 習いごとの費用	8. 幼稚園・保育所費用														
9. クラブ活動費用	10. 本代、おもちゃ代														
11. レジャー費用(旅行など)	12. 医療費														
13. わからない	14. その他()														
3. どちらともいえない 4. あまり感じない 5. 感じない 6. わからない															

名古屋市の子育て支援事業についてうかがいます。

【問 1 4】名古屋市が行う子育て支援事業（下の表のア～ク）について、（1）～（4）の質問にあてはまるものを選んで○をつけてください。

「（1）事業について」、「（2）利用の有無」、「（4）今後の利用希望」はすべてのかたが回答してください。また、（2）で利用したことが「1.ある」と回答したかたは、「（3）満足度」にも回答してください。

	(1) 事業について	(2) 利用の有無	(3) 満足度	(4) 今後の利用希望
ア. のびのび子育てサポート事業 子育ての援助を行いたい方と受けたい方からなる会員組織により一時的に子育ての手助けをしあう制度	1.知っている 2.知らない	1. <input checked="" type="checkbox"/> ある 2. <input type="checkbox"/> ない	1.満足した 2.どちらでもない 3.満足しない	1.希望する 2.どちらでもない 3.希望しない
イ. 子育て総合相談窓口 専任の保健師等が子育てに関する相談に応じる窓口で市内全保健所に設置	1.知っている 2.知らない	1. <input checked="" type="checkbox"/> ある 2. <input type="checkbox"/> ない	1.満足した 2.どちらでもない 3.満足しない	1.希望する 2.どちらでもない 3.希望しない
ウ. 主任児童委員等による子育てサロン 主任児童委員等が中心となり、地域のコミュニティセンター等において、乳幼児とその親が気軽に集える交流の場の提供やスタッフによる育児相談を実施。また親子で楽しむ講座等の開催	1.知っている 2.知らない	1. <input checked="" type="checkbox"/> ある 2. <input type="checkbox"/> ない	1.満足した 2.どちらでもない 3.満足しない	1.希望する 2.どちらでもない 3.希望しない
エ. 保健所の子育てサロン 初妊婦及び第1子の乳児を子育て中の親を対象に、育児不安の軽減を図るよう子育ての友だちづくりや情報交換を行う地域の子育て交流の場で保健所が行っているもの	1.知っている 2.知らない	1. <input checked="" type="checkbox"/> ある 2. <input type="checkbox"/> ない	1.満足した 2.どちらでもない 3.満足しない	1.希望する 2.どちらでもない 3.希望しない
オ. 保育所子育て支援事業 地域子育て支援センター以外の保育所が地域の子育て中の親子を対象として行う子育て支援の事業（園庭開放、行事への招待、育児相談など）	1.知っている 2.知らない	1. <input checked="" type="checkbox"/> ある 2. <input type="checkbox"/> ない	1.満足した 2.どちらでもない 3.満足しない	1.希望する 2.どちらでもない 3.希望しない
カ. 産後ヘルプ事業 出産後の体調不良などにより家事・育児が困難な家庭にヘルパーを派遣し、家事・育児をお手伝いする制度	1.知っている 2.知らない	1. <input checked="" type="checkbox"/> ある 2. <input type="checkbox"/> ない	1.満足した 2.どちらでもない 3.満足しない	1.希望する 2.どちらでもない 3.希望しない
キ. 幼稚園での子育て支援事業 幼稚園が未就園の親子に行う子育て支援の事業（園庭開放、遊びの会、子育て相談など）	1.知っている 2.知らない	1. <input checked="" type="checkbox"/> ある 2. <input type="checkbox"/> ない	1.満足した 2.どちらでもない 3.満足しない	1.希望する 2.どちらでもない 3.希望しない
ク. 子どもあんしん電話相談事業 夜間の子どもの急な発熱や事故などの場合に、家庭での応急手当や見守り方、医療機関への受診の必要性や育児、母子の健康に関することなどについて看護師等が電話でアドバイスを行う	1.知っている 2.知らない	1. <input checked="" type="checkbox"/> ある 2. <input type="checkbox"/> ない	1.満足した 2.どちらでもない 3.満足しない	1.希望する 2.どちらでもない 3.希望しない

【問15】 あて名のお子さんは、各種地域の子育て支援事業を利用していますか。各事業ごとの利用状況等について回答してください。

【つどいの広場事業】主に0歳～3歳の親子が気軽に集い、相談・交流を図ることができる場を提供する事業

【保育所地域子育て支援センター】地域の子育て家庭を総合的に支援するため、保育所において、専任の職員を配置し、育児不安等の相談、子育てサークル等の支援、地域の子育て事業の情報提供などを行う事業

【児童館での子育て支援事業】乳幼児とその保護者を対象としたクラブや交流事業、子育て家庭に対する相談援助、子育てサークル等に対しての活動場所の提供・支援

【758キッズステーション（名古屋市子ども・子育て支援センター）】

子育て支援関係機関のネットワークづくりや子育てサークルへの支援などを行う子育て相談・交流のネットワークの拠点施設

(1) つどいの広場事業		(1) - 2
(1) - 1 利用の 状況等	<p>利用の状況等について、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。また「1.」から「3.」を選んだかたは右の欄の満足度についても、回答してください。</p> <p>1. 毎週利用している 週あたり（ ）回</p> <p>2. 毎週は利用していないが、1ヶ月に数回利用している 月あたり（ ）回</p> <p>3. 1度利用した</p> <p>4. 知っているが利用したことはない</p> <p>5. 知らない</p>	<p>満足度についてあてはまるもの1つに○をつけてください。</p> <p>1. 満足した</p> <p>2. どちらでもない</p> <p>3. 満足しない</p>
(1) - 3 今後の 利用希望	<p>今後、利用したいと思いませんか。 あてはまるもの1つに○をつけ、今後利用したい頻度を数字で記入してください。</p> <p>1. 1週あたり（ ）回、利用したい</p> <p>2. 1ヶ月あたり（ ）回、利用したい</p> <p>3. 事業が使いやすくなれば利用したい</p> <p>4. 利用しない</p>	

(2) 保育所地域子育て支援センター		
(2) - 1 利用の 状況等	<p>利用の状況等について、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。また「1.」から「3.」を選んだかたは右の欄の満足度についても、回答してください。</p> <p>1. 毎週利用している 週あたり（ ）回</p> <p>2. 毎週は利用していないが、1ヶ月に数回利用している 月あたり（ ）回</p> <p>3. 1度利用した</p> <p>4. 知っているが利用したことはない</p> <p>5. 知らない</p>	(2) - 2 満足度について あてはまるもの 1つに○をつけ てください。
(2) - 3 今後の 利用希望	<p>今後、利用したいと思いませんか。</p> <p>あてはまるもの1つに○をつけ、今後利用したい頻度を数字で記入してください。</p> <p>1. 1週あたり（ ）回、利用したい</p> <p>2. 1ヶ月あたり（ ）回、利用したい</p> <p>3. 事業が使いやすくなれば利用したい</p> <p>4. 利用しない</p>	
		<p>1. 満足した</p> <p>2. どちらでもない</p> <p>3. 満足しない</p>

(3) 児童館での子育て支援事業		
(3) - 1 利用の 状況等	<p>利用の状況等について、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。また「1.」から「3.」を選んだかたは右の欄の満足度についても、回答してください。</p> <p>1. 毎週利用している 週あたり（ ）回</p> <p>2. 毎週は利用していないが、1ヶ月に数回利用している 月あたり（ ）回</p> <p>3. 1度利用した</p> <p>4. 知っているが利用したことはない</p> <p>5. 知らない</p>	(3) - 2 満足度について あてはまるもの 1つに○をつけ てください。
(3) - 3 今後の 利用希望	<p>今後、利用したいと思いませんか。</p> <p>あてはまるもの1つに○をつけ、今後利用したい頻度を数字で記入してください。</p> <p>1. 1週あたり（ ）回、利用したい</p> <p>2. 1ヶ月あたり（ ）回、利用したい</p> <p>3. 事業が使いやすくなれば利用したい</p> <p>4. 利用しない</p>	
		<p>1. 満足した</p> <p>2. どちらでもない</p> <p>3. 満足しない</p>

(4) 758キッズステーション (名古屋市子ども・子育て支援センター)		
(4) - 1 利用の 状況等	<p>利用の状況等について、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。また「1.」から「3.」を選んだかたは右の欄の満足度についても、回答してください。</p> <p>1. 毎週利用している 週あたり () 回</p> <p>2. 毎週は利用していないが、1ヶ月に数回利用している 月あたり () 回</p> <p>3. 1度利用した</p> <p>4. 知っているが利用したことはない</p> <p>5. 知らない</p>	<p>(4) - 2 満足度について あてはまるもの 1つに○をつけて ください。</p> <p>1. 満足した</p> <p>2. どちらでもない</p> <p>3. 満足しない</p>
(4) - 3 今後の 利用希望	<p>今後、利用したいと思いませんか。 あてはまるもの1つに○をつけ、今後利用したい頻度を数字で記入してください。</p> <p>1. 1週あたり () 回、利用したい</p> <p>2. 1ヶ月あたり () 回、利用したい</p> <p>3. 事業が使いやすくなれば利用したい</p> <p>4. 利用しない</p>	

子育ての状況などについてうかがいます。

【問16】(1) 子育てについて、あなたのお住まいの地域にあてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 同じくらいの年齢の子どもを育てている 友達がいる	2. 年齢の違う子が一緒になって遊ぶことができると感じる
3. 子育てについて気軽に相談できる人がいる	4. 困った時に気軽に子どもを預かってくれる知人がいる
5. 子どもが参加できる行事がたくさん行われている	6. 地域の人が子育てを温かく見守ってくれていると感じる
7. 地域の人に子育て家庭についての理解がないと感じる	8. 子どものいる家庭が少なく、地域の中で孤立感を感じる
9. 子ども同士の交流があまりないと感じる	10. その他 ()

(2) 子育てする上で、知りたい情報は何か。あてはまるもの3つに○をつけてください。

1. 幼稚園や保育所など子どもの教育・保育、子育て支援の事業	2. 子育てについて相談できる機関やサービス
3. 子どもの発育や健康について相談できる機関やサービス	4. 子どもが病気やケガをしたときや休日等に受診できる医療機関
5. 子どもの習いごとや塾	6. 子育てをする仲間づくりのサークル
7. 子どもの遊び場や公園	8. 子どもと一緒に参加できるイベント
9. その他 ()	

名古屋市の子ども・子育て支援への取り組みについてうかがいます。

【問17】(1) 名古屋市の子ども・子育て支援への取り組みについて、あなたはア～コのことを期待しますか。

(2) また、現在の名古屋市の取り組みについてどう感じますか。

下の表のア～サの項目ごとに、(1)、(2)の質問ごとにあてはまるものを選んで○をつけてください。あなたが、名古屋市が子ども・子育て支援に取り組む必要がないと思う場合は、「サ」の欄に○をつけてください。

	(1) 期待するかどうか	(2) 現状に満足しているかどうか
ア. 労働時間の短縮、育児休業や介護休暇制度など家庭生活と両立する職場環境の整備	1. 期待する 2. どちらでもない 3. 期待しない	1. 満足する 2. どちらでもない 3. 満足しない
イ. 多様な保育サービスの充実や、放課後児童に対する施策の充実	1. 期待する 2. どちらでもない 3. 期待しない	1. 満足する 2. どちらでもない 3. 満足しない
ウ. 安心して出産や子育てができる医療サービスの充実	1. 期待する 2. どちらでもない 3. 期待しない	1. 満足する 2. どちらでもない 3. 満足しない
エ. 授乳やおむつ替えの場所など、子どもとともに外出がしやすいまちの整備	1. 期待する 2. どちらでもない 3. 期待しない	1. 満足する 2. どちらでもない 3. 満足しない
オ. 子育てについて相談できる機関やサービスの充実	1. 期待する 2. どちらでもない 3. 期待しない	1. 満足する 2. どちらでもない 3. 満足しない
カ. 住宅や遊び場・公園の整備など、子育てしやすいまちづくり	1. 期待する 2. どちらでもない 3. 期待しない	1. 満足する 2. どちらでもない 3. 満足しない
キ. 受験戦争やいじめの解消等のゆとりのある教育の実現	1. 期待する 2. どちらでもない 3. 期待しない	1. 満足する 2. どちらでもない 3. 満足しない
ク. 遊び・スポーツ・文化活動など、豊かな人間性をつくる学校外活動の充実	1. 期待する 2. どちらでもない 3. 期待しない	1. 満足する 2. どちらでもない 3. 満足しない
ケ. 医療費助成や子育てにかかる各種サービスの費用の軽減など、経済的な支援の充実	1. 期待する 2. どちらでもない 3. 期待しない	1. 満足する 2. どちらでもない 3. 満足しない
コ. 男女でともに子育てに参加することについての意識啓発	1. 期待する 2. どちらでもない 3. 期待しない	1. 満足する 2. どちらでもない 3. 満足しない
サ. 名古屋市としては子ども・子育て支援に取り組む必要はない		

なごや子ども条例についてうかがいます

【問18】あなたは、平成20年4月に「なごや子ども条例」が制定されたことを知っていますか。
あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------|------------------------------|
| 1. 内容についてもよく知っている | 2. 制定されたことは知っているが、内容はあまり知らない |
| 3. 制定されたことは知っているが、内容はまったく知らない | 4. 制定されたことを知らない |

仕事と生活のバランスについてうかがいます。

【問19】あなたの家庭では仕事と生活のバランスはとれていると感じていますか。

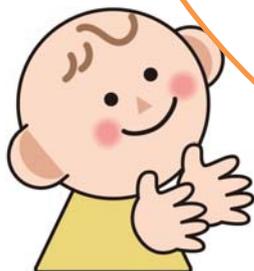
父親のかたと母親のかたのそれぞれについて、もっとも近いものを1つ選んで下の枠内に番号を記入してください。父子家庭のかたは父親の枠内に、母子家庭のかたは母親の枠内に記入してください。

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------------|
| 1. 仕事と家庭生活（育児含む）のバランスがとれている | 2. 仕事を中心となっており、もう少し家庭生活の比重が高まるとよい |
| 3. 仕事を中心となっているが、今のままでよい | 4. 育児を中心となっており、もう少し仕事の比重が高まるとよい |
| 5. 育児を中心となっているが、今のままでよい | 6. どちらともいえない |
| 7. よくわからない | 8. その他（父：
母： |

(1) 父親

(2) 母親

子育ても家事も、お仕事も。
どれも一生懸命なあなたはとても素敵。
そんなあなたには、いつも輝いていてほしいから
時間という宝物を大切にしてほしい。
ワーク・ライフ・バランスは
ハッピーバランス。
なごっちも応援しています。



家事・子育ての分担についてうかがいます。

【問20】現在、家事・子育ての分担はどのように行っていますか。
 下の表のア～クの項目ごとに、父親のかたと母親のかたの分担の割合を全体で100%になるように、数字で記入してください。祖父母のかたや知り合い等の援助がある場合は、祖父母のかたなどの援助の割合を含めて、全体が100%になるように、数字で記入してください。

	父親の割合	母親の割合	祖父母等の援助割合
ア. 日常の買い物	%	%	%
イ. 部屋の掃除	%	%	%
ウ. 洗濯	%	%	%
エ. 炊事	%	%	%
オ. 行事などの参加 (幼稚園や保育所の保護者会、お子さんの健康診断、運動会、親子遠足、地域の行事など)	%	%	%
カ. 塾や習いごとの送迎	%	%	%
キ. お子さんの身の回りの世話	%	%	%
ク. 病気になったときの看護	%	%	%

ついにラストスパート！

あと少しなので、よろしくお
 願いします。

なごっちも大きくなって
 応援するよ！！



最後にお答えいただいたあなたのことについて、うかがいます。

お住まいの地域についてうかがいます。

F1 あなたのお住まいの区または支所に○をつけてください。

- | | | | |
|---------------|----------------|--------------|--------------|
| 1. 千種区 | 2. 東区 | 3. 北区 | 4. 楠支所（北区） |
| 5. 西区 | 6. 山田支所（西区） | 7. 中村区 | 8. 中区 |
| 9. 昭和区 | 10. 瑞穂区 | 11. 熱田区 | 12. 中川区 |
| 13. 富田支所（中川区） | 14. 港区 | 15. 南陽支所（港区） | 16. 南区 |
| 17. 守山区 | 18. 志段味支所（守山区） | 19. 緑区 | 20. 徳重支所（緑区） |
| 21. 名東区 | 22. 天白区 | | |

(1) あなたは現在お住まいの区に、何年居住していますか。あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 5年未満 | 2. 5～10年未満 |
| 3. 10～20年未満 | 4. 20～30年未満 |
| 5. 30～40年未満 | 6. 40年以上 |

(2) あなたは第1子が生まれてから、何回転居をされましたか。あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|---------------|---------|
| 1. 1回 | 2. 2回 |
| 3. 3回 | 4. 4回以上 |
| 5. 特に転居はしていない | |

ご回答されるかたについてうかがいます。

F2 あなたの性別に○をつけてください。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

F3 あなたの、あて名のお子さんから見た続柄であてはまるものに○をつけてください。

- | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-----------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. 祖父 | 4. 祖母 | 5. その他() |
|-------|-------|-------|-------|-----------|

F4 あなたの年齢をお答えください。

() 歳

F5 あなたの配偶者の年齢をお答えください。配偶者がおみえにならない場合は「配偶者はいない」に○をつけてください。

() 歳 配偶者はいない

F6 あなたの最終学歴についてあてはまるものに○をつけてください。

- | | | |
|-----------|---------|---------|
| 1. 中学校 | 2. 高等学校 | 3. 専修学校 |
| 4. 短期大学 | 5. 大学 | 6. 大学院 |
| 7. その他() | | |

あて名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

F 7 あて名のお子さんの生まれた年と月をお答えください。

平成 () 年 () 月 生まれ

F 8 あて名のお子さんのきょうだいについてお答えください。

(1) あて名のお子さんは何人きょうだいの何番目ですか。数字でお答えください。

(きょうだいがいない場合は、両方の 内に「1」を記入してください。)

人きょうだいの 番目

(2) きょうだいが2人以上いる場合は、あて名のお子さんも含めて一番上の子と下の子の年齢を記入してください。

一番上のお子さん 歳 一番下のお子さん 歳

F 9 あて名のお子さんと同居されているかたについてお聞きます。

(1) あて名のお子さんと同居されているのは、合計何人ですか。 人

(あて名のお子さんも含みます。)

(2) 現在、あて名のお子さんと同居されているかたすべてに○をつけてください。

続柄はあて名のお子さんからみた関係です。

(父親のかたまたは母親のかたが単身赴任の場合は、1または2と9に○をつけてください。)

1. 父親	2. 母親	3. きょうだい(人) (あて名のお子さんも含みます)	4. 祖父(父方)
5. 祖母(父方)	6. 祖父(母方)	7. 祖母(母方)	8. その他の人
9. 父親または母親が単身赴任			

F 10 あて名のお子さんの保護者のかたの年収(税込みの収入)について、それぞれあてはまるものに○をつけてください。父子家庭のかたは(2)については「13」に○を、また母子家庭のかたは(1)については「13」に○をつけてください。あて名のお子さんにご両親がいない場合は、(3)欄に、養育しているその他の保護者のかたの年収を回答してください。

	(1) 父親	(2) 母親	(3) その他の保護者
1. 0円	1	1	1
2. 100万円未満(0円を除く)	2	2	2
3. 100万円以上200万円未満	3	3	3
4. 200万円以上300万円未満	4	4	4
5. 300万円以上400万円未満	5	5	5
6. 400万円以上500万円未満	6	6	6
7. 500万円以上600万円未満	7	7	7
8. 600万円以上700万円未満	8	8	8
9. 700万円以上800万円未満	9	9	9
10. 800万円以上900万円未満	10	10	10
11. 900万円以上1,000万円未満	11	11	11
12. 1,000万円以上	12	12	12
13. 父親または母親はいない	13	13	—

F 1 1 あなたのお住まいの近く（最も早く移動可能な手段でおおむね30分以内）に親族はお住まいですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 自分の親 | 2. 配偶者の親 |
| 3. 自分のきょうだい | 4. 配偶者のきょうだい |
| 5. その他の親族 | 6. 近くに親族はいない |

子ども・子育て支援のあり方についてのご意見などを、ご自由にお書きください。



以上でアンケートは終了です。ご協力いただき、ありがとうございました。
返信用封筒に入れ、返送してください。
とってもたくさんの質問に答えていただき、
本当にありがとうございました！！

各種事業にかかる授業料及び利用料

事業名		授業料・利用料等
幼稚園	市立幼稚園	入学料 7,000円 授業料 年額98,400円（月ごとに8,200円を納入） 保護者の方の所得などに応じた減免制度があります。
	私立幼稚園	幼稚園ごとに異なります。（利用料として別に給食費などが必要となる園もあります。）また、保護者の方の所得に応じた就園奨励補助・授業料補助（年額32,000円～308,000円）があります。
保育所	3歳未満児	月額：0円～64,000円 （前年分の所得税などに応じて決まります。）
	3歳以上児	月額：0円～28,900円 （前年分の所得税などに応じて決まります。）
家庭保育室（個人実施型・保育所実施型・グループ実施型）		月額：0円～64,000円 （保育所の保育料と同じです。）
のびのび子育てサポート事業		入会時登録料 1,000円 1時間 800円（月から金曜日7:00から19:00） 1時間 1,000円（土・日・祝日・年末年始及び上記の時間外）
保育所の延長保育	公立保育所	利用料：200円／1時間 （児童の保護者の所得税または市民税が課税されていない場合、利用料が軽減されます。）（おやつ代として50円が別途かかります。）
	民間保育所	公立保育所の利用料を目安に、各保育所で決定しています。
幼稚園の預かり保育	市立幼稚園	利用料 1回あたり、3時間まで250円、6時間まで500円、8時間まで700円（別におやつ代等100円が必要です。） 対象者 各園の在園児（希望者のみ）
	私立幼稚園	実施園ごとに異なります。
保育所の一時保育（一時預かり）事業		利用時間 6時間まで：1,200円／1日 利用時間 8時間まで：1,600円／1日 利用時間10時間まで：2,000円／1日 （児童の保護者の所得税または市民税が課税されていない場合、利用料が軽減されます。）（給食費・おやつ代として、別に300円が必要です。）
病児・病後児デイケア事業		利用時間 6時間まで：2,000円／1日 利用時間 8時間まで：3,000円／1日 利用時間10時間まで：4,000円／1日 （児童の保護者の所得税または市民税が課税されていない場合、利用料が軽減されます。）（給食やおやつを提供する場合は、別に費用が必要です。）
休日保育事業		利用時間 6時間まで：1,200円／1日 利用時間 8時間まで：1,600円／1日 利用時間10時間まで：2,000円／1日 （児童の保護者の所得税または市民税が課税されていない場合、利用料が軽減されます。）（給食費・おやつ代として、別に350円程度が必要です。）
ショートステイ事業	2歳未満児	5,350円／1日 （児童の保護者の市民税が課税されていない場合、利用料が軽減されます。）
	2歳以上児	2,750円／1日 （児童の保護者の市民税が課税されていない場合、利用料が軽減されます。）
つどいの広場		施設によって利用料金等は様々です。
保育所地域子育て支援センター事業		無料（イベント内容等によって、実費を負担いただく場合があります。）
758キッズステーション		無料（講座内容等によって実費を負担いただく場合があります。）

みんなで支えよう! なごやの子ども!

～子どもを支えるみんなの約束「なごや子ども条例」～

すべての子どもがいきいきと健やかに育つこと、それがみんなの願いです。

わたしたち大人は、そのために何ができるのでしょうか?

あなたの身近で、できることから始めてください。

子どもは大人とのかかわりを待っています。



おとうさん、おかあさんへ

～わたしたちの声を聴いて～

わたしたち子どもだって、思っていること、
感じていることがいっぱいあるよ!
もっと自分の気持ちを話したいんだよ。
話したくても話せない子もいるんだよ。
ゆっくり、じっくり、笑顔で聴いてほしいな。

〔第5条 一人一人が尊重される権利〕
〔第10条 保護者の責務 など〕



地域の方へ

～わたしたちも仲間に入れて～

わたしたち子どもだって、
いっぱいできることはあるんだよ。
近所のおじさんやおばさんたちと、
もっと一緒に、お祭りやお掃除など
いろいろなことができるといいな。

〔第6条 豊かに育つ権利〕
〔第11条 地域住民等の責務 など〕



事業者の方へ

～家族と一緒にいいな～

わたしたち子どもは、家族と一緒に
話したり、遊んだりするのが大好き!
お仕事も大切だけど、
もっと家族と一緒に過ごせるとうれしいな。

〔第13条 事業者の責務 など〕



すべての大人の方へ

～こんな大人になりたい～

大人になるって楽しいのかな?
大人になるといろんな事が
できるようになるのかな?
いろいろな大人の人といっぱい出会って
素敵な大人になりたいな。

〔前文、第8条 共通の責務 など〕



ご協力いただき、ありがとうございました！



なごや子ども条例マスコットキャラクター
「なごっち」

なごや子ども条例を知っていますか？

子どもは、一人ひとりがかげがえのない存在です。
すべての子どもが、大切にされ、自分のもっている力を伸ばしながら、
いきいきと安心して健やかに育てほしい、
そして未来の名古屋を担ってほしいという願いをこめて、
平成20年4月に施行されました。

詳しくは名古屋市ウェブサイトへGO！

なごや子ども条例

検索



カチッと検索！

お問い合わせ先 名古屋市子ども青少年局子ども未来課（担当 三宅・武石）
〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号
電話 (052) 972-3971 FAX (052) 972-4437

この調査用紙は古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

保護者用

(就学後用)

名古屋市から

「子ども・子育て家庭 意識・生活実態調査」ご協力のお願い

名古屋市子ども青少年局子ども未来課

本市では平成20年に制定した「なごや子ども条例」に基づき、子どもの健やかな育ちと若者の自立を視点におき事業を実施しておりますが、現在、「子どもに関する総合計画第2期計画」の策定の準備を進めております。

この計画を策定するための基礎資料として活用させていただきたく、今回、市民のみなさまに子どもや子育てに関する意識や現状などをうかがう「子ども・子育て家庭 意識・生活実態調査」を実施させていただくこととなりました。

アンケートは、市内にお住まいの小学校就学後から18歳までのお子さんの中から無作為抽出でお選びし、その保護者のかたあてに送付させていただきました。

このアンケートは無記名です。このため、お答えいただいたかたのプライバシーは守られ、個人の情報が漏れたり、ご迷惑をおかけしたりすることは一切ございません。ご回答いただいた調査内容は、統計データとしてのみ処理します。 つきましては、ぜひ、本アンケートの主旨をご理解いただき、ご回答の上、ご返送いただきますよう、お願いします。

アンケートについて

- お子さんが小学校4年生以下のご家庭には「保護者用」のみを、お子さんが小学校5年生以上のご家庭には「保護者用」と「子ども用」の調査票を送付させていただきました。
- 「子ども用」は封筒のあて名のお子さんご本人がご記入ください。また、同封の小封筒はお子さんにお渡しください。
- 「保護者用」は封筒のあて名のお子さんの保護者のかたがご記入ください。
- 回答はあてはまる番号を○で囲んでいただくものと、記述していただくものがあります。
- 問1～問12およびF1～F11まではすべてのかたにお答えいただきます。問13以降は封筒のあて名のお子さんが「小学生の保護者のかた」「中学生以上の保護者のかた」でお答えいただく質問が異なりますので、注意してください。
- この調査では質問に順番にお答えいただきますが、途中、回答の内容により次に進んでいただく質問が異なる場合がありますので、各問の指示に従って進んでください。
- ご記入いただきましたアンケート用紙は、10月31日(木)までに郵便ポストに入れてください。切手を貼る必要はありません。
 - ☆ 同封の小封筒に入れた「子ども用」は、返信用封筒に「保護者用」とともに入れてください。
 - ☆ 「保護者用」は返信用封筒にそのまま入れてください。
- 封筒・アンケートともにお名前を記入していただく必要はありません。

この調査票は、名古屋市に子どもや子育てで感じていることなどを伝えるチャンスといえるんだ。どんな調査か、ぺらっとめくって見てみよう!



5年に1度のアンケートで 名古屋市に声を届けるチャンス!!!!

子どもが大きくなると、幼
いころとは違う子育ての悩
みもいっぱい。相談できる
場所はあるのかな。

仕事を始めたいのだけ
れど、放課後の子どもの
生活が気になるわ。

アンケート回答
【要望】

アンケート回答
【ニーズ】

アンケート回答
【意見】

私はこんなことを
思ってるの！

私は、こんなこ
とに困ってる！

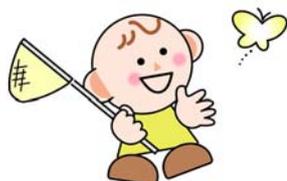
子育て家庭の実態と子育て支援策等についてのニーズ把握など

子どものための総合計画

- すべての子どもが健やかに育ち、自立できる環境づくり
 - 子育ての負担感を減らし、子育てを楽しめる環境づくり
 - 子育てと就労が両立できる環境づくり
- など

子どもの健やかな育ちと若者の自立を社会全体で支えるまちなごやをめざします

子どもたちも名古屋市も、
一緒に、より素敵に成長し
ていくための計画だよ。



名古屋市の子育て支援への取り組みについてうかがいます。

【問3】(1) 名古屋市の子育て支援への取り組みについて、あなたはア～ケのことを期待しますか。

(2) また、現在の名古屋市の取り組みについてどう感じますか。

下の表のア～ケの項目ごとに、(1)、(2)の質問ごとにあてはまるものを選んで○をつけてください。あなたが、名古屋市が子育て支援に取り組む必要がないと思う場合は、「コ」欄に○をつけてください。

	(1)期待するかどうか	(2)現状に満足しているかどうか
ア. 労働時間の短縮、育児休業や介護休暇制度など家庭生活と両立する職場環境の整備	1. 期待する 2. どちらでもない 3. 期待しない	1. 満足する 2. どちらでもない 3. 満足しない
イ. 多様な保育事業の充実や、放課後児童に対する施策の充実	1. 期待する 2. どちらでもない 3. 期待しない	1. 満足する 2. どちらでもない 3. 満足しない
ウ. 安心して出産や子育てができる医療サービスの充実	1. 期待する 2. どちらでもない 3. 期待しない	1. 満足する 2. どちらでもない 3. 満足しない
エ. 子育てについて相談できる機関やサービスの充実	1. 期待する 2. どちらでもない 3. 期待しない	1. 満足する 2. どちらでもない 3. 満足しない
オ. 住宅や遊び場・公園の整備など、子育てしやすいまちづくり	1. 期待する 2. どちらでもない 3. 期待しない	1. 満足する 2. どちらでもない 3. 満足しない
カ. 受験戦争やいじめの解消等のゆとりのある教育の実現	1. 期待する 2. どちらでもない 3. 期待しない	1. 満足する 2. どちらでもない 3. 満足しない
キ. 遊び・スポーツ・文化活動など、豊かな人間性をつくる学校外活動の充実	1. 期待する 2. どちらでもない 3. 期待しない	1. 満足する 2. どちらでもない 3. 満足しない
ク. 医療費助成や子育てにかかる各種サービスの費用の軽減など、経済的な支援の充実	1. 期待する 2. どちらでもない 3. 期待しない	1. 満足する 2. どちらでもない 3. 満足しない
ケ. 男女でともに子育てに参加することについての意識啓発	1. 期待する 2. どちらでもない 3. 期待しない	1. 満足する 2. どちらでもない 3. 満足しない
コ. 名古屋市としては子育て支援に取り組む必要はない		

あて名のお子さんの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

【問4】あて名のお子さんの育つ環境についてうかがいます。

(1)あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。続き柄はあて名のお子さんから見た関係です。

- | | | |
|-----------|-----------|-------------|
| 1. 父親 | 2. 母親 | 3. 父母ともに |
| 4. 兄弟姉妹 | 5. 祖父(父方) | 6. 祖母(父方) |
| 7. 祖父(母方) | 8. 祖母(母方) | 9. その他の人() |

あて名のお子さんの保護者のかたの就労状況についてうかがいます。

【問5】あて名のお子さんの保護者のかたの、現在の就労状況にあてはまるものを1つ選んで○をつけてください。



ここからは、あて名のお子さんの父親のかたについてうかがいます。母子家庭のかたは記入不要なので、(3)(8ページ)へすすんでください。

(1) 父親(母子家庭のかたは記入不要ですので、(3)(8ページ)に進んでください。)

- | | |
|-------------------------|----------------|
| 1. 就労している | } → 【(1) - 1】へ |
| 2. 就労しているが育休・介護休業中 | |
| 3. 以前は就労していたが現在は就労していない | } → (2)(7ページ)へ |
| 4. これまで就労したことがない | |

お仕事をしている父親のかたにうかがいます。

【(1) - 1】 父親のかたの就労形態にあてはまるものを1つ選んで○をつけてください。



- | | | |
|------------|--------------|--------------|
| 1. 正社員 | 2. 公務員 | 3. 経営者・役員 |
| 4. 自営業・自由業 | 5. 自営業の家族従業者 | 6. パート・アルバイト |
| 7. 派遣・契約社員 | 8. 在宅ワーク・内職 | 9. その他() |

【(1) - 2】 父親のかたの平均的な1週間の就労日数を数字で記入してください。

平均的な1週間の就労日数 週()日 (休日出勤を含む)

【(1) - 3】父親のかたの平均的な1日の就労時間と、平均的な家を出る時間と帰宅時間を数字で記入してください。交代勤務で決まっていなかつたは、「2.」に○をつけてください。

24時間制(例:9時~18時)で、残業を含まない時間を記入してください。
育児時間などを取得されている場合は取得後の時間を記入してください(予定含む)。

1. 就労時間()時()分~()時()分
平均的な家を出る時間 ()時ごろ
平均的な帰宅時間 ()時ごろ
2. 交代勤務で決まっていない

【(1) - 4】父親のかたは、主な仕事以外に別の仕事(副業)をしていますか。あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|----------------|
| 1. 副業をしている | } → 【(1) - 5】へ |
| 2. 副業をしているが育休・介護休業中 | |
| 3. 以前は副業をしていたが現在は副業をしていない | } → 【(1) - 6】へ |
| 4. これまで副業をしたことがない | |

【(1) - 5】 父親のかたの副業の就労形態にあてはまるものを1つ選んで○をつけ、平均的な1週間の就労日数と平均的な1日の就労時間を記入してください。

就 労 形 態	1. 正社員	2. 自営業・自由業	3. パート・アルバイト
	4. 在宅ワーク・内職	5. その他()	
平均的な1週間の就労日数 週()日、平均的な1日の就労時間()時間			

【(1) - 6】 父親のかたは転職の希望がありますか。転職後の就業状況について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. 転職の希望はない | 2. もっと働く時間を長くしたい |
| 3. もっと働く時間を短くしたい | 4. もっと働く日数を多くしたい |
| 5. もっと働く日数を少なくしたい | 6. 違う時間帯で働きたい |
| 7. 正社員として働きたい | 8. 違う職種にかわりたい |
| 9. 仕事をやめて家事や育児に専念したい | 10. その他() |

【(1) - 7】 父親のかたは、今後、副業の希望がありますか。またその場合、得たいと思う収入額は月にいくらですか。あてはまるもの1つに○をつけ、「1.」を選んだ方は、希望の収入月額を数字で記入してください。

1. 副業の希望がある。1ヶ月で()円程度の収入を得たい
2. 副業の希望はない
3. 就業規定上、副業できない

(1) の回答で「3.」または「4.」と答えたかた
(在宅の父親のかた)にうかがいます。



(2) 父親のかたは、今後、就労の希望がありますか。

あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

「3.」を選ばれたかたは()の中にお子さんの年齢を記入してください。

- | | | |
|--|----------------|---------------|
| 1. 就労希望はない | → (3) (8ページ) へ | |
| 2. すぐにでも若しくは1年以内に就労したい | | } → 【(2) - 1】 |
| 3. 1年より先で、一番下の子ども(子どもが1人の場合はあて名のお子さん)が()歳くらいになったら、就労したい | | |

【(2) - 1】 父親のかたが今後就労する場合、どのような就労を希望しますか。

あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

「6.」または「7.」を選ばれたかた(パート・アルバイト、派遣・契約社員を希望の方)は、1週間あたりの就労日数及び1日あたりの就労時間も記入してください。

- | | | |
|--------------|---------------------------|-----------|
| 1. 正社員 | 2. 公務員 | 3. 経営者・役員 |
| 4. 自営業・自由業 | 5. 自営業の家族従業者 | |
| 6. パート・アルバイト | → 1週間あたり()日、1日あたり()時間程度 | |
| 7. 派遣・契約社員 | → 1週間あたり()日、1日あたり()時間程度 | |
| 8. 在宅ワーク、内職 | | |
| 9. その他() | | |

【(2) - 2】 父親のかたが、就労希望があるのに、現在働いていない理由は何ですか。

もっとも近いものを1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|---|--|
| 1. 希望する就労先がない(見つからない)から | |
| 2. 学童保育所等に入所できない(あて名のお子さんのきょうだいが保育所に入所できない)から | |
| 3. 働きながら子育てできる適当な仕事がないから | |
| 4. 自分の知識、能力にあう仕事がないから | |
| 5. 家族の考え方(親族の理解が得られる)等就労する環境が整っていないから | |
| 6. 子どもがある程度の年齢までは子育てに専念したいから | |
| 7. その他() | |



ここからは、あて名のお子さんの母親のかたについてうかがいます。父子家庭のかたは記入不要なので、【問7】(11ページ)へすすんでください。

(3) 母親(父子家庭のかたは記入不要ですので、【問7】(11ページ)へ進んでください。)

- | | | |
|-------------------------|---|---------------|
| 1. 就労している | } | → 【(3) - 1】へ |
| 2. 就労しているが育休・介護休業中 | | |
| 3. 以前は就労していたが現在は就労していない | } | → (4) (9ページ)へ |
| 4. これまで就労したことがない | | |

お仕事をしている母親のかたにうかがいます。

【(3) - 1】 母親のかたの就労形態にあてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | | |
|------------|--------------|--------------|
| 1. 正社員 | 2. 公務員 | 3. 経営者・役員 |
| 4. 自営業・自由業 | 5. 自営業の家族従業者 | 6. パート・アルバイト |
| 7. 派遣・契約社員 | 8. 在宅ワーク・内職 | 9. その他 () |



【(3) - 2】 母親のかたの平均的な1週間の就労日数を数字で記入してください。

平均的な1週間の就労日数 週 () 日 (休日出勤を含む)

【(3) - 3】 母親のかたの平均的な1日の就労時間と、平均的な家を出る時間と帰宅時間を数字で記入してください。交代勤務で決まっていない方は、「2.」に○をつけてください。

24時間制(例:9時~18時)で、残業を含まない時間を記入してください。育児時間などを取得されている場合は取得後の時間を記入してください(予定含む)。

1. 就労時間 () 時 () 分 ~ () 時 () 分
 平均的な家を出る時間 () 時ごろ
 平均的な帰宅時間 () 時ごろ
2. 交代勤務で決まっていない

【(3) - 4】 母親のかたは、主な仕事以外に別の仕事(副業)をしていますか。あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | | |
|---------------------------|---|--------------------|
| 1. 副業をしている | } | → 【(3) - 5】(9ページ)へ |
| 2. 副業をしているが育休・介護休業中 | | |
| 3. 以前は副業をしていたが現在は副業をしていない | } | → 【(3) - 6】(9ページ)へ |
| 4. これまで副業をしたことがない | | |

【(3) - 5】 母親の方の副業の就労形態にあてはまるものを1つ選んで○をつけ、平均的な1週間の就労日数と平均的な1日の就労時間を記入してください。

就 労 形 態	1. 正社員	2. 自営業・自由業	3. パート・アルバイト
	4. 在宅ワーク・内職	5. その他 ()	
平均的な1週間の就労日数 週 () 日、平均的な1日の就労時間 () 時間			

【(3) - 6】 母親の方は転職の希望がありますか。希望の転職後の状況について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 転職の希望はない	2. もっと働く時間を長くしたい
3. もっと働く時間を短くしたい	4. もっと働く日数を多くしたい
5. もっと働く日数を少なくしたい	6. 違う時間帯で働きたい
7. 正社員として働きたい	8. 違う職種にかわりたい
9. 仕事をやめて家事や育児に専念したい	10. その他 ()

【(3) - 7】 母親のかたは、今後、副業の希望がありますか。またその場合、得たいと思う収入額は月にいくらですか。あてはまるもの1つに○をつけ、「1.」を選んだかたは、希望の収入月額を数字で記入してください。

1. 副業の希望がある。1ヶ月で () 円程度の収入を得たい
2. 副業の希望はない
3. 就業規定上、副業できない

(3) の回答で「3.」または「4.」と答えたかた
(在宅の母親のかた) にうかがいます。

【(4)】 母親のかたは、今後、就労の希望がありますか。

あてはまるものを1つ選んで、○をつけてください。



「3.」を選ばれたかたは () の中にお子さんの年齢を記入してください。

1. 就労の希望はない	→ 【問6】(10ページ)へ
2. すぐにでも若しくは1年以内に就労したい	} → 【(4) - 1】 (10ページ)へ
3. 1年より先で、一番下の子ども(子どもが1人の場合はあて名のお子さん)が () 歳くらいになったら、就労したい	

【(4) - 1】 母親のかたが今後就労する場合、どのような就労を希望しますか。
 あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。「6.」または「7.」を選ばれた方（パート・アルバイト、派遣・契約社員を希望のかた）は、1週間あたりの就労日数及び1日あたりの就労時間も記入してください。

1. 正社員	2. 公務員	3. 経営者・役員
4. 自営業・自由業	5. 自営業の家族従業者	
6. パート・アルバイト	→ 1週間あたり（ ）日、1日あたり（ ）時間程度	
7. 派遣・契約社員	→ 1週間あたり（ ）日、1日あたり（ ）時間程度	
8. 在宅ワーク、内職		
9. その他（		）

【(4) - 2】 母親のかたが、就労希望があるのに、現在働いていない理由は何ですか。もっとも近いものを1つ選んで○をつけてください。

1. 希望する就労先がない（見つからない）から
2. 学童保育所等に入所できない（あて名のお子さんのきょうだいが保育所に入所できない）から
3. 働きながら子育てできる適当な仕事がないから
4. 自分の知識、能力にあう仕事がないから
5. 家族の考え方（親族の理解が得られる）等就労する環境が整っていないから
6. 子どもがある程度の年齢までは子育てに専念したいから
7. その他（
）

出産にともなう母親のかたの退職や転職についてうかがいます。

【問6】 母親のかたは出産前後（それぞれ1年以内）に仕事をやめたり、転職をしましたか。あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

1. 就職したことがないまたは出産1年前にすでに働いていなかった →【問7】（11ページ）へ	2. 転職をせず継続的に働いた →【問7】（11ページ）へ
3. 転職をして継続的に働いた	4. 仕事をやめた

(1) 上の回答で「3.」または「4.」と答えた方にうかがいます。母親の方は仕事と家庭の両立を支援する教育・保育事業や環境などが整っていたら、出産前後にしていた仕事を続けましたか。次の中から、母親のかたの考えにもっとも近いものを1つ選んで○をつけてください。

1. 教育・保育事業が確実に利用できる見込みがあれば、続けていた
2. 職場において育児休業制度などの仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、続けていた
3. 教育・保育事業と職場の両立支援環境がどちらも整っていれば、続けていた
4. 家族の考え方（親族の理解が得られる）など仕事をする環境が整っていれば、続けていた
5. いずれにしても続ける希望はなかった
6. その他（
）

仕事と生活のバランスについてうかがいます。

【問8】あなたの家庭では仕事と生活のバランスはとれていると感じていますか。
 父親、母親のそれぞれについてもっとも近いものを1つ選んで下の枠内に番号を記入してください。
 父子家庭のかたは父親の枠内に、母子家庭のかたは母親の枠内に記入してください。

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------------|
| 1. 仕事と家庭生活（育児含む）のバランスがとれている | 2. 仕事を中心となっており、もう少し家庭生活の比重が高まるとよい |
| 3. 仕事を中心となっているが、今のままでよい | 4. 育児を中心となっており、もう少し仕事の比重が高まるとよい |
| 5. 育児を中心となっているが、今のままでよい | 6. どちらともいえない |
| 7. よくわからない | 8. その他（ ） |

(1) 父親

(2) 母親

家事・子育ての分担についてうかがいます。

【問9】現在、家事・子育ての分担はどのように行っていますか。
 下の表のア～クの項目ごとに、父親の方と母親の方の分担の割合を全体で100%になるように、数字で記入してください。祖父母のかたや知り合い等の援助がある場合は、祖父母等のかたの援助の割合を含めて、全体が100%になるように、数字で記入してください。

	父親の割合	母親の割合	祖父母等の援助割合
ア. 日常の買い物	%	%	%
イ. 部屋の掃除	%	%	%
ウ. 洗濯	%	%	%
エ. 炊事	%	%	%
オ. 行事などの参加 （幼稚園や保育所の保護者会、お子さんの健康診断、運動会、親子遠足、地域の行事など）	%	%	%
カ. 塾や習いごとの送迎	%	%	%
キ. お子さんの身の回りの世話	%	%	%
ク. 病気になったときの看護	%	%	%

なごや子ども条例についてうかがいます

【問10】あなたは、平成20年4月に「なごや子ども条例」が制定されたことを知っていますか。あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------|------------------------------|
| 1. 内容についてもよく知っている | 2. 制定されたことは知っているが、内容はあまり知らない |
| 3. 制定されたことは知っているが、内容はまったく知らない | 4. 制定されたことを知らない |

理想のお子さんの人数についてうかがいます。

【問11】あなたには何人のお子さんがありますか。また、理想としては、子どもは何人いるのが望ましいとお考えですか。それぞれあてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

お子さんの人数	1. 1人	2. 2人	3. 3人	4. 4人	5. 5人以上
理想とする人数	1. 1人	2. 2人	3. 3人	4. 4人	5. 5人以上

上の回答で、お子さんの人数が理想とする人数より少ないかたにお聞きします。

(1) お子さんの人数が理想とする人数より少ない理由は何ですか。

あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

- | | |
|------------------------------------|---------------------------|
| 1. 住宅が狭いから | 2. 経済的に余裕がないから |
| 3. 仕事と子育ての両立が難しいから | 4. 子育ての身体的・精神的な負担が大きいから |
| 5. 自分または配偶者の健康上の理由から | 6. 自分または配偶者の年齢上の理由から |
| 7. 自分自身の生活を楽しまたいから | 8. 子どもをとりまく環境に不安があるから |
| 9. 保育所など子育てを手伝ってくれる事業が充分整備されていないから | 10. 今後、出産の予定がある(出産を希望する。) |
| 11. 妊娠しなかった | 12. その他() |

子育て中の経済的負担についてうかがいます。

【問12】あなたの世帯の現在の暮らし向きについてうかがいます。

あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | | |
|-------------|-------------|-------|
| 1. 大変ゆとりがある | 2. ややゆとりがある | 3. 普通 |
| 4. やや苦しい | 5. 苦しい | |

(1) あなたの世帯では、過去1年間の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. よくあった | 2. ときどきあった |
| 3. まれにあった | 4. まったくなかった |

(2) あなたの世帯では、過去1年間の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣料が買えないことがありましたか。あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. よくあった | 2. ときどきあった |
| 3. まれにあった | 4. まったくなかった |

(3) これまでに、子育てに経済的な負担を感じたことがありますか。あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。また、「1. 」と「2. 」を選んだ場合は右欄にも回答してください。

経済的な負担について															
<p>1. とても感じる</p> <p>2. 感じる</p>	<p>(3) - 1 特に負担を感じる費用は何ですか。あてはまるものを3つ選んで数字を記入してください。また選んだ番号について、1か月にかかる費用を()内に数字で記入してください。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 衣服費</td> <td>2. 食費</td> </tr> <tr> <td>3. 光熱水費</td> <td>4. 住居費(家賃・ロ-ン)</td> </tr> <tr> <td>5. 授業料・学費</td> <td>6. 学習塾の費用</td> </tr> <tr> <td>7. 習いごとの費用</td> <td>8. 幼稚園・保育所費用</td> </tr> <tr> <td>9. クラブ活動費用</td> <td>10. 本代・おもちゃ代</td> </tr> <tr> <td>11. レジャー費用(旅行など)</td> <td>12. 医療費</td> </tr> <tr> <td>13. わからない</td> <td>14. その他()</td> </tr> </table> <p>選んだ番号 <input type="text"/> 月額 () 円</p> <p>選んだ番号 <input type="text"/> 月額 () 円</p> <p>選んだ番号 <input type="text"/> 月額 () 円</p>	1. 衣服費	2. 食費	3. 光熱水費	4. 住居費(家賃・ロ-ン)	5. 授業料・学費	6. 学習塾の費用	7. 習いごとの費用	8. 幼稚園・保育所費用	9. クラブ活動費用	10. 本代・おもちゃ代	11. レジャー費用(旅行など)	12. 医療費	13. わからない	14. その他()
1. 衣服費	2. 食費														
3. 光熱水費	4. 住居費(家賃・ロ-ン)														
5. 授業料・学費	6. 学習塾の費用														
7. 習いごとの費用	8. 幼稚園・保育所費用														
9. クラブ活動費用	10. 本代・おもちゃ代														
11. レジャー費用(旅行など)	12. 医療費														
13. わからない	14. その他()														
<p>3. どちらともいえない</p> <p>4. あまり感じない</p> <p>5. 感じない</p> <p>6. わからない</p>															

(4) あなたの世帯では、現在、お子さんは塾や習い事などに通っていますか。該当する番号すべてに○をつけ、1ヶ月にかかる費用を数字で記入してください。また、「8.」に該当する方はその理由にあてはまるものすべてに○をつけてください。

経済的な負担について	月額・理由等
1. 学習塾・進学塾	月額 () 円
2. 家庭教師	月額 () 円
3. 通信教育	月額 () 円
4. 英会話・珠算などの勉強の習いごと	月額 () 円
5. 絵画・音楽・習字などの芸術の習いごと	月額 () 円
6. スポーツ	月額 () 円
7. その他 ()	月額 () 円
8. 通わせたいが通わせていない	<p>【(4) - 1】お子さんを塾や習い事に通わせていない理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。</p> <p>1. 子どもがやりたがらないから 2. 必要性を感じないから 3. 経済的に余裕がないから 4. 家の近くに塾や習い事がないから 5. 学校のクラブ活動が忙しいから 6. 子どもの自由時間が少なくなるから 7. 他の家族の理解が得られないから 8. その他 ()</p>
9. 理由はないが通わせていない	
10. 通わせるつもりはない	

(5) あて名のお子さんの教育について、重視していることはありますか。あてはまるものを3つ選んで○をつけてください。

1. 自分を大切にすること	2. 親や友達など自分の周囲の人を大切にすること
3. 生き物を大切にすること	4. 協調性のあること
5. 自分の意見をはっきりいえること	6. 正直であること
7. 自制心があること	8. 自立して考えること
9. 身だしなみがよく清潔にし、他人に不快感を与えないよう気を配ること	10. 目標を立てて努力すること
11. 物事がどのようにしておこなうか興味を持つこと	12. 親の言うことに従うこと
13. その他 ()	

**【問13】～【問16】まではあて名のお子さんが
小学生の保護者のかたがお答えください。**

子どもの遊び場についてうかがいます。

【問13】あなたの家の近くの子どもの遊び場について、日頃感じていることを3つまで選んで○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|-------------------------------|
| 1. 近くに遊び場がない | 2. 雨の日に遊べる場所がない |
| 3. 思い切り遊ぶために十分な広さがない | 4. 遊具などの種類が充実していない |
| 5. 遊具などが年齢にあっていない | 6. 不衛生である |
| 7. いつも閑散としていて寂しい感じがする | 8. 遊具などの設備が古くて危険である |
| 9. 緑などの自然が少ない | 10. 遊び場やその周辺が悪くて、安心して遊べない |
| 11. 遊び場周辺の道路が危険である | 12. 遊び場にいても子どもと同じ歳くらいの遊び仲間がない |
| 13. 特に感じることはない | 14. その他() |

あて名のお子さんとの親子関係についてうかがいます。

【問14】あて名のお子さんとの関係に関する以下の項目それぞれについて、あなたはどのように思われますか。ア～キの項目ごとにもっとも近いものを選んで○をつけてください。

	そう思う	だいたい そう思う	あまりそう 思わない	そう思わない
ア. 子どもの好きなことをよくわかっている	1	2	3	4
イ. 子どもの仲のいい友達の名前をほとんど知っている	1	2	3	4
ウ. 子どもに信頼されていると感じている	1	2	3	4
エ. 子どもの将来の夢についてよく知っている	1	2	3	4
オ. 子どもの学校での様子や出来事をよく知っている	1	2	3	4
カ. 子どもに悩み事があるときは、わかる	1	2	3	4
キ. 子どもの健康状態をしっかり把握している	1	2	3	4

お子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます。

【問15】あて名のお子さんは平日の放課後や土曜日等をどのように過ごしていますか。ア～ケの過ごし方のうちあてはまるものすべてに○をつけ、おおむねの日数をそれぞれのカッコ内に記入してください。また「オ. 小学校施設を活用した放課後事業」と「カ. 学童保育」の場合には、利用を希望する時間も数字でご記入ください。

【トワイライトスクール】 小学校施設を活用して、異学年の友達との遊びや学び、地域の方との交流、体験活動などの場を提供します。

小学校に通うすべての子どもが対象となる事業です。

＜活動日時＞月～土曜日の18時まで（土曜日と長期休業は午前より実施）

【トワイライトルーム】 トワイライトスクールの内容に加え、就労等で子育てへの援助を希望する家庭の子どもについて、その生活面でのサポート等を行う子ども指導員を配置するなど、より生活に配慮した取り組みを行います。17時を超えて利用する場合は一定の利用料（おやつ代等を含む）が必要となります。

＜活動日時＞月～金曜日の19時まで。土曜日は18時まで。（土曜日と長期休業は午前より実施。）

【学童保育】 保護者が就労等により昼間家庭にいない子どもについて、その健全な育成を図るため、授業終了後等に適切な遊びと生活の場を提供します。開設時間や利用料（おやつ代等を含む）は、学童保育によって異なります。

＜活動日時＞月～土曜日

（民間学童：約9割が19時まで（土曜日と長期休業は午前より実施）（最長：22時まで）

（児童館：13時から18時まで（長期休業は午前より実施）

【のびのび子育てサポート事業】 子育ての援助を行いたい方と受けたい方からなる会員組織により、一時的に子育ての手助けをしあう制度で、一定の利用料が必要となります。

（1）＜平日（学校がある日）＞

ア. 自宅	1週間に（ ）日程度
イ. 祖父母宅や友人・知人宅	1週間に（ ）日程度
ウ. 学校で行われる部活動（課外活動含む）	1週間に（ ）日程度
エ. 習いごと（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	1週間に（ ）日程度
オ. 小学校施設を活用した放課後事業 （名古屋ではトワイライトスクールまたはトワイライトルームを実施しています。）	1週間に（ ）日程度 授業終了後から（ ）時（ ）分まで
カ. 学童保育（児童館で行われる学童保育を含む）	1週間に（ ）日程度 授業終了後から（ ）時（ ）分まで
キ. 児童館	1週間に（ ）日程度
ク. 放課後等デイサービス（障害児通所支援）	1週間に（ ）日程度
ケ. のびのび子育てサポート事業	1週間に（ ）日程度
コ. その他（公園など）	1週間に（ ）日程度

(2) <土曜日(学校がない日)>

ア. 自宅	月に()日程度
イ. 祖父母宅や友人・知人宅	月に()日程度
ウ. 学校で行われる部活動(課外活動含む)	月に()日程度
エ. 習いごと(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	月に()日程度
オ. 小学校施設を活用した放課後事業 (名古屋市ではトワイライトスクールまたはトワイライトルームを実施しています。)	月に()日程度
	(時 分)から(時 分)まで
カ. 学童保育(児童館で行われる学童保育を含む)	月に()日程度
	(時 分)から(時 分)まで
キ. 児童館	月に()日程度
ク. 放課後等デイサービス(障害児通所支援)	月に()日程度
ケ. のびのび子育てサポート事業	月に()日程度
コ. その他(公園など)	月に()日程度

(3) <夏休み・冬休みなど長期休業中>

ア. 自宅	1週間に()日程度
イ. 祖父母宅や友人・知人宅	1週間に()日程度
ウ. 学校で行われる部活動(課外活動含む)	1週間に()日程度
エ. 習いごと(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	1週間に()日程度
オ. 小学校施設を活用した放課後事業 (名古屋市ではトワイライトスクールまたはトワイライトルームを実施しています。)	1週間に()日程度
	(時 分)から(時 分)まで
カ. 学童保育(児童館で行われる学童保育を含む)	1週間に()日程度
	(時 分)から(時 分)まで
キ. 児童館	1週間に()日程度
ク. 放課後等デイサービス(障害児通所支援)	1週間に()日程度
ケ. のびのび子育てサポート事業	1週間に()日程度
コ. その他(公園など)	1週間に()日程度

あて名のお子さんの病気やケガの時の対応についてうかがいます。

【問16】この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。あてはまるものに○をつけてください。

1. あった →【16-1】へ
2. なかった →【16-2】へ

【問16-1】この1年間で、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかった場合どのように対応しましたか。あてはまるものに○をつけおおむねの日数をお答えください。(半日程度についても1日としてカウントしてください。)

- | | |
|-----------------------|------------|
| 1. 父親が休んだ | 1年間に()日程度 |
| 2. 母親が休んだ | 1年間に()日程度 |
| 3. (同居者も含む)親族・知人に預けた | 1年間に()日程度 |
| 4. 就労していない保護者のかたが看護した | 1年間に()日程度 |
| 5. 病児・病後児デイケア事業を利用した | 1年間に()日程度 |
| 6. ベビーシッターを頼んだ | 1年間に()日程度 |
| 7. 仕方なく子どもだけで留守番させた | 1年間に()日程度 |
| 8. その他() | 1年間に()日程度 |

【問16-2】あて名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならないときに、できれば病気のお子さんを対象とした保育事業等を利用したいと思われませんか。

あてはまるものを1つ選んで○をつけ、「3.」または「4.」を選ばれた方は、おおむね1年間に何日程度利用したいと思われるかを数字で記入してください。

利用希望の有無	
1. 病気の際は親がそばにいるべきだと思うので、利用を希望しない	
2. 子どもが一人で留守番できるので、利用を希望しない。	
3. 父親、母親が休めないときは利用したい	→ おおむね1年間に()日程度
4. できれば病気の際はすべて利用したい	
5. その他()	

子育てをするうえでの情報についてうかがいます。

【問17】子育てをするうえで、知りたい情報は何ですか。あてはまるもの3つに○をつけてください。

- | | |
|------------------------------|---------------------------------|
| 1. 子どもの進学先（高校や大学など） | 2. 子育てについて相談できる機関やサービス |
| 3. 子どもの発育や健康について相談できる機関やサービス | 4. 子どもが病気やケガをしたときや休日等に受診できる医療機関 |
| 5. 子どもの習い事や塾 | 6. 子育てをする仲間づくりのサークル |
| 7. 子どもの遊び場や公園 | 8. 子どもと一緒に参加できるイベント |
| 9. その他（ | ） |

これで、あて名のお子さんが小学生の保護者の方への質問は終わりです。
次は24ページに、おすすみください。

**【問18】～【問19】まではあて名のお子さんが
中学生以上の保護者 のかたがお答えください。**

あて名のお子さんとの親子関係についてうかがいます。

【問18】あて名のお子さんとの関係に関する以下の項目それぞれについて、あなたはどのように思われますか。ア～キの項目ごとにもっとも近いものを選んで○をつけてください。

	そう思う	だいたい そう思う	あまり そう思わない	そう思わない
ア. 子どもの好きなことをよくわかっている	1	2	3	4
イ. 子どもの仲のいい友達の名前をほとんど知っている	1	2	3	4
ウ. 子どもに信頼されていると感じている	1	2	3	4
エ. 子どもの将来の夢についてよく知っている	1	2	3	4
オ. 子どもの学校での様子や出来事をよく知っている	1	2	3	4
カ. 子どもに悩み事があるときは、わかる	1	2	3	4
キ. 子どもの健康状態をしっかりと把握している	1	2	3	4

子どもさんの進路についてうかがいます。

【問19】あなたは、あて名のお子さんに、最終的にどこまで進学してほしいとお考えですか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

1. 中学まで	2. 高校（普通科）まで	3. 高校（職業科）まで
4. 専門学校まで	5. 短大・高専まで	6. 大学まで
7. 大学院まで	8. まだ決めていない	9. わからない

最後にお答えいただいたあなたのことについて、お聞きします。

お住まいの地域についてうかがいます。

F1 あなたのお住まいの区（支所管内にお住まいの方は支所）に○をつけてください。

- | | | | |
|---------------|----------------|--------------|--------------|
| 1. 千種区 | 2. 東区 | 3. 北区 | 4. 楠支所（北区） |
| 5. 西区 | 6. 山田支所（西区） | 7. 中村区 | 8. 中区 |
| 9. 昭和区 | 10. 瑞穂区 | 11. 熱田区 | 12. 中川区 |
| 13. 富田支所（中川区） | 14. 港区 | 15. 南陽支所（港区） | 16. 南区 |
| 17. 守山区 | 18. 志段味支所（守山区） | 19. 緑区 | 20. 徳重支所（緑区） |
| 21. 名東区 | 22. 天白区 | | |

(1) あなたは現在お住まいの区に、何年居住していますか。あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 5年未満 | 2. 5～10年未満 |
| 3. 10～20年未満 | 4. 20～30年未満 |
| 5. 30～40年未満 | 6. 40年以上 |

(2) あなたは第1子が生まれてから、何回転居をされましたか。あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|---------------|---------|
| 1. 1回 | 2. 2回 |
| 3. 3回 | 4. 4回以上 |
| 5. 特に転居はしていない | |

ご回答されるかたについてうかがいます。

F2 あなたの性別に○をつけてください。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

F3 あなたの、あて名のお子さんから見た続柄であてはまるものに○をつけてください。

- | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-----------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. 祖父 | 4. 祖母 | 5. その他（ ） |
|-------|-------|-------|-------|-----------|

F4 あなたの年齢をお答えください。

	歳
--	---

F5 あなたの配偶者の年齢をお答えください。配偶者がいない場合は「配偶者はいない」に○をつけてください。

（ ）歳	配偶者はいない
------	---------

F6 あなたの最終学歴についてあてはまるものに○をつけてください。

- | | | |
|-----------|---------|---------|
| 1. 中学校 | 2. 高等学校 | 3. 専修学校 |
| 4. 短期大学 | 5. 大学 | 6. 大学院 |
| 7. その他（ ） | | |

あて名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

F7 あて名のお子さんの生まれた年と月をお答えください。

平成()年()月 生まれ

F8 あて名のお子さんのきょうだいについてお答えください。

(1)あて名のお子さんは何人きょうだいの何番目ですか。数字でお答えください。

(きょうだいがいない場合は、両方の()内に「1」を記入してください。)

()人きょうだいの ()番目

(2)きょうだいが2人以上いる場合は、あて名のお子さんも含めて一番上の子と下の子の年齢を記入してください。

一番上のお子さん ()歳 一番下のお子さん ()歳

F9 あて名のお子さんと同居されているかたについてお聞きます。

(1)あて名のお子さんと同居されているのは、合計何人ですか。

()人

(あて名のお子さんも含みます。)

(2)現在、あて名のお子さんと同居されているかたすべてに○をつけてください。

続柄はあて名のお子さんからみた関係です。

(父親のかたまたは母親のかたが単身赴任の場合は、1または2と9に○をつけてください。)

- | | | | |
|-----------------|-----------|--------------|-----------|
| 1. 父親 | 2. 母親 | 3. きょうだい()人 | 4. 祖父(父方) |
| (あて名のお子さんも含みます) | | | |
| 5. 祖母(父方) | 6. 祖父(母方) | 7. 祖母(母方) | 8. その他の人 |
| 9. 父親または母親が単身赴任 | | | |

F10 あて名のお子さんの保護者のかたの年収(税込みの収入)について、それぞれあてはまるものに○をつけてください。父子家庭のかたは(2)については「13」に○を、また母子家庭のかたは(1)については「13」に○をつけてください。あて名のお子さんにご両親がいない場合は、(3)欄に、養育しているその他の保護者のかたの年収を回答してください。

	(1) 父親	(2) 母親	(3) その他の保護者
1. 0円	1	1	1
2. 100万円未満(0円を除く)	2	2	2
3. 100万円以上200万円未満	3	3	3
4. 200万円以上300万円未満	4	4	4
5. 300万円以上400万円未満	5	5	5
6. 400万円以上500万円未満	6	6	6
7. 500万円以上600万円未満	7	7	7
8. 600万円以上700万円未満	8	8	8
9. 700万円以上800万円未満	9	9	9
10. 800万円以上900万円未満	10	10	10
11. 900万円以上1,000万円未満	11	11	11
12. 1,000万円以上	12	12	12
13. 父親または母親はいない	13	13	—

F11 あなたのお住まいの近く（最も早く移動可能な手段でおおむね30分以内）に親族はお住まいですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 自分の親 | 2. 配偶者の親 |
| 3. 自分のきょうだい | 4. 配偶者のきょうだい |
| 5. その他の親族 | 6. 近くに親族はいない |

子ども・子育て支援のあり方についてのご意見などを、ご自由にお書きください。



以上でアンケートは終了です。ご協力いただき、ありがとうございました。
返信用封筒に入れ、返送してください。
とってもたくさんの質問に答えていただき、
本当にありがとうございました！！

ご協力いただき、ありがとうございました！



なごや子ども条例マスコットキャラクター
「なごっち」

なごや子ども条例を知っていますか？

子どもは、一人ひとりがかげがえのない存在です。
すべての子どもが、大切にされ、自分のもっている力を伸ばしながら、
いきいきと安心して健やかに育てほしい、
そして未来の名古屋を担ってほしいという願いをこめて、
平成20年4月に施行されました。

詳しくは名古屋市ウェブサイトへGO！

なごや子ども条例

検索



カチッと検索！

お問い合わせ先 名古屋市子ども青少年局子ども未来課（担当 三宅・武石）
〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号
電話 (052) 972-3971 FAX (052) 972-4437

この調査用紙は古紙パルプを含む再生紙を使用しています。